

はじめに

この技術マニュアルは、イナバ製品についての基準や詳細寸法、施工上の注意点などを網羅したもので、商品を扱う全員が、お客様からの問い合わせに答えられることを目標として制作しております。

技術的な問題解決だけでなく、商品選定上や、施工上のトラブルを未然に防ぐためにも、より一層知識を深め、安心して販売していただけるよう有効的にご活用ください。










＝ 目 次 ＝


イナバ物置の歴史	001	オプション品について	115
イナバ物置の変遷	002	イナバガレージ下見チェックリスト	120
設計の要旨・BL部品について	010	GRNシャッターチェックリスト	122
材料、塗装について	012	タフレイジ・イナバ倉庫編	123
製品保証について	013	基礎について(SGN)	124
確認申請について	014	基礎について(WG)	126
イナバ製品について	020	コーキングに関する注意点(SGN・WG)	129
組み立て施工とクレームについて	023	床面積算定について	131
物置・バイクガレージ編	025	組み立てについて	132
オプション品について	026	移動柱の注意点(SGN)	136
棚支柱・棚支持金具について	031	施工後の確認事項(SGN)	137
タイヤ収納について	039	オプション品について(SGN・WG)	138
アンカー施工(転倒防止工事)について	044	標準ブレース配置図(SGN・WG)	142
フォルタウイズ(併設物置)について	048	前面壁ハーフについて(SGN)	146
FF/FM/DM高基礎仕様について	049	下屋について(SGN)	148
FF/FM/DM土台断面と基礎の関係	050	物品棚編	151
建築基準法対応について	051	シャッター編	159
部品名称及び塗装色	062	シャッターの基本事項	160
部品の交換方法について	067	シャッター付属部品一覧表	161
フォルタプラス編	069	コンセント位置について	162
内装材「エペランPP」の特徴	070	リモコンシャッターについて[文化シャッター]	164
オプションについて	072	リモコンシャッターについて[三和シャッター]	168
建築基準法対応について	077	シャッター変遷編	175
ナイソー編	083	三和シャッター仕様変遷表	176
性能と特徴	084	文化シャッター仕様変遷表	181
オプション品の取り付け位置の注意点	086	SG型シャッター(文化)仕様変遷表	186
施工上の注意点	092	詳細寸法表	189
自転車置場・ダストボックスミニ編	101	互換性編	237
ガレージ編	105	雨とい編	253
部品名称及び塗装色	106	部品一覧編	261
施工前の確認事項	108	部品一覧表	262
基礎施工における注意点	109	シャッター部品一覧	274
高基礎仕様について	112	機種特定チェックシート	281
コーキングに関する注意点	114	機種別撮影のポイント	282

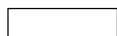
イナバ物置の歴史

1975年	イナバ物置MA型 MB型を発売	2012年 10月	〈イナバ倉庫〉SG型（一般型）を発売
1976年	MBT型を発売	2013年 2月	断熱材付物置〈ネクスタプラス〉NXP型を発売
1977年	MC型を発売 バランスアップドア式ガレージGA型を発売		〈イナバ倉庫〉SG型（多雪地型）を発売 自転車置場BP型（多雪地型）を発売 タイヤラックを発売
1978年	MAK型を発売	2014年 10月	DBN型 BRN型を発売
1981年	内装材を用いたME型を発売	2015年 2月	MJX型を発売
1983年	MEB型発売 シャッター式ガレージGC型を発売 自転車置場BA型を発売	3月	BJX型を発売
1984年	MAN型 MBN型 MCN型 MDN型、 MDN型 GAN型 GC型 MEB型を発売	2016年 6月	GRN型 BYN型を発売
1985年	シャッター式物置MF型を発売	2017年 10月	KMW型 SGN型 BRK型を発売 NXN連続型の型番を、NXD-L WLに変更
1986年	内装材付物置、ピットン庫KA型を発売 GCN型を発売	2018年 8月	〈タイヤストッカー〉BJX-T型を発売 開放スペース併設型物置〈ネクスタウィズ〉を発売
1988年	〈スリムマン〉MG型を発売	2020年 2月	デザイナーズガレージ〈アルシア〉DR型を発売 自転車置場BM型発売 DCN型発売
1991年	KAN型を発売 リモコンシャッター付ガレージGD型を発売	2021年 2月	〈フォルタ〉15機種を先行発売
1992年	〈Σシグマスペース〉SS1型を発売 自転車置場BC型を発売	2022年 10月	〈フォルタ〉全機種発売（フォルタシリーズへ移行）
1994年	MBX型 MFX型 GCX型を発売 GAX型 GDX型を発売	2023年 8月	MJX型に本体フランネルグレー色、MJX-F型を追加
1995年	新型ナイソー物置、SSM型を発売 BAX型 MGX型 BCX型を発売	10月	バイクガレージ〈アルシアフィット〉DM型を発売 電動開閉ガレージ〈タフレーション〉WG型の、 オーバースライドドアタイプを発売
1996年	KAN型を発売、宅配ボックスタイプを追加 KMB型 GEX型を発売	2024年 1月	WG型のシャッタータイプを発売 フォルタの奥行延長タイプ、FT型を発売
1997年	大型ガレージGHX型 GHX-W型を発売		
1998年	MKX型 GKX型を発売		
1999年 2月	〈フィットマン〉MCA型を発売 ダストボックス用ガラリ付壁パネルを発売		
	9月		MBW型を発売
2000年 2月	MGW型を発売		
	10月		MFW型 MKW型を発売 GCW型 GHW型、GKW型を発売
2001年 7月	ドアタイプ〈アイビーストッカー〉BS型を発売		
	8月		ドアタイプ連続型MBW-DL型を発売
2002年 6月	〈Σシグマスペース〉SS2型を発売 SMK型を発売		
2003年 2月	KMX型を発売		
	10月		BSX型発売
2005年 2月	〈シンプリー〉MJ型を発売		
	5月		BJ型を発売
2006年 2月	〈バイク保管庫〉MFW型を発売		
	9月		〈ネクスタ〉NX型を発売
2007年 2月	FX型 KX型を発売		
2009年 3月	〈ブローディア〉BR型を発売		
	10月		〈ガレーディア〉GR型を発売 KR型 BY型 BF型を発売
2011年 2月	BJN型 MJN型 NXN型 KXN型 FXN型を発売 〈ダストボックスミニ〉DB型を発売		
	10月		自転車置場BP型（一般型）を発売

小型収納庫の変遷 ① (1975年 ~ 2000年)










			スタンダードタイプ						二重構造タイプ		
			MA	MC	スリムマン	フィットマン	シンプリー	アイビーストッカー	ピットン庫	ニュータイプ	ナイソーシスター
											
西暦	年号	カタログ									
1975	S50		MA								
1976	S51										
1977	S52		MAK	MC							
1978	S53										
1979	S54										
1980	S55										
1981	S56										
1982	S57										
1983	S58										
1984	S59										
1985	S60										
1986	S61		MAN	MCN				KA			
1987	S62	vol.22									
1988	S63	vol.23									
1989	H01	vol.24									
1990	H02	vol.26			MG						
1991	H03	vol.27	×	×							
1992	H04	vol.28							KMA		
1993	H05	vol.29									
1994	H06	vol.30									
1995	H07	vol.31									
1996	H08	vol.32			MGX			KAN		KMB	
1997	H09	vol.33									
1998	H10	vol.34									
1999	H11	vol.36									
2000	H12	vol.38			MGW						
						MCA					


 の機種は、板金部材の供給不可です。(ボルト・戸車等一部の部品については巻末資料参照)


 の機種も、部材によっては板金部材が供給できないもの、発売当時の色で供給できないものもあります。[2023年12月時点の資料です]

※ カタログ欄は、その年の代表的なvol.を記載しています。

小型収納庫の変遷 ② (2001年 ~)










			スタンダードタイプ						二重構造タイプ		
			MA	MC	スリムマン	フィットマン	シンプル	アイビーstocker	ピットン庫	ニュータイプ	ナイソーシスター
											
西暦	年号	カタログ									
2001	H13	vol.39									
2002	H14	vol.41									
2003	H15	vol.42									
2004	H16										
2005	H17	vol.44									
2006	H18	vol.45									
2007	H19	vol.46									
2008	H20	vol.48									
2009	H21										
2010	H22	vol.49									
2011	H23	vol.50									
2012	H24	vol.52									
2013	H25	vol.53									
2014	H26	vol.54									
2015	H27	vol.56									
2016	H28	vol.57									
2017	H29	vol.58									
2018	H30	vol.59									
2019	R01	vol.60									
2020	R02	vol.60									
2021	R03	vol.61									
2022	R04	vol.62									
2023	R05	vol.63									
2024	R06	vol.64									


 の機種は、板金部材の供給不可です。(ボルト・戸車等一部の部品については巻末資料参照)

 の機種も、部材によっては板金部材が供給できないもの、発売当時の色で供給できないものもあります。[2023年12月時点の資料です]

※ カタログ欄は、その年の代表的なvol.を記載しています。

物置の変遷 ① (1975年 ~ 2000年)

			スタンダード(独立型)				スタンダード(連続型)		二重構造タイプ		
			ベイシー	ネクスタ	ドマール	切妻屋根	引き戸式	ドア式	ナイソー	新ナイソー	断熱材付物置
											
西暦	年号	カタログ									
1975	S50		M B								
1976	S51		M B T				M B T I C L				
1977	S52										
1978	S53										
1979	S54										
1980	S55										
1981	S56				M D			M E			
1982	S57		M B N				M B N I C L	M E B			
1983	S58										
1984	S59										
1985	S60										
1986	S61										
1987	S62	vol.22									
1988	S63	vol.23									
1989	H01	vol.24		M F							
1990	H02	vol.26									
1991	H03	vol.27									
1992	H04	vol.28									
1993	H05	vol.29									
1994	H06	vol.30									
1995	H07	vol.31									
1996	H08	vol.32	M B X								
1997	H09	vol.33		M F X							
1998	H10	vol.34									
1999	H11	vol.36							S S M		
2000	H12	vol.38	M B W								
				M F W							
					M K W						
						M B W -CL					

 の機種は、板金部材の供給不可です。(ボルト・戸車等一部の部品については巻末資料参照)

 の機種も、部材によっては板金部材が供給できないもの、発売当時の色で供給できないものもあります。[2023年12月時点の資料です]

※ カタログ欄は、その年の代表的なvol.を記載しています。

物置の変遷 ② (2001年 ~)









			スタンダード(独立型)				スタンダード(連続型)		二重構造タイプ							
			ベイシー	ネクスタフォルタ	ドマール ハイウ保管庫	切妻屋根	引き戸式	ドア式	ナイソー	新ナイソー	断熱材付物置					
西暦	年号	カタログ														
2001	H13	vol.39	MBW		MFW	MKW	MBWICL	MBWIDL	MEB	SSM						
2002	H14	vol.41														
2003	H15	vol.42											×			
2004	H16															
2005	H17	vol.44														
2006	H18	vol.45	×	NX	FX	KX	NXICL	NXIDL	SMK							
2007	H19	vol.46														
2008	H20	vol.48														
2009	H21															
2010	H22	vol.49														
2011	H23	vol.50		NXN	FXN	KXN	NXNICL	NXNIDL								
2012	H24	vol.52														
2013	H25	vol.53														
2014	H26	vol.54														
2015	H27	vol.56														
2016	H28	vol.57		NXN	FXN	KXN	NXNICL	NXIDL			NXP					
2017	H29	vol.58														
2018	H30	vol.59														
2019	R01	vol.60														
2020	R02	vol.60														
2021	R03	vol.61		FS FB FK FW FT	FF FM	×	FL	FD			FP					
2022	R04	vol.62														
2023	R05	vol.63														
2024	R06	vol.64														


の機種は、板金部材の供給不可です。(ボルト・戸車等一部の部品については巻末資料参照)


の機種も、部材によっては板金部材が供給できないもの、発売当時の色で供給できないものもあります。[2023年12月時点の資料です]

※ カタログ欄は、その年の代表的なvol.を記載しています。

ガレージの変遷 ① (1975年 ~ 2000年)









			カーポート	スタンダードガレージ			リモコンシャッターガレージ			倉庫
										
西暦	年号	カタログ								
1975	S50									
1976	S51									
1977	S52		CA							
1978	S53									
1979	S54		X							
1980	S55			GA						
1981	S56									
1982	S57		CA							
1983	S58									
1984	S59									
1985	S60		X							
1986	S61									
1987	S62	vol.22								
1988	S63	vol.23								
1989	H01	vol.24								
1990	H02	vol.26								
1991	H03	vol.27								
1992	H04	vol.28								
1993	H05	vol.29								
1994	H06	vol.30								
1995	H07	vol.31								
1996	H08	vol.32								
1997	H09	vol.33								
1998	H10	vol.34								
1999	H11	vol.36								
2000	H12	vol.38								


 の機種は、板金部材の供給不可です。(ボルト・戸車等一部の部品については巻末資料参照)


 の機種も、部材によっては板金部材が供給できないもの、発売当時の色で供給できないものもあります。[2023年12月時点の資料です]

※ カタログ欄は、その年の代表的なvol.を記載しています。

ガレージの変遷 ② (2001年 ~)







			バイクガレージ	スタンダードガレージ			リモコンシャッターガレージ			倉庫
										
西暦	年号	カタログ								
2001	H13	vol.39		G K W	G C W	G H W	G H W I W			
2002	H14	vol.41								
2003	H15	vol.42								
2004	H16									
2005	H17	vol.44								
2006	H18	vol.45								
2007	H19	vol.46								
2008	H20	vol.48								
2009	H21			K R	GR	B R	B R N			
2010	H22	vol.49								
2011	H23	vol.50								
2012	H24	vol.52								
2013	H25	vol.53								
2014	H26	vol.54								
2015	H27	vol.56								
2016	H28	vol.57			GRN	B R K	D R			
2017	H29	vol.58								
2018	H30	vol.59								
2019	R01	vol.60								
2020	R02	vol.60								
2021	R03	vol.61								
2022	R04	vol.62		×						
2023	R05	vol.63	D M							
2024	R06	vol.64				×		W G		


 の機種は、板金部材の供給不可です。(ボルト・戸車等一部の部品については巻末資料参照)


 の機種も、部材によっては板金部材が供給できないもの、発売当時の色で供給できないものもあります。[2023年12月時点の資料です]

※ カタログ欄は、その年の代表的なvol.を記載しています。

ハウス・自転車置場・ゴミ保管庫の変遷 ① (1975年 ~ 2000年)












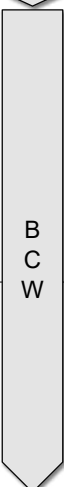


			ハウス	自転車置場					
									
西暦	年号	カタログ							
1975	S50								
1976	S51								
1977	S52								
1978	S53								
1979	S54								
1980	S55								
1981	S56								
1982	S57								
1983	S58								
1984	S59								
1985	S60								
1986	S61								
1987	S62	vol.22							
1988	S63	vol.23							
1989	H01	vol.24							
1990	H02	vol.26							
1991	H03	vol.27							
1992	H04	vol.28							
1993	H05	vol.29							
1994	H06	vol.30							
1995	H07	vol.31							
1996	H08	vol.32							
1997	H09	vol.33							
1998	H10	vol.34							
1999	H11	vol.36							
2000	H12	vol.38							


 の機種は、板金部材の供給不可です。(ボルト・戸車等一部の部品については巻末資料参照)


 の機種も、部材によっては板金部材が供給できないもの、発売当時の色で供給できないものもあります。[2023年12月時点の資料です]

※ カタログ欄は、その年の代表的なvol.を記載しています。

ハウス・自転車置場・ゴミ保管庫の変遷 ② (2001年 ~)

			ハウス		自転車置場				ゴミ保管庫	
										
西暦	年号	カタログ								
2001	H13	vol.39	 SS1	BAX	BCX					
2002	H14	vol.41		 SS2	 BAW	 BCW				
2003	H15	vol.42								
2004	H16									
2005	H17	vol.44								
2006	H18	vol.45	 X							
2007	H19	vol.46								
2008	H20	vol.48								
2009	H21									
2010	H22	vol.49								
2011	H23	vol.50								
2012	H24	vol.52								
2013	H25	vol.53								
2014	H26	vol.54								
2015	H27	vol.56								
2016	H28	vol.57		 BF [注1]						
2017	H29	vol.58								
2018	H30	vol.59								
2019	R01	vol.60								
2020	R02	vol.60								
2021	R03	vol.61								
2022	R04	vol.62								
2023	R05	vol.63								
2024	R06	vol.64								

 の機種は、板金部材の供給不可です。(ボルト・戸車等一部の部品については巻末資料参照)

 の機種も、部材によっては板金部材が供給できないもの、発売当時の色で供給できないものもあります。[2023年12月時点の資料です]

※ カタログ欄は、その年の代表的なvol.を記載しています。

[注1] BF-Aタイプ・BF-Vタイプは、2021年9月廃番 / [注2] BYNのプレートタイプは、2021年9月廃番

設計の要旨

第1. 物置は棚が生命である。

棚の高さ調節・配置替えが容易にでき、各機種にあった幅(250,300,310,350,400,450,610,642mm)の丈夫な棚にしました。

第2. 施工性

部材の標準化をはかり、工場での検査に合格した商品を出荷し、当社独自で考案した取付方法により組立を簡単にしました。

第3. 安全性

部材の切断面には折曲げ、折返しをつけ、切断面のバリ等でけがをする事がないような構造にしました。

第4. 性能

BLの各試験に合格すると同時に、当社での基準をもうけ、この基準に耐えられる構造にしました。

第5. 安く良い商品

合理的な設計・製造方法により生産性を高めました。

BL部品について

BLとはベターリビング(より良い住い)を略したものです。

BL部品はそれぞれの商品の品質、性能(安全性、機能性、耐久性)、施工性やアフターサービスなどを含めた供給体制を専門家の立場で審査し「優良住宅部品」として認定された商品です。

BL部品には瑕疵保証と損害賠償の両面からのBL保険がついています。

イナバ製品は物置(一部機種)、ガレージ(一部機種)、自転車置場で認定を取得しています。

イナバ製品の
BL認定品表示例
(自転車置場)



[BL部品認定条件]

- 1.機能に優れ、快適な居住環境を提供できるものであること
- 2.安全性が確保されたものであること
- 3.耐久性、維持性が優れたものであること
- 4.適切な施工が確保されるものであること
- 5.確実な供給、品質保証及び維持管理に係るサービスを提供できるものであること

<BL-bs部品>

BL認定品の中でも、よりよい社会の実現に寄与する特長を備えた住宅部品を「社会貢献優良住宅部品(BL-bs部品)」として位置づけた制度です。

物置の認定については「防災、減災に寄与する特長」を有している商品が対象となっています。

イナバ製品の
BL-bs認定品表示例
(物置ユニット)



[BL-bs部品認定基準(物置ユニット)]

- 1.使用材料の品質及び強度：柱、はり等の構造部材については、指定建築材料に適合したものであること
- 2.安全性の確保：風圧力のほか、地震力に対する抵抗力と安定性が確保されていること
- 3.防災レジリエンス：防災保管庫としても使用可能なオプションを保有すること

※ガレージ、自転車置場についてはBL-bs部品認定制度はありません。

<BL-RS制度>

RS制度とは、侵入窃盗被害^{*1}にあったBL認定ガレージの修復にかかる費用に対する支援金が支給される^{*2}制度です。

※1 施錠機能を有するガレージにおいて、鍵やシャッター等を破壊され、被害に遭ったもの指します。

※2 購入から5年間、侵入・窃盗を目的としたガレージ本体の破壊に対しては修復費の支援金として一律3万円が支給されます。

イナバ製品の
RS制度対象BL認定品表示例
(ガレージ)



<BLの基準>

物置ユニット・ガレージ・自転車置場は、積雪量や風の強さに対応して、区分があります。
イナバでは、下記性能区分にて、一般型、多雪型、豪雪型として認定を受けています。

認定	品目名	イナバ 性能区分	BL認定基準	
			積雪性能区分	風圧力性能区分
BL-bs部品	物置ユニット	一般型	S1200型	W830型
		多雪型	S3000型	
		豪雪型	S4500型	
BL部品 (RS制度対象)	ガレージ	一般型	S1200型	W830型
		豪雪型	S4500型	
BL部品	自転車置場	一般型	S900型	W1040型
			S1200型	
		多雪型	S3000型	
		豪雪型	S4500型	

・積雪性能区分の説明

- S900型(一般地型):積雪荷重値900N/m²に対して安全を確認したものの。
- S1200型(一般地型):積雪荷重値1200 N/m²に対して安全を確認したものの。
- S3000型(多雪地型):積雪荷重値3000 N/m²に対して安全を確認したものの。
- S4500型(豪雪地型):積雪荷重値4500 N/m²に対して安全を確認したものの。

・風圧力性能区分の説明

- W830型:基準風速34 m/s、地表面粗度区分Ⅲを想定した、風圧力830 N/m²に対して安全を確認したものの。
- W1040型:基準風速38 m/s、地表面粗度区分Ⅲを想定した、風圧力1040N/m²に対して安全を確認したものの。

<BLの要求性能>

物置ユニット(BL-bs部品)に要求される性能は次のとおりです。(一部抜粋)

性能	基準	試験方法
積雪荷重に対する 安全性	屋根面に均等に荷重を24時間加え、母屋、梁・桁等のたわみがL/150(L:支点間距離)以下かつ残留たわみがL/800以下、屋根材部品等にはずれや、屋根面の曲げ降伏などの使用上支障のある著しい変形がないこと。	等分布荷重試験 (全体)
風圧力及び地震力 に対する安全性	物置前面上部の位置から十分剛性のある当て木などを介して後方向へ水平に荷重(風圧力による荷重または地震力による荷重のうち大きき方)を1分間加え、本体各部や戸の開閉に支障を生じる著しい変形がないこと。	水平荷重試験
積載荷重に対する 床の安全性	床面に均等に4500N/m ² の荷重を24時間加え、根太等のたわみが5mm以下かつL/200(L:支点間距離)以下、及び床のたわみが根太間で10mm以下かつL/200以下であること。	等分布荷重試験 (床)
局部荷重に対する 屋根の安全性	屋根板の中央部の最も弱いと思われる部分に550Nの荷重を加え、屋根板や取付け部にはずれや曲げ降伏などの著しい変形がないこと。	局部荷重試験 (屋根)
衝撃力に対する 壁及び扉の安全性	壁及び扉の中央部及び隅角部に対して、質量1kgの鋼球により回転半径2mの振り子式の衝撃力を加えた場合、打撃部及びその周辺部に貫通及び反対側が見通せるような亀裂が生じないこと。また引戸の各部に開閉に支障のある変形が生じないこと。	衝撃試験 (振り子式衝撃試験)
扉の開閉繰り返し に対する耐久性	扉について、連続10,000回の繰り返し開閉を行い、扉の開閉に支障が生じないこと。	開閉試験 (引き戸)
防水、排水、雨仕舞 などの機能性	物置ユニット上方より毎分5リットル/m ² の水を屋根全面に、水平の設置状態で1時間、前方・後方・側方に15°傾けた状態でそれぞれ15分間、連続して散水し、屋根・壁・扉等及びそれらの周辺より漏水がないこと。	雨水試験

上記の他にも棚板の仕様、戸の操作性、サビに対する耐久性など様々な要求性能があります。
詳細はベターリビングのホームページをご覧ください。

材料、塗装について

<材料について>

イナバ製品の本体には、溶融亜鉛めっき鋼板を標準仕様として採用しています。また、屋根、桁、妻板、鼻隠しなどの部材には、より錆への耐久性のある溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板を採用しています。

<塗装・塗膜について>

全てのイナバ製品の塗装については、各部材を加工後、化成処理し、高耐候粉体ポリエステル樹脂焼付塗装または、2コートの高性能ウレタン樹脂焼付塗装(内部についてはアクリル樹脂焼付塗装)を施しており、耐候性、耐食性などに対して従来品よりさらに強い塗装となっております。また、塗膜の防錆力の耐久テストは次の技術基準に基づいて、品質管理し、合格した物置を出荷しております。

試験	試験の内容	備考
硬さ試験	鉛筆硬度Hまたは2Hで引っかけて調べ、合格すること。	塗装面が簡単に傷つかないかを確認する試験
付着性試験	塗装面に1mm間隔で11本の傷を基盤目状に付け、100個の升目の上にセロテープを貼り付け、剥がし、剥離の状態を調べ、合格すること。	塗装面に傷がついてしまっても塗装が簡単に剥げてしまわないかを確認する試験
耐おもり落下性試験	500gの重りを30cmの高さから落とし、その衝撃で割れ、剥がれの有無を見て、塗膜の衝撃抵抗性を調べ、合格すること。	衝撃が加わっても塗装の割れ、剥げが生じないかを確認する試験
耐塩水性試験	3%の食塩水にクロスカットした試験片を100時間浸して調べ、合格すること。	湿気が多い場所への設置を想定した試験
耐食性試験	500時間、5%の塩水噴霧試験で調べ、合格すること。	海岸地域や環境の悪い場所への設置を想定した試験
耐候性試験	サンシャイン型ウェザーメーターで300時間照射して調べ、合格すること。	屋外環境を疑似的に再現し、通常使用を想定した試験

上記の他にもイナバ独自の基準を設け、耐アルカリ性試験、耐汚染性試験など様々な試験をおこなっています。

製品保証について

全製品に5年間の保証が付いていますが、詳細を熟読するようにお願いします。「イナバ製品保証書」は部品箱内の取扱説明書に記載されています。施工が終わりましたら必ず、「取扱説明書」を「保管ケース」に入れて保管するよう、お客様にお渡しください。

<製品保証書内容>

製品保証

■保証内容

お買い上げ日より5年間無料で修理いたします。但し、お買い上げ日より2年を超えて発生した下記の場合の修理は有料となります。

- ①塗装の剥離、錆
- ②電装部品の不具合

*上記の保証期間は正常な組立、かつ取扱説明書に従った正常な使用状態において、製造上の責任による使用上支障をきたす欠陥があった場合のみ有効です。

*本保証書は日本国内においてのみ有効です。

■免責事項

- ①天災その他不可抗力(火災・地震・噴火・水害・雪害・落雷・暴風雨・地盤沈下等)による損傷や不具合
- ②犯罪などの不当な行為、暴動や破壊行為に起因する損傷や不具合
- ③お客様自身の使用上の誤りや維持管理を行わなかった事に起因する損傷や不具合
- ④専門業者以外による修理、改造、移設等に起因する損傷や不具合
- ⑤屋上等、風が強くあたる場所に設置して発生した場合の損傷や不具合
- ⑥強度基準を超えた条件下での使用による損傷や不具合
- ⑦組立説明書に記載している転倒防止に必要な工事がなされていない場合の転倒事故による損傷や不具合
- ⑧犬、猫、ねずみ、鳥等の小動物、昆虫、つるや根など植物に起因する損傷や不具合
- ⑨周辺の自然環境や使用環境に起因する結露、腐食又はその他の不具合
 - ・海岸付近や融雪剤等の塩害による腐食
 - ・ガス給湯器等の排気ガス、温泉地等の地域における強い腐食性ガスによる腐食
 - ・大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニアなどに起因する腐食
- ⑩隣接する建物や外構の変形等製品以外に起因する損傷や不具合
- ⑪使用に伴う接触部分の塗装やめっきの摩耗、傷、剥離、又はこれらに伴う錆等の不具合
- ⑫経年による塗装の劣化や樹脂の色あせによる外観上の変化
- ⑬軟弱地盤や寒冷地等、設置する場所の地盤に適した基礎施工を行わなかった事に起因する損傷や不具合
- ⑭機能上支障のない音、振動などの感覚的現象
- ⑮本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合
- ⑯本書の提示がない場合

*この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

*保証期間経過後の修理等について、ご不明な点は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

*当社では有償契約のメンテナンスは行っておりません。

確認申請について

<確認申請とは>

建築物を建てる場合、敷地との関係、構造等が建築基準法に適合するかどうか建築主事(もしくは指定確認検査機関)に確認申請を行い、確認済証の交付を受ける必要があります。

確認申請は本来建築主が申請を行います。



手続きが複雑なため建築設計事務所が代行して申請します。

◆確認申請が必要な建物

都市計画区域内、及び知事指定区域内の建築物の建築

但し、防火地域、準防火地域以外において増築、改築、移転をする場合、その部分の床面積が10㎡以内の場合は確認申請が不要です。

更地への新築の場合は床面積に関係なく確認申請が必要です。

◆確認申請に必要な書類 [※](設計者が建築士の場合)

- ① 確認申請書
- ② 建築士免許証の写し
- ③ 委任状(代理者をたてる場合)
- ④ 附近見取図(案内図)
- ⑤ 配置図
- ⑥ 平面図
- ⑦ 立面図(二面以上)
- ⑧ 使用材料表

設計者が建築士でない場合には下記図面も必要となる。

- ⑨ 断面図(二面以上)
- ⑩ 基礎伏図
- ⑪ 床伏図
- ⑫ 小屋伏図
- ⑬ 構造詳細図

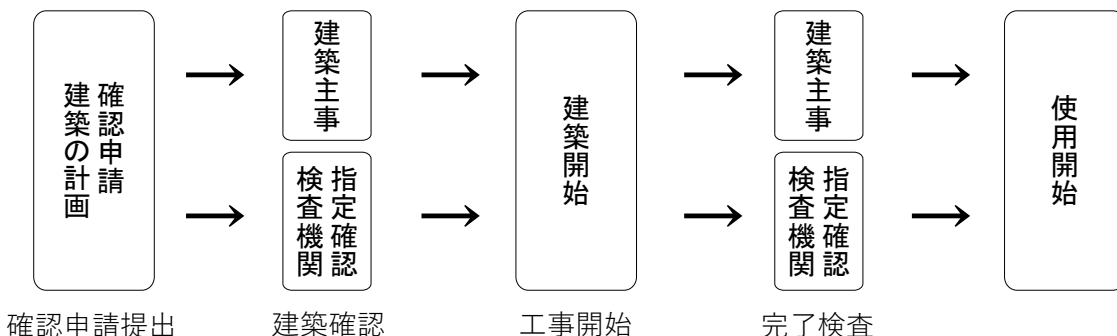
イナバで用意できる書類は⑥～⑬です。(⑬については組立説明書で代用)

※設計者が建築士の場合には「確認の特例」があり、申請図面を一部省略できます。

◆確認申請の決裁までにかかる日数と構造計算

- ① 平屋で延床面積200㎡以下の建物・・・7日程度
- ② 上記の場合は構造計算書不要・・・法第20条(法第6条)

◆建築確認の手続き



<建築物とは>

土地に定着する工作物で屋根、柱または壁があるもの。

・建築物として扱われるもの

仮設の建物、事務所、倉庫、店舗、住宅、車庫など

・建築物として扱われないもの

鉄道及び軌道の線路敷地内の運転保安に関する施設やプラットホームの上家や貯蔵槽など

建築基準法関連

●防火地域、準防火地域、法 22 条指定区域について

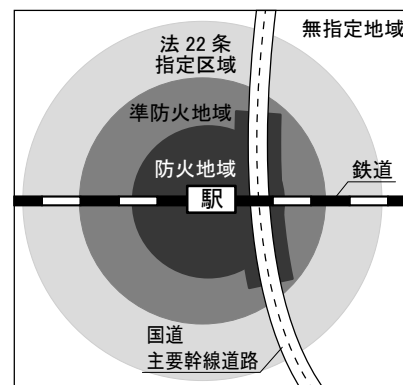
■ 防火地域

防火上の規制が最も厳しい地域

都市の中心市街地や主要駅前、主要幹線道路沿いなど、大規模な商業施設や多くの建物が密集し、火災などが起これば大惨事になりかねない地域

建築物を建てるための条件

- ①階数が3以上、もしくは延べ面積が100㎡を超える建築物は耐火建築物または延焼防止建築物としなければならない。
- ②上記以外の建築物は耐火建築物又は準耐火建築物又は準延焼防止建築物としなければならない。



■ 準防火地域

防火地域の外側で、住宅等の建物が密集して火災が起きたときの危険度が高い地域

建築物を建てるための条件

- ①地階を除く階数が4以上である建築物もしくは延べ面積が1500㎡を超える建築物は耐火建築物又は延焼防止建築物としなければならない。
- ②地階を除く階数が2以下で延べ面積が500㎡を超え1500㎡以下の建築物は耐火建築物又は準耐火建築物又は準延焼防止建築物としなければならない。

■ 法 22 条指定区域

都市計画で定められた防火地域及び準防火地域以外の市街地で防火上の規定が必要な特定行政庁が指定する区域

建築物を建てるための条件

特定行政庁が防火地域及び準防火地域以外の市街地について指定する区域内にある建築物の屋根は、不燃材料で造るか、不燃材料でふかなければならない。ただし、延べ面積が10㎡以内の物置の屋根の延焼のおそれのある部分以外はのぞかれます。



防火地域・準防火地域・22条区域共通で満たさなければいけない事項もあります

- ・防火地域・準防火地域については屋根、開口部において以下の条件も満たしていなければいけない
屋 根：不燃材
開口部：延焼の恐れのある部分のみ防火設備
- ・防火地域・準防火地域・22条区域に関係なく耐火建築物、準耐火建築物にしなればいけない場合
自動車車庫：150㎡以上の場合
倉 庫：1500㎡以上の場合
- ・自動車車庫の内装制限
自動車車庫は屋根、壁を準不燃以上にしなればいけない。(イナバ製品の屋根、壁は不燃材)

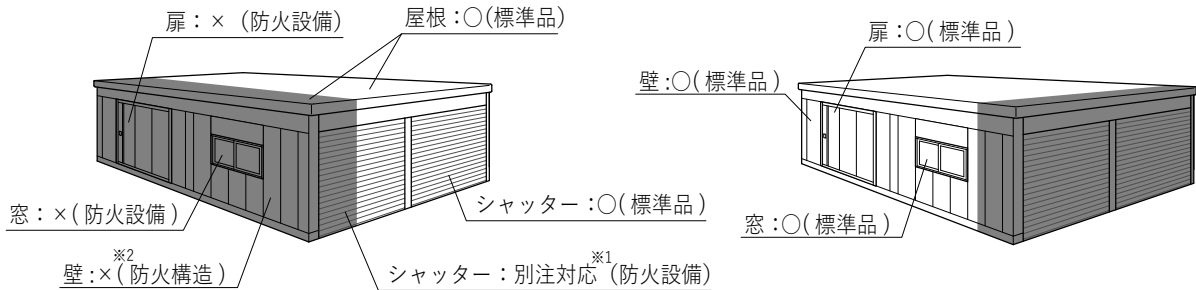
<準防火建築物等へのイナバの対応>

用途区分：自動車車庫				用途区分：倉庫			
地域	床面積	構造制限	イナバの対応	地域	床面積	構造制限	イナバの対応
防火	100㎡超	耐火建築物	×	防火	100㎡超	耐火建築物	×
	100㎡以下	準耐火建築物	下図参照		100㎡以下	準耐火建築物	下図参照
準防火	1500㎡超	耐火建築物	×	準防火	1500㎡超	耐火建築物	×
	150㎡以上 1500㎡以下	準耐火建築物	下図参照		500㎡超 1500㎡以下	準耐火建築物	下図参照
	150㎡未満	制限なし※			500㎡以下	制限なし※	
法22条	150㎡以上	準耐火建築物	下図参照	法22条	150㎡以上	準耐火建築物	下図参照
	150㎡未満	標準仕様	○		150㎡未満	標準仕様	○

※延焼の恐れのある部分は制限あり

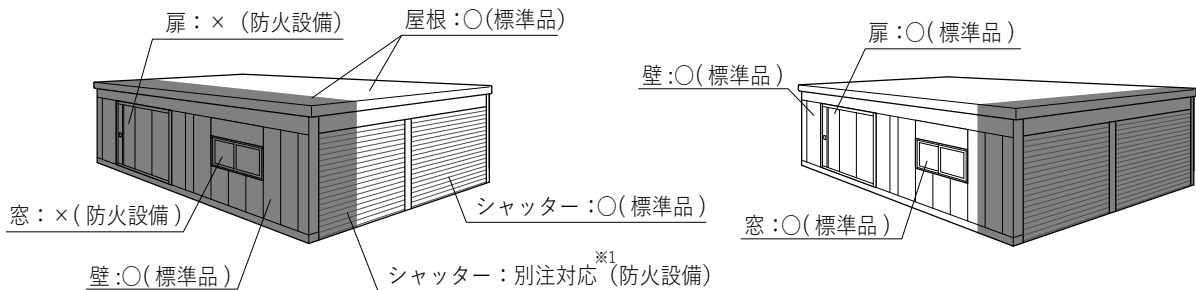
◆準耐火建築物への対応

■延焼の恐れのある部分



◆制限なし(延焼の恐れのある部分は制限あり)への対応

■延焼の恐れのある部分



※1 イナバ倉庫 SGN の高基礎、DR、BRK は防火設備仕様のシャッターにできません。

※2 市販品の防火サイディング等を張り付ければ防火構造とみなされる場合もあります。各地の建築課にご相談ください。

<延焼のおそれのある部分とは>

隣の敷地や道路で火災が発生したときに、火が燃え移る可能性のある範囲のこと

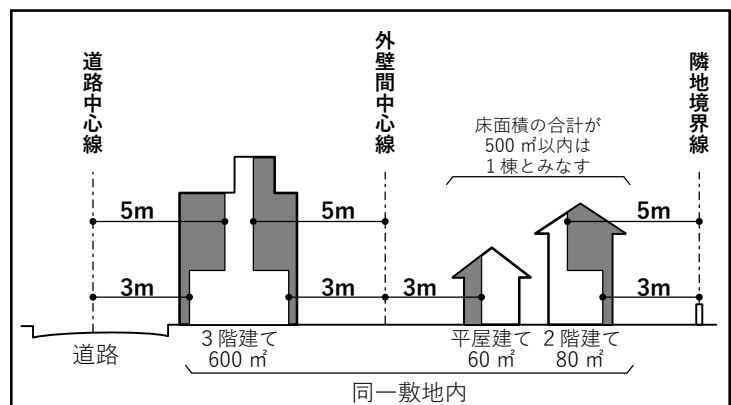
◆敷地内に1棟の場合

隣地境界線、道路中心線から
1階は3m以下、2階以上は5m以下の位置

◆敷地内に2棟以上の場合

(床面積の合計が500㎡以内は1棟の建築物とみなす)

相互の外壁間中心線から
1階は3m以下、2階以上は5m以下の位置



■部分が延焼の恐れのある部分

●用途地域内の建築制限について

・用途地域とは

建築できる建物の用途等を定めた地域。(都市計画法に基づく制度)

用途地域は、13種類あり種類ごとに建築できる建物の用途、容積率、建ぺい率などの建築規制が定められています。

[住居系]	[商業系]	[工業系]
①第1種低層住居専用地域 ②第2種低層住居専用地域 ③第1種中高層住居専用地域 ④第2種中高層住居専用地域 ⑤第1種住居地域 ⑥第2種住居地域 ⑦準住居地域 ⑧田園住居地域	⑨近隣商業系地域 ⑩商業地域	⑪工業地域 ⑫準工業地域 ⑬工業専用地域

※住宅は工業専用地域以外なら建築は可能

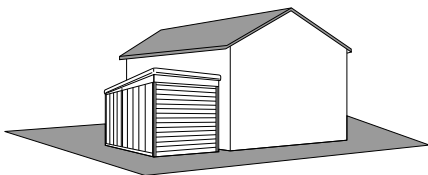
・用途地域による建築制限

※倉庫業を営む倉庫として利用する場合には付属・単独に関わらず、①～⑥、⑧の地域には建てられません。

◆他の建築物に付属する場合の制限

倉庫(物置)

用途地域の制限なし(危険物等の貯蓄はNG)



自動車車庫(ガレージ)

①②⑧:付属する建築物の延べ面積の1/2以下かつ600㎡以下

③④:付属する建築物の延べ面積の1/2以下かつ3000㎡以下

⑤⑥:付属する建築物の延べ面積の1/2以下

その他の地域は制限なし

◆単独で敷地に建つ場合の制限

倉庫(物置)

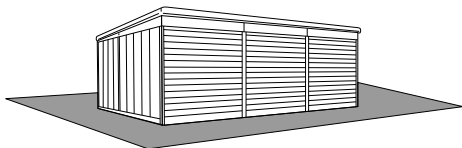
①②③:建築不可

⑧:農産物及び農業の生産資材を貯蓄するものに限る

④:1500㎡以下

⑤:3000㎡以下

その他の地域は制限なし(危険物等の貯蓄はNG)



自動車車庫(ガレージ)

①②⑧:建築不可

③④⑤⑥:300㎡以下

その他の地域は制限なし

●民法関連

・建物を建てる時は、隣との境界線より500mm以上あける事となっています。ただし、お互いので了承があれば問題はありません。

・隣の境界線より1m未満の距離に窓を付け、隣が眺められる時は目隠しをする必要があります。

●ナイソー関連の基準法

守衛室等で人が中に入ってに使用する場合は、物置として使用する場合より守らなくてはいけない事項が増えます。

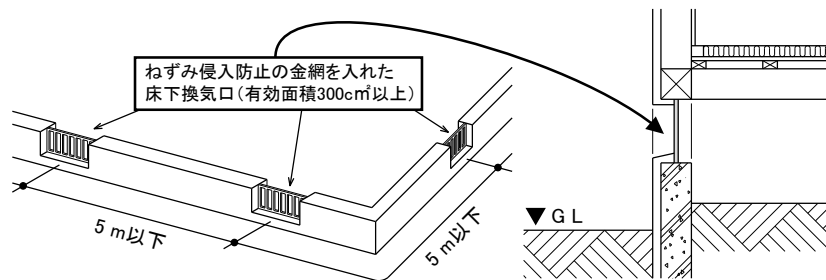
・採光面積・換気面積・排煙面積について

- | | | |
|--------|-----------------------------|-------------------------------|
| ① 採光面積 | 居室(住宅) | 床面積の1/7以上 |
| | 事務所 | 床面積の1/20以上(避難・消火・内装等の制限があるため) |
| ② 換気面積 | 床面積の1/20以上 | |
| ③ 排煙面積 | 床面積の1/50以上(天井面から800mmまでが有効) | |

・床下換気について

最下階の居室の床が木造である場合は地面からの床の高さと防湿方法が定められています。
(床下がコンクリートの場合は除く)

- ①床の高さは、直下の地面からその床の上面まで45cm以上とすること。
- ②外壁の床下部分には、壁の長さ5m以下ごとに、面積300cm²以上の換気孔を設け、これにねずみ侵入を防ぐ設備をすること。



●基準風速について

イナバの製品（一部製品を除く）は

基準風速 34m/s
(地表面粗度区分Ⅲ)

に対応する設計がされています。

※シャッター一部はシャッター補強金具が必要

<基準風速とは>

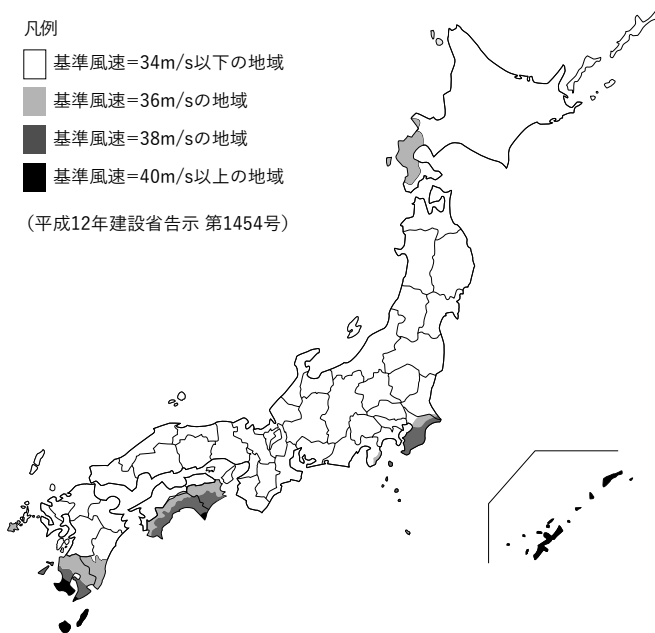
基準風速とは、国土交通省が、過去の台風の記録に基づいた風害の程度から 50 年に 1 度の大型台風を想定し、各地域に対して 30m/s ~ 46m/s 間で定めた平均風速の値です。

<用語解説>

- ・ **基準風速**
国土交通省が各地域に対して定めた平均風速の値
- ・ **平均風速**
10 分間に吹いた風速の平均値
- ・ **瞬間風速**
3 秒間に吹いた風速の平均値
- ・ **最大風速**
平均風速の最大値
- ・ **最大瞬間風速**
瞬間風速の最大値

<全国風速分布図>

- 凡例
- 基準風速=34m/s以下の地域
 - 基準風速=36m/sの地域
 - 基準風速=38m/sの地域
 - 基準風速=40m/s以上の地域
- (平成12年建設省告示 第1454号)



<風の強さと吹き方>

気象庁の HP より引用

風の強さ (予報用語)	平均風速 (m/s)	およその 時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)		
やや強い風	10以上 15未満	~50km	一般道路 の自動車	風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。 電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平に なり、高速運転中では横風に 流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20		
強い風	15以上 20未満	~70km		風に向かって歩けなくなり、 転倒する人も出る。 高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。 看板やトタン板が外れ始め る。	高速運転中では、横風に流さ れる感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるもの がある。 雨戸やシャッターが揺れる。			
非常に強い風	20以上 25未満	~90km	高速道路 の自動車	何かにつかまっていなくて 立ってられない。 飛来物によって負傷するおそ れがある。	細い木の幹が折れたり、根 の張っていない木が倒れ始め る。 看板が落下・飛散する。 道路標識が傾く。	通常で速度で運転するのが 困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するもの がある。 固定されていないプレハブ小屋が移 動、転倒する。 ビニールハウスのフィルム(被覆材) が広範囲に破れる。	30		
	25以上 30未満	~110km								
猛烈な風	30以上 35未満	~125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。 電柱や街灯で倒れるもの がある。 ブロック壁で倒壊するもの がある。	走行中のトラックが横転する。	固定の不十分な金属屋根の葺材が めくれる。 養生の不十分な仮設足場が崩落する。	50		
	35以上 40未満	~140km							外装材が広範囲にわたって飛散し、 下地材が露出するものがある。 住家で倒壊するものがある。 鉄骨建造物で変形するものがある。	60
	40以上	140km~								

(注1) 強風によって災害が起こるおそれのあるときは強風注意報を、暴風によって重大な災害が発生するおそれのあるときは暴風警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは暴風特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。
 (注2) 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。風の吹き方は絶えず強弱の変動があり、瞬間風速は平均風速の1.5倍程度になることが多いですが、大気の状態が不安定な場合等は3倍以上になることがあります。
 (注3) この表を使用される際は、以下の点にご注意下さい。
 1. 風速は地形や周りの建物などに影響されますので、その場所での風速は近くにある観測所の値と大きく異なることがあります。
 2. 風速が同じであっても、対象となる建物、構造物の状態や風の吹き方によって被害が異なる場合があります。この表では、ある風速が観測された際に、通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。
 3. 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。今後、表現など実状と合わなくなった場合には内容を変更することがあります。

イナバ製品について

<製品の強度について>

・積雪強度

BJX	MJX	KMW	物置・ガレージ・倉庫・自転車置場
3100N/m ² 135,137,139:1800N/m ²	1800N/m ² 195,196,197,216:1200N/m ² 199,217,219:1000N/m ²	1800N/m ² 196,197,216:1200N/m ² 199,217,219:1000N/m ²	一般型：1200N/m ² (BYN-33:1000N/m ² 、BP(-V):900N/m ²) 多雪型：3100N/m ² (SGN・WG:3000N/m ²) 豪雪型：4500N/m ²

・本体耐風圧

GRN、SGN、WG、FS、FB、FL、FD、FW、 FF、FM、DM、SMK、自転車置場	DR	
	W3130	W3630
基準風速34m/s	基準風速38m/s	基準風速36m/s

※ シャッター部にシャッター補強金具(別売)が必要です。(FF/FMの間口2210mm以下、DMの間口2290mm以下とDRは除く)

・シャッター耐風圧

FF・FM DM・SGN	GRN		WG-D		WG-S	DR	
	W2130～W3130	W3630	W3600・5400	W6000		W3130	W3630
500N/m ²	420N/m ²	832N/m ²	664N/m ²	832N/m ²	832N/m ²	744N/m ²	

・床耐荷重

BJX・MJX・KMW	SMK		物置
	SMK-25,36	左記以外の機種	
5000N/m ²	4900N/m ²	3000N/m ² 根太部にブロックを追加した場合:4900N/m ²	6000N/m ²

集中荷重、衝撃荷重に耐えるものではありません

・棚耐荷重

標準棚板(奥行450mm)		ワイド棚板 (奥行642mm) ナイソー用棚板(奥行610mm) 小型物置用棚板(奥行400mm以下)	棚支持金具に棚を載せる場合
幅 1391mm未満	幅 1391mm以上		
2500N/m ²	2000N/m ²		棚板の大きさにかかわらず、 棚板1枚あたり50kg

耐荷重は棚板を3段設置した場合(ワイド棚は2段)の1枚当たりのものです
集中荷重、衝撃荷重に耐えるものではありません

<実際に載せられる荷重の算出方法>

棚板01(奥行450mm×幅853mm) $0.45m \times 0.853m \times 2500N/m^2 = 959.625N$ (約96kg)

棚板01は1枚当たり約96kgまでの荷重まで載せられます。(1N=約0.1kg)

・棚支柱耐荷重

ガレージ、物置、小型物置、ナイソー	片側:443kg以下 全体:887kg以下
-------------------	--------------------------

棚支柱が支えるすべての棚板の合計荷重です

<基礎について>

組立説明書に掲載している基礎図は地耐力は $30 \sim 50\text{kN}/\text{m}^2$ ($3 \sim 5\text{t}/\text{m}^2$)

を前提としていますが、その目安としては地面に片足で立って、足がめり込まないのが基準です。

<基礎ブロックの配置について>

組立説明書のブロックの配置は物置に荷物を入れた重量と、地耐力を考えてブロックの種類と所要数を決めてあります。扉の開閉に不具合が生じるなどの原因になりますので地固めは十分におこなってください。

また、雨水によってブロック下の土が流されないような配慮が必要となります。

※重量物を収納する場合はブロックを追加してください。

<扉が施錠できない場合の原因>

錠ができない原因として下記の2点が考えられます。

1. 錠の不具合の場合
2. 土台の水平が出ていない場合

◆原因の確認方法

錠のついている扉の後ろに扉がない状態で錠が正常に動くか確認します。

動かない場合：錠に不具合があります。→錠の交換が必要

動く場合：土台の水平が出ていないです。→戸車調節または水平調整が必要（手順は下記参照）

<戸車の調節方法>

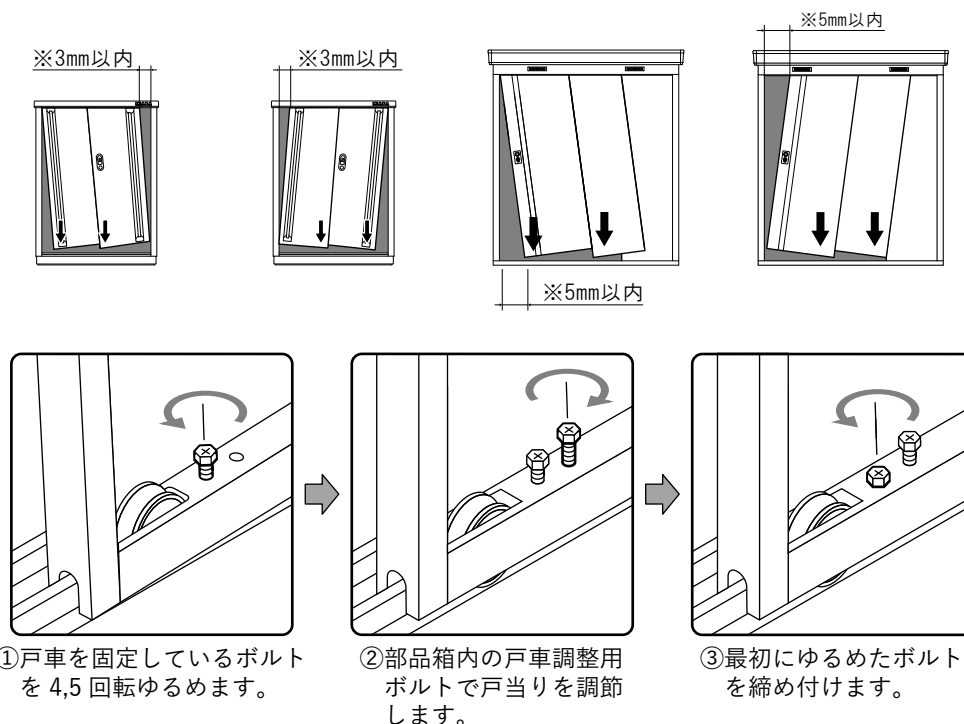
小型物置：扉と側板の隙間が 3mm 以内

中型物置：扉と柱の隙間が 5mm 以内

の場合は下記の手順で戸車調節をおこないます。（上記の寸法以上の場合は基礎の水平を出してください。）

隙間の空いている場所で調節する戸車の位置が決まっています。

下図を参照し隙間の場所と調節する戸車の位置を確認してから調節をおこなってください。



<塗装面のお手入れ方法について>

物置の表面に付着した汚れを長期間放置しておくとう腐食の原因になります。定期的にお手入れをすることでより長くきれいに保つことができます。

1. 日常のお手入れ方法

定期的な本体を水洗いして汚れ等を落とした後にワックスをかけますとチョーキング^{※1}の防止になり、輝きを取り戻せます。汚れがひどい場合は中性洗剤を薄めた液で汚れを落としてください。

※水洗いをする際には、ホースなどで勢いよく水をかけないようにしてください。(雨漏りの原因となります)
※中性洗剤を使用する場合は洗剤が残らないように注意してください。(腐食の原因となります)

2. ワックス掛けの注意点

ワックスは、使用するワックスの取扱説明書にしたがっておこなうようにしてください。

ワックスの種類は車用で構いませんが、ワックスを掛けたスポンジ等は本体に顔料が付くため、それ以外では使用しないでください。

3. サビが出てしまった場合の対処法

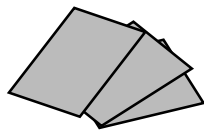
サビが出てしまった場合は、ワイヤーブラシやサンドペーパー(#80 くらい)で落とします。

はがれかかっている塗膜があれば皮すきやスクレーパーでそぎ落としてください。

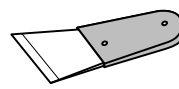
サビを落としたところは素地が出ているので、必ずサビ止めペイントを塗ってください。塗料等を塗る場合は、サビ止めペイントが十分に乾いてからおこなってください。



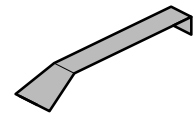
ワイヤーブラシ



サンドペーパー(紙やすり)



皮すき



スクレーパー

4. 塗料を塗る場合

イナバでは、補修用塗料として「油性系塗料(アクリル系ラッカー塗料)」を使用しています。

しかし、最近では環境問題の理由から製造業者をはじめ、販売店や消費者側も有機溶剤の使用を控えようとする動きがあるため、水性塗料も一般化してきております。

サビの発生している箇所は防錆処理後であれば、水性塗料の使用も構いませんが、念のためホームセンター等の販売店に相談して塗料を選択することをお勧めします。

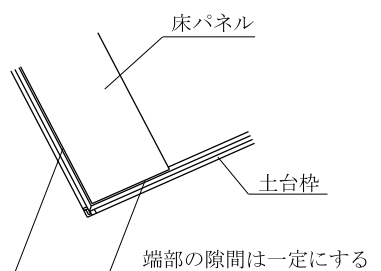
※チョーキング^{※1}を起こしていると塗料がきれいに塗れないため、水拭きと乾拭きをおこなってから塗料をぬってください。

※1 チョーキングとは塗装面の表層樹脂が劣化し、塗料の色成分の顔料がチョークのような粉体になってあらわれる現象や状態のことです。

組み立て施工とクレームについて

1) 土台枠の組み立て注意点

土台枠の角度が直角に出てない場合は、床パネルが入りにくくなったり、屋根パネルのネジ止めが困難になる等の問題が発生する場合があります。必ず床パネルを入れた時の端部の隙間は一定にする様に施工してください。



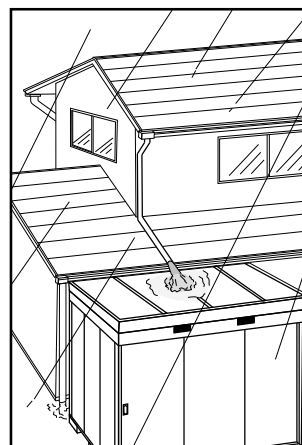
2) 壁パネルの組み付け間違い



壁パネルの組み付け間違いのため

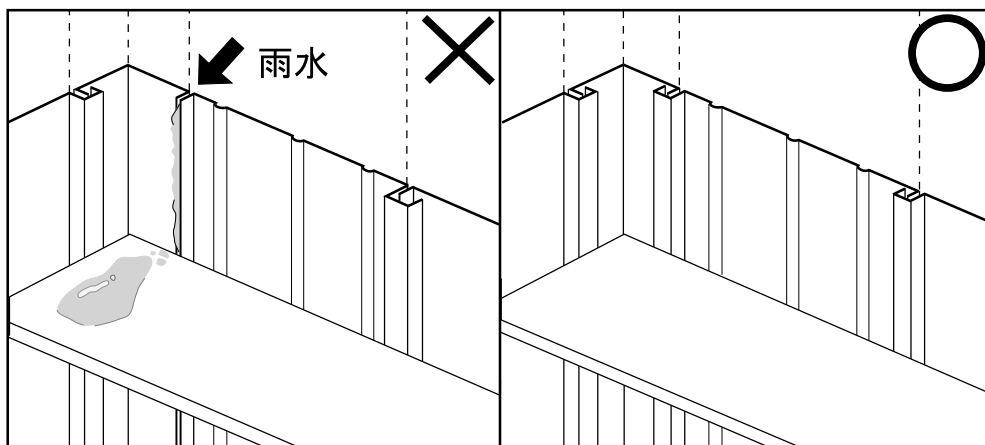
3) 物置の屋根から雨が漏る。

- ① 屋根パネルや、屋根に穴があいていた。
- ② 屋根パネルや妻板等が輸送時のダコンにより、かみ合わせに無理が生じて、パネルとパネルに隙間(約4mm)ができたため。
- ③ 大屋根の雨といがこわれていて、雨といの雨水がまとまって物置の屋根に落下、何倍もの圧力が屋根の継ぎ目にかかり、雨水が浸入。
- ④ 屋根に木の葉等がたまっただけで雨漏りが発生。



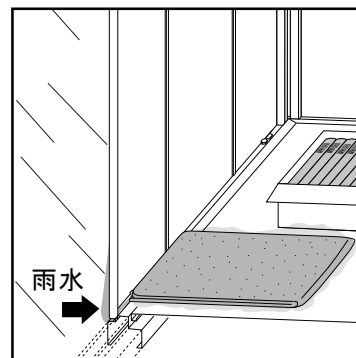
4) 棚板の端の方に雨が浸入するクレームの場合。

後面の壁パネルを片側から全て組み、さらに端の部分に支柱を取り付けなかったために、その部分から雨水が浸入した。

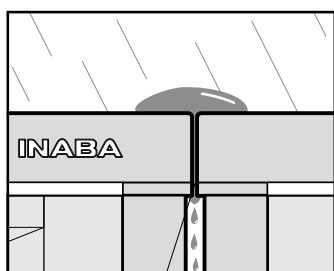


5) 物置の床が水浸しになった。

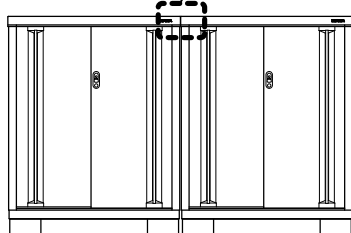
床に毛布等水分を吸収する物を敷いたために起こった問題であり、その敷き方に原因があった。
壁パネルの下部のネジ板とボルトの部分には雨水が浸入する場合があります。その雨水を敷き物が毛細管現象により吸い取り水浸しになった。



6) 小型収納庫の屋根から雨が浸入するクレーム

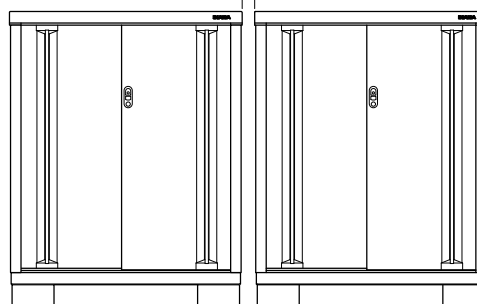


すき間が少なすぎると雨水がたまり、庫内に雨水が浸入するおそれがある



小型収納庫を隣同士に設置する場合、屋根同士の隙間が少なすぎると雨水がたまってしまい、屋根の端板から雨水が浸入する恐れがあります。小型収納庫を隣同士に設置する場合は屋根同士の間隔を最低10mmはとるようにしてください。

屋根と屋根の隙間は最低10mm開けてください



●組立についての問い合わせ

まずお客様に組立説明書を電話のところに持って来てもらい、自分も電話のところに組立説明書を置いて、説明書のどこのところまで組んだかを聞きます。このようにして、お客様がわからないところが説明書のどこなのかを確認してから説明しますと、問い合わせは大部分電話で解決できます。

●商品不良についてのお願い

- ① 商品には間違いのないように、厳重な品質の管理をして検査の上、出荷していますが、万一間違いがありましたときは、製造番号と共に問題の箇所をご連絡下さい。適切な処置を致します。
- ② 製造番号は製造日毎に物置につけている番号で、検査合格した商品に「合格した印」として、押してあります。製造番号が表記されている部材は、「組立説明書」又は「梱包明細」を参照下さい。
- ③ 製造番号を確認して頂く理由は、この番号で、製造日をはっきりさせ、ミスした工程の作業者は誰か、どんな作業方法だったか、作業段取りはどうだったか等ミスした原因を、もとにさかのぼり徹底的に追求し、再発防止策をたてるうえで必要となりますので必ずご連絡下さい。

物置 バイクガレージ編

オプション品について

●棚下引出し・スライド床小型機種別対応表

- ・棚下引出し(引出し):棚板奥行450mm専用、Sタイプ(幅270mm)とLタイプ(幅583mm)です。
- ・スライド床(床):本体奥行515mmと615mmのみに対応。
※ 他の機種には取り付け不可です。
- ・窓下棚に棚下引出しは取付けできません。

MJX

W900,1100

	引出し	床
094A	×	×
094B	×	×
094D	×	×
095A	×	×
095B	×	×
095C	×	×
096C	×	×
096D	×	×
097C	△S	×
097D	△S	×
097E	△S	×
114A	×	×
114B	×	×
114D	×	×
115A	×	○
115B	×	○
115C	×	○
115D	×	○
115E	×	○
116C	×	○
116D	×	○
116E	×	○
117B	△S	×
117C	△S	×
117D	△S	×
117E	△S	×
119D	△S	×
119E	△S	×

W1320,1520

	引出し	床
134A	×	×
134B	×	×
135A	×	○
135C	×	○
135D	×	○
135E	×	○
136C	×	○
136D	×	○
136E	×	○
137B	△S	×
137C	△S	×
137D	△S	×
137E	△S	×
139D	△S	×
139E	△S	×
155A	×	○
155B	×	○
155C	×	○
155D	×	○
155E	×	○
156C	×	○
156D	×	○
156E	×	○
157B	○	×
157C	○	×
157D	○	×
157E	○	×
159D	○	×
159E	○	×

W1740,1940,2160

	引出し	床
175B	×	○
175C	×	○
175D	×	○
175E	×	○
176D	×	○
176C	×	○
176E	×	○
177C	○	×
177D	○	×
177E	○	×
179D	○	×
179E	○	×
195C	×	○
195D	×	○
195E	×	○
196C	×	○
196D	×	○
196E	×	○
197C	○	×
197D	○	×
197E	○	×
199D	○	×
199E	○	×
216D	×	○
216E	×	○
217D	○	×
217E	○	×
219D	○	×
219E	○	×

BJX

	引出し	床
065A	×	○
065C	×	○
065D	×	○
065E	×	○
067D	×	×
067E	×	×
095A	×	○
095C	×	○
095D	×	○
095E	×	○
097D	○	×
097E	○	×
099D	○	×
099E	○	×
115A	×	○
115C	×	○
115D	×	○
115E	×	○
117D	○	×
117E	○	×
119D	○	×
119E	○	×
135C	×	○
135D	×	○
135E	×	○
137D	○	×
137E	○	×
139D	○	×
139E	○	×

※ 引出し欄の「△S」はSタイプ(幅270mm)は取付け可能です。

※ 引出しサイズが棚板よりも大きい場合は取り付け不可です。

S:棚板64(W430)より小さい棚は取り付け不可です。

L:棚板46(W743)より小さい棚は取り付け不可です。

※ 1枚の棚板に引出しを**2個**取り付ける場合

S + S:棚板34(W875)より大きい棚は取り付け可能です。

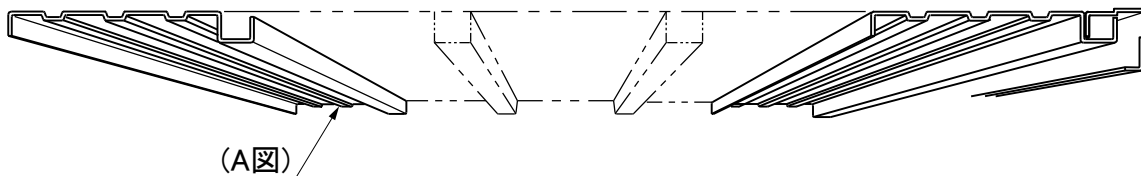
S + L:棚板24(W1181)より大きい棚は取り付け可能です。

L + L:該当する棚板はありません。

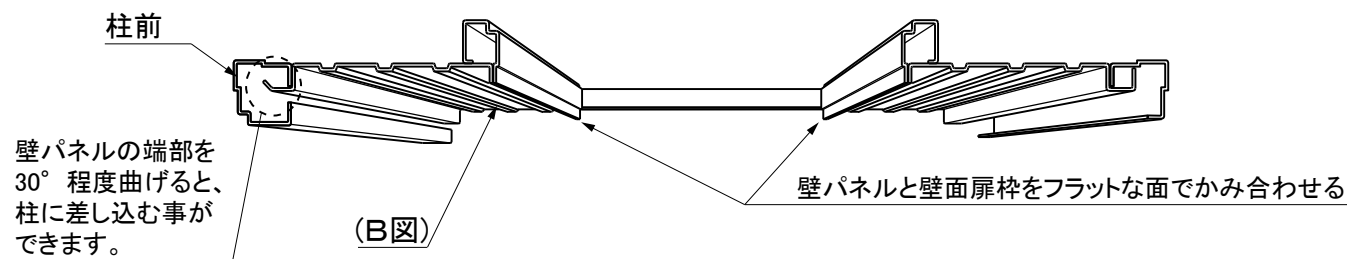
● 壁面扉、ガラス窓取り付けの注意点

壁面扉(ガラス窓)は、それぞれ所定の壁パネル数のスペースがあれば取り付けられますが、次の場合は注意してください。

- ① 壁パネルが、A図のようなかみ合わせになっている場合は、取り付けができませんので、B図のように壁パネルを逆にして、壁面扉を取り付けてください。



- ② 下の図は標準扉の場合の取り付け例
壁パネルのコの字を30°程度曲げて、柱前にかみ合わせ、そして壁面扉を取り付けてください。



● オプション品の取り付け制限

<隣同士の場合>

フォルタ・ドマール・バイク保管庫・アルシアフィット

○・・・取付可 ×・・・取付不可

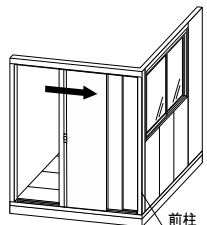
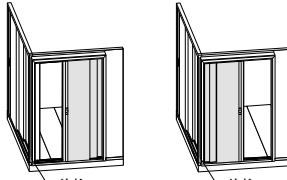
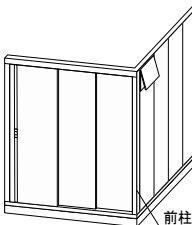
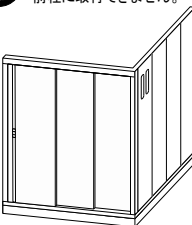
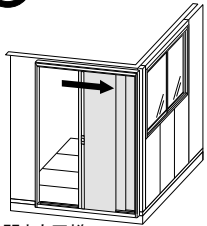
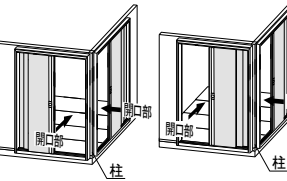
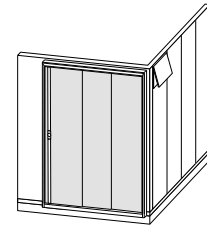
<p>× ガラス窓+ガラス窓</p>	<p>ガラス窓+小窓パネル</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>S</th> <th>H</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GF-2</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>GF-3</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>GF-4</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		S	H	GF-2	○	○	GF-3	×	○	GF-4	×	○	<p>○ ガラス窓 + 採光壁・通気換気扇・メッシュ</p>	<p>○ 採光壁・小窓換気扇・通気メッシュ + 採光壁・小窓換気扇・通気メッシュ</p>
	S	H													
GF-2	○	○													
GF-3	×	○													
GF-4	×	○													
<p>× 壁面扉+ガラス窓 (SF・SFG)</p>	<p>× 壁面扉+壁面扉 (SF・SFG) (SF・SFG)</p>	<p>× 壁面扉+小窓パネル (SF・SFG)</p>	<p>○ 壁面扉 (SF・SFG) + 採光壁・通気換気扇・メッシュ</p>												

※ 柱と柱の間には、オプション(壁面扉、ガラス窓)の取り付けは1つのみとなります。

<コーナーの場合>

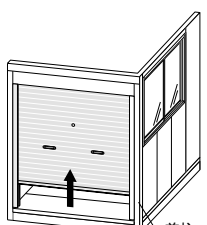
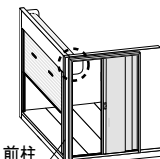
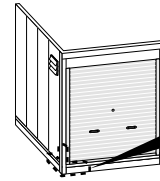
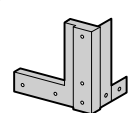
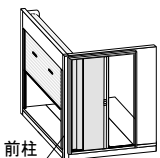
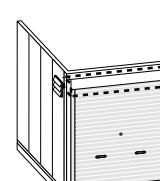
フォルタ

○・・・取付可 ×・・・取付不可

オプション	ガラス窓	壁面扉・内施錠付引戸	小窓パネル・通気パネル・採光壁・大型採光壁 20cm換気扇パネル・メッシュ付壁パネル
標準仕様			
引込式2枚戸 引分戸	<p>✕ 前柱にガラス窓の取付はできません。</p>  <p>逆開きも同様</p> <p>※イラストは引き込み式2枚戸</p>	<p>壁面扉の開口部を前柱寄りに取り付けしないでください。(開口部が狭くなります)</p>  <p>前柱</p> <p>✕ ○</p> <p>※イラストは引き込み式2枚戸</p>	<p>✕ 小窓パネルは前柱に取付できません。</p> <p>○ 通気・大型採光壁・採光壁換気扇・メッシュは前柱に取付できません。</p>   <p>前柱</p> <p>※イラストは引き込み式2枚戸</p>
壁面扉	<p>○</p>  <p>逆開きも同様</p>	<p>壁面扉の開口部を柱の両脇に並べないでください。</p>  <p>開口部</p> <p>柱</p> <p>✕ ○</p>	<p>○</p> 

ドマール・バイク保管庫

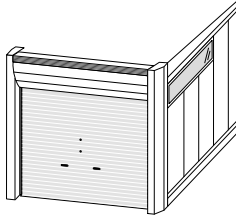
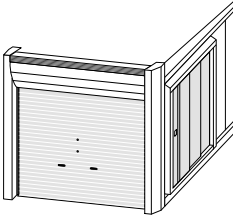
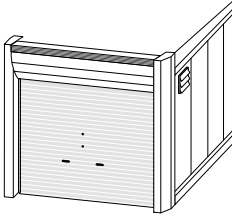
○・・・取付可 ×・・・取付不可

ガラス窓	壁面扉・内施錠付引戸	小窓パネル・通気パネル・採光壁・大型採光壁 20cm換気扇パネル・メッシュ付壁パネル
<p>✕ 前柱にガラス窓の取付はできません。</p>  <p>前柱</p>	<p>開口部にシャッターが重なります。</p> <p>開口部 前柱寄り</p>  <p>前柱</p> <p>✕</p>	<p>L金具とN支柱が干渉します。</p> <p>バイク保管庫 (床付のみ)</p>  <p>✕</p>  <p>L金具</p>
	<p>正面P部 前柱寄り</p>  <p>前柱</p> <p>バイク保管庫 (床付のみ) ... ✕ L金具と枠支柱が干渉します。</p> <p>ドマール/ バイク保管庫 ... ○ (床付以外)</p>	<p>ドマール・バイク保管庫 (床付以外)</p>  <p>小窓換気扇 ... ✕ シャッターが干渉します。</p> <p>採光壁 大型採光壁 ... ○ 通気メッシュ</p>

<コーナーの場合>

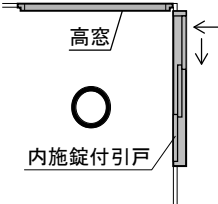
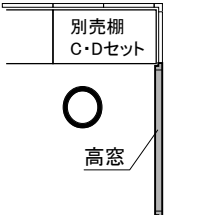
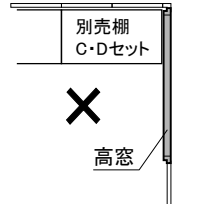
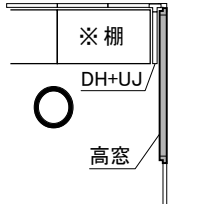
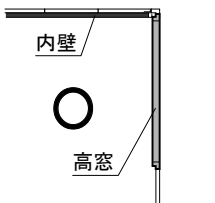
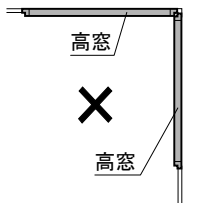
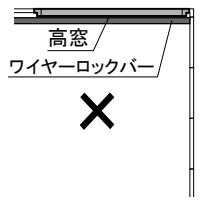
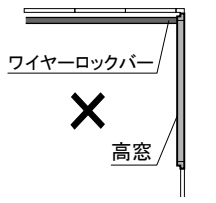
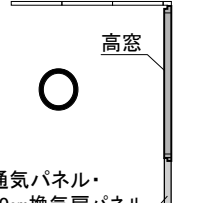
アルシアフィット

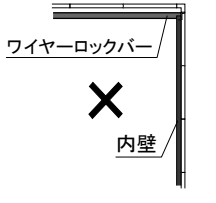
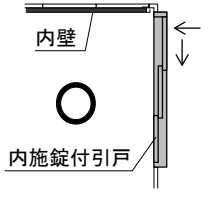
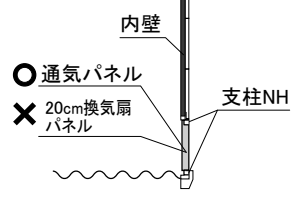
○…取付可 ×…取付不可

高窓	内施錠付引戸	通気パネル・20cm換気扇パネル
<p>✕ 化粧柱が干渉します</p> 	<p>✕ 化粧柱が干渉します</p> 	<p>シャッターが干渉します。 20cm換気扇パネル … ✕ 通気パネル … ○</p> 

<高窓・内壁の取付制限>

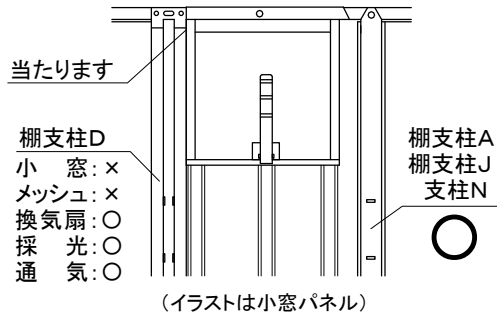
アルシアフィット

高窓				
 <p>○ 内施錠付引戸</p>	 <p>○ 高窓</p> <p>高窓左右補強に棚フックを引っ掛けます。</p>	 <p>✕ 高窓</p>	 <p>○ 高窓</p> <p>※内壁用棚配置で取付可。</p>	
 <p>○ 高窓</p> <p>高窓を内壁より先に取付けてください。</p>	 <p>✕ 高窓</p> <p>高窓を柱後の両角に取付不可。</p>	 <p>✕ 高窓</p> <p>ワイヤーロックバーを取り付けた場合、高窓を柱後寄りに取付不可。(柱後から壁1枚以上挟んで高窓を取付可。)</p>	 <p>✕ 高窓</p>	 <p>○ 高窓</p> <p>通気パネル・20cm換気扇パネル</p>

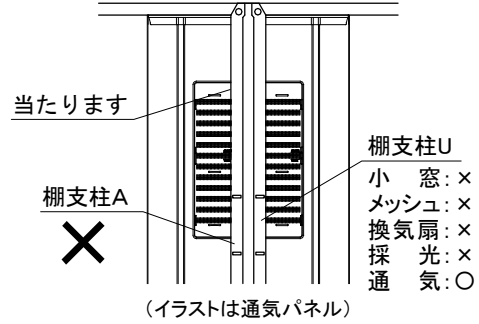
内壁		
 <p>✕ 内壁</p> <p>ワイヤーロックバーを取り付けた場合、内壁は取付不可。</p>	 <p>○ 内施錠付引戸</p> <p>内壁と引戸を柱後の両角に取付可。</p>	 <p>○ 通気パネル ✕ 20cm換気扇パネル</p> <p>支柱NH</p> <p>内壁の隣に通気パネル取付可。(20cm換気扇パネルは柱前寄りに取付不可。)</p>

● その他の注意点

＜棚支柱A・J・Dとオプションパネル＞



＜棚支柱A・Uとオプションパネル＞



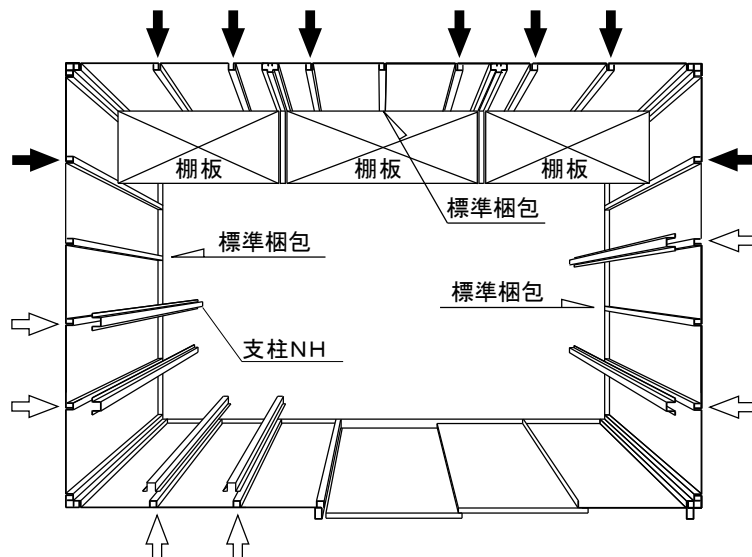
- * 小窓パネルは棚板の所への取り付けはなるべくさけてください。
- * オプションパネルの隣に棚支柱Jを使用する場合は支柱Nの上に留めて下さい。

＜扉、ガラス窓と棚板の関係 (フォルタドマール・バイク保管庫の場合)＞

					○…取付可	×…取付不可
	引き込み式2枚戸	壁面扉		ガラス窓		壁面扉・ガラス窓
	×	○	SF-3: × SF-4: × SF-5: ○ (V支柱必要)	×	×	×
	×	×	○ V支柱使用	○	×	○

● 強風地用壁補強セット取り付けについて(Hタイプ専用オプション)

補強(支柱NH)は下図の位置に取り付けてください。(例:FS-3522H)



- ↑印の位置に取り付けてください。
- ↑印の位置は棚なしの時のみ必要となります。
- (注1) ガラス窓等のオプション品の取り付け位置に補強(支柱NH)は必要ありません。
- (注2) FWの場合は開放側にも壁補強セットを取り付けてください。

棚支柱・棚支持金具について

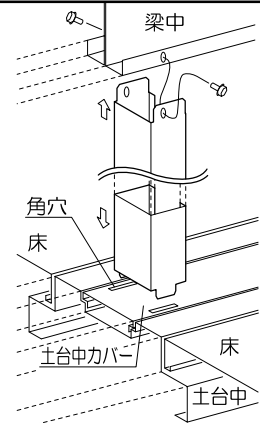
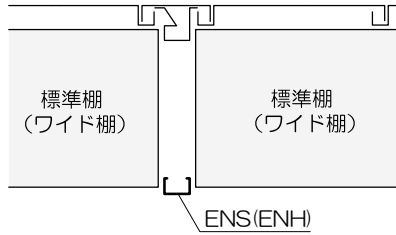
●壁パネルに取り付ける棚支柱（FORTAシリーズ）

棚支柱 AS・AH		
<p>土台部A支柱を立てるための穴がある箇所を使用。 ※カタログ記載の棚支柱A使用位置以外、取付不可。</p>	<p>取付可能な支柱：棚支柱C(CW) 棚支持金具AN</p>	
棚支柱 DS・DH		
<p>標準棚をL字に配置する時に使用。</p>	<p>取付可能な支柱：棚支柱CJ(CJW) 棚支持金具UJ</p>	
棚支柱 JS・JH		
<p>壁パネルと壁パネルの間で使用。 (土台部にA支柱用の穴がない箇所)</p>	<p>取付可能な支柱：棚支柱CJ(CJW) 棚支持金具UJ</p>	
棚支柱 US・UH		
<p>壁パネルの中間に使用。</p>	<p>取付可能な支柱：棚支柱CJ(CJW) 棚支持金具UJ</p>	

● 梁中・土台中に取り付ける棚支柱 (FORTAシリーズ)

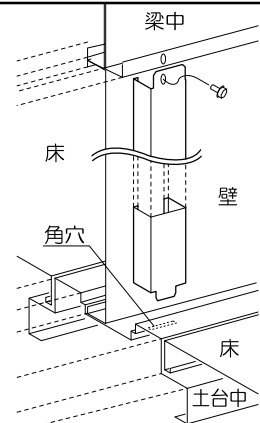
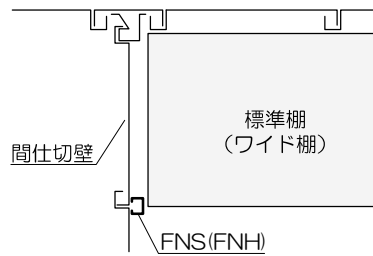
棚支柱 ENS・ENH

FS(6本柱仕様)・FF/FMで土台中カバーを取り付けた時に使用。



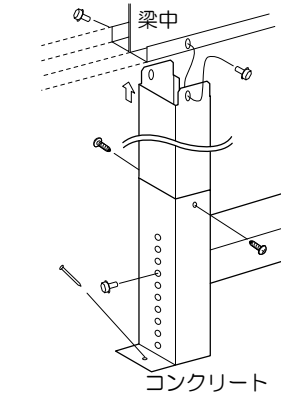
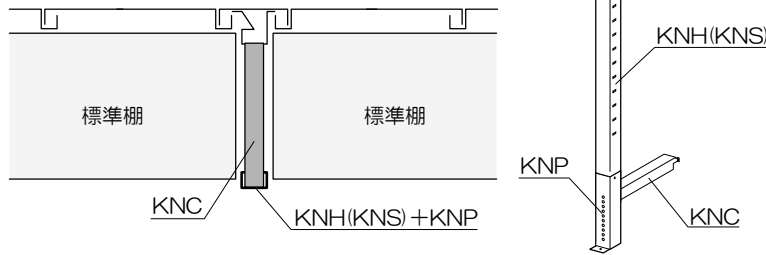
棚支柱 FNS・FNH

FL・FF/FMの土台中に間仕切壁を取り付けた時に使用。
※FS(6本柱仕様)の土台中には角穴がないため、使用不可。



棚支柱 KNS・KNH + KNP

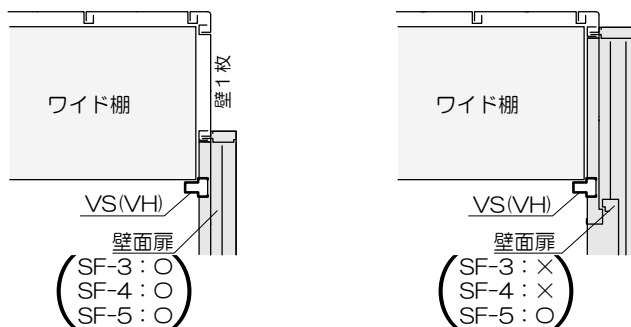
FF/FM連棟の土間仕様で、土台中を入れない時に使用。
[土間から基礎天までの高さ0~200mmまで対応可能
調整範囲は10mmピッチ]



● 壁面扉に取り付ける棚支柱 (FORTAシリーズ)

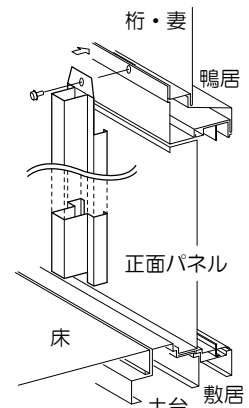
棚支柱 VS・VH

ワイド棚を取り付ける場合、壁面扉の正面パネルがある箇所に使用。

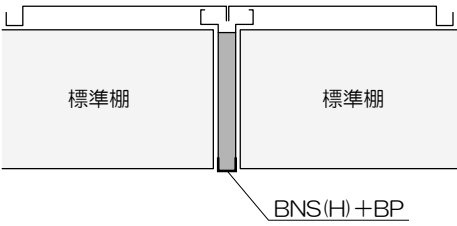
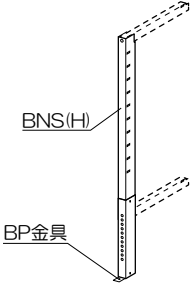


壁面扉が柱寄せ以外の場合

壁面扉が柱寄せの場合



●棚支柱 B (FORTAシリーズ)

棚支柱 BNS・BNH+ BP	
<ul style="list-style-type: none"> ・FF(土間仕様)の時に使用。 ・棚支柱BNS(H)を取り付けた時に使用。 <p>[土間から基礎天までの高さ0~200mmまで対応可能 調整範囲は10mmピッチ]</p> 	<p>取付可能な支柱：棚支柱BNS(BNH)</p> 

●棚支柱 C (FORTAシリーズ)

・棚支柱 C(CW)

取付可能な支柱：棚支柱AS(H)
棚支柱BNS(H)

・棚支柱 CJ(CJW)

取付可能な支柱：棚支柱DS(H),JS(H),US(H)
棚支柱BNS(H)

●棚支持金具 (FORTAシリーズ)

・棚支持金具 AN

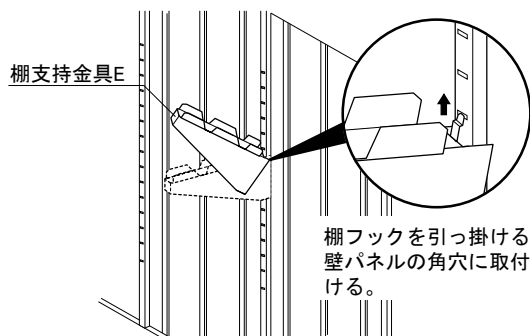
取付可能な支柱：棚支柱AS(H)

・棚支持金具 UJ

取付可能な支柱：棚支柱DS(H),JS(H),US(H)

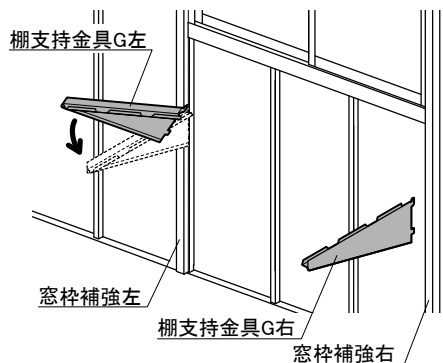
・棚支持金具 E

取付位置：壁パネルの角穴に取り付ける。
※壁パネルを留めるネジ板・ボルトがある場所(角穴の最上段など)には取付不可。



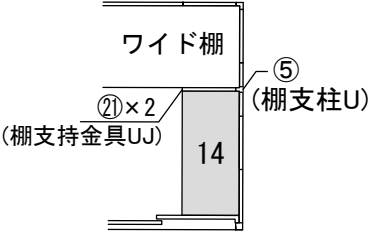
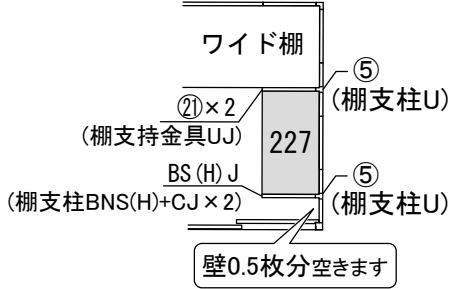
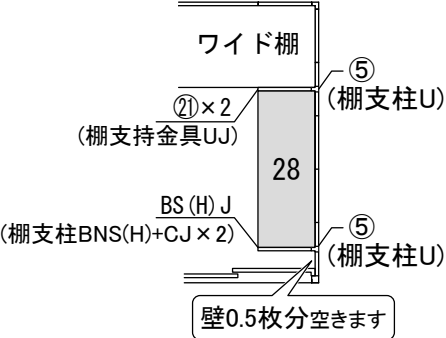
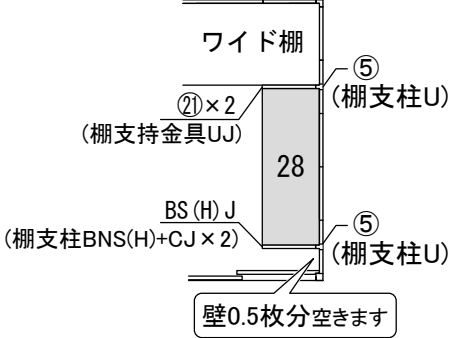
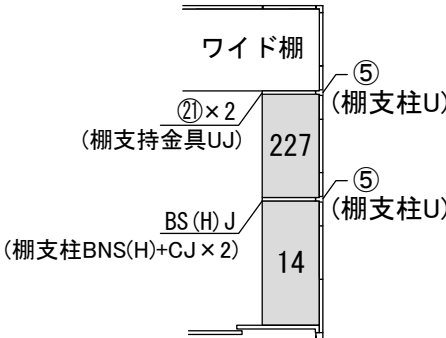
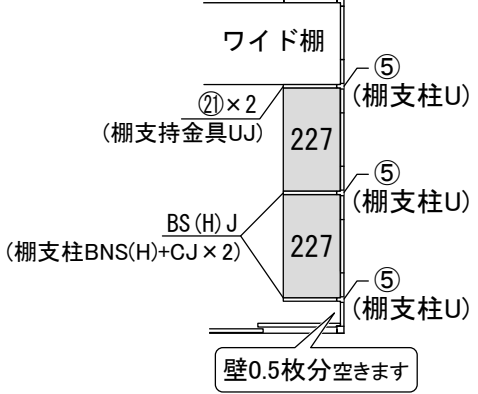
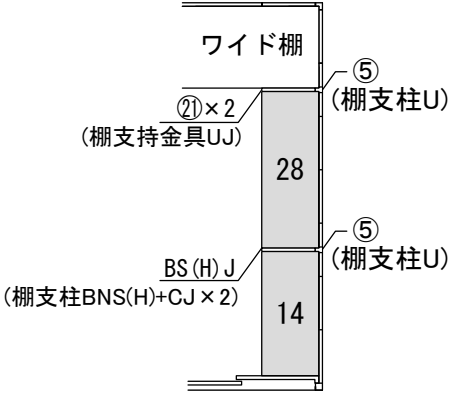
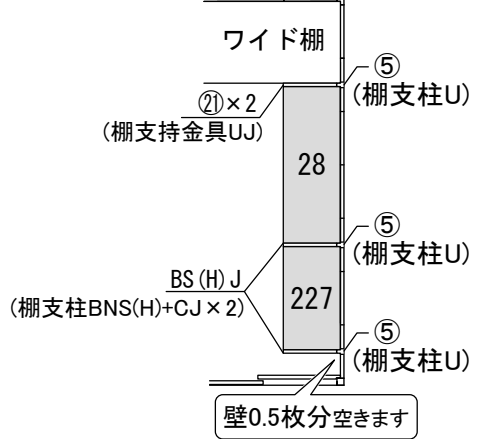
・棚支持金具 G (窓下棚用)

取付位置：窓枠補強の角穴に取り付ける。
※ガラス窓が引き分け戸の柱寄りに取付けている場合は取付不可。



FORTA 標準扉 ワイド棚L字配置図 (棚板2段の場合)

※全壁タイプとは配置が異なります。

	引き込み式2枚戸	引き分け戸
奥行 2 3.4 枚 950 mm 1530 mm	取り付けできる棚はありません	取り付けできる棚はありません
奥行 4 枚 1790 mm		
奥行 5 枚 2210 mm		
奥行 6 枚 2630 mm		
奥行 7 枚 3050 mm		

FORTA全壁タイプ L字棚板配置図 (棚板2段の場合)

※引き込み式2枚戸、引き分け戸は配置が異なります。

	1.後面標準棚	2.後面ワイド棚
奥行 4枚 1790 mm		
奥行 5枚 2210 mm		
奥行 6枚 2630 mm		
奥行 7枚 3050 mm		
奥行 8枚 3470 mm		

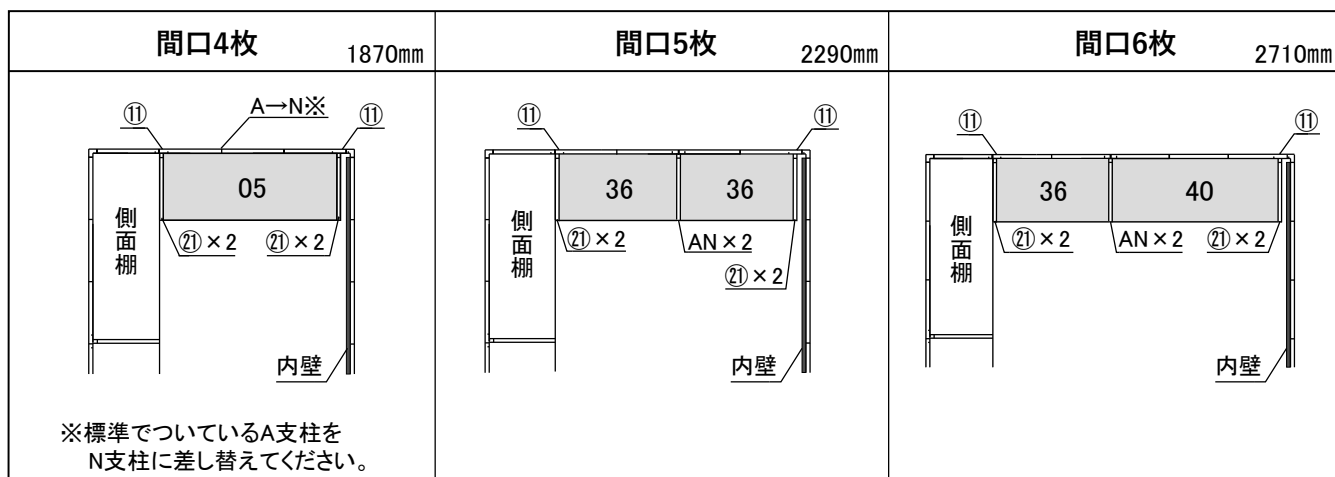
FF、FM型 側面棚板配置図 (棚板2段の場合)

※シャッター面より必ず壁1枚分空けて取り付けてください。

	1.後面棚なし	2.後面標準棚	3.後面ワイド棚
奥行 4枚 1790mm			
奥行 5枚 2210mm			
奥行 6枚 2630mm			
奥行 7枚 3050mm			
奥行 8枚 3470mm			

DM型 内壁がついている場合のL字配置図 (棚板2段の場合)

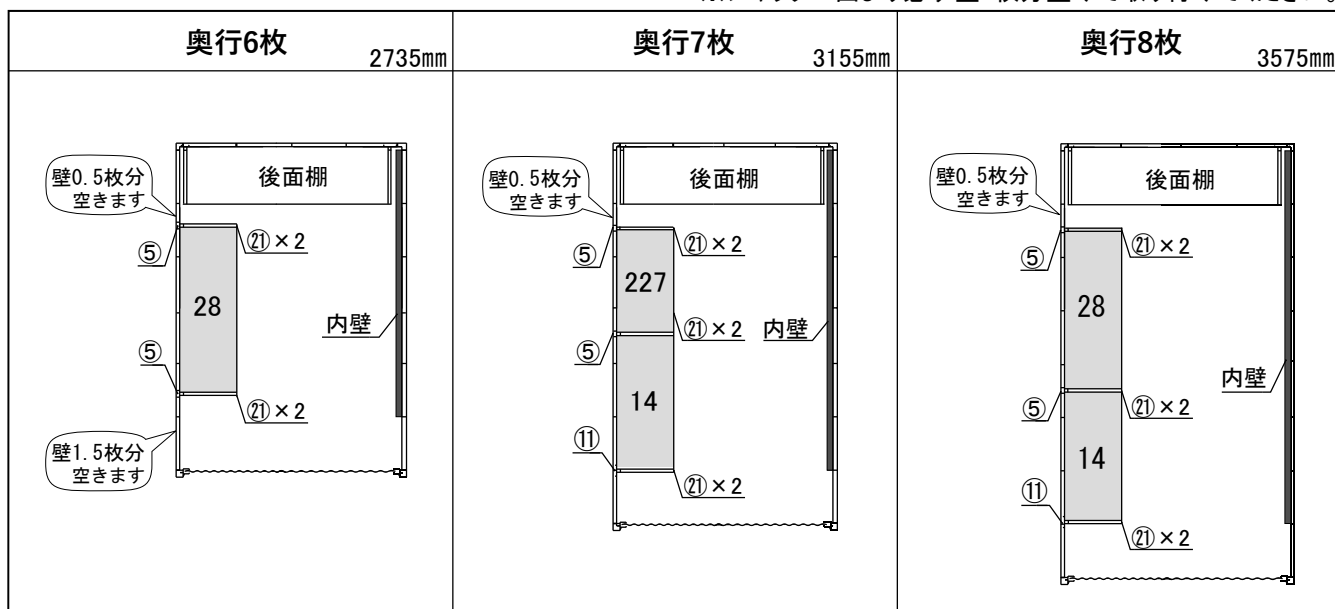
〈側面棚がちの配置〉



⑪: 棚支柱D ⑳: 棚支持金具UJ AN: 棚支持金具AN

〈後面棚がちの配置〉

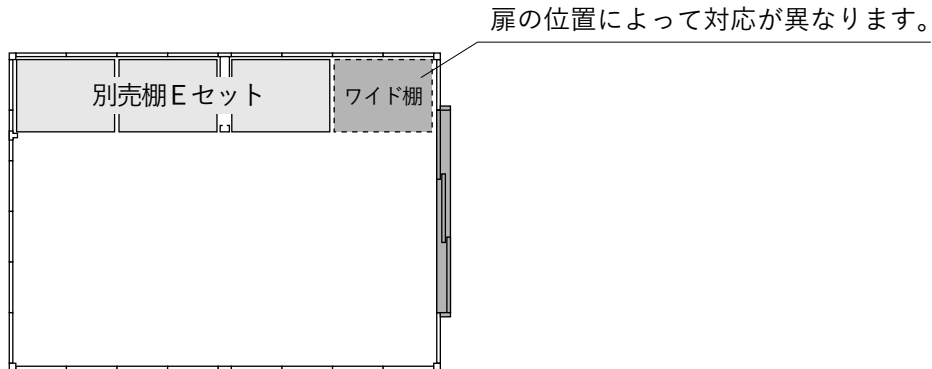
※シャッター一面より必ず壁1枚分空けて取り付けてください。



⑤: 棚支柱U ⑪: 棚支柱D ⑳: 棚支持金具UJ

●FORTA 縦長大型物置 (FT) のワイド棚について

FTの別売棚Eセット（側面ワイド棚）は全面棚の設定ではありませんが、ワイド棚を追加し、側面全面ワイド棚にすることは可能です。
ただし、扉の位置によって対応が異なるため、注意が必要です。



<側面全面棚にする場合の対応方法>

壁パネルで受ける場合	正面パネルで受ける場合① (柱寄りに壁パネルが1枚あり)	正面パネルで受ける場合② (柱寄りに壁パネルなし)
<p>ワイド棚</p> <p>棚支柱 U</p> <p>OK</p> <p>棚支柱Uが必要</p>	<p>ワイド棚</p> <p>棚支柱 V</p> <p>OK</p> <p>棚支柱 V が必要</p>	<p>ワイド棚</p> <p>NG</p> <p>V 支柱取付不可のため</p>

タイヤ収納について

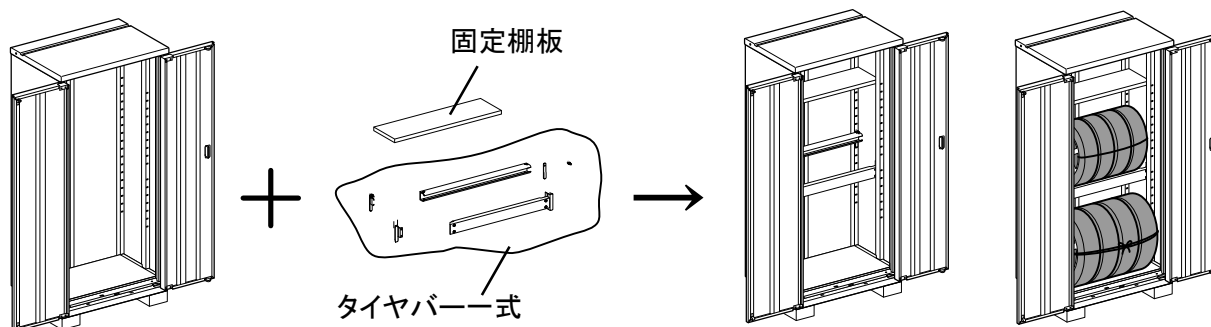
タイヤ収納を目的とした機種、オプションは3種類あります。

●タイヤストッカー

<仕様>

本体はBJX（アイビーストッカー）と共通仕様（すべて共通部材）です。

BJXにタイヤバー一式を追加することで、タイヤを収納することが可能です。



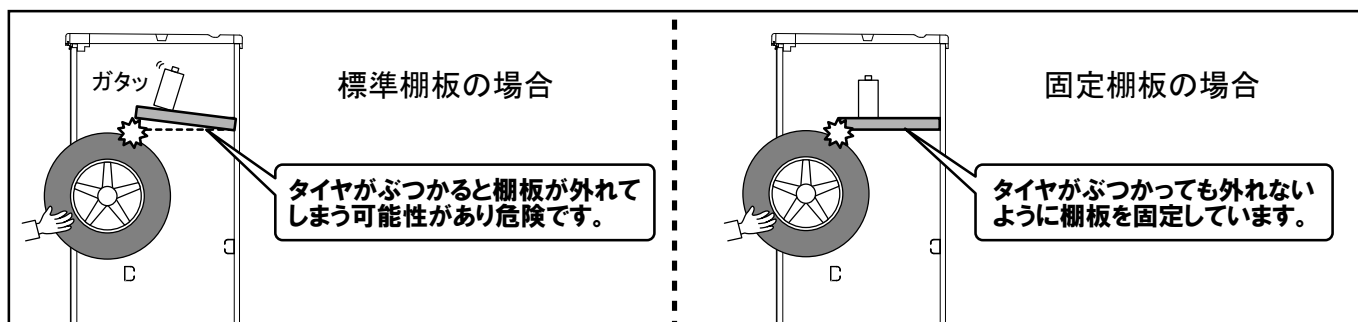
BJX-097,099D・Eタイプ
-117,119D・Eタイプ
-137,139D・Eタイプ

タイヤストッカー

<固定棚板（E高さのみのオプション）>

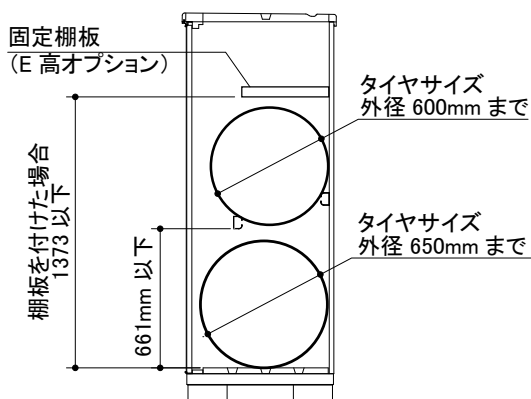
E高さに小さめのタイヤを2段収納する場合は、固定棚板（別売）を付けることができます。

上段に収納しているタイヤを出し入れする際に、タイヤが棚板にぶつくと棚板が浮いてしまう可能性があります。棚板脱落防止のために必ず固定棚板を使用してください。



・固定棚板を取り付けた場合のタイヤ収納サイズについて

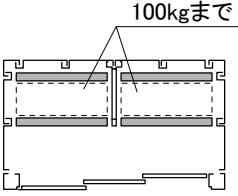

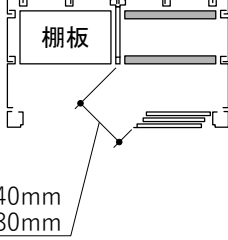
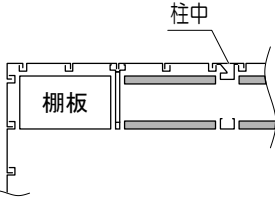
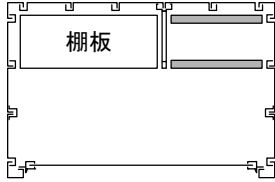
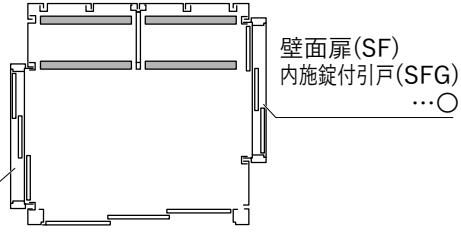
上段に収納できるタイヤサイズ600mmまで、下段に収納できるタイヤサイズ650mmまでとなります。



●タイヤバー

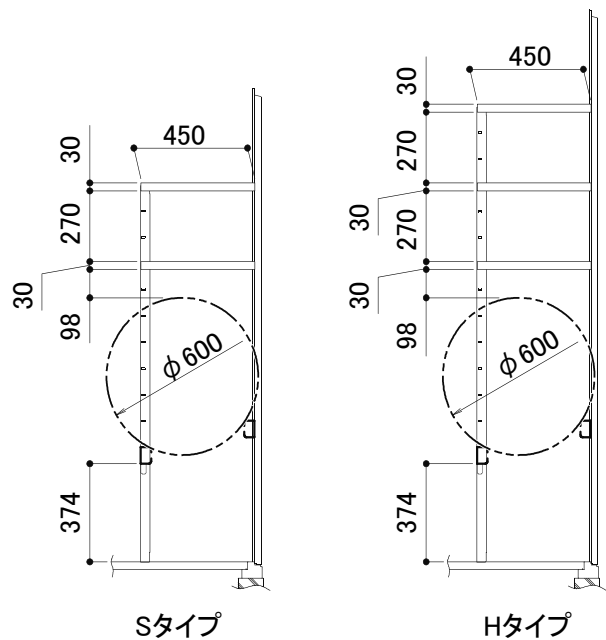
<取付制限>

タイヤバーのみの使用は支柱が安定しません。棚板と併用してください。
FWの開放側、FFの土間タイプ、FDには取り付けできません。
その他の取付制限は、下図を参照してください。

 <p>100kgまで</p> <p>連続して取付可</p>	 <p>ワイド棚</p> <p>ワイド棚には取付不可</p>	 <p>棚板</p> <p>1809S : 約 440mm 2209S : 約 380mm</p> <p>△</p> <p>本体1809S、2209Sに取り付ける場合 タイヤが収納しづらい(狭い)のでご注意ください。</p>
 <p>柱中</p> <p>棚板</p> <p>柱中寄りには取付不可</p>	 <p>棚板</p> <p>土間タイプには取付不可 (床付タイプは取付可)</p>	<p>【他オプションがつく場合】</p>  <p>壁面扉(SF) 内施錠付引戸(SFG) ...○</p> <p>壁面扉 ...○ 框ドア ...○ ガラス窓 ...○</p>

<棚板とともに使用する場合の制限>

タイヤバーの取り付け位置によって棚板にのせる
収納物の高さに制限が生じますのでご注意ください。

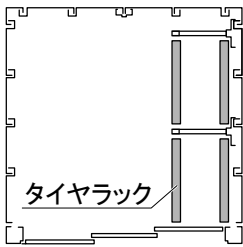
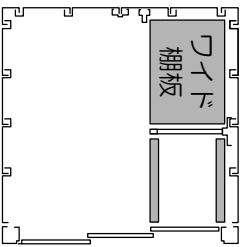
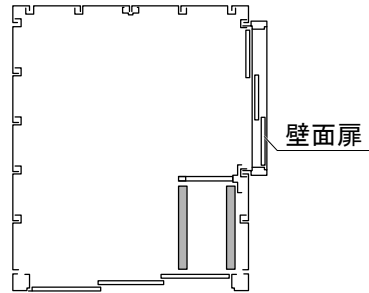
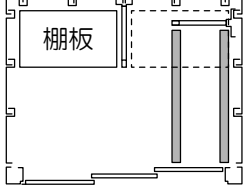
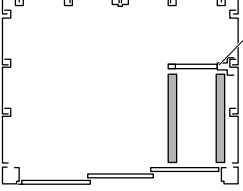
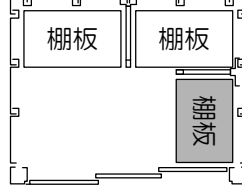
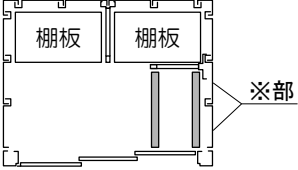
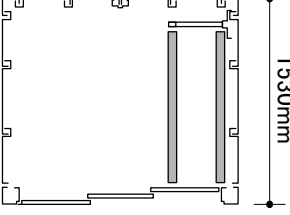
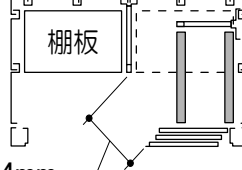


※イラストはタイヤバーを一番低い位置に取り付けた場合

●タイヤラック

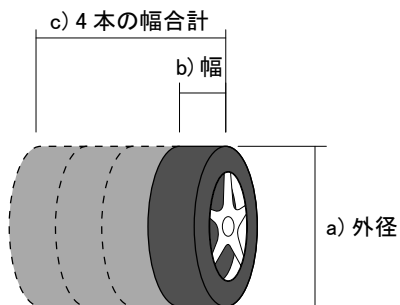
<取付制限>

FS、FK、FB、FL、FW物置側以外への取り付けはできません。
その他の取付制限は、下図を参照してください。

 <p>連続しての取付不可</p>	 <p>ワイド棚の隣には取付不可</p>	 <p>壁面扉、 壁面扉</p> <p>連続しての取付不可</p>
 <p>後面棚と交差は取付不可</p>	 <p>J支柱</p> <p>A、E、F、J、K、U支柱の横には取付不可</p>	 <p>正面パネル裏にすでに棚板がついている場合はタイヤラックを追加できません。</p>
 <p>※部</p> <p>※部にガラス窓・小窓パネル・メッシュ付壁パネルが付いている場合は取付不可</p>	 <p>1530mm</p> <p>奥行K-3.4(D1530)全長には取付不可</p>	 <p>1809S : 約 444mm 2209S : 約 388mm</p> <p>△</p> <p>本体1809S、2209Sに取り付ける場合、標準棚板を取り外せば取付可能ですが、タイヤが収納しづらい(狭い)のでご注意ください。</p>

<収納できるタイヤサイズ>

タイヤストッカーおよびタイヤラックの下段に収納できるタイヤサイズは下表を参照してください。



収納するタイヤの合計幅寸法が
収納可能タイヤ幅を超えないように注意してください。

■車種タイプ別タイヤサイズ(参考サイズ)

車種タイプ	参考サイズ	a) 外径	b) 幅	c) 4本の幅合計
軽自動車	155/65R14	559	157	628
コンパクトカー	185/65R15	621	189	756
5ナンバーセダン	185/55R16	610	192	768
Mクラスミニバン	195/65R15	635	199	796
スポーツ	205/55R16	632	211	844
3ナンバーセダン	215/60R16	664	218	872
Lクラスミニバン	235/50R18	693	241	964
大型SUV	285/60R18	799	292	1168

寸法(mm)はあくまでも目安です。メーカーや年度によって異なるため、実際に収納するタイヤサイズをご確認ください。

● **タイヤラック配置例**

タイヤラックの隣に側面棚を取り付けた場合は下表は参考にしてください。
(引き込み式2枚戸用、引き分け戸用、壁面扉用共通)

追加で下記部材が必要になる場合があります。

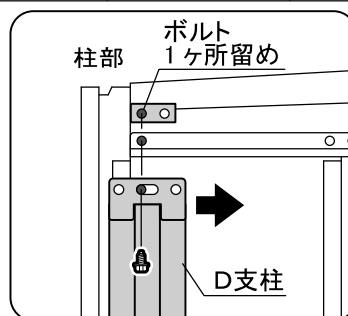
- D** ...棚支柱セットDS(H) 棚支柱DS(H) + 棚支柱セットBS(H)J 棚支柱BNS(H)+CJ×2
- U** ...棚支柱セットUS(H) 棚支柱US(H) + 棚支柱セットBS(H)J 棚支柱BNS(H)+CJ×2

〈後面標準棚〉

	奥行2枚	奥行3枚	奥行4枚	奥行5枚	奥行6枚	奥行7枚	奥行8枚
後面標準棚	標準棚 × 設置できない	標準棚	標準棚	標準棚 D 227	標準棚 D 28	標準棚 D 227 D 227	標準棚 D 28 D 227
後面ワイド棚	ワイド棚 × 設置できない	ワイド棚 × 設置できない	ワイド棚	ワイド棚	ワイド棚 U 227	ワイド棚 U 28	ワイド棚 U 28
後面棚なし			227 D	28 D	227 D 227 D	28 D 227 D	28 D 28 D

● **注意**

後面棚なしのとき、() 部のD支柱は右図のようにタイヤラック側に寄せてボルト1ヶ所で留めてください。



●奥行棚が標準の機種に取り付けの場合

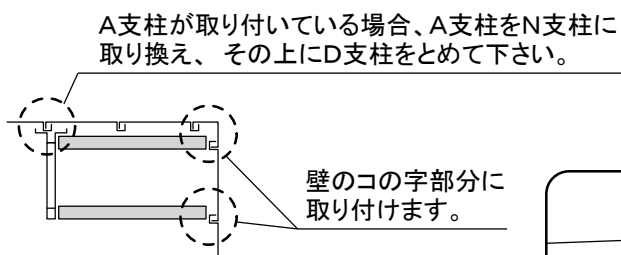
奥行棚が標準の機種にタイヤラック(引き込み式2枚戸用)を取り付けたい場合は、下表を参考にして下さい。

	奥行3枚		奥行4枚		奥行5枚		奥行6枚	
標準								
タイヤラック 取付時	K-2用	K-3用	K-2用	K-3用	K-2用	K-3用	K-2用	K-3用
	 棚板41は使用 できません。	 棚板41は使用 できません。	 棚板01, 36と棚 支柱は使用でき ません。	 棚板01, 36と棚 支柱は使用でき ません。	 棚板02, 36と棚 支柱は使用でき ません。	 棚板02, 36と棚 支柱は使用でき ません。	 棚板40は使用 できません。	 棚板02, 40と棚 支柱は使用でき ません。

●正面パネル裏以外の場所に取り付けたい場合

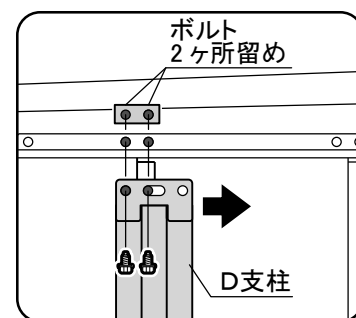
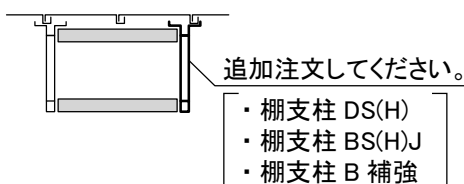
①コーナー部に取り付けたい場合

壁面扉タイプ用(TFK-2,3)を使ってコーナー部へ取り付けることができます。右図参照



②中間部に取り付けたい場合

引き込み式2枚戸用(TTW-2,3)に棚支柱を追加注文することで、取り付けることができます。右図参照



※①、②とも、D支柱はタイヤパー側に寄せて取り付けてください。

※通常の取り付け方(片側が正面パネル)やコーナー部への取り付けと違い、両脇とも棚支柱で支える為、通常よりも不安定になります。棚支柱へ強い衝撃が加わると、座屈してタイヤが落下するなど事故の原因になります。収納時には大きな衝撃を与えないようにタイヤを収納してください。

アンカー施工 (転倒防止工事) について

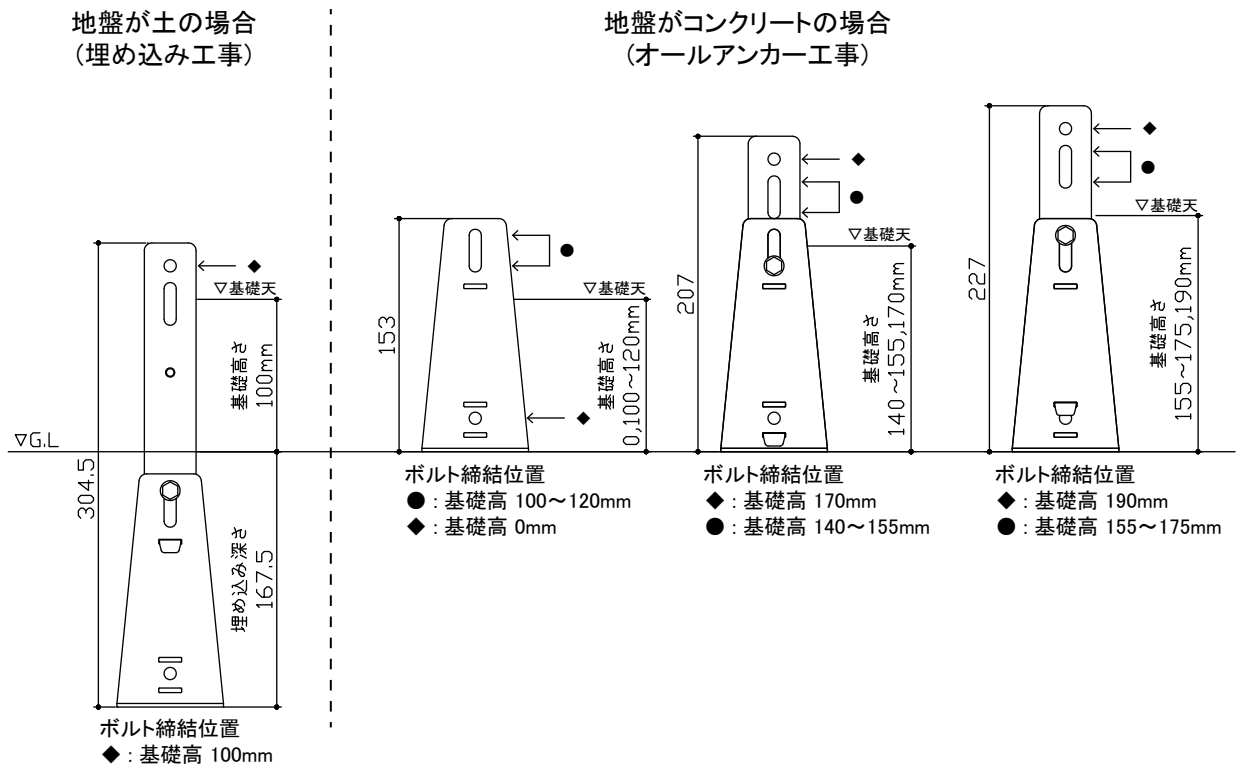
●外アンカープレート一覧

FS・FK・FW(物置側)・FF(床付)・FM(床付)・FB・FL・FD・FP	
<p>アンカープレートR(コーナー用)</p> <p><RA> <RB></p> <p>塗装色: ミストグレー</p>	<p>アンカープレートV(中間用)</p> <p><VA> <VB></p> <p>塗装色: ミストグレー</p>
FW(開放側)	BJX,MJX,KMW
<p>アンカープレートX</p> <p><XA左(右)> <XB左(右)></p> <p>塗装色: ミストグレー</p>	<p>アンカープレートK</p> <p><KA> <KB></p> <p>塗装色: ミストグレー(BJX,MJX)、フランネルグレー(MJX-F) ブロンズグレー(KMW)</p>
SMK	
<p>アンカープレートM(コーナー用)</p> <p><MA> <MB></p> <p>塗装色: メローグレー</p>	<p>アンカープレートT(中間用)</p> <p><TA> <TB></p> <p>塗装色: メローグレー</p>

※10㎡以上の機種は布基礎での施工をお勧めします。

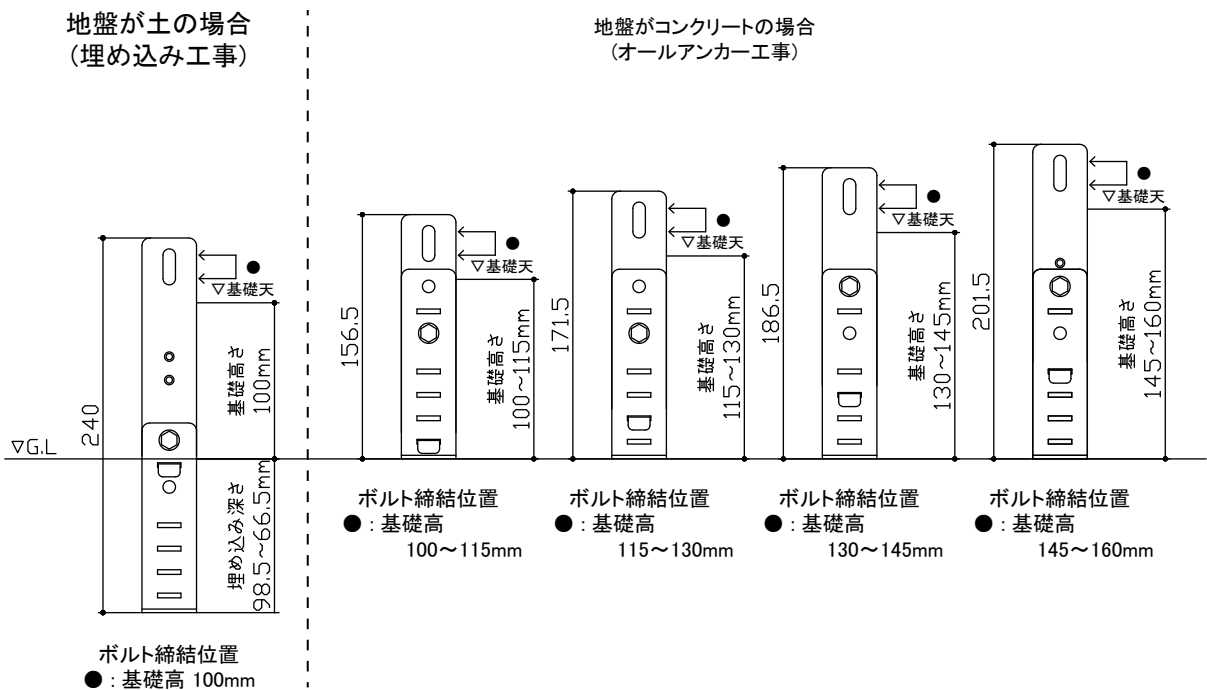
●外アンカープレート施工詳細図(中型物置用)

※イラストはアンカープレートRですが、その他アンカープレートも関係は同様です。



※本体と締結するボルト位置は、基礎高さに+22mmした高さ

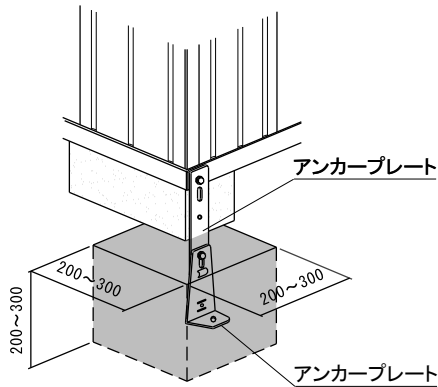
●外アンカープレート施工詳細図(小型物置用)



※本体と締結するボルト位置は、基礎高さに+27.5(～59.5)mmした高さ

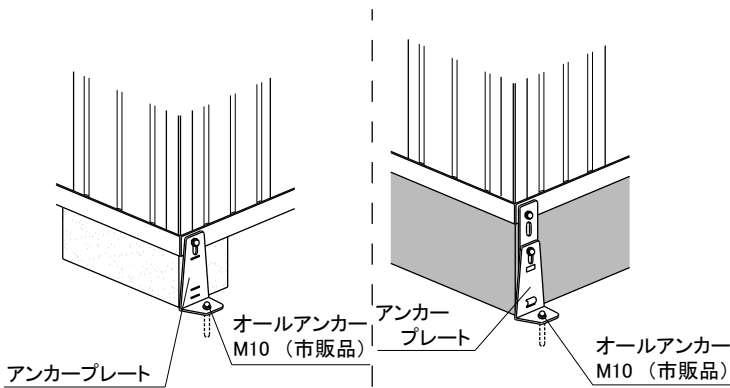
● 施工方法一覧

<地盤が土またはアスファルトの場合>



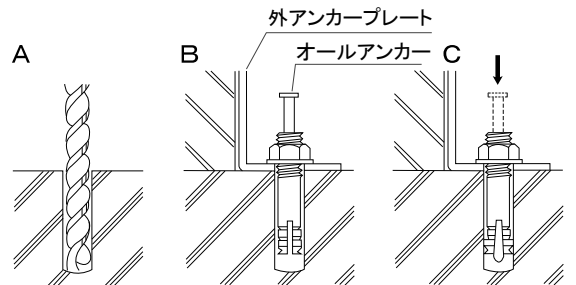
物置の四隅に転倒防止適量の
コンクリートが入る穴を掘り、
アンカープレートで
固定してコンクリートを打ちます。

<地盤がコンクリートの場合>



部品箱内のアンカープレート物を物置の四隅に
固定し、
ドリルで掘った穴にオールアンカーで地盤と固定します。

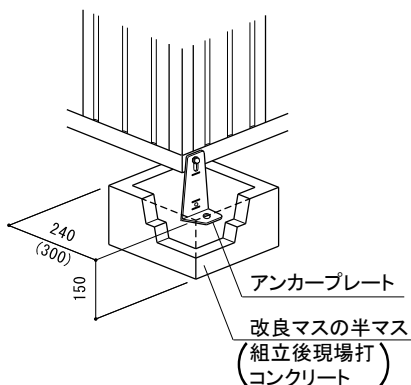
オールアンカー詳細



- A. オールアンカーの打ち込み位置に、埋め込む
深さより5~10mm深くΦ10.5の穴を空けます。
- B. 外アンカープレートと本体を固定し、オールア
ンカー(M10)をセットします。
- C. 芯棒がオールアンカーに接するまで、ハンマー
で打ち込み、ナットを締め付けます。

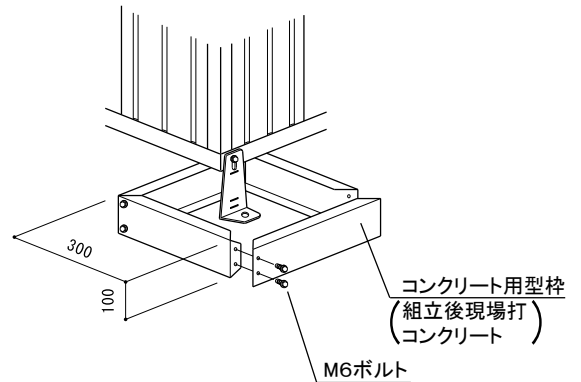
<地盤に穴が空けられない場合>

改良マスの半マス使用



部品箱内のアンカープレート物を物置の四隅に
固定する。ブロックの代わりに置いた改良マス
の中に入れ、コンクリートを流し重石にします。

イナバコンクリート用型枠使用

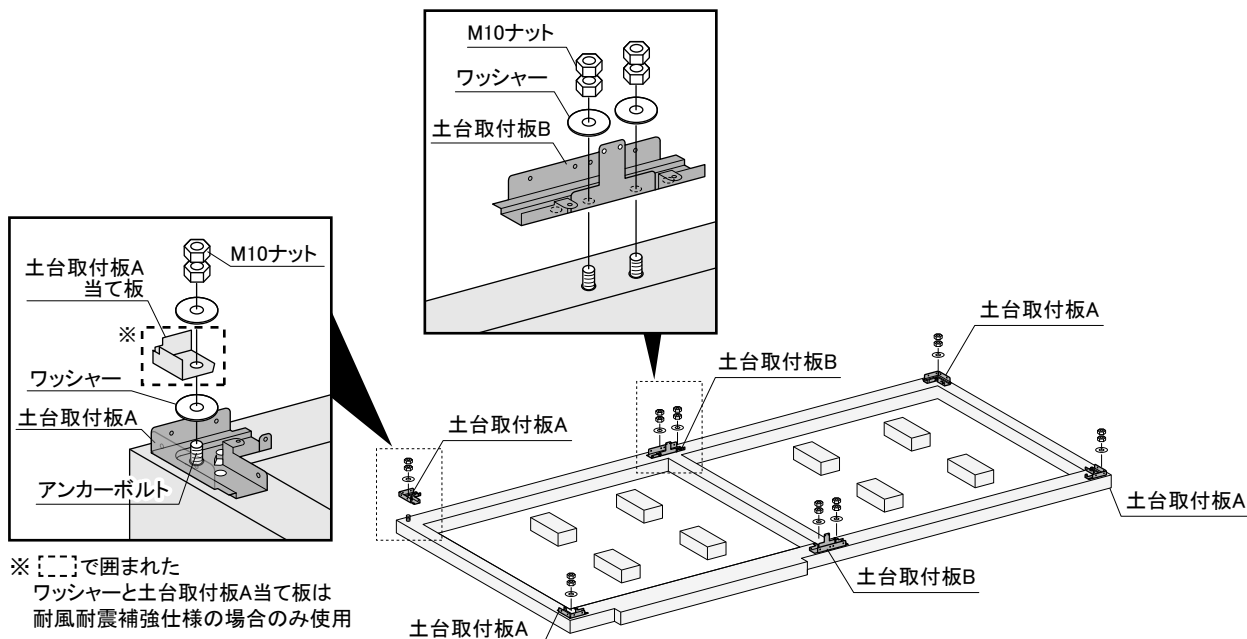


施工方法は改良マス使用時と同様です。
4ヶ所でセメント10kg,砂30kg,砂利40kgが目安です。
イナバオリジナルの型枠なら現場で組立式なので
搬入の厳しい現場に有効です。

<その他のアンカー施工>

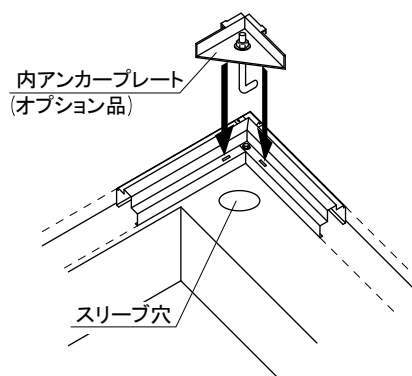
1)アンカー施工(物置タイプ)

FORTAシリーズは土台取付板をアンカーボルトで固定します。



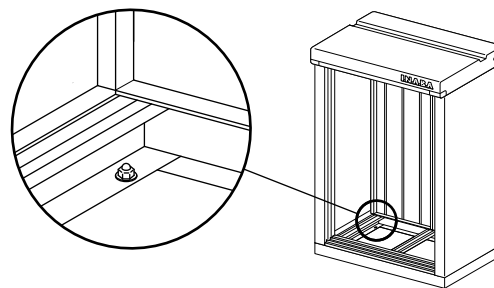
2)内アンカー施工(物置タイプ)

内アンカープレートを土台コーナーに取り付け、アンカーボルトで固定します。



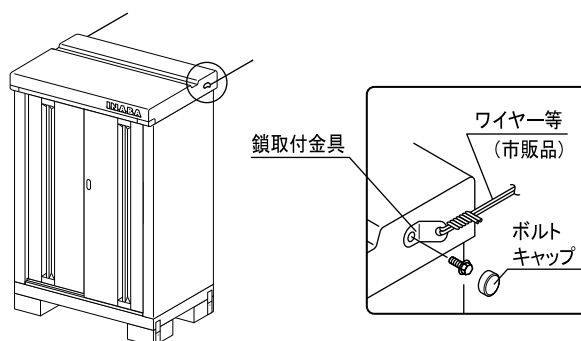
3)内アンカー施工(小型タイプ)

犬走りなどのコンクリート面に直接設置する場合、ベース内部のオールアンカー(M10)用固定穴を使用してください。



4)ワイヤー固定施工

小型タイプは屋根面に鎖取付金具を取り付けてワイヤー等(市販品)で固定できます。



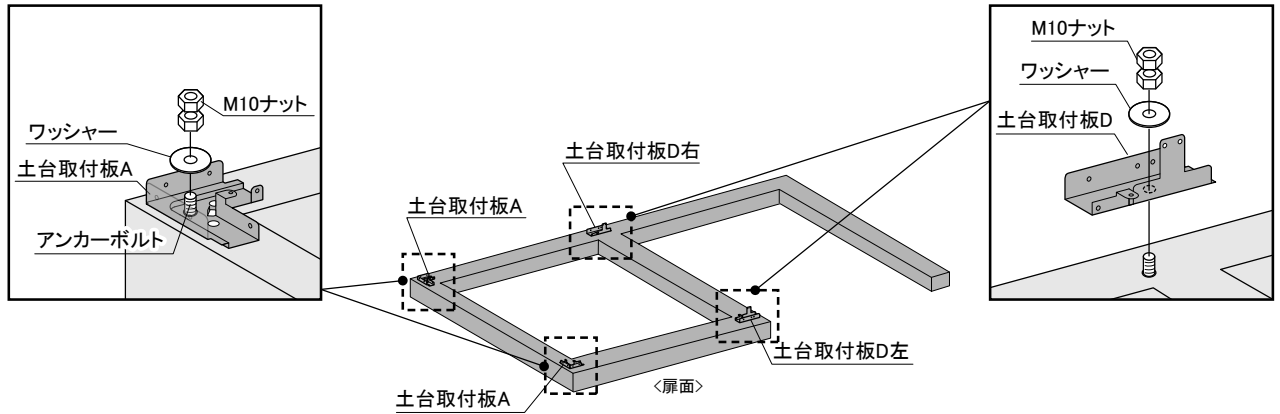
フォルタウィズ (併設物置) について

●布基礎のアンカー工事について

布基礎施工とする場合、別売アンカープレートWCが必要です。
 基礎ボルトはM10×160～200又はW3/8×160～200の市販品をご使用ください。
 ※基礎の寸法は布基礎図(HP掲載あり)を参照してください。

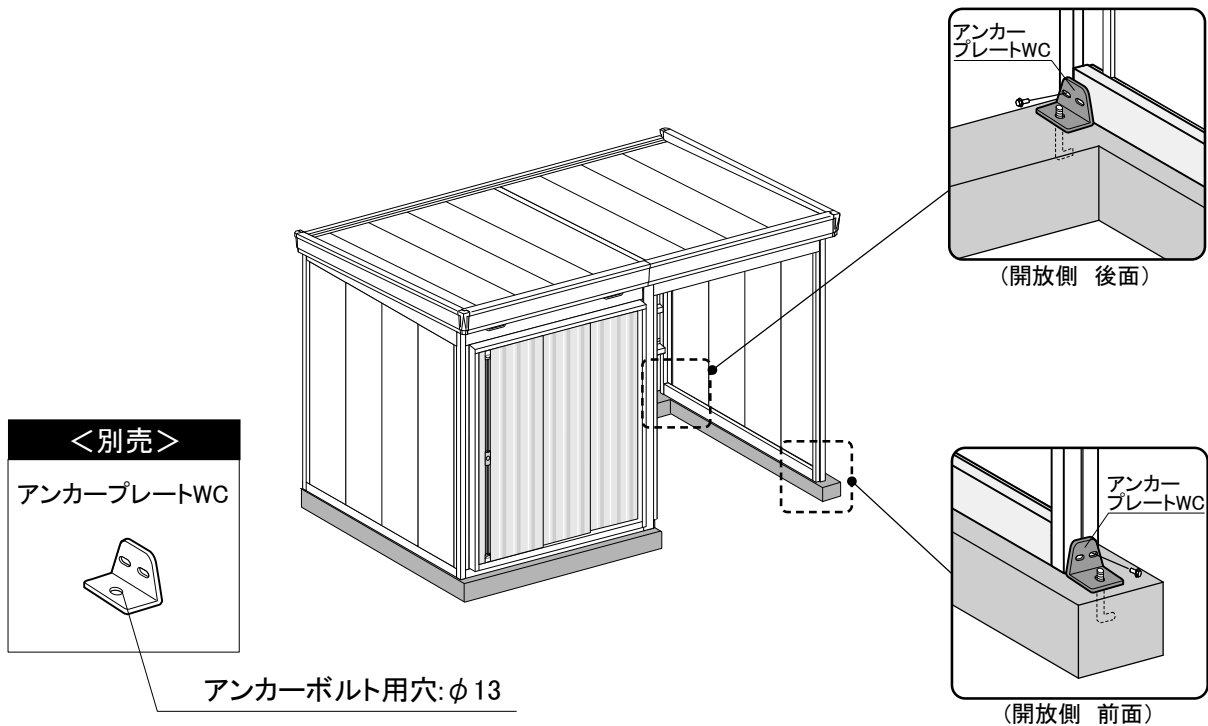
<物置側アンカー施工>

※土台取付板施工時にアンカーボルトと土台取付板を締結してください。



<開放側アンカー施工>

※組立後にアンカーボルトとアンカープレートWCを締結してください。



FF/FM/DM高基礎仕様について

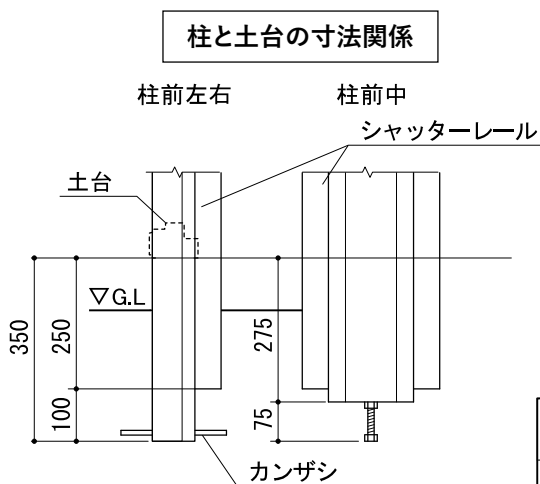
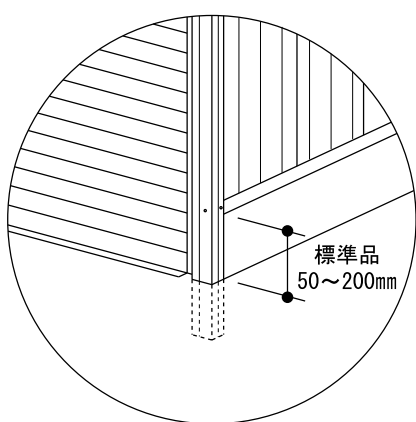
- ・標準品は200mmまでの基礎高に対応しておりますが、傾斜地や基礎を高くする(有効開口高さを高くする)場合には、オプションの「高基礎仕様」をご利用ください。
- ・「高基礎仕様」とは、下記部材を300mm延長したオプションです。

①前柱 ②シャッターレール ③シャッター

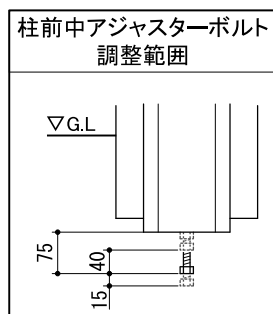
※③のシャッターは高基礎用のスプリング調節を行い、スラット枚数を増やしたもので、標準品とは全く異なる仕様になります。
 ※柱埋め込み寸法が不足すると、強風時に大変危険ですのでご注意ください。

●標準品と高基礎仕様の違い

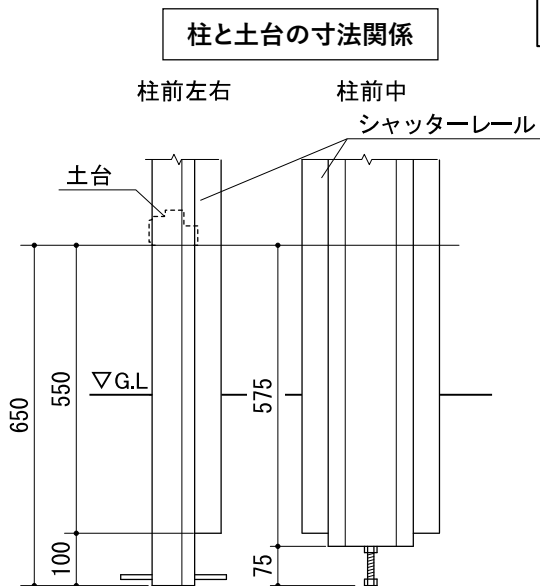
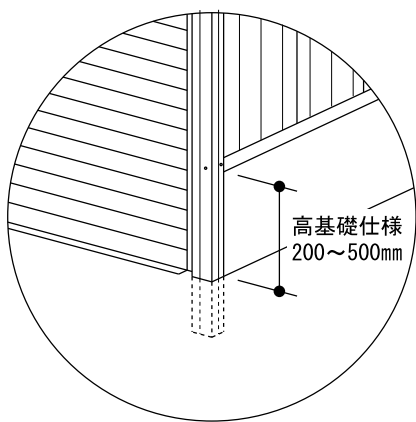
<標準品>



イラストはFF/FM

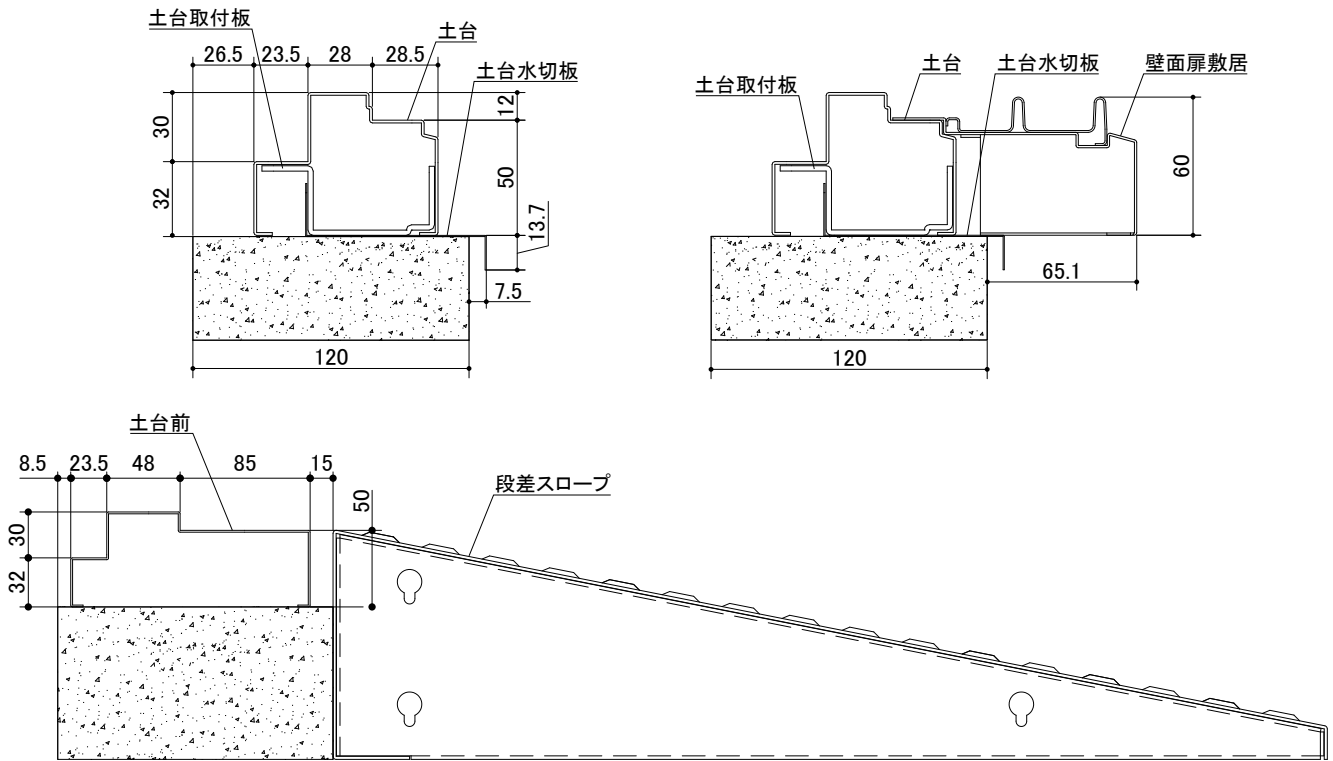


<高基礎仕様>

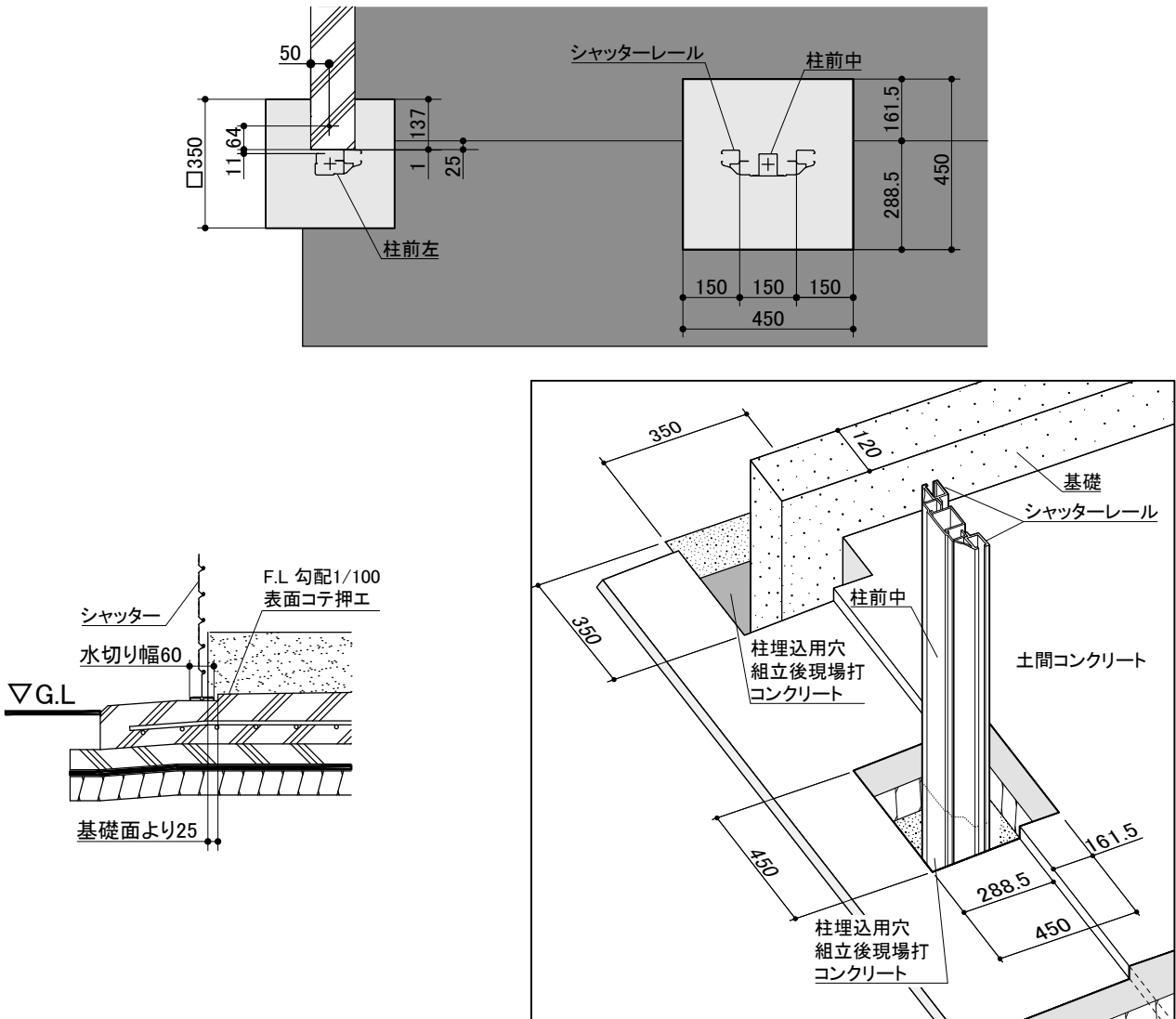


イラストはFF/FM

FF/FM/DM土台断面と基礎の関係



<本体組立前に土間工事をする場合の参考図(FF/FM)>



建築基準法対応について

オプションの耐風・耐震補強セットを追加すること(及び部材の差替え)で、強度が建築基準法に対応^{*}できるようになります。

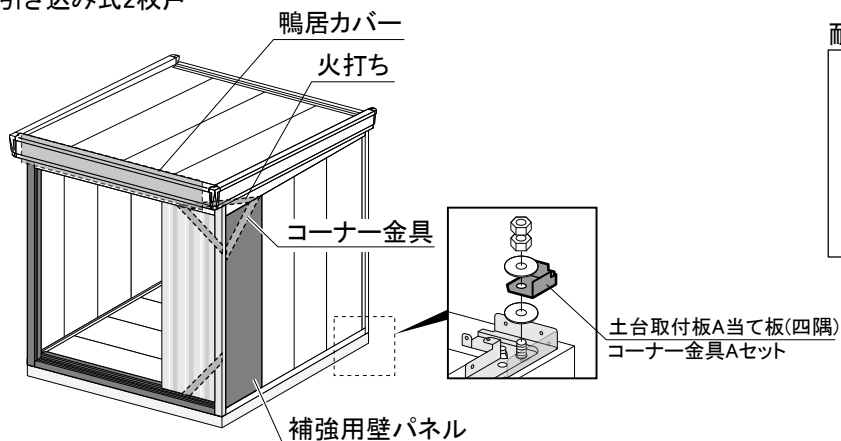
※基準風速34m/s地域(地表面粗度区分Ⅲ)を前提としていますが、設置条件、用途地域によっては対応できない場合があります。

- ① 後付けはできません。(納入後の追加注文の場合、柱や土台、壁パネル等の差し替えや布基礎への変更が必要となります)
- ② 所定の強度を得るためには、別途コンクリート布基礎とアンカーボルトでの緊結が必要となります。
- ③ オプションの取付が制限される場合があります。

HS ← このマークの付いた機種は強度が建築基準法に対応しているため、耐風・耐震補強セットの追加が不要です。(オプションの取付が制限される場合があります)

●4本柱タイプ(引き込み式2枚戸、引き分け戸)

・引き込み式2枚戸

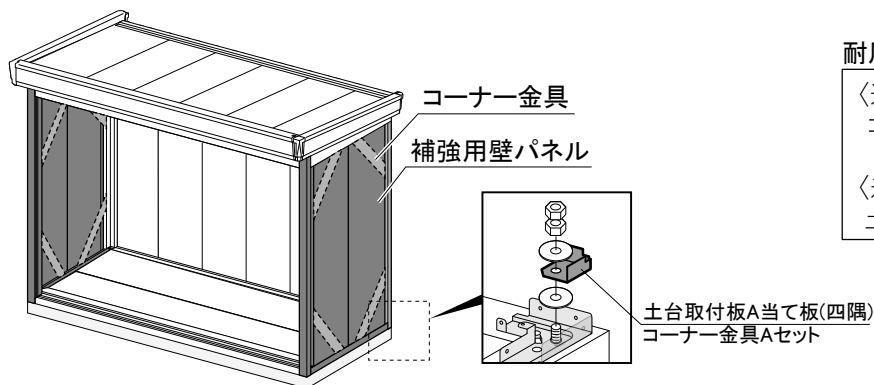


耐風・耐震補強Aセット

〈追加部材〉 ■■■■■
 コーナー金具、火打ち、鴨居カバー
 土台取付板A当て板

〈差替え部材〉 ■■■■■
 土台前、柱前左右、側面壁パネル

・引き分け戸

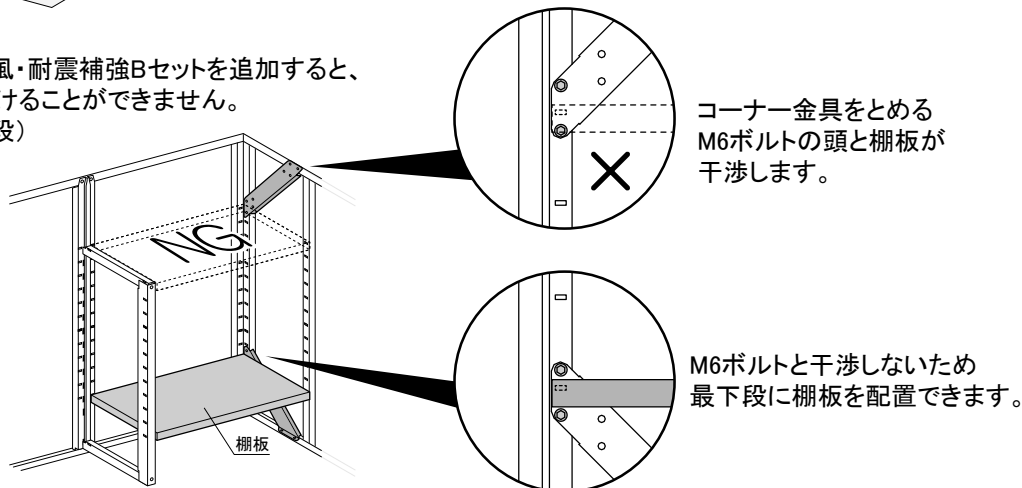


耐風・耐震補強Bセット

〈追加部材〉 ■■■■■
 コーナー金具、土台取付板A当て板

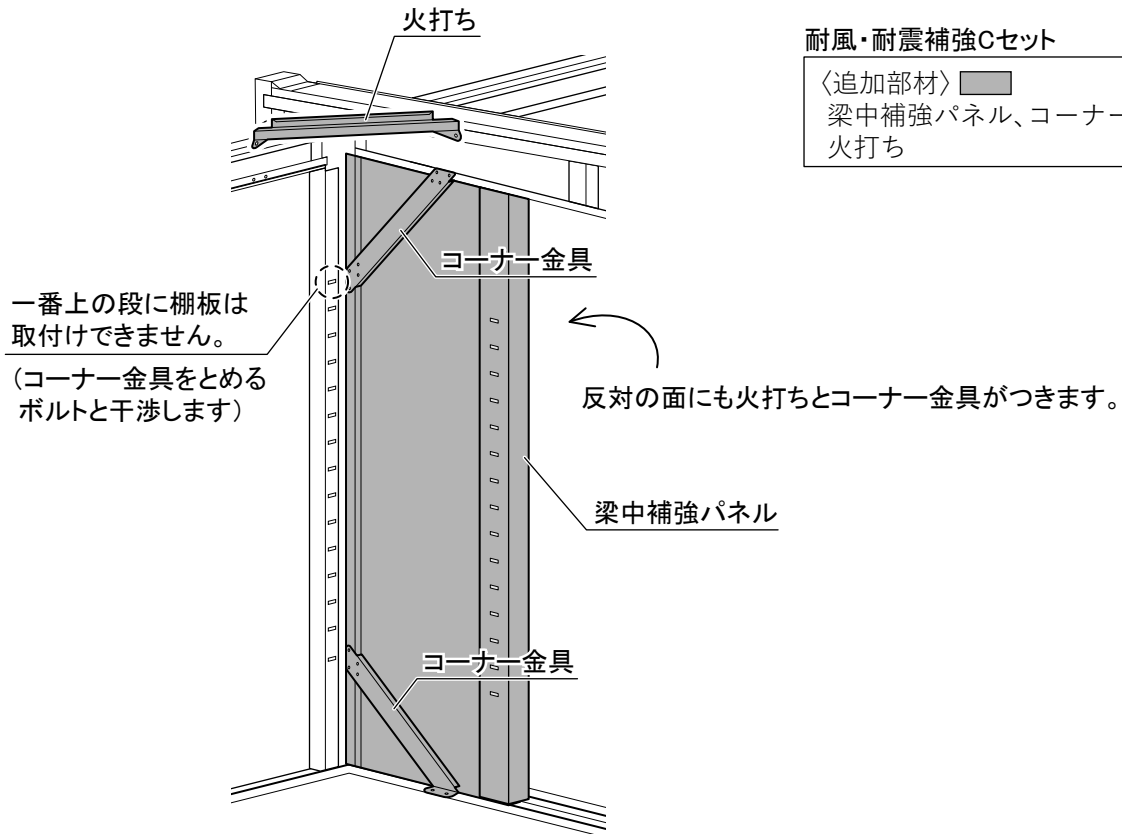
〈差替え部材〉 ■■■■■
 土台左右、柱前後左右、側面壁パネル

FS-2609S、3009Sに耐風・耐震補強Bセットを追加すると、棚板は最上段に取り付けることができません。(棚調整段数12段→11段)



●6本柱タイプ・縦長大型(壁面扉)

※豪雪型は標準で耐風・耐震補強仕様となります。

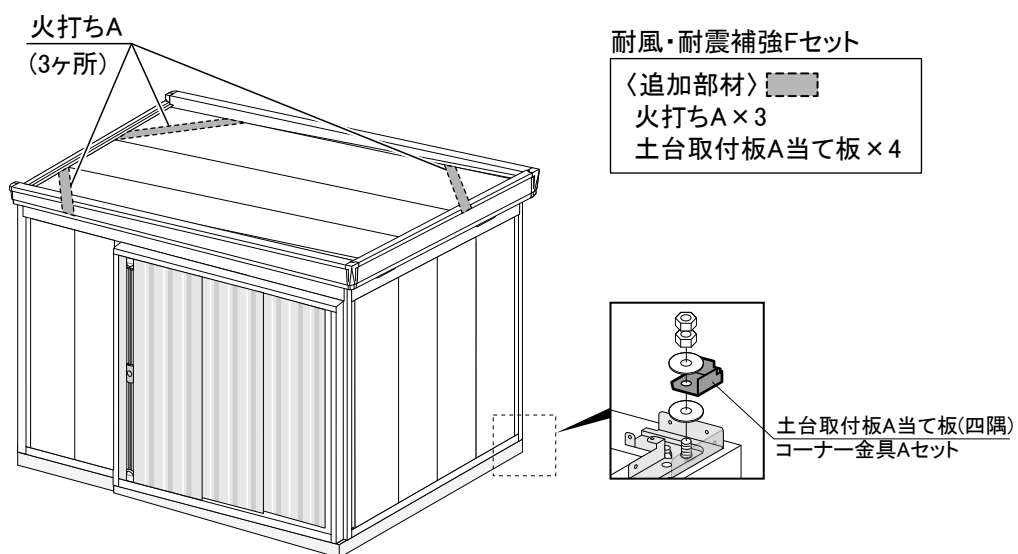


※上図の金具と梁中補強パネルが柱前側にもつきます。

・梁中補強パネルについて

NEXTAの梁中補強パネルは標準棚・ワイド棚の取付が可能です。FORTAの梁中補強パネルはワイド棚板の取付ができません。別途、棚支柱Eが必要になります。

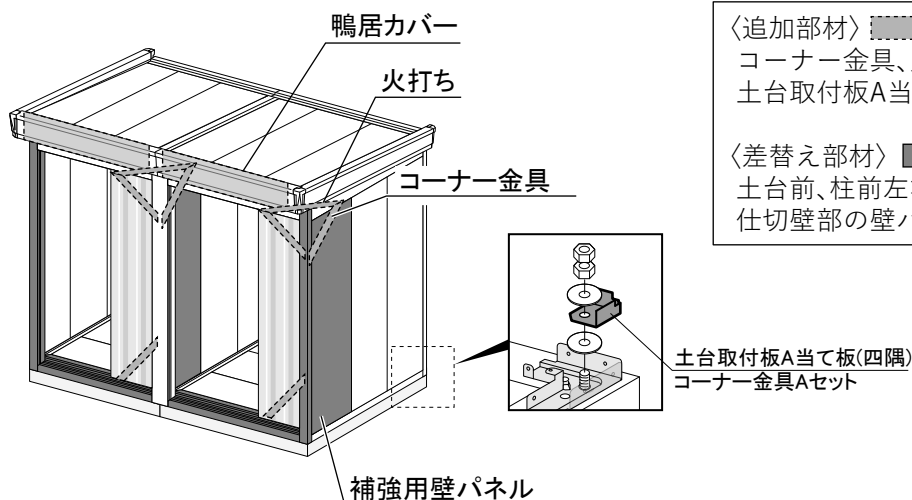
●屋根傾斜変更タイプ





※火打ちは開口部を避け、3箇所に取り付けます。

●連棟タイプ(FL)

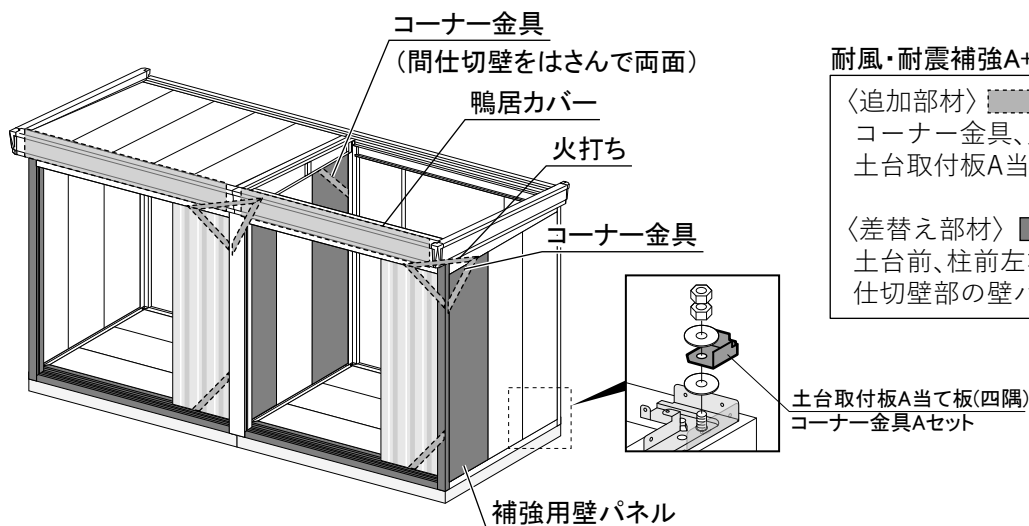
間口1370,1530mmタイプ





耐風・耐震補強A+Dセット

- 〈追加部材〉 
 コーナー金具、火打ち、鴨居カバー
 土台取付板A当て板
- 〈差替え部材〉 
 土台前、柱前左右、側面壁パネル
 仕切壁部の壁パネル

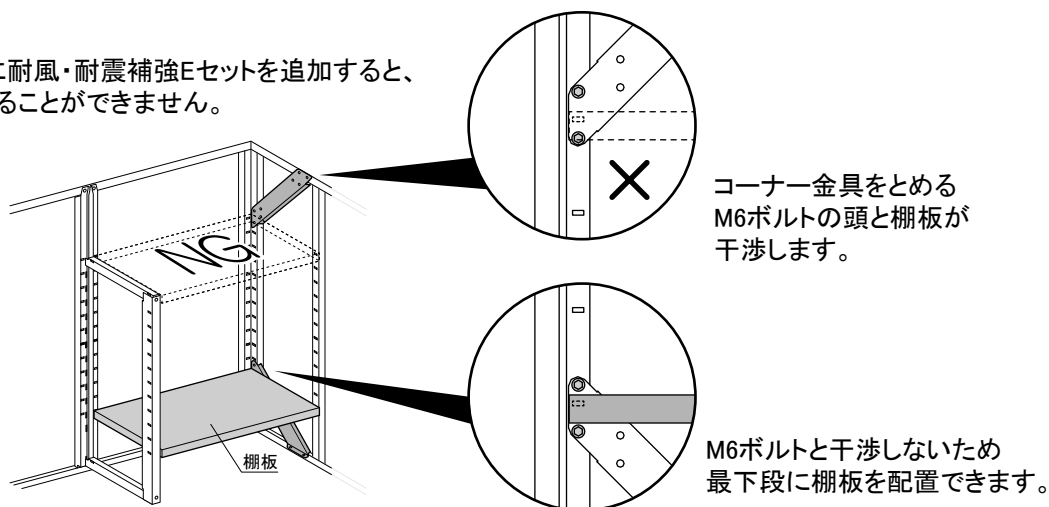
間口1790,2210mmタイプ



耐風・耐震補強A+Eセット

- 〈追加部材〉 
 コーナー金具、火打ち、鴨居カバー
 土台取付板A当て板
- 〈差替え部材〉 
 土台前、柱前左右、側面壁パネル
 仕切壁部の壁パネル

間口1790,2210mmタイプに耐風・耐震補強Eセットを追加すると、
 棚板は最上段に取り付けることができません。
 (棚調整段数12段→11段)



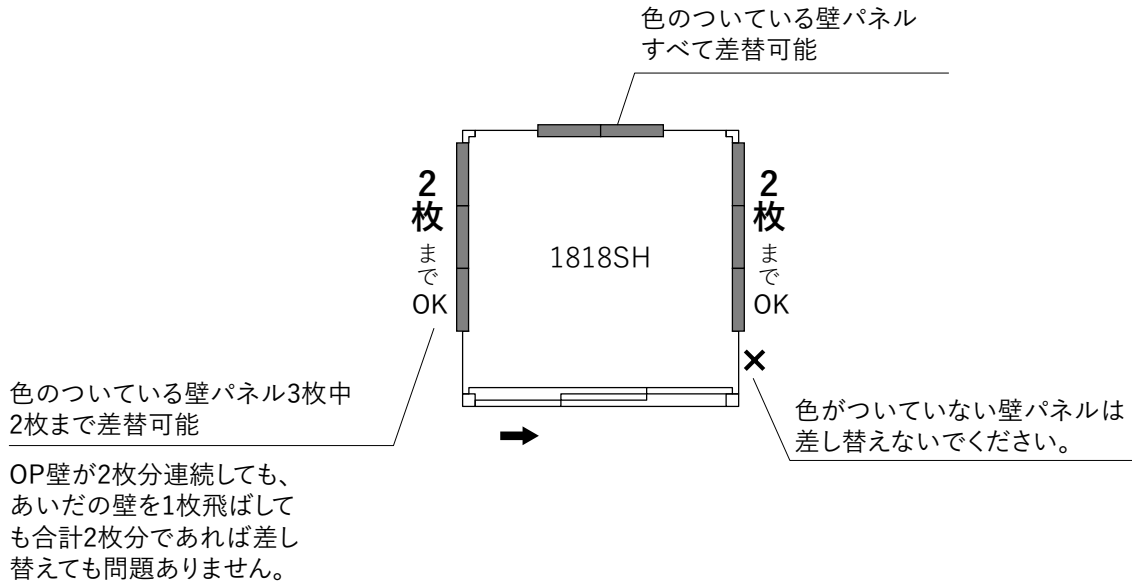
コーナー金具をとめる
 M6ボルトの頭と棚板が
 干渉します。

M6ボルトと干渉しないため
 最下段に棚板を配置できます。

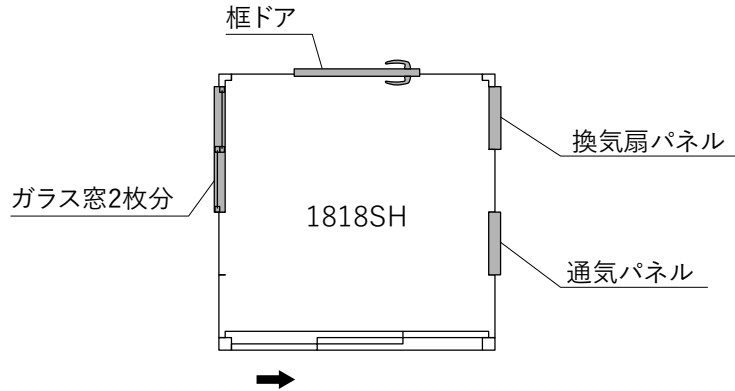
●耐風・耐震補強仕様FORTA OP取付制限資料 (FS 4本柱/FK)

- ・表中の色がついている壁パネルはOP壁パネル・壁面扉・ガラス窓・框ドアに差し替えることができます。
- ・色がついていない壁パネルは強度上必要な壁パネルのため差し替えしないでください。
- ・「□枚までOK」表記がある面は□枚を超える枚数の壁パネルを差し替えしないでください。
- ・「□枚までOK」表記がない場合は、色がついている壁パネルすべて差し替えできます。
- ・積雪強度区分(一般型・多雪型・豪雪型)によるOP取付制限の差はありません。

例 FS-1818SHの場合



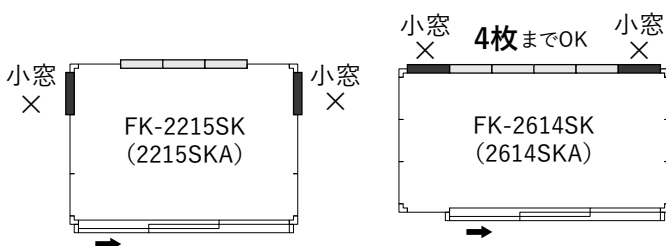
差し替えの制限にかからなければ、下記イラスト例のように複数のOPを追加できます。



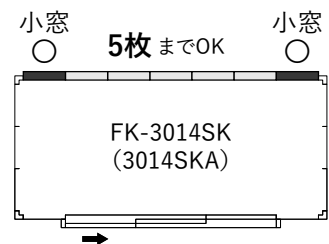
FK(屋根傾斜変更)タイプの注意点

- ・間口1790mm～2630mmの場合：小窓パネルは柱隣の壁パネルとは差替不可です。(火打ちと干渉します)
- ・間口3050mmの場合：火打ちが入らないため、柱隣の壁パネルを小窓パネルへ差替可能です。

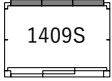

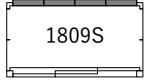
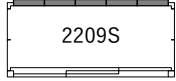
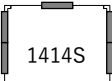
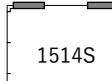
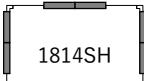
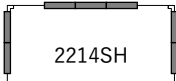



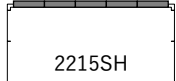


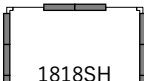
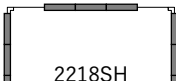
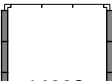
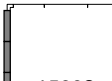


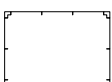
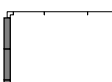

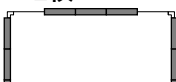
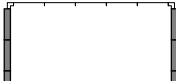
<間口1790mm～2630mm>



<間口3050mm>



<FS 4本柱(間口1370~2210mm)>

	K-3(W1370)	K-3.4(W1530)	K-4(W1790)	K-5(W2210)
K-2 (D950)	2枚 までOK 		3枚 までOK 	4枚 までOK 
K-3 (D1370)	1枚 までOK 	1枚 までOK 	1枚 までOK 	1枚 までOK 
K-3.4 (D1530)		1枚 までOK 		3枚 までOK 
K-4 (D1790)	2枚 までOK 	1枚 までOK 	2枚 までOK 	2枚 までOK 
K-5 (D2210)	3枚 までOK 	3枚 までOK 	1枚 までOK 	2枚 までOK 
K-6 (D2630)	 ※OP追加不可	1枚 までOK 	1枚 までOK 	2枚 までOK 
K-7 (D3050)				3枚 までOK 

<FS 4本柱(間口2630~3470mm)>

※間口3470mmの注意点

- ・正面開口部に壁面扉SF-5を取り付けた仕様の強度計算をしています。
壁面扉は柱に寄せたり後面に移動させることができますが、側面には移動させないでください。
- ・壁面扉が柱寄せの場合、隣り合う側面壁の壁面扉側の壁パネル1枚は差し替えないでください。
- ・標準でついている壁面扉SF-5を他の扉サイズ・枠ドアに変更しても問題ありません。

	K-6(W2630)	K-7(W3050)	※K-8(W3470)
K-2 (D950)	5枚 までOK 	6枚 までOK 	
K-3 (D:1370)	5枚 までOK 	6枚 までOK 	
K-3.4 (D1530)	5枚 までOK 	6枚 までOK 	
K-4 (D1790)	1枚 まで OK 	1枚 まで OK 	6枚 まで OK 壁面扉SF-5は正面・後面であれば移動可能(側面には移動不可)
K-5 (D2210)	2枚 まで OK 	2枚 まで OK 	6枚 まで OK 壁面扉SF-5は正面・後面であれば移動可能(側面には移動不可)
K-6 (D2630)	3枚 まで OK 	3枚 まで OK 	6枚 まで OK 壁面扉SF-5は正面・後面であれば移動可能(側面には移動不可)
K-7 (D3050)	3枚 まで OK 	3枚 まで OK 	

<FK(屋根傾斜変更タイプ)>

屋根傾斜変更タイプの注意点

- ・間口1790mm～2630mmの場合：小窓パネルは柱隣の壁パネルとは差替不可です。(火打ちと干渉します)
- ・間口3050mmの場合：火打ちが入らないため、柱隣の壁パネルを小窓パネルへ差替可能です。

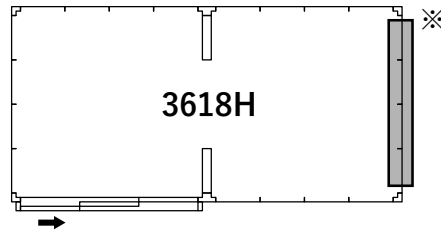
	K-4(W:1790)	K-5(W:2210)	K-6(W:2630)	K-7(W:3050)
K-3 (D:1370)	1枚までOK 1814SK (1814SKA) 1枚までOK	1枚までOK 2214SK (2214SKA) 1枚までOK	4枚までOK 2614SK (2614SKA)	5枚までOK 3014SK (3014SKA)
K-3.4 (D:1530)	1815SK (1815SKA)	2215SK (2215SKA)	3枚までOK 2615SK (2615SKA)	5枚までOK 3015SK (3015SKA)
K-4 (D:1790)	1枚までOK 2枚までOK 1818SK (1818SKA) 2枚までOK	2枚までOK 2枚までOK 2218SK (2218SKA) 2枚までOK	2枚までOK 1枚までOK 2618SK (2618SKA) 1枚までOK	1枚までOK 3018SK (3018SKA) 1枚までOK
K-5 (D:2210)		1枚までOK 3枚までOK 2222SK (2222SKA) 3枚までOK	2枚までOK 2枚までOK 2622SK (2622SKA) 2枚までOK	4枚までOK 2枚までOK 3022SK (3022SKA) 2枚までOK
K-6 (D:2630)			2626SK (2626SKA) ※OP追加不可	3枚までOK 3枚までOK 3026SK (3026SKA) 3枚までOK

■ 耐風・耐震補強仕様FORTA OP取付制限資料 (FS 6本柱・FBタイプ)

- ・正面開口部に壁面扉(框ドア)を取り付けた仕様の強度計算をしています。壁面扉は柱に寄せたり後面に移動させることができますが、側面には移動させないでください。
- ・壁面扉(框ドア)が柱寄せの場合、隣り合う側面壁の壁面扉(框ドア)側の壁パネル1枚は差し替えしないでください。
- ・小窓パネルは柱中の隣の壁パネルとは差し替えできません(火打ちをとめられません)。
- ・積雪強度区分(一般型・多雪型・豪雪型)によるOP取付制限の差はありません。
- ・標準でついている壁面扉SF-5を他の扉サイズ・框ドアに変更しても問題ありません。
- ・OPを2構面以上に取り付ける場合は**A**、1構面のみに取り付ける場合は**B**を参照してください。

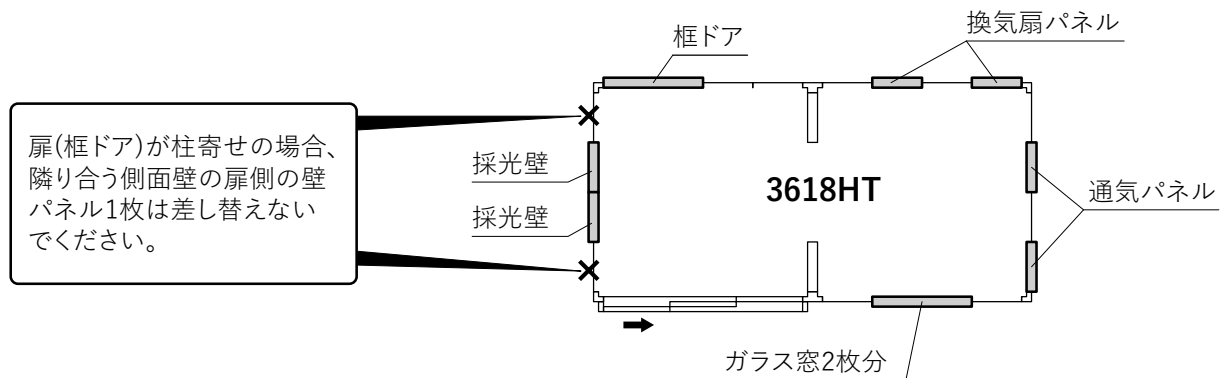
例 3618Hの場合

3618H
※ A: 2構面以上に複数OP 1構面あたり2枚
※ B: 1構面のみにOP 正面: 2枚 後面: 4枚 側面: 3枚

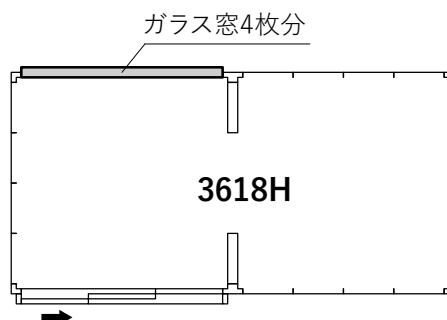


※ で囲ってある柱と柱の間を**1構面**とよびます。
上図は6構面あります。

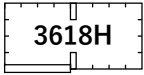
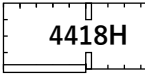
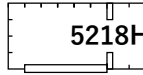
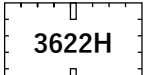
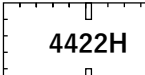
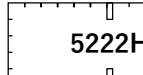
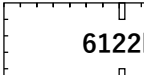
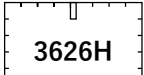
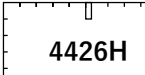
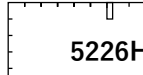
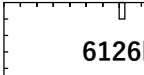
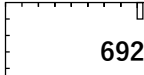
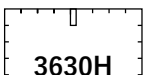
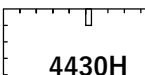
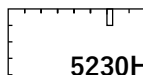

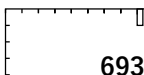
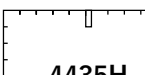
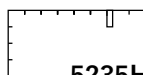
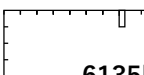
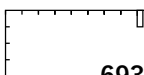
A 1構面あたりの差し替え制限内であれば下記(例は**1構面あたり2枚**)のようにOPを追加できます。



B 壁面扉以外の構面を1つ選択して差し替え制限内のOPを追加できます。(下記例では後面を選択しガラス窓4枚分を追加しています)



<FS 6本柱・FB(間口3580~6940mm)>

	K-4 + K-4 (W3580)	K-5 + K-5 (W4420)	K-6 + K-6 (W5260)	K-7 + K-7 (W6100)	K-8 + K-8 (W6940)
K-4 (D1790)					
	A:2構面以上にOP 1構面あたり2枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり2枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり1枚		
	B:1構面のみにOP 正面:2枚 後面:4枚 側面:3枚	B:1構面のみにOP 正面:3枚 後面:5枚 側面:2枚	B:1構面のみにOP 正面:4枚 後面:5枚 側面:1枚		
K-5 (D2210)					
	A:2構面以上にOP 1構面あたり2枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり3枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり2枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり2枚	
	B:1構面のみにOP 正面:2枚 後面:4枚 側面:4枚	B:1構面のみにOP 正面:3枚 後面:5枚 側面:3枚	B:1構面のみにOP 正面:4枚 後面:5枚 側面:2枚	B:1構面のみにOP 正面:5枚 後面:5枚 側面:2枚	
K-6 (D2630)					
	A:2構面以上にOP 1構面あたり2枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり2枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり3枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり3枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり2枚
	B:1構面のみにOP 正面:2枚 後面:4枚 側面:5枚	B:1構面のみにOP 正面:2枚 後面:5枚 側面:4枚	B:1構面のみにOP 正面:3枚 後面:5枚 側面:4枚	B:1構面のみにOP 正面:5枚 後面:5枚 側面:3枚	B:1構面のみにOP 正面:5枚 後面:5枚 側面:2枚
K-7 (D3050)					
	A:2構面以上にOP 1構面あたり1枚	A:2構面以上に数OP 1構面あたり2枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり3枚	A:2構面以上にP 1構面あたり4枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり3枚
	B:1構面のみにOP 正面:1枚 後面:3枚 側面:5枚	B:1構面のみにOP 正面:2枚 後面:4枚 側面:5枚	B:1構面のみにOP 正面:3枚 後面:5枚 側面:5枚	B:1構面のみにOP 正面:4枚 後面:5枚 側面:4枚	B:1構面のみにOP 正面:5枚 後面:5枚 側面:3枚
K-8 (D3470)					
		A:2構面以上にOP 1構面あたり3枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり4枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり5枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり4枚
		B:1構面のみにOP 正面:3枚 後面:5枚 側面:5枚	B:1構面のみにOP 正面:4枚 後面:5枚 側面:5枚	B:1構面のみにOP 正面:5枚 後面:5枚 側面:5枚	B:1構面のみにOP 正面:5枚 後面:5枚 側面:5枚

●耐風・耐震補強仕様FORTA OP取付制限資料 (FT)

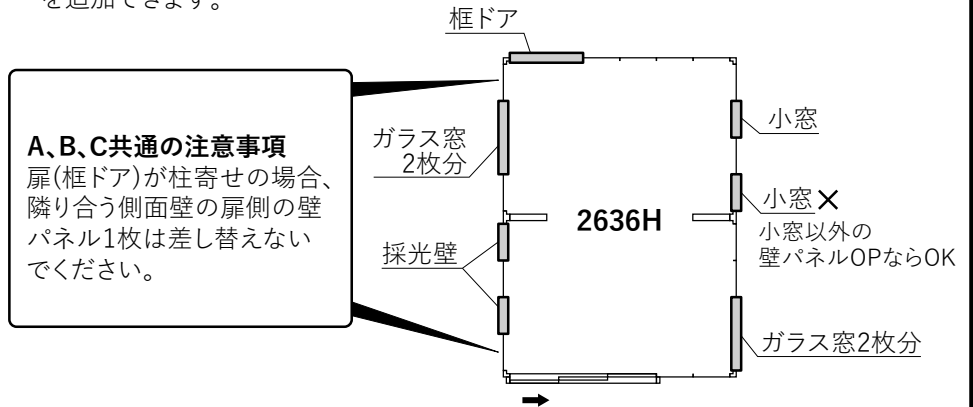
- ・正面(妻板側)に壁面扉を取り付けた仕様の強度計算をしています。壁面扉は柱に寄せたり後面に移動させることはできませんが、側面(桁前後側)には移動させないでください。
- ・壁面扉が柱寄せの場合、隣り合う側面側の壁面扉側の壁パネル1枚は差し替えないでください。
- ・小窓パネルは柱中の隣の壁パネルとは差し替えないでください。(火打ちをとめられません。)
- ・積雪強度区分(一般型、多雪型、豪雪型)によるOP取付制限の差はありません。
- ・標準で付いている壁面扉SF-4をSF-3や框ドアに変更しても問題ありません。(SF-5への差し替えは強度上不可)

OPを全構面に取り付ける場合は**A**、1構面のみに取り付ける場合は**B**、側面2構面に取り付ける場合は**C**

例 FT-2636Hの場合

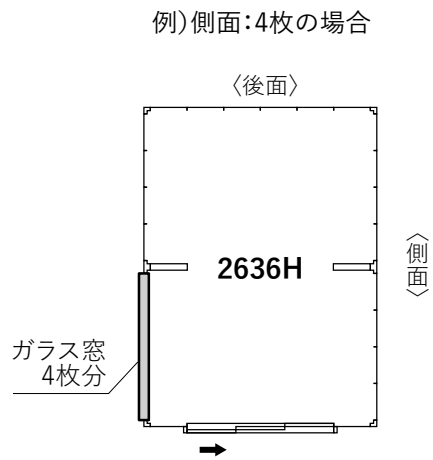
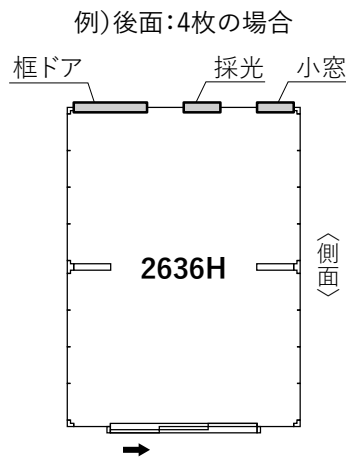
2636H
A:全構面にOP 1構面あたり2枚
B:1構面だけにOP 後面:4枚 側面:4枚
C:側面2構面にOP 1構面あたり3枚

A 1構面あたりの差し替え制限内であれば下記(例は**1構面あたり2枚**)のようにOPを追加できます。



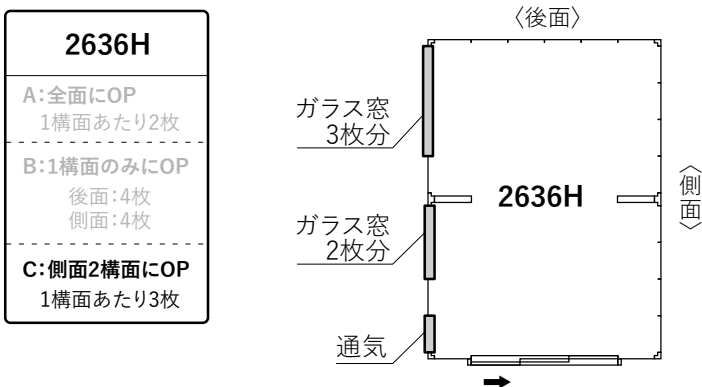
B 正面(壁面扉が付いている面)以外の任意の1構面を選択して差し替え制限内のOPを追加できます。

2636H
A:全面にOP 1構面あたり2枚
B:1構面だけにOP 後面:4枚 側面:4枚
C:側面2構面にOP 1構面あたり3枚

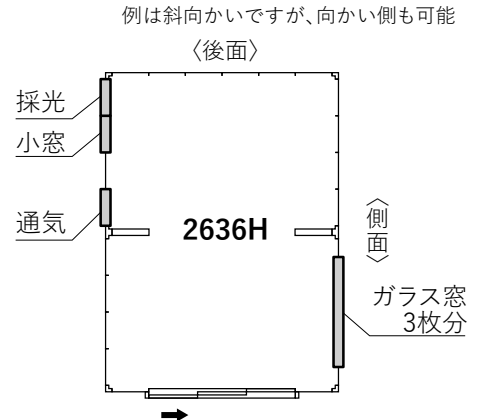


C 側面の4構面のうち任意の2構面を選択して差し替え制限内のOPを追加できます。

例)同じ側面を選択した場合



例)両側面を選択した場合



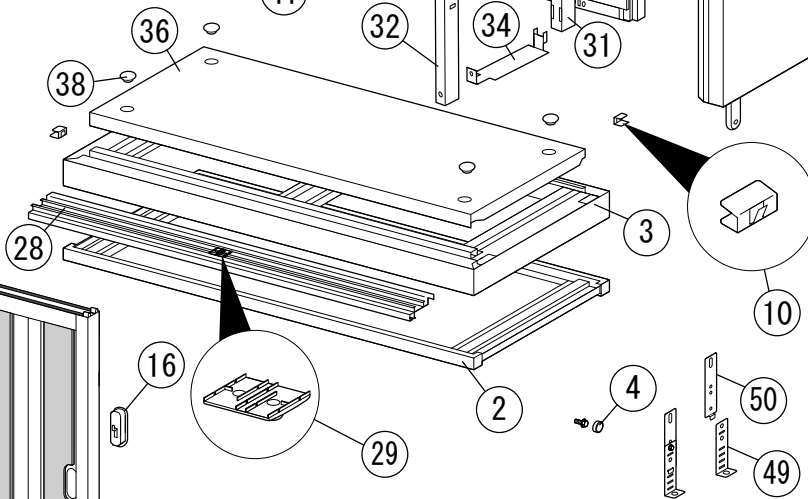
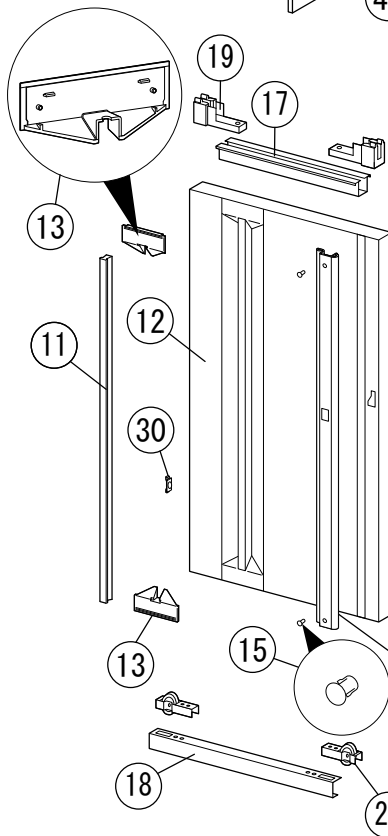
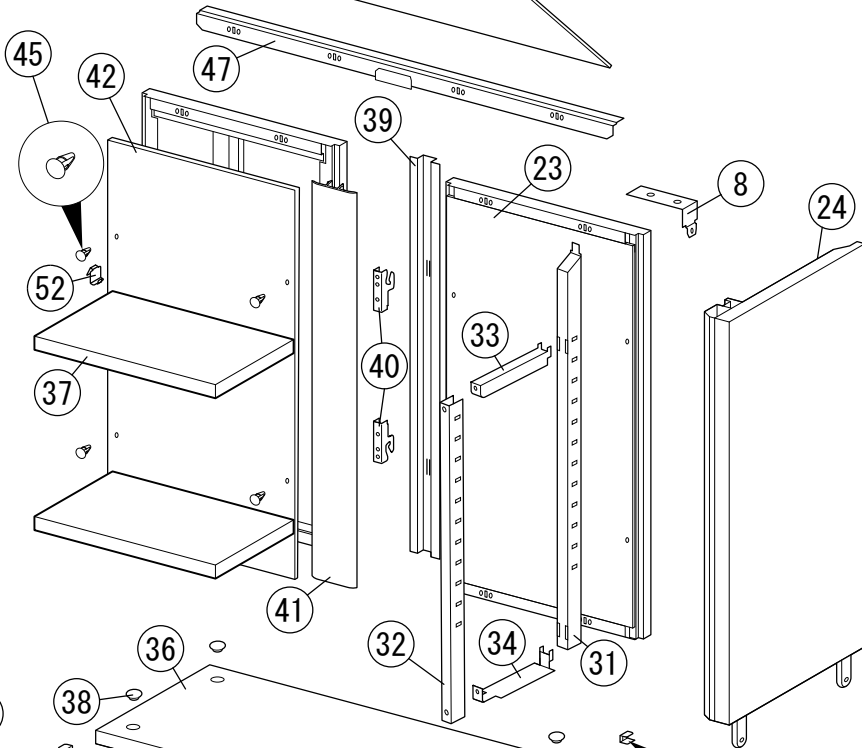
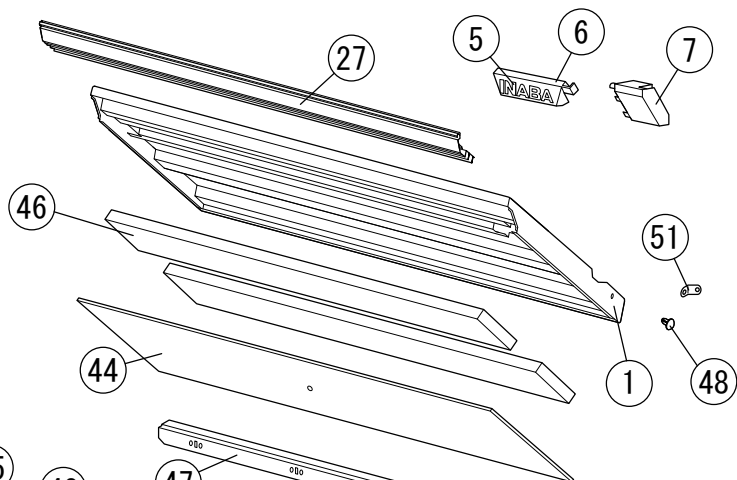
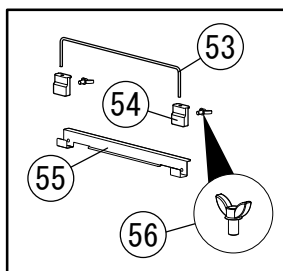
<FT(縦長大型タイプ)>

	K-6(W2630)		K-7(W3050)	
K-4+4 (D3580)	2636H		3036H	
	A:全構面にOP 1構面あたり2枚		A:全構面にOP 1構面あたり2枚	
	B:1構面のみにOP 後面:4枚 側面:4枚		B:1構面のみにOP 後面:4枚 側面:4枚	
C:側面2構面にOP 1構面あたり3枚	C:側面2構面にOP 1構面あたり3枚			
K-5+5 (D4420)	2644H		3044H	
	A:全構面にOP 1構面あたり3枚		A:全構面にOP 1構面あたり3枚	
	B:1構面のみにOP 後面:3枚 側面:5枚		B:1構面のみにOP 後面:4枚 側面:5枚	
C:側面2構面にOP 1構面あたり5枚	C:側面2構面にOP 1構面あたり5枚			
K-6+6 (D5260)	2652H		3052H	
	A:全構面にOP 1構面あたり1枚		A:全構面にOP 1構面あたり3枚	
	B:1構面のみにOP 後面:1枚 側面:5枚		B:1構面のみにOP 後面:4枚 側面:5枚	
C:側面2構面にOP 1構面あたり3枚	C:側面2構面にOP 1構面あたり5枚			
K-7+7 (D6100)			3061H	
			A:全構面にOP 1構面あたり2枚	
			B:1構面のみにOP 後面:2枚 側面:5枚	
C:側面2構面にOP 1構面あたり5枚				

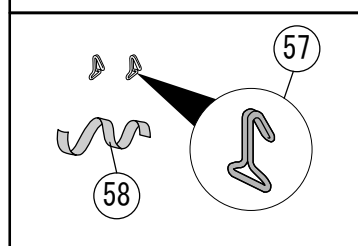
ナイソーシスター

～ KMW型 ～

— 部品名称 及び 塗装色 —



※長もの収納タイプのみ



番号	品名	塗装色
1	屋根	ブロンズグレー
2	ベース下枠	〃
3	ベース	〃
4	ボルトキャップ	〃
5	エンブレム	—
6	エンブレムベース	ブロンズグレー
7	ガラリキャップ	〃
8	コーナー金具	〃
9	KMXストッパーゴム	ブラングレー
10	ベースキャップ	ステンカラー
11	ハンドル	〃
12	扉	クラシックブラウンM
		ノーブルグレージュM
13	扉カバー	クラシックブラウン
		ノーブルグレージュ
14	扉パッキン	ミストグレー
15	FORTA(NXN)ブッシュ	—
16	錠	ステンカラー
17	扉上部カバー	黒
18	扉下部カバー	〃
19	スライダー	—
20	戸車	—
21	扉内張り	—
22	扉キャッチ	—
23	後板	ブロンズグレー
24	側板	〃
25	側板前アルミ	ステンカラー
26	側板後支柱	〃
27	屋根ガラリ	〃
28	アルミ下部レール	〃
29	下枠パッキン	黒
30	ストッパーゴムC	黒
		エレガントグレー
31	棚支柱A	ミストグレー
32	棚支柱B	〃
33	棚支柱C	〃
34	棚支柱C下	〃
35	棚支柱D	〃
36	床板	〃
37	棚板	〃
38	目隠しキャップ φ16	〃
39	パネル押え	—
40	止め金具	有色クロメートメッキ

番号	品名	塗装色
41	ジョイントカバー	オークベージュ
42	後板化粧板	〃
43	側板化粧板	〃
44	屋根化粧板	〃
45	固定ブッシュ	〃
46	屋根断熱材	—
47	天井止め板	ブロンズグレー
48	カヌークリップ	〃
49	アンカープレートKA	〃
50	アンカープレートKB	〃
51	鎖取付金具	有色クロメートメッキ
52	棚フック	〃
53	落下防止バー	—
54	落下防止ホルダー	ミストグレー
55	落下防止板	〃
56	ちょうボルト	三価クロメートメッキ
57	Tフック	—
58	バンド	—

＝マンセル番号＝

・ミストグレー(N7)

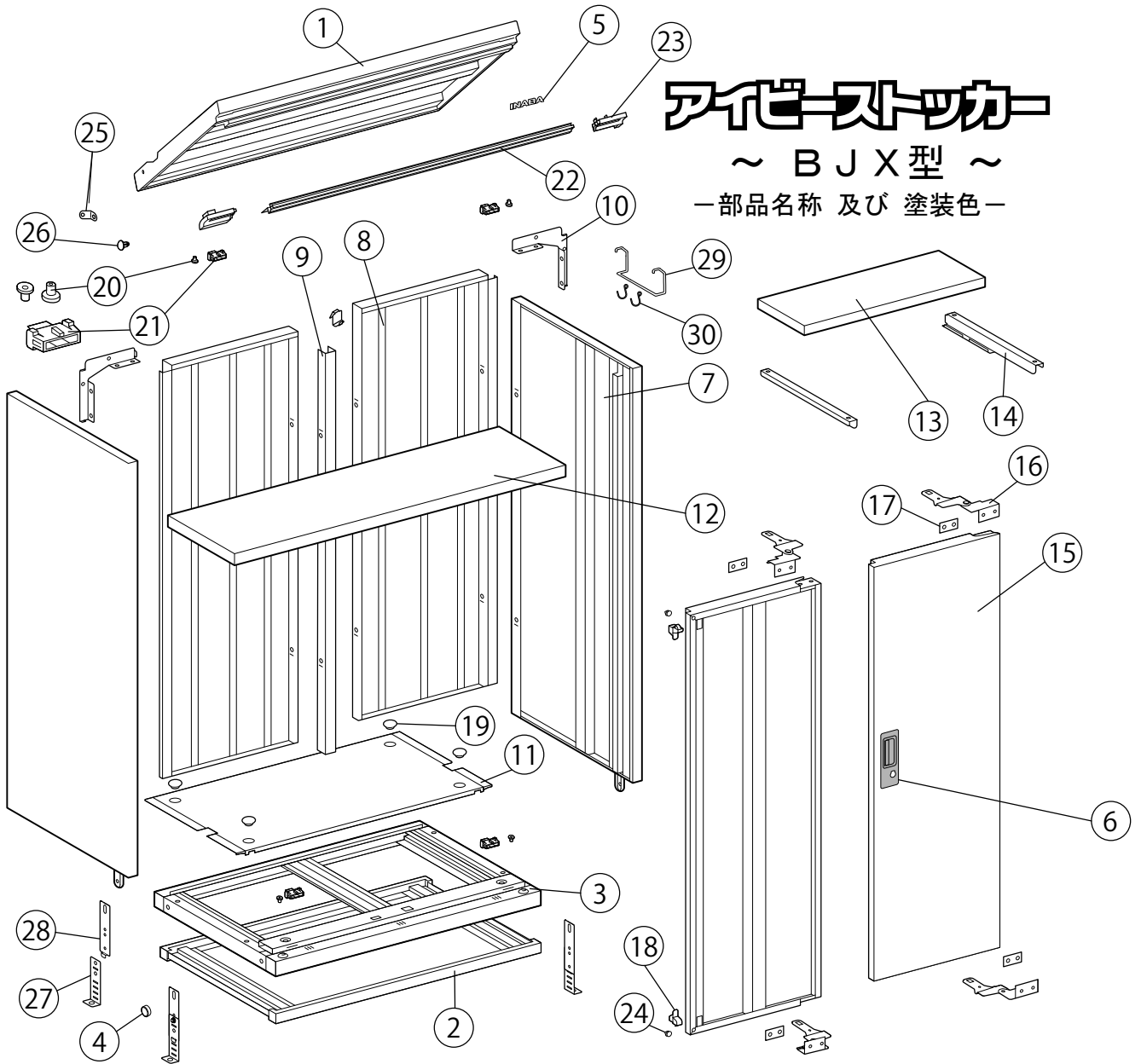
・ブロンズグレー(9.9YR4/0.8)

M：メタリック

アイビーストッカー

～ B J X 型 ～

一部品名称 及び 塗装色



番号	品名	塗装色
1	屋根	ミストグレー
2	ベース下枠	〃
3	ベース	〃
4	ボルトキャップGR	〃
5	エンブレム	—
6	把手カバー	ファインシルバー
7	側板	ミストグレー
8	壁パネル	〃
9	支柱L	〃
10	コーナー金具	〃
11	床パネル	〃
12	棚板	〃
13	半棚板	〃
14	ハーフ棚用フック	〃
15	扉	表1
16	ヒンジ	—
17	ヒンジ止板	—
18	キャッチャー	ファインシルバー
19	目隠しキャップφ16	ミストグレー
20	ヒンジビスガイド	ファインシルバー

番号	品名	塗装色
21	ヒンジホルダー	白
22	上ガバリ	シルバー色(アルミ)
23	ガバリキャップ	ミストグレー
24	ストッパーゴムD	ミルクイーホワイト
25	鎖取付金具	有色クロメートメッキ
26	カヌークリップ	ミストグレー
27	アンカープレートKA	〃
28	アンカープレートKB	〃
29	フックバー	—
30	Pフック	—

表1

扉
ブラチナシルバー
チャコールグレー
ジェードグリーン
エボニーブラウン

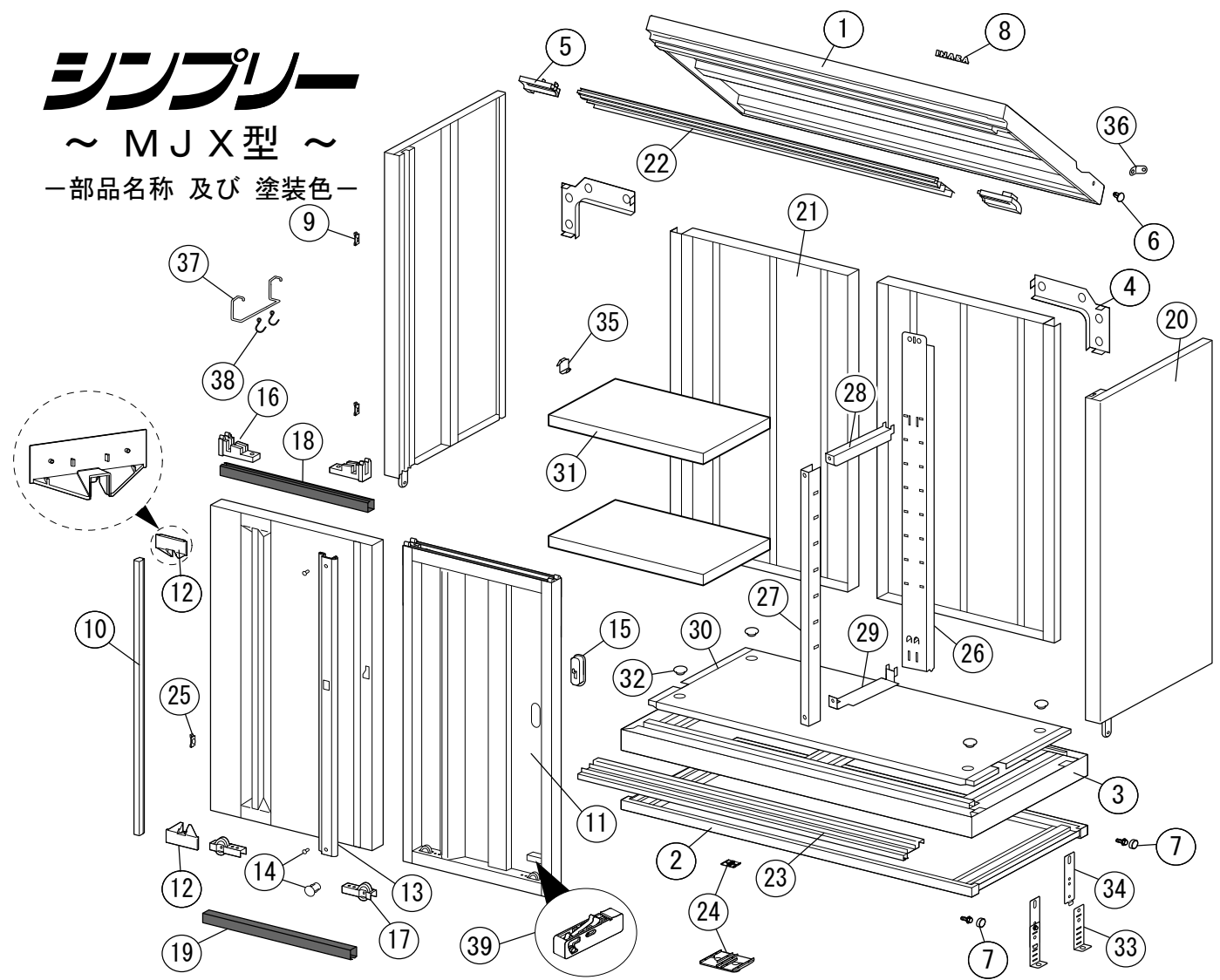
＝マンセル番号＝
・ミストグレー(N7)

M: メタリック

シンプル

～ MJX型 ～

一部品名称 及び 塗装色



番号	品名	塗装色
1	※屋根	ミストグレー(N7)
2	※ベース下枠	〃
3	※ベース	〃
4	コーナー金具	〃
5	※ガラリキャップ	〃
6	※カヌークリップ	〃
7	※ボルトキャップGR	〃
8	エンブレム	—
9	ストッパーゴムB	エレガントグレー
10	ハンドル	シルバー色(アルミ)
11	扉	表1
12	扉カバー	〃
13	MJX扉パッキン	ミストグレー(N7)
14	FORTA(NXN)ブッシュ	—
15	錠	シルバー色
16	スライダー	—
17	戸車	—
18	上補強シール	黒
19	下補強シール	〃
20	※側板	ミストグレー(N7)
21	※壁パネル	〃
22	アルミ上部レール	シルバー色(アルミ)
23	アルミ下部レール	〃
24	下枠パッキン	黒

番号	品名	塗装色
25	ストッパーゴムC	表1
26	※棚支柱A	ミストグレー(N7)
27	棚支柱B	〃
28	棚支柱C	〃
29	棚支柱C下	〃
30	床パネル	〃
31	棚板	〃
32	目隠しキャップφ16	〃
33	※アンカープレート KA	〃
34	※アンカープレート KB	〃
35	棚フック	有色クロメートメッキ
36	鎖取付金具	〃
37	フックバー	—
38	Pフック	—
39	扉キャッチ	—

フランネルグレー仕様の場合
※部材は、フランネルグレー(N3.3)となります。

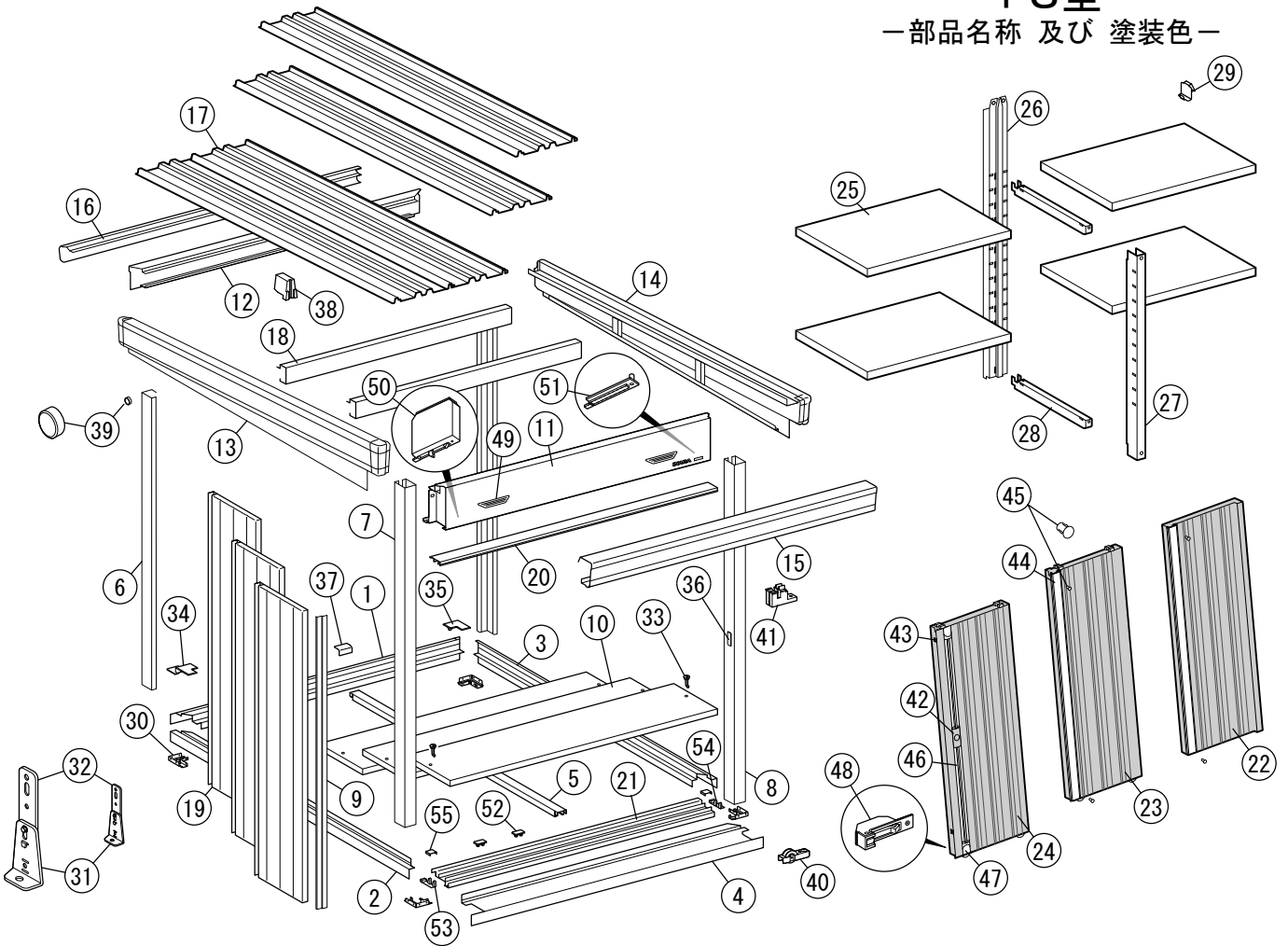
表1

扉	扉カバー	ストッパーゴムC
プラチナシルバーM	ファインシルバー	エレガントグレー
チャコールグレーM	チャコールグレー	エレガントグレー
ジェードグリーンM	ジェードグリーン	ロイヤルグリーン
エボニーブラウンM	エボニーブラウン	エレガントグレー
フランネルグレー	チャコールグレー	エレガントグレー

M:メタリック

フォルタ
FORTA

～FS型～
一部品名称 及び 塗装色～



番号	品名	塗装色
1	土台後	ミストグレー
2	土台左	〃
3	土台右	〃
4	土台前	〃
5	根太	〃
6	柱後左右	〃
7	柱前左	〃
8	柱前右	〃
9	柱カバー	〃
10	床パネル	〃
11	鴨居(桁前)	〃
12	桁後	〃
13	妻板左	〃
14	妻板右	〃
15	鼻隠し前	〃
16	鼻隠し後	〃
17	屋根パネル	〃
18	母屋中	〃
19	壁パネル	〃
20	アルミ上枠	シルバー艶あり
21	下部レール	-
22	正面パネル	表1
23	扉中	〃
24	扉前	〃
25	棚板	ミストグレー
26	棚支柱A	〃
27	棚支柱B	〃

番号	品名	塗装色
28	棚支柱C	ミストグレー
29	棚フック	-
30	土台取付板A	-
31	アンカープレートRA	ミストグレー
32	アンカープレートRB	〃
33	床固定フック	〃
34	土台キャップA左	〃
35	土台キャップA右	〃
36	鍵穴パッキン	〃
37	支柱穴ブッシュ	〃
38	屋根パッキン	〃
39	ボルトキャップGR	〃
40	戸車	-
41	スライダー	-
42	錠前	-
43	ストッパーゴムB	表1
44	扉パッキン	ミストグレー
45	FORTA(NXN)ブッシュ	-
46	アルミ引手	シルバー艶あり
47	扉カバー	スレートグレー
48	キャッチ	-
49	換気ガラリ	フランネルグレー
50	上部ラッチ	-
51	上部ラッチ穴カバー	-
52	ネジ穴ブッシュ	ミストグレー
53	レールキャップ左	〃
54	レールキャップ右	〃
55	土台キャップ	〃

表1

扉・正面パネル	ストッパーゴムB
ブラチナシルバーM	エレガントグレー
チャコールグレーM	エレガントグレー
ジェードグリーンM	ロイヤルグリーン
エボニーブラウンM	エレガントグレー

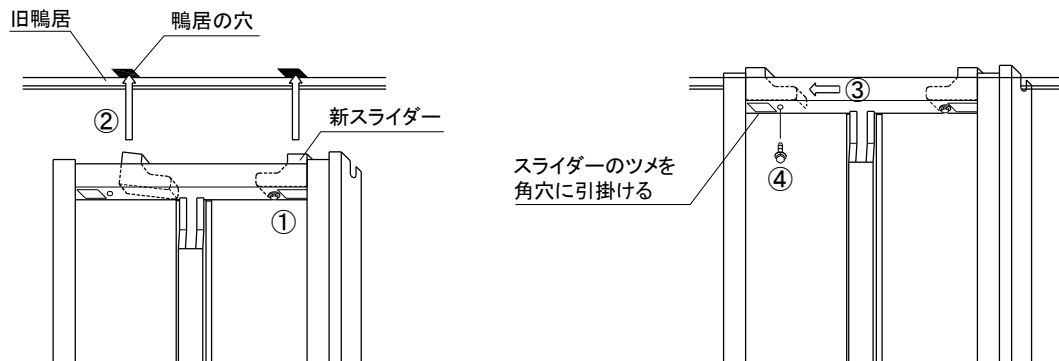
M: メタリック

部品の交換方法について

旧スライダ－の交換方法

破損等でMBN型の標準扉や各機種の旧スライド扉にMBX型のスライダ－を取り付ける場合は、下記の方法で施工してください。

- ①左右のスライダ－の一方をボルトで固定します。
- ②もう一方はボルトを締めない状態で、扉を鴨居の角穴に合わせてはめ込みます。
- ③扉をはめ込んだ後、スライダ－を扉のネジ穴位置までスライドさせます。
- ④ボルトで固定します。



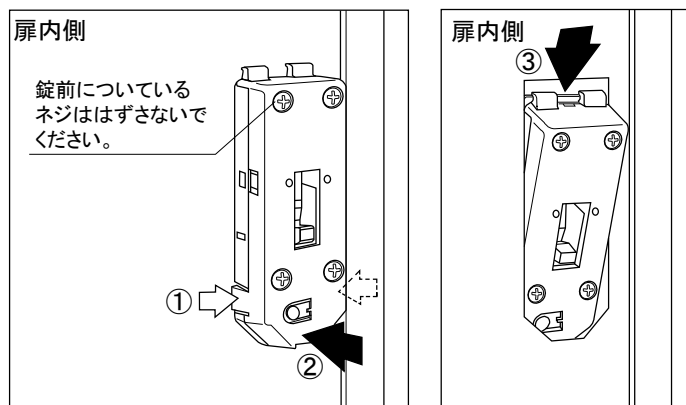
MJN・MJX・KMW型 錠の交換方法

〈錠の外し方〉

- ①扉の内側から、錠下部の左右のツメをつまみます。
- ②下側を外に押し出します。
- ③下方に引きながら、扉からはずします。

〈錠の取り付け方〉

扉の外側から錠前上部のツメを引掛け、①の部分が“カチッ”と言うまで押し込みます。



※イラストはMJN型です。

MEMO

Lined area for writing the memo content, consisting of multiple horizontal dashed lines.

フォルタプラス編

内装材「エペランPP」の特徴

●特徴

1. エペランPPは発泡ポリプロピレンで、リサイクルが可能なエコ素材です。
2. 耐衝撃性に優れ、自動車の緩衝材としても利用されており、収納物を保護します。
3. 吸水性が無く、水に濡れてもシミや変質がありません。
4. 耐熱性に優れ、90℃の環境下でも使用可能です。
5. 耐油・耐薬品性に優れ、発泡スチロールのようにシンナーなどの溶剤に侵されません。
6. 内壁の重さは、1枚あたり約450g(S型)、550g(H型)と軽量で扱い易いです。
7. 裸火の接触で燃焼しますが、有害なガスは発生しません。
8. 発泡倍率は30倍で弾力性が高く、曲げても割れにくい性質をもっています。
9. エペランPP(26mm厚)は、ナイソーの内壁ロックウールボード(15mm厚)の約2倍の断熱性能になります。

●断熱性について

熱伝導率比較表

材 料	熱 伝 導 率(W/m・K)
○ エペランPP	0.041.....(天井・内壁)
ロックウールボード	0.052... (内壁)
合 板	0.16
木片セメント版	0.17
石こうボード	0.22
土 壁	0.69

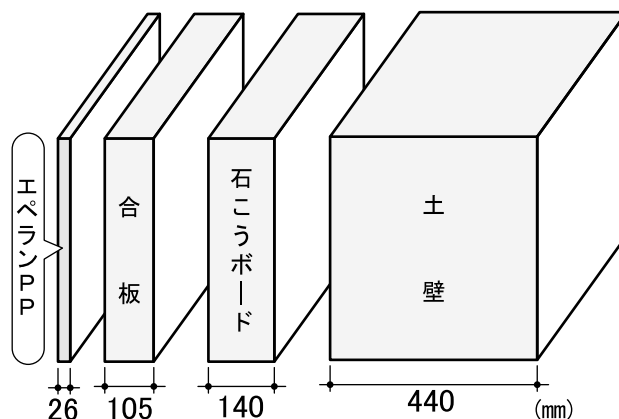
(注) 熱伝導率とは・・・

材料の熱の伝えやすさを表します。

ある材料の面積が1㎡、厚さ1m、表裏面の温度差1℃のとき、この材料を1時間に通過する熱量を表す。この値は材料の厚さを全て1mとして表しているため、すべての材料の断熱性の比較が容易にできるわけです。

この値が小さい程、断熱性にすぐれた材料であるといえます。

●厚さ26mmのエペランPPと同じ断熱効果を得るために必要な他の壁材の厚さ

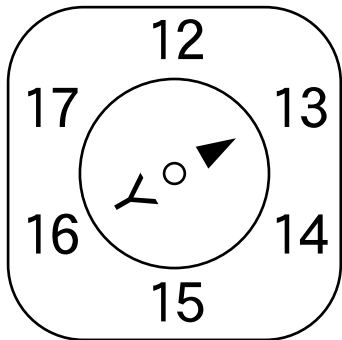


●発砲スチロールではありません！

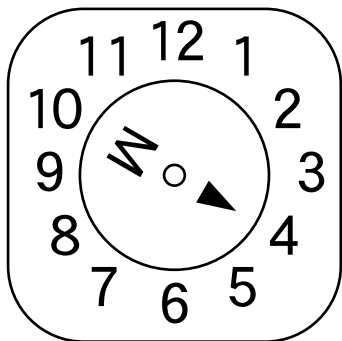
「エペランPP」は、見た目は発砲スチロールのように見えますが、欠けにくくしなやかで曲げても割れにくい性質を持っています。
 また、庫内の意匠面にシボ加工（成形時に金型で凹凸の模様をつける加工）をする事で質感を向上させる事に成功しました。

●製造ロットの確認

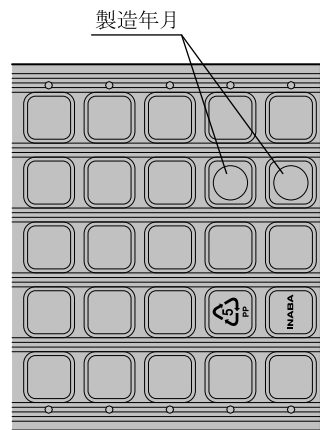
内壁材、天井材の裏面には下記のような表示がされており、製造年月を確認することができます。矢印の指している数字がそれぞれ製造年、製造月です。



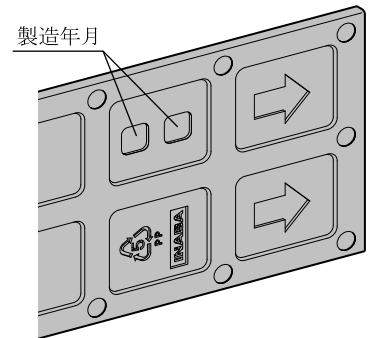
Yは製造年です。図の場合は2013年製。



Mは製造月です。図の場合は4月製。



内壁材



天井材

●注意

「エペランPP」は、ビーズ状の原料を金型の中で発砲させて内壁や天井になります。
 成形上の都合で、ビーズがシボ加工部に入らず表面に穴が開いた様に見えたり、製品寸法が多少ばらつく可能性があります、性能上は問題ありません。

●保管について(梱包状態)

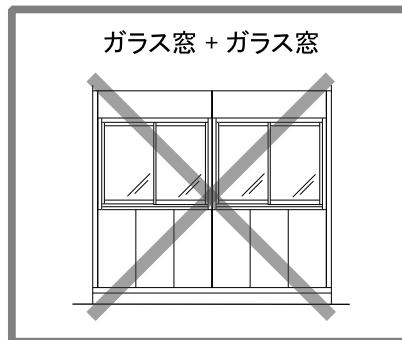
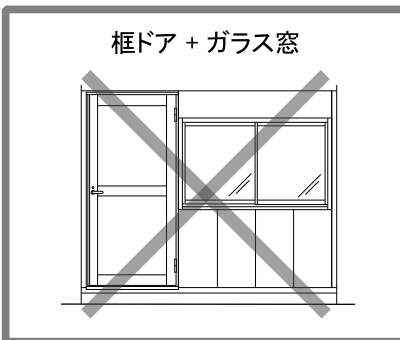
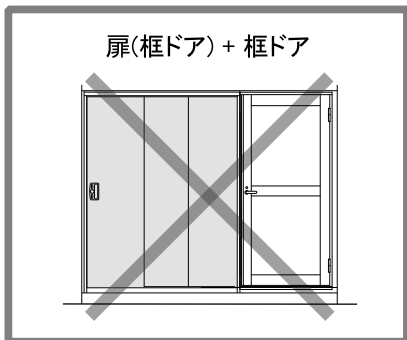
「エペランPP」を大量(20 m³以上)に在庫する場合、「指定可燃物」として消防署への届出が必要になります。
 ※20 m³の目安はH壁で約1300枚(10枚入梱包で130梱包)、4t車約2台分の体積です。

保管時は、火気に十分注意してください。

オプションについて

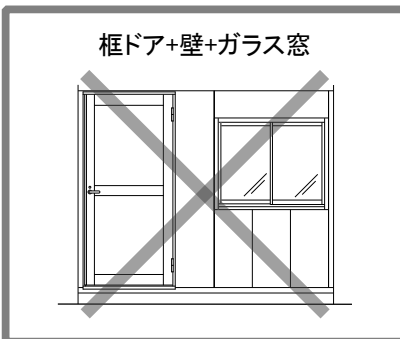
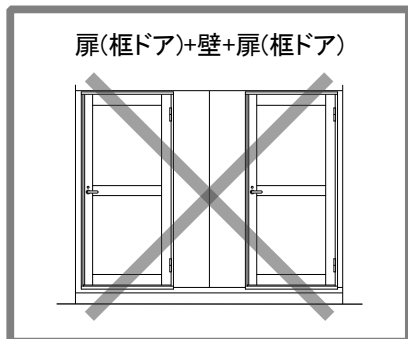
●オプション取付制限について

扉・框ドア・ガラス窓を隣り合わせで取り付けることはできません。



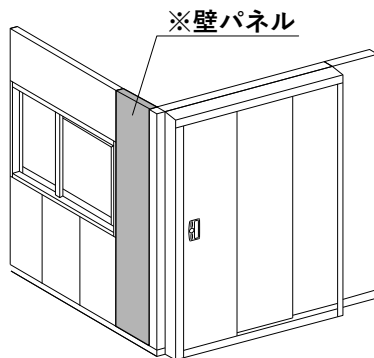
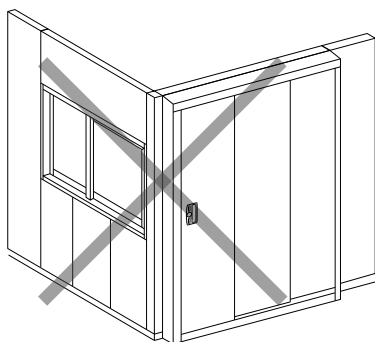
扉・框ドア・ガラス窓は壁(L壁)を挟んだ場合、取り付けることはできません。

※壁(L壁)に内壁が取り付けません。



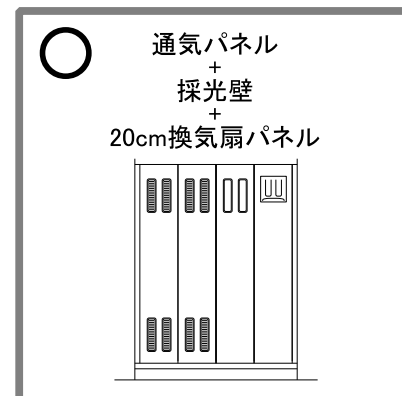
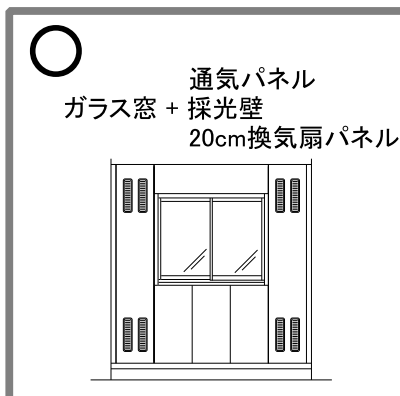
扉・框ドア・ガラス窓をコーナーの柱の両脇に並べて取り付けることはできません。

※カバーC(コーナー用)が付けられないので壁パネルをどちらかに入れてください。



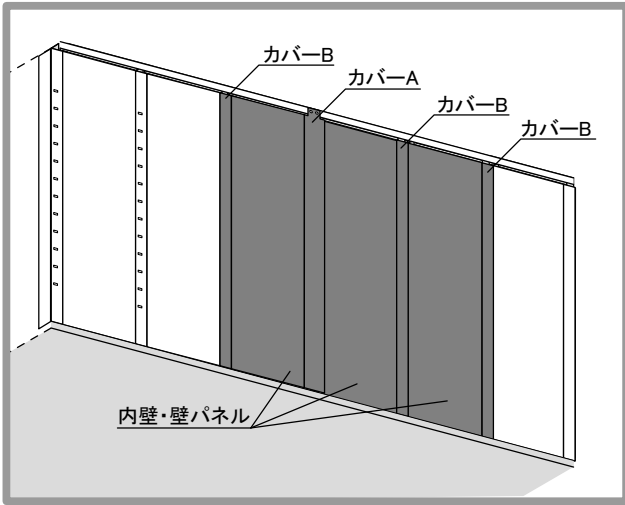
通気パネル・採光壁・20cm換気扇パネルは自由に取り付けできます。

※ただし、後面に通気パネル・20cm換気扇パネルを取り付ける場合は雨といを取り付けてください。



●ガラス窓を取り付ける場合(Hタイプのみ)

例) 壁6枚の部分に壁3枚分のガラス窓を取り付ける場合



ガラス窓を取り付ける場合、下記の部材を差し引いて、窓のセットコードを追加します。

ガラス窓を取り付けた場合に差し引く部材と数

	3P	4P
カバー-B	3本	4本
壁パネル	3枚	4枚
内壁	3枚	4枚

※カバー-A梱包は現地で処分してください。

※内壁は10枚、3枚、2枚入り梱包

カバー-Bは3本、2本入り梱包

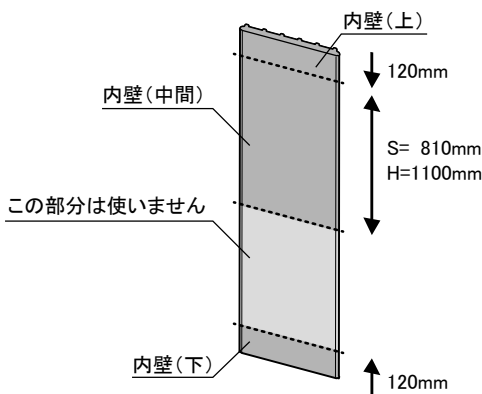
を用意しています。組み合わせて必要総数にしてください。

●通気パネル、採光壁、20cm換気扇用穴あきパネルを取り付ける場合

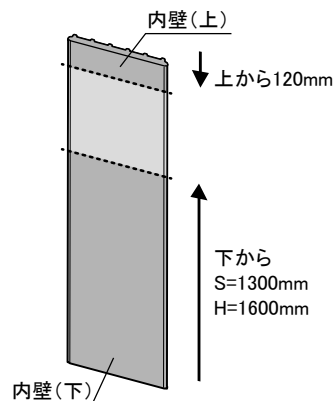
- ・オプション壁の梱包には内壁が含まれていません。
- ・オプション壁を取り付ける場合は、**壁パネル梱包のみ**差し引いてください。
- ・内壁は現地で、下図のようにカットして使います。

※後注文の場合も内壁は現地のもをカットして使うので、オプション壁を単品で出荷してください。

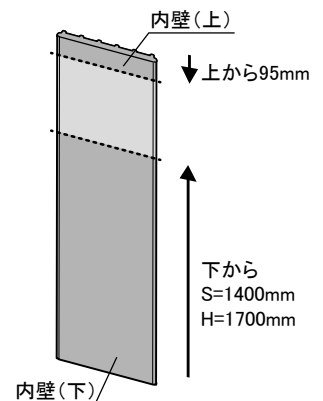
通気パネル



採光壁



20cm換気扇パネル



●4本柱の別売棚の取り付けについて

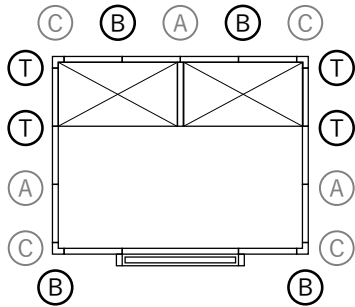
開口部の位置や棚配置によってカバーTとB梱包の差し替えが必要になる場合があります。

<カバーTとB梱包の差し替えが不要な場合>

棚板をドア枠、扉枠、正面パネルで受ける場合は梱包の差し替えは不要です。

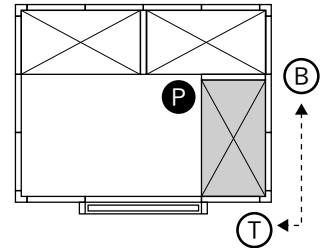
例)FP-1814HD

<カバー配置>



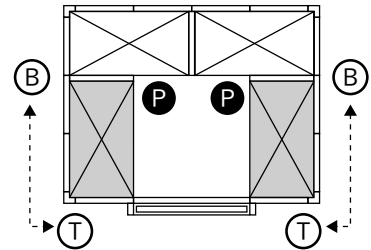
<片側面に棚板>
ドア枠で受ける場合

- ・棚支柱Pセットの**追加**
- ・カバーBとT位置を**入替**



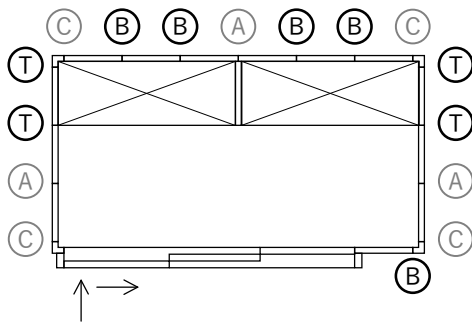
<両側面に棚板>
両面ドア枠で受ける場合

- ・棚支柱Pセットの**追加**
- ・カバーBとT位置を**入替**



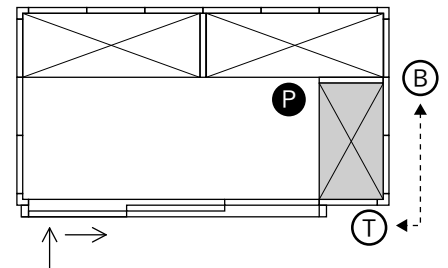
例)FP-2614HT

<カバー配置>



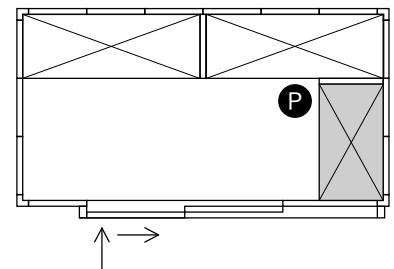
<片側面に棚板>
扉枠で受ける場合

- ・棚支柱Pセットの**追加**
- ・カバーBとT位置を**入替**

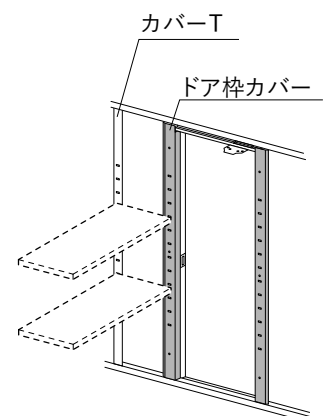
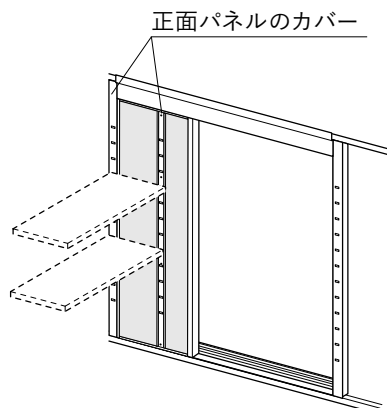
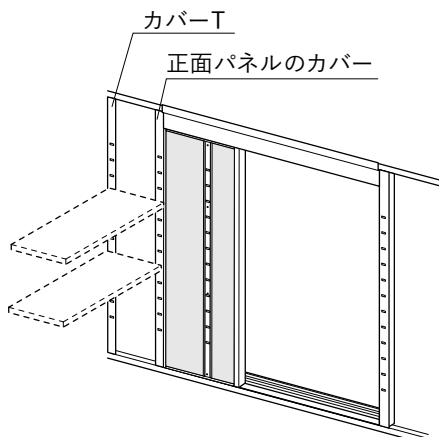


<片側面に棚板>
正面パネルで受ける場合

- ・棚支柱Pセットの**追加**



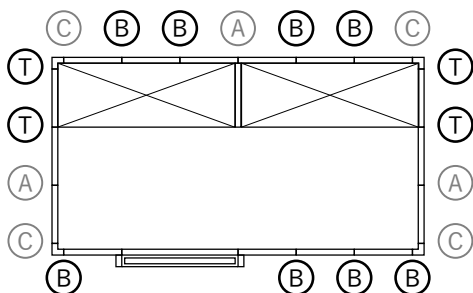
正面パネルのカバー、ドア枠カバーには棚フック用の穴があいています。



<カバーTとB梱包の差し替えが必要な場合>

棚板を壁で受ける場合は梱包の差し替えが必要になります。
 カバーT,カバーBは2本入と3本入の梱包を用意してます。必要数に応じて組み合わせて差し引きをおこなってください。

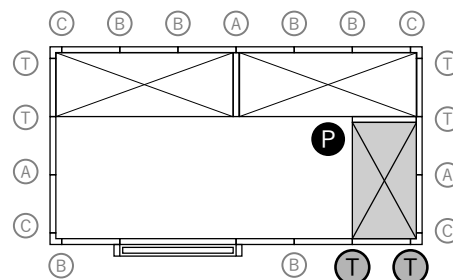
例)FP-2614HD
 <カバー配置>



<片側面に棚板>

壁で受ける場合

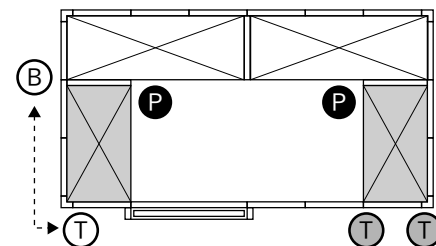
- ・棚支柱Pセットの**追加**
- ・カバーBとTの梱包**差替**



<両側面に棚板>

ドア枠・壁で受ける場合

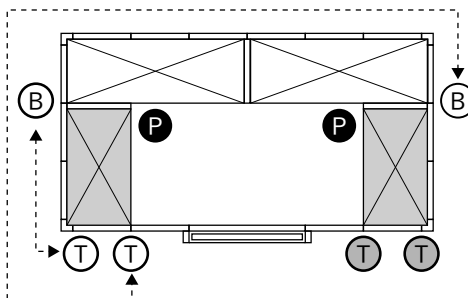
- ・棚支柱Pセットの**追加**
- ・カバーBとTの位置**入替**
- ・カバーBとTの梱包**差替**



<両側面に棚板>

壁で受ける場合

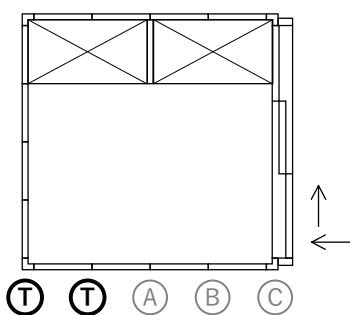
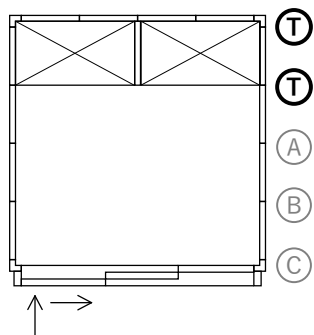
- ・棚支柱Pセットの**追加**
- ・カバーBとTの位置**入替**
- ・カバーBとTの梱包**差替**



右記3パターンのカバーB, T必要数

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ・カバーB(8-2=6本)
3本入:2梱包 | ・カバーT(4+2=6本)
3本入:2梱包 |
|--------------------------|--------------------------|

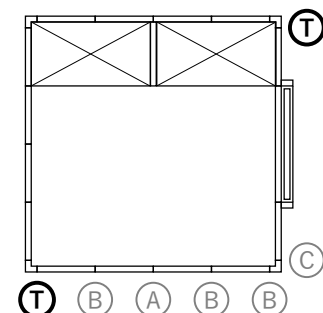
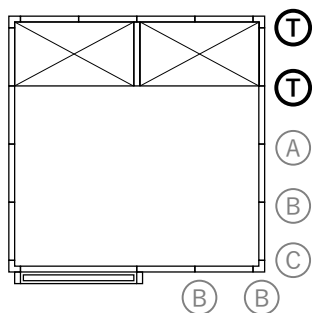
<扉(ドア)の位置を正面から側面に移動させる場合の注意>



扉枠、正面パネルで棚を受ける場合

カバーの移動は可能ですが
 カバーTが棚板のない位置への配置となります。

あらかじめ側面への移動がわかっている場合はカバーTとB梱包の差し替えをおすすめします。



ドア枠で棚を受ける場合

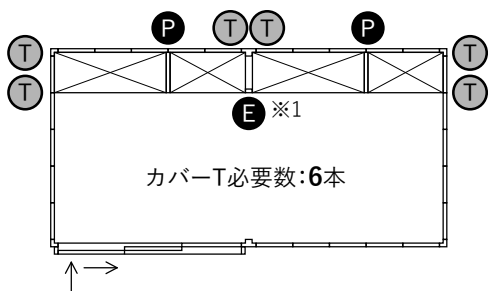
カバーの移動は可能ですが
 カバーTが棚板のない位置への配置となります。

あらかじめ側面への移動がわかっている場合はカバーTとB梱包の差し替えをおすすめします。

●6本柱の別売棚の取り付けについて

カバーBとカバーT梱包の差し替えが必要となります。カバーTの必要数を割り出してください。
 カバーT、カバーBは2本入と3本入の梱包を用意しています。必要数に応じて差し引きをおこなってください。

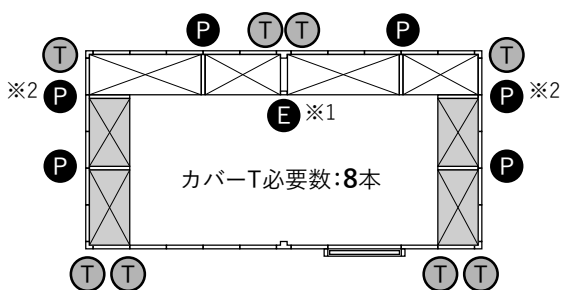
例)FP-442HT



- ・棚支柱Pセットの追加
- ・棚支柱Eセットの追加^{※1}
- ・カバーBとTの梱包差替

※1 多雪型、耐風耐震補強仕様の場合は不要

例)FP-442HD



- ・棚支柱Pセットの追加
- ・棚支柱Eセットの追加^{※1}
- ・カバーBとTの梱包差替^{※2}

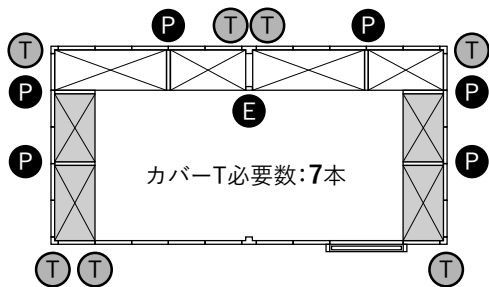
※1 多雪型、耐風耐震補強仕様の場合は不要

※2 棚支柱Pが付く箇所はカバーの差し替えは不要

<カバーB、Tの必要数>

- | | |
|-----------------|-----------|
| ・カバーB(24-8=16本) | ・カバーT(8本) |
| 3本入:4梱包 | 3本入:2梱包 |
| 2本入:2梱包 | 2本入:1梱包 |

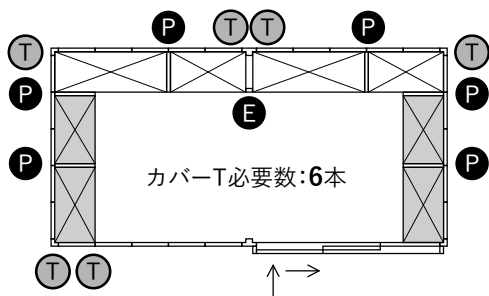
同じ棚配置でもドアの位置や開口部の種類によってカバーTの必要数が異なります。(下記参照)



ドア(扉)枠で棚を受ける場合

<カバーB、Tの必要数>

- | | |
|-----------------|-----------|
| ・カバーB(24-7=17本) | ・カバーT(7本) |
| 3本入:5梱包 | 3本入:1梱包 |
| 2本入:1梱包 | 2本入:2梱包 |



正面パネルで棚を受ける場合

<カバーB、Tの必要数>

- | | |
|-----------------|-----------|
| ・カバーB(21-6=15本) | ・カバーT(6本) |
| 3本入:5梱包 | 3本入:2梱包 |
| 2本入:0梱包 | 2本入:0梱包 |

※例以外の棚板配置の場合は各機種組立説明書の「別売り棚取付図」を参照してください。

建築基準法対応について

オプションの耐風・耐震補強セットを追加すること(及び部材の差替え)で、強度が建築基準法に対応[※]できるようになります。


※基準風速34m/s地域(地表面粗度区分Ⅲ)を前提としていますが、設置条件、用途地域によっては対応できない場合があります。

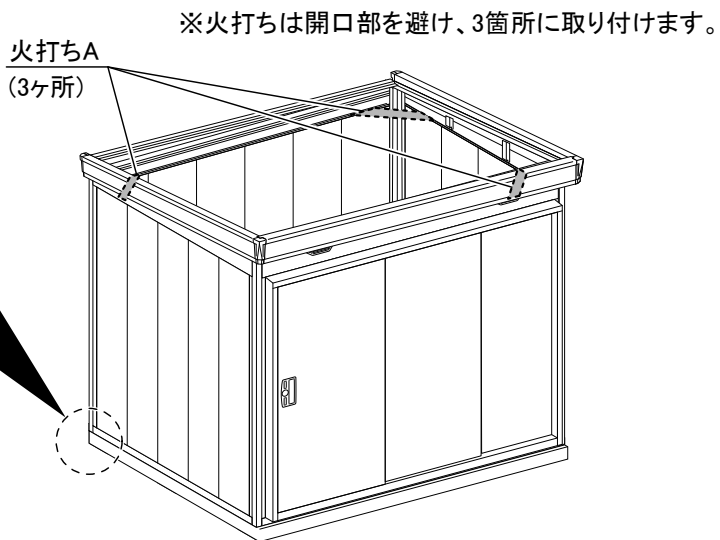
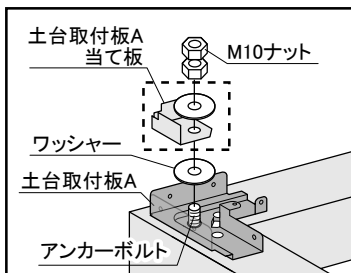
- ① 所定の強度を得るためには、別途コンクリート布基礎とアンカーボルトでの緊結が必要となります。
- ② オプションの取付が制限される場合があります。

HS ← このマークの付いた機種は強度が建築基準法に対応しているため、耐風・耐震補強セットの追加が不要です。(オプションの取付が制限される場合があります)

<4本柱タイプ>


耐風・耐震補強Fセット

〈追加部材〉 
 火打ちA×3
 土台取付板A当て板×4

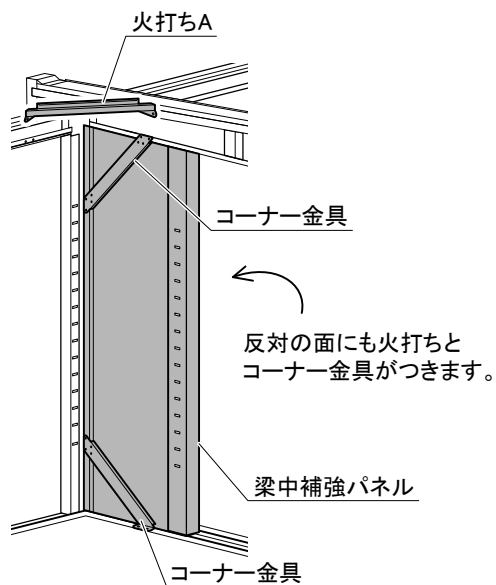


<6本柱タイプ(10㎡未満)>

耐風・耐震補強Cセット

〈追加部材〉 
 梁中補強パネル×2(1)
 コーナー金具×8(4)
 火打ち×4(2)

()内は多雪型の場合

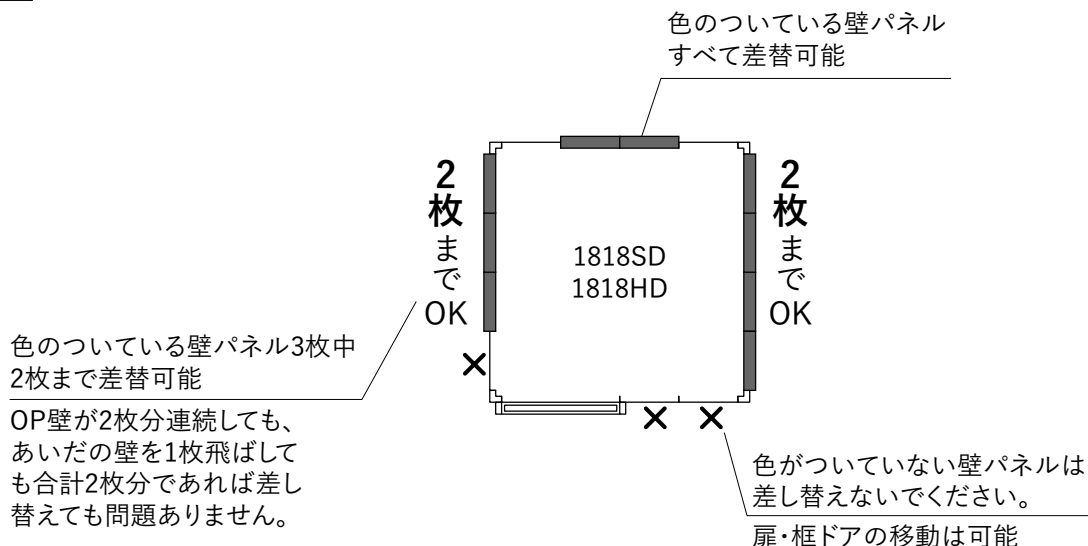


※上図の金具と梁中補強パネルが柱前側にも付きます。

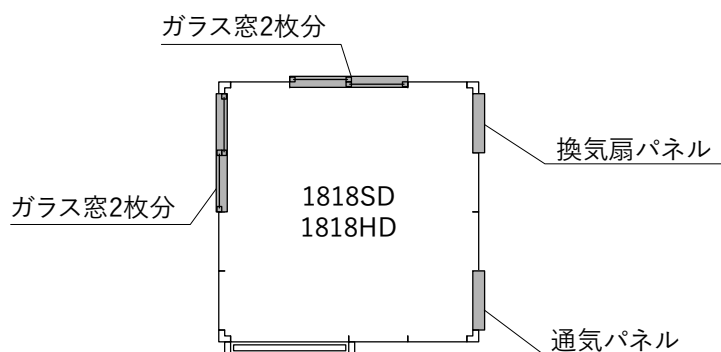
●耐風・耐震補強仕様FORTAプラス OP取付制限資料（4本柱タイプ）

- ・表中の色がついている壁パネルはOP壁パネル・壁面扉・ガラス窓・框ドアに差し替えることができます。
- ・色がついていない壁パネルは強度上必要な壁パネルのため差し替えないでください。
- ・「□枚までOK」表記がある面は□枚を超える枚数の壁パネルを差し替えないでください。
- ・「□枚までOK」表記がない場合は、色がついている壁パネルすべて差し替えできます。
- ・積雪強度区分（一般型・多雪型）によるOP取付制限の差はありません。
- ・扉・框ドアは柱に寄せたり後面に移動させることができますが、側面には移動させないでください。
- ・扉・框ドアが柱寄せの場合、隣り合う側面壁の扉・框ドア側の壁パネル1枚は差し替えないでください。
- ・標準でついている扉SPF-5をSPF-4に変更しても問題ありません。

例 FP-1818S(H)Dの場合

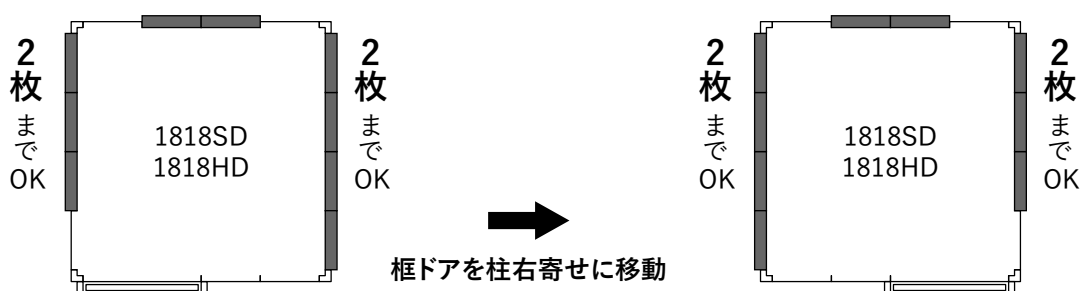


差し替えの制限にかからなければ、下記イラスト例のように複数のOPを追加できます。



標準品の壁面扉、框ドアは同じ面での移動は可能です。

ただし、隣り合う側面壁の扉・框ドア側の壁パネル1枚は差し替えないでください。



オプション差し替え可能範囲が変わります。

<FP 4本柱(間口1790~2630mm)>

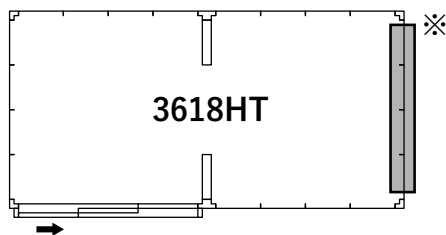
		K-4(W:1790)	K-5(W:2210)	K-6(W:2630)
K-3 (D:1370)	扉	1枚までOK 1814ST 1814HT 1枚までOK	1枚までOK 2214ST 2214HT 1枚までOK	4枚までOK 2614ST 2614HT
	ドア	1枚までOK 1814SD 1814HD 1枚までOK	1枚までOK 2214SD 2214HD 1枚までOK	5枚までOK 2614SD 2614HD
K-4 (D:1790)	扉	1枚までOK 1818ST 1818HT 1枚までOK	2枚までOK 2218ST 2218HT 2枚までOK	3枚までOK 2618ST 2618HT 1枚までOK
	ドア	2枚までOK 1818SD 1818HD 2枚までOK	2枚までOK 2218SD 2218HD 2枚までOK	1枚までOK 2618SD 2618HD 1枚までOK
K-5 (D:2210)	扉	1枚までOK 2222ST 2222HT 2枚までOK	1枚までOK 2222ST 2222HT 2枚までOK	1枚までOK 2622ST 2622HT 2枚までOK
	ドア	3枚までOK 2222SD 2222HD 3枚までOK	3枚までOK 2222SD 2222HD 3枚までOK	2枚までOK 2622SD 2622HD 2枚までOK
K-6 (D:2630)	扉			2626ST 2626HT ※OP追加不可
	ドア			3枚までOK 2626SD 2626HD 3枚までOK

●耐風・耐震補強仕様FORTAプラス OP取付制限資料（6本柱タイプ）

- ・正面開口部に扉・框ドアを取り付けた仕様の強度計算をしています。扉・框ドアは柱に寄せたり後面に移動させることができますが、側面には移動させないでください。
- ・扉（框ドア）が柱寄せの場合、隣り合う側面壁の扉（框ドア）側の壁パネル1枚は差し替えないでください。
- ・積雪強度区分（一般型・多雪型）によるOP取付制限の差はありません。
- ・標準でついている扉SPF-5はSPF-4変更可能。
- ・OPを2構面以上に取り付ける場合は**A**、1構面のみに取り付ける場合は**B**を参照してください。

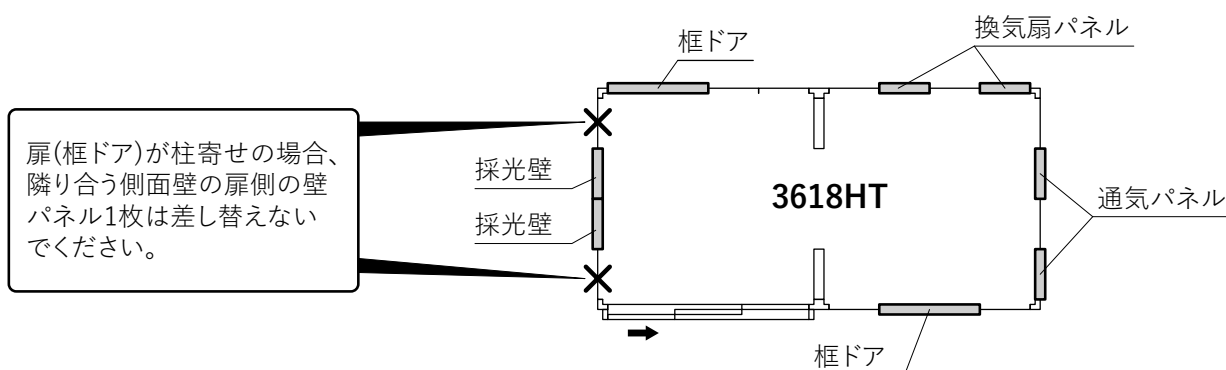
例 3618HTの場合

3618HT
※ A: 2構面以上に複数OP 1構面あたり2枚
※ B: 1構面のみにOP 正面: 2枚 後面: 4枚 側面: 3枚

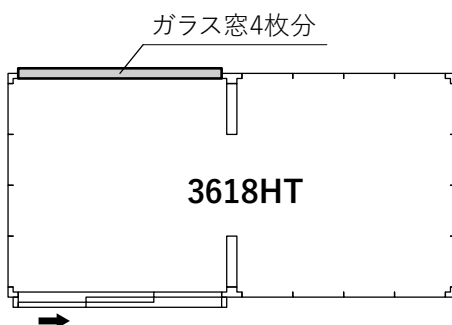


※ で囲ってある柱と柱の間を**1構面**とよびます。
上図は6構面あります。




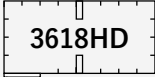
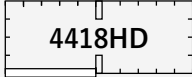
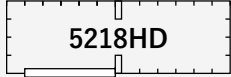
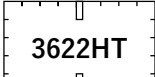
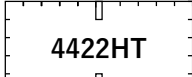

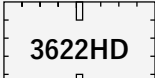
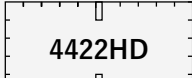
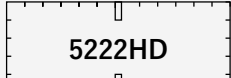
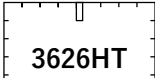
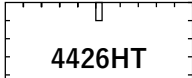
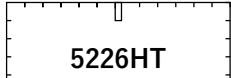
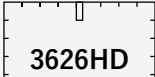
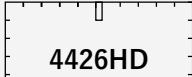
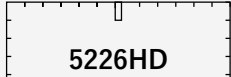
A 1構面あたりの差し替え制限内であれば下記（例は**1構面あたり2枚**）のようにOPを追加できます。



B 扉以外の構面を1つ選択して差し替え制限内のOPを追加できます。（下記例では後面を選択しガラス窓4枚分を追加しています）



<FP 6本柱(間口3580~5260mm)>

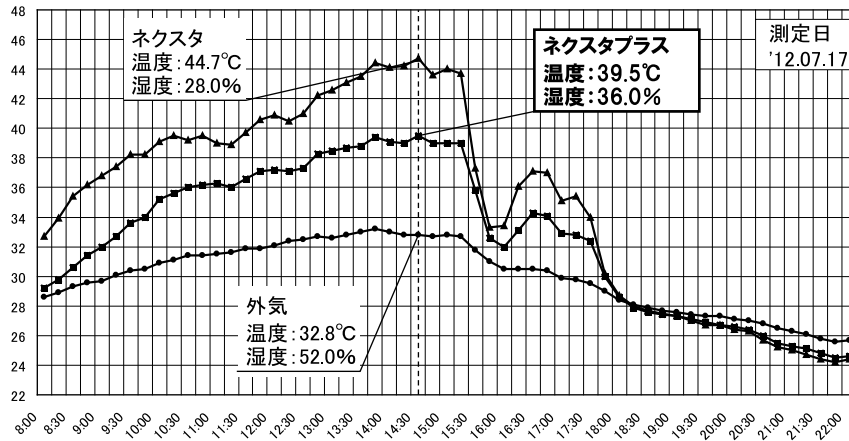
		K-4 + K-4 (W3580)	K-5 + K-5 (W4420)	K-6 + K-6 (W5260)
K-4 (D1790)	扉			
		A:2構面以上にOP 1構面あたり2枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり2枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり1枚
	B:1構面のみにOP 正面:2枚 後面:4枚 側面:3枚	B:1構面のみにOP 正面:3枚 後面:5枚 側面:2枚	B:1構面のみにOP 正面:4枚 後面:5枚 側面:1枚	
	ドア			
		A:2構面以上にOP 1構面あたり3枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり2枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり1枚
	B:1構面のみにOP 正面:4枚 後面:4枚 側面:3枚	B:1構面のみにOP 正面:5枚 後面:5枚 側面:2枚	B:1構面のみにOP 正面:5枚 後面:5枚 側面:1枚	
K-5 (D2210)	扉			
		A:2構面以上にOP 1構面あたり2枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり3枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり2枚
	B:1構面のみにOP 正面:2枚 後面:4枚 側面:4枚	B:1構面のみにOP 正面:3枚 後面:5枚 側面:3枚	B:1構面のみにOP 正面:4枚 後面:5枚 側面:2枚	
	ドア			
		A:2構面以上にOP 1構面あたり3枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり3枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり2枚
	B:1構面のみにOP 正面:4枚 後面:4枚 側面:4枚	B:1構面のみにOP 正面:5枚 後面:5枚 側面:3枚	B:1構面のみにOP 正面:5枚 後面:5枚 側面:2枚	
K-6 (D2630)	扉			
		A:2構面以上にOP 1構面あたり2枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり2枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり3枚
	B:1構面のみにOP 正面:2枚 後面:4枚 側面:5枚	B:1構面のみにOP 正面:2枚 後面:5枚 側面:4枚	B:1構面のみにOP 正面:3枚 後面:5枚 側面:4枚	
	ドア			
		A:2構面以上にOP 1構面あたり3枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり4枚	A:2構面以上にOP 1構面あたり3枚
	B:1構面のみにOP 正面:4枚 後面:4枚 側面:5枚	B:1構面のみにOP 正面:5枚 後面:5枚 側面:4枚	B:1構面のみにOP 正面:5枚 後面:5枚 側面:4枚	

参考 温度比較データ

下記データは、真夏日の日なたに設置し測定したものです。
機種や天候・設置場所・使用条件により異なりますので、あくまで参考値としてお考えください。

扉タイプ (NXP-50HTとNXN-50HA) 扉色：ミストグレー

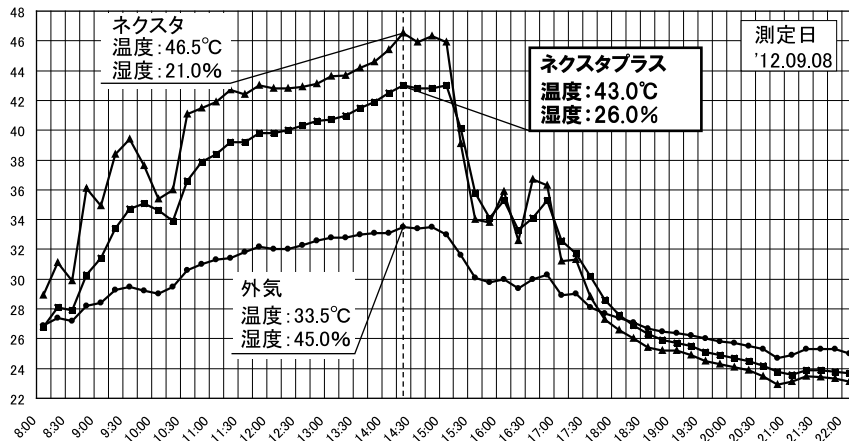
- ・外気温が約33°Cのとき、ネクスタの庫内は約45°Cになりますが、ネクスタプラスの庫内は約40°Cで、ネクスタと比べて約5°C温度上昇を抑えることができます。



※扉は南面に取り付けたときのデータです。

ドアタイプ (NXP-50HDとNXN-50HAD)

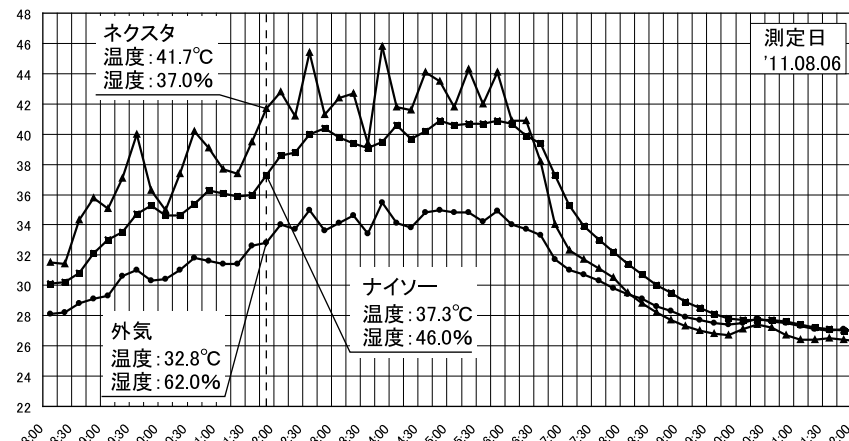
- ・外気温が約34°Cのとき、ネクスタの庫内は約47°Cになりますが、ネクスタプラスの庫内は約43°Cで、ネクスタと比べて約4°C温度上昇を抑えることができます。



※ドアは扉よりも断熱性能が劣るため、北面に取り付けてデータを収集しています。

◆参考 ネクスタとナイソーの場合 (SMK-47HとNXN-50H)

- ・外気温が約33°Cのとき、ネクスタの庫内は約42°Cになりますが、ナイソーの庫内は約37°Cで、ネクスタと比べて約5°C温度上昇を抑えることができます。



※扉は南面に取り付けたときのデータです。

ナイソー編

性能と特徴

●内装材

- 1) 床板 —— 耐水合板(F☆☆☆)厚さ12mmに木目柄(オークブロック)の塩ビシート貼りがしてあり、より安心してご使用いただけます。
- 2) 内壁 —— 断熱効果の高い準不燃材料「認定番号QM-9817」の素材、ノンアスベストのロックウール材厚さ15mm(*規制対象外)を採用。さらに表面にはクロス柄(レイティンシ)のオレフィンシート貼りの化粧がされております。

〈性能〉

ロックウールボードは、吸音、遮音性能があり石膏ボード(9mm厚)の6倍の断熱性能を持つ材料で、住宅には幅広く使用されております。

- 3) 天井 —— 硬質発泡ポリウレタンフォーム厚さ20mm(*規制対象外)の表面は、クロス柄(プラパホワイト)の化粧貼りとなっております。

〈性能〉

硬質発泡ポリウレタンフォームは従来の空気泡の保冷材(スチロール)に比べ、約2倍の断熱性能を持っております。

***規制対象外：シックハウス対策において規制を受けることなく居室の建材として使用することができます。**

熱伝導率比較表

材 料	熱 伝 導 率(W/m・K)
○ 硬質ポリウレタンフォームボード	0.021.....(天井)
○ ロックウールボード	0.052...・(内壁)
○ インシアスレート系ウレタンボード	0.021.....(壁用断熱材・オプション)
○ PS発泡ボード	0.035.....(床用断熱材・オプション)
合 板	0.16
木片セメント版	0.17
石こうボード	0.22
土 壁	0.69

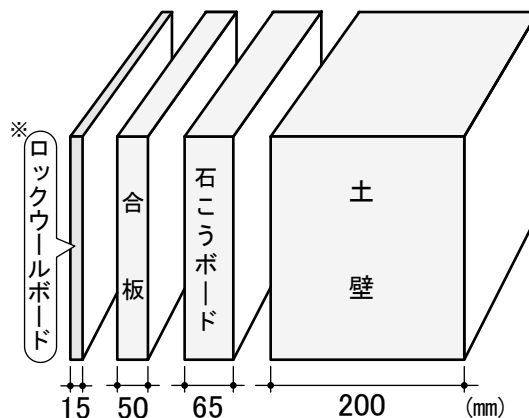
(注)熱伝導率とは

材料の熱の伝えやすさを表します。

ある材料の面積が1㎡、厚さ1m、表裏面の温度差1℃のとき、この材料を1時間に通過する熱量を表わす。この値は材料の厚さを全て1mとして表わしているの、すべての材料の断熱性の比較が容易にできるわけです。

この値が小さい程、断熱性にすぐれた材料であるといえます。

- ロックウールボード15mmと同じ断熱効果を得るために必要な他の壁材の厚さ



●換気

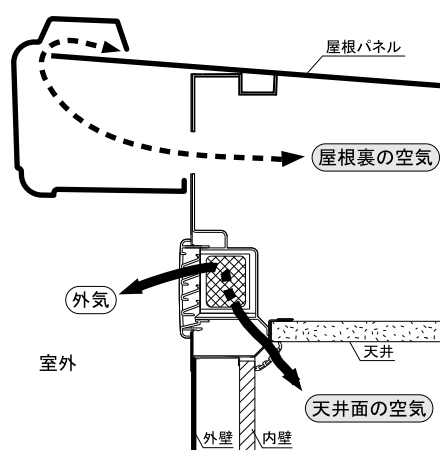
1) 天井面に集まった汚れた空気の換気(パターン1)

回り縁のガラリから桁の換気ガラリ(防虫網付)を通して外部に自然に換気されます。

2) 天井と屋根の間の屋根裏換気(パターン2)

屋根裏の結露対策として、屋根裏の空気は鼻隠し部分より換気されます。

(注) 結露については、屋根裏に貼付する結露軽減材をオプションとしても用意しておりますが、地域や使用状態等により条件が異なりますので現地の実情に合った断熱材の追加が必要となる場合があります。



3) 25cm換気扇用穴あきパネル(オプション)

各電器メーカー共通の換気扇(25cm用)が取付できる穴あきパネル(木枠付)をオプションで用意しており、強制換気用としてご利用下さい。

●ドア関係

高水準の水密・気密性を誇るアルミ製の高級フラッシュドアはドアクローザー付で、レバーハンドルの取っ手を採用してあるため、子供やご老人でも容易に開閉ができます。また錠はピッキング対応のダブルロック錠(室内側にも2つの内錠)で、安全性と防犯性を追求した高性能の扉になっております。

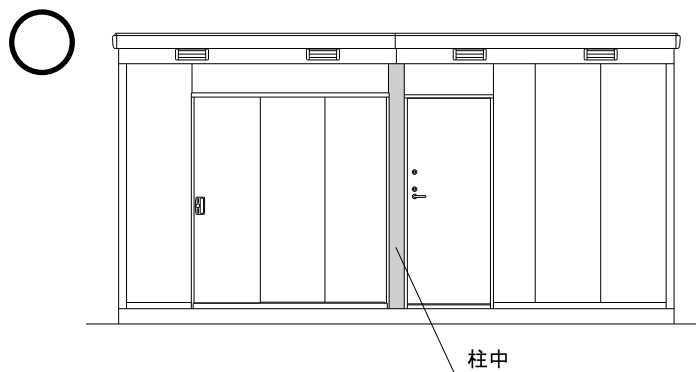
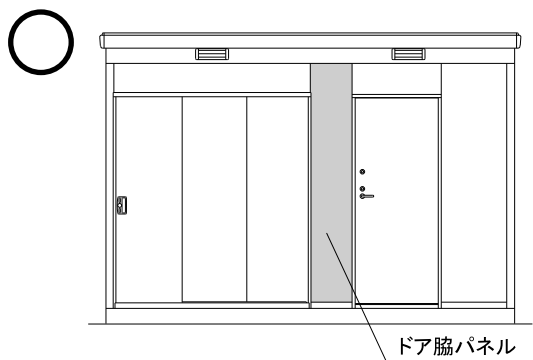
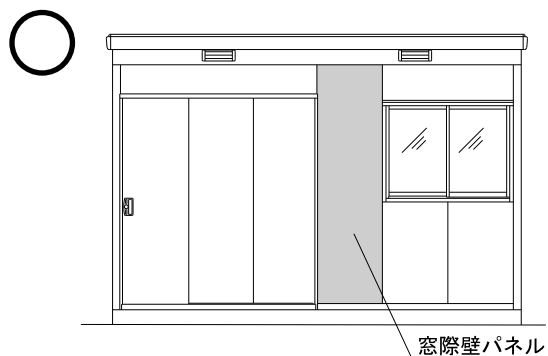
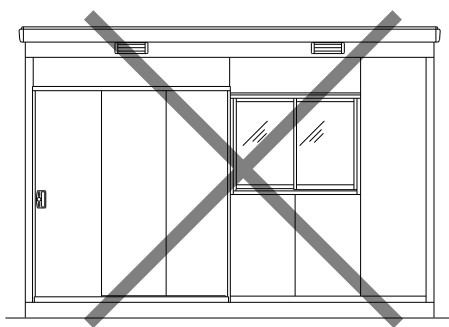
ドアの内部にはオプションの土間マット(仕切枠付)が簡単に取付でき、外部にはポリカーボネート屋根のドア専用ひさし(Hタイプのみ)も用意しております。

オプション品の取り付け位置の注意点

●隣合わせに取り付ける場合

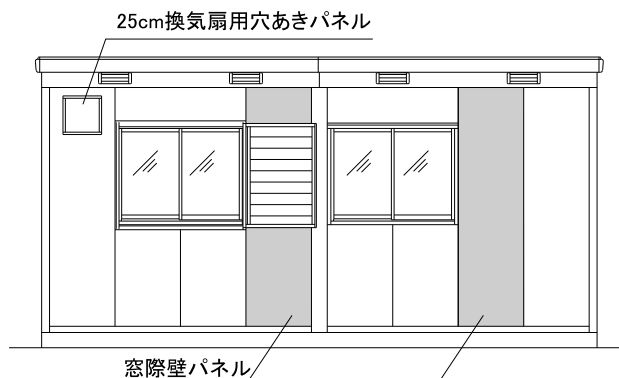
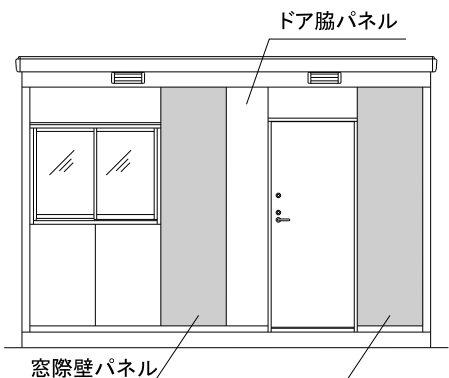
すべてのオプションは、隣合わせに取り付けることが出来ません。

ただし、オプションの間に壁パネル(25cm換気扇用穴あきパネル)・ドア脇パネル・柱中が入れば、取り付けは可能になります。



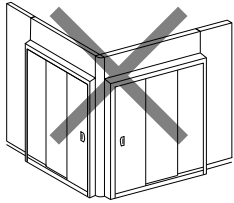
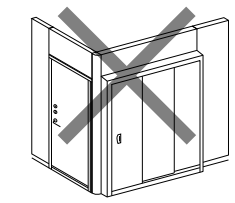
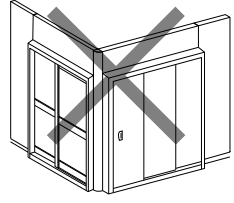
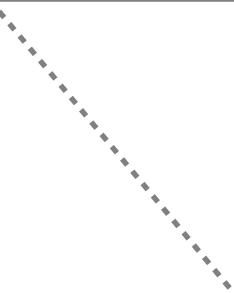
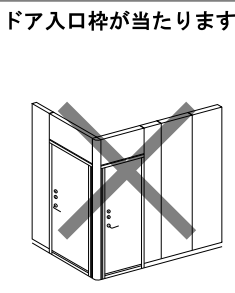
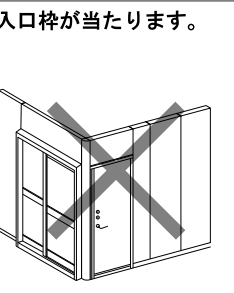
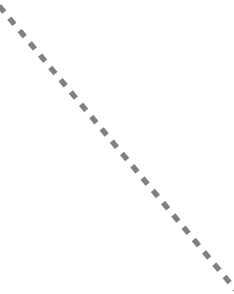
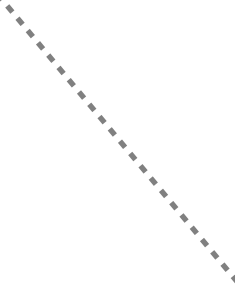
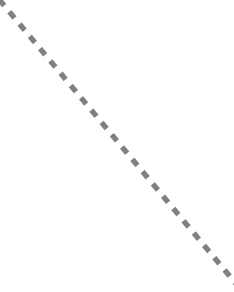
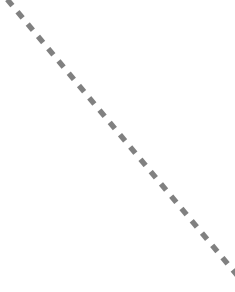
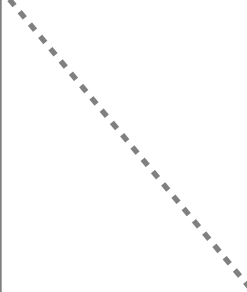
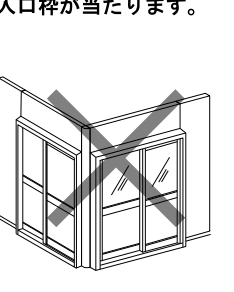
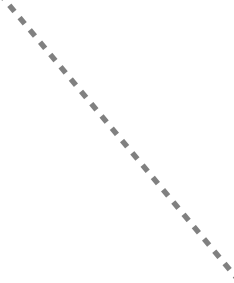
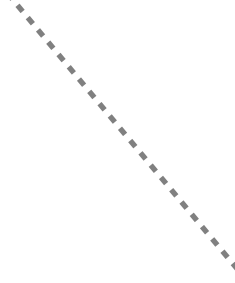
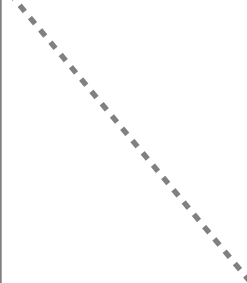
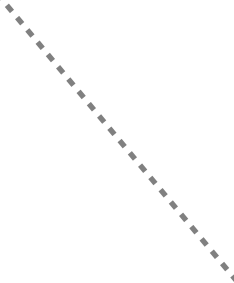
●窓際壁パネルの取り付け

オプションの隣に壁パネルを取り付ける場合、窓際壁パネル(25cm換気扇用穴あきパネル)を用いてください。



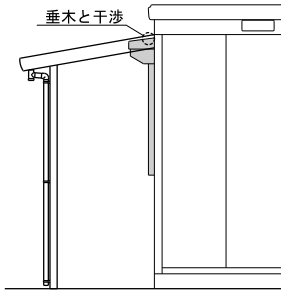
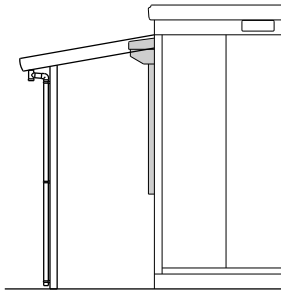
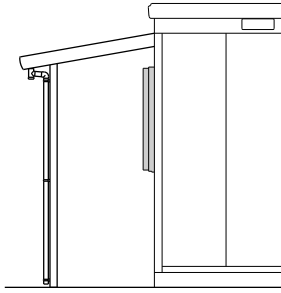
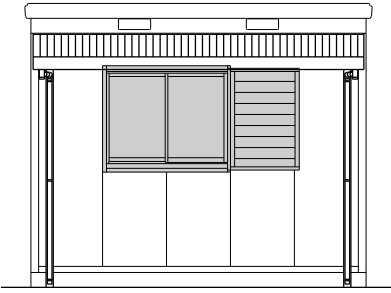
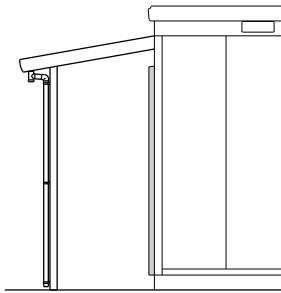
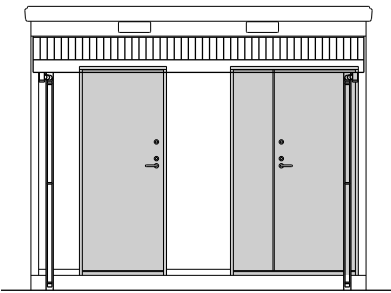
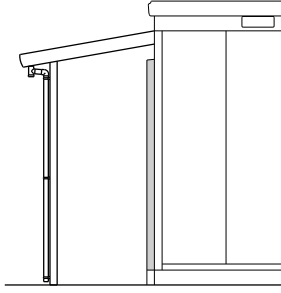
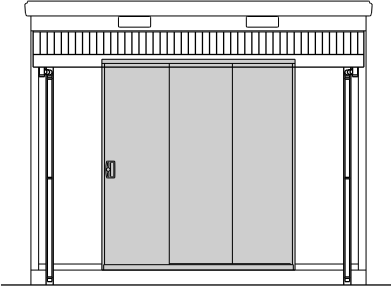
●コーナー柱部分に取り付ける場合

下表を参考に取付けてください。

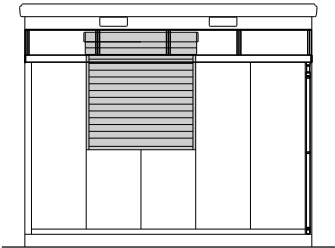
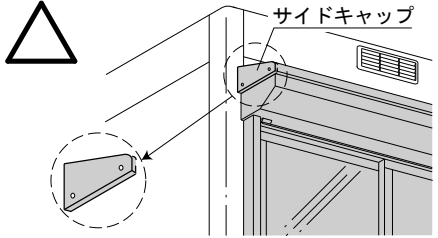
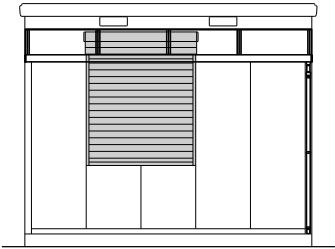
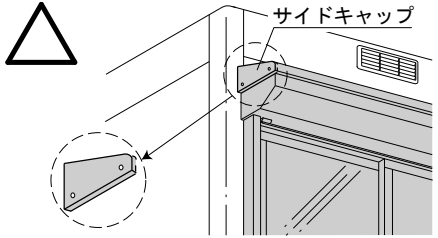
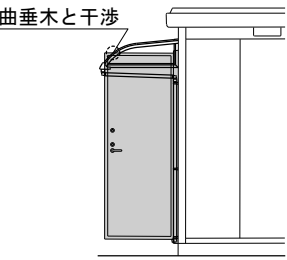
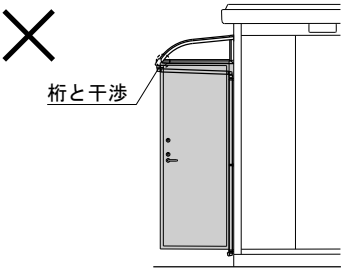
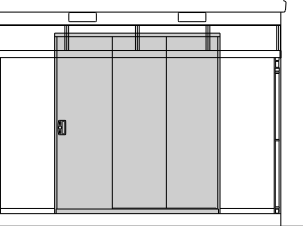
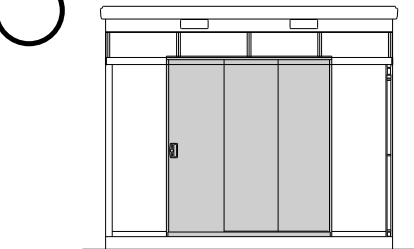
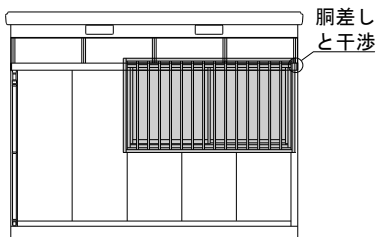
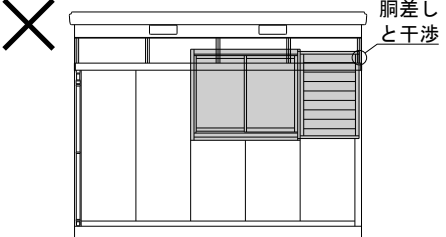
	扉	ドア関係 ・フラッシュドア ・框ドア ・親子ドア	ガラス窓関係 ・ガラス窓 ・雨戸シャッター付ガラス窓	掃き出し窓関係 ・掃き出し窓	壁関係 ・壁パネル ・25cm換気扇用穴あきパネル ・ドア脇パネル
扉	<p>どちらかの扉を逆開きにすれば、取付可能です。</p> 	<p>扉を逆開きに変更すれば、取付可能です。</p> 	○	<p>扉を逆開きに変更すれば、取付可能です。</p> 	○
ドア関係		<p>ドア入口枠が当たります。</p> 	○	<p>入口枠が当たります。</p> 	○
ガラス窓関係			○	○	○
掃き出し窓関係				<p>入口枠が当たります。</p> 	○
壁関係					○

●テラスの取り付け制限

①テラスBK型(Hタイプのみ)

		SMK：HタイプにテラスBK型取付	
雨戸シャッター付ガラス窓 (RSK)	×		※ 取り付けできません。
GM用 雨戸シャッター付ガラス窓 (RGM)	×		※ 取り付けできません。
雨戸付ガラス窓 (RAS)	○		
フラッシュドア(DAK) 親子ドア(DWK)	○		
扉 (TOK)	○		

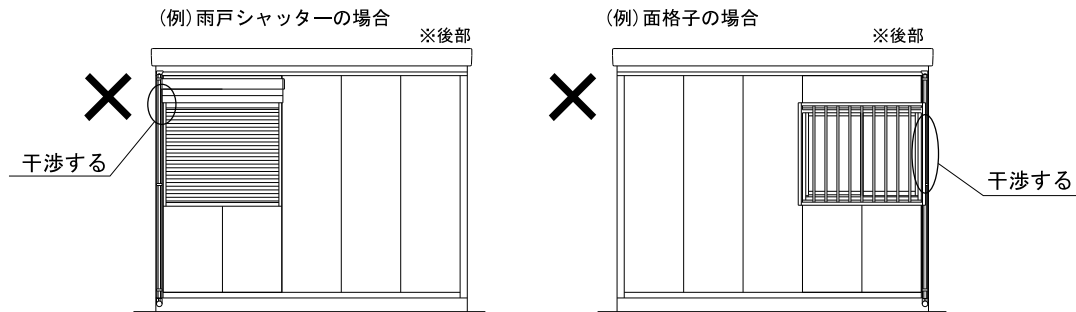
②テラスCK型

		HタイプにテラスCK型取付	
雨戸シャッター付ガラス窓 (RSK)	○ 	△ 	※ 雨戸シャッター付ガラス窓が柱に接して取り付けてある場合は、柱側のサイドキャップを外してください。
GM用 雨戸シャッター付ガラス窓 (RGM)	○ 	△ 	※ 雨戸シャッター付ガラス窓が柱に接して取り付けてある場合は、柱側のサイドキャップを外してください。
		SタイプにテラスCK型取付	HタイプにテラスCK型取付
フラッシュドア (DAK) 親子ドア (DWK)	× 	× 	※ 取り付けできません。
扉 (TOK)	○ 	○ 	
		テラスCK型と柱寄りオプションとの関係	
面格子 (MS) ガラス窓用雨戸 (RAS)	× 	× 	※ S・H共に面格子が柱寄りのときは取り付けできません。
			※ S・H共にガラス窓用雨戸の戸袋が柱寄りのときは取り付けできません。

●たてといと干渉するオプション品

下記のオプション品は取付け位置によっては立といに当たる場合があります。

- | | |
|----------|--------------------|
| ○雨戸 | ○外カウンター, コーナーカウンター |
| ○雨戸シャッター | ○テラス (BK・CK型) |
| ○面格子 | ○ひさし |



●棚板取り付け時の注意点

棚板は取付け位置によって取付かない場合があります。下図を参照してください。

ガラス窓		掃き出し窓・ドア	
○ (条件付) 棚板 条件: 額縁にかかる高さ以外ならOK。	✗ 棚板	✗ 棚板	↑ ← ↑ → 棚板 入口枠が干渉します。イラストは掃き出し窓
扉			
○ ↑ → 棚板 正面パネル側の枠側のみOK	○ 棚板 ↑ ←	✗ ↑ → 棚板 正面パネルで棚を受けられません。	
棚板		ブラインド	
○ 棚板 交差OK	✗ 棚板 L字型NG	○ (条件付) 棚板 条件: ブラインドをズラせばOK。	✗ 棚板 他のオプションとスライドがL字配置のときはNG。ブラインドがずらせない。

●外カウンターの取り付け注意点

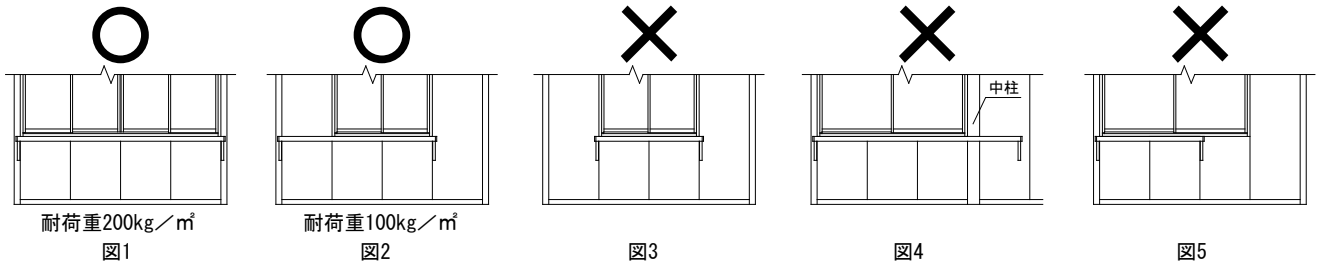
ガラス種類	高さ
GSK	950mm
GM	780mm
RSK	895mm
RGM	725mm

①外カウンターは土台下より右記寸法間で自由なさに取付けできます。
用途に合った高さを取付けてください。

②カウンター取付金具は左右の一方を必ず柱か中柱に取付けて下さい。

もう一方の金具は、柱、中柱、壁パネル、窓際壁パネル、ドア脇パネルに取付けできます。(図1~3)

③中柱を含む取付けはできません。また、端部のカウンター取付金具を窓下壁パネルへ取付けすることはできません。(図4, 5)



●内カウンターの取り付け注意点

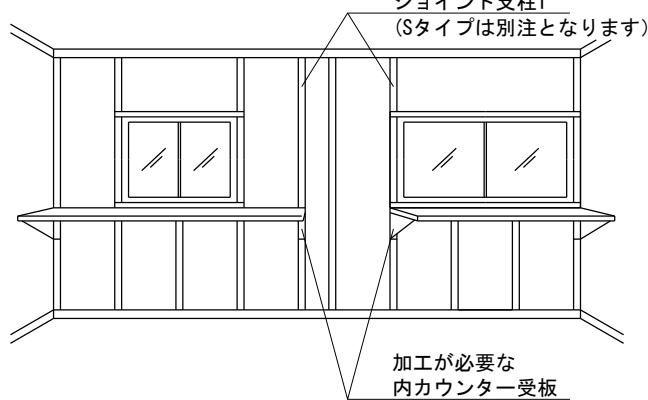
内カウンターは半カウンターとして使用できますが、カウンターの支持部の取付け強度が弱いため、荷重に対する注意が必要です。

(標準カウンターの耐荷重:200kg/m²、半カウンターの耐荷重:100kg/m²)

①半カウンターの場合は、どちらか一方を必ずコーナー部分に取付けてください。

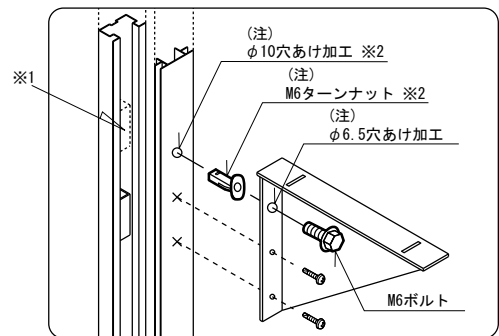
②ガラス窓(GSK)に内カウンターを取付ける場合、2P、3P、4Pは取付可ですが、5P、6PはGSK用のTB支柱がないため取付けできません。

半カウンターの取付例



(注) 半カウンターの場合、ターンナットとボルトは梱包内に入っておりませんので、別手配となります。また、ジョイント支柱の梱包は取付け位置に合ったものに差し替えてください。

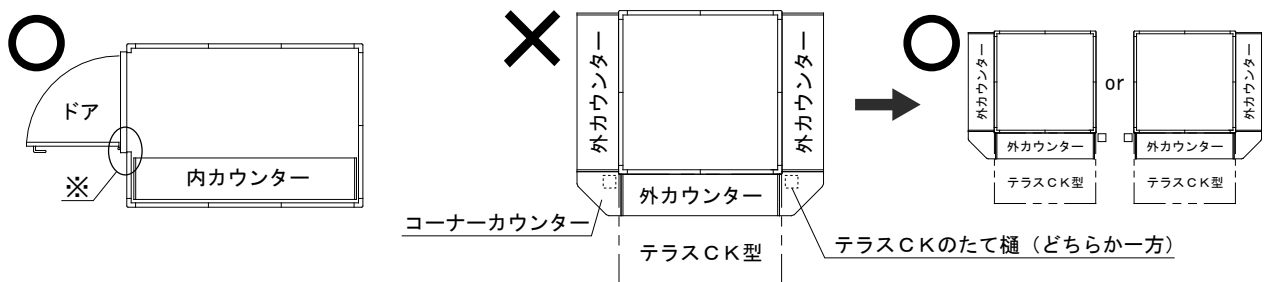
支持部の取付け方法



(追加加工)
(1) 内カウンター受板にφ6.5の穴あけ加工
(2) ジョイント支柱Tにφ10の穴あけ加工
(3) M6ターンナットをセット(別手配のこと)
M6ターンナットはジョイント支柱Tをパネル押さえに取付ける前にセットしてください。

※1 内カウンター受板はターンナットが止め金具に当たる位置には取付けできません。
※2 ジョイント支柱に、内カウンター受板を先に取付ける場合は、ナット(穴あけ加工はφ6.5)でも取付け可能です。

●他のオプションとの取り付け注意点

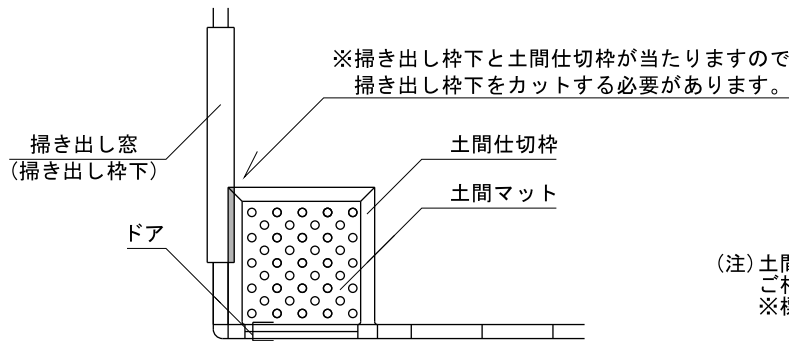


※ドア脇パネルがある場合、ドア入口枠と内カウンターは干渉しません。

テラスCKのたて樋が落せなくなります。たて樋を落とす為、L字の配置にしてください。(右図参照)

●土間マットの取り付け位置

基本的には、どこにでも取付けできますが、下記の場合は加工が必要となります。



(注)土間マットのサイズ変更をご希望の場合は
ご相談ください。
※標準マット寸法は825×855(mm)

施工上の注意点

●施工上必要となる工具類

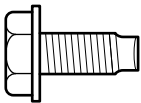
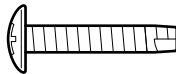
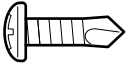
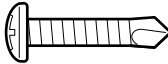

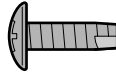
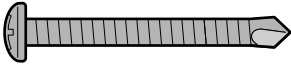
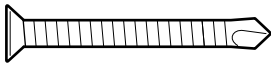
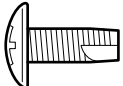
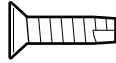

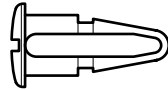
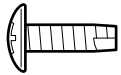
施工場所	必要となる工具
①アンカー取付	○ M12用スパナ
②巾木	○ カッターナイフ ○ 鉄のこ刃
③野縁(野縁カバー)	○ 約φ10mmドリル
④雨樋	○ 鉄のこ刃
⑤電気配線	○ ラジオペンチ ○ 差し込み型のコネクター(2本用)←1本は予備
⑥カーペット	○ 両面テープ(薄いもの)または 接着剤(ピールアップ型接着剤) ○ カッターナイフ
⑦テラス	○ ポンチ ○ φ5mmドリル ○ φ10mmドリル(必ず10mmを守ること) ○ セロハンテープ類 ○ コーキング材(シリコン)

●使用ネジ一覧表

ナイソンの組み立てには、多種のネジを使用します。
間違えて取り付ける事がないように、組み立ての際には指定されたネジの形状・
大きさ・取付場所をこの一覧表で確認の上、作業してください。

【ネジの図は、実物とおりの大きさに載せてあります。】

使用ネジ一覧表

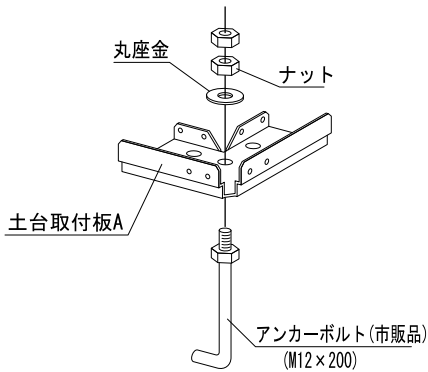
形状	取付場所	形状	取付場所
M6ボルト(ZECコート) 	・本体組立	トラスタッピンネジ φ4×20(ステンレス) 	・ガラス窓の額縁 ※上…全部 ※下…両端のみ
テクスネジ φ4×13(有色クロメート) 	・床固定金具 ・(立トイ取付板中)	テクスネジ φ4×19(ステンレス) 	・ガラス窓の額縁 ※下の中間部
テクスネジ φ4×19(ブロンズ) 	・巾木 (ジョイントカバー部)	トラスタッピンネジ φ4×12(ブロンズ) 	・扉入口枠上・左右 ・ドア入口枠上・左右 ・掃き出し入口枠上・左右
テクスネジ φ4×35(ブロンズ) 	・巾木 (内壁のセンター部)	皿テクスネジ φ4×35(ステンレス) 	・扉入口枠下 ・ドア入口枠下 ・掃き出し入口枠下
トラスタッピンネジ φ5×12(有色クロメート) 	・野縁	皿タッピンネジ φ4×14(ステンレス) 	・入隅 ・回り縁ガラリ
ちょうナット (有色クロメート) 	・野縁(両端部のみ)	回り縁押えボタン (ポリアセタール樹脂) 	・回り縁
トラスタッピンネジ φ4×12(ステンレス) 	・梁中カバー	※表中には、代表的なネジを載せてあります。 上記以外のネジは、それぞれのオプション の組立説明書を参考に取付けてください。	

●基礎工事

<標準基礎>

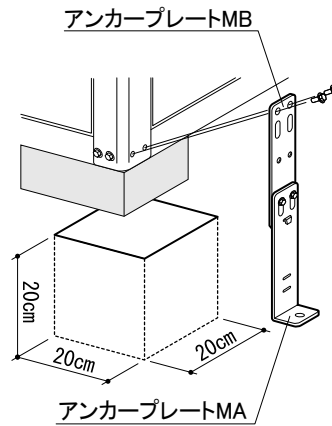
アンカーは重要ですので、必ず施工図に従って工事を行ってください。

①パターン 標準部品

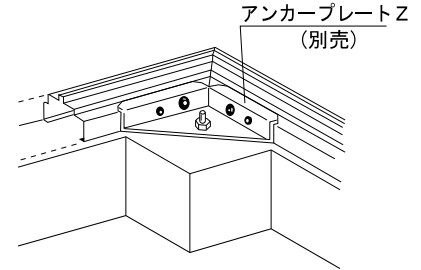


(注)ダブルナットで固定すること

②パターン 標準部品

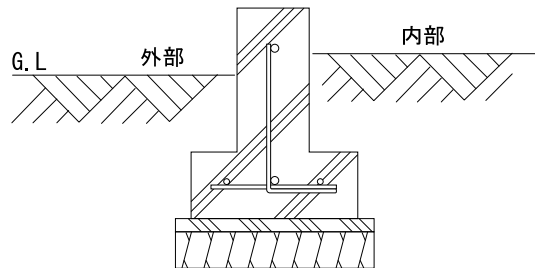


③パターン



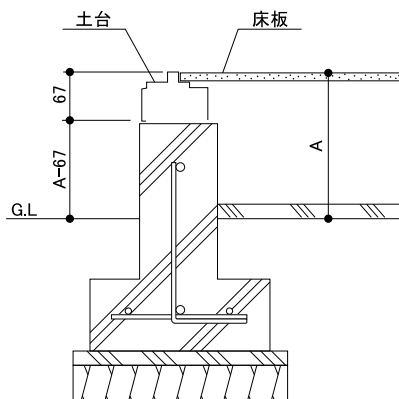
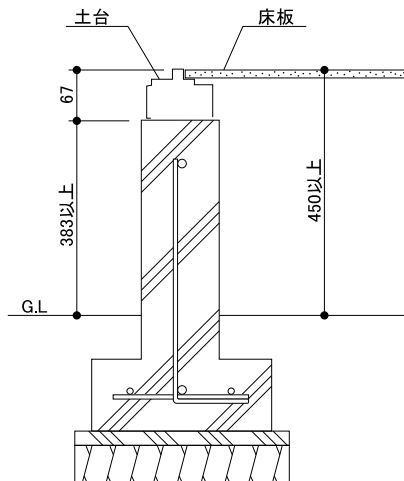
<床下換気と雨水浸入防止>

建築基準法では土台の基礎部分には、長さ5m以下ごとに、面積300cm²以上の換気孔を設け、これにねずみの侵入を防ぐための設備をすることと、定められています。換気孔は必ず設け、さらに基礎内部に雨水が侵入しないよう床下面を外部より少し高くする必要があります。



<床の高さ>

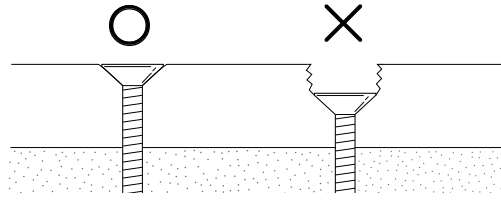
建築基準法では床の高さは、直下の地面からその床の上面まで45cm以上とすることと定められていますが、床下をコンクリートなどこれに類する材料でおおう等防湿上有効な措置を講じた場合はこの寸法にする必要はありません。



●本体組立工事(オプション含む)について

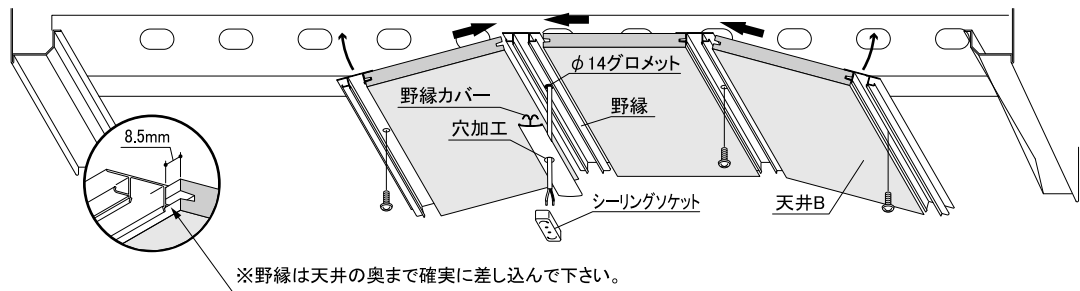
<ネジの締め付け>

プラスチック部分や木部の締め付けにはドリルの回転を遅くしてていねいに締め付けてください。

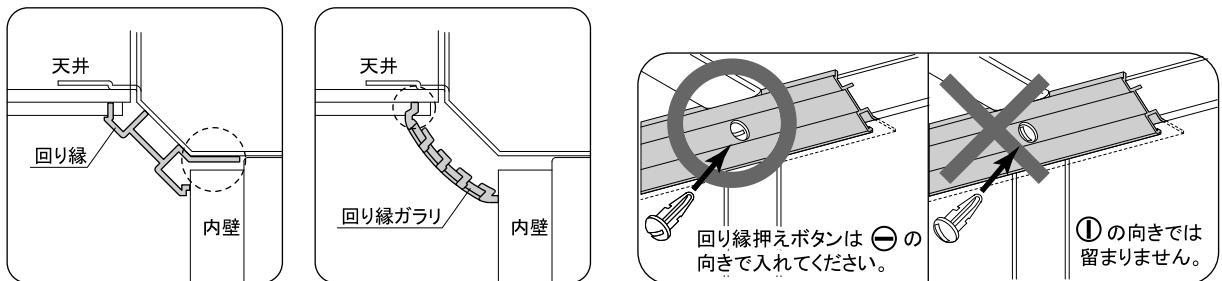


<電灯をつける場合の野縁の取り付け方>

電灯取付け用の野縁を最初に取付けます。



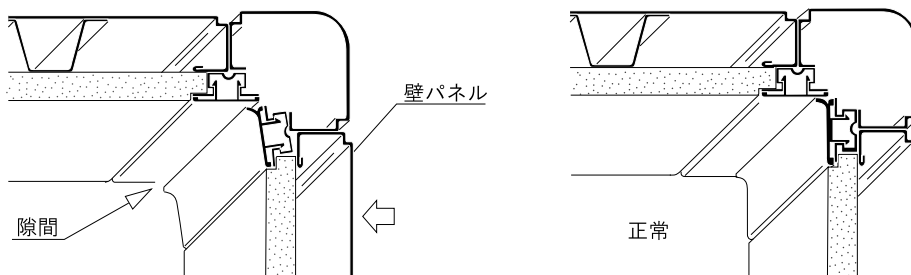
<回り縁と回り縁ガラの取り付け方>



※回り縁と回り縁ガラの向きに注意してください。

<コーナージョイントカバーの注意点>

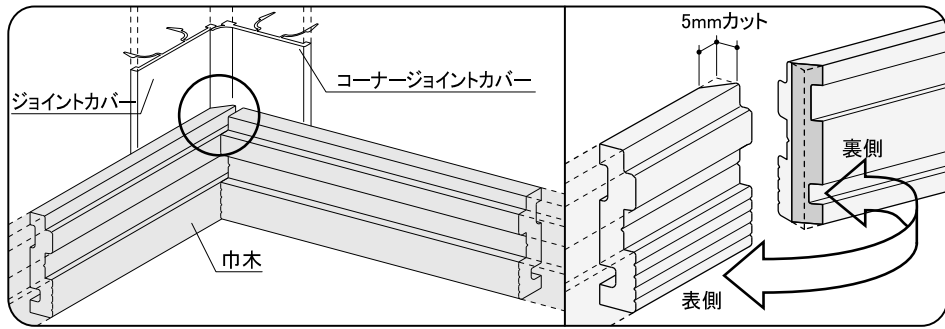
コーナージョイントカバーが斜めになり隙間ができる場合は、壁パネルを内側に引き寄せてボルト締めしてください。



<巾木>

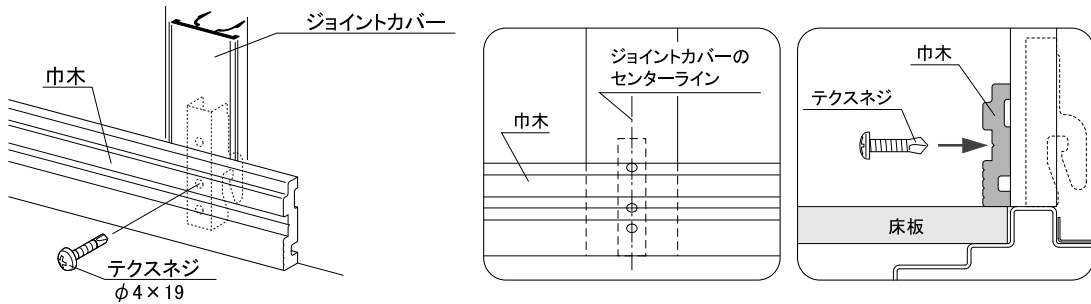
①巾木のコーナーは必ずカットすること

A. 巾木がコーナージョイントカバーに当たる為、カットしてください。

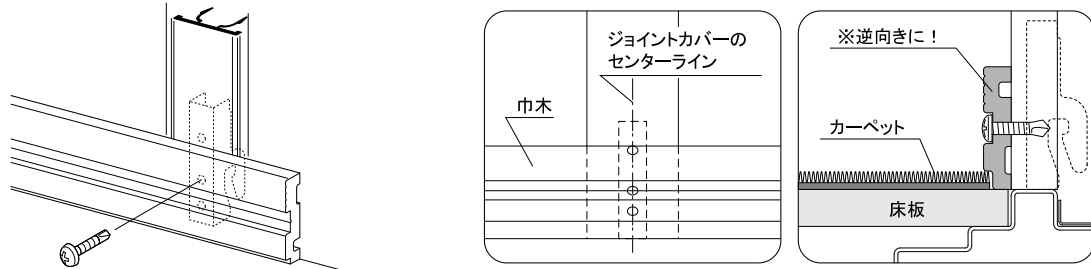


②巾木のフローリングとカーペットの時の使い分け方

A. フローリングの場合

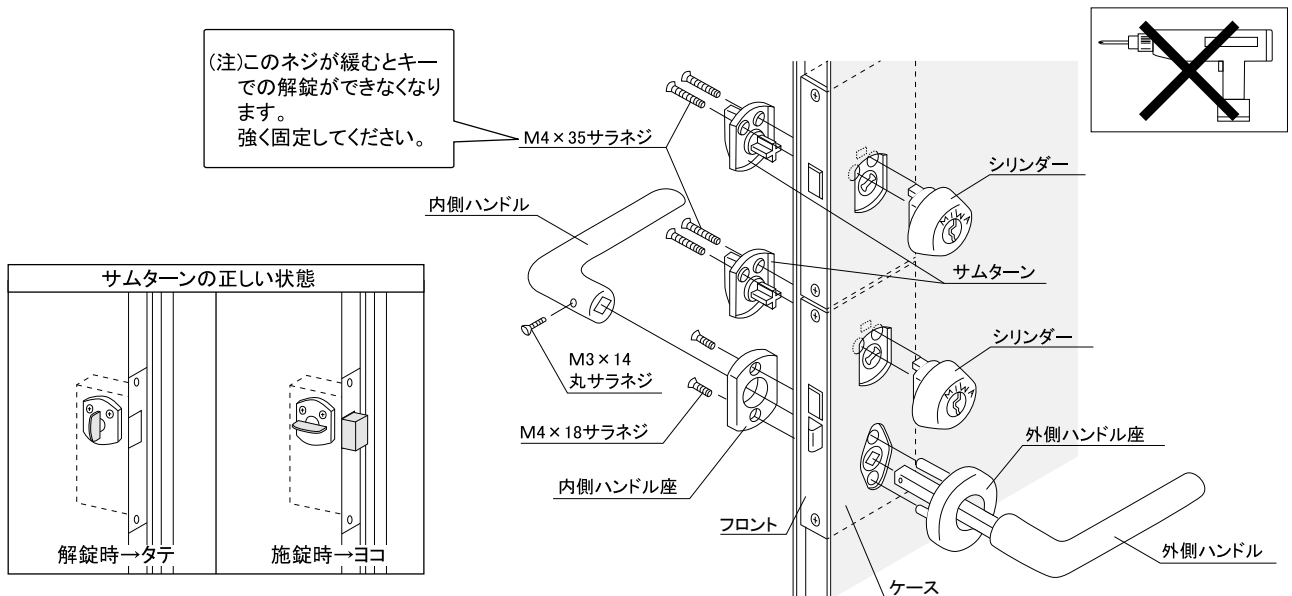


B. カーペットを使う場合

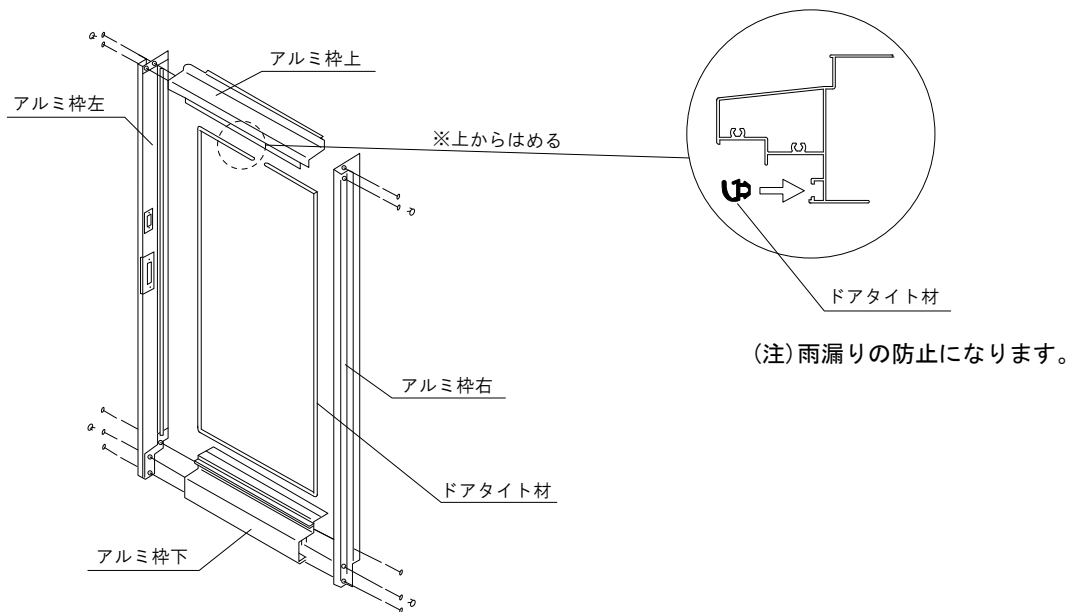


<ドア>

①扉の取っ手の取付けネジは折れやすいため必ず手締めすること。

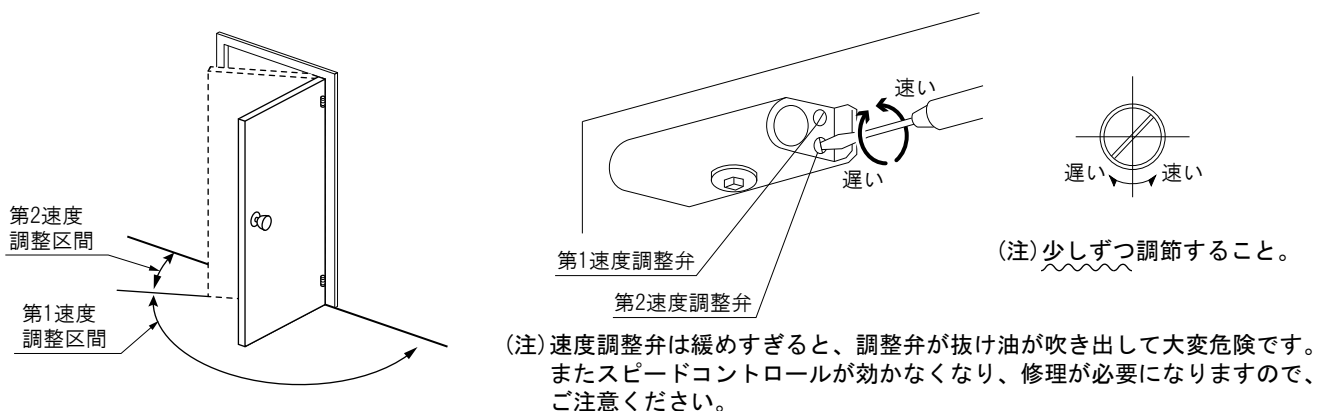


②ドアのタイト材は必ず上部からはめ込むこと。



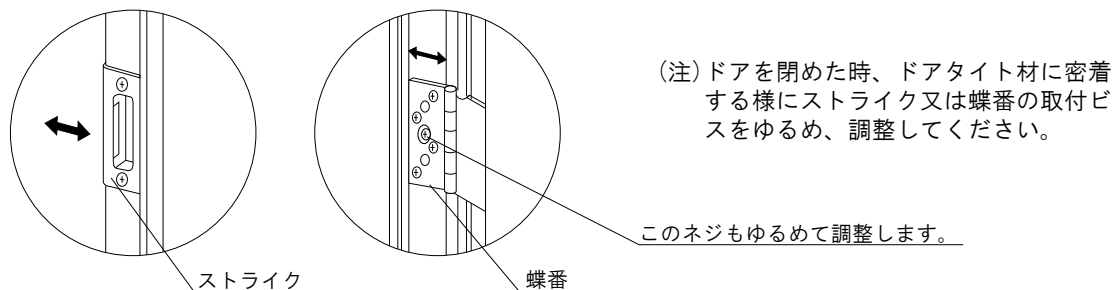
③ドアクローザーの開閉スピードの調節

速度調整区間は、第1速度区間と第2速度区間があります。速度調整は、それぞれ個別の調整弁でおこないます。調整は、第1速度調整弁、第2速度調整弁の順におこなってください。



(注) 速度調整弁は緩めすぎると、調整弁が抜け油が吹き出して大変危険です。またスピードコントロールが効かなくなり、修理が必要になりますので、ご注意ください。

④ドアアルミ枠左右のストライクと蝶番の調整方法

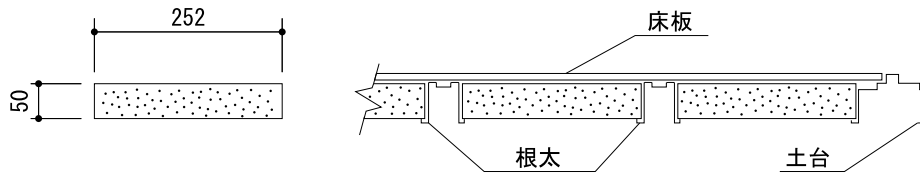


●ネジをゆるめると左右に動きます。

⑤ドアを2ヶ所以上取り付ける場合はスイッチ、コンセントのドア入口枠穴カバーが必要となりますので、ご注意ください。

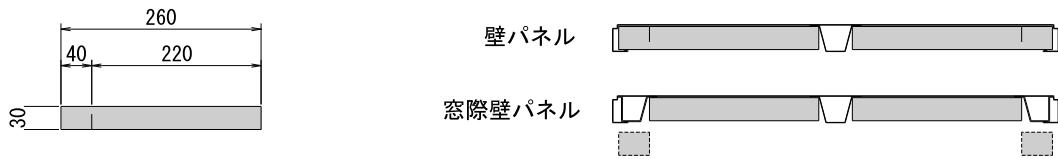
＜床用断熱材＞

- ①床用断熱材の材質は自己消火性P S発砲ボードです。
- ②断面寸法



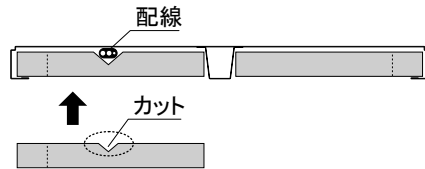
＜壁用断熱材＞

- ①壁用断熱材の材質はイソシアヌレート系断熱ウレタンボードです。
- ②断面寸法



(注) 壁パネル1枚当たり2枚の断熱材が必要です。

*** 壁パネル内に電気配線等がある場合は、壁用断熱材を配線に合わせて切り欠いてください。**

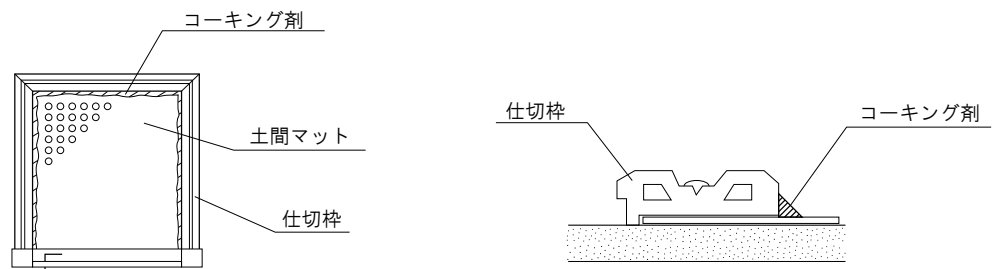


＜ガラス窓、掃き出し窓の建付、クレセントの調整方法＞

建付調整方法	クレセント受け調整方法	クレセント本体調整方法
<p>下図穴のネジを回して建付調整ができます。 右に回すと上がる。 左に回すと下がる。</p> <p>上下方向・・・4mm調整可能</p>	<p>下図のネジをゆるめ、矢印方向に調整できます。</p> <p>左右方向・・・4mm調整可能</p>	<p>下図のネジをゆるめ、矢印方向に調整できます。</p> <p>上下方向・・・5mm調整可能</p>

＜土間マットのコーキング＞

下図のように土間マットにコーキングをすることにより雨水の浸入防止を効果的にします。



<カーテン・ブラインドの寸法表>

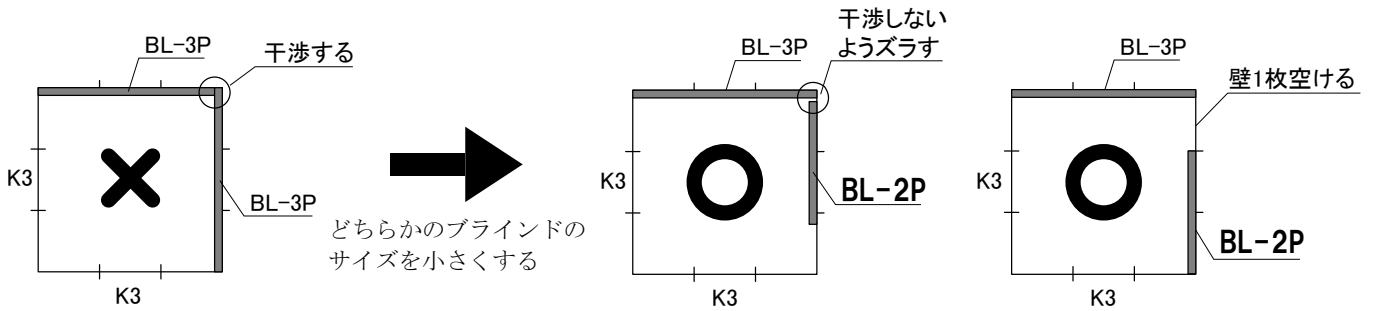
カーテン		出来上がり寸法		単位
品名	レースカーテン	遮光カーテン		
CA-2P	W 1220×H 930	W 1220×H 940	1枚	
CA-3P	W 920×H 930	W 920×H 940	2枚	
CA-4P	W 1220×H 930	W 1220×H 940	2枚	

ブラインド	
品名	サイズ
BL-2P	W 1160×H 960
BL-3P	W 1740×H 960
BL-4P	W 2320×H 960

<ブラインドの取付制限>

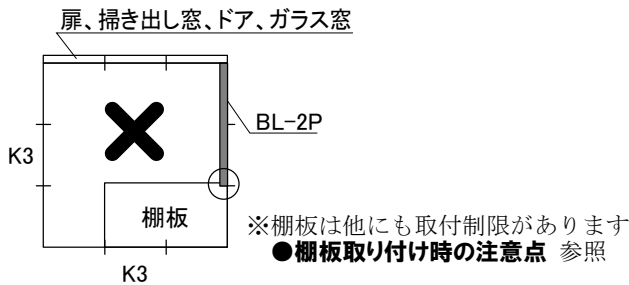
ブラインドのL字配置

両方とも壁と同じサイズのブラインドはコーナー部でブラインド同士が干渉します。必ずどちらかのサイズを小さくしてください。



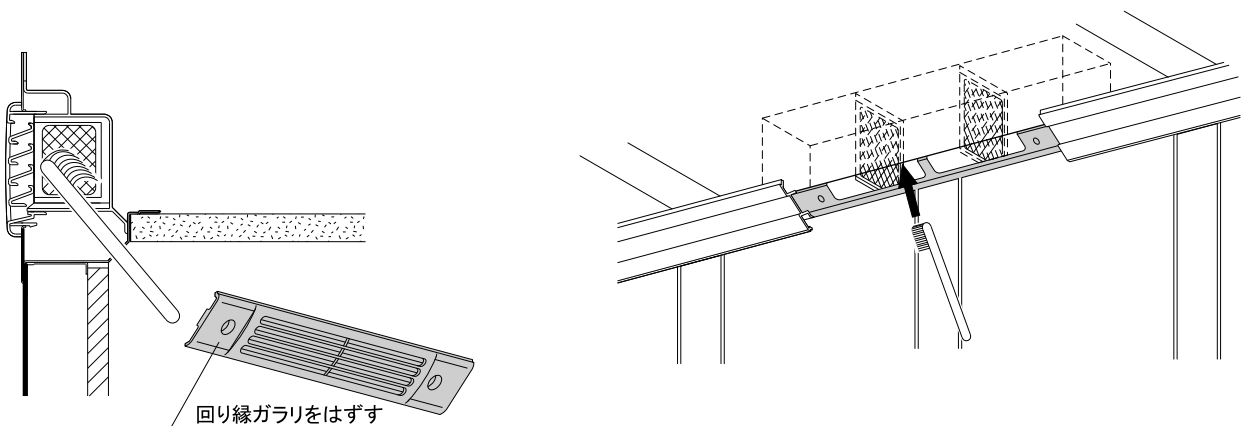
ブラインドと他オプション

ブラインドと棚板とオプション(扉、掃き出し窓、ドア、ガラス窓)を下図のように取り付けると干渉します。



●その他

<換気ガラの防虫網の掃除方法(室内換気用ガラリ)>



電気配線について(簡易電気配線部品セット:オプション)

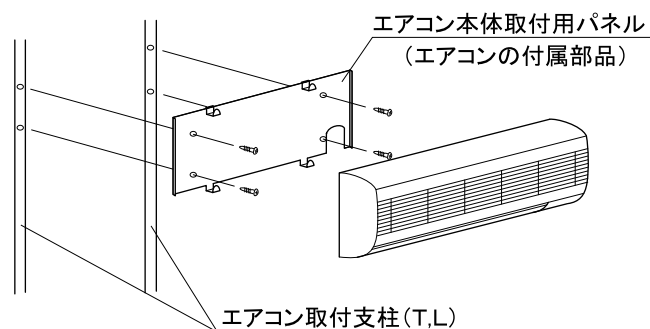
※簡易電気配線部品セットの本体への取り付け工事は電気工事店にご依頼ください。

●ブレーカーの追加

エアコンなどを使用する場合には、アンペア容量を多く必要とする場合がありますので、電気工事店と相談のうえブレーカーの追加工事などを行う必要があります。

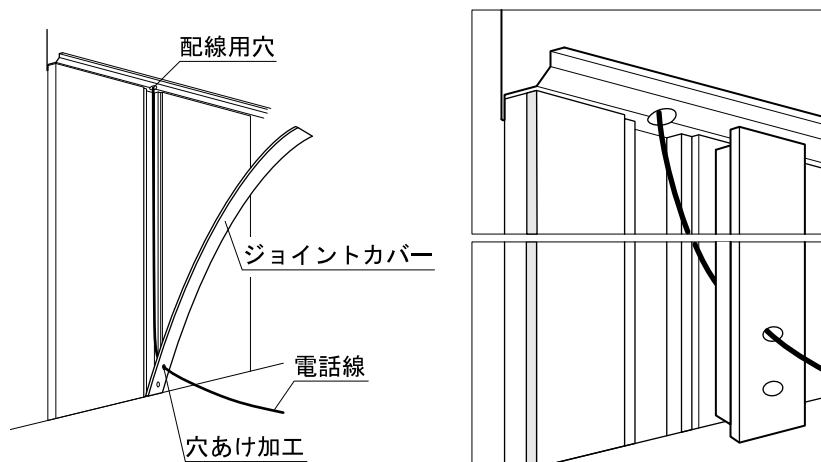
●エアコンの取り付け

エアコンの取付けは電気工事店におまかせすれば良いと思いますが、下図の様な取付けも出来ます。



●電話線の取り入れ口

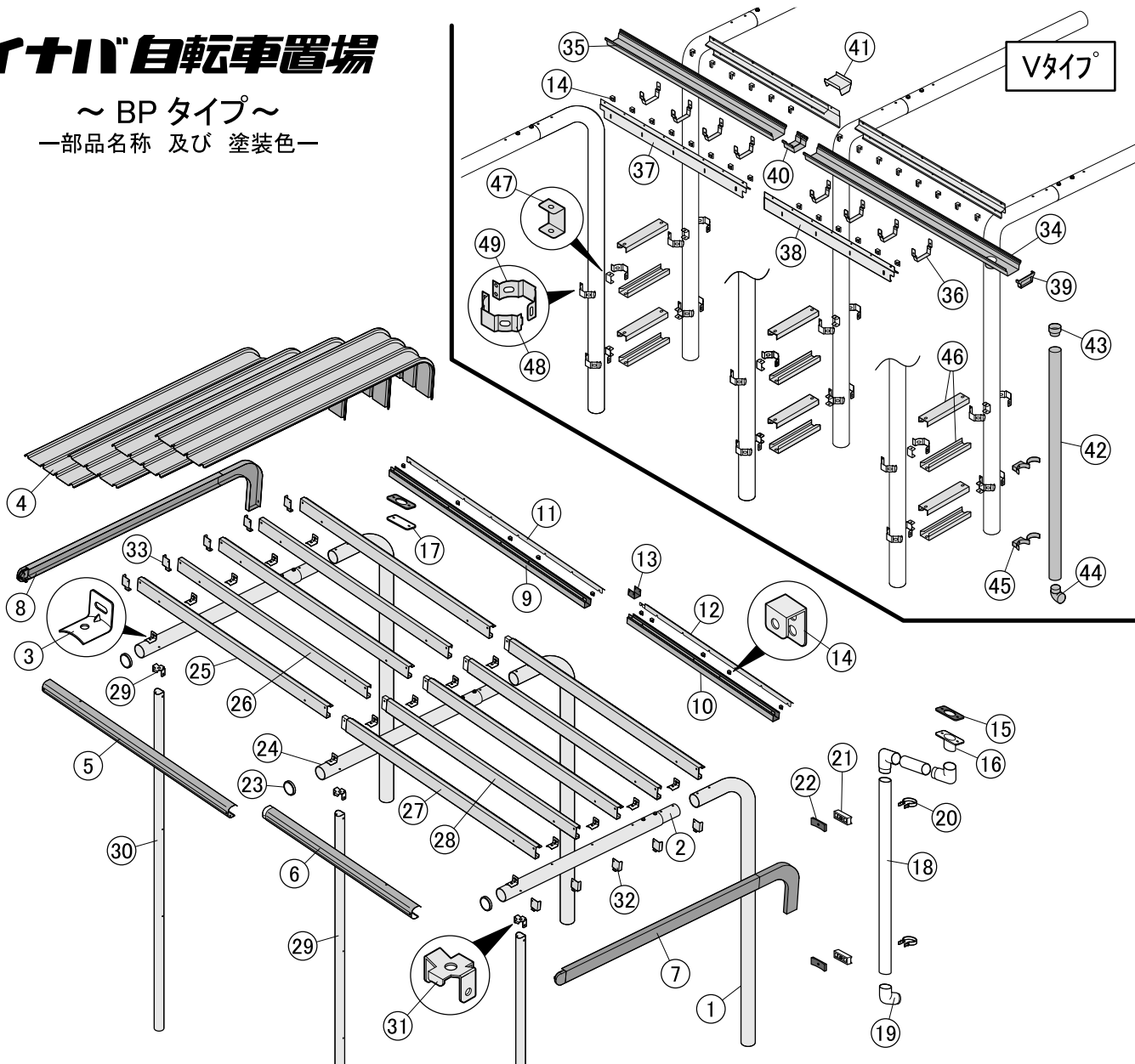
電話線の取り入れ口は、ジョイントカバーを外して容易に取り入れできます。



自転車置場 ダストボックスミニ編

イナバ自転車置場

～ BP タイプ～
一部品名称 及び 塗装色一



番号	品名	塗装色
1	柱	ミストグレー
2	連結パイプ	〃
3	母屋取付金具	〃
4	屋根R	〃
5	鼻隠し前(単体用)	シャドウグレー
6	鼻隠し前(連棟用)	〃
7	妻板右	〃
8	妻板左	〃
9	軒とい(単体用)	ベースグレー
10	軒とい(連棟用)	〃
11	軒といスロープ(単体用) [※]	ミストグレー
12	軒といスロープ(連棟用) [※]	〃
13	軒とい連結金具	ベースグレー
14	軒といネジ板	有色クロメートメッキ
15	パッキン	—
16	アタッチメント	ステンカラー
17	平プレート	〃
18	φ42立とい	〃
19	φ42丸エルボ 80°	〃
20	丸サドル	〃

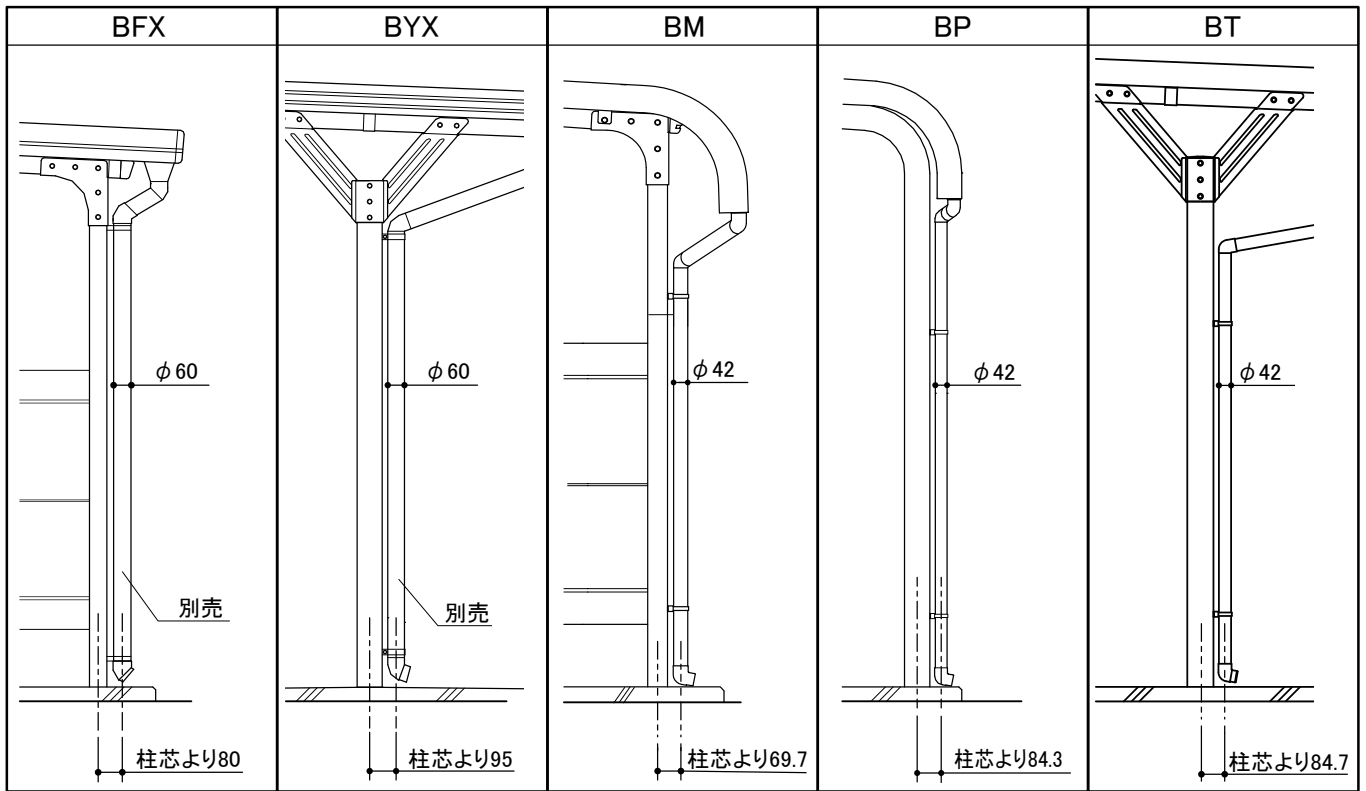
番号	品名	塗装色
21	サドル受	ステンカラー
22	サドルアダプター	〃
23	梁キャップC	ミストグレー
24	梁 多雪梁 [※]	〃
25	母屋(単体用) 多雪母屋A(単体用) [※]	〃
26	— 多雪母屋B(単体用) [※]	〃
27	母屋(連棟用) 多雪母屋A(連棟用) [※]	〃
28	— 多雪母屋B(連棟用) [※]	〃
29	多雪柱(中間用) [※]	〃
30	多雪柱(左右用) [※]	〃
31	多雪柱取付金具 [※]	〃
32	妻板固定金具右 [※]	〃
33	妻板固定金具左 [※]	〃
34	軒とい(Vタイプ単体用)	ライトグレー
35	軒とい(Vタイプ連棟用)	〃
36	軒とい受け金具	シャドウグレー
37	軒とい幕板(単体用)	〃
38	軒とい幕板(連棟用)	〃
39	止り	ライトグレー
40	軒継手	〃

番号	品名	塗装色
41	軒とい繋ぎ	ミストグレー
42	φ60立とい	ライトグレー
43	ストレートジョイナー	〃
44	φ60丸エルボ 80°	〃
45	丸サドル60型	〃
46	柱連結金具	ミストグレー
47	連結金具取付板	〃
48	金具固定板A	〃
49	金具固定板B	〃

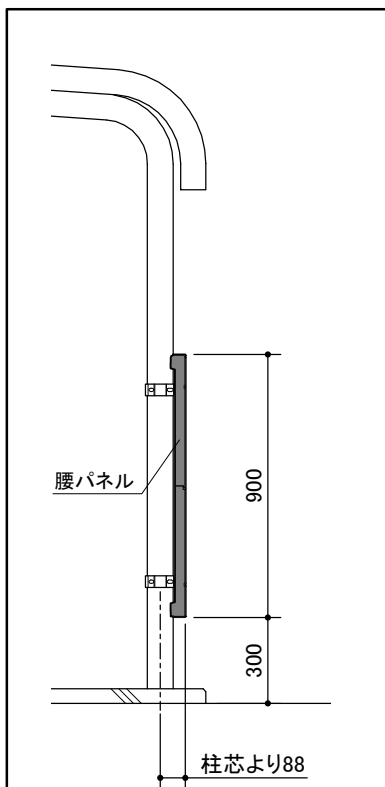
＝マンセル番号＝
・ミストグレー(N7)
・シャドウグレー(N5.25)
・ベースグレー(5.5B 5.4/0.8)

※印のついている部材は多雪用

●自転車置場たてとい位置



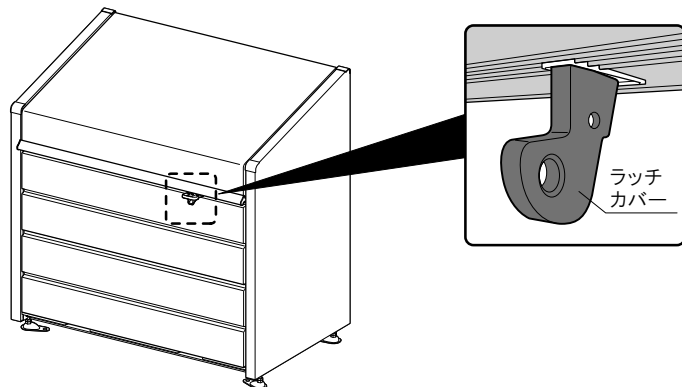
●BP後面腰パネル位置



●ダストボックスミニについて

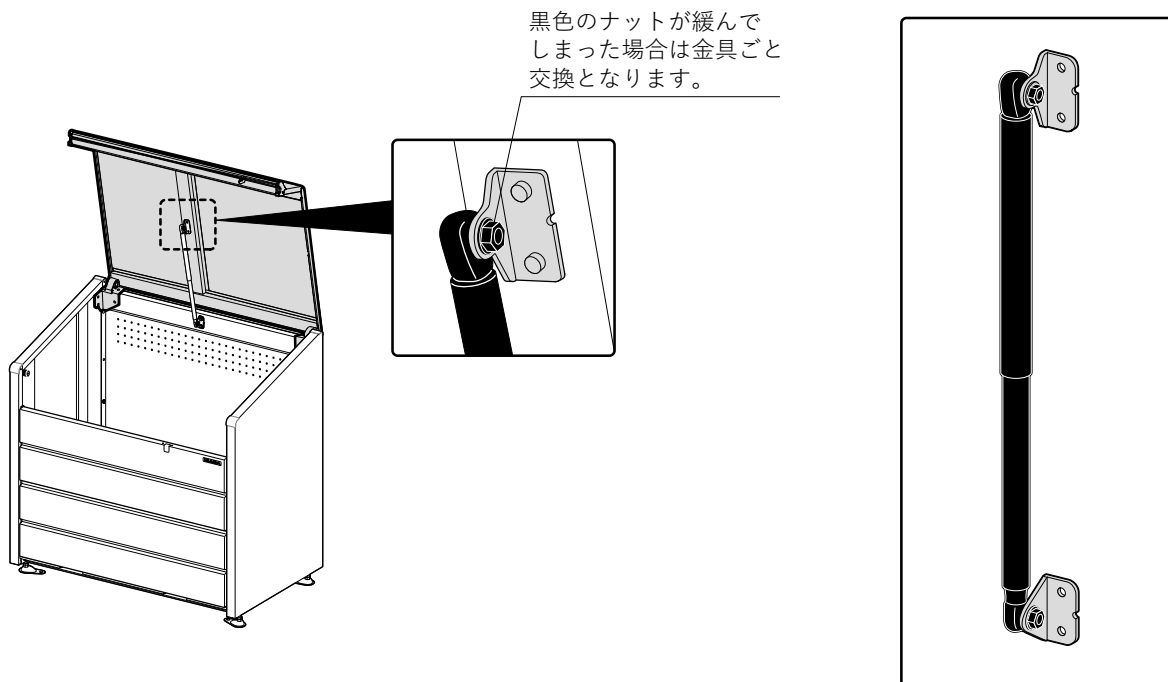
<ラッチカバーについて>

ラッチカバーが外れたり摩耗しても商品は機能上問題ありませんが、金属部分がむき出しになるため、安全上交換をおすすめします。



<ガススプリングについて>

ガススプリングを取り付けている黒色のナットが緩んでしまったり外れてしまった場合、黒色のナットのみでの交換ができないため、取付金具ごとの交換となります。(ガススプリング交換用のオプションあり)



ガススプリング交換用
オプション

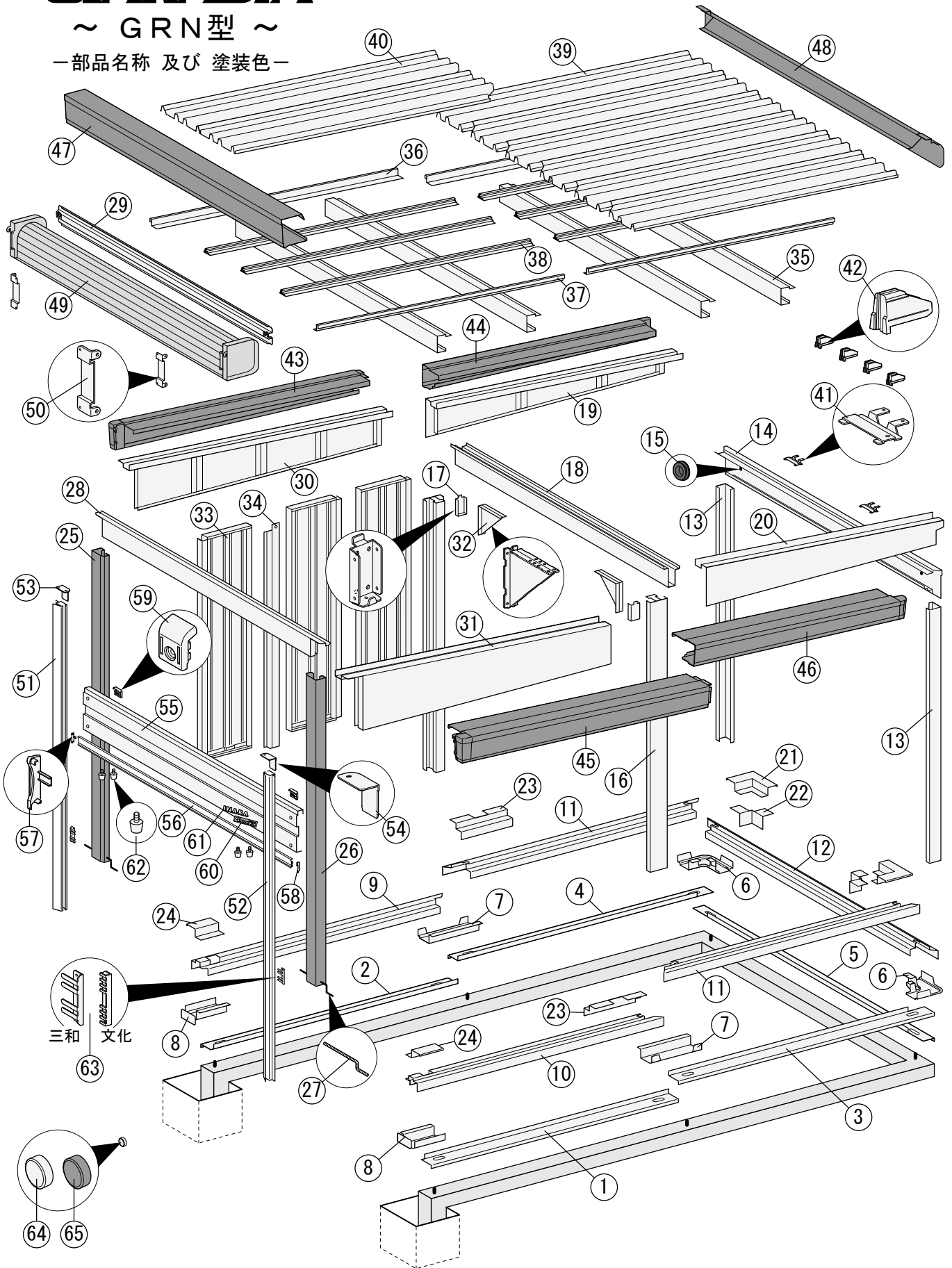
ガ レ ー ジ 編

GARADIA

ガレージドア

～ GRN型 ～

一部品名称 及び 塗装色



ガレージ編

番号	品名	塗装色
1	土台水切板A	ミストグレー
2	土台水切板B	〃
3	土台水切板C	〃
4	土台水切板D	〃
5	土台水切板E	〃
6	土台取付板A	〃
7	土台取付板B	〃
8	土台取付板C	〃
9	土台左前	〃
10	土台右前	〃
11	土台A	〃
12	土台後	〃
13	柱後左右	〃
14	桁後	〃
15	膜付グロメット	黒(ゴム)
16	柱中左右	ミストグレー
17	母屋中央取付金具	〃
18	母屋中央	〃
19	梁左後	〃
20	梁右後	〃
21	土台カバーA上	〃
22	土台カバーA下	〃
23	土台カバーB	〃
24	土台カバーC	〃
25	柱前左	シャドーグレー
26	柱前右	〃
27	カンザシB	—
28	桁前	ミストグレー
29	ブラケット補強バー	〃
30	梁左前	〃
31	梁右前	〃
32	コーナー金具	〃
33	壁パネル	〃
34	支柱NN	〃
35	母屋中	〃
36	結露カバーA ※1	〃
37	結露カバーB ※1	〃
38	結露カバーC ※1	〃
39	屋根パネル後	〃
40	屋根パネル前	〃

番号	品名	塗装色
41	鼻隠し後固定板	ミストグレー
42	屋根パッキン ※2	〃
43	妻板左前	シャドーグレー
44	妻板左後	〃
45	妻板右前	〃
46	妻板右後	〃
47	鼻隠し前	〃
48	鼻隠し後	〃
49	シャッター	表1
50	シャッターカバー取付板	ミストグレー
51	シャッターレール左	シルバー色(アルミ)
52	シャッターレール右	〃
53	シャッターレール止め板左	ミストグレー
54	シャッターレール止め板右	〃
55	シャッターカバー	〃
56	換気ガラリ	シルバー色(アルミ)
57	ガラリキャップL	ファインシルバー(AES)
58	ガラリキャップR	〃
59	スラットガイド	白(硬質ポリエチレン)
60	銘板「GRN」	—
61	エンブレム「INABA」	—
62	シャッターストップパーゴム	—
63	シャッター錠押え	有色クロメートメッキ
64	ボルトキャップN(GR)	ミストグレー
65	ボルトキャップN(SD)	シャドーグレー

=マンセル番号=

・ミストグレー(N7)

・シャドーグレー(N5.25)

表1

シャッター色	製造
クールシルバー(CS)	三和シャッター
ステンメタリック(SM)	〃
アーバンGM(UG)	文化シャッター
シルキーホワイト(SW)	〃
スノーグレー(SG)	〃

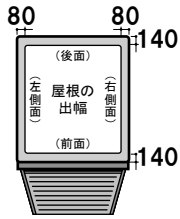
※1.【36～38:結露カバーA・B・C】は、結露軽減材付の屋根パネルを使用の場合のみ必要となります。

※2.【42:屋根パッキン】は、結露軽減材ナシの屋根パネルを使用の場合のみ必要となります。

施工前の確認事項

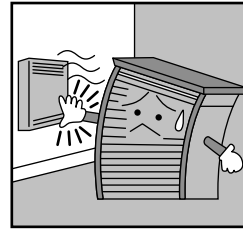
●設置場所

設置スペース障害物はありませんか？



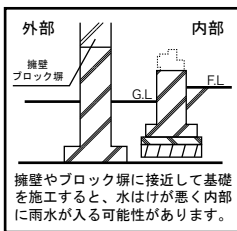
設置必要スペースは大丈夫ですか？
屋根の寸法などに注意して下さい。
また、マンホールなども避けているの
か確認してください。

近辺に給湯器などはありませんか？



給湯器など熱や排ガスにより塗装が変色する恐れ
があります。

壁との距離は大丈夫ですか？



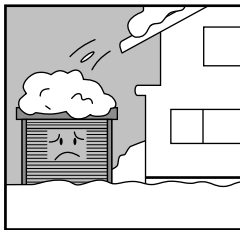
雨水の通り道が無い場合には基礎
から雨水が浸入する場合があります。
距離が保てない場合は、誘水孔を
設けるなどの対応が必要となります。
また、隣地境界ギリギリに建てると、
近隣とトラブルになることもあります。

高さ制限はありませんか？



本体高さに基礎の高さを
含めた寸法で計測してく
ださい。

母屋との距離は大丈夫ですか？



大屋根からの落雪、雨水の落下が
ある場所への設置は避けてください。

●その他

基礎について

- ①基礎が他業者によって、先に施工されている場合は、基礎の寸法、水平(特に開口部)、アンカーボルトの位置などをマニュアルに沿って確認します。
- ②傾斜地など、開口部の基礎高さが200mm以上になる場合は、高基礎仕様にする必要があります。(高基礎仕様についての注意点参照)

積雪地では

豪雪型及び結露軽減材付屋根パネルにはスガモレ対策が施されています。

リモコンシャッター

- ①ガレージ本体まで、電気配線工事が別途必要です。また、施工終了時にリモコン送信機で作動テストできる電源があるか確認してください。
- ②リモコンシャッターは、停電時には使用できません。中に入って手動に切り替えられるよう、壁面扉をご注文頂いているか確認してください。

基礎施工における注意点

●基礎図面の見方

G.L : グランドラインの略(設置地盤面を表わします。)

F.L : フローラインの略(床面を表わします。)

D10 : 直径10mm(公称直径 9.53mm) の異形鉄筋

D13 : 直径13mm(公称直径 12.7mm) の異形鉄筋

@ : 鉄筋の間隔

墨出し線 : 柱前中の高さ位置確認用の目印(刻印)

カンザシ : コンクリートからの柱抜け出し防止用鉄筋

ステコン : 捨てコンクリートの略で墨出しをしやすくしたり、基礎を乗せる面を良好な状態にするために行うコンクリート打のこと

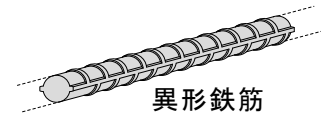
わりぐり

割栗 : 地盤を掘削した部分は荒れているため、固める目的で割栗石または砕石を基礎下に敷くこと

割栗石 : 岩石を砕いたもので100~200mmと径の大きいもの

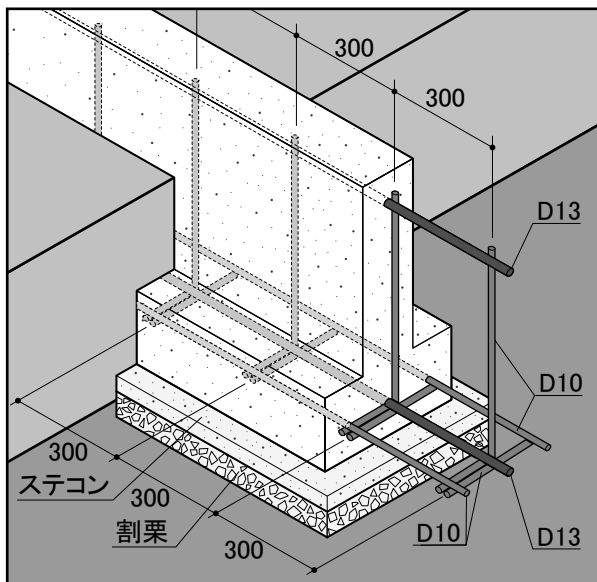
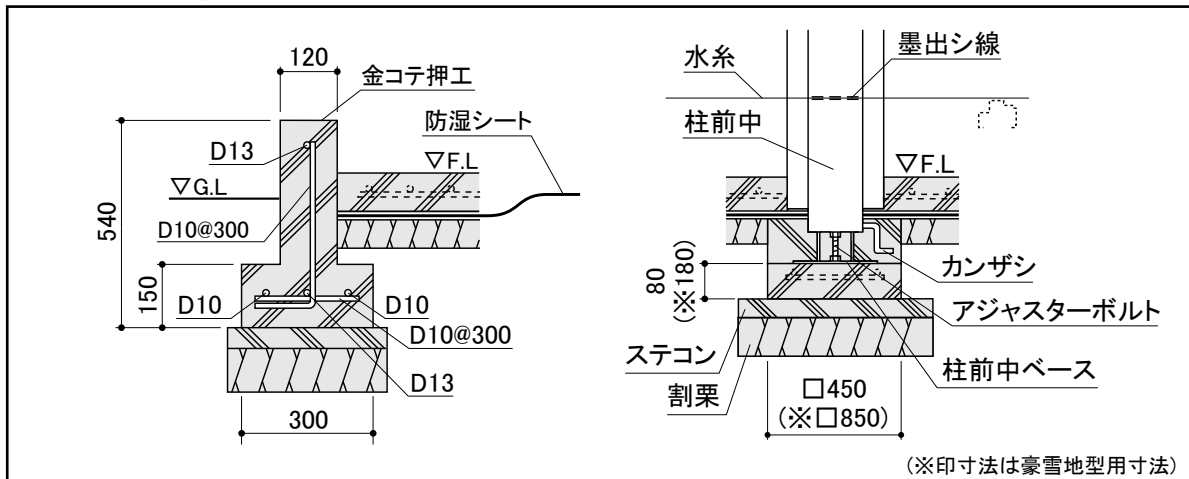
さいせき

砕石 : 岩石を砕いたもので割栗石より径は小さいもの

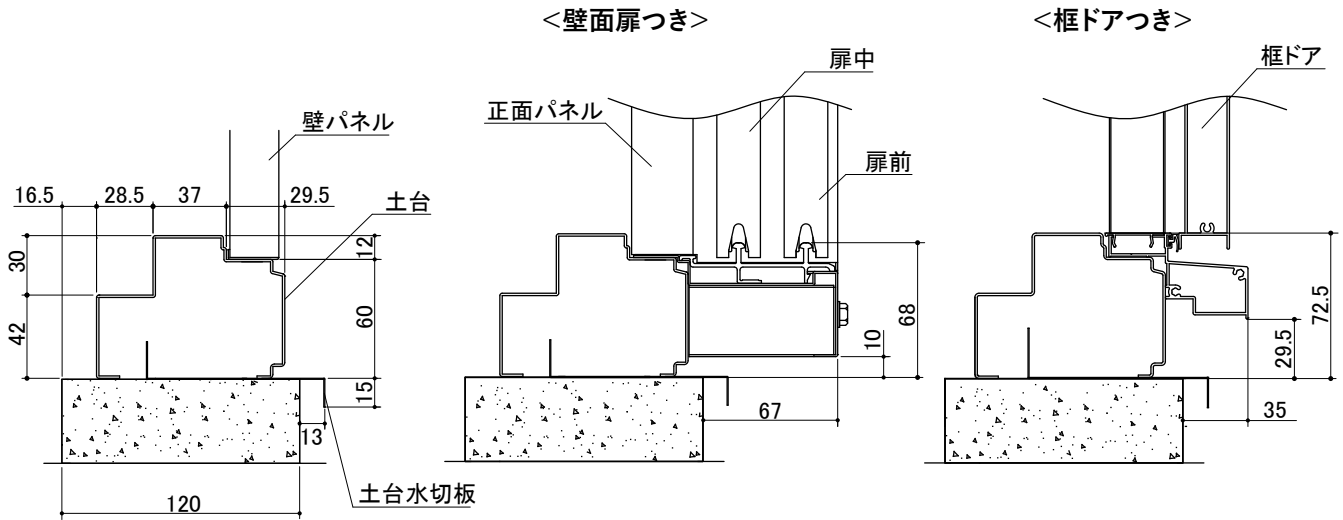


ガレージ基礎断面

[単位:mm]



●土台断面と基礎について



●土間コンクリートにおける注意点

- ・土間コンクリート打ち後は、コンクリートが固まるまで(1週間から2週間ほど)の間、庫内に結露が発生しやすくなりますのでご注意ください。
- ・コンクリート成分(アルカリ性の物質)を含んだ水は塗膜変色の原因となる恐れがある為、土間打ち後の水たまりなどで部材が濡れないようご注意ください。
- ・ガレージ本体組立後に土間コン工事を行う場合、シャッター錠押さえ位置が変わり施錠できなくなる恐れがありますのでご注意下さい。

①土間コンクリートを打つ場合の注意点

<p>外部 内部 雨水 ▽G.L. FL</p> <p>Ⓐ</p>	<p>外部 内部 雨水 ▽G.L. FL</p> <p>Ⓑ</p>	<p>外部 内部 雨水 ▽G.L. FL</p> <p>Ⓒ</p>
<p>F.LがG.Lより低いか同じ高さの場合、雨水が入る可能性があります。</p>		<p>F.LがG.Lより高くなるように土間コンを打ちます。(雨水の浸入を防ぎます。)</p>

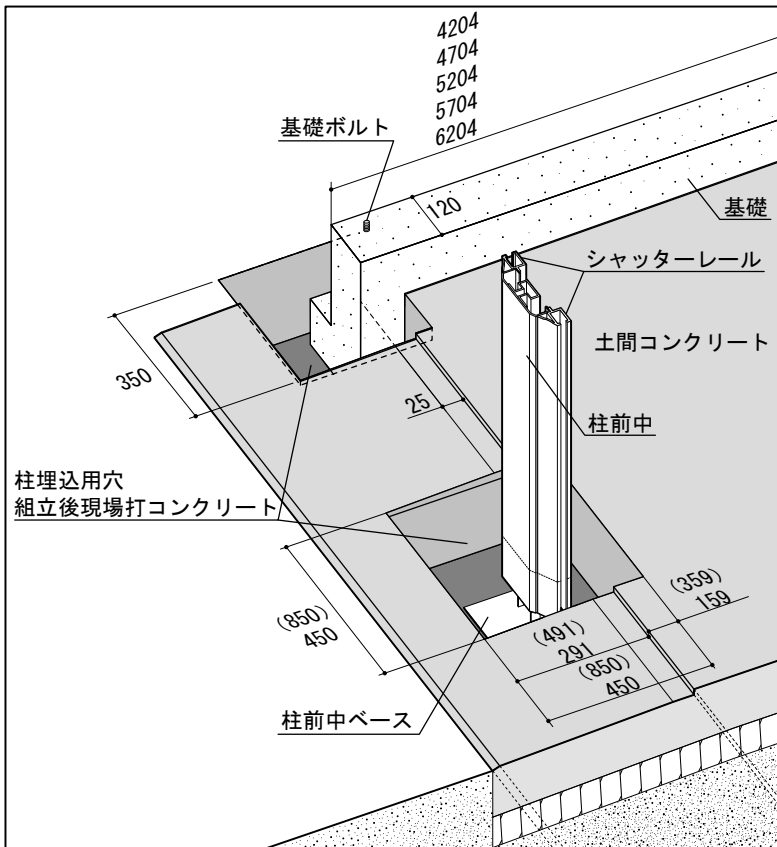
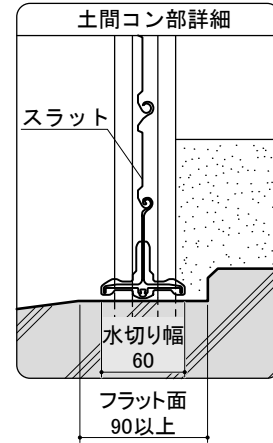
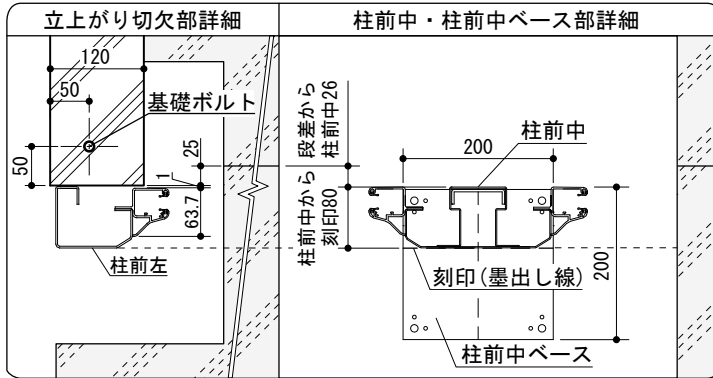
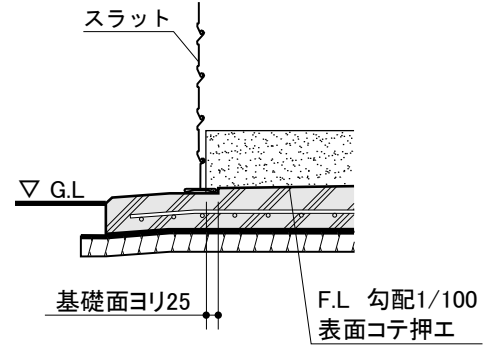
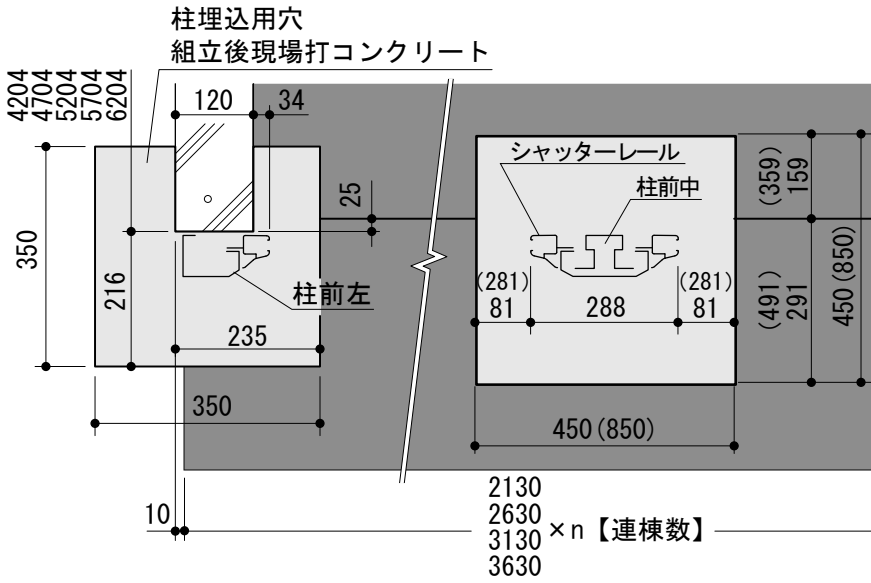
②入口部の土間コンクリートの注意点

<p>柱前 土台 雨水</p> <p>Ⓐ</p>	<p>柱前 土台 1/100</p> <p>Ⓑ</p>	<p>柱前 土台 1/100</p> <p>Ⓒ</p>
<p>土間コン部が水平の場合、内側に雨水が入ってきます。</p>	<p>内部土間コン部に 1/100 程度の勾配をとってください。</p>	<p>シャッターの水切り部を避けて段をつくり、雨水の浸入を防いでください。</p>

●本体組立前に土間工事をする場合の参考図(GRN)

本体組立前に土間工事をする場合には、下記図面を参考にしてください。

※()内寸法は多雪型、豪雪型を示す。



GRN

高基礎仕様について

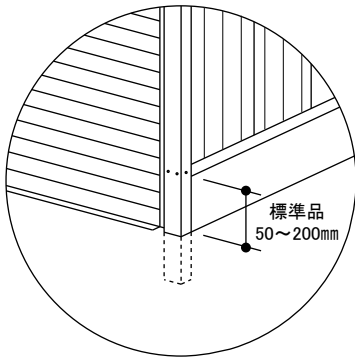
- ・標準品は200mmまでの基礎高に対応しておりますが、傾斜地や基礎を高くする(有効開口高さを高くする)場合には、オプションの「高基礎仕様」をご利用ください。
- ・「高基礎仕様」とは、下記部材を300mm延長したオプションです。

①前柱 ②シャッターレール ③シャッター

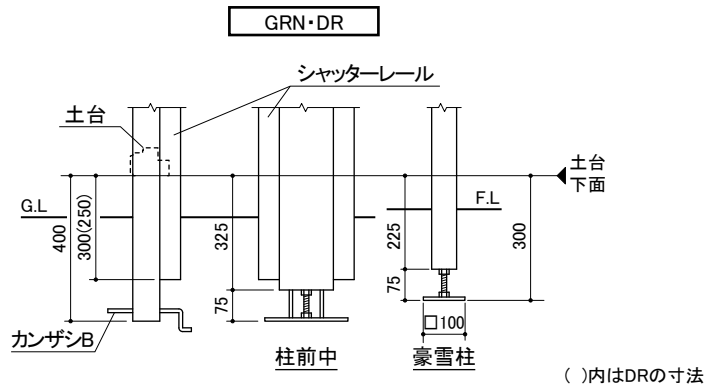
※③のシャッターは高基礎用のスプリング調節を行い、スラット枚数を増やしたもので、標準品とは全く異なる仕様になります。
 ※柱埋め込み寸法が不足すると、強風時に大変危険ですのでご注意ください。
 ※雨といを取付ける場合は、たてとい延長パーツも併せてご利用ください。

●標準品と高基礎仕様の違い

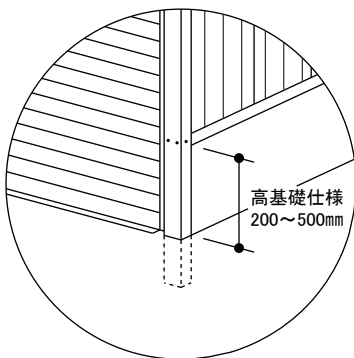
<標準品>



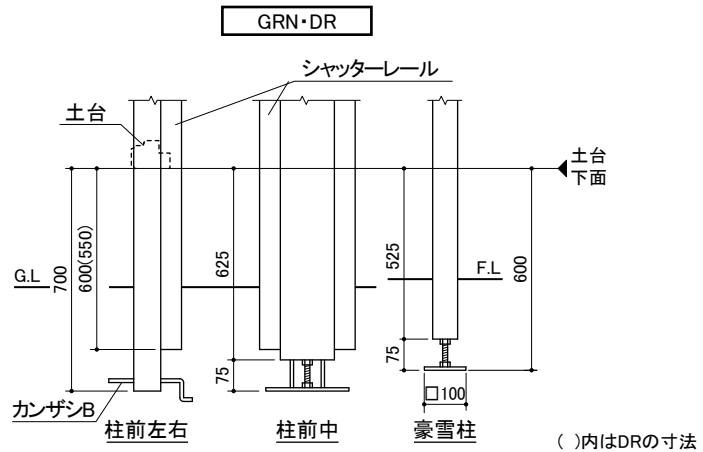
柱と土台との寸法関係



<高基礎仕様>



柱と土台との寸法関係



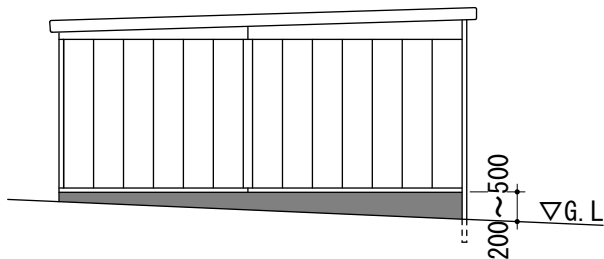
柱前中 アジャスターボルト調整範囲	豪雪柱 アジャスターボルト調整範囲

カンザシB 寸法
<p>3分鉄筋 (D10)</p>

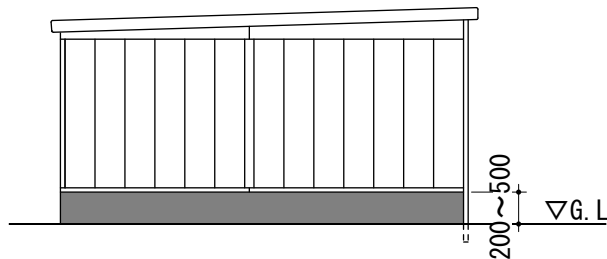
●傾斜地の高基礎対応について

<傾斜地の場合>

(奥行方向・シャッター部が低い場合)

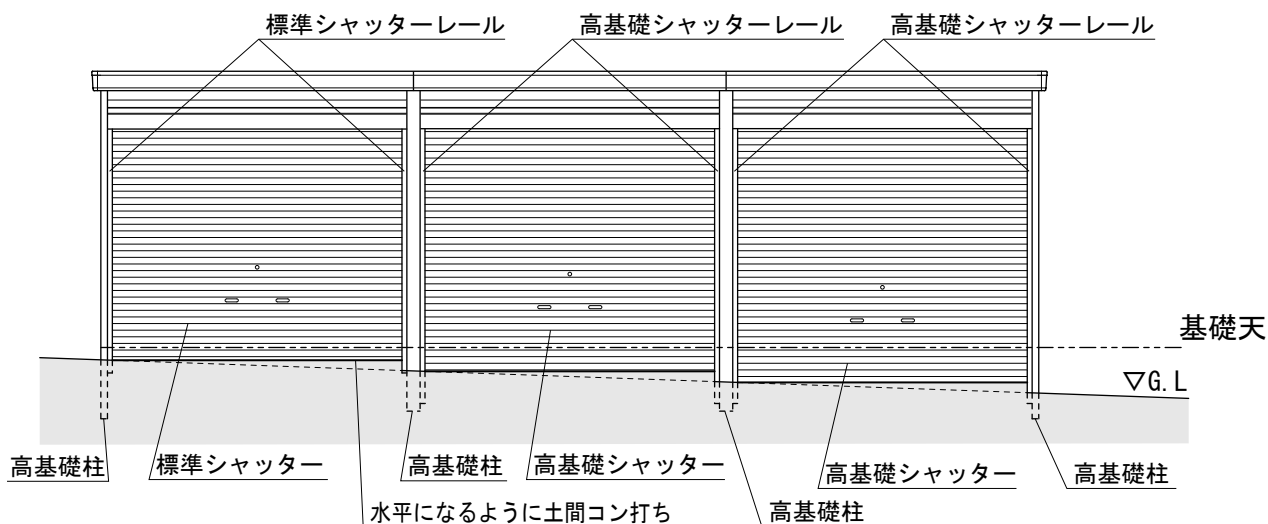


<基礎を高くする場合>



<間口方向の傾斜地>

(左右で高さが違う場合)



※ 図のような多連棟の場合、どちらか一方の基礎高さが200mm以内であれば、標準部品と高基礎仕様の併用をお勧め致します。基礎が200mm未満の部品について全てに高基礎仕様を使用すると、シャッターが重いなどの弊害が発生します。基礎高に適した仕様をご使用下さい。

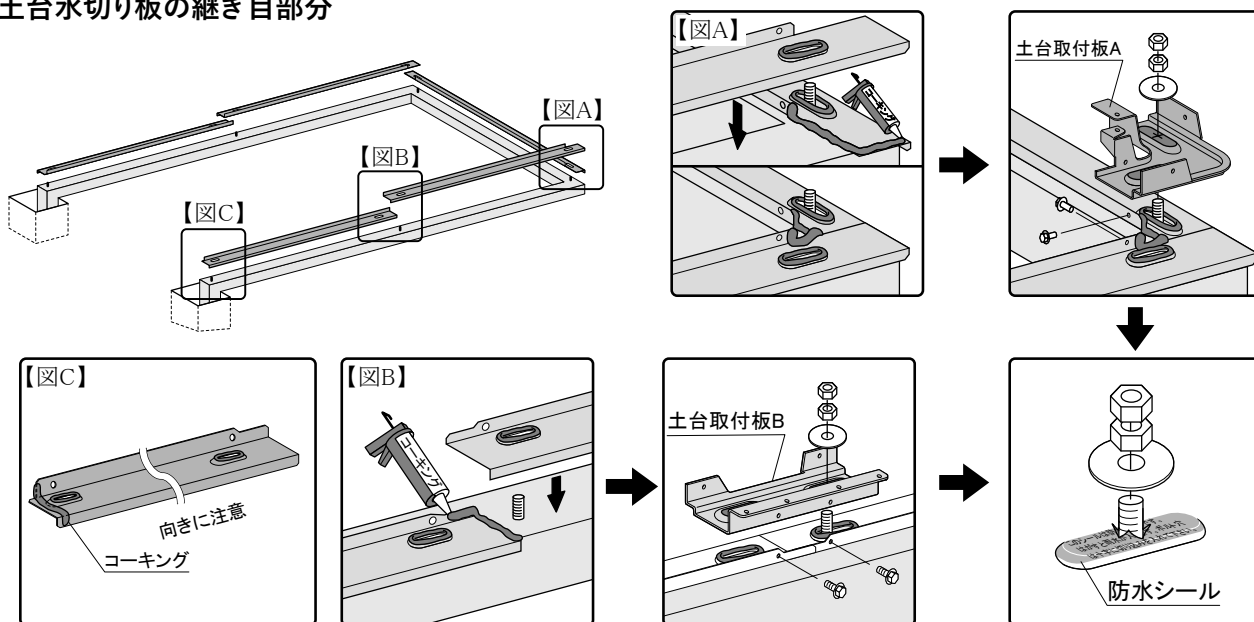
コーキングに関する注意点

●ガレージ本体組立時には、コーキング材を使用する箇所が2つあります。

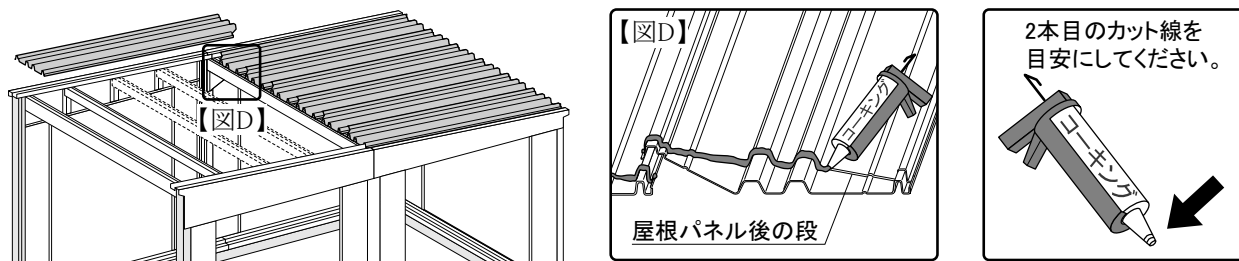
- ①土台水切り板の継ぎ目部分
- ②屋根パネル前後間の継ぎ目部分

左記2箇所は必ず部品箱内のコーキングを使用し、組立説明書を見ながら正確にコーキングを施してください。コーキングをしなかったり、間違ったコーキングを施しますと雨水浸入(クレーム)の原因となります。

①土台水切り板の継ぎ目部分

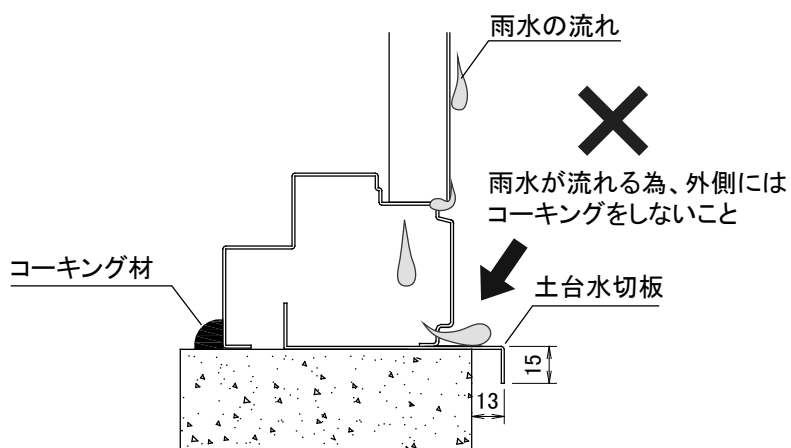


②屋根パネル前後間の継ぎ目部分



●その他のコーキングに関する注意点

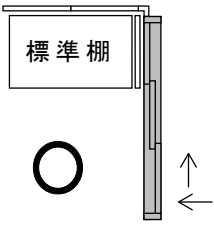
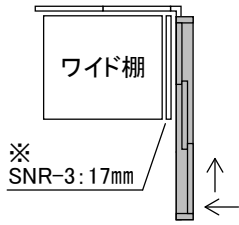


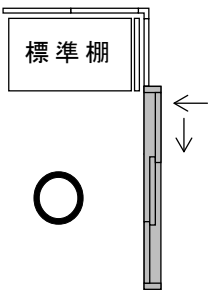
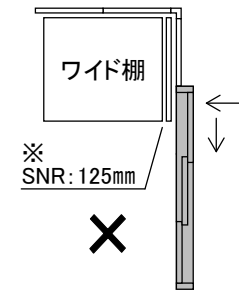
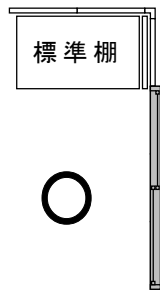

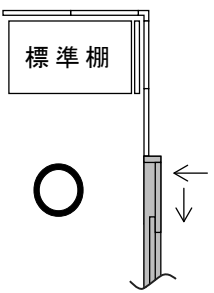
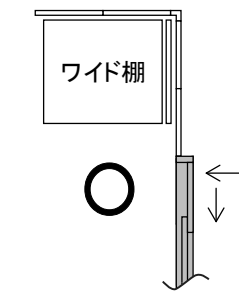
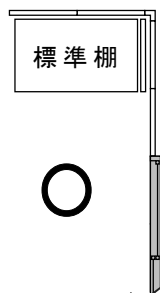

雨水の浸入防止の為にコーキング材使用される場合は、必ず内側のみにコーキングを詰めて下さい。



オプション品について

●棚板と壁面扉・ガラス窓の関係

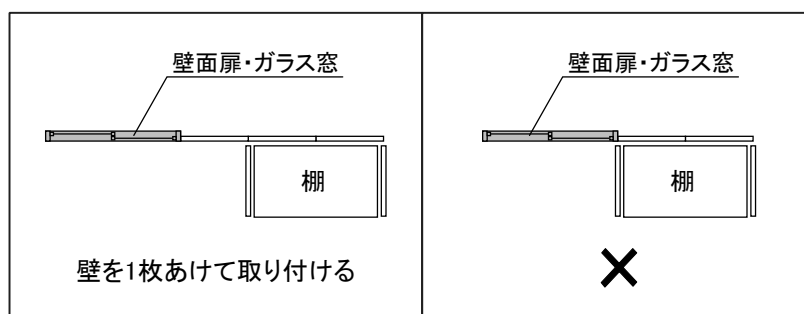
○…取付可 ×…取付不可 △…取付可(備考参照)

	壁面扉		ガラス窓	
	標準棚	ワイド棚	標準棚	ワイド棚
柱寄	 <p>○</p>	 <p>※ SNR-3: 17mm</p> <p>○</p>	 <p>△</p>	 <p>△</p>
壁1枚	 <p>○</p>	 <p>※ SNR: 125mm</p> <p>×</p>	 <p>○</p>	 <p>△</p>
壁2枚	 <p>○</p>	 <p>○</p>	 <p>○</p>	 <p>○</p>
備考	<p>△(取付可)</p> <ul style="list-style-type: none"> 開口部から棚板がはみ出します。 ※棚板がはみ出している長さ 		<p>△(取付可)</p> <ul style="list-style-type: none"> 開閉時に棚が邪魔になります。 棚から物が落ちガラス窓を割る 可能性があります。 	

Jタイプは柱寄りにガラス窓の取り付けが出来ません。

ガ
レ
ー
ジ
編

同じ面に棚板と壁面扉・ガラス窓が取り付けられる場合



●GRN棚配置図

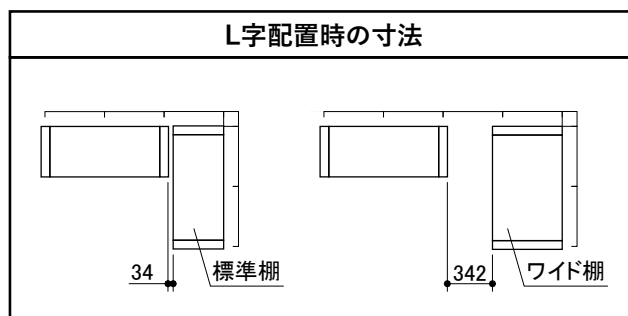
<側面配置図>

奥行4275mm (K5+K3)	奥行4775mm (K5+K4)	奥行5275mm (K5+K5)	奥行5775mm (K6+K5)	奥行6275mm (K6+K6)

ガ
レ
ー
ジ
編

<L字配置図>

	側面 標準棚		側面 ワイド棚	
間口寸法 2130mm (K4)				
間口寸法 2630mm (K5)				
間口寸法 3130mm (K6)				
間口寸法 2630mm (K7)				



<後面棚板配置図>～連続型～

下図は3連続タイプの棚板配置例です。

(注1)2連続タイプの場合は、部の棚板がない配置になります。

(注2)3連続以上のタイプは、部の棚板・棚支柱を繰り返し取り付けてください。

間口 2130mm (K4)	
間口 2630mm (K5)	
間口 3130mm (K6)	
間口 3630mm (K7)	

<後面棚板配置図>～組合せタイプ～

間口組合せが逆の場合、棚板配置も逆になります。

間口 2630mm+2130mm (K5+K4)	
間口 3130mm+2130mm (K6+K4)	
間口 3130mm+2630mm (K6+K5)	
間口 3630mm+2630mm (K7+K5)	
間口 3630mm+3130mm (K7+K6)	

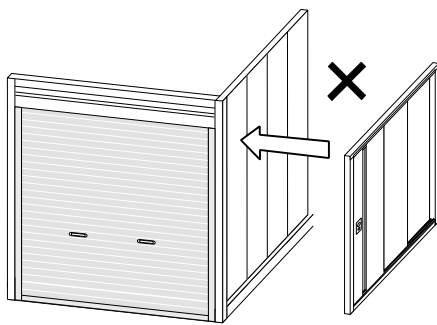
●GRN・DRのオプション取付制限

<隣同士のオプションの取付制限>

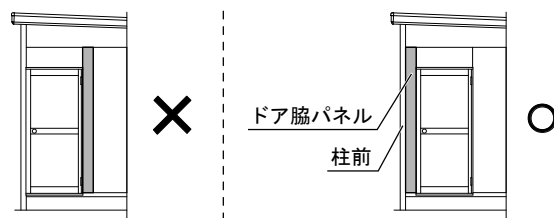
○…取付可 ×…取付不可

	ガラス窓	壁面扉 框ドア	大型採光壁 20cm換気扇パネル・小窓パネル 通気パネル・メッシュパネル
ガラス窓	×	×	○
壁面扉・框ドア		×	○
20cm換気扇パネル・メッシュパネル 通気パネル・小窓パネル 大型採光壁			○

<壁面扉・框ドアの取付制限>



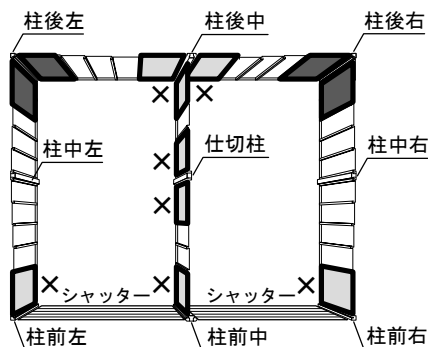
柱前寄りには壁面扉・框ドアは取り付けできません。
※框ドアは、ドア脇パネルを柱前寄りに入れた場合は取り付け可。



詳細は各オプションの組立説明書を参照してください。

後面に取付で雨といが付いている場合、たてとい側の柱後(中)に寄せには壁面扉、框ドアの取り付けはできません。
必ず壁パネル1枚分かドア脇パネルをたてとい側に入れてください。

<ガラス窓の取付制限>



- : 取付可
- : 取付不可
- : Jタイプのみ
取付不可

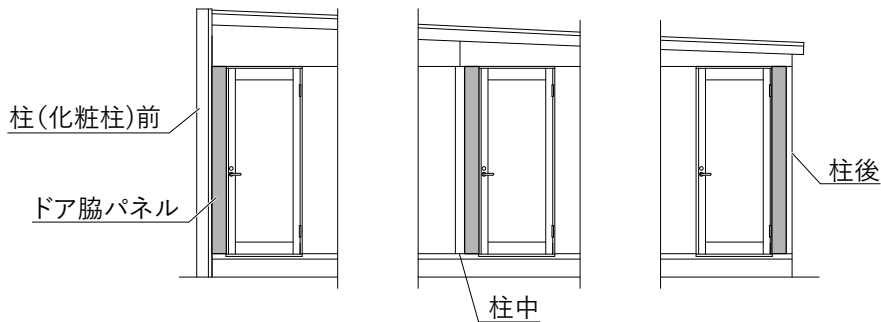
GRN・DR

●ひさしについて

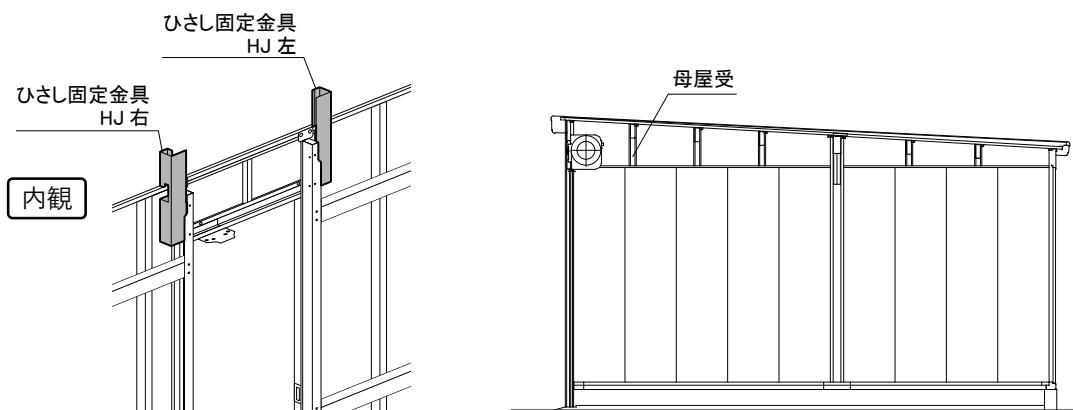
ガレージ用框ドア専用のひさしとなります。

<注意点>

- ・後面への取り付けはできません。
- ・内壁や天井を取り付けた面には取り付けできません。
- ・壁面扉、ガラス窓の横には取り付けできません。
- ・柱の隣に取り付ける場合は、ドア脇パネルを柱に寄せて取り付けてください。
 ※奥行6275mm(GRN)、6365mm(DR)の柱後の隣には取り付けできません。(ひさしが妻板と干渉します。)

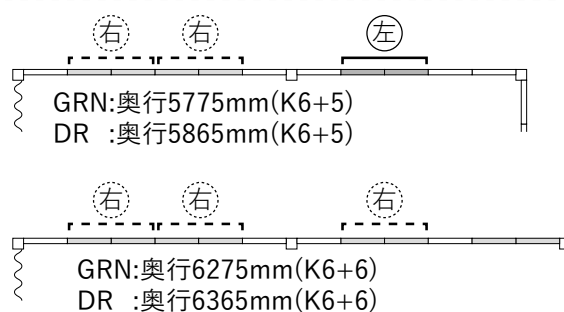
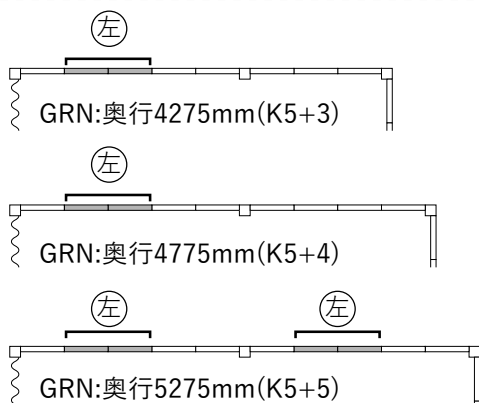
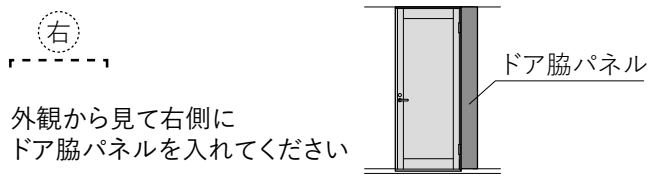
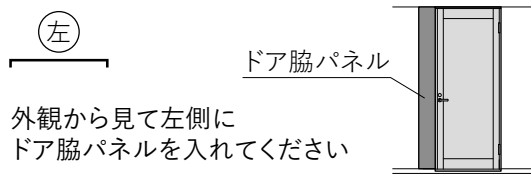


・ひさし固定金具HJ左右と母屋受の干渉を避けるため、取付位置の制限があります。<ドア脇パネルの取付位置について>参照



<ドア脇パネルの取付位置について>

指示の無い箇所への取り付け制限はありません。(柱隣を除く)



イナバガレージ下見チェックリスト

物件名: _____

住所: _____

電話番号: _____

現場設置見取図記入欄

本体がどこにどのような向きで設置されますか？

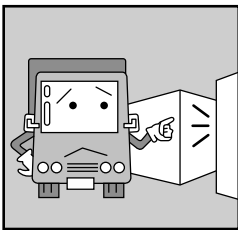
オプション取付配置図記入欄

本体のどこにオプションが取り付けられますか？



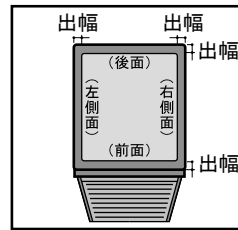
**チェックして
活用！**

現場下見に於いてのチェック項目を挙げてみました。□ 内にチェック☑して、ご活用下さい。また、不都合がある場合には下段のフリー記入欄を活用して下さい。



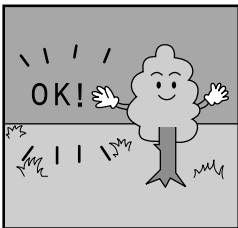
道幅は確保されていますか？

■ 4t車の通行 ○ □ × □



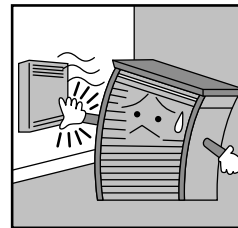
設置必要スペースは大丈夫ですか？

■ 屋根の出幅を考慮 ○ □ × □



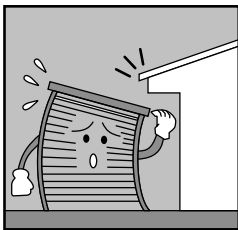
整地は済んでいますか？

■ 障害物の有無 有 □ 無 □



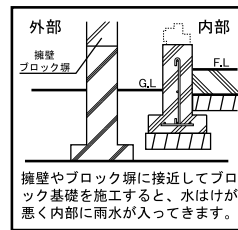
近辺に給湯器などはありませんか？

■ 排ガスの有無 有 □ 無 □



高さの制限はありませんか？

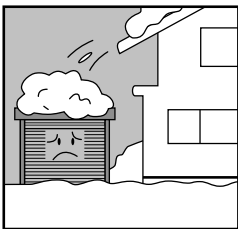
■ 基礎を含めた高さで ○ □ × □



壁との距離は大丈夫ですか？

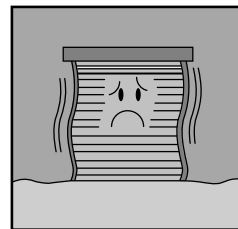
■ 水の通り ○ □ × □

擁壁やブロック塀に接近してブロック基礎を施工すると、水はけが悪く内部に雨水が入ってきます。



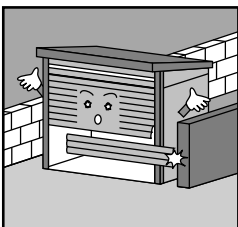
母屋との距離は大丈夫ですか？

■ 落雪等の注意 ○ □ × □



軟弱地盤ではないですか？

■ 沈下の可能性 ○ □ × □



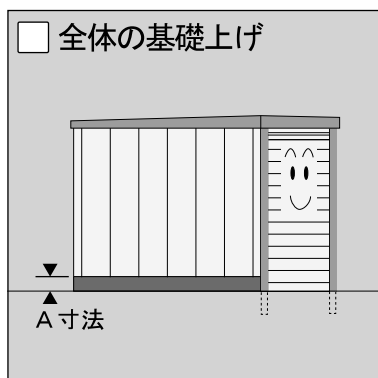
GRN(間口3630mm)では、間口部隣にシャッター取付の為にスペース(約3.4m程度)が必要となる場合があります。必要となるスペースがない場合は、別途取付工事費が発生する場合があります。(連棟タイプ又は、Sタイプ標準基礎高用を除く)

シャッター取り付けのスペースはありますか？

■ 取り付けのスペース ○ □ × □

基礎高と設置場所の傾斜でのチェック!

標準品の場合は50~200mmの範囲で基礎の高さが調節可能です。200mmを超える基礎高(500mm迄)の場合には、オプションの高基礎仕様が必要です。現場でチェックしてください。

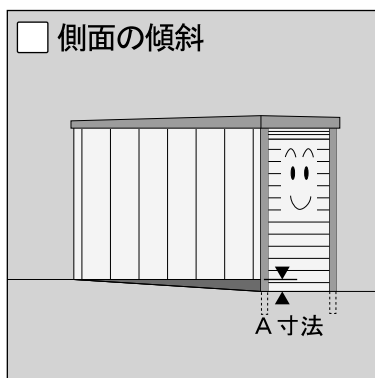


基礎高は何mmですか?

- 50~200mm
 200~500mm(高基礎)

----- mm

- 高基礎仕様
 たて樋延長パーツ

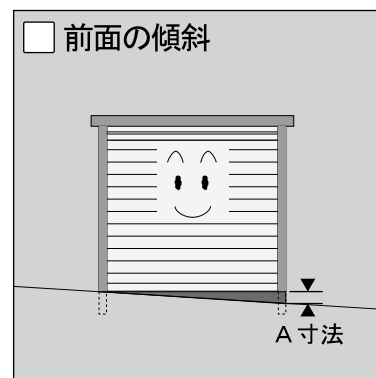


A寸法は何mmですか?

- 50~200mm
 200~500mm(高基礎)

----- mm

- 高基礎仕様
 たて樋延長パーツ
※後方への傾斜の場合は雨水が入ってきます。



A寸法は何mmですか?

- 50~200mm
 200~500mm(高基礎)

----- mm

- 高基礎仕様
 たて樋延長パーツ
※シャッター下部の片側に隙間が生じ、片流れなどの不良の原因となります。

リモコンシャッターの場合のチェック!

- 壁面扉を必ず付けてください。(停電時の出入り確保)
 送信所近辺の強電界地域による注意 (リモコンが誤作動する恐れがあることを伝えてください。)
 電源の位置を確認してください。
(内部コンセントの取付位置は連棟の場合、各棟ごとの外観左上部に取付けます。)

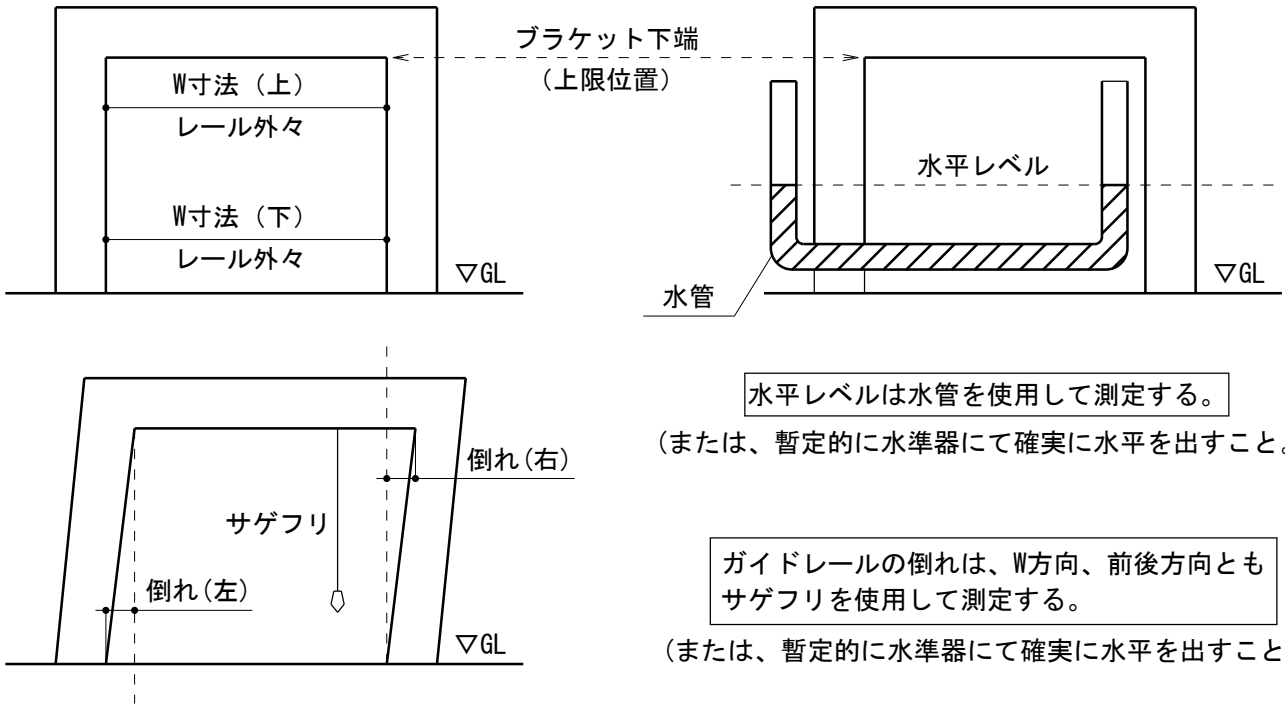
オプション提案のチェック!

現場の状況に応じてお薦めした方が良いオプションがあります。

- (1) 強風地域の場合 壁補強セット シャッター補強金具
-
- (2) 積雪地域の場合 壁補強セット
-
- (3) 隣地に接している場合 雨とい
-
- (4) 結露が発生しやすい地域の場合 結露軽減材付屋根
 オプションパネル(小窓・換気扇・通気・フード付メッシュ)
-

GRNシャッターチェックリスト(例)

検査方法の説明



水平レベルは水管を使用して測定する。

(または、暫定的に水準器にて確実に水平を出すこと。)

ガイドレールの倒れは、W方向、前後方向ともサゲフリを使用して測定する。

(または、暫定的に水準器にて確実に水平を出すこと。)

チェックリスト表

(1) 取付前の検査・検査基準

種別	検査項目	許容差・判断基準	検査器具	検査の方法内容	測定結果	合否判定
外観検査	1. 外観状況	損傷・部品不備のないこと	目視・触手	製品全般		合格
寸法検査	2. W寸法	±5mm	鋼製巻尺	上下、2点測定	(上) mm	合格
					(下) mm	
	3. 上限高さ左右の差	5mm	水管・鋼製巻尺	陸墨から追った上限までの高さ	mm	合格
	4. ガイドレールの倒れ	±5mm	下げ振り・鋼製巻尺	W方向、前後方向	(W右) mm (W左) mm (前後右) mm (前後左) mm	合格
その他	5. ブラケットの変位	倒れ・傾きのないこと	目視	変位はバール等で修正のこと		合格
	6. ブラケットの片寄り	隙間が左右同じであること	目視	スラットとブラケットの隙間、バール等で修正のこと		合格
	7. ブラケット補強バー	取付けられていること	目視	取付けること		合格

(2) 取付完了後の検査・検査基準

種別	検査項目	許容差・判断基準	検査器具	検査の方法内容	合否判定
外観検査	1. 外観状況	損傷・脱落のないこと	目視・触手	製品全般	合格
作業確認	2. リモコン操作	20m程度離れて操作可能	巻尺または歩測	立地条件により最大50mまで操作可能	合格
	3. 開閉状況	円滑に開閉し、使用に支障のないこと	目視・触手・見聞	擦れ、引っ掛かり等による異音のないこと	合格

(注意) お客様は、電気配線されるまで手動で使用されますので、作業確認後は「手動開放」の状態にしてください。

検査記入日 年 月 日	取付作業者 <small>サイン又は印</small>
記入後の「チェックリスト(取扱説明書)」は必ず保証書保管ケースに入れてください。	

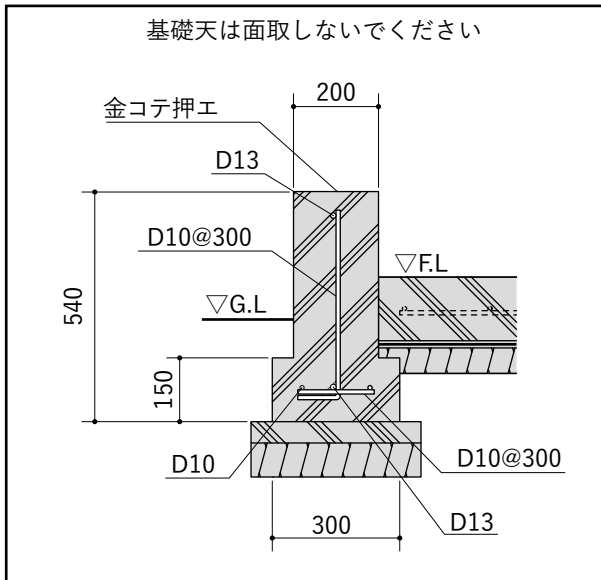
タフレンジ
イナバ倉庫編

基礎について (SGN)

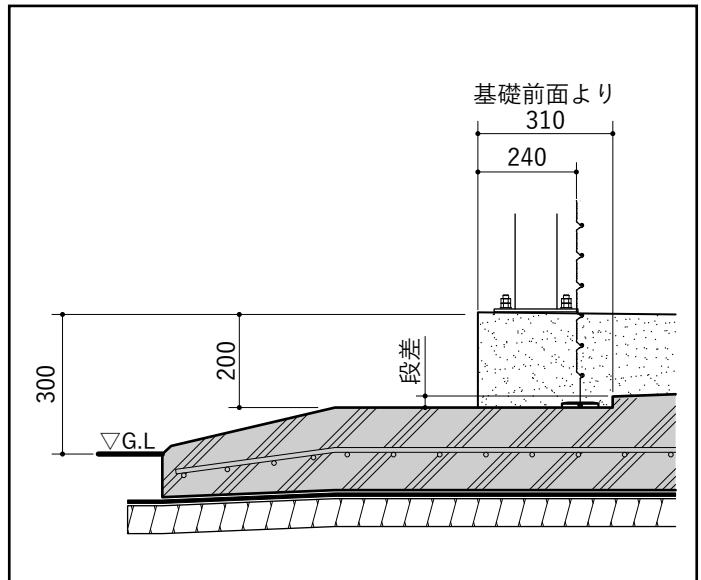
SGN は布基礎とベタ基礎の 2 つのタイプの基礎があります。

●SGN 布基礎について

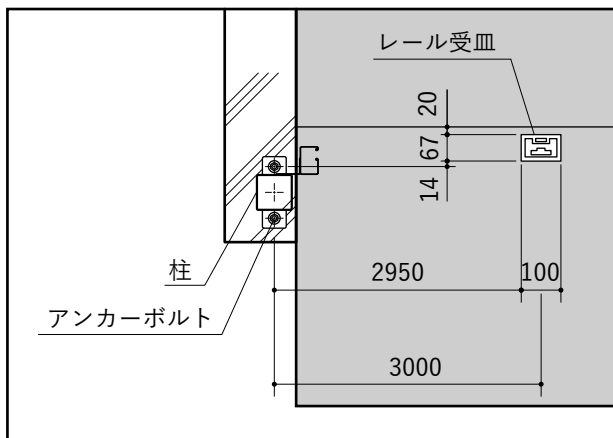
< 基礎断面 >



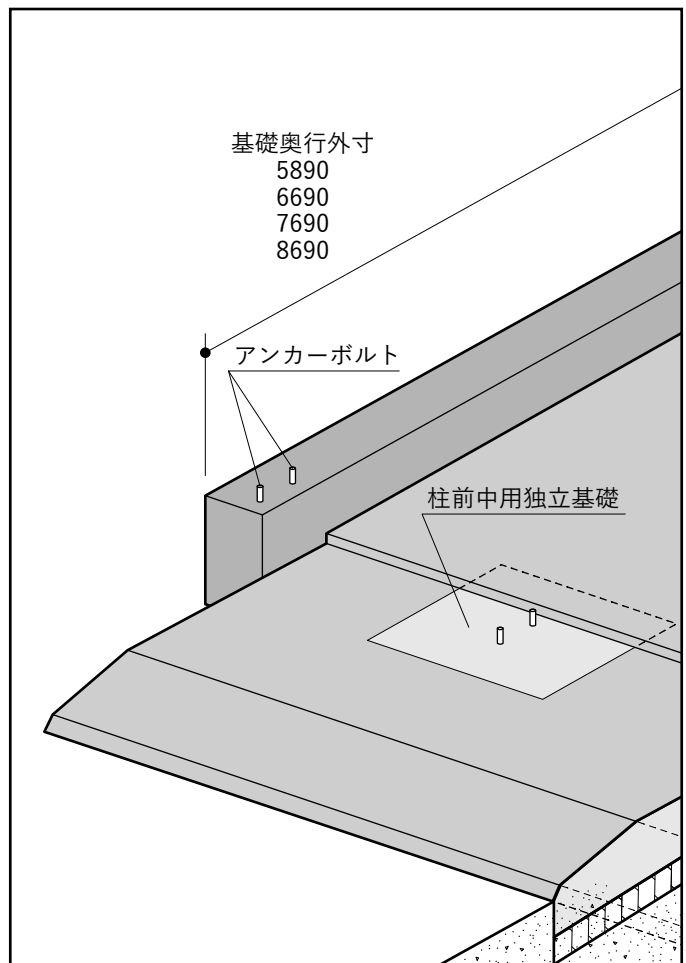
< 入口部基礎断面 >



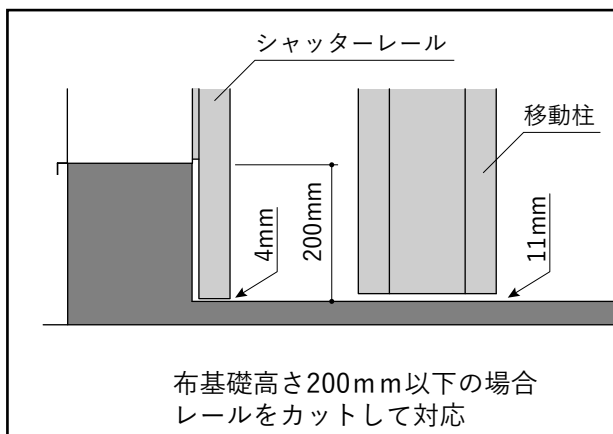
< レール受皿位置 >



< 柱前中部基礎 >



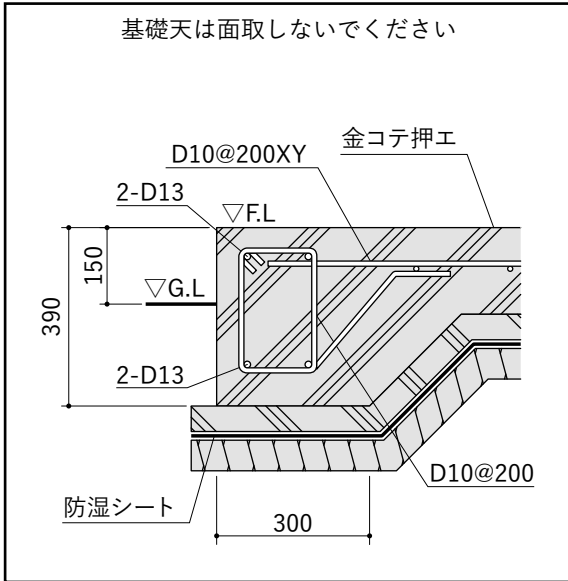
< 布基礎とシャッターレールの関係 >



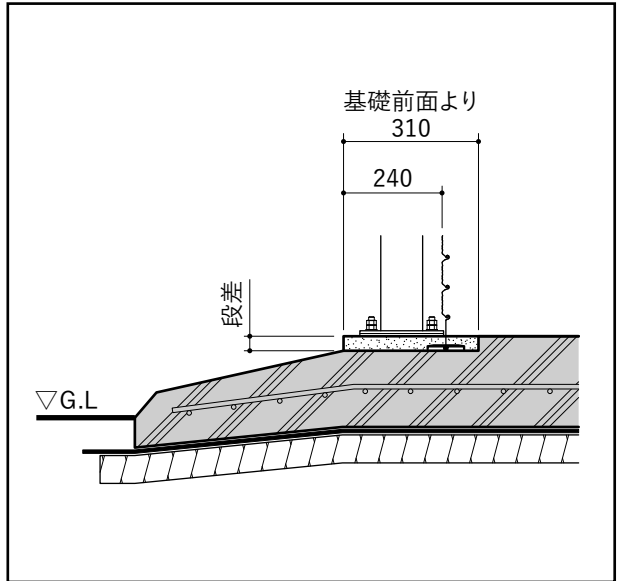
タフレージ
イナバ倉庫編

●SGN ベタ基礎について

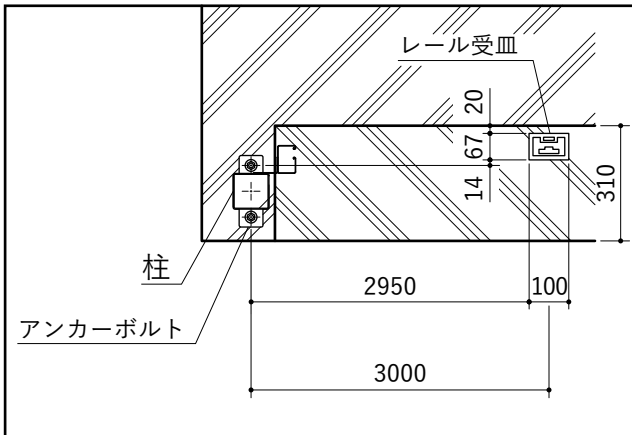
<基礎断面>



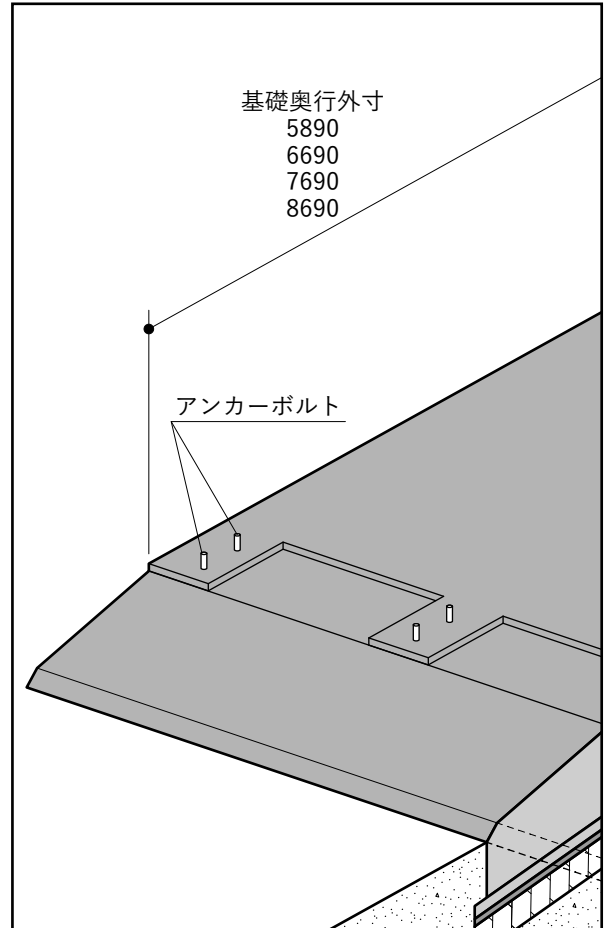
<入口部基礎断面>



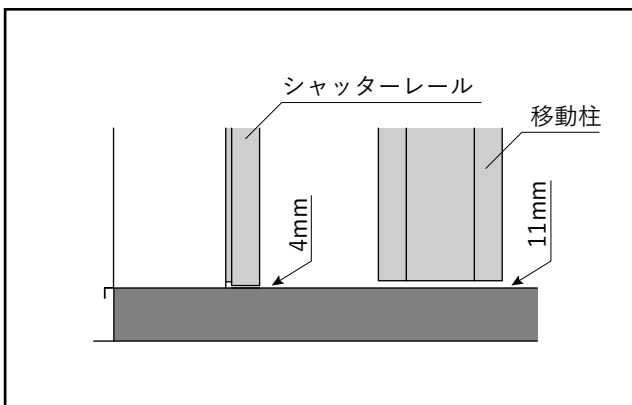
<レール受皿位置>



<柱前中部基礎>



<ベタ基礎とシャッターレールの関係>



基礎について (WG)

タフレイジの基礎は布基礎のみです。
柱前中は埋め込み仕様となります。

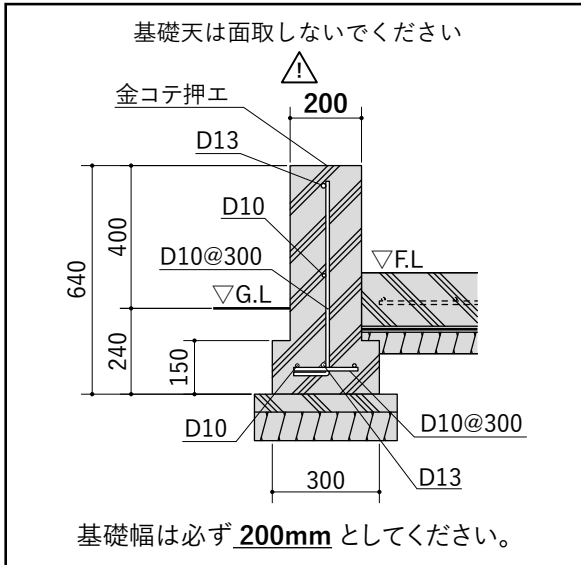
●WG-D(オーバースライドタイプ)

WG-D(オーバースライドタイプ)に高基礎仕様はありません。

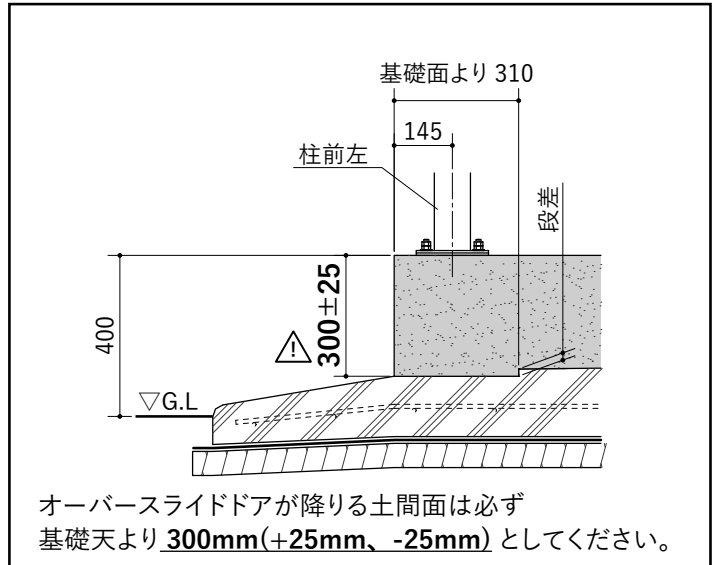
⚠注意

基礎幅とオーバースライドドアが降りる土間面のは高さは必ず守ってください。オーバースライドドアの取り付けができなくなります。

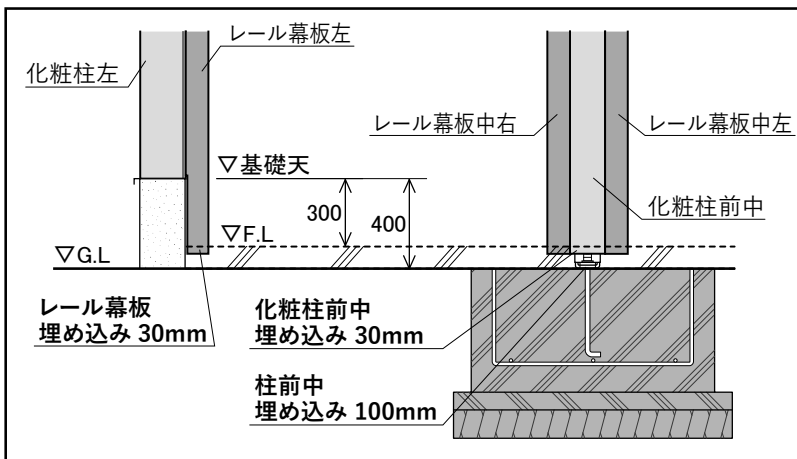
<基礎断面>



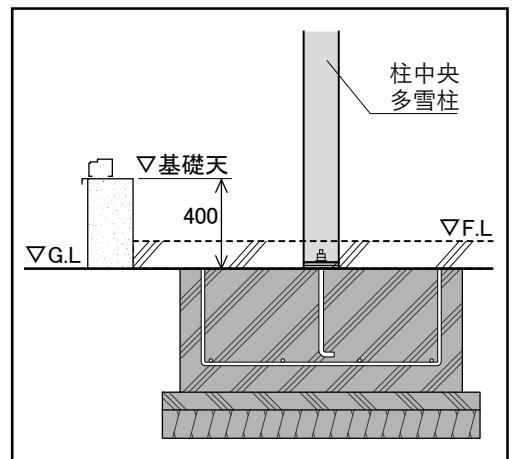
<入口部基礎断面>



<柱前左右・柱前中部>

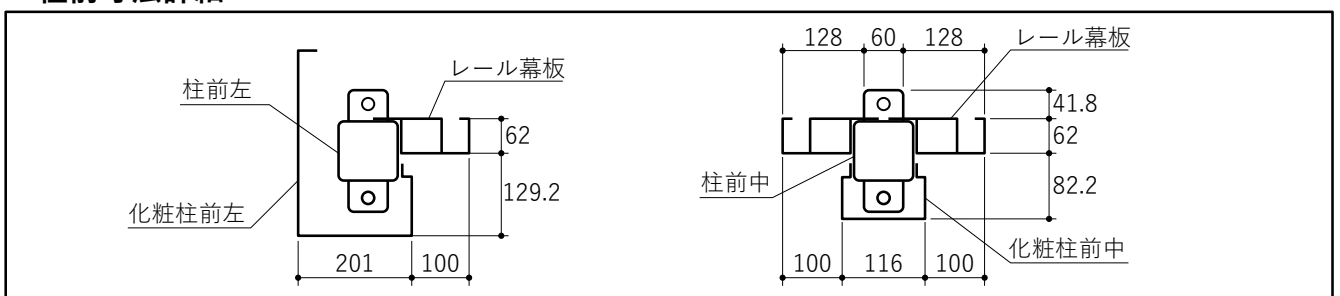


<柱中央・多雪柱部>



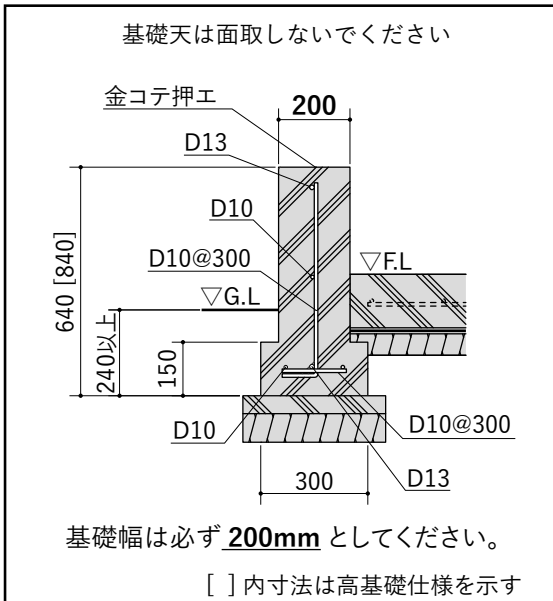
- ・化粧柱前中(柱前中)、レール幕板、柱中央、多雪柱は土間面の仕上がりを考慮して埋め込み仕様です。
- ・先土間仕様の場合は、レール幕板の下端をF.L.に合わせてカットとなります。

<柱前寸法詳細>

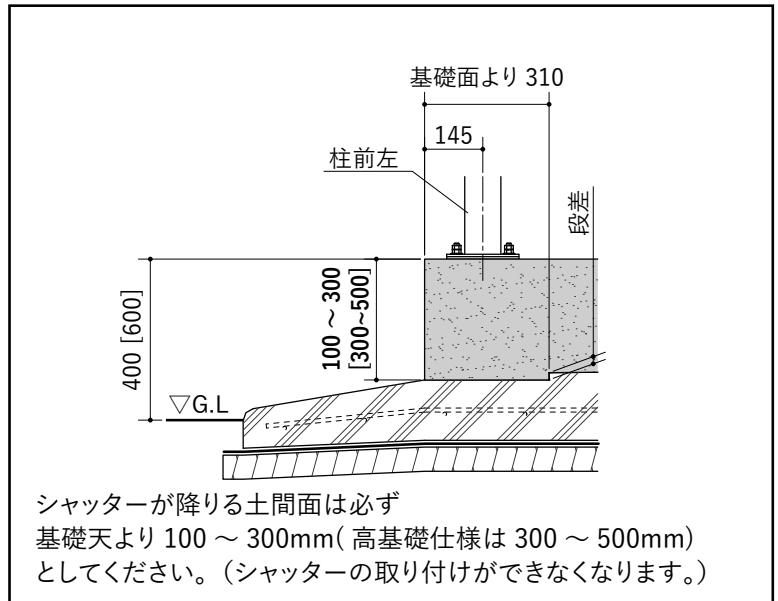


●WG-S(シャッター)

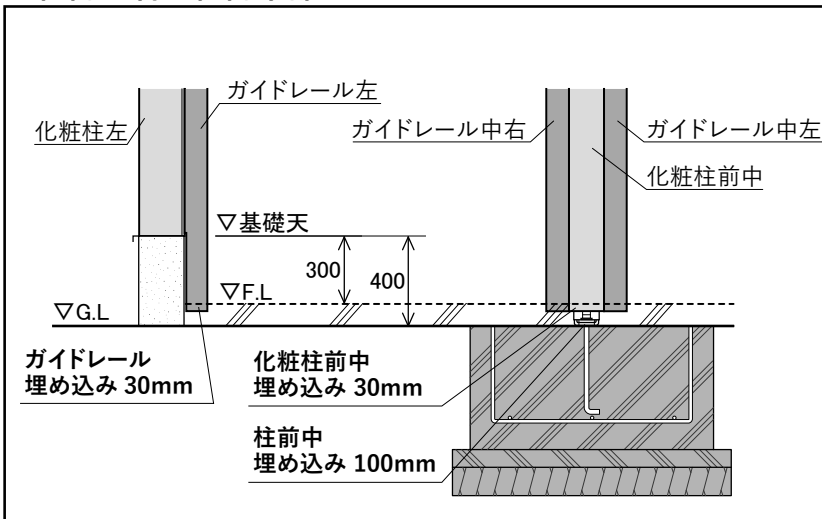
<基礎断面>



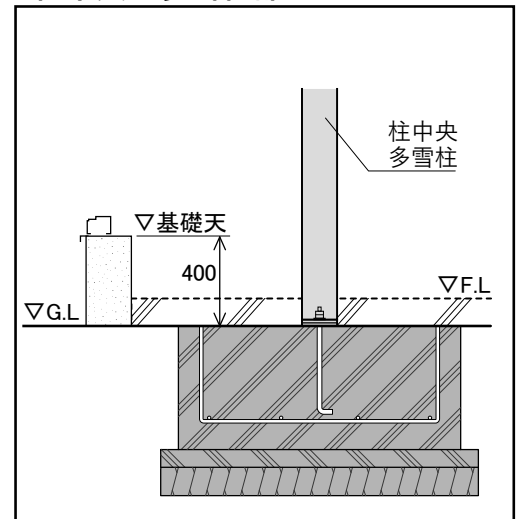
<入口部基礎断面>



<柱前左右・柱前中部>

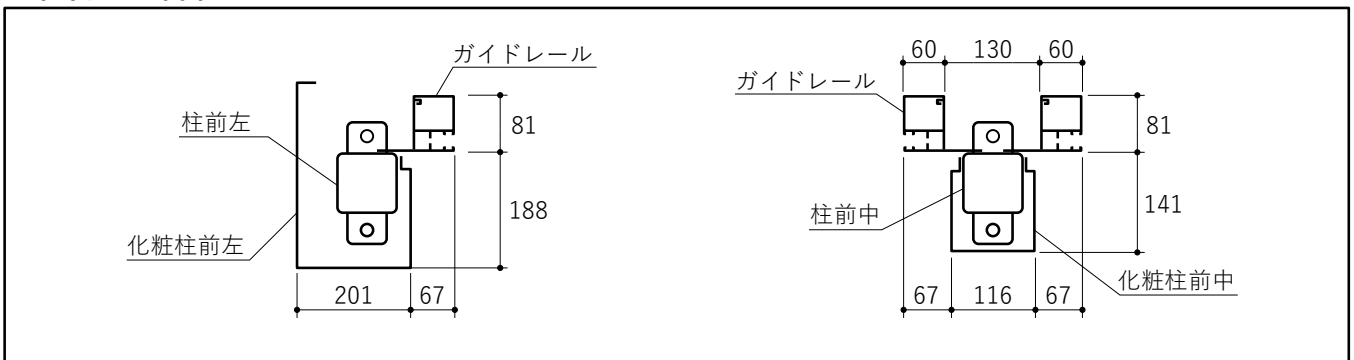


<柱中央・多雪柱部>



- ・化粧柱前中(柱前中)、ガイドレール、柱中央、多雪柱は土間面の仕上がりを考慮して埋め込み仕様です。
- ・先土間工事の場合は、ガイドレールの下端をF.L.にあわせてカットし、金具で固定します。

<柱前寸法詳細>

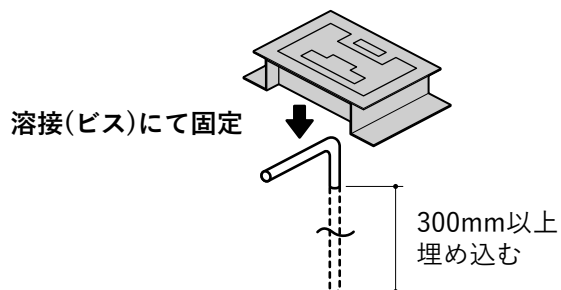


●その他基礎の注意点 (SGN・WG)

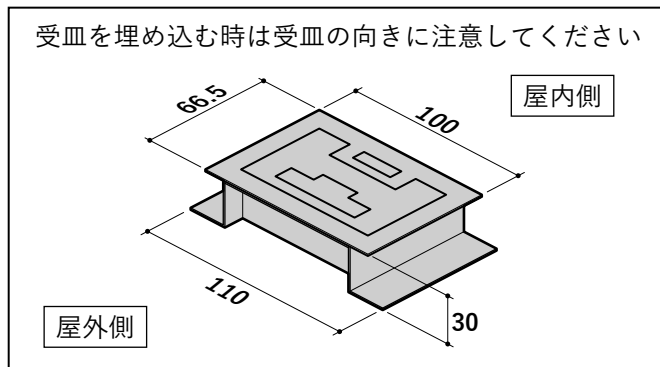
<受皿埋め込みについて(SGN)>

・土間工事と同時に埋め込む場合

基礎図を参照し、アングルや棒鋼を受皿の真下へ垂直に300mm以上埋め込んでください。固定位置と高さを確認して、受皿底部を溶接やビスで堅固に固定してください。



レール受皿詳細図

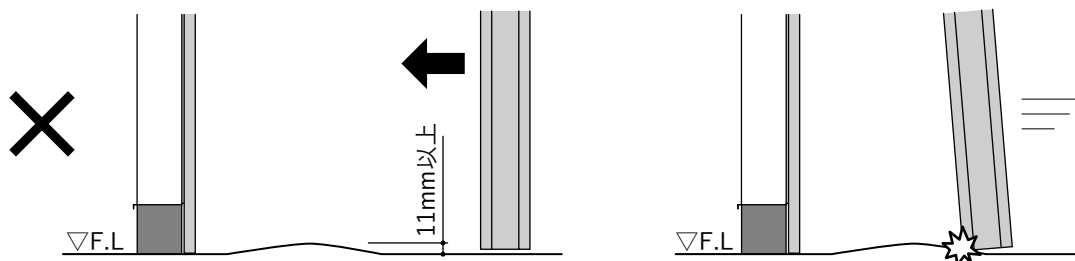


・土間工事後に埋め込む場合

基礎図を参照し、受皿の周囲の土間をはつり、位置を確認して受皿を固定し、モルタルを詰めコテ仕上げしてください。はつる寸法は現地の土間の現状に合わせてください。はつる寸法が小さすぎると、受皿が抜けてしまう場合があります。

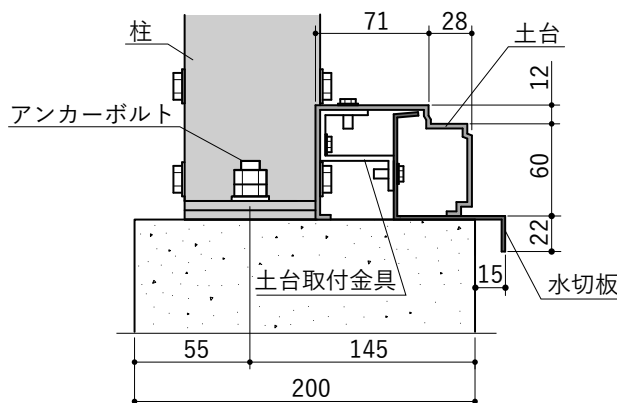
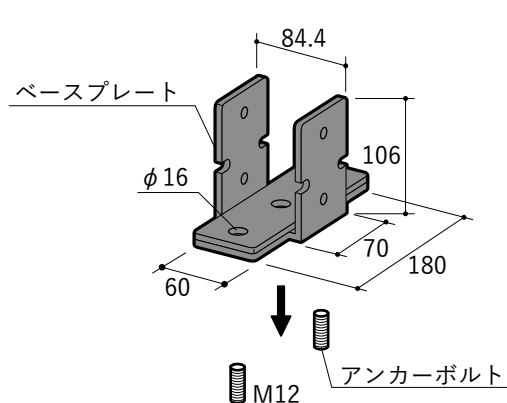
<移動柱可動部の基礎天端不陸について(SGN)>

移動柱下部の余裕は11mmを基準としています。移動柱が通る部分の不陸には十分注意してください。



このような不陸は移動柱がこすってしまったたり、移動柱のスライドができなくなります。

<ベースプレート、土台と水切板の関係について(SGN・WG)>



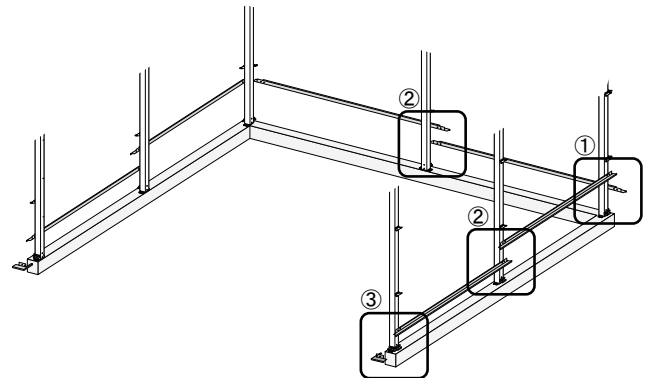
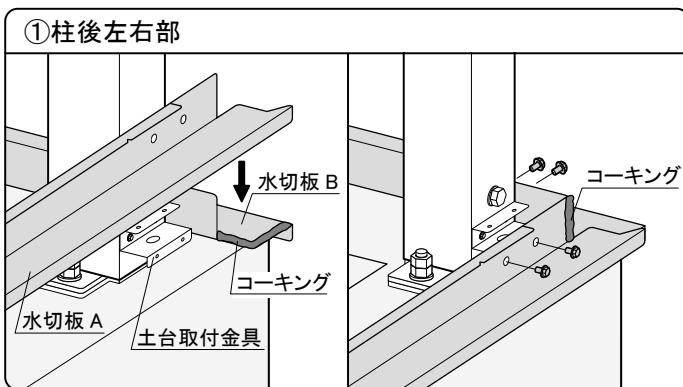
アンカーボルトM12に対し、ベースプレートのアンカーボルト取付用穴はφ16mmです。

コーキングに関する注意点 (SGN・WG)

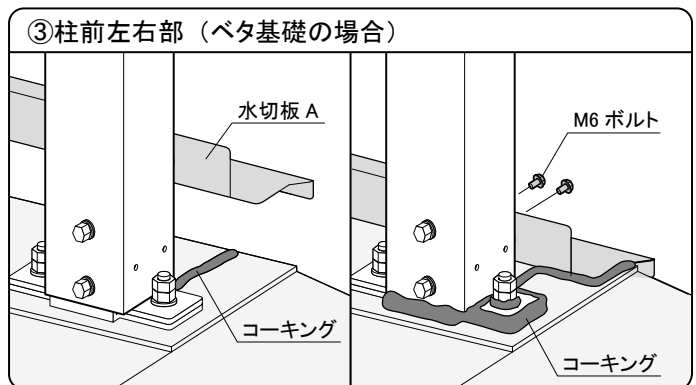
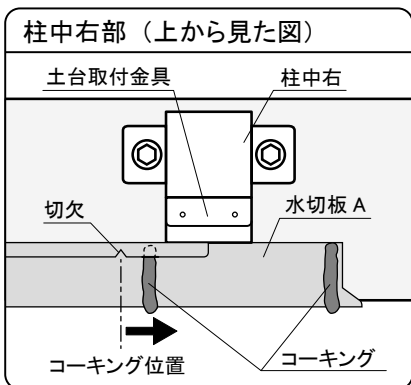
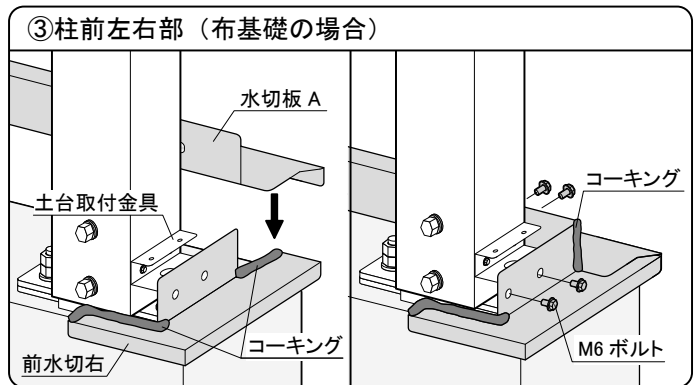
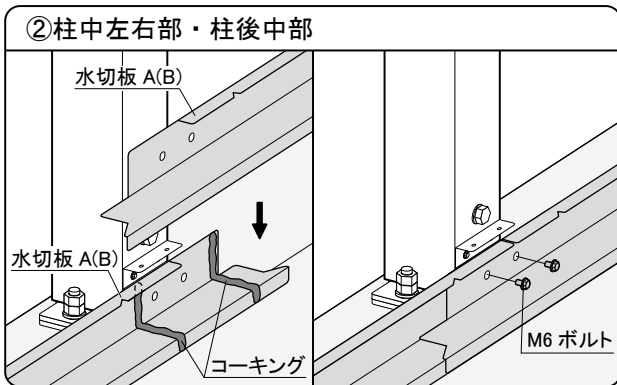
下記4箇所は必ず部品箱内のコーキングを使用し、組立説明書を見ながら正確にコーキングを施して下さい。
コーキングをしなかったり、間違ったコーキングを施しますと雨水浸入（クレーム）の原因となります。

- ①水切板の継ぎ目部分
- ②桁後幕板の継ぎ目部分
- ③屋根パネル前後間の継ぎ目部分
- ④妻板左右前後/前中後間の継ぎ目部分

●水切板の継ぎ目部分



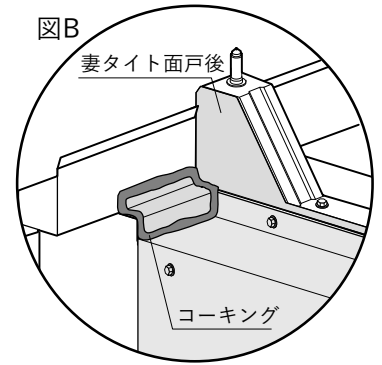
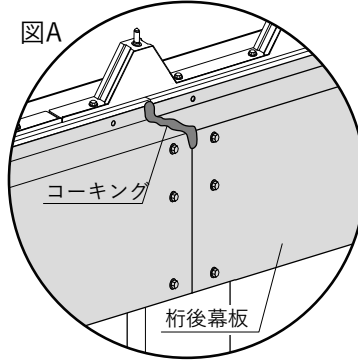
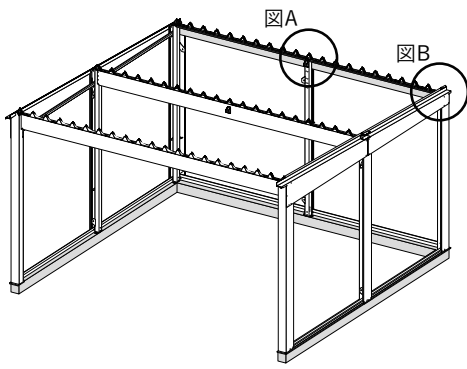
タフレーション
イナバ倉庫編



※水切板の切欠を目安にコーキングしてください。

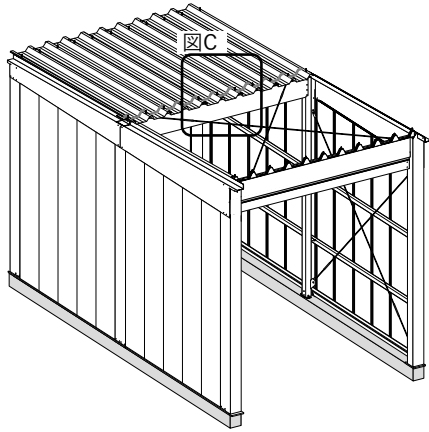
※ベタ基礎の場合は前水切板はつきません。

●桁後幕板の継ぎ目部分



●屋根パネル前後間の継ぎ目部分

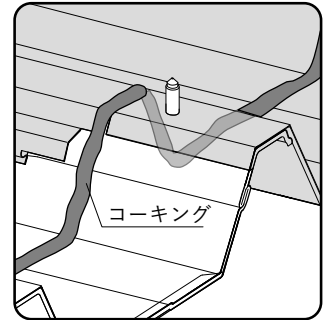
屋根後の切欠きを目安に均一に切れ目なくコーキング施してください。



コーキングのノズルは、2本目の線の部分でカットしてください(φ8程度)

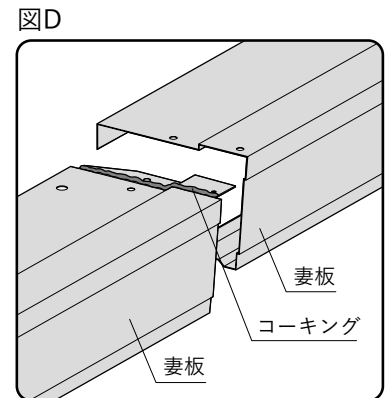
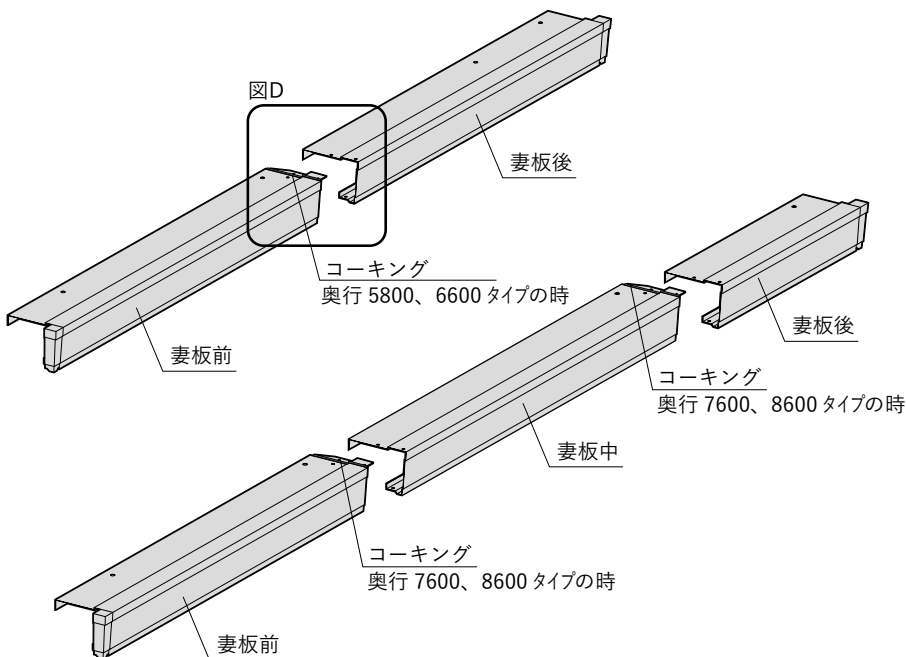


2本目の線でカット



●妻板左右前後/前中後間の継ぎ目部分

奥行5800、6600タイプは、妻板前と妻板後の繋ぎ目、
奥行7600、8600タイプは、妻板前と妻板中の繋ぎ目、妻板中と妻板後の繋ぎ目にコーキングを施してください。



床面積算定について

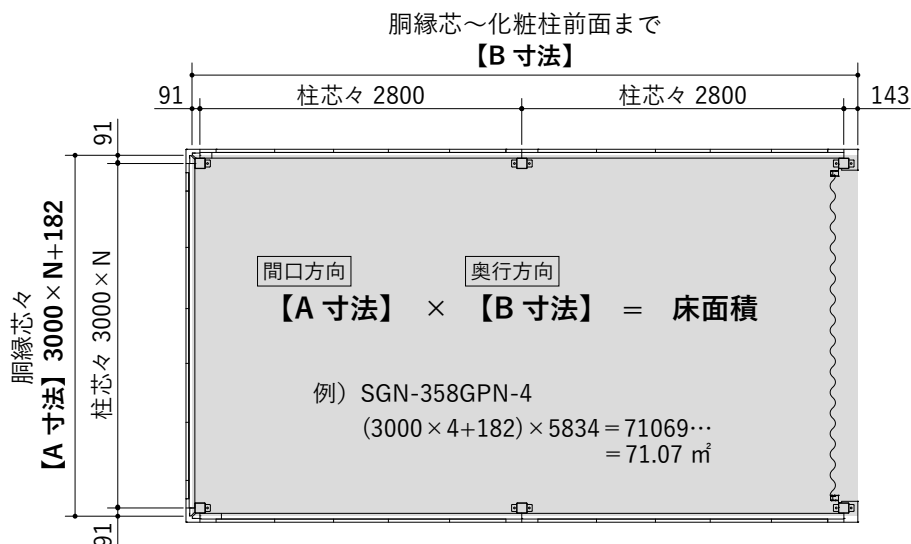
●SGN本体の床面積

間口方向：胴縁芯～胴縁芯

【A 寸法】 $3000 \times N + 182$
※N= 連棟数

奥行方向：化粧柱前面～胴縁芯

【B 寸法】 358 の時：5834
366 の時：6634
376 の時：7634
386 の時：8634



SGN下屋(オプション)を取り付ける場合
下屋部分も床面積に含まれるため、
床面積はSGN本体+下屋で算定します。

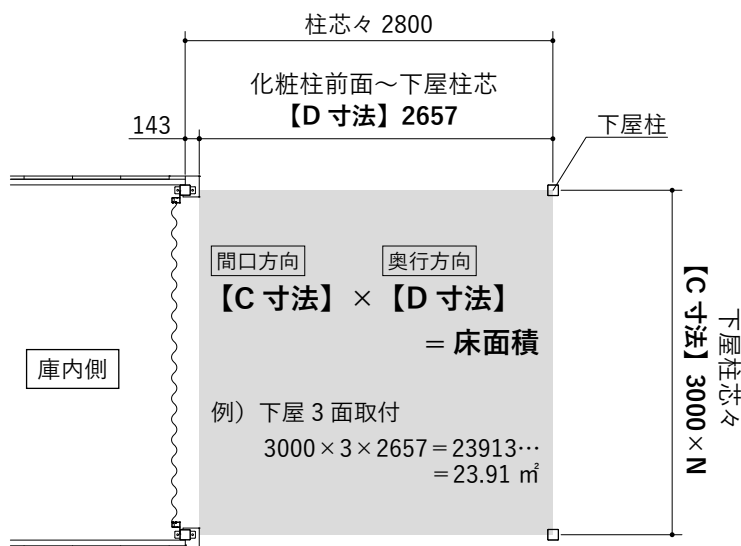
●SGN下屋の床面積

間口方向：下屋柱芯～下屋柱芯

【C 寸法】 $3000 \times N$
※N= 下屋取付面数

奥行方向：化粧柱前面～下屋柱芯

【D 寸法】 2657



タフ
フレージ
イナバ
倉庫編

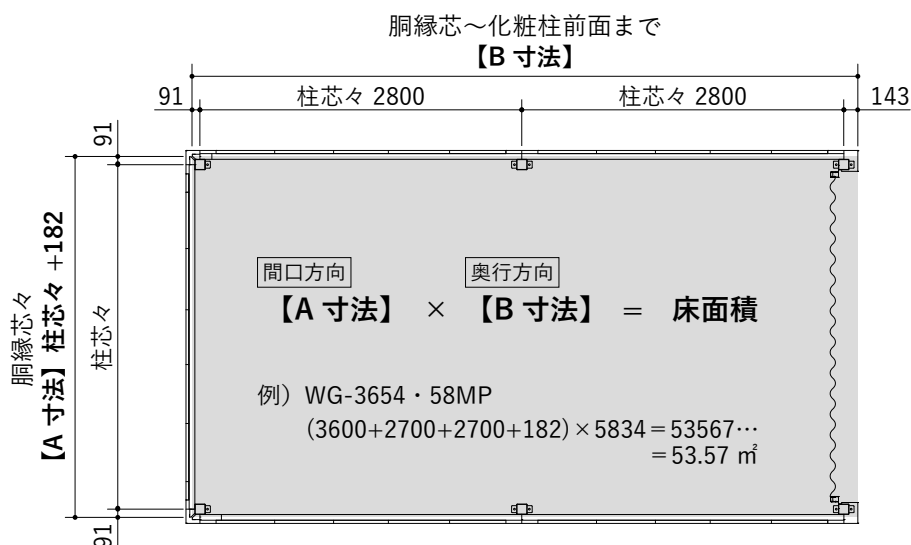
●WG本体の床面積

間口方向：胴縁芯～胴縁芯

【A 寸法】 柱芯々 +182

奥行方向：化粧柱前面～胴縁芯

【B 寸法】 奥行5800タイプの時：5834
奥行6600タイプの時：6634
奥行7600タイプの時：7634

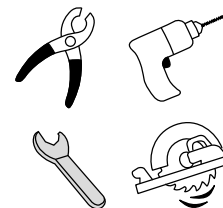


組み立てについて

●組立に必要な工具類 (SGN・WG)

組み立てに下記径のボルトを使用します。電動ドリルのビットやスパナなどをご用意ください。

ボルト径	スパナ径	使用箇所
M6	10mm	壁その他多数
M8	13mm	柱に取付ける部品,その他多数
M10	17mm	柱+ベースプレート
M12	19mm	基礎のナット、SGN一般型/WG屋根面用ブレース
M14	22mm	ルーフナット
M16	24mm	SGN多雪(豪雪)型屋根面用ブレース、SGN/WG壁面用ブレース



組立に必要な工具

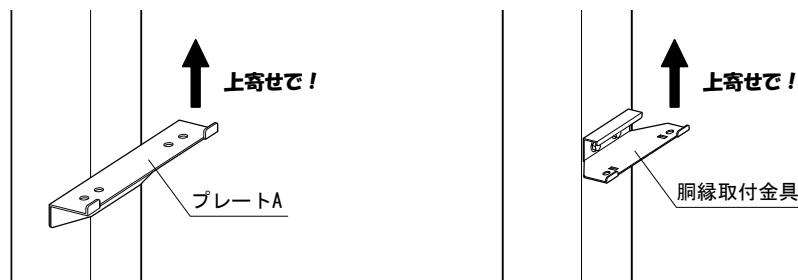
- ・φ9のドリル・・・移動レール(SGN)の加工に使用
- ・φ12のドリル・・・下屋(SGN)取り付け時の加工に使用
- ・サンダー・・・移動レール、壁面扉・枠ドア取り付け時の胴縁カット
- ・塩ビ用ノコ・・・軒樋のカット
- ・プラスビット2番・・・雨樋関係のテクス打ち

その他ラチェットレンチ、下げ振り、水準器、プライヤーなど普段ご使用の工具をご用意ください。

●前工程に関する注意点 (SGN・WG)

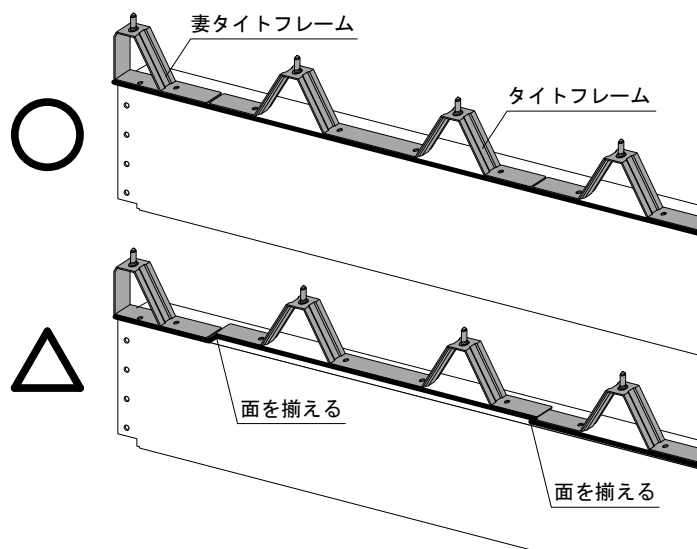
<プレートA・胴縁取付金具の取付について>

プレートA・胴縁取付金具の取付用穴は大きめにあいています。なるべく上方向に寄せながら取り付けることで、組立後半で壁パネルを取り付ける時に余裕ができ、組み立て易くなります。



<タイトフレームの取付について(一般型・多雪型の時)>

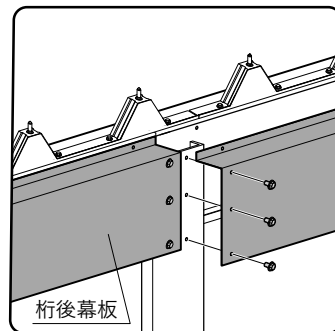
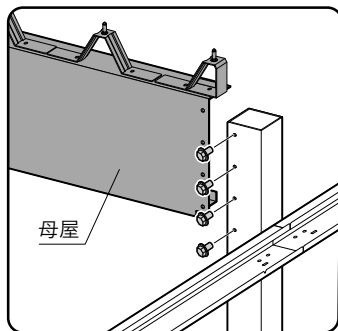
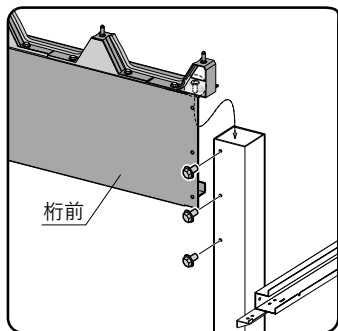
タイトフレームは、直線を意識して取り付けてください。タイトフレームが揃うと剣先ボルト位置が揃うため、折板屋根が組み立て易くなります。



●各部材の取り付けについて (SGN・WG)

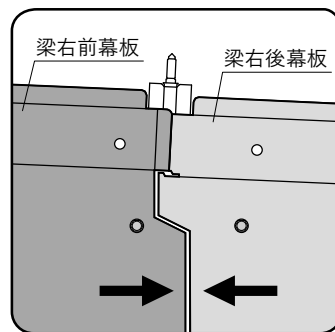
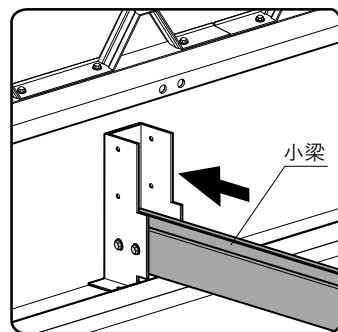
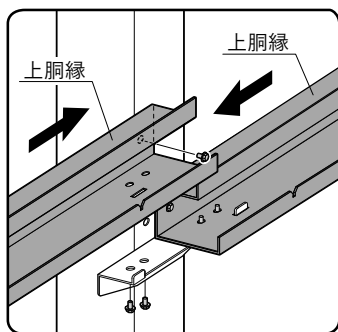
< 桁前後・母屋・幕板等 >

各部材にはボルトより若干大きめの取り付け穴があいています。部材を持ち上げ気味に取り付けることで、その後の部材の取り付けがよりスムーズになります。



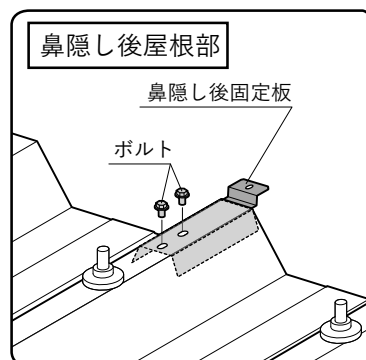
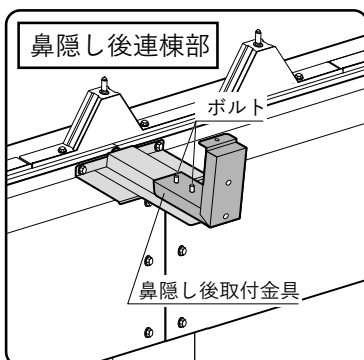
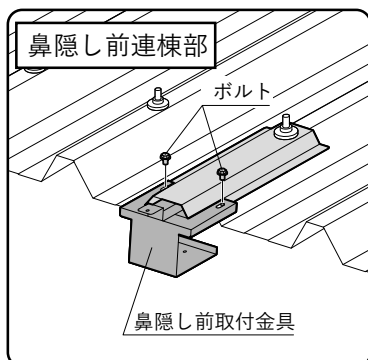
< 上胴縁・小梁・幕板等 >

以下の点を意識して組むことで、柱の建ちが出しやすくなります。
 ※上胴縁を寄せてとめる。
 ※小梁を桁前、母屋、柱後にピッタリと付ける用にボルト締めする。
 ※梁左右幕板を寄せてとめる。



< 鼻隠しの通りの調整(一般型・多雪型の時) >

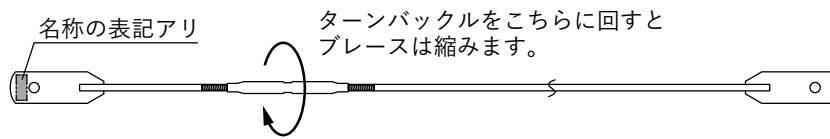
鼻隠しの通りが出ていない場合は、ボルトを緩めて調整してください。



●ブレースについての注意点 (SGN・WG)

・ブレース取付の前に

ブレースを取り付ける前に、正規の寸法前後まで長さを調整しておくのと取り付けと同時にある程度本体の歪みを矯正することができます。



・ブレースの締め付けトルク

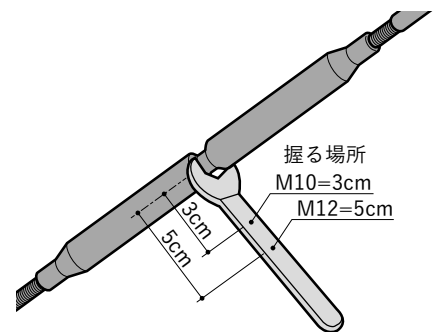
ブレースは初期荷重から有効に働くようにあらかじめ緊張させる必要がありますが、締めすぎは金具や柱・梁の変形の原因となります。適正な締め付けで施工してください。ターンバックルの適正な締め付けトルクは

M10ブレースの場合：62kgf・cm

M12ブレースの場合：108kgf・cmです。

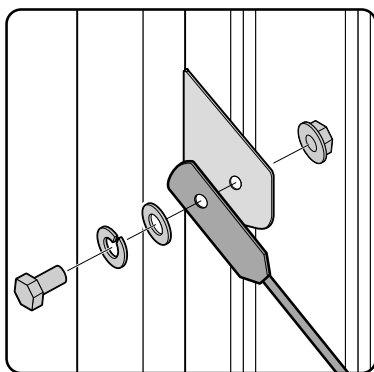
目安としてはM10ブレースの場合はスパナの柄の3cmのところ、M12ブレースの場合は5cmのところを握って、腕の力だけで締め付けた程度です。

実際の施工では、まず素手ですべてのターンバックルを締め付け、次にスパナを使用して必要トルクの1/2程度を目標に締め付け、その後さらに必要トルクに全数を締め付けるというように、順次二度締めまたは三度締めを行って全体を均等に締め付けるよう心掛けてください。

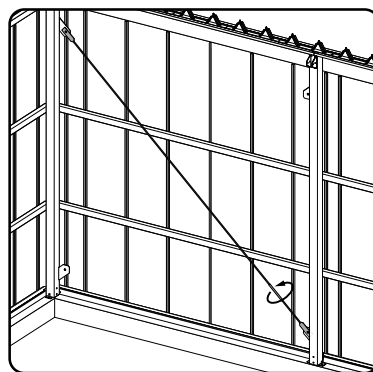


・ブレースの取り付け方

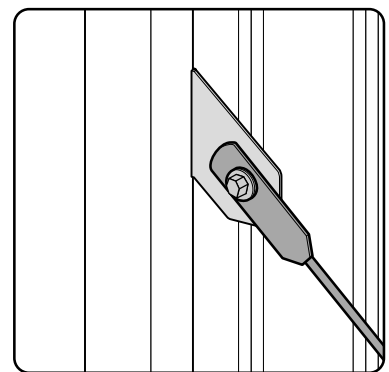
ブレースは引っ張りに耐える力で本体を支えます。最初羽子板のボルトは仮締めにして、ブレースをある程度締めつけた後に羽子板のボルトを本締めすることで、ブレース本来の効果を出すことができます。また羽子板の向きが曲がって取り付けしてしまう現象を防止できます。



①羽子板のボルトを仮締めする



②ターンバックルを回してある程度張る



③羽子板のボルトを本締めする

・ブレースによる柱の調整

※基本的にはブレースを使用して、無理に柱の建ちを出さないでください。

壁を入れる前にブレースを張ると、壁が入れづらくなってしまいます。

もし壁を入れる前に「柱が安定しない」「柱が外に倒れで直らない」などの現象が起きた場合は、1本だけ仮に張って柱を安定させるなどの対処をしてください。

●シャッターの取り付けについて (SGN)

1. シャッター取付の前に

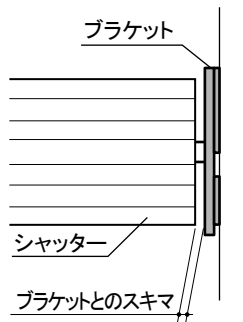
柱前左右の建ちを調整してからシャッターの取り付けを開始してください。
柱の傾きが5mm以内になるように、下げ振りなどを用いて必ず寸法の確認をしてください。

2. スラットをガイドに通すときのコツ

組立説明書の「シャフトの取付」でスラットをガイドに通す際、スラットがブラケットに干渉します。ブラケットを多少外にありながらスラットを入れると、容易にガイドに通すことができます。

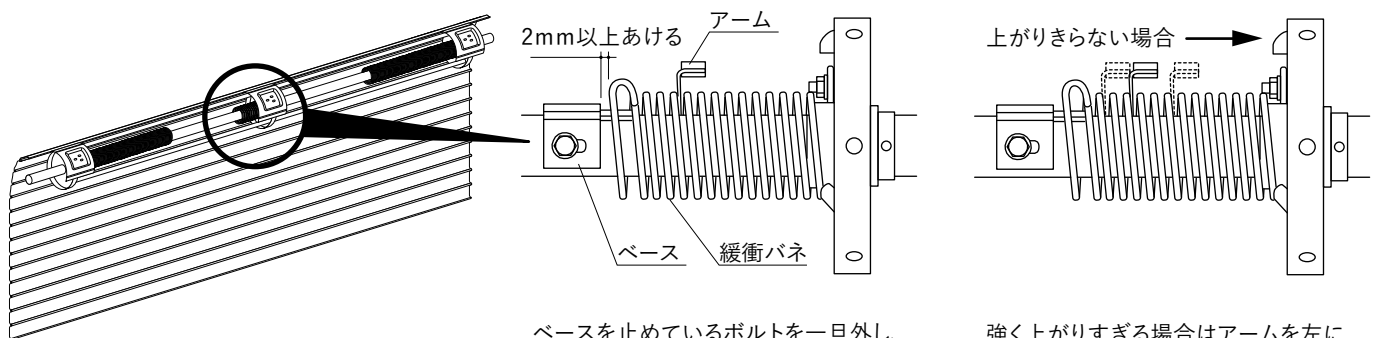
3. 片流れの調整について

スラット取り付け後、シャッターを巻き上げた時にスラットがブラケットとこする場合は、スラットの片寄りが考えられます。無理に巻き上げずに一度シャッターを降ろし、シャッターが片寄らないように(シャッターとブラケットとのスキマが左右均一になるように)ブラケットとスラットのスキマに木片等をはさみながら、再度巻き上げてください。木片等がない場合はマイナスドライバー等でスラットを矯正しながら巻き上げてください。偏ったまま巻き上げると、シャッターの使用中にスラットが片寄り、開閉に支障が出る等の不具合の原因となります。



4. 緩衝バネの調整方法

シャッターを開けた時に「上がりきらない」「強く上がりすぎる」などの現象が起きた場合は、緩衝バネのアームの位置を調整してください。ボルトを外しアームを押さえているベースを90°ずつ回転することで、微調整が可能です。それでも改善しない場合はお問い合わせください。



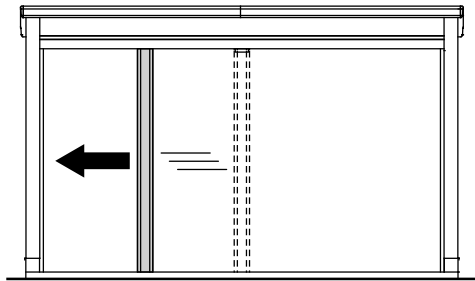
ベースを止めているボルトを一旦外し、アームを移動させます。ベースは90°ごとに固定できます。

強く上がりすぎる場合はアームを左に、上がりきらない場合はアームを右に動かしてください。

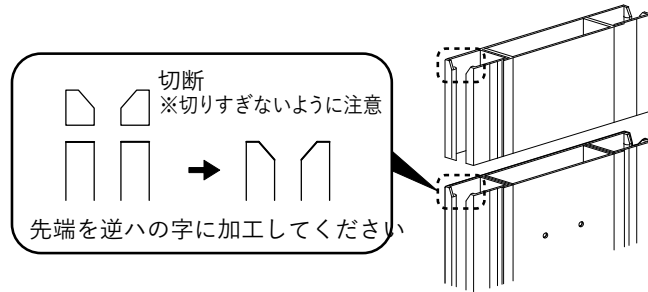
移動柱の注意点 (SGN)

●土間とこする場合の調整方法

移動柱取り付け後は、必ず左右に移動させ、土間とこすらないことを確認してください。土間と接触があるようなら移動柱上部をカットしてください。切り過ぎると耐風ロックがかからなくなるので、“耐風ロックの調整方法”も確認しながら加工してください。また、移動柱をカットした場合は切粉を除去し必ず補修塗料でタッチアップしてください。



移動柱を動かしてチェックしてください

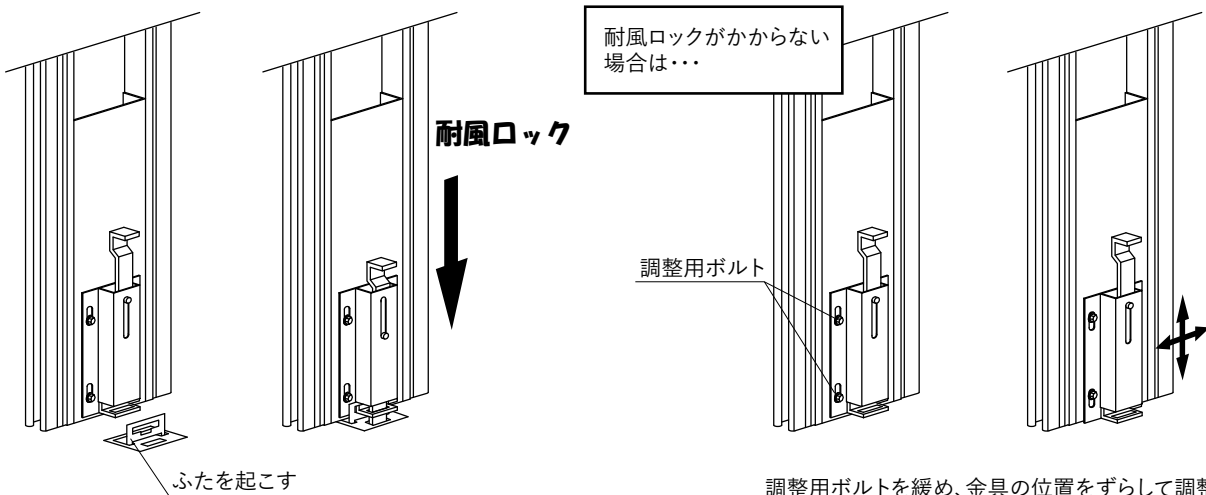


カットした後、先端の形状を見本に加工してください

●耐風ロックの調整方法

移動柱は下図のように受け皿のふたを起し、移動柱の金具を差し込んでロックすることで、強風に耐える仕様となっています。(耐風ロック)

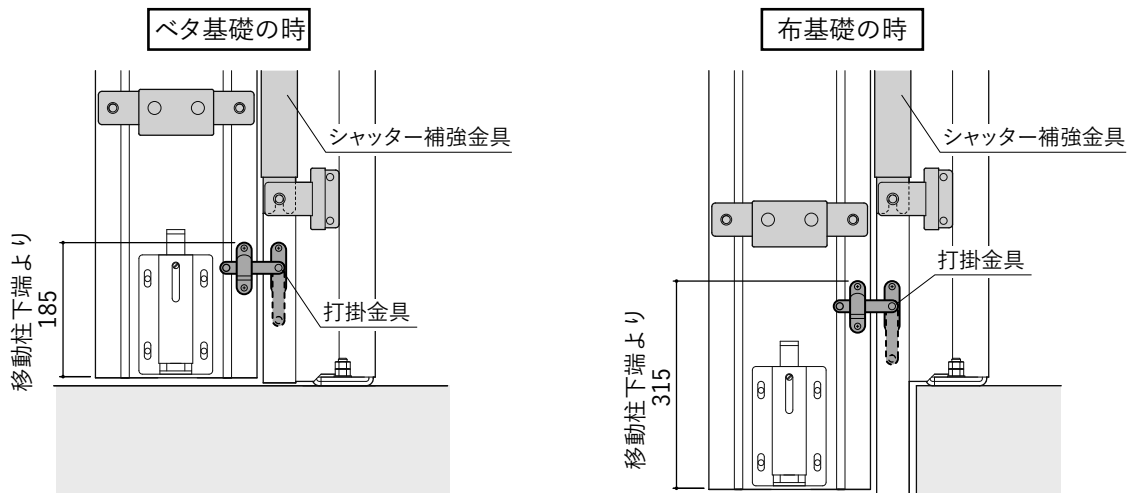
移動柱取り付け後に耐風ロックがかかるかどうかを確認してください。ロックがかからない場合は移動柱下部の調整用ボルトを緩め、金具の位置を調整してください。



●打掛金具とシャッター補強金具について

シャッター補強金具を取り付ける場合は、シャッター補強金具を先に取り付けてください。

打掛金具は下図を参照しシャッター補強金具と干渉しない位置に取り付けてください。



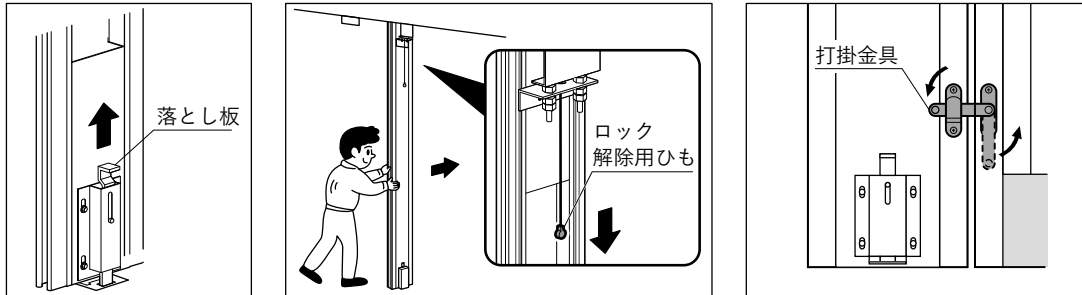
施工後の確認事項 (SGN)

●引渡し時に説明すること

以下のことを施主様に説明し、引き渡してください。

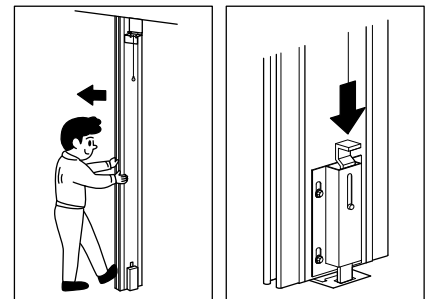
・移動柱の動かし方

- 1.両側のシャッターを全開にし、移動柱下部の落とし板を引き上げます。
- 2.ロック解除用ひもを引きロックを解除し、移動柱を静かに左側へ移動させて、打掛金具を必ず掛けてください。



・移動柱の戻し方

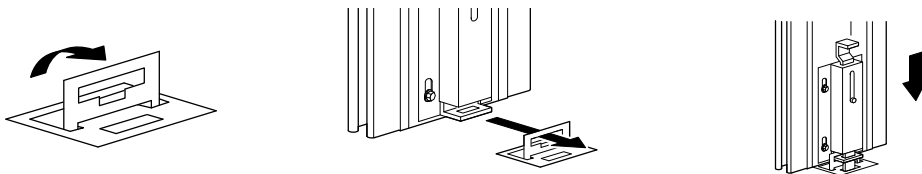
- 1.打掛金具を外し、移動柱を静かに引き出します。移動柱の下部を足で抑えながら上部を引くと動かしやすくなります。
- 2.移動柱を中央まで移動し、上部がロックされたことを確認します。
- 3.移動柱下部の落とし板を完全に押し下げロックします。
- 4.移動柱が上下ともにロックされたことを確認してから、シャッターを閉めてください。



・耐風ロックについて

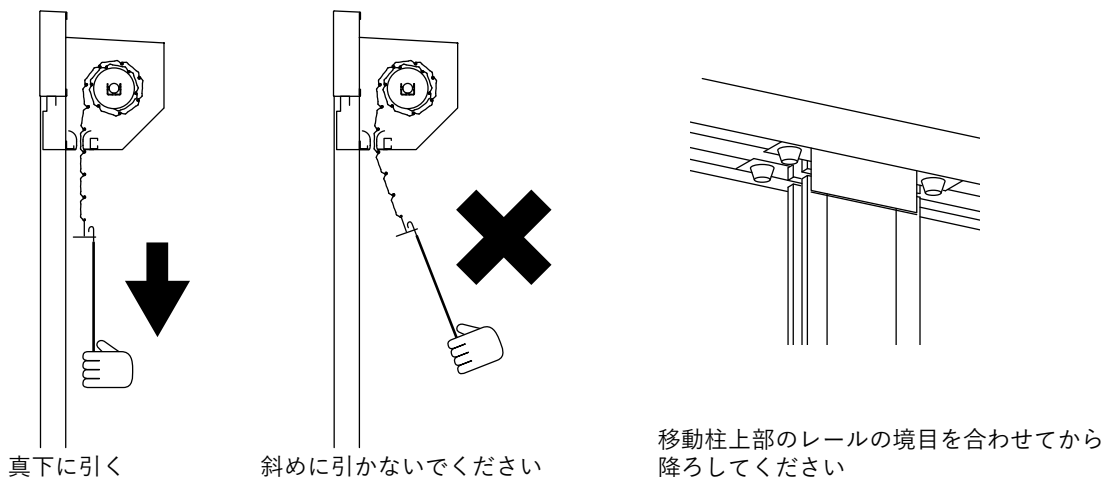
強風時及び台風時には必ず下記の操作を行ってください。

- 1.受皿のフタをおこします。
- 2.ガイド板を差し込みます。
- 3.落とし板を完全に押し下げます。



・シャッター開閉時の注意

シャッターの開閉は、必ず移動柱が上下ともロックされた状態で行ってください。シャッターを閉めるときはシャッター棒を使い、真下に引いてください。また鍵を挿したままシャッターを開けると、鍵がカバーに当たり故障の原因となります。

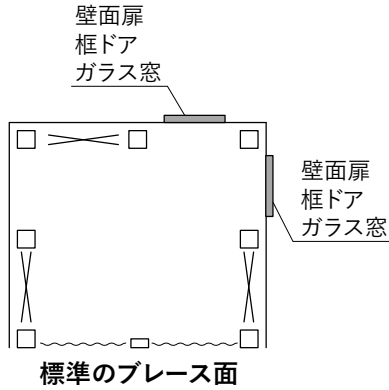


オプション品について (SGN・WG)

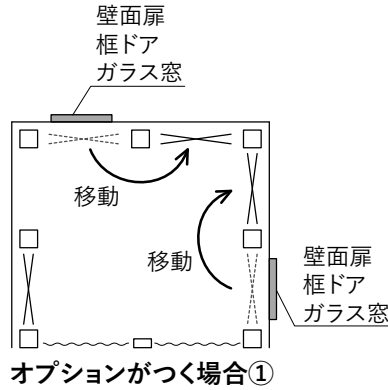
● オプションとブレースの関係

<基本的な注意点>

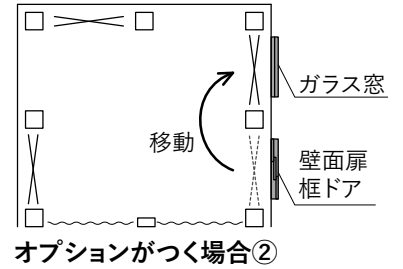
取付例)SGN-358GPN-2



ブレースのない面には問題なくオプションの取り付けが可能です。

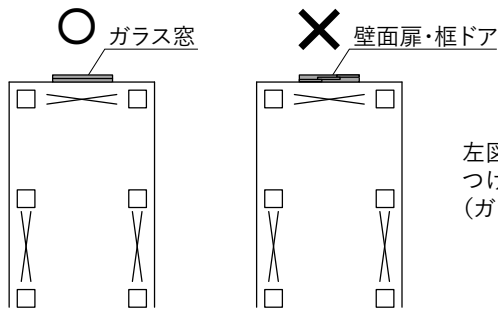


上記のような場合はオプションをよけた面にブレースを移動してください。



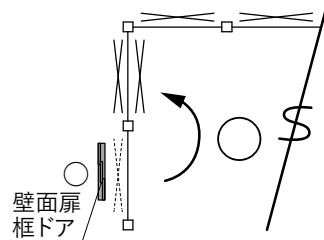
同じ面に壁面扉・框ドア、ガラス窓を付ける場合は、ガラス窓面にブレースを配置してください。

取付例)SGN-358GPN

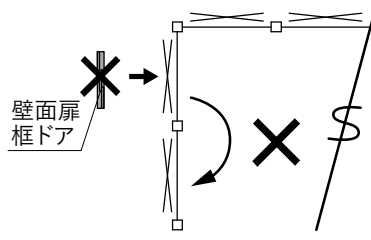


左図の場合は後面ブレースの移動できないため、後面に壁面扉・框ドアをつけることができません。(ガラス窓はブレース越しに付ける事ができます)

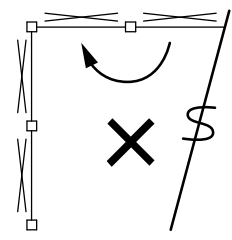
<2重ブレースについて>



※2重ブレースにする場合は、前側のブレースを後側に移動します。



※後側のブレースは前側に移動できません。

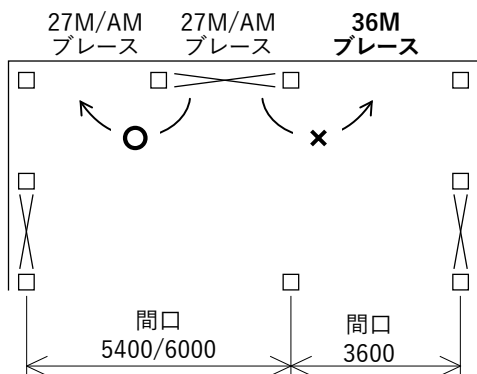


※後面のブレースは2重ブレースにできません。

壁面扉・框ドアはブレースのない面に取り付けてください。ブレースのある面に取り付けたい場合はブレースの位置を変更してください。(ブレースを省くことは強度上できません。)

<WG一般型3台用の後面ブレースの注意点>

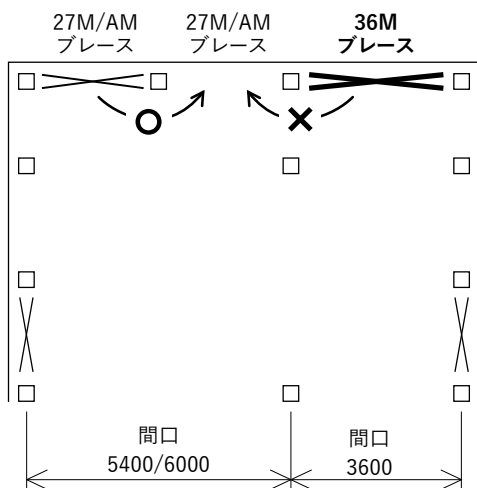
WG一般型3台用の機種は、後面ブレースを移動する際に、ブレースの差替えが必要な場合があるので注意してください。



WG-D5436(3654)・58MP
WG-D6036(3660)・58MP

間口 5400/6000 側のブレースを間口 3600 側に移動できません。
(各間口サイズによってブレースの長さが異なります。)

※間口 3600 側にブレースを移動させたい場合はブレースの差し替えが必要です。



WG-D5436(3654)・66MP / WG-D6036(3660)・66MP
WG-D5436(3654)・76MP / WG-D6036(3660)・76MP

間口 3600 側のブレースを間口 5400/6000 側に移動できません。
(各間口サイズによってブレースの長さが異なります。)

間口 3600 側には壁面扉・框ドアの取り付けはできません。
(ガラス窓は取り付けできます。)

※間口 3600 側から間口 5400/6000 側にブレースを移動させたい場合はブレースの差し替えが必要です。

●オプションパネルとブレースの関係（取付制限）

ブレースを張る面にオプションパネルを取り付ける場合、ブレースと干渉する場合があります。（下図参照）

〈SGN 小窓パネル〉

	Mタイプ	Tタイプ	Gタイプ
側面・後面			

△…操作がしにくくなります

〈SGN 20cm 換気扇パネル〉

	Mタイプ	Tタイプ	Gタイプ
側面			
後面	 ※ 取り付け制限はありません。		

×…換気扇とブレースが干渉します

〈WG 小窓パネル〉

側面に取り付ける場合	後面に取り付ける場合		
	後面壁5枚 間口6000タイプ	後面壁4枚 間口5400タイプ	後面壁6枚 間口3600タイプ

△…操作がしにくくなります ×…操作できません

〈WG 20cm 換気扇パネル〉

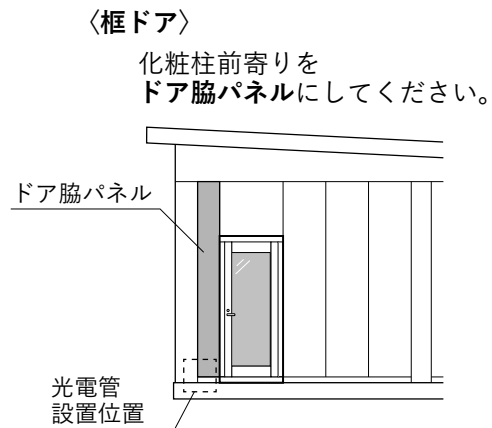
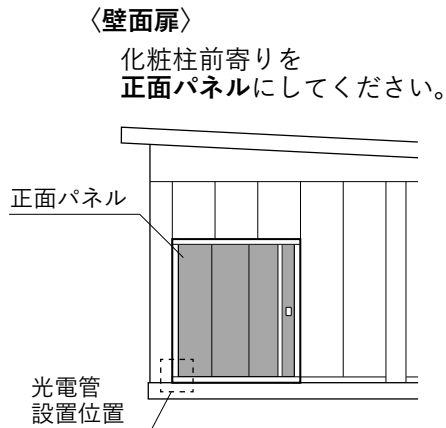
側面に取り付ける場合	後面に取り付ける場合
 × ×	取付制限はありません。

×…換気扇とブレースが干渉します

●扉、框ドアの取付制限(WG-Dタイプのみ)

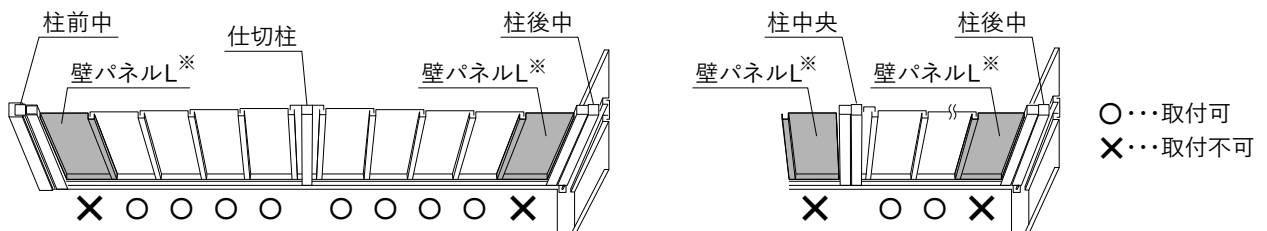
〈壁面扉・框ドア〉

化粧柱前寄せで取り付けはできますが、正面パネルの位置、ドア脇パネルの位置が制限されます。
 (柱前左右付近にオーバースライドドアの光電管が設置されるため。)
 WG-Sタイプは取付制限なし(化粧柱寄せに開口部の設置が可能)



●間仕切部に壁面扉、框ドア、ガラス窓を取り付ける時の注意点(SGN)

間仕切部に壁面扉、框ドア、ガラス窓のオプションを取り付ける場合は、**壁パネルL[※]**が必要となります。



●標準ブレース配置図 (SGN)

下記のブレース位置は標準の設定です。オプションの取り付け位置を確認してから取り付けてください。
ブレースを省くことは強度上できません。必ずすべてのブレースを取り付けてください。

一般型	単体	2連棟	3連棟	4連棟	5連棟
358 奥行 5886mm (K5+K5)					 ・Mタイプの場合、□部のブレースは不要です。
366 奥行 6686mm (K5+K5+K1)					
376 奥行 7686mm (K5+K5+K3)					
386 奥行 8686mm (K5+K5+K5)					

タフレーション
イナバ倉庫編

多雪型	単体	2連棟	3連棟	4連棟	5連棟
358 奥行 5886mm (K5+K5)					
366 奥行 6686mm (K5+K5+K1)					
376 奥行 7686mm (K5+K5+K3)					
386 奥行 8686mm (K5+K5+K5)					

豪雪型	単体	2連棟	3連棟	4連棟	5連棟
358 奥行 5886mm (K5+K5)					

●前面壁ハーフタイプ (SGN)

一般型	1.5 連棟	2.5 連棟	3.5 連棟	4.5 連棟	5.5 連棟
358 奥行 5886mm (K5+K5)					
366 奥行 6686mm (K5+K5+K1)					
376 奥行 7686mm (K5+K5+K3)					
386 奥行 8686mm (K5+K5+K5)					

多雪型	1.5 連棟	2.5 連棟	3.5 連棟	4.5 連棟	5.5 連棟
358 奥行 5886mm (K5+K5)					
366 奥行 6686mm (K5+K5+K1)					
376 奥行 7686mm (K5+K5+K3)					
386 奥行 8686mm (K5+K5+K5)					

豪雪型	1.5 連棟	2.5 連棟	3.5 連棟	4.5 連棟	5.5 連棟
358 奥行 5886mm (K5+K5)					

※豪雪型の 1.5 連棟と 5.5 連棟は強度不足の為、設定なし

●上胴縁追加補強・追加ブレースについて (SGN)

本体に下屋を取り付けることで、本体壁ブレースまたは上胴縁追加補強の取り付けが必要になる機種があります。
 ※上胴縁追加補強または追加のブレースは、下屋セットに同梱している為、別途手配する必要はありません。

<下屋を取り付けることで上胴縁追加補強が追加となる機種>

358T/GU□-4 (多雪型) + 下屋 3 面	358T/GU□-5 (多雪型) + 下屋 1 面	366T/GU□-4 (多雪型) + 下屋 2 面	386T/GU□-3 (多雪型) + 下屋 2 面

358T/GU□-3.5 (多雪型) + 下屋 3 面	358T/GU□-4.5 (多雪型) + 下屋 2 面	376T/GU□-3.5 (多雪型) + 下屋 1 面	376T/GU□-3.5 (多雪型) + 下屋 2 面

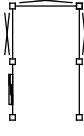
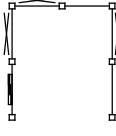
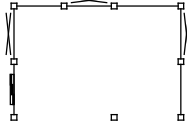
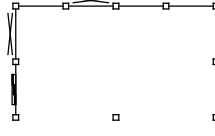
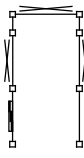
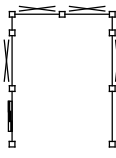
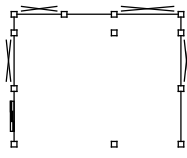
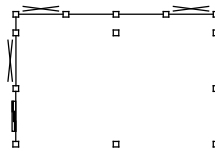
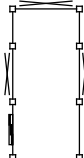
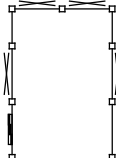
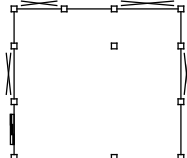
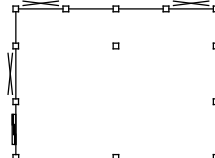
<下屋を取り付けることで、本体のブレースが増える機種>

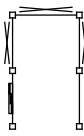
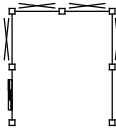
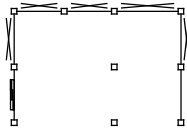
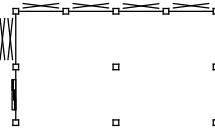
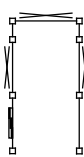
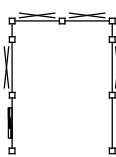
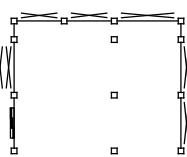
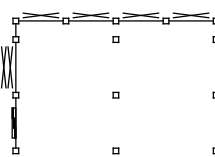
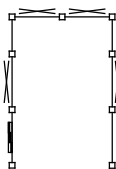
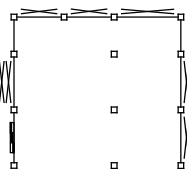
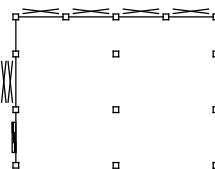
358T/GU□-3 (多雪型) + 下屋 2 面	358T/GU□-3 (多雪型) + 下屋 3 面	358T/GU□-2.5 (多雪型) + 下屋 2 面

タフレージ
イナバ倉庫編

●標準ブレース配置図 (WG)

下記のブレース位置は標準の設定です。オプションの取り付け位置を確認してから取り付けてください。
ブレースを省くことは強度上できません。必ずすべてのブレースを取り付けてください。

一般型	間口 3600	間口 5400 6000	間口 5400+3600 6000+3600	間口 5400+5400 6000+6000
奥行5886 (K5+K5) WG-S 設定なし	 3658P	 5458P 6058P	 5436(3654)・58P 6036(3660)・58P	 5454・58P 6060・58P
奥行6686 (K5+K5+K1)	 3666P	 5466P 6066P	 5436(3654)・66P 6036(3660)・66P	 5454・66P 6060・66P
奥行7686 (K5+K5+K3)	 3676P	 5476P 6076P	 5436(3654)・76P 6036(3660)・76P	 5454・76P 6060・76P

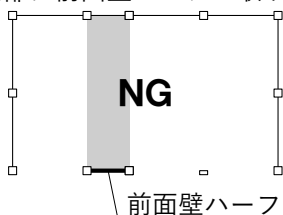
多雪型	間口 3600	間口 5400 6000	間口 5400+3600 6000+3600	間口 5400+5400 6000+6000
奥行5886 (K5+K5) WG-S 設定なし	 3658U	 5458U 6058U	 5436(3654)・58U 6036(3660)・58U	 5454・58U 6060・58U
奥行6686 (K5+K5+K1)	 3666U	 5466U 6066U	 5436(3654)・66U 6036(3660)・66U	 5454・66U 6060・66U
奥行7686 (K5+K5+K3)	設定なし	 5476U 6076U	 5436(3654)・76U 6036(3660)・76U	 5454・76U 6060・76U

前面壁ハーフについて (SGN) 説明はR連結タイプでしています。

●特注対応について

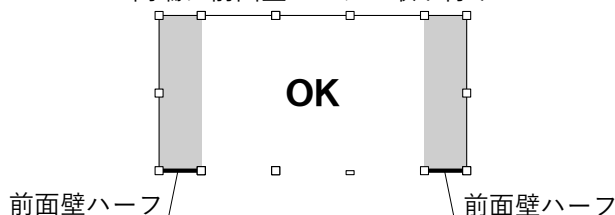
※前面壁ハーフタイプには M(ミディアム)タイプの設定はありません。

中間部に前面壁ハーフの取り付け



中間部に前面壁ハーフの取り付けは**対応不可**

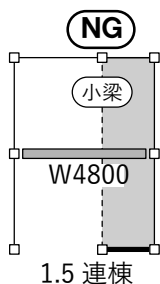
両端に前面壁ハーフの取り付け



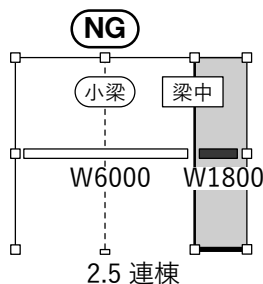
※サイズによっては強度不足の可能性があります。

●一般型の間仕切壁の取付制限について

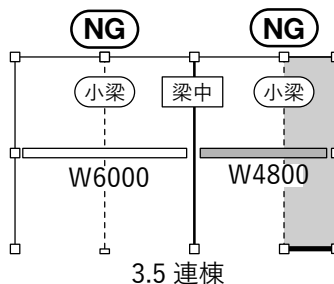
小梁部に間仕切壁を取り付けることはできません。



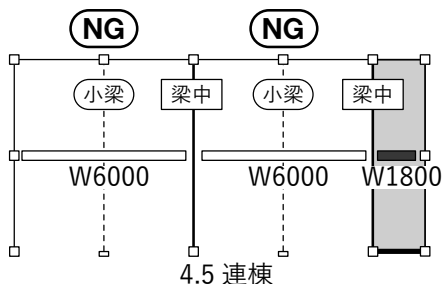
1.5 連棟



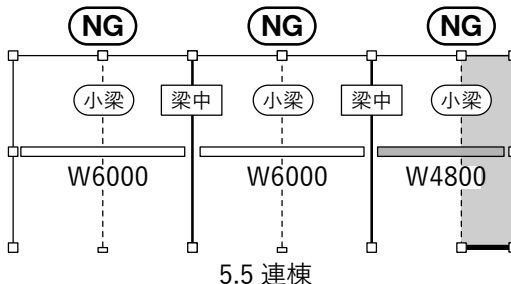
2.5 連棟



3.5 連棟



4.5 連棟



5.5 連棟

※3.5 連棟、5.5 連棟は必ず前面壁ハーフタイプを連結する側が固定柱となります。

●前面壁ハーフ部のオプション品の取付制限

壁面扉(SNR-3)	框ドア(DSG/DSA)	ガラス窓(GNR-2)
 140壁	 140壁	 140壁
 化粧柱中に寄せて 取り付けることができません。	 必ず140壁と壁パネルの間に 取り付けてください。 ※ドア脇パネルを化粧柱に 寄せても取り付けはできません。	 必ず140壁と壁パネルの間に 取り付けてください。

○・・・取付可
×・・・取付不可

※GNR-3の制限はありません。

●一般型 3.5 連棟と 5.5 連棟の場合の注意点

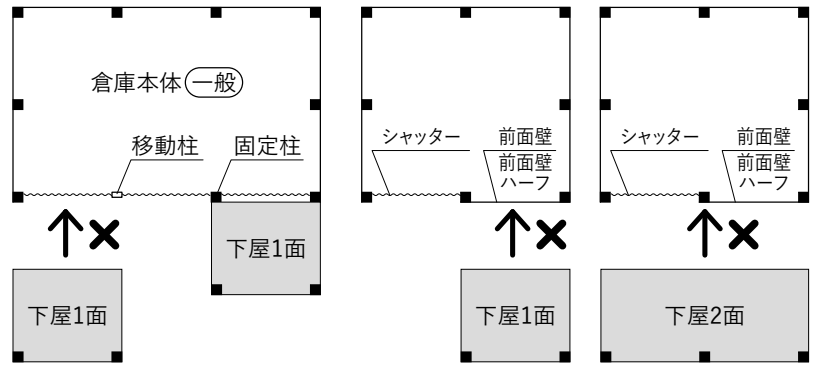
一般型 3.5 連棟と 5.5 連棟は固定柱と移動柱の位置によって特注扱いとなります。
 梁中の本数、母屋中の長さ・数、柱中央の数等仕様が異なります。

		標準品	特注品
3.5 連棟	358		
	奥行延長		
	仕様	梁中：1ヶ所 柱中央：1ヶ所（奥行延長のみ） 母屋中：W4800、W6000	梁中：2ヶ所 柱中央：2ヶ所（奥行延長のみ） 母屋中：W1800、W3000、W6000
5.5 連棟	358		
	奥行延長		
	仕様	梁中：2ヶ所 柱中央：2ヶ所（奥行延長のみ） 母屋中：W4800、W6000	梁中：3ヶ所 柱中央：3ヶ所（奥行延長のみ） 母屋中：W1800、W3000、W6000

下屋について (SGN)

●取り付け位置

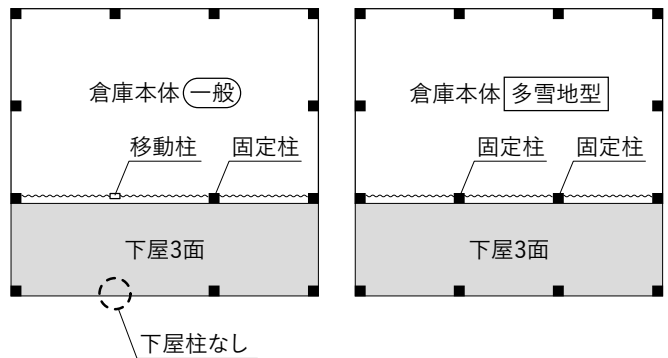
移動柱部への取り付けはできません。
豪雪地型へは取り付けできません。
前面壁部へかかる取り付けはできません。
(上水切と異なるのと、ブレースの固定
ができないため)



●下屋2連以上の注意点

一般型に下屋2連以上を取り付けの場合
移動柱の部分には下屋柱がたちません。
(柱の位置は動かさません)

多雪型や本体特注に下屋2連棟以上を取り付けの場合
1スパンごとに下屋柱がたちます。
(柱を抜くことはできません)

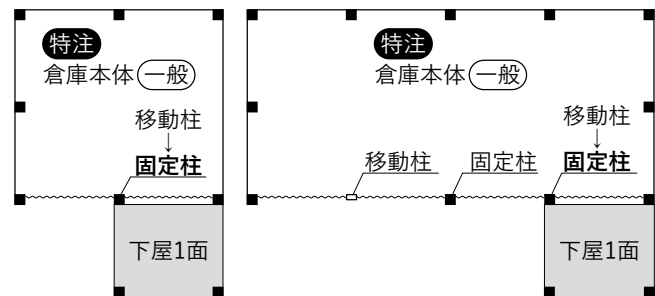


●特注仕様

倉庫本体(一般型)特注

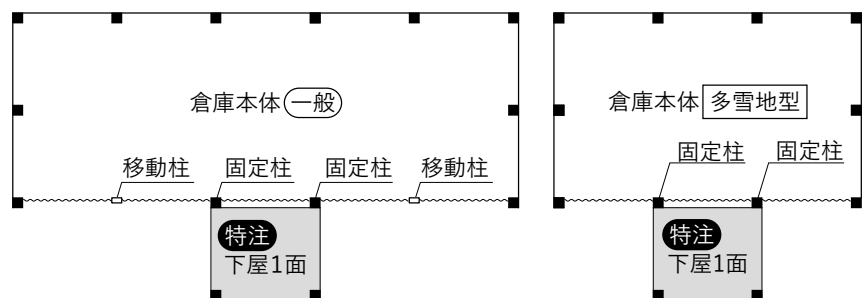
一般型 2連棟に1面下屋 取り付ける場合
一般型 4連棟に1面下屋

SGN本体が特注仕様になります。
SGN本体の特注仕様・・・移動柱を固定柱へ差し替え



下屋特注

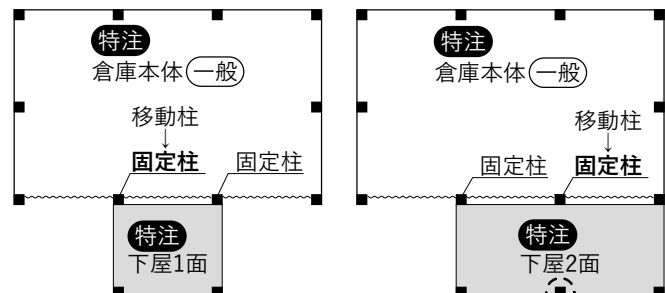
中間棟のみに下屋を取り付ける場合
下屋は特注になります。



倉庫本体(一般型)特注&下屋特注

本体特注で中間棟に下屋 取り付ける場合
本体特注で下屋2面以上

下屋も特注になります。



一般型下屋で
1スパンごとに
柱つきは特注仕様

●下屋取付制限表

一般型

機種	下屋 面数	本体連棟数									
		単	1.5	2	2.5	3	3.5	4	4.5	5	5.5
358	1	○	○	○特	○特	○	○注	○特	○特	○	○超
	2	-	-	○	○	○	○注	○	○	○超	○超
	3	-	-	-	-	○	○	○特	○超	○超	○超
	4	-	-	-	-	-	-	○超	○超	○超	○超
	5	-	-	-	-	-	-	-	-	○超	○超

機種	下屋 面数	本体連棟数					
		2	2.5	3	3.5	4	4.5
366	1	○特	○特	○	○注	○特	○超
	2	○	○	○	○注	○	○超
	3	-	-	○	○	○超	○超
	4	-	-	-	-	○超	○超

機種	下屋 面数	本体連棟数				
		2	2.5	3	3.5	4
376	1	○特	○特	○	○注	○超
	2	○	○	○	○注	○超
	3	-	-	○	○超	○超
	4	-	-	-	-	○超

機種	下屋 面数	本体連棟数			
		2	2.5	3	3.5
386	1	○特	○特	○	○超
	2	○	○	○	○超
	3	-	-	○超	○超

多雪地型

機種	下屋 面数	本体連棟数									
		単	1.5	2	2.5	3	3.5	4	4.5	5	5.5
358	1	×強	×強	○	○	○	○	○	○	○	○超
	2	-	-	○	○ブ	○ブ	○	○	○	○超	○超
	3	-	-	-	-	○ブ	○	○	○超	○超	○超
	4	-	-	-	-	-	-	○超	○超	○超	○超
	5	-	-	-	-	-	-	-	-	○超	○超

機種	下屋 面数	本体連棟数					
		2	2.5	3	3.5	4	4.5
366	1	○	○	○	○	○	○超
	2	×強	×強	○	×強	○	×強
	3	-	-	×強	×強	○超	×強
	4	-	-	-	-	×強	×強

機種	下屋 面数	本体連棟数				
		2	2.5	3	3.5	4
376	1	×強	×強	○	○	○超
	2	×強	×強	×強	○	○超
	3	-	-	×強	×強	×強
	4	-	-	-	-	×強

機種	下屋 面数	本体連棟数			
		2	2.5	3	3.5
386	1	○	×強	○	○超
	2	×強	×強	○	×強
	3	-	-	×強	×強

○・・・取付可

○特・・・S G N 本体が特注(移動柱を固定柱に変更)になります。

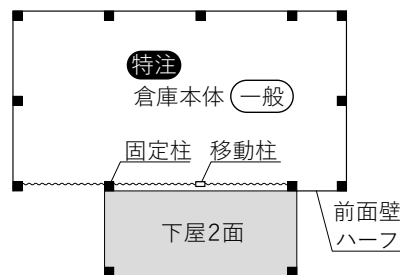
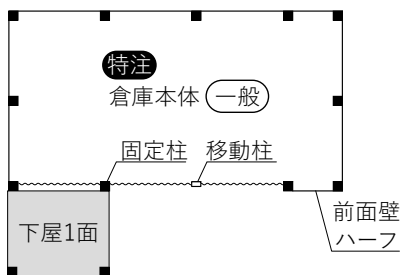
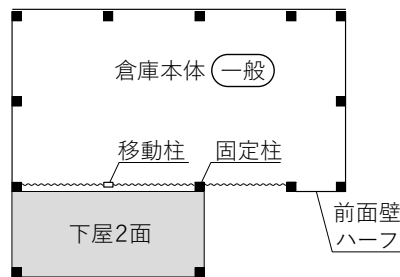
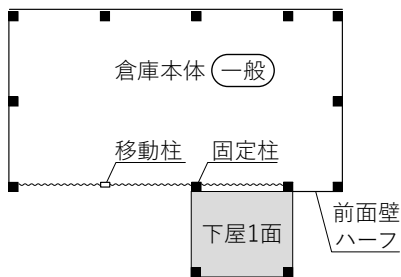
○注・・・取付位置により本体が特注になる場合があります。

○ブ・・・追加のブレースが下屋セットに含まれています。本体の側面にブレースを取り付けてください。

○超・・・本体+下屋の面積が100㎡を超える組合せです。取り付けは可能ですが、本体や下屋が特注になる、ブレースの追加が必要など様々な条件があります。詳しくはご相談ください。

×強・・・強度上取付不可

【○注】について・・・前面壁ハーフタイプ到下屋を取り付ける場合、取り付け位置によって本体が特注扱いとなります。



MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

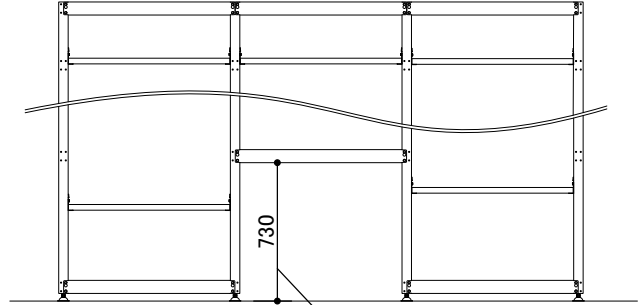
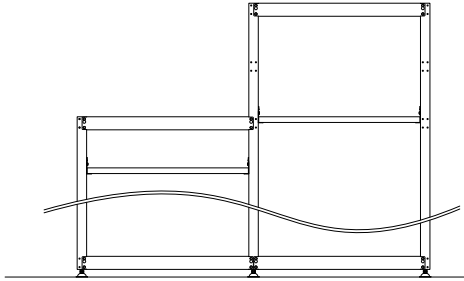
物品棚編

物品棚について

● 天井・底板の高さ違い組合せについて

・奥行サイズが同じであれば、高さ違いで連棟することができます。

・床板部を床面より 730mm 上げることが可能です。重量物や台車等、段差をなくして収納することができます。



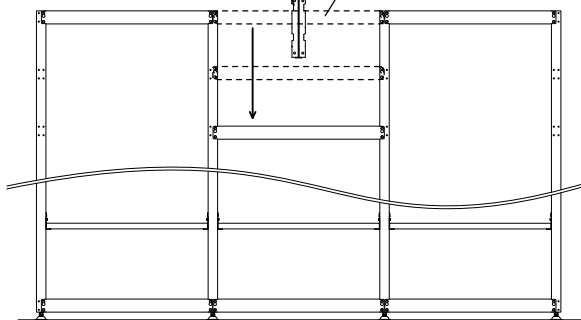
下櫃の付け替えが可能です
下部空間を有効に活用できます

・H・Jは天井部を 300mm ピッチで下げることが可能です (Sタイプは不可)。コーナー金具等との干渉を避けることができます。

コーナー金具等を逃がすことが可能です
(Sタイプ対応不可)

Jタイプ：600mm (ピッチ 300mm)
Hタイプ：300mm

天井部を下げられます

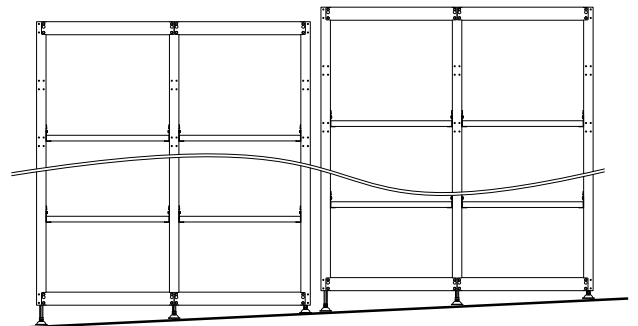
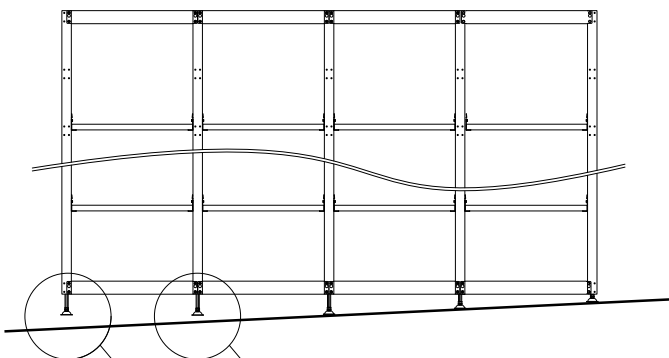


※イラストはJタイプ

● アジャスターについて

布基礎の場合、床面に傾斜 (水勾配) がついています。物品棚の連棟数が多くなると両端の高低差が大きくなるため、調整範囲 (30mm) を越える場合があります。調整範囲を越えない範囲で物品棚を分けてください。

例) 水勾配 1/100 の場合 長さ 3000mm で 30mm の高低差になります。



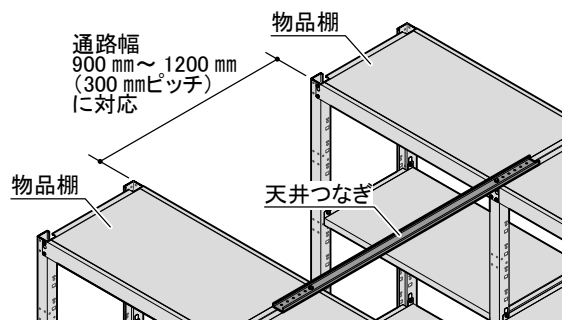
調整範囲外

※棚を水平に調整することができません。

物品棚のオプションについて

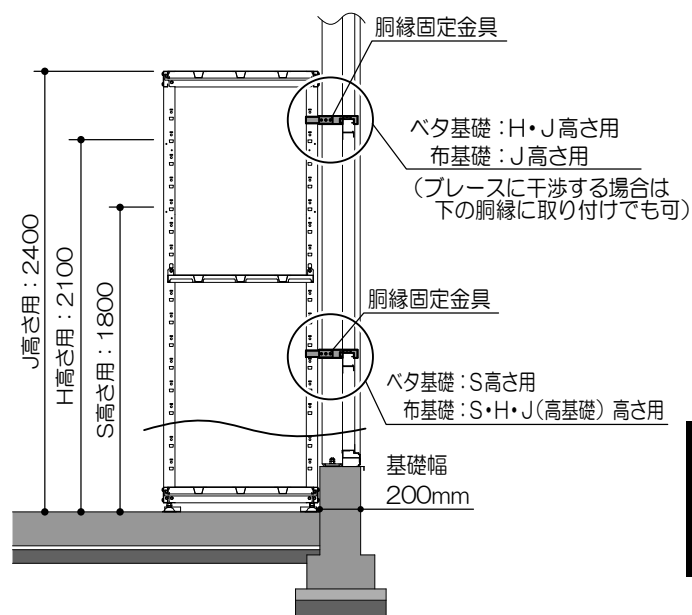
●天井つなぎ

天井つなぎは物品棚柱の上部に取り付けるため、物品棚の柱同士が同じ高さかつ直線上にある場合のみ取り付け可能。



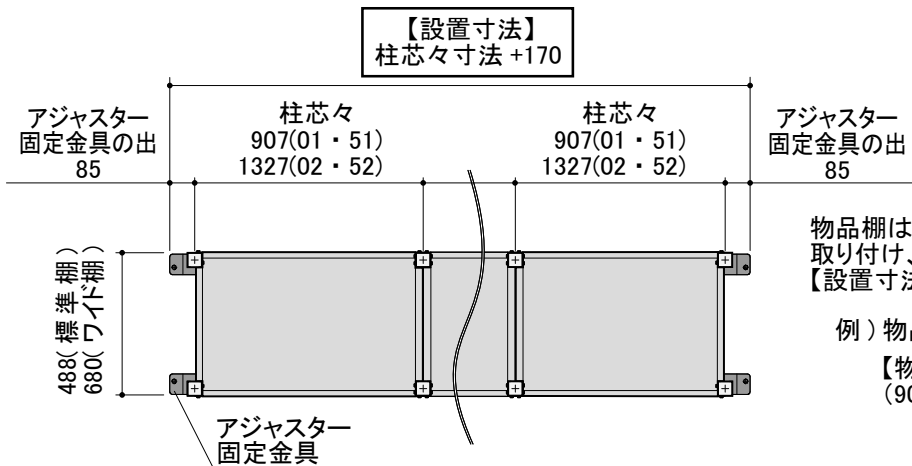
●胴縁固定金具 (SGN・WG専用オプション)

- ・布基礎に胴縁固定金具を使用する場合は基礎幅200mmを想定しています。
- ・ブレースと胴縁固定金具が重なる部分は取り付け不可。
- ・胴縁固定金具は両端の柱に取り付け、連棟の場合は柱1本または2本おきに取り付けてください。



物品棚 設置目安寸法

●物品棚の設置寸法



物品棚は、設置する際にアジャスター固定金具を取り付け、アンカー固定をする必要があります。
【設置寸法】から配置を検討してください。

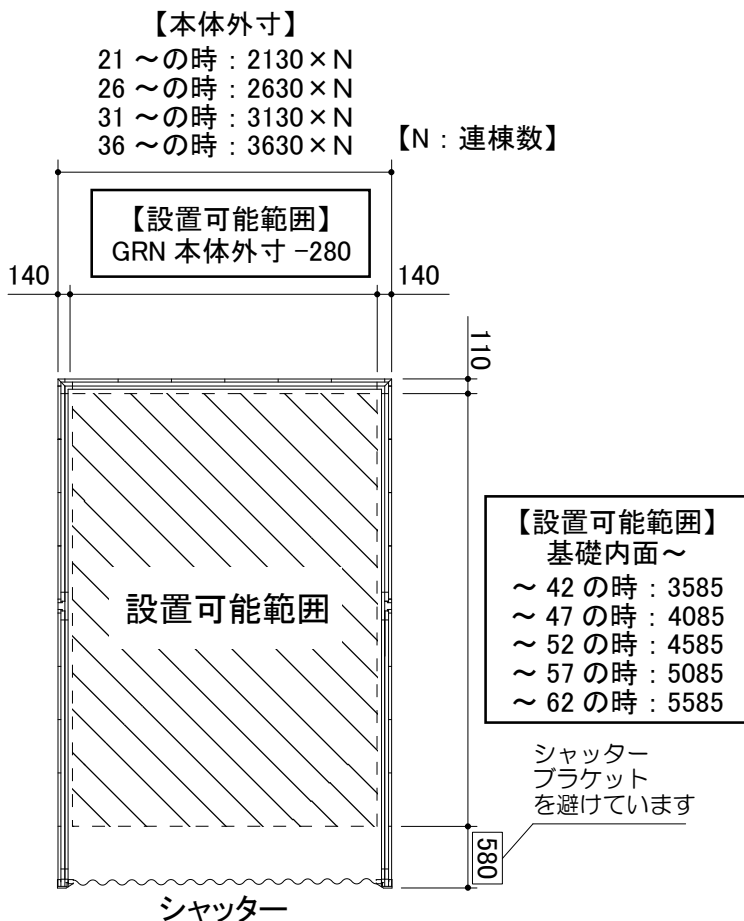
例) 物品棚 01 (907) × 3 を設置する場合

【物品棚の設置寸法】
(907 × 3) + 170 = 2891

●各機種別の設置可能範囲

上記【設置寸法】が設置可能範囲に納まるように物品棚を配置してください。

GRN ※基礎幅 120mm 布基礎を想定しています。



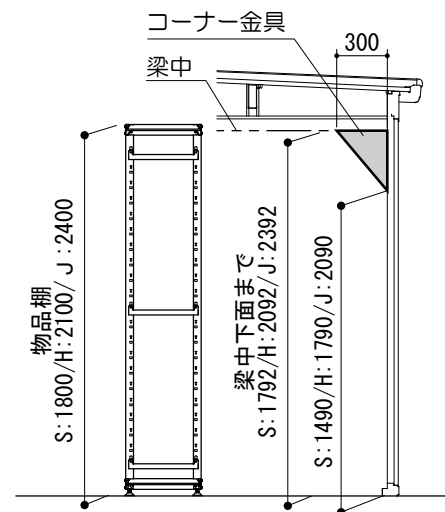
例) GRN-2662HL-2 に
物品棚 02(1327mm) × 4 を設置する場合

【物品棚の設置寸法】
(1327 × 4) + 170 = 5478

【間口方向の場合】
(2630 × 2) - 280 = 4980 < 5478(物品棚寸法)
… × 取付不可

【奥行方向の場合】
5585 > 5478(物品棚寸法) … ○取付可

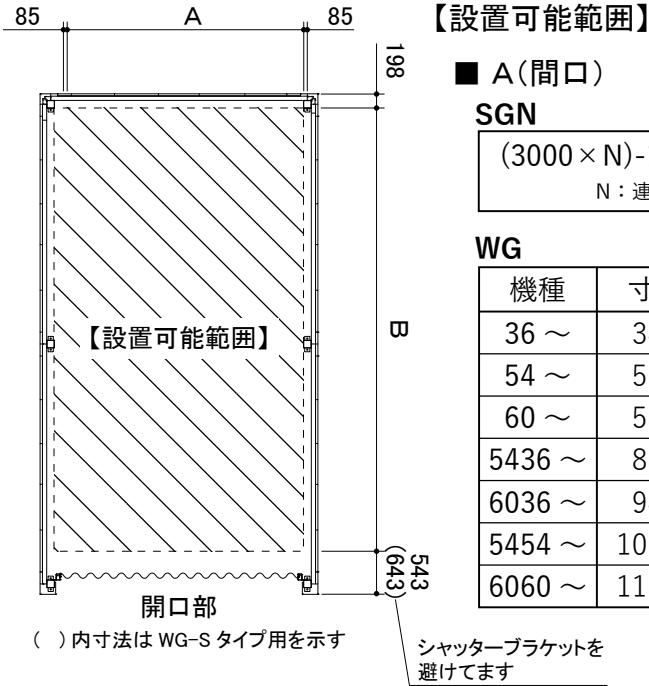
※GRNに物品棚を設置する場合、位置・土間高さによっては、コーナー金具、梁中等に干渉する恐れがあります。



例: GRNに物品棚を配置したとき(ベタ基礎)

WG・SGN

※基礎幅 200mm 布基礎を想定しています。



■ B(奥行)
基礎内面～

機種	型番	SGN	WG-D	WG-S
～ 58		5145	5145	-
～ 66		5945	5945	5845
～ 76		6945	6945	6845
～ 86		7945	-	-

例)SGN-358GPN-2に
物品棚02(1327mm)×3を設置する場合

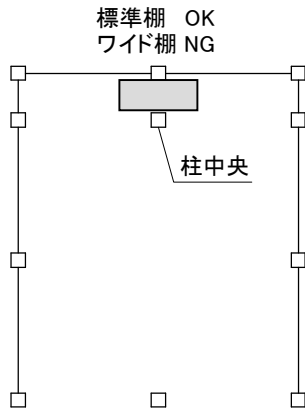
【物品棚の設置寸法】
(1327×3) + 170 = 4151

【間口方向の場合】
(3000×2) - 170 = 5830 > 4151(物品棚寸法)…○取付可

【奥行方向の場合】
5145 > 4151(物品棚寸法)…○取付可

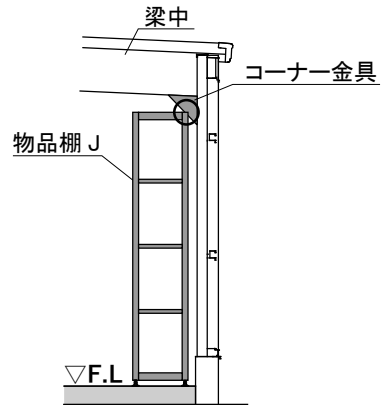
<奥行 6600 タイプで柱中央がある場合>

柱中央と柱後中の中にワイド棚を設置することはできません。



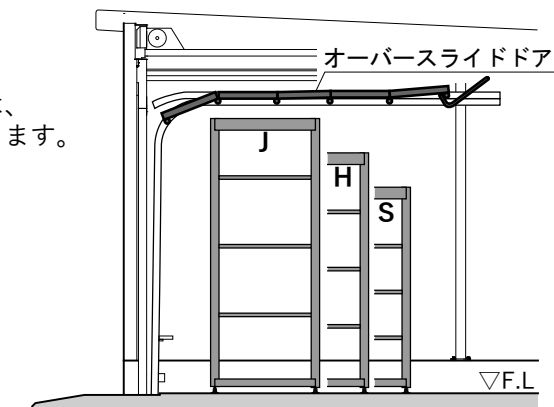
<奥行 5800 タイプの場合>

本体 M タイプに物品棚 J タイプを設置すると、位置・土間高さによっては、コーナー金具に干渉するおそれがあります。



<WG-Dタイプ側面配置の注意事項>

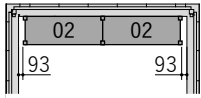
側面前側のスパンに物品棚を配置する場合 J タイプを設置すると土間面の高さによっては、オーバースライドドアに干渉するおそれがあります。



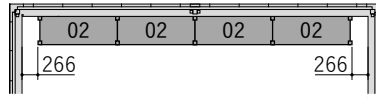
物品棚 ～ 配置例 ～

<後面設置> 寸法は基礎の内面から物品棚の柱外面の寸法

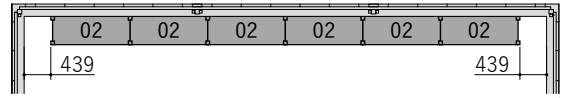
【SGN】



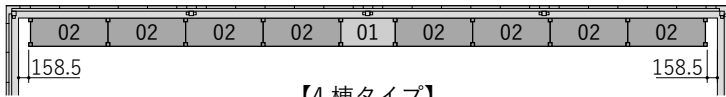
【1棟タイプ】



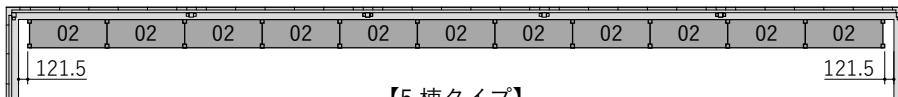
【2棟タイプ】



【3棟タイプ】

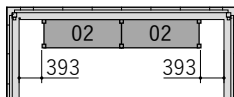


【4棟タイプ】

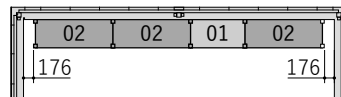


【5棟タイプ】

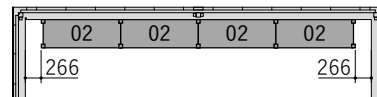
【WG】



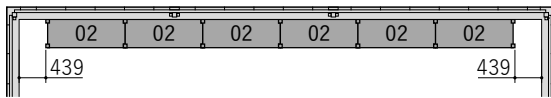
【1台用：間口 3600】



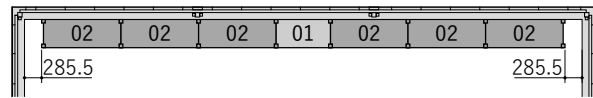
【2台用：間口 5400】



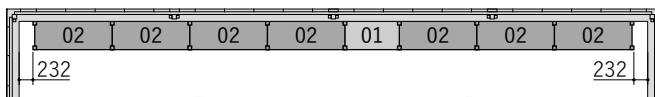
【2台用：間口 6000】



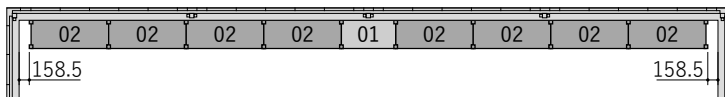
【3台用：間口 5400+3600】



【3台用：間口 6000+3600】



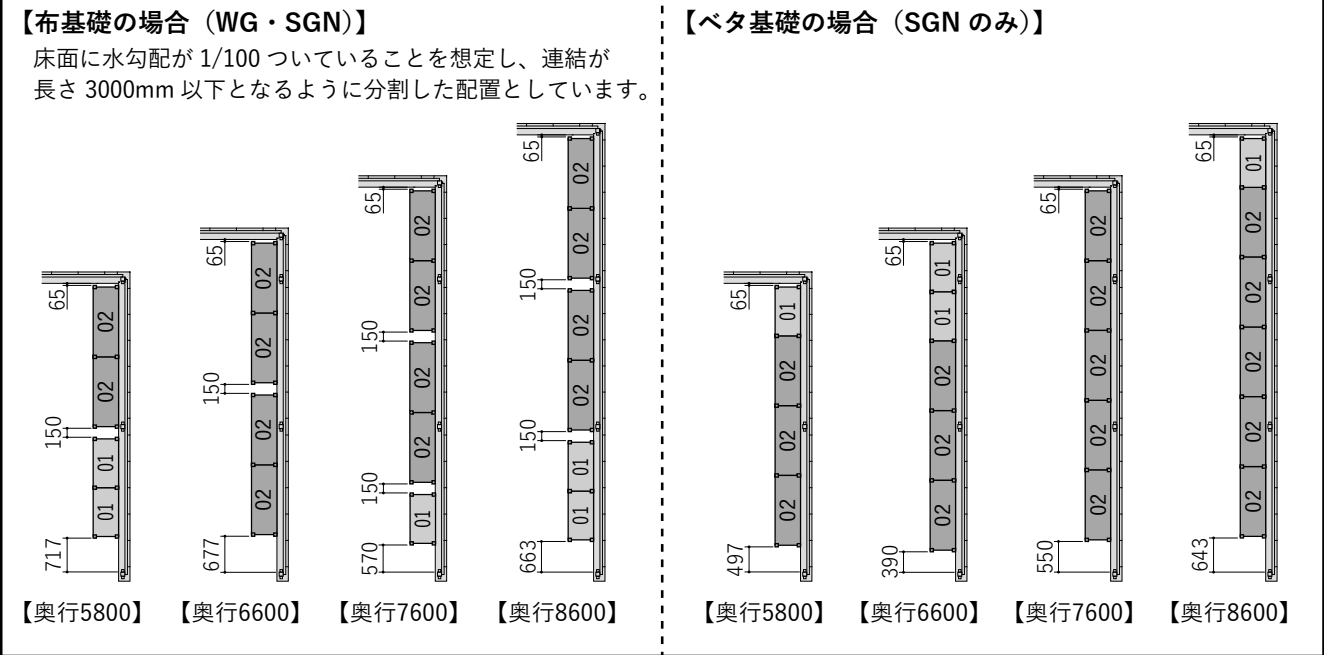
【4台用：間口 5400+5400】



【4台用：間口 6000+6000】

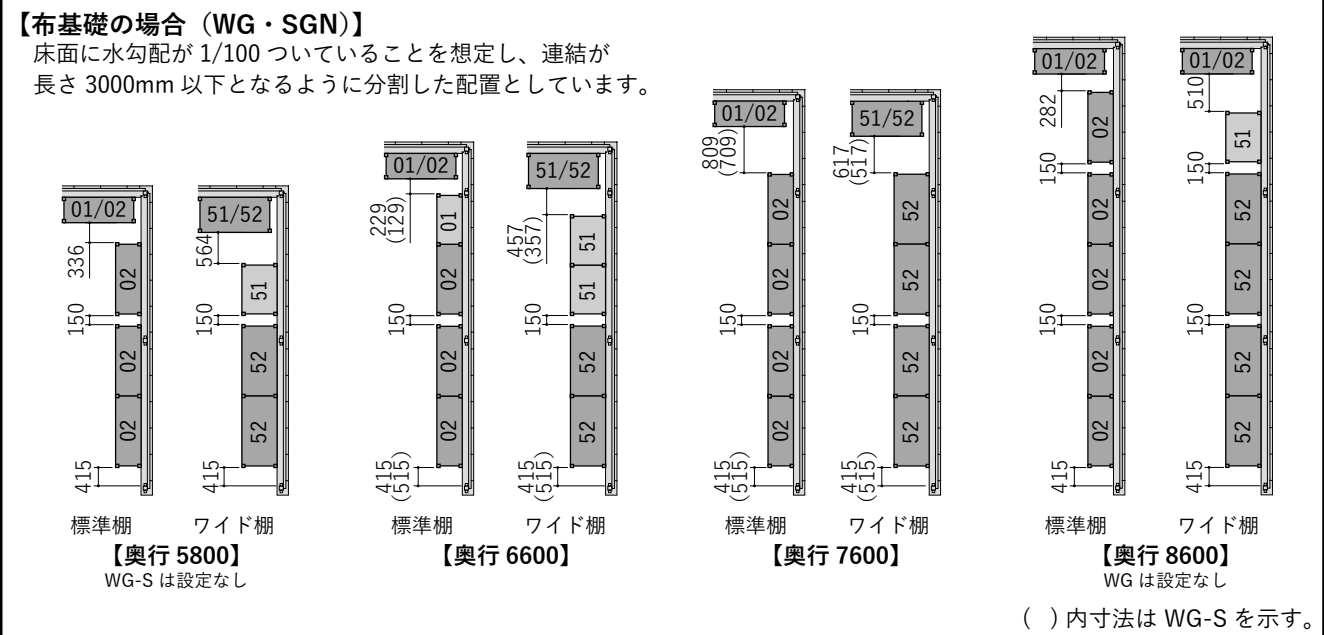
ワイド棚の場合は 01→51 となります
02→52

<側面設置> 寸法は基礎の内面から物品棚の柱外面の寸法



ワイド棚の場合は 01→51
02→52 となります

<L字設置>



() 内寸法はWG-Sを示す。

物品棚編

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing, spanning the width of the page.

シャッター編

シャッターの基本事項

シャッターのメーカーはカラーによって異なります。

FF/FM	ガンメタリック(GM)・クールシルバー(CS)	三和シャッター
WG-D	ガンメタリック(GM)	
DR・DM	クールシルバー(CS)	
GRN	クールシルバー(CS)・ステンメタリック(SM)	文化シャッター
	シルキーホワイト(SW)・アーバンGM(UG)・スノーグレー(SG)	
SGN・WG-S	ミストシルバー(MS)	

※シャッターメーカーの見分け方

- ① 屋外側と庫内側の両方にメーカーラベル ② 把手形状 ③ シャッターカラー

●リモコンシャッターの開閉速度

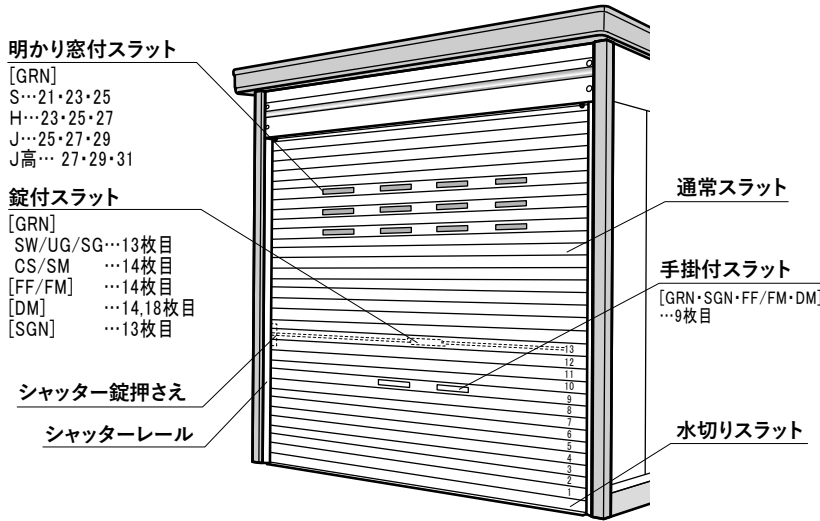
【文化シャッター】

- シャッタータイプ(スローストップあり)
開速度:約9.0m/分
閉速度:約5.4m/分

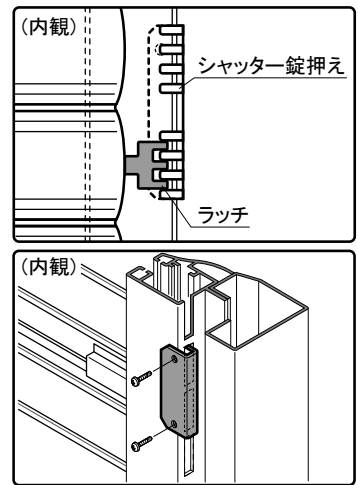
【三和シャッター】

- シャッタータイプ(スローストップあり)
開速度:約 10m/分
閉速度:約6.3m/分
- WG-D(オーバースライドドア)
開速度:約10m/分
閉速度:約 7m/分

<外観>

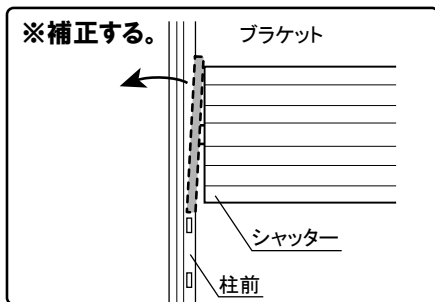


<シャッター錠押え詳細図>

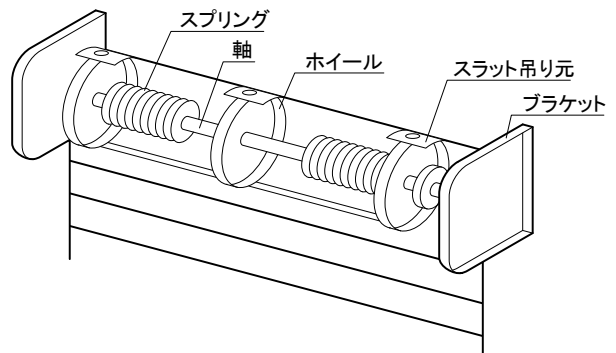


※金具とテクスネジはシャッター梱包に入っています。必ず付属のネジを使用してください。(φ4×10テクスネジ=4本)

<内観>



※シャッター取付の際には特にブラケットの歪みにご注意下さい。歪んだままご使用されますと異音や故障の原因となります。また、ブラケット補強バー取付確認もお願い致します。



シャッター付属部品一覧表

三和シャッター

【GRN・DR^{*}・FF/FM・DM】

■ 手動タイプ

フック棒 GRN (S: 600mm, H: 600mm, J: 900mm, J高: 1200mm) DR (S: 600mm, H: 600mm, J: 900mm, J高: 1200mm) FF (S: 600mm, H: 600mm, H高: 900mm) FM (S: 600mm, H: 600mm, H高: 900mm) DM (S: 600mm, H: 600mm, H高: 900mm)	1本
取扱説明書 (軽量シャッター)	1冊
チェックリスト	1枚
錠押え (三和S用)	DM 2組 DM以外 1組
シャッター明細書 ※GRN K7タイプのみ	1枚
シャッター組立説明書 ※GRN K7タイプのみ	2枚

■ リモコンタイプ

フック棒 GRN (S: 600mm, H: 600mm, J: 900mm, J高: 1200mm) DR (S: 600mm, H: 600mm, J: 900mm, J高: 1200mm) FF (S: 600mm, H: 600mm, H高: 900mm) FM (S: 600mm, H: 600mm, H高: 900mm) DM (S: 600mm, H: 600mm, H高: 900mm)	1本
リモコン送信機 (RAX-H35)	2個
リモコンホルダー	1個
アンテナ	1個
取扱説明書 (リモコンシャッター・AD)	1冊
チェックリスト	1枚
リモコンシャッターリミット設定手順	1枚
リモコンシャッター取付説明書	1枚

※DRの機種設定はリモコンタイプH/J/J高のみです。

【WG】

■ WG-D型 (オーバースライドタイプ)

リモコン送信機 (RAX-H35)	W54,60	3個
	W36	2個
リモコンホルダー		1個
取扱説明書 (オーバースライドタイプ)		1冊

文化シャッター

【GRN】

■ 手動タイプ

フック棒 GRN (S: 600mm, H: 1000mm, J: 1000mm, J高: 1400mm)	1本
錠押え (文化S用)	1組
取扱説明書	1枚
チェックリスト	1枚
シャッター明細書 ※GRN K7タイプのみ	1枚
シャッター組立説明書 ※GRN K7タイプのみ	2枚

■ リモコンタイプ

フック棒 GRN (S: 600mm, H: 1000mm, J: 1000mm, J高: 1400mm)	1本
リモコン送信機 (STX0031)ストラップ入り	2個
リモコンシャッター取扱説明書	1冊
リモコンシャッターリミット設定手順	1枚
リモコンシャッター取付説明書	4枚
チェックリスト	1枚

【WG】

■ WG-S型 (シャッタータイプ)

リモコン送信機 (STX0031)ストラップ入り	W54,60	2個
	W36	1個
ワイヤレス押ボタンスイッチ		1個
取扱説明書 (シャッタータイプ)		1冊

【SGNフック棒の長さ】

M: 1400mm	G: 1600mm
T: 1400mm	G高: 2400mm

コンセント位置について

●GRN・DR コンセント位置について

施工完了後、下図の位置に 100V コンセントを取り付けてください。



リモコンシャッター1面に対して2口コンセントを1ヵ所設けてください。
※コンセントは必ずリモコンシャッターの左側(外観から見て)に設置してください。

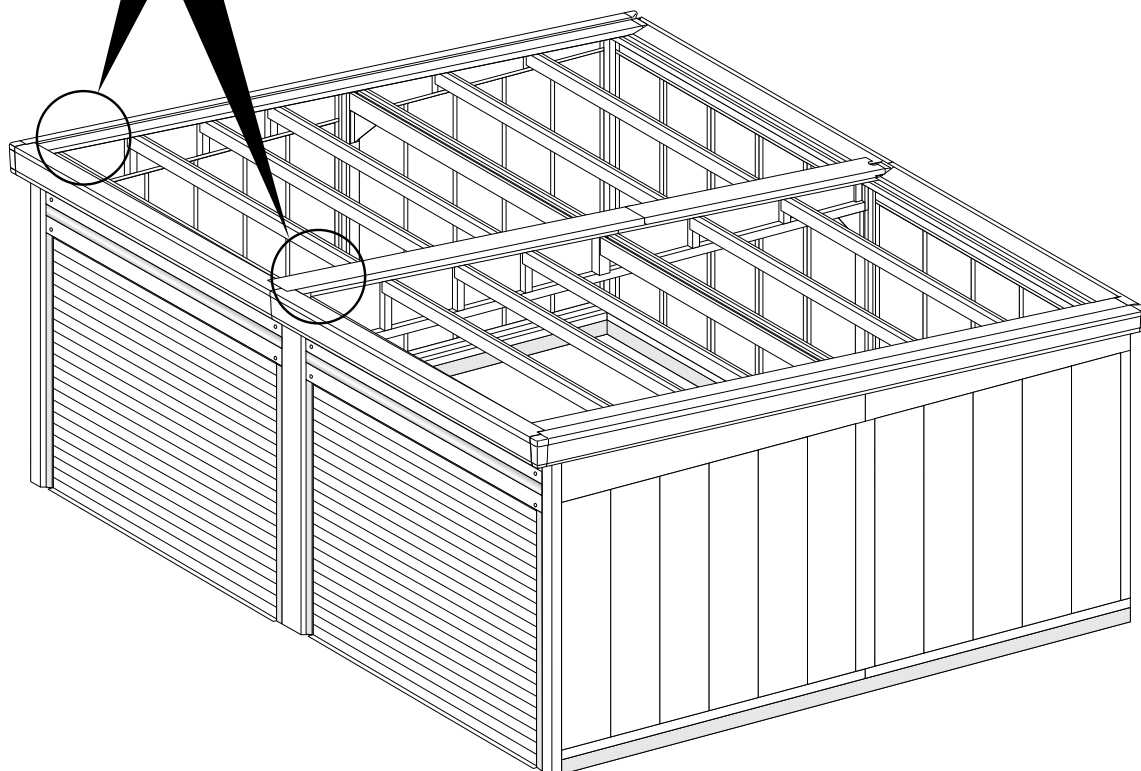
■コンセント位置

三和シャッターのみ
アンテナ取付

電 源: AC100V
定格出力: 125Wまたは150W
※ブレーカーは
10Aとしてください。

100V・2口用

コンセント※

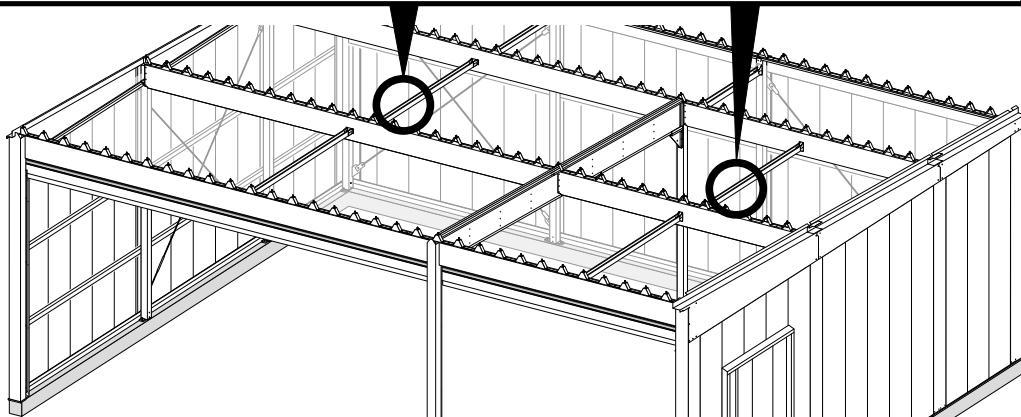
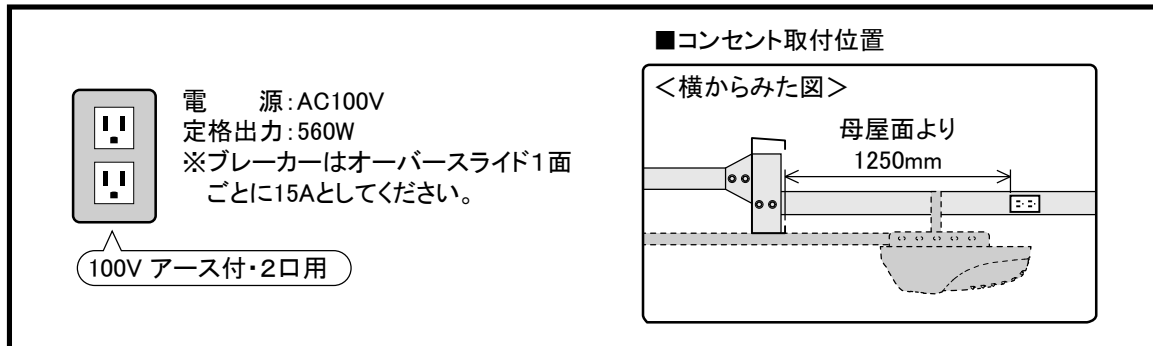


※コンセントは結露等で漏電する恐れがあるため、防水対策をおすすめします。

●WG コンセント位置について

<WG-D(オーバースライド)>

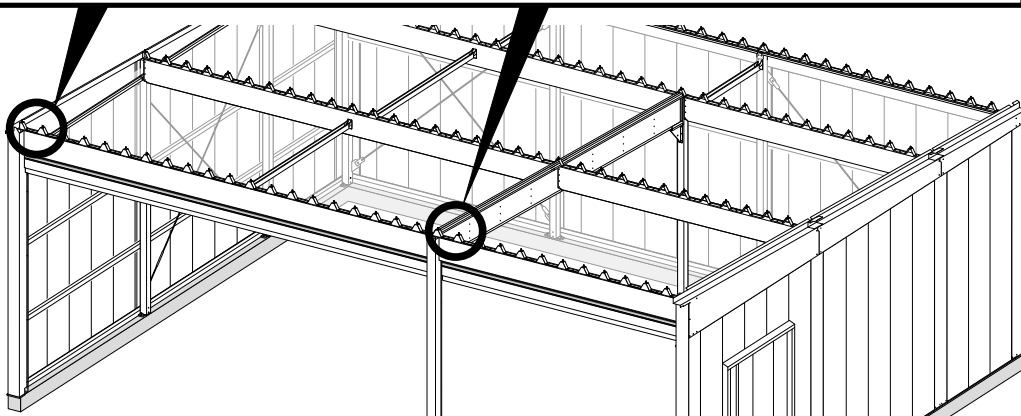
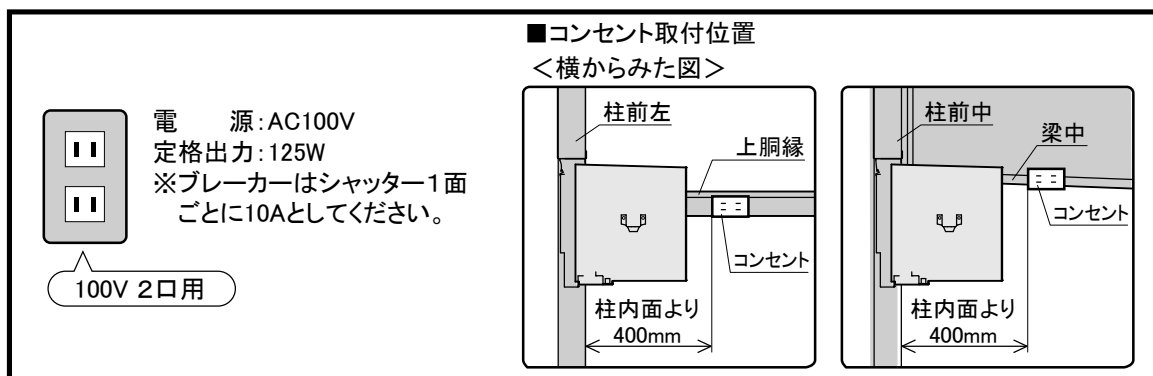
オーバースライドドア1面に対してアース付2口コンセント1カ所を、小梁に設置してください。



※コンセントは結露等で漏電する恐れがあるため、防水対策をおすすめします。

<WG-S(シャッター)>

シャッター1面に対して2口コンセント1カ所を、外観から見てシャッターの左側に設置してください。

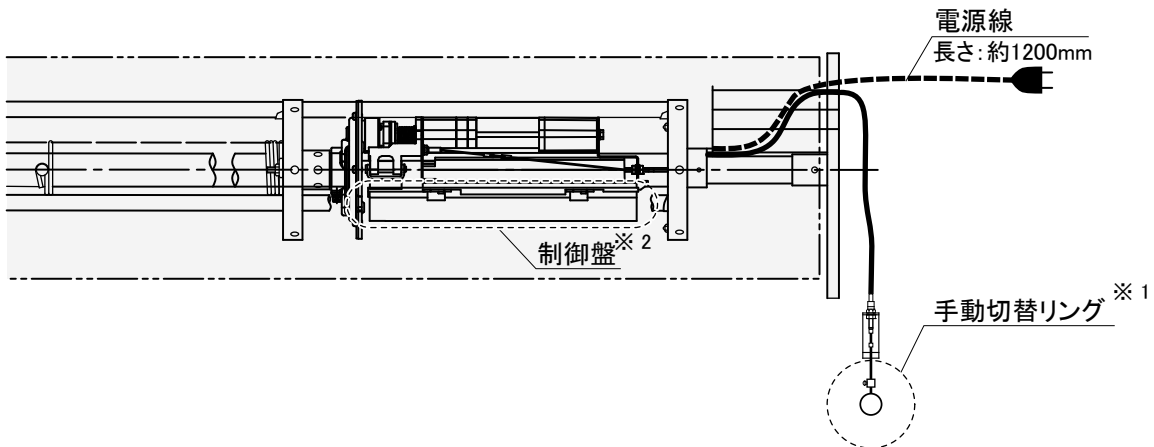


※コンセントは結露等で漏電する恐れがあるため、防水対策をおすすめします。

リモコンシャッターについて【文化シャッター】

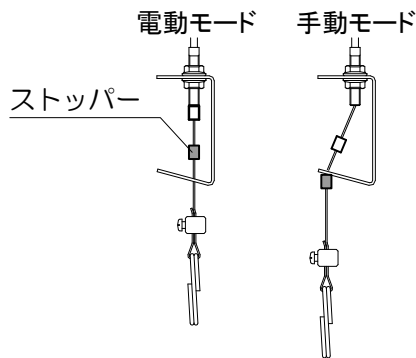
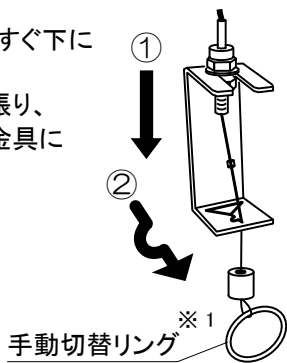
GRN型 … シルキーホワイト(SW)・アーバンGM(UG)・スノーグレー(SG)

SGN型 … ミストシルバー(MS)



1) リモコンシャッターを手動操作に切り替える方法

- ①リングをまっすぐ下に引っ張る
- ②手前に引っ張り、ストッパーを金具に引っ掛ける

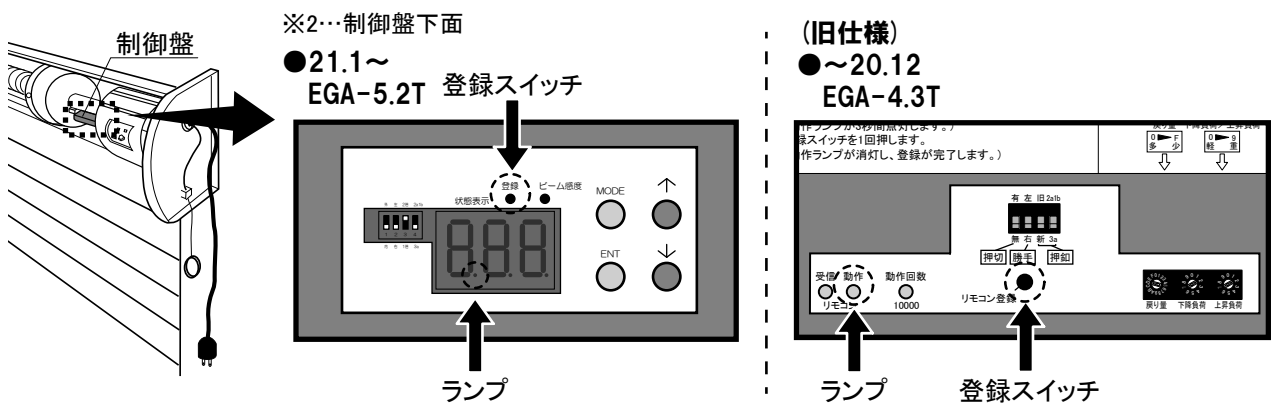


注) 手動・電動の切替後や停電後、再始動すると (ピッ)ピッ…と鳴りますが、上限位置まで動かすと音は鳴り止みます。エラー音ではありません。

2) リモコン送信機(セレカードⅢ)の追加登録方法 (GRN・SGNタイプ共通)

- ① 制御盤下面(受信機)の「登録スイッチ」を10秒間に「3回」押します。→ランプが「点滅」
- ② 登録する「リモコン送信機」の「STOP」ボタンを押します。→制御盤からブザー音が鳴動します。
(旧仕様:ランプが3秒間「点灯」→「点滅」)
- ③ 制御盤下面の「登録スイッチ」を1回押します。→ランプが「消灯」 【登録完了】

シャッタータイプのボタン位置

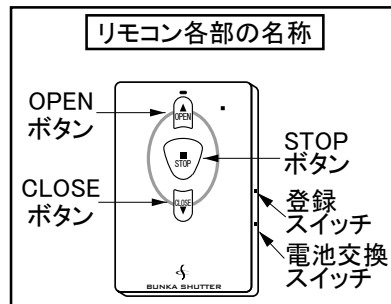


3) リモコン送信機(セレカードⅢ)の追加登録方法(リモコン操作での登録方法)

※登録には現在使用中のリモコンと新規登録するリモコンの2つが必要になります。

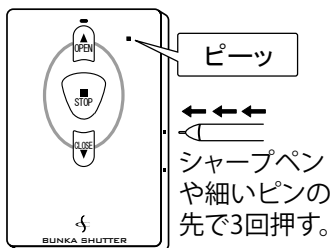
■登録方法

- ①現在使用中のリモコンの登録スイッチを3回押すと、ブザーが1秒間鳴ります。
- ②新規登録するリモコンの裏面に記載してあるIDコードを、現在使用中のリモコンを使って入力します。(OPEN、STOPボタンで入力)
- ③現在使用中のリモコンの登録スイッチを1回押します。ブザーが1秒間鳴り、登録が完了です。新しいリモコンで開閉の確認をしてください。シャッターが動かない場合は再度登録方法①からやり直してください。



①登録スイッチを3回押す

現在使用中のリモコン

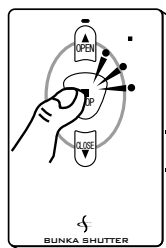


②新規リモコンのIDコードの入力

新規登録リモコン



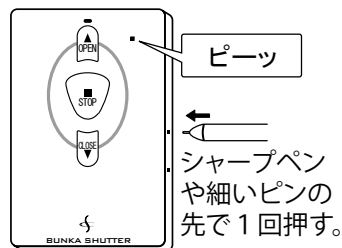
現在使用中のリモコン



入力方法は下記参照

③登録スイッチを1回押す

現在使用中のリモコン



例)IDコードが「10017834」の場合

ID	1	→	0	→	0	→	1	→	7	→	8	→	3	→	4	
スイッチ操作	▲ OPEN 1回 押す	■ STOP 1回 押す	何も押さない	■ STOP 1回 押す	何も押さない	■ STOP 1回 押す	▲ OPEN 1回 押す	■ STOP 1回 押す	▲ OPEN 7回 押す	■ STOP 1回 押す	▲ OPEN 8回 押す	■ STOP 1回 押す	▲ OPEN 3回 押す	■ STOP 1回 押す	▲ OPEN 4回 押す	■ STOP 1回 押す

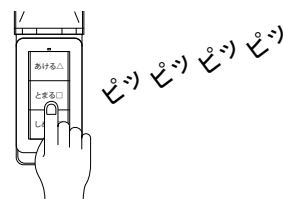
※IDコードの入力中に間違えた場合は、「CLOSE」ボタンを押すと最初の桁からやり直すことができます。

4) WG-S用ワイヤレス押ボタンスイッチ(固定スイッチ)の電池交換方法

電池は指定のものを使用してください。(コイン型リチウム電池 CR2450型 1個)

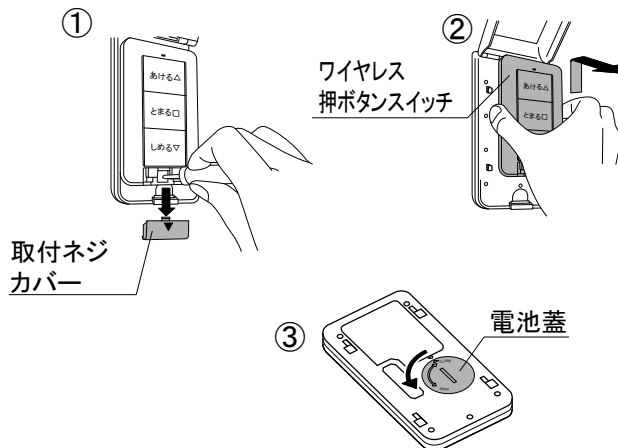
■電池消耗時の合図

電池容量が低下すると「あける」「とまる」「しめる」いずれかのスイッチを押している間、「ピッピッピッピッ」と鳴りつづけます。



■電池交換方法

- ①ワイヤレス押ボタンスイッチの取付ネジカバーをはずして、プラスドライバーでネジを取り外します。
- ②ワイヤレス押ボタンスイッチを上にもって、スイッチボックスから取り外します。
- ③ワイヤレス押ボタンスイッチ裏面の電池蓋をコイン等ではずして、電池を交換してください。



リモコンシャッター リミット設定手順

※必ず、最初にリミット設定を行なってください。

設定終了後、この用紙は捨てずに本体内部に貼り付けてある「保管ケース」に必ず入れてください。

⚠️ リモコン操作の注意点

リモコンの連続操作によってモーターが熱を持ち操作ができなくなる場合がありますが、時間が経てば復帰し操作ができるようになります。

動画はコチラ→



リミット設定



手動切替方法

リモコン各部の名称

「開け」操作用
OPENボタン
操作音 ◁)ピ

「閉め」操作用
CLOSEボタン
操作音 ◁)ピピピ

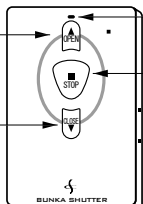
送信ランプ(赤)

「停止」操作用
STOPボタン
操作音 ◁)ピピ

登録スイッチ

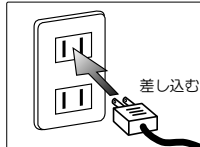
電池交換スイッチ

サイズ：54×85(mm)



設定前準備

プラグをコンセントに差し込みます。
(使用電源：商用電源 AC100V 50/60Hz
または正弦波電源 AC100V、定格出力500W以上)

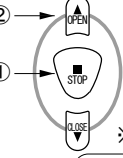


⚠️ 注意！


- 電動モードになっていることを確認し、リミット設定を行なってください。
- 条件に合わない電源を使用した場合、故障の原因となる可能性があります。

Ⅰ：上限設定

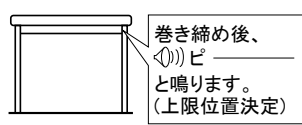
- 「STOP」を1回押した後、「OPEN」を1回押し、スラットを上昇させる。
- 自動で巻き締めて停止します。



※少し下降してから上昇します。



プラグを差し込むと ◁)ピッ・ピッ・ピッ... と鳴り始めます。

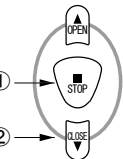


巻き締め後、 ◁)ピ と鳴ります。(上限位置決定)


Point! 途中で停止してしまう場合、もう一度上昇操作をしてください。

Ⅱ：下限設定

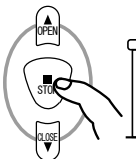
- 「STOP」を1回押した後、「CLOSE」を1回押し、スラットを下降させる。
- 下限位置で「STOP」を1回押し、停止させる。



◁)ピピ・ピピ... と鳴り始め、自動下降が始まります。



◁)ピピ・ピピ... と鳴り続けます。



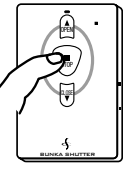
下限位置で「STOP」

⚠️ 注意！


後日、土間コンクリート工事を行う場合は下限位置が変更になります。事前に土間高さを確認するか、土間工事後再設定が必要となります。

Ⅲ：登録確認

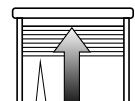
- 「STOP」を押しながら「登録」を長押しする。(送信ランプが点灯するまで押す) ※送信ランプは点灯後すぐに消えます。



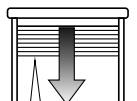
シャープペンや細いピンの先で登録ボタンを長押しする。



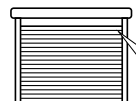
ボタンを押し終えると、 ◁)ピ と鳴り、



◁)ピピピ・ピピピ... と鳴り始め、自動で上昇開始します。



上昇後、自動下降が始まります。



◁)ピ と鳴り終わると登録完了です。

Point! 本体からピ と鳴り始めたらボタンから手を離してください。

これで設定登録完了です。

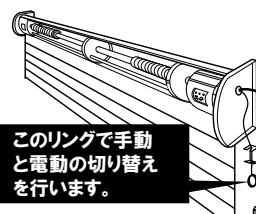
開閉の動作確認を行ってください。

「STOP」を押しながら「登録ボタン」を長押しすると、◁)ピッ・ピッ・ピッ... と鳴り始め、設定モードに切り替わります。モード切替後、①の操作からやり直してください。

注) 設定後に停電や電源を抜いたりした場合、または手動切替操作を行った後に再始動すると ◁)ピッ...ピッ... と鳴りますが、エラー音ではありません。OPENを押して、上限位置まで動かす(巻き締める)ことで、音が鳴り止みます。※音が鳴っている間は、CLOSE操作はできません。

手動設定にする場合

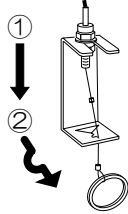
停電時等に開閉する場合は、手動モードに切り替える必要があります。ここでは手動モードに切り替える方法を説明します。



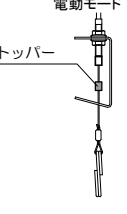
このリングで手動と電動の切り替えを行います。

- リングをまっすぐ下に引っ張る
- 手前に引っ張り、ストッパーを金具に引っ掛ける

これで手動モードに切り替わります。



電動モード



手動モード

※設定終了後、この用紙は捨てずに本体内部に貼り付けてある「保管ケース」に必ず入れてください。

▲リモコン操作の注意点

リモコンの連続操作によってモーターが熱を持ち操作ができなくなる場合がありますが、時間が経てば復帰操作ができるようになります。リモコン設定を必ずスイッチ1回押し操作の状態のリミット設定を行ってください。
(初期設定はスイッチ1回押し操作)



動画はコチラ

※スイッチ1回押し、2回押し操作については、リモコンシャッター取扱説明書をご覧ください。

リモコン各部の名称	設定前準備
<p>「開け」操作用 OPENボタン 操作音 ◁))ピ</p> <p>「閉め」操作用 CLOSEボタン 操作音 ◁))ピピピ</p>	<p>プラグをコンセントに差し込みます。</p> <p>Point! 出荷時点でリモコン状態になっているので、リミット設定に進んでください。</p> <p>注意! オプションのシャッターケースがある場合は、シャッターケース取り付け前にリミット設定を行ってください。</p>

I : 下限リミットの設定

- ① 「CLOSE」を1回押し、下降させる。 ② 下限位置で「STOP」を1回押し、停止させる。 ③ リミットスイッチをリセット側に押し上げる。

Point! 庫内からリミット設定を行ってください。シャッター下降時、庫内が暗くなる場合は明かりを用意して行ってください。

注意! 後日、土間コンクリート工事を行う場合は下限位置が変更になります。事前に土間高さを確認するか、土間工事後再設定が必要となります。

この部分にスイッチがあります。
スイッチ

リセット側に押し上げる（自然に元の位置に戻ります）

II : 上限リミットの設定

- ④ 「STOP」を押しながら「登録」を長押しする。(送信ランプが点灯するまで押す) ⑤ 「OPEN」を1回押し、上昇させる。 ⑥ 上限位置で「STOP」を1回押し、停止させる。

シャープペンや細いピン先の先で登録ボタンを押す。

ボタンを押し終えると、◁))ピッ・ピッ・ピッ...と鳴り続けます。

Point! 本体からピッ・ピッ・ピッ...と鳴り始めたら⑤の操作を始めてください。

Point! シャッターがストッパーゴムに接する直前のところでストップ。◁))ピッ・ピッ・ピッ...の音は鳴ったままです。

上限位置で「STOP」

III : リミット位置の登録

- ⑦ 「STOP」を押しながら「登録」を長押しする。(送信ランプが点灯するまで押す) ※送信ランプは点灯後すぐに消えます。

シャープペンや細いピン先の先で登録ボタンを押す。

ボタンを押し終えると、◁))ピ...と鳴り始め、自動下降が始まります。

◁))ピピ・ピピ...と鳴り始め、自動下降が始まります。

◁))ピ...と鳴り終わると登録完了です。

Point! 本体からピ...と鳴り始めたらボタンから手を離してください。

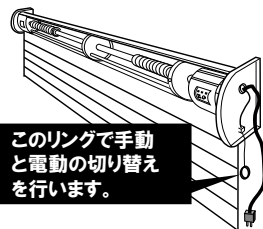
これで設定登録完了です。
開閉の動作確認を行ってください。

途中で登録が失敗した場合・・・ ①の操作からやり直してください。その際、電源を抜く必要はありません。

注) 設定後電源を抜いたり停電後、再始動すると◁))ピピピ・ピピピ...と鳴りますが、下限位置まで動かすと音は鳴り止みます。エラー音ではありません。

手動設定にする場合

停電時等に開閉する場合は、手動モードに切り替える必要があります。ここでは手動モードに切り替える方法を説明します。



①リングを強く引っ張る

②引けなくなるまで(約3cm)引っ張ります。

これで手動モードに切り替わります。

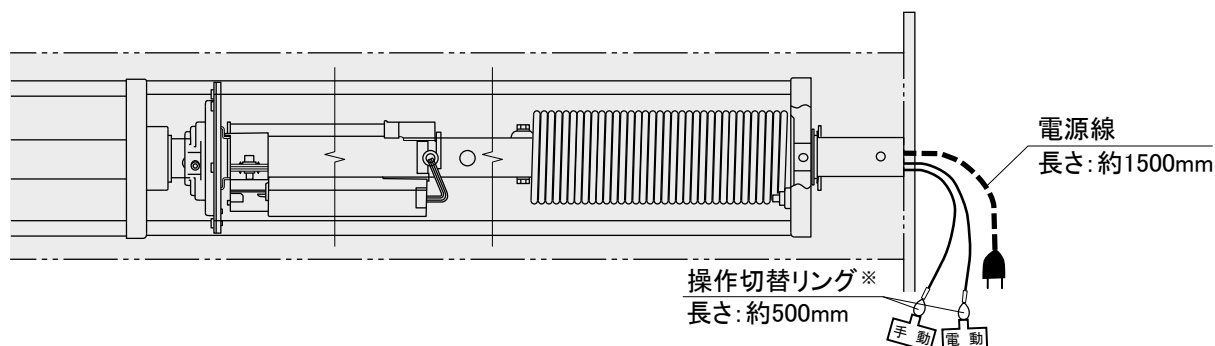
Point! 引けなくなるまで引ききるたびに(約3cm)、「手動」「電動」の順に切り替わります。

リモコンシャッターについて【三和シャッター】

GRN型 … クールシルバー(CS)・ステンメタリック(SM)

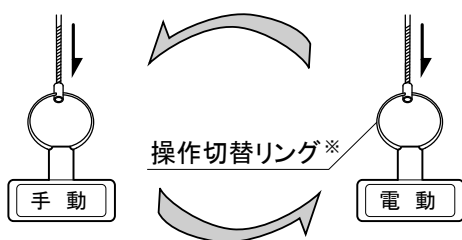
DR・DM型 … クールシルバー(CS)

FF/FM型 … ガンメタリック(GM)・クールシルバー(CS)



1) リモコンシャッターを手動操作に切り替える方法

リングを真下に引っ張り「カチッ」という音がすると手動・電動操作を切り替えられます。



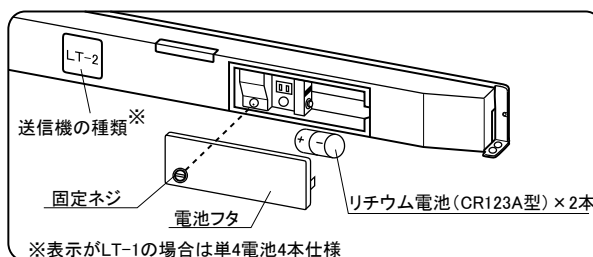
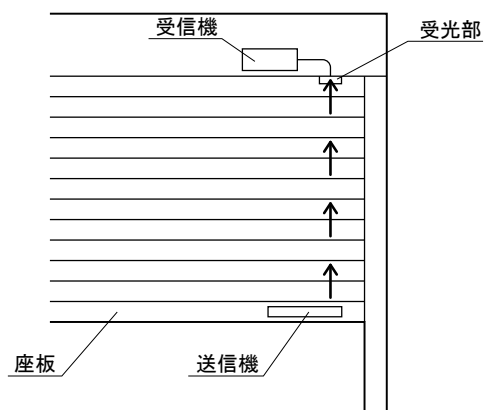
※手動を引くと手動、
電動を引くと電動に切り替わります。

2) 旧GHW・Wタイプのシャッターについて(電池交換)

注:BRN・BRKタイプは電池不要

●Wタイプのアルミ座板の内側には送信機が組み込まれています。
その電池が消耗した時は、全閉時または障害物を検知すると、受信機部分よりブザーが14秒鳴動すると共に、シャッター閉鎖時は操作ボタンを押している間だけ閉鎖できる方式に自動的に変わります。このようになった場合には、電池を交換すれば元に戻ります。尚、その後動作確認をして下さい。

●電池が完全に消耗すると、障害物をはさんでもシャッターは止まりません。
また、全閉時に5分間ブザーが鳴り続けます。



送信機の拡大図

旧タイプの追加送信機 (RAX-S3・RAX-S33・RAX-S34) 登録方法 梱包番号 F8-4016

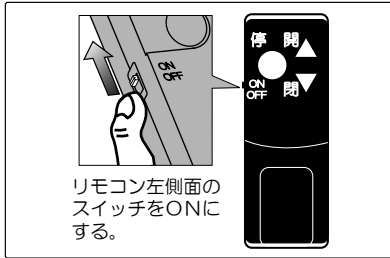
1. 準備 切り替えスイッチをONにして、操作ボタン(開・停・閉)のいずれかを押し、表示灯が点灯することを確認してください。(電池の確認)

2. 電源の入り切り

- ①シャッター電源コンセントを3秒以上抜いてください。
- ②再度、コンセントに差し込んでください。

3. 登録

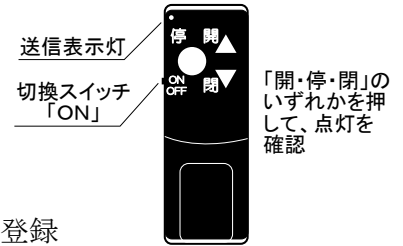
①スイッチをONにする



②登録開始



③登録



4. 登録確認

「開」「停」「閉」ボタンを押してみ、動作確認を行ってください。

※次ぎのシャッターを登録する場合は、登録を終えたシャッターはコンセントを抜いてください。

追加送信機 (RAX-H35) 登録方法

梱包番号 F8-4018

1. 準備 ①現在使用している登録済みリモコンと追加リモコンを手元に用意してください。

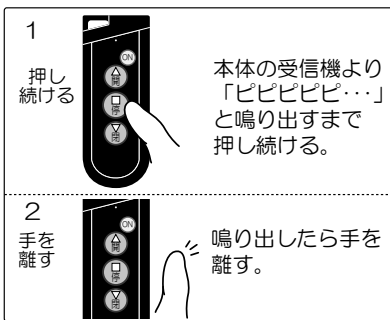
②登録済みリモコンと追加リモコン共、裏面のMODEL欄がRAX-H35、RAX-S34であることを確認してください。

2. 電源の入り切り

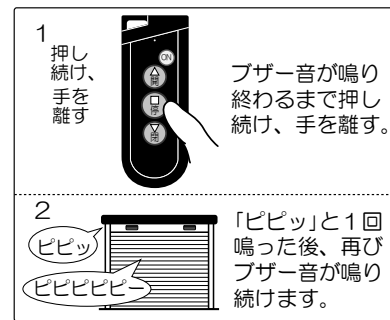
- ①シャッター電源(コンセント)を3秒以上抜いてください。
- ②再度電源(コンセント)を差し込んでください。
- ③この時から5分以内で以下の登録を完了させてください。
- ④設定に使用するリモコンは切り替えスイッチを「ON」にしてください。

3. 追加リモコンの設定手順

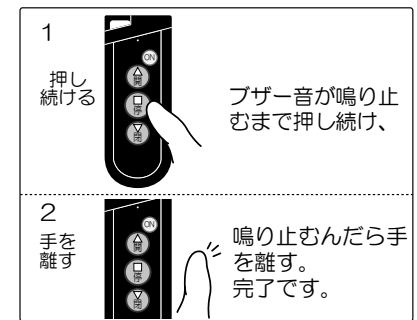
1) 登録済みのリモコンにて



2) 追加したいリモコンにて



3) 追加したいリモコンにて



(イラストはRAX-H35です)

※次のシャッターを登録する場合は、登録を終えたシャッターはコンセントを抜いてください。

WG(オーバースライドタイプ)の追加送信機 (RAX-H35(In)) について 梱包番号 B4-4691

WG(オーバースライドタイプ)の追加送信機は、あらかじめ既存の送信機裏にあるコード番号を確認の上、手配してください。

BR(オーバースライドタイプ)の追加送信機 (RAX-S14, H15) について 梱包番号 F8-4019

BR(オーバースライドタイプ)の追加送信機は出荷後に現地での登録が出来ません。あらかじめ既存送信機の裏にあるコード番号を確認してください。

BRN(オーバースライドタイプ)の追加送信機 (GM3TJ-INB) について 梱包番号 F8-4101

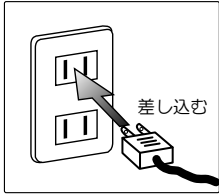
BRN(オーバースライドタイプ)の追加送信機はコード設定が無い現場登録タイプの為、必ず三和シャッターによる現地での登録作業が必要となります。

リモコンシャッター リミット設定手順

※設定終了後、この用紙は捨てずに本体内部に貼り付けてある「保管ケース」に必ず入れてください。

I：登録前準備

電源を入れる



プラグをコンセントに差し込みます。
 (使用電源：商用電源 AC100V 50/60Hz
 または正弦波電源AC100V、定格出力500W以上)

※すでに電源を入れていた場合は、一度抜いてから
 (約3秒待つ)再度差し込んでください。

【注意】

条件に合わない電源を使用した場合、故障の原因
 となる可能性があります。

シャッターの状態確認



シャッターが手動で動かない
 ことを確認してください。
 (動かなければ左図の作業は
 不要です)

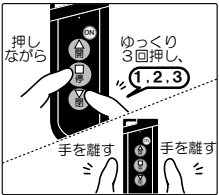
※手動で動く場合は、「電動リング」を
 強く引っ張り、電動操作に切り替えて
 ください。(左図参照)



リミット設定手順を動画で確認する場合
 は上のQRコードを読み取ってください。

II：下限設定

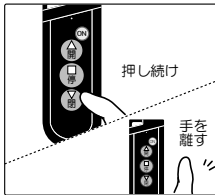
1. 下限設定の準備



停を押しながら開を
 ゆっくり3回押しして、
 (※停を押してから2秒以内に)
 開を押して始めてください。
 停開から手を離す。

ビープ・ビープ・ビープと音が鳴り続けます。

2. 下限位置の設定

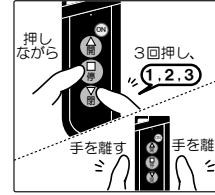


開を押し続け、シャッターを
 下限位置まで動かします。

ビープ・ビープ・ビープ・ビープ

シャッターが床面に付いた
 ところで、手を離します。

3. 下限位置の登録

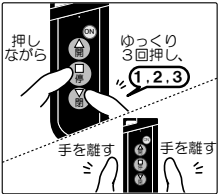


停を押しながら
 開を3回押しして、
 停開から手を離す。

ビープ・ビープと音が鳴ります。

III：上限設定

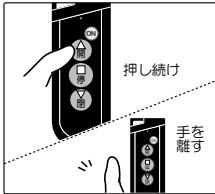
4. 上限設定の準備



停を押しながら開を
 ゆっくり3回押しして、
 (※停を押してから2秒以内に)
 開を押して始めてください。
 停開から手を離す。

ビープ・ビープ・ビープ・ビープと音が鳴り続けます。

5. 上限位置の設定

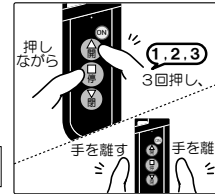


開を押し続け、シャッターを
 上限位置まで動かします。

ビープ・ビープ・ビープ・ビープ

シャッターがストッパーに
 付いたところで、手を離す。

6. 上限位置の登録

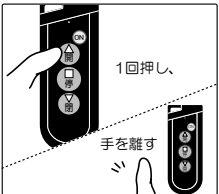


停を押しながら
 開を3回押しして、
 停開から手を離す。

ビープ・ビープと音が鳴ります。

IV：原点位置設定

7. 原点位置の設定



開を1回押しして、手を離す。

ストッパーゴムに当てて、
 巻き締めます。

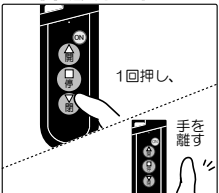


ビープ・ビープと音が
 鳴ります。

IIIで登録した上限位置まで
 自動で降下して止まります。

V：登録確認

8. 下限設定の確認

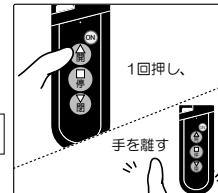


開を1回押しして、手を離す。

ビープ・ビープ・ビープと音が鳴り続けます。

先程登録した下限位置で
 止まります。

9. 上限設定の確認

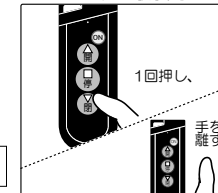


開を1回押しして、
 手を離す。

音は鳴りません。

先程登録した上限位置で
 止まります。

10. 登録の最終確認



開を1回押しして、
 手を離す。

音が鳴らなければ登録完了です。

※登録完了後、ONボタンが点灯し続けますが故障ではありません。
 操作せず、しばらく放置すると消灯します。

登録が失敗した場合・・・電源を抜いて、最初からやり直してください。

注) 設定後に停電や電源を抜いたりした場合、または手動切替操作を行った場合、原点位置を再設定する必要があります。開操作(ON→開)を行ない、ストッパーゴムに突き当たる(巻き締め)ことで、再設定されます。
 ※原点位置が再設定されるまで、開操作はできません。(下限、上限を再設定する必要はありません。)

リモコンシャッターリミット設定手順

旧仕様
(~2021.09)

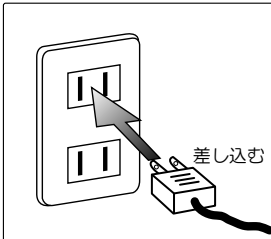
※設定終了後、この用紙は捨てずに本体内部に貼り付けてある「保管ケース」に必ず入れてください。



リミット設定手順を動画で確認する場合は左のQRコードを読み取ってください。

I：登録前準備

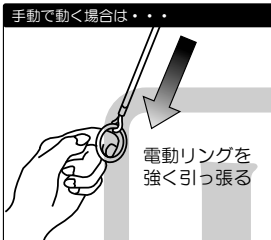
電源を入れる



プラグをコンセントに差し込みます。

※すでに電源を入れていた場合は、一度抜いてから(約3秒待つ)再度差し込んでください。

シャッターの状態確認

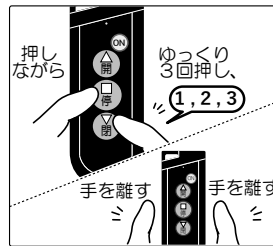


シャッターが手動で動かないことを確認してください。(動かなければ左図の作業は不要です)

※手動で動く場合は、「電動リング」を強く引っ張り、電動操作に切り替えてください。(左図参照)

II：下限設定

1. 下限設定の準備

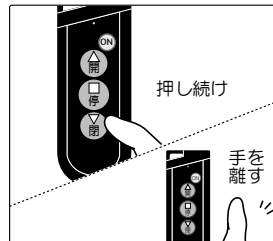


停を押しながら閉をゆっくり3回押し、
(※停を押してから2秒以内に閉を押して始めてください。)

停閉から手を離す。

ビープビープ・ビープ・ビープと音が鳴り続けます。

2. 下限位置の設定

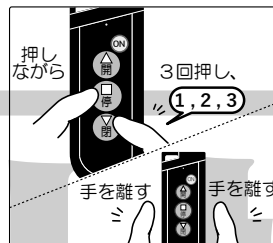


閉を押し続け、シャッターを下限位置まで動かします。

ビープビープ・ビープ・ビープ

シャッターが床面に付いたところで、手を離します。

3. 下限位置の登録



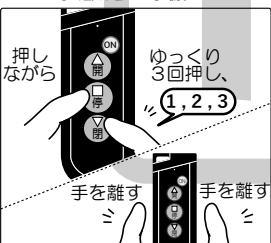
停を押しながら閉を3回押し、

停閉から手を離す。

ビープ・ビープと2回音が鳴ります。

III：上限設定

4. 上限設定の準備

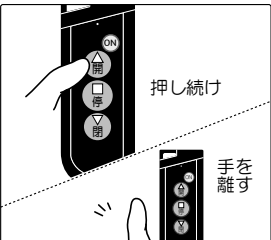


停を押しながら開をゆっくり3回押し、
(※停を押してから2秒以内に開を押して始めてください。)

停開から手を離す。

ビープビープ・ビープ・ビープと音が鳴り続けます。

5. 上限位置の設定

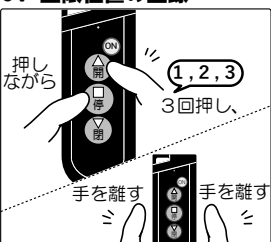


開を押し続け、シャッターを上限位置まで動かします。

ビープビープ・ビープ・ビープ

シャッターがストッパーに付いたところで、手を離す。

6. 上限位置の登録



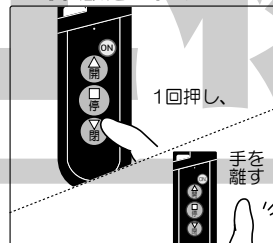
停を押しながら開を3回押し、

停開から手を離す。

ビープ・ビープと2回音が鳴ります。

IV：登録確認

7. 下限設定の確認

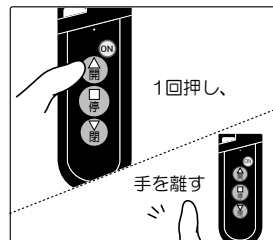


閉を1回押し、手を離す。

ビープ・ビープ・ビープと音が鳴り続けます。

先程登録した下限位置で止まります。

8. 上限設定の確認

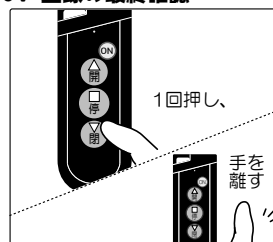


開を1回押し、手を離す。

音は鳴りません。

先程登録した上限位置で止まります。

9. 登録の最終確認



閉を1回押し、手を離す。

音が鳴らなければ登録完了です。

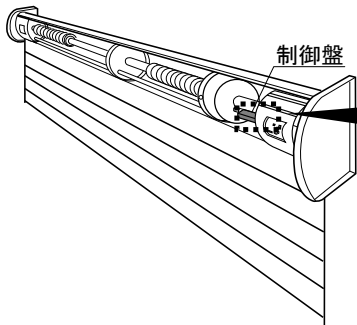
登録が失敗した場合・・・ 電源を抜いて、最初からやり直してください。

リモコンシャッター開速度変更方法について（'21.10～ハイスピードタイプ）

リモコンシャッターの初期設定は、高速モードになっています。
シャッターの開閉音が気になる方は、低速モードにすることで音を低減することができます。

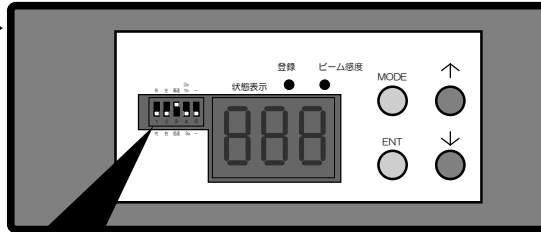
※シャッターケースが取り付けられている場合、組立説明書を参照し取り外してください。

【文化シャッター製（シャッターカラー：UG色、SW色、SG、MS色）】

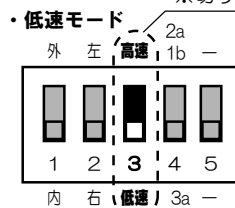
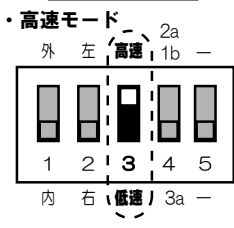


制御盤

• 下記を参照して、スイッチ【3】を切り替えてください。



初期設定

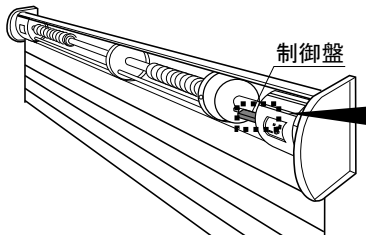


※切り替えるスイッチは【3】のみです。

開速度変更を行なった場合、リミット設定モードになります。再度リミット設定を行なってください。

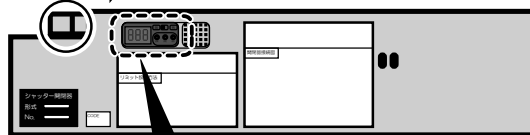
【三和シャッター製（シャッターカラー：CS色、SM色、GM色）】

- ①…○部を押しながら、制御盤ケースを右側にスライドして外してください。
 - ②…スイッチ【4】を切り替えてください。
 - ③…設定ボタンをピーと音が鳴るまで長押しすると開速度が変更されます。
- ※シャッターの開閉は、必ず制御盤ケースが取り付けいた状態で行なってください。



制御盤

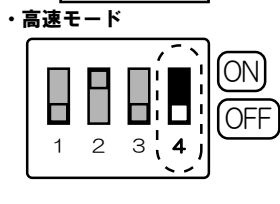
手順① → 押しながらスライド



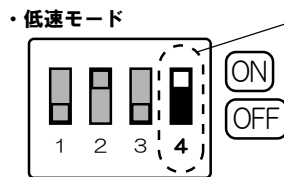
制御盤ケースを外すと、スイッチが操作できるようになります。

手順②…スイッチ【4】を切り替えてください。

初期設定



※切り替えるスイッチは【4】のみです。



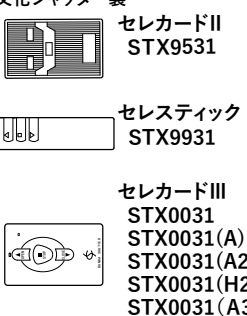
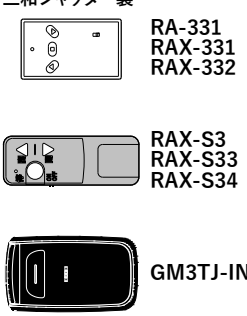


手順③…設定ボタンをピーと音が鳴るまで長押ししてください。

※ 開閉速度変更後、再度リミット設定を行なう必要はありません。

シャッタークレーム・問い合わせ内容

クレーム内容		点検事項	点検確認後		
ばねバランス不良	上限での下げが重い	1.シャッターの機種選択が正しいか(S・H・J・高基礎の確認) 2.スラットの片寄りによりレールの底やブラケットを擦っていないか 3.シャッター取付レベルのくらい 4.柱・シャッターレールの垂直のくらい 5.間口寸法が正しくでているか(上下確認) 6.スラット・水切り・レールなどの変形 7.長期に渡り開閉しなかったことによる巻き取りばねの錆付き	左記事項に該当する・しないを確認後当社にご連絡下さい。		
	中間付近での開閉が重い				
	下限で止まらない				
片寄り	片下がり			●下記事項により対処方法が異なります。 ・基礎工事、組立等が原因によるもの ・シャッターの機種選択によるもの ・シャッターのばね調節が必要なもの	
部品交換	スラットの交換		スラット	枚数確認	当社にご連絡下さい。 取替え修理経験の無い方は工事もご依頼下さい。
			錠付き		
			手掛け		
		水切り			
	錠の追加	錠の刻印番号	当社にご連絡下さい。		
	錠の交換	シャッターメーカーの確認			
リモコンシャッター	送信機の追加・登録	シャッターメーカーの確認 (※注1.文化・三和シャッター製共に新旧有)	当社にご連絡下さい。		
	作動不良	上記1から7まで	左記事項に該当する・しないを確認後、当社にご連絡下さい。		

注1 送信機

【旧仕様】	【現行仕様】
文化シャッター製  <ul style="list-style-type: none"> セレカードII STX9531 セレスティック STX9931 セレカードIII STX0031 STX0031(A) STX0031(A2) STX0031(H2) STX0031(A3-1) 	三和シャッター製  <ul style="list-style-type: none"> RA-331 RAX-331 RAX-332 RAX-S3 RAX-S33 RAX-S34 GM3TJ-INB
文化シャッター製  <ul style="list-style-type: none"> セレカードIII STX0031(A3-2) GRN・SGN WG-S(シャッター) 	三和シャッター製  <ul style="list-style-type: none"> RAX-H35 FF/FM・GRN・DR RAX-H35(In) WG-D (オーバースライド)

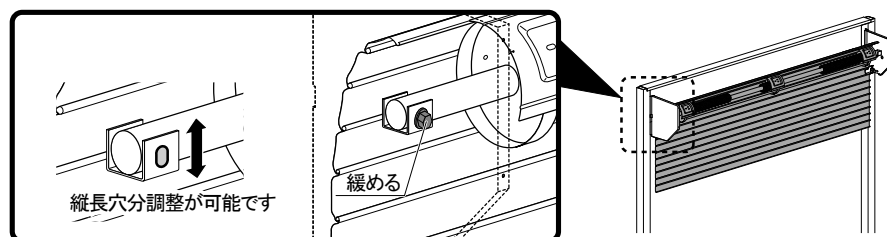
施工後の確認事項

- 1.シャッターに片寄りが無い、ブラケットの傾きはないか、補強バーが取り付けられているかを確認します。片寄りやブラケットの傾きがある場合は、本体の建ちやシャフトの取付位置を調整してください。

●シャフト取付位置の調整方法

シャフトを固定しているM8ボルト+ナットを緩めることで、シャフトの取付位置を調整することができます。調整中にシャフトが回転する恐れがありますので、十分に注意して作業を行なってください。

⚠️注意…シャフトを固定しているボルトは抜かないでください。シャフトが回転し大ケガをする恐れがあります。



- 2.シャッターの開閉を5～6回実施し、片寄りが無いことを確認します。
 - 3.シャッター錠押えの取り付けの有無、錠の掛かり具合をチェックします。(リモコンシャッターの場合は錠がないため、錠押えは付属しません。)
- ※万一現場で工事中に高基礎仕様が必要(シャッターレールが埋まらない)と判明した場合は、工事は中断してください。柱の埋め込みが極端に浅くなり十分な強度が確保できません。

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing notes, spanning the width of the page.

シャッター変遷編

三和シャッター仕様変遷表(1) ×印の部材は製造不可

	GHX (独立・2連まで)	GHN (連続対応)	GHW (連続対応)	
	97	98	00	01
ブラケット	<p>●97.4~</p> <p>D8-3951 D8-3952 D8-3953 D8-3954 D8-3955 D8-3956</p> <p>ブラケットの厚さ2.5mm</p>	<p>●98.4~</p> <p>D8-3957 D8-3958 D8-3959 D8-3960 D8-3961 D8-3962</p> <p>ブラケットの厚さ15mm</p>	<p>●00.10~</p> <p>GCWとGHWのシャッターの共通化を図る。(土台から全て変更) 多雪地型450kg/m² Wタイプは妻・鼻隠しのみ設変</p>	<p>●01.9~</p> <p>Wタイプも土台・その他共通化</p> <p>●01.5~</p>
	スラットタイプ	<p>●97.4~</p> <p>カラー: サンド (10YR8/2)</p> <p>KE6形スラット (エンボスなし) (K6M形 一式交換にて対応)</p> <p>把手形状 (下から8枚目)</p> <p>明かり窓形状</p> <p>シャッター水切板</p>	<p>●97.4~</p> <p>カラー: サンド (10YR8/2)</p> <p>A6K形スラット</p> <p>シャッター水切板</p>	<p>●97.4~ サムターン方式</p> <p>鍵差込部形状</p> <p>鍵の形状</p> <p>(K6M形 一式交換にて対応)</p> <p>●21年4月より錠前スラットの供給不可 ※錠前単品での手配は可能</p>
施錠装置		<p>●97.4~</p> <p>シャッター錠押えN</p> <p>(シャッター錠押えWでも対応可)</p>	<p>●00.10~</p> <p>シャッター錠押えW</p>	
	リモコン	<p>●97.4~</p> <p>サンオートAD (SA6AR)</p> <p>テープスイッチ方式 (アルミ座板)</p> <p>ラジオ: RA-331</p> <p>ラジオ: RAX-331 (1個) + 押し釦スイッチ</p> <p>●98.4~</p> <p>ラジオ: RAX-331 (2個)</p> <p>(RAX-S3での代用可)</p>	<p>●97.4~</p> <p>ブロード (SA-20)</p> <p>障害物検知座板 (アルミ座板)</p> <p>ラジオ: RAX-331 (2個) + 押し釦スイッチ</p> <p>●98.4~</p> <p>ラジオ: RAX-331 (3個)</p> <p>(RAX-S3での代用可)</p>	<p>●99.4~</p> <p>サンオートAD (E66R) ※SA6CR上廻り代用可</p> <p>負荷感知方式</p> <p>RAX-332追加注文の際は、要在庫確認</p> <p>ラジオ: 建物内部固定用RAX-332 (1個) + 車内用RAX-S3 (1個)</p> <p>●03.6~</p> <p>ラジオ: RAX-S3 (2個)</p>
シャッターレール		<p>●97.4~</p> <p>シャッターレール③</p> <p>(鋼板製)</p> <p>●97.4~</p> <p>カラー: サンド (10YR8/2)</p> <p>(鋼板製)</p>	<p>●00.10~</p> <p>シャッターレール④ ステン色製造不可</p> <p>(アルミ製)</p>	
	その他	<p>●98.4~</p> <p>3連以上にも対応</p>	<p>●00.10~</p> <p>土台から全て変更 Wタイプは妻・鼻隠しのみ設変 ブラケット補強バー構造変更</p>	<p>●01.9~</p> <p>Wタイプも土台・その他共通化</p>

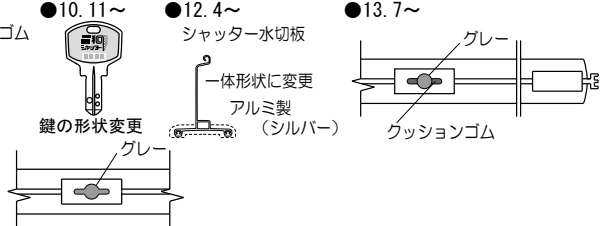

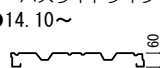
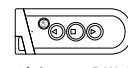
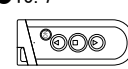
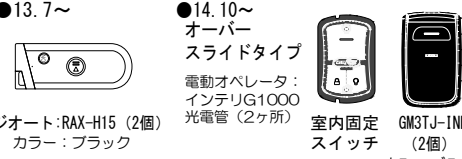
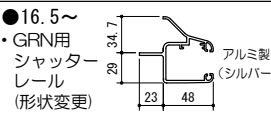
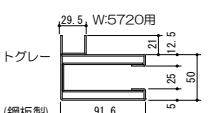
シャッター変遷編

三和シャッター仕様変遷表(2) ×印の部材は製造不可

	GHW (連続対応)	GR
	05	BR
ブラケット	<p>●05.5~</p> <p>1.スラット・把手・明かり窓の形状変更と開口高さに合わせてホイールの軸心変更</p> <p>2.リモコンシャッター開閉器変更(リミット設定必要)(三和シャッター仕様変更による)</p> <p>(GHW1:開口高さ2330mm以下) (GHW2:開口高さ2430mm以上)</p> <p>手動シャフトφ34 電動シャフトφ43</p>	<p>●09.3~</p> <p>間口5300mmのフローティアをシャッターとオーバースライドの2タイプで発売</p> <p>モト 手動の設定のみ記載</p> <ul style="list-style-type: none"> 手動(K3~K7): S用 電動(K3~K6): S・H・J用 電動(K7): S用 <p>※GR用ブラケット(当板付)での供給になります。</p>
	<p>●05.5~</p> <p>K6M形スラット 把手形状(下から10枚目)</p> <p>カラー: サンド (マンセル番号: 10YR8/2)</p> <p>KE6形スラットへのかみ合せ互換性ナシ</p> <p>●06.11~</p> <p>リバーシブルのディンプルキー (GR共通)</p> <p>明かり窓形状 200x23</p> <p>(GR用スラットと色と長さが異なる)</p>	<p>●09.10~</p> <p>GR用 K6M形スラット t=0.5 t=0.6(11.2~K8用)</p> <p>カラー: クールシルバー ハニーゴールド</p> <p>サムターン方式 シャッター水切板 シャッター錠押え同梱</p> <p>錠差込部形状 (下から14枚目)</p>
スラット・施錠装置	<p>Wシャッター(BR)</p> <p>●09.3~</p> <p>AGK形スラット</p> <p>カラー: クールシルバー</p> <p>シャッター水切板 鋼板+アルミ製 (座板スイッチナシ)</p>	<p>●09.3~</p> <p>オーバースライドタイプ パネル形状</p>
	<p>シャッタータイプ</p> <p>●05.5~ サンオートAD (SA6BRS)</p> <p>●06.11~ サンオートAD (SA6CR)</p> <p>ラジオート: RAX-S33 (2個) (ダークグレー)</p> <p>ラジオート: RAX-S34 (2個) (ミスティックブルー)</p> <p>(RAX-H35での代用可)</p>	<p>●09.3~</p> <p>Wシャッタータイプ (開閉機: SB-20D)</p> <p>負荷感知方式+光電管</p> <p>ラジオート: RAX-S34 (3個)</p> <p>カラー: ミスティックブルー</p> <p>(RAX-H35での代用可)</p>
リモコン	<p>Wシャッター(BR)</p> <p>●09.3~</p> <p>オーバースライドタイプ</p> <p>電動オペレータ: エクセレータ/光電管(2ヶ所)</p> <p>室内固定スイッチ</p> <p>ラジオート: RAX-S14 (2個)</p> <p>カラー: ミスティックブルー</p> <p>(インテリG1000での代用可)</p> <p>(RAX-H15での代用可)</p>	<p>●09.10~</p> <ul style="list-style-type: none"> GR用 <p>シャッターレール</p> <p>アルミ製 (シルバー)</p>
	<p>シャッターレール</p> <p>Wシャッター(BR)</p> <p>●09.3~</p> <p>シャッタータイプのシャッターレール形状</p> <p>カラー: ライトグレー (鋼板製)</p>	<p>●09.3~</p> <p>【フローティア】</p> <p>オーバースライドタイプのドアパネル開閉速度: 11m/分</p>
その他	<p>●05.5~</p> <p>間口2630mmタイプのシャッター: 板厚0.4~0.5</p> <p>●06.11~</p> <p>クラッチワイヤー 1本→2本</p>	

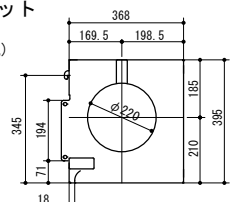
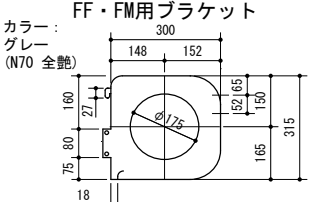
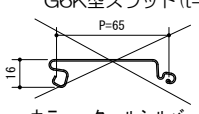
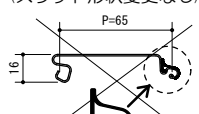
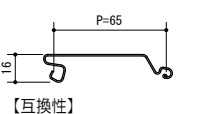
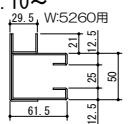
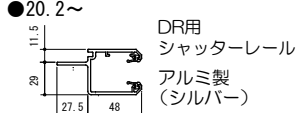
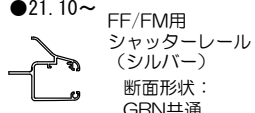
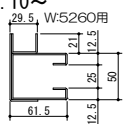
シャッター変遷編

三和シャッター仕様変遷表(3) ×印の部材は製造不可

		GR	GRN
		BR	BRN
		10	14
			16
ブラケット			<ul style="list-style-type: none"> ●14. 10～ BR→BRNにモデルチェンジ 1.間口5720mm,6140mmを追加 (シャッタータイプは5720mmのみ追加) 2.オーバーライドタイプ ・パネル形状変更 ・電動オペレーター変更
			<ul style="list-style-type: none"> ●16. 5～ GR→GRNにモデルチェンジ ・1B,2B ブラケット形状変更なし ・スラットの片寄りを防止するため、ステンレスの当板を追加。
スラット・施錠装置	シャッタータイプ	<ul style="list-style-type: none"> ●10. 9～ ストッパーゴム位置変更 ●10. 11～ 鍵の形状変更 ●12. 4～ シャッター水切板 一体形状に変更 アルミ製(シルバー) ●13. 7～ グレー クッションゴム 	<ul style="list-style-type: none"> ●16. 5～ GRN用 K6M形スラット カラー：クールシルバー ステンメタリック ・鏡差込部形状変更 
	Wシャッター(BR) オーバーライド(BR)		<ul style="list-style-type: none"> ●14. 10～ オーバーライドタイプ パネル形状 
リモコン	シャッター	<ul style="list-style-type: none"> ●10.9～ モーター制御盤変更 モーター外観色紫 	<ul style="list-style-type: none"> ●13. 7～ サンオートAD (SA6CR・SA6C35R) ●13. 7～ ラジオート：RAX-H35 (2個) カラー：ブラック 
	Wシャッター(BR)		<ul style="list-style-type: none"> ●13. 7～ ラジオート：RAX-H35 (3個) カラー：ブラック 
	オーバーライド(BR)	<ul style="list-style-type: none"> ●13. 7～ ラジオート：RAX-H15 (2個) カラー：ブラック 	<ul style="list-style-type: none"> ●14. 10～ オーバー スライドタイプ 電動オペレーター： インテリG1000 光電管 (2ヶ所) 室内固定 スイッチ GM3TJ-1NB (2個) カラー：ブラック 
シャッターレール	シャッター		<ul style="list-style-type: none"> ●16. 5～ ・GRN用 シャッター レール (形状変更) 
	Wシャッター(BR)		<ul style="list-style-type: none"> ●14. 10～ カラー：ライトグレー (鋼板製) 
その他		<ul style="list-style-type: none"> ●14. 10～ オーバーライドタイプのドアパネル開閉速度： 開10m/分 開7m/分 	<ul style="list-style-type: none"> ●16. 5～ GRモデルチェンジ(GRN) に伴い、壁パネルのモジュールを W420→W500iに変更

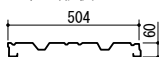

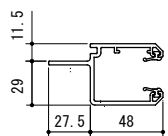
シャッター変遷編

三和シャッター仕様変遷表(4) ×印の部材は製造不可

		GRN	BRK		DR		FF/FM	
		17	20	20	21	21	21	21
ブラケット	シャッタータイプ	●17.10~ ・BRNモデルチェンジ(BRK)に伴い、オーバースライドタイプを文化シャッター製に変更	●20.2~ ・DR発売 間口3130mmのみ	●21.10~ ・DR間口3630mm追加 ・FXNモデルチェンジ(FF/FM)に伴い、三和シャッター製に変更	●20.2~ DR用ブラケット カラー: グレー(N30半艶) 		●21.10~ FF・FM用ブラケット カラー: グレー(N70 全艶) 	
		●17.12~ サンオートAD (SA6DR)	●17.12~ ケース色: 紺→黒 銘板色: 銀→白	●20.2~ ケース色: 黒 銘板色: 白 ※開閉機、リモコン GRN・DR共通	●20.11~ リモコン仕様変更 (型番変更なし) ・スイッチ色: グレー→ダークグレー ・文字印刷色: ブラック→ホホワイト	●21.10~ サンオートAD (SA6ER-INB-H)	●21.10~ 開閉機仕様変更 ・モーター外観色: 灰色 ・開速度変更 (SA6DR比 2倍) ・リミット設定方法変更 【メンテナンス対応】 旧仕様開閉器(代替品)でも対応可	
スラット・施錠装置	シャッタータイプ	●20.2~ DR用スラット G6K型スラット (t=0.8) カラー: クールシルバー 	●20.10~ 隙間塞ぎの樹脂追加 (スラット形状変更なし) 	●21.1~ 断面形状変更 	●21.10~ FM用 K6M形スラット カラー: ガンメタリック クールシルバー 把手位置 (下から9枚目) 【互換性】 旧スラットの下側: 取付可 旧スラットの上側: 取付不可			
		●17.12~ ケース色: 紺→黒 銘板色: 銀→白	●20.2~ ケース色: 黒 銘板色: 白 ※開閉機、リモコン GRN・DR共通	●20.11~ 開閉機仕様変更 型番: SB-20E ・ケース色: 紺色→黒 ・光電センサー取付台の変更	●21.10~ サンオートAD (SA6ER-INB-H)	●21.10~ 開閉機仕様変更 ・モーター外観色: 灰色 ・開速度変更 (SA6DR比 2倍) ・リミット設定方法変更 【メンテナンス対応】 旧仕様開閉器(代替品)でも対応可		
リモコン	シャッタータイプ	●17.10~ Wシャッター (BR) W:5260用 	●19.6~ GRN・BRK 屋根パネルを 溶接ナット仕様 に変更。	●22.7~ GRN 電動シャッター スラット枚数を変更				
		●17.12~ ケース色: 紺→黒 銘板色: 銀→白	●20.2~ ケース色: 黒 銘板色: 白 ※開閉機、リモコン GRN・DR共通	●20.11~ リモコン仕様変更 (型番変更なし) ・スイッチ色: グレー→ダークグレー ・文字印刷色: ブラック→ホホワイト	●21.10~ サンオートAD (SA6ER-INB-H)	●21.10~ 開閉機仕様変更 ・モーター外観色: 灰色 ・開速度変更 (SA6DR比 2倍) ・リミット設定方法変更 【メンテナンス対応】 旧仕様開閉器(代替品)でも対応可		
シャッターレール	シャッター	●20.2~ DR用 シャッターレール アルミ製 (シルバー) 	●21.10~ FF/FM用 シャッターレール (シルバー) 断面形状: GRN共通 					
		●17.10~ Wシャッター (BR) W:5260用 	●19.6~ GRN・BRK 屋根パネルを 溶接ナット仕様 に変更。	●22.7~ GRN 電動シャッター スラット枚数を変更				
その他	シャッターレール	●17.10~ BRNモデルチェンジ(BRK)に伴い、壁パネルのモジュールを W420→W500に変更	●19.6~ GRN・BRK 屋根パネルを 溶接ナット仕様 に変更。	●22.7~ GRN 電動シャッター スラット枚数を変更				
		●17.12~ ケース色: 紺→黒 銘板色: 銀→白	●20.2~ ケース色: 黒 銘板色: 白 ※開閉機、リモコン GRN・DR共通	●20.11~ 開閉機仕様変更 型番: SB-20E ・ケース色: 紺色→黒 ・光電センサー取付台の変更	●21.10~ サンオートAD (SA6ER-INB-H)	●21.10~ 開閉機仕様変更 ・モーター外観色: 灰色 ・開速度変更 (SA6DR比 2倍) ・リミット設定方法変更 【メンテナンス対応】 旧仕様開閉器(代替品)でも対応可		

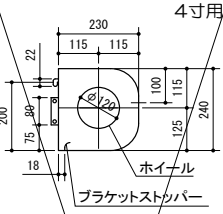
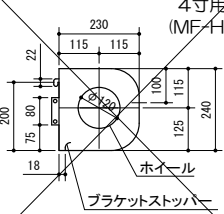
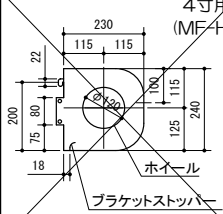
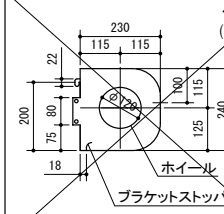
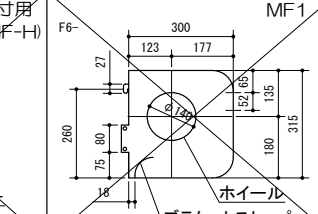
シャッター変遷編

三和シャッター仕様変遷表(5) ×印の部材は製造不可

	GRN/DR	
	BRK	
	WG	
	FF/FM/DM	
	23	24
ブラケット	●23.09～ ・DM発売 二段錠仕様採用 ブラケットはFF/FM型と共通 ・WG オーバーライドタイプ発売 三和シャッター製 オーバーライドドア採用 (ワイドシャッタータイプは文化製)	●24.01～ ・BRK廃番
スラット・施錠装置	シャッタータイプ ●23.09～ DM用 二段錠仕様 (錠番号 上下同番) KGM形スラット (FF・FM共通) カラー: クールシルバー 把手位置 (下から9枚目) 錠前位置 (下から14段目、18段目)	
	Wシャッター(BR) ●23.09～ オーバーライドタイプ パネル形状 504  カラー: ガンメタリック	
リモコン	シャッタータイプ	
	Wシャッター(BR) ●23.09～ オーバーライドタイプ 開閉機: インテリG1000 光電管2ヶ所	オーバーライド用リモコン ラジオート: RAX-H35 (1n)  W3600: 2個 W5400: 3個 W6000: 3個 カラー: ブラック スイッチ色: ネイビー スイッチ色: ホワイト
シャッターレール	シャッター ●23.09～ DM用 シャッターレール アルミ製 (シルバー) 断面形状: DR共通 	
	Wシャッター(BR)	
その他		

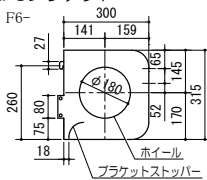
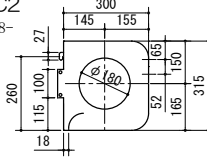
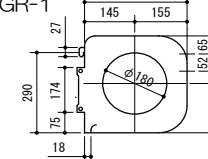
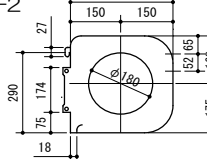

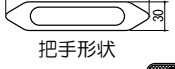


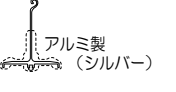


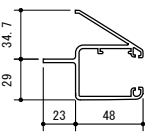
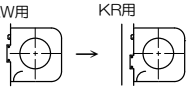
シャッター変遷編

文化シャッター仕様変遷表(1) ×印の部材は製造不可

	GC GCN GA GAN MF								GCX GAX MFX GDX GEX					GCX GKX GEN MFX				GCW GKW MFW		
	83	84	85	86	87	88	89	94	97	98	98			00						
ブラケット	●83~ 4寸ホイール 4寸用  ホイール ブラケットストッパー ●89.1~ 6寸ホイール追加 6寸用(MF-H)  ホイール ブラケットストッパー ●97.11~ スラット設変に伴い6寸ホイールの軸心変更 (文化シャッター仕様変更) 4寸用(MF-H)  ホイール ブラケットストッパー ●98.4~ ブラケットS.LをMIに統合 4寸用(MF-H)  ホイール ブラケットストッパー ●00.10~ GCWとGHWのシャッターの共通化を図る。ブラケットMをGC1,2にMFW専用ブラケットMF1電動用ブラケットは別仕様(GC3) MF1  ホイール ブラケットストッパー																			
	D6-5162 D6-5362 D6-5662 左記番号 S型 M型 GC1:開口高さ2400mm以下 GC2:開口高さ2400mm以上																			
	D8-1757 D8-1758 D8-1751 D8-1752 D8-1753 D8-1754 左記番号 L型 D8-1767 D8-1768 D8-1769 D8-1761 D8-1762 D8-1765 D8-1763 D8-1764 D8-1766 左記番号 GC1:開口高さ2400mm以下 GC2:開口高さ2400mm以上																			
	D8-1759 D8-1755 D8-1756 左記番号																			
スラット	●83~ C1-Sスラット カラー:オイスターホワイト (5Y 8.5/1) ●89.1~ E1-Sスラット カラー:オイスターホワイト (5Y 8.5/1) ●97.11~ E2-Sスラット カラー:シルキーホワイト (5Y 8.5/0.5) C1-Sスラットへのかみ合せ互換性アリ E1-Sスラットへのかみ合せ互換性アリ E2-Sスラットへのかみ合せ互換性アリ E1-Sスラットへのかみ合せ互換性ナシ																			
施錠装置	●83~横スライド方式(E2-Sオイスターホワイトにて対応) ●97.11~サムターン方式 鍵差込部形状 シャッターレール①②に対応 錠前・スペアキー供給不可 ディンプルキー仕様 錠前セット交換にて対応 シャッターレール③④に対応 (シャッター錠押えが必要)																			
リモコン	●83~ モートD オートマン セレカード 型式:RD-100 ●89.5~ モートR セレカード 型式:STX8901 ●96.5~ モートR セレカードII 型式:STX9531 ●00.10~ モートE セレスティック 型式:STX9931 ※要相談																			
シャッターレール	●83~ シャッターレール① ●96.2~ シャッターレール② ●97.8~ シャッターレール③ (別注にて②への対応可能) ●00.10~ シャッターレール④ アルミ製 ステン色(茶系色) ※ステン色製造不可 シャッター錠押えが必要																			
柱前	●83~ ●98.1~ ●00.10~																			
その他	●83~ ●87.9~ 屋根のリブ高さ ●94.1~ H壁 t=0.7 支柱NH廃止 ●00.10~ 土台から全て変更 ●01.2~ MF1→MF2に変更 軸心123→130																			


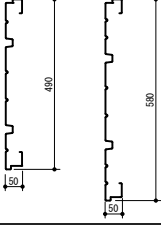




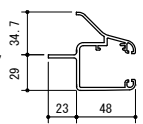
シャッター変遷編

文化シャッター仕様変遷表(2) ×印の部材は製造不可

	GCW GKW	GR KR			
	MFW	FX			FXN
	06	07	09		11 ※12.10～SG別表
ブラケット	<p>●06.6～ 手動用と電動用のブラケット サイズを共通にする。 すべて6寸ホイールに統一</p> <p>●06.6～ MF3ブラケット F6-  ホイール ブラケットストッパー ブラケット塗装色 MFW用 カラー：シルキーホワイト※ ※旧商品のメンテナンス対応はミストグレー色になります。</p>	<p>●07.10～ MF3ブラケット H6- ブラケット塗装色 FX用 カラー：シルバーグレー※</p>	<p>●09.10～ MF3ブラケット H6- ブラケット塗装色 FX・KR用 カラー：ミストグレー</p>		<p>●11.2～ FX→FXNにモデルチェンジ</p>
	<p>●06.6～ GC2 F8-  GCW・GKW用 カラー：シルキーホワイト</p>		<p>●09.10～ カラー：ミストグレー GR-1  S・H・J用 GR-2  J高基礎用 ※GRN用ブラケット(当板付)での供給となります。</p>		
スラット・施錠装置	<p>●06.6～ GCW MFW  鋼板製 152 把手形状  鍵差込部形状  リバーシブルの ディンプルキー</p>	<p>●07.10～ FX用スラット (E2-S) →カラー：アーバンGM FX  アルミ製 (シルバー)</p>	<p>●09.10～ FX・KR用スラット (E2-S) →カラー：アーバンGM GR用スラット (E2-S) t=0.5 t=0.6(11.2～K8用) カラー： シルキーホワイト(5Y 8.5/0.5) アーバンGM FX KR GR  アルミ製 (シルバー) 210 25 明かり窓形状</p>	<p>●10.9～  水切キャップ 樹脂形状変更 (互換性なし) アルミ切欠変更 (断面形状共通)</p>	<p>●11.2～ FX用スラット (E2-S) →シルバーグレー色追加 (N8)</p> <p>●11.3～ スラット色名称変更 シルバーグレー → スノーグレー (N8)</p>
	<p>●06.6～ モートR(モーター外観色:緑) セレカードⅢ 型式：STX0031 STX0031(A)  セレスティック(STX9931)用モートEに登録可能 セレカードⅡとは互換性ナシ</p>			<p>●10.9～ モートR制御盤変更 モーター外観色:紫</p>	
シャッターレール		<p>●07.10～ FX用：シルバー色 GCW・GKW用：ステン色※(茶系色) シャッターレール④ シャッター錠押えが必要 ※ステン色製造不可</p>	<p>●09.10～ FX・KR用：シルバー色 シャッターレール④ シャッター錠押えが必要 ●09.10～ GR用シャッターレール アルミ製 (シルバー)  29 34.7 23 48 ※09.10～ GRタイプはシャッター錠押えがシャッター 櫃包内に入りますがKR・FXタイプは従来 通りイナバ部品箱入りです。</p>		
	<p>●09.10～ GKW用 KR用  ブラケット変更に伴い止メ位置の変更 (ツメの位置は変更ナシ)</p>				
その他					

シャッター変遷編

文化シャッター仕様変遷表(3) ×印の部材は製造不可

	GR	GRN	
	KR		
	FXN		
			BRK
	13	16	17 ※17.10~SGN別表
ブラケット	●16.5~ GR→GRNにモデルチェンジ		●17.10~ BRN→BRKにモデルチェンジ 文化シャッター製 オーバースライドドア採用 (Wシャッタータイプは三和製)
	<ul style="list-style-type: none"> GR-1,GR-2 ブラケット形状変更なし スラットの片寄りを防止するため、ステンレスの当板を追加。 ※ブラケット対応機種変更 【GR-1】 S・H・J用 (K7H・Jを除く) 【GR-2】 J高基礎・[K7H・J]用		
シャッタータイプ スラット・施錠装置	シャッタータイプ	●16.5~ GRN用スラット (E2-S) カラー: シルキーホワイト (5Y 8.5/0.5) アーバンGM スノーグレー (N8) ●GRN錠差込部形状変更 	
	オーバースライド		●17.10~ オーバースライドタイプ パネル形状 カラー: ミストシルバー 
リモコン	シャッター	●モーター (EGA-4.3T) ※EGA-5.4Tで代用可(手動切替方法の変更により、交換時にはワイヤー固定金具が必要) ●13.7~ セレカードⅢ 型式: STX0031 (A2) STX0031 (H2)  2回押しモードの追加 外観の変更なし ●15.2~ セレカードⅢ 型式: STX0031 (A3-1) ・2回押しモードの操作方法変更 ・外観の変更なし ・互換性アリ	
	オーバースライド		●17.10~ オーバースライドタイプ (開閉機: SEC-1000) セレカードⅢ (GRNと共通) 型式: STX0031 (A3-1)  セレカードⅢ受信機 型式: SRX1431-100(A2)  ワイヤレス押しボタンスイッチ (固定スイッチ) 型式: STX1531K 
シャッターレール		●16.5~ GRN用 シャッターレール (形状変更)  アルミ製 (シルバー)	
その他		●16.5~ GRモデルチェンジ(GRN)に伴い、壁パネルのモジュールをW420→W500に変更	●19.6~ GRN・BRK 屋根パネルを溶接ナット仕様に変更。

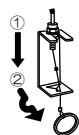
シャッター変遷編

文化シャッター仕様変遷表(4)

×印の部材は製造不可

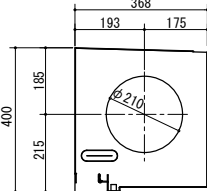
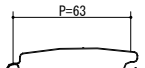
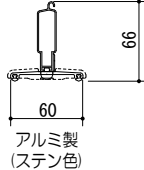


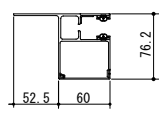
GRN					
KR					
FXN					
BRK					
21		21.10~		22	23
ブラケット		●21.10~ ・KR廃番 ・FXNモデルチェンジ(FX/FM)に伴い、 三和シャッター製に変更			
スラット・施錠装置					
シャッタータイプ					
オーバースライド					
リモコン		●21.1~ モートル (EGA-5.2T)	●21.10~ 開速度変更 出荷時より、 高速モード設定 (EGA-4.3T比 2倍)	●21.12~ モートル (EGA-5.3T)	●23.4~ モートル (EGA-5.4T オプションなし)
シャッター		●21.1~ 開閉機仕様変更 ・モーター外観色:黒 ・開速度変更 (EGA-4.3比 1.5倍) ・リミット設定方法変更 ・手動切替方法変更 ・片寄りを防止するため、 スラット端部に樹脂追加	セレカードⅢ 型式: STX0031(A3-2) ・出荷時より 2回押しモードに変更 ・外観の変更なし ・互換性アリ	●21.12~ 開閉機仕様変更 ラベル色 青→オレンジ ディップスイッチ 4→5個 ※基本仕様の変更はなし (互換性あり)	●23.4~ 開閉機仕様変更 ラベル色 オレンジ→緑 復電後、復帰操作(開操作)した際に、 ブザー音が鳴る仕様に変更 (互換性あり)
オーバースライド		●21.1~ セレカードⅢ(GRN共通) 型式: STX0031(A3-2) ・出荷時より 2回押しモードに変更 ・外観の変更なし ・互換性アリ			
シャッターレール					
その他		●21.1~ リモコンシャッター 手動切替方法変更 (ワイヤー固定金具追加)	●21.10~ リモコンシャッターのメンテナンス対応について ・旧仕様(~4.3T)の開閉機の手配不可 新仕様:1.5倍速での対応	●22.10~ 錠前 化粧プレート メッキ処理方法変更 光沢なし→光沢あり	

シャッター変遷編



文化シャッター仕様変遷表(5)

×印の部材は製造不可

	GRN
	WG
	24
ブラケット	<ul style="list-style-type: none"> ●24.1～ WG-ワイドシャッタータイプ発売 文化シャッター製 発泡ウレタン充填アルミ成形スラット シャッター採用 BRK廃番
	<ul style="list-style-type: none"> ●24.1～ WG用ブラケット 
スラット・施錠装置	シャッタータイプ
	<ul style="list-style-type: none"> ●24.1～ 630スラット シャッター水切板  
リモコン	シャッター
	<ul style="list-style-type: none"> ●24.1～ モーター (EGA-5.4T オプションあり) ●24.1～ モーター外観色:黒 ラベル色:黄色 負荷感知方式+光電管 1カ所 ※光電管が取り付けため、【オプションあり】 【EGA-5.4T オプションなし】とは仕様異なる <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>セラカードⅢ (GRN共通)</p> <p>型式: STX0031 (A3-2)</p> <p>W3600: 1個</p> <p>W5400: 2個</p> <p>W6000: 2個</p> </div> <div> <p>ワイヤレス押しボタンスイッチ (固定スイッチ)</p> <p>型式: STX1531K</p> </div> </div>  
シャッターレール	シャッター
	<ul style="list-style-type: none"> ●24.1～  <p>アルミ製(シルバー色)</p>
その他	

シャッター変遷編

SG型シャッター(文化)仕様変遷表(1)

	SG		SGN	
	12		17	21
ブラケット	<ul style="list-style-type: none"> ●12.10～ SG発売 		<ul style="list-style-type: none"> ●17.10～ SG→SGN にモデルチェンジ 	
			<ul style="list-style-type: none"> ●17.10～ <ul style="list-style-type: none"> ・ブラケット形状変更なし ・スラットの片寄りを防止するため、ステンレスの当板を追加。 ●21.1～ <ul style="list-style-type: none"> ・リモコンシャッター仕様変更に伴い、ブラケットの切替ワイヤー固定部変更。手動シャッター…互換性あり ・リモコンシャッター…互換性なし (シャッター本体とブラケットのセット交換可能) ※旧仕様手配不可 ・スラットと中ブラケットに引っかかりが発生した場合の対策として、中ブラケットに切欠きを追加。 	
スラット	<ul style="list-style-type: none"> ●12.10～ E2-Sスラット カラー：ミストシルバー 把手形状 (下から9枚目) 		<ul style="list-style-type: none"> ●17.10～ ・解体水切板 → 一体水切板に変更 アルミ製 (ステン色) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●12.10～ 鍵差込部形状 リバーシブルのディンプルキー (下から13枚目) 		<ul style="list-style-type: none"> ●17.10～ ・錠差込部形状変更 	
リモコン	<ul style="list-style-type: none"> ●12.10～ モートル (モーター外観色:紫) セレカードⅢ 型式：STX0031 STX0031(A) 		<ul style="list-style-type: none"> ●13.7～ セレカードⅢ 型式：STX0031(A2) STX0031(H2) 2回押しモードの追加 外観の変更なし 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●15.2～ セレカードⅢ 型式：STX0031(A3-1) 2回押しモードの操作方法変更 外観の変更なし 互換性あり 		<ul style="list-style-type: none"> ●21.10～ 開閉機仕様変更 モーター外観色:黒 開速度変更 リミット設定方法変更 手動切替方法変更 片寄りを防止するため、スラット端部に樹脂追加。 マイクロスイッチ変更 → 互換性なし 	
シャッターレール	<ul style="list-style-type: none"> ●12.10～ 移動柱 レール 		<ul style="list-style-type: none"> ●17.10～ ・レール左右、移動柱を布・ベタ共通の設定に変更。 ・移動柱…全長変更 互換性あり。 ・レール…互換性なし。(断面形状変更なし) レール取付板の切り欠き、全長を変更。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●21.1～ リモコンシャッター 手動切替方法変更 (ワイヤー固定金具追加) 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●17.10～ ・レール受皿×2 →レール受板+打掛金具に仕様変更。 ・高基礎仕様の基礎高を450→600に変更。 			

シャッター変遷編

SG型シャッター(文化)仕様変遷表(2)

		SGN		
		21	22	23
ブラケット				
スラット				
施錠装置				
リモコン	●21.12~ モーター (EGA-5.3T)			●23.4~ モーター (EGA-5.4T オプションなし)
	●21.12~ 開閉機仕様変更 ラベル色 青→オレンジ ディップスイッチ 4→5個 ※基本仕様の変更はなし (互換性あり)			●23.4~ 開閉機仕様変更 ラベル色 オレンジ→緑 復電後、復帰操作(開操作)した際に、 ブザー音が鳴る仕様に変更 (互換性あり)
シャッターレール				
その他		●22.10~ 錠前 化粧プレート めっき処理方法変更 光沢なし→光沢あり		

シャッター変遷編

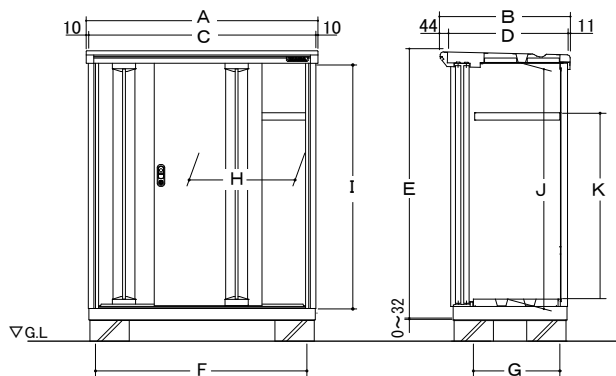
MEMO

詳細寸法表

詳細寸法表

< KMWシリーズ 1 >

KMW-095B, 095C, 095D, 096B, 096C, 096D, 096E, 097C, 097D, 097E, 115B, 115C, 115D
 116B, 116C, 116D, 116E, 117C, 117D, 117E, 119D, 119E, 135B, 135C, 135D, 136B
 136C, 136D, 136E, 137C, 137D, 137E, 139D, 139E



Bタイプ	213~763mmで12段調節
Cタイプ	263~913mmで14段調節
Dタイプ	313~1163mmで18段調節
Eタイプ	363~1413mmで22段調節

(50mmピッチ)

機種	面積 (m ²)	屋根回り寸法		側板回り寸法		高さ E	内部寸法		有効開口寸法		内高 J
		A	B	C	D		F	G	H	I	
KMW-095B	0.43	920	535	900	480	1,103	837	359	365	952	970
095C						1,303				1,152	1,170
095D						1,603				1,452	1,470
096B	0.52	920	635	900	580	1,103	837	459	365	952	970
096C						1,303				1,152	1,170
096D						1,603				1,452	1,470
096E						1,903				1,752	1,770
097C	0.65	920	775	900	720	1,303	761	599	365	1,152	1,170
097D						1,603				1,452	1,470
097E						1,903				1,752	1,770
115B	0.53	1,120	535	1,100	480	1,103	1,037	359	465	952	970
115C						1,303				1,152	1,170
115D						1,603				1,452	1,470
116B	0.64	1,120	635	1,100	580	1,103	1,037	459	465	952	970
116C						1,303				1,152	1,170
116D						1,603				1,452	1,470
116E						1,903				1,752	1,770
117C	0.79	1,120	775	1,100	720	1,303	961	599	465	1,152	1,170
117D						1,603				1,452	1,470
117E						1,903				1,752	1,770
119D	1.01	1,120	975	1,100	920	1,603	961	799	465	1,452	1,470
119E						1,903				1,752	1,770
135B	0.63	1,340	535	1,320	480	1,103	1,257	359	575	952	970
135C						1,303				1,152	1,170
135D						1,603				1,452	1,470
136B	0.77	1,340	635	1,320	580	1,103	1,257	459	575	952	970
136C						1,303				1,152	1,170
136D						1,603				1,452	1,470
136E						1,903				1,752	1,770
137C	0.95	1,340	775	1,320	720	1,303	1,181	599	575	1,152	1,170
137D						1,603				1,452	1,470
137E						1,903				1,752	1,770
139D	1.21	1,340	975	1,320	920	1,603	1,181	799	575	1,452	1,470
139E						1,903				1,752	1,770

(単位:mm)

詳細寸法表

詳細寸法表

< KMWシリーズ 2 >

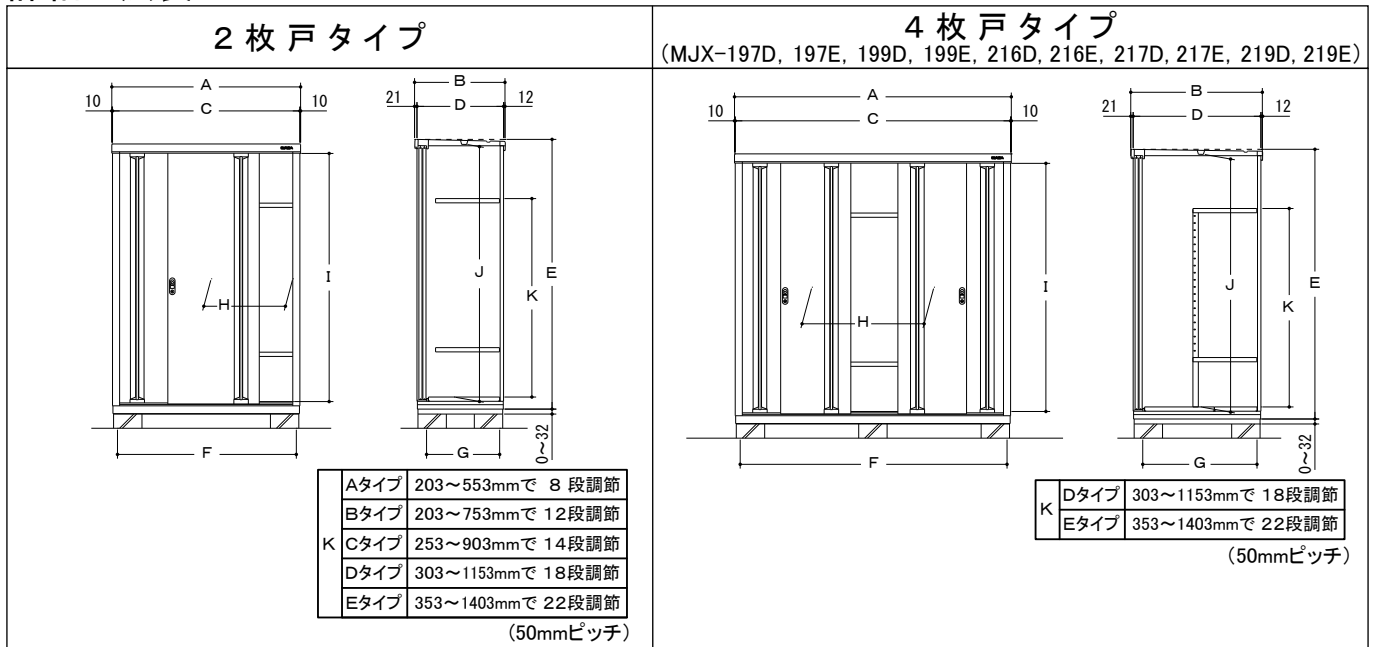
2枚戸タイプ	4枚戸タイプ																
KMW-156B, 156C, 156D, 156E, 157C, 157D 157E, 159D, 159E, 176C, 176D, 176E 177C, 177D, 177E, 179D, 179E	KMW-196C, 196D, 196E, 197C, 197D, 197E 199D, 199E, 216E, 217E, 219D, 219E																
<table border="1"> <tr><td rowspan="4">K</td><td>Bタイプ</td><td>213~763mmで12段調節</td></tr> <tr><td>Cタイプ</td><td>263~913mmで14段調節</td></tr> <tr><td>Dタイプ</td><td>313~1163mmで18段調節</td></tr> <tr><td>Eタイプ</td><td>363~1413mmで22段調節</td></tr> </table> <p>(50mmピッチ)</p>	K	Bタイプ	213~763mmで12段調節	Cタイプ	263~913mmで14段調節	Dタイプ	313~1163mmで18段調節	Eタイプ	363~1413mmで22段調節	<table border="1"> <tr><td rowspan="3">K</td><td>Cタイプ</td><td>263~913mmで14段調節</td></tr> <tr><td>Dタイプ</td><td>313~1163mmで18段調節</td></tr> <tr><td>Eタイプ</td><td>363~1413mmで22段調節</td></tr> </table> <p>(50mmピッチ)</p>	K	Cタイプ	263~913mmで14段調節	Dタイプ	313~1163mmで18段調節	Eタイプ	363~1413mmで22段調節
K		Bタイプ	213~763mmで12段調節														
		Cタイプ	263~913mmで14段調節														
		Dタイプ	313~1163mmで18段調節														
	Eタイプ	363~1413mmで22段調節															
K	Cタイプ	263~913mmで14段調節															
	Dタイプ	313~1163mmで18段調節															
	Eタイプ	363~1413mmで22段調節															

機種	面積 (m ²)	屋根回り寸法		側板回り寸法		高さ E	内部寸法		有効開口寸法		内高 J		
		A	B	C	D		F	G	H	I			
KMW-156B	0.88	1,540	635	1,520	580	1,103	1,457	459	675	952	970		
156C						1,303				1,152	1,170		
156D						1,603				1,452	1,470		
156E						1,903				1,752	1,770		
157C	1.09	775	1,520	720	1,303	1,381	599	675	1,152	1,170			
157D					1,603				1,452	1,470			
157E					1,903				1,752	1,770			
159D	1.40	975	1,520	920	1,603	1,381	799	675	1,452	1,470			
159E					1,903				1,752	1,770			
176C	1.01	1,760	635	1,740	580	1,303	1,677	459	785	1,152	1,170		
176D						1,603				1,452	1,470		
176E						1,903				1,752	1,770		
177C	1.25	775	1,740	720	1,303	1,601	599	785	1,152	1,170			
177D					1,603				1,452	1,470			
177E					1,903				1,752	1,770			
179D	1.60	975	1,740	920	1,603	1,601	799	785	1,452	1,470			
179E					1,903				1,752	1,770			
196C	1.13	1,960	635	1,940	580	1,303	1,877	459	842	1,152	1,170		
196D						1,603				1,452	1,470		
196E						1,903				1,752	1,770		
197C	1.40	775	1,940	720	1,303	1,801	599	842	1,152	1,170			
197D					1,603				1,452	1,470			
197E					1,903				1,752	1,770			
199D	1.78	975	1,940	920	1,603	1,801	799	842	1,452	1,470			
199E					1,903				1,752	1,770			
216E	1.25	2,180	635	2,160	580	1,903	2,097	459	952	1,752	1,770		
217E	1.56		775		720	1,903	599	2,021		799	1,752	1,770	
219D	1.99		975		2,160	920	1,603	2,021		799	952	1,452	1,470
219E							1,903					1,752	1,770

(単位:mm)

詳細寸法表

< MJXシリーズ 1 >



機種	面積 (㎡)	屋根回り寸法		側板回り寸法		高さ E	内部寸法		有効開口寸法		内高 J
		A	B	C	D		F	G	H	I	
MJX-094A	0.37	920	448	900	415	903	895	315	372	754	777
094B						1,103				954	977
094D						1,603				1,454	1,477
095A	0.46	920	548	900	515	903	895	415	372	754	777
095B						1,103				954	977
095C						1,303				1,154	1,177
096C	0.55	920	648	900	615	1,603	840	515	372	1,454	1,477
096D						1,303				1,154	1,177
097C						1,603				1,454	1,477
097D	0.68	920	788	900	755	1,303	840	655	372	1,154	1,177
097E						1,603				1,454	1,477
097E						1,903				1,754	1,777
114A	0.46	920	448	900	415	903	1,095	315	472	754	777
114B						1,103				954	977
114D						1,603				1,454	1,477
115A	0.57	920	548	900	515	903	1,095	415	472	754	777
115B						1,103				954	977
115C						1,303				1,154	1,177
115D						1,603				1,454	1,477
115E						1,903				1,754	1,777
116C	0.68	1,120	648	1,100	615	1,303	1,040	515	472	1,154	1,177
116D						1,603				1,454	1,477
116E						1,903				1,754	1,777
117B	0.83	1,120	788	1,100	755	1,103	1,040	655	472	954	977
117C						1,303				1,154	1,177
117D						1,603				1,454	1,477
117E						1,903				1,754	1,777
119D						1,603				1,454	1,477
119E	1.00	938	905	905	1,903	805	1,754	1,777			
134A	0.55	1,340	448	1,320	415	903	1,315	315	582	754	777
134B						1,103				954	977
134D						1,603				1,454	1,477
135A	0.68	1,340	548	1,320	515	903	1,315	415	582	754	777
135B						1,103				954	977
135C						1,303				1,154	1,177
135D						1,603				1,454	1,477
135E						1,903				1,754	1,777

詳細寸法表

詳細寸法表

< MJXシリーズ 2 >

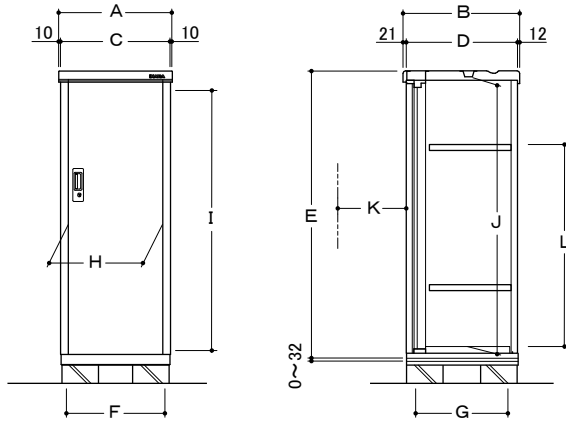
機種	面積 (㎡)	屋根回り寸法		側板回り寸法		高さ E	内部寸法		有効開口寸法		内高 J				
		A	B	C	D		F	G	H	I					
MJX-136C	0.81	1,340	648	1,320	615	1,303	1,260	515	582	1,154	1,177				
136D						1,603				1,454	1,477				
136E						1,903				1,754	1,777				
137B	1.00		788		755	1,103		655		954	977				
137C						1,303				1,154	1,177				
137D						1,603				1,454	1,477				
137E						1,903				1,754	1,777				
139D	1.19		938		905	1,603		805		1,454	1,477				
139E						1,903				1,754	1,777				
155A	0.78	1,540	548	1,520	515	903	1,515	415	682	754	777				
155B						1,103				954	977				
155C						1,303				1,154	1,177				
155D						1,603				1,454	1,477				
155E						1,903				1,754	1,777				
156C	0.93		648		615	615		1,303		1,460	515	655	1,154	1,177	
156D													1,603	1,454	1,477
156E													1,903	1,754	1,777
157B	1.15		788		755	755		1,103		1,460	655	655	954	977	
157C		1,303		1,154			1,177								
157D		1,603		1,454			1,477								
157E		1,903		1,754			1,777								
159D	1.38	938	905	905	1,603	1,680	655	805	1,454	1,477					
159E					1,903				1,754	1,777					
175B	0.90	1,760	548	1,740	515	1,735	415	792	954	977					
175C									1,303	1,154	1,177				
175D									1,603	1,454	1,477				
175E									1,903	1,754	1,777				
176C	1.07		648		615	615	1,303		1,680	515	655	1,154	1,177		
176D							1,603					1,454	1,477		
176E							1,903					1,754	1,777		
177C	1.31		788		755	755	1,303		1,680	655	655	1,154	1,177		
177D							1,603					1,454	1,477		
177E		1,903		1,754			1,777								
179D	1.57	938	905	905	1,603	1,880	655	805	1,454	1,477					
179E					1,903				1,754	1,777					
195C	1.00	1,960	548	1,940	515	1,935	415	852	1,154	1,177					
195D									1,603	1,454	1,477				
195E									1,903	1,754	1,777				
196C	1.19		648		615	615	1,303		1,880	515	655	1,154	1,177		
196D							1,603					1,454	1,477		
196E							1,903					1,754	1,777		
197C	1.46		788		755	755	1,303		1,880	655	655	1,154	1,177		
197D							1,603					1,454	1,477		
197E							1,903					1,754	1,777		
199D	1.76	938	905	905	1,603	2,100	655	962	1,454	1,477					
199E					1,903				1,754	1,777					
216D	1.33	2,180	648	2,160	615	2,100	515	962	1,454	1,477					
216E									1,903	1,754	1,777				
217D	1.63		788		755		755		1,603	655	655	1,454	1,477		
217E									1,903			1,754	1,777		
219D	1.95		938		905		905		1,603	2,100	655	962	1,454	1,477	
219E									1,903				1,754	1,777	

詳細寸法表

詳細寸法表

< B J X シリーズ >

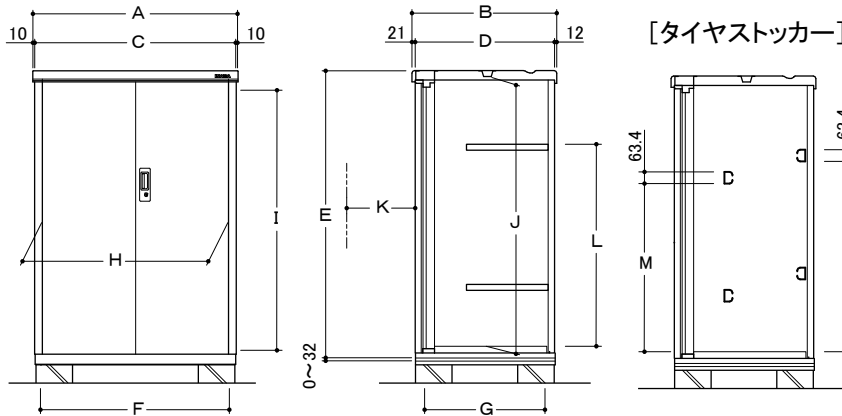
BJX-065A, 065C, 065D(P), 067D, 065E(P), 067E



L	Aタイプ	203~553mmで8段調節
	Cタイプ	253~903mmで14段調節
	Dタイプ	303~1153mmで18段調節
	DPタイプ	274~1124mmで18段調節
	Eタイプ	353~1403mmで22段調節
	EPタイプ	324~1374mmで22段調節

(50mmピッチ)

BJX-095A, 095C, 095D, 097D(T), 099D(T), 095E, 097E(T), 099E(T), 115A, 115C, 115D, 117D(T), 119D(T), 115E, 117E(T), 119E(T), 135C, 135D, 137D(T), 139D(T), 135E, 137E(T), 139E(T)



○棚板調節範囲

L	Aタイプ	203~553mmで8段調節
	Cタイプ	253~903mmで14段調節
	Dタイプ	303~1153mmで18段調節
	Eタイプ	353~1403mmで22段調節

(50mmピッチ)

○タイヤバー調節範囲

M	Dタイプ	311~961mmで14段調節
	Eタイプ	361~1211mmで18段調節
N	Dタイプ	432~1082mmで14段調節
	Eタイプ	482~1332mmで18段調節

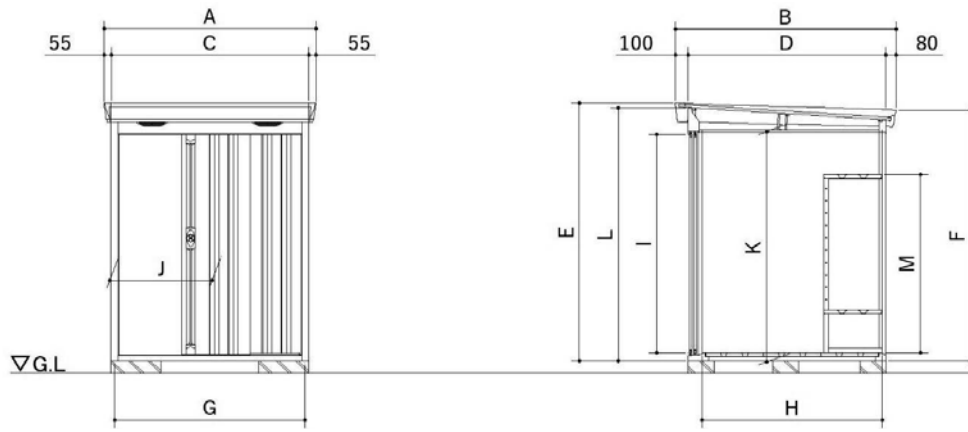
(50mmピッチ)

機種	面積 (m ²)	屋根回り寸法		側板回り寸法		高さ E	内部寸法		有効開口寸法		内高 J	扉の出 K									
		A	B	C	D		F	G	H	I											
BJX-065A	0.31	620	548	600	515	903	595	456	480	735	777	502									
065C						1,303				1,135	1,177										
065D(P)						1,603				1,435	1,477										
067D						755				540	696										
065E(P)						515				595	456										
067E						755				540	696										
095A	0.46	920	548	900	515	903	895	456	780	735	777	406									
095C						1,303				1,135	1,177										
095D						1,603				1,435	1,477										
097D(T)						755				840	696										
099D(T)						905				846											
095E						515				895	456										
097E(T)						755				840	696										
099E(T)						905				846											
115A						0.57				1,120	548		1,100	515	903	1,095	456	980	735	777	506
115C															1,303				1,135	1,177	
115D	1,603	1,435	1,477																		
117D(T)	755	1,040	696																		
119D(T)	905	846																			
115E	515	1,095	456																		
117E(T)	755	1,040	696																		
119E(T)	905	846																			
135C	0.68	1,340	548	1,320	515	1,303	1,315	456	1200	1,135	1,177	616									
135D						1,315				1,435	1,477										
137D(T)						755				1,260	696										
139D(T)						905				846											
135E						515				1,315	456										
137E(T)						755				1,260	696										
139E(T)						905				846											

(単位:mm)

FORTA <FSシリーズ1>

詳細寸法表(間口1370mm~1530mm)



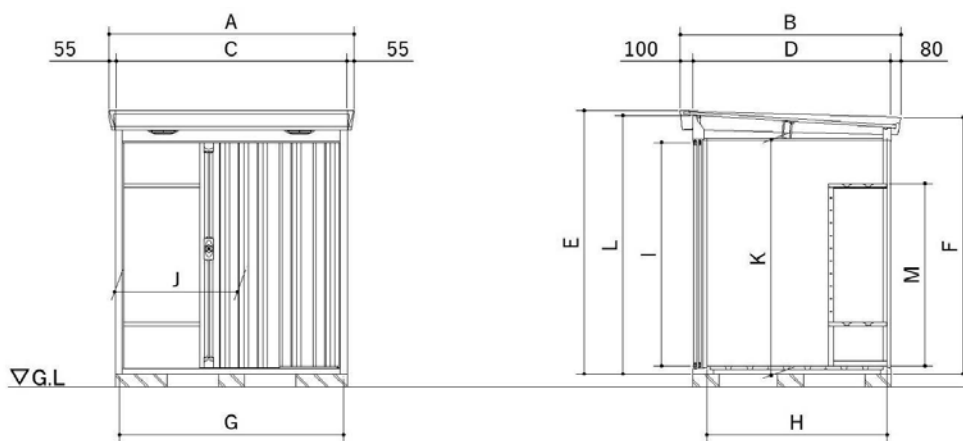
M: 棚板は346~1446まで12段調節
(100mmピッチ)

機種	面積 (㎡)	屋根回り寸法		土台回り寸法		高さ寸法		内部寸法		開口部寸法		内高 K	軒高 L	母屋中 の本数
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J			
FS-1409S	1.30	1,480	1,130	1,370	950	2,085	2,030	1,313	807	1,770	675	1,872	2,045	0
FS-1414S	1.88		1,550		1,370				1,227			1,844	2,045	1
FS-1415S	2.10		1,710		1,530				1,387			1,844	2,045	1
FS-1418S	2.45		1,970		1,790				1,647			1,828	2,045	2
FS-1422S	3.03		2,390		2,210				2,067			1,828	2,045	2
FS-1426S	3.60		2,810		2,630				2,487			1,819	2,045	3
FS-1509S	1.45	1,640	1,130	1,530	950	2,085	2,030	1,473	807	1,770	795	1,872	2,045	0
FS-1514S	2.10		1,550		1,370				1,227			1,844	2,045	1
FS-1515S	2.34		1,710		1,530				1,387			1,844	2,045	1
FS-1518S	2.74		1,970		1,790				1,647			1,828	2,045	2
FS-1522S	3.38		2,390		2,210				2,067			1,828	2,045	2
FS-1526S	4.02		2,810		2,630				2,487			1,819	2,045	3

単位:mm

FORTA <FSシリーズ2>

詳細寸法表(間口1790mm~2210mm)



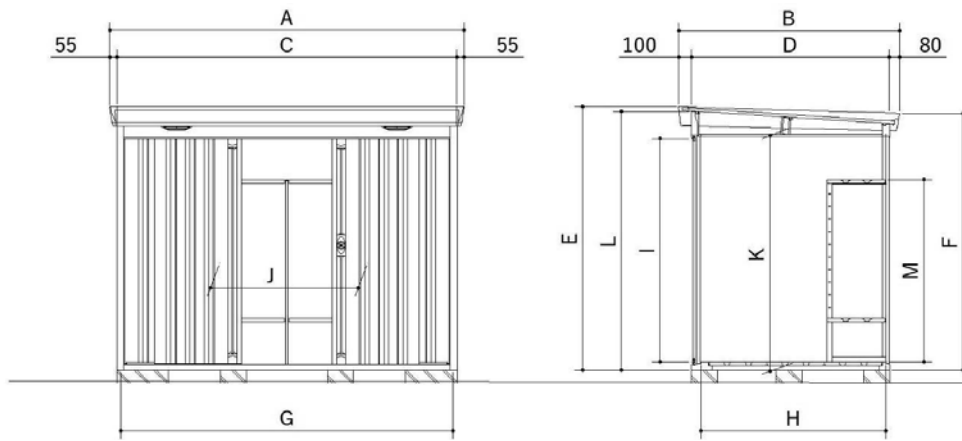
M: 棚板はS:346~1446まで12段調節
H:346~1746まで15段調節
(100mmピッチ)

機種	面積 (㎡)	屋根回り寸法		土台回り寸法		高さ寸法		内部寸法		開口部寸法		内高 K	軒高 L	母屋中 の本数
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J			
FS-1809S	1.70	1,900	1,130	1,790	950	2,085	2,030	1,733	807	1,770	954	1,872	2,045	0
FS-1814S	2.45		1,550		1,370	2,085	2,030		1,227	1,770		2,045	1	
FS-1814H														2,385
FS-1815S	2.74		1,710		1,530	2,085	2,030		1,387	1,770		2,045	1	
FS-1815H														2,385
FS-1818S	3.20		1,970		1,790	2,085	2,030		1,647	1,770		2,045	2	
FS-1818H														2,385
FS-1822S	3.96		2,390		2,210	2,085	2,030		2,067	1,770		2,045	2	
FS-1822H														2,385
FS-1826S	4.71		2,810		2,630	2,085	2,030		2,487	1,770		2,045	3	
FS-1826H		2,385		2,330				2,070			2,345			
FS-2209S	2.10	2,320	1,130	2,210	950	2,085	2,030	2,153	807	1,770	1,248	1,872	2,045	0
FS-2214S	3.03		1,550		1,370	2,085	2,030		1,227	1,770		2,045	1	
FS-2214H														2,385
FS-2215S	3.38		1,710		1,530	2,085	2,030		1,387	1,770		2,045	1	
FS-2215H														2,385
FS-2218S	3.96		1,970		1,790	2,085	2,030		1,647	1,770		2,045	2	
FS-2218H														2,385
FS-2222S	4.88		2,390		2,210	2,085	2,030		2,067	1,770		2,045	2	
FS-2222H														2,385
FS-2226S	5.81		2,810		2,630	2,085	2,030		2,487	1,770		2,045	3	
FS-2226H														2,385
FS-2230S	6.74		3,230		3,050	2,085	2,030		2,907	1,770		2,045	3	
FS-2230H														2,385

単位:mm

FORTA <FSシリーズ3>

詳細寸法表(間口2630mm~3050mm)



M: 棚板はS:346~1446まで12段調節
H:346~1746まで15段調節
(100mmピッチ)

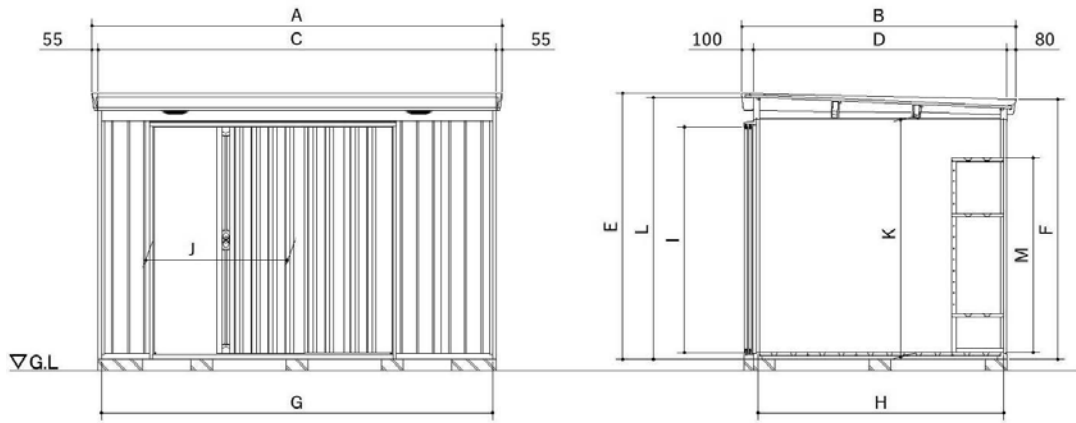
機種	面積 (㎡)	屋根回り寸法		土台回り寸法		高さ寸法		内部寸法		開口部寸法		内高 K	軒高 L	母屋中 の本数										
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J													
FS-2609S	2.50	2,740	1,130	2,630	950	2,085	2,030	2,573	842	1,770	1,143	1,872	2,045	0										
FS-2614S	3.60		1,550		1,370	2,085	2,030		1,262	1,770		1,844 多豪: 1,814	2,045	1										
FS-2614H															2,385	2,330	2,070	2,144 多豪: 2,114	2,345					
FS-2615S	4.02		1,710		1,530	2,085	2,030		1,422	1,770		1,844 多豪: 1,814	2,045	1										
FS-2615H															2,385	2,330	2,070	2,144 多豪: 2,114	2,345					
FS-2618S	4.71		1,970		1,790	2,085	2,030		1,682	1,770		1,828 多豪: 1,798	2,045	2										
FS-2618H															2,385	2,330	2,070	2,128 多豪: 2,098	2,345					
FS-2622S	5.81		2,390		2,210	2,085	2,030		2,102	1,770		1,828 多豪: 1,798	2,045	2										
FS-2622H															2,385	2,330	2,070	2,128 多豪: 2,098	2,345					
FS-2626S	6.92		2,810		2,630	2,085	2,030		2,522	1,770		1,819 多豪: 1,789	2,045	3										
FS-2626H															2,385	2,330	2,070	2,119 多豪: 2,089	2,345					
FS-2630S	8.02		3,230		3,050	2,085	2,030		2,942	1,770		1,819 多豪: 1,789	2,045	3										
FS-2630H		2,385		2,330				2,070			2,119 多豪: 2,089				2,345									
FS-3009S	2.90		3,160		1,130	3,050	950		2,085	2,030		2,993	842	1,770		1,353	1,872	2,045	0					
FS-3014S		4.18		1,550				1,370			2,085				2,030					1,262	1,770	1,814 多豪: 1,814	2,045	1
FS-3015S																								
FS-3018S		5.46		1,970				1,790			2,085				2,030					1,682	1,770	1,798 多豪: 2,098	2,045	2
FS-3018H																								
FS-3022S		6.74		2,390				2,210			2,085				2,030					2,102	1,770	1,798 多豪: 2,098	2,045	2
FS-3022H																								
FS-3026S		8.02		2,810				2,630			2,085				2,030					2,522	1,770	1,789 多豪: 2,089	2,045	3
FS-3026H																								
FS-3030S		9.30		3,230				3,050			2,085				2,030					2,942	1,770	1,789 多豪: 2,089	2,045	3
FS-3030H																								

単位:mm

詳細寸法表

FORTA <FSシリーズ4>

詳細寸法表(間口3540mm)



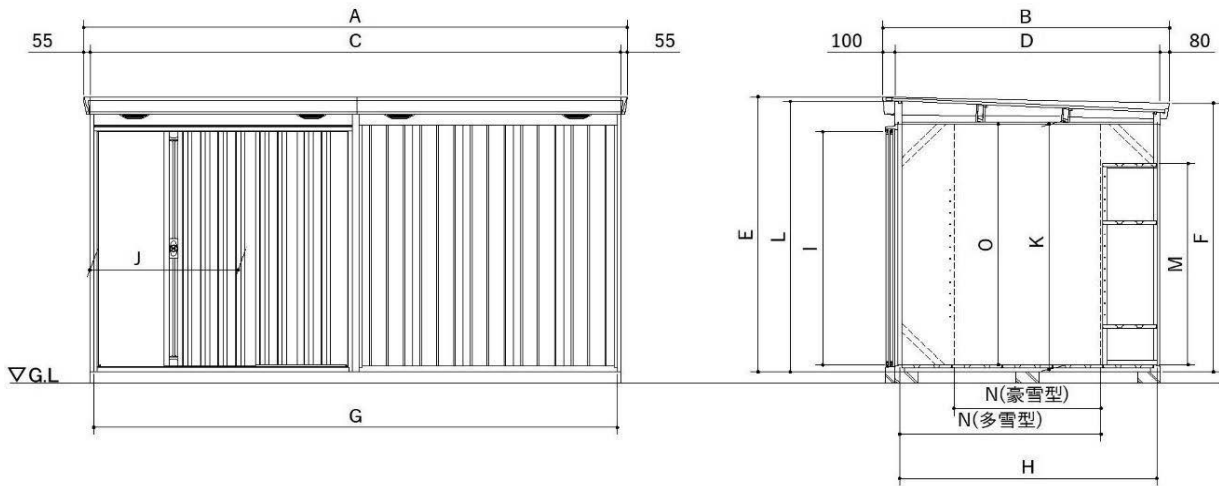
M: 棚板はS:346~1446まで12段調節
H:346~1746まで15段調節
(100mmピッチ)

機種	面積 (㎡)	屋根回り寸法		土台回り寸法		高さ寸法		内部寸法		開口部寸法		内高 K	軒高 L	母屋中 の本数
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J			
FS-3518S	6.21	3,580	1,970	3,470	1,790	2,085	2,030	3,413	1,724	1,723	1,236	1,798	2,045	2
FS-3518H						2,385	2,330			2,023		2,098	2,345	
FS-3522S	7.67		2,390		2,210	2,085	2,030		2,144	1,723		1,798	2,045	
FS-3522H						2,385	2,330			2,023		2,098	2,345	
FS-3526S	9.13	2,810	2,630	2,085	2,030	2,564	1,723	1,789	2,045					
FS-3526H							2,385	2,330	2,023	2,089	2,345			

単位:mm

FORTA <FSシリーズ5>

詳細寸法表(間口3580mm~5260mm)



※多雪型は梁中補強パネルが1枚、豪雪型は梁中補強パネルが2枚付きます。

L: 軒高2345

O: 梁中下内高2088

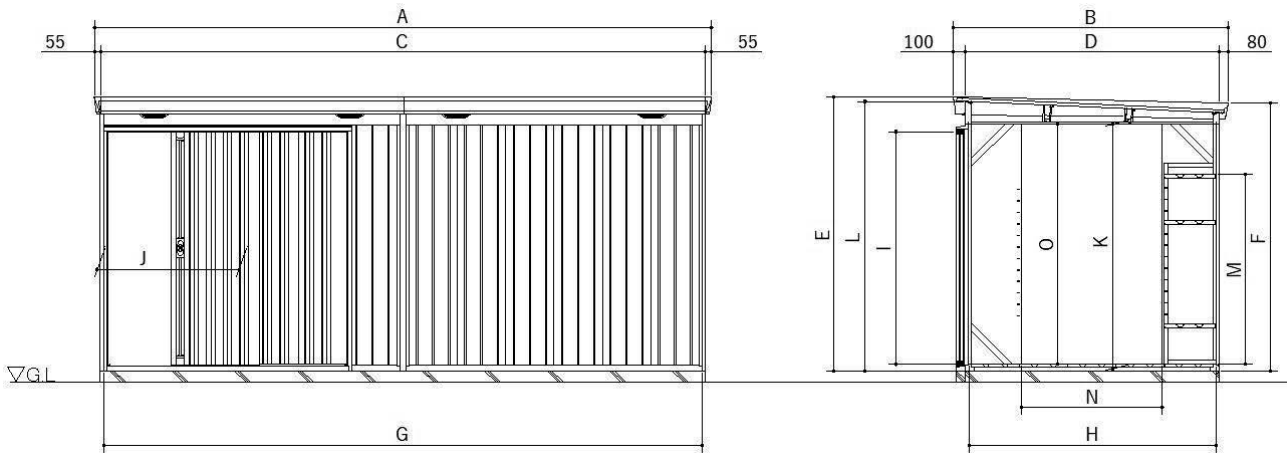
M: 棚板は一般型:346~1746まで15段調節 多雪・豪雪型:346~1646まで14段調節 (100mmピッチ)

機種	面積 (㎡)	屋根回り寸法		土台回り寸法		高さ寸法		内部寸法			開口部寸法		内高 K	母屋中 の本数
		A	B	C	D	E	F	G	H	N	I	J		
FS-3618H	6.41		1,970		1,790	2,385			1,717	多: 1,240 豪: 801			一多: 2,128 豪: 2,098	2×2
FS-3622H	7.91	3,690	2,390	3,580	2,210	2,385	2,330	3,523	2,137	多: 1,660 豪: 1,221	2,023	954	一多: 2,128 豪: 2,098	2×2
FS-3626H	9.42		2,810		2,630	2,385			2,557	多: 2,080 豪: 1,641			一多: 2,119 豪: 2,089	3×2
FS-4418H	7.91	4,530	1,970	4,420	1,790	2,385	2,330	4,363	1,717	多: 1,240 豪: 801	2,023	一多: 1,236 豪: 954	一: 2,128 多豪: 2,098	2×2
FS-4422H	9.77		2,390		2,210	2,385			2,137	多: 1,660 豪: 1,221		一多: 1,236 豪: 954	一: 2,128 多豪: 2,098	2×2
FS-5218H	9.42	5,370	1,970	5,260	1,790	2,385	2,330	5,203	1,717	多: 1,240 豪: 801	2,023	一多: 1,236 豪: 954	一: 2,128 多豪: 2,098	2×2

単位: mm

FORTA 大型 <FBシリーズ>

詳細寸法表



L: 軒高2345

M: 棚板は346~1646まで14段調節 (100mmピッチ)

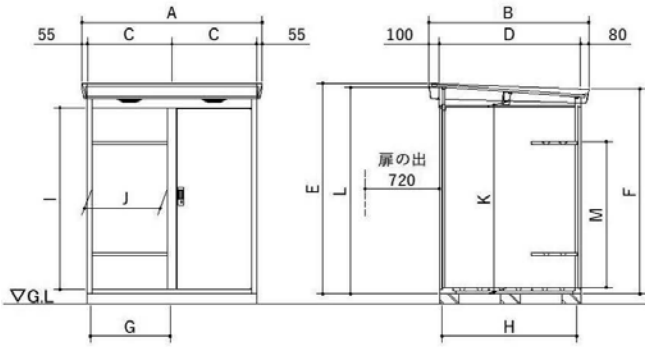
O: 梁中下内高2088

機種	面積 (㎡)	屋根回り寸法		土台回り寸法		高さ寸法		内部寸法			開口部寸法		内高 K	母屋中 の本数
		A	B	C	D	E	F	G	H	N	I	J		
FB-3630H	10.92	3,690	3,230	3,580	3,050	2,385	2,330	3,523	2,977	2,061	2,023	954	一多: 2,119 豪: 2,089	3×2
FB-4426H	11.62	4,530	2,810	4,420	2,630	2,385	2,330	4,363	2,557	1,641	2,023	一多: 1,236 豪: 954	一多: 2,119 多豪: 2,089	3×2
FB-4430H	13.48		3,230		3,050				2,977	2,061		一多: 1,236 豪: 954	一多: 2,119 多豪: 2,089	3×2
FB-4435H	15.34		3,650		3,470				3,397	2,481		1,236	2,114	4×2
FB-5222H	11.62		2,390		2,210				2,137	1,221		一多: 1,236 豪: 954	一多: 2,128 多豪: 2,098	2×2
FB-5226H	13.83	5,370	2,810	5,260	2,630	2,385	2,330	5,203	2,557	1,641	2,023	一多: 1,236 豪: 954	一多: 2,119 多豪: 2,089	3×2
FB-5230H	16.04		3,230		3,050				2,977	2,061		一多: 1,236 豪: 954	一多: 2,119 多豪: 2,089	3×2
FB-5235H	18.25		3,650		3,470				3,397	2,481		1,236	2,114	4×2
FB-6122H	13.48		2,390		2,210				2,137	1,221		一多: 1,236 豪: 954	2,098	2×2
FB-6126H	16.04	6,210	2,810	6,100	2,630	2,385	2,330	6,043	2,557	1,641	2,023	一多: 1,236 豪: 954	2,089	3×2
FB-6130H	18.61		3,230		3,050				2,977	2,061		一多: 1,236 豪: 954	2,089	3×2
FB-6135H	21.17		3,650		3,470				3,397	2,481		1,236	2,084	4×2
FB-6926H	18.25		2,810		2,630				2,557	1,641		2,023	1,236	2,089
FB-6930H	21.17	3,230	3,050	2,977	2,061									
FB-6935H	24.08	3,650	3,470	3,397	2,481									

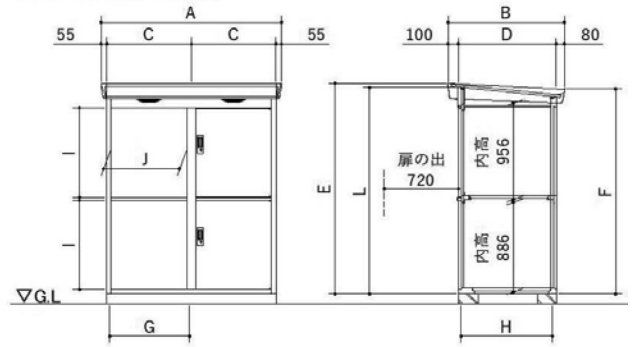
単位: mm

FORTA ドア連続〈FDシリーズ〉

詳細寸法表



<FD-1809WLの場合>



L: 軒高2045

M: 棚板は346~1446まで12段調節 (100mmピッチ)

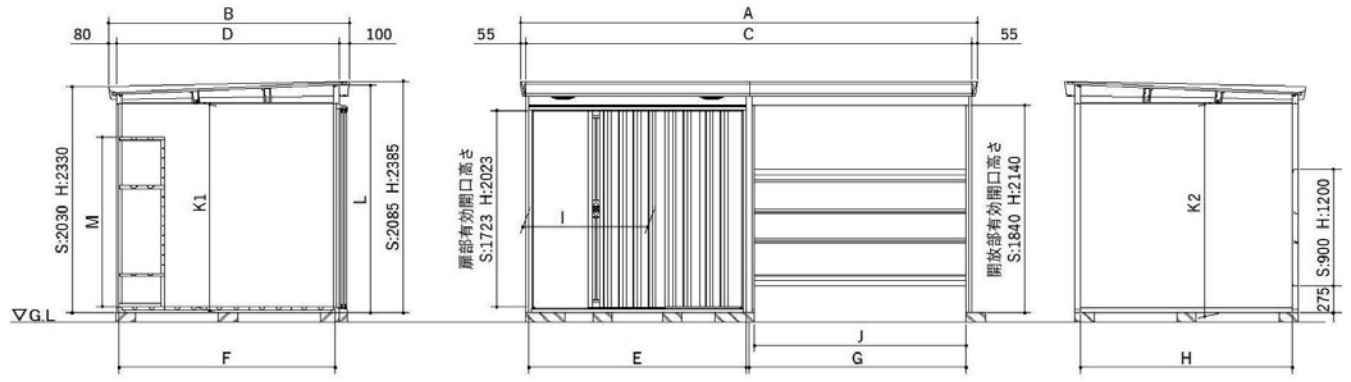
機種	面積 (m ²)	屋根回り寸法		土台回り寸法		高さ寸法		内部寸法		開口部寸法		内高 K	母屋中 の本数
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J		
FD-0808L-N	0.67 × N	820 × N+110	1,000	820	820	2,085	2,030	763	762	1,760	685	1,872	0
FD-0809L-N	0.78 × N		1,130						950			1,872	0
FD-0814L-N	1.12 × N		1,550						1,370			1,844	1
FD-0815L-N	1.25 × N		1,710						1,530			1,844	1
FD-0909L-N	0.90 × N	950 × N+110	1,130	950	950	2,085	2,030	893	892	1,760	685	1,872	0
FD-0914L-N	1.30 × N		1,550						1,370			1,844	1
FD-0915L-N	1.45 × N		1,710						1,530			1,844	1
FD-0809WL-N	0.78 × N	820 × N+110	1,130	820	950	2,085	2,030	763	892	846	685	上図	0

N: 連棟数

単位:mm

FORTA WITH <FWシリーズ>

詳細寸法表



L: 軒高 S:2045 H:2345

M: 棚板はS:346~1446まで12段調節 H:346~1746まで15段調節 (100mmピッチ)

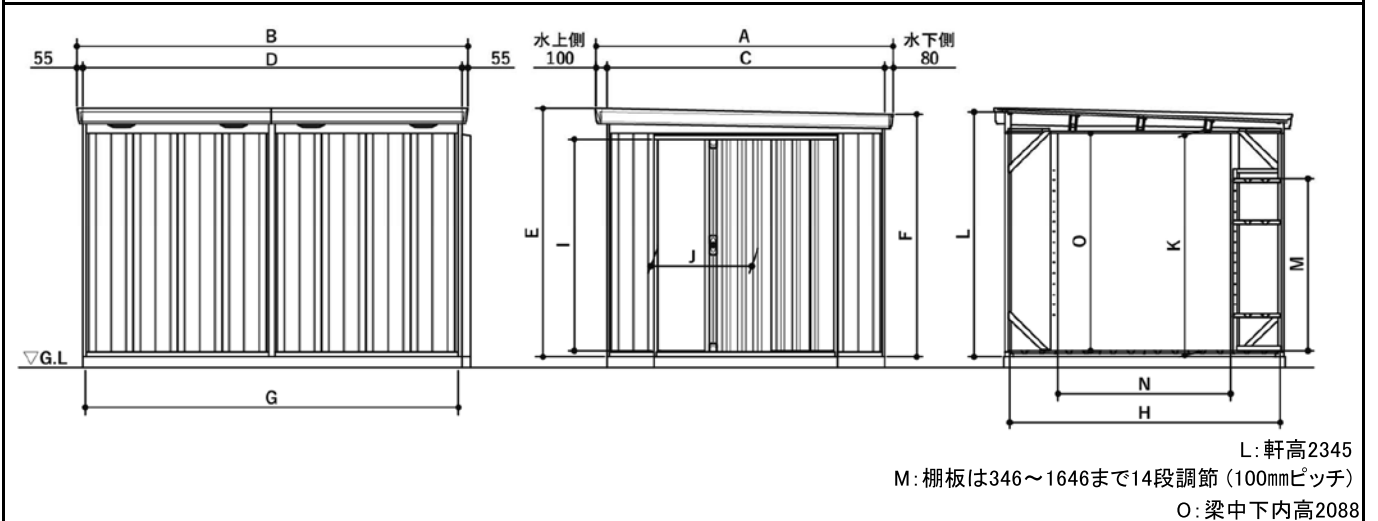
機種	面積 (m ²)	屋根回り寸法		土台回り寸法		内部寸法				開口寸法		内高		母屋中の本数
						物置		開放		物置		開放		
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K1	K2	
FW-1818+15KS	5.94	3,430		3,320				1,473			1,420			
FW-15K+1818S														
FW-1818+18KS	6.41	3,690	1,970	3,580	1,790	1,733	1,725	1,733	1,680	954	1,680	1,828	1,890	2×2
FW-18K+1818S														
FW-1818+22KS	7.16	4,110		4,000				2,153			2,100			
FW-22K+1818S														
FW-1822+15KS	7.34	3,430		3,320				1,473			1,420			
FW-15K+1822S														
FW-1822+18KS	7.91	3,690	2,390	3,580	2,210	1,733	2,145	1,733	2,100	954	1,680	1,828	1,890	2×2
FW-18K+1822S														
FW-1822+22KS	8.84	4,110		4,000				2,153			2,100			
FW-22K+1822S														
FW-2218+15KS	6.69	3,850		3,740				1,473			1,420			
FW-15K+2218S														
FW-2218+18KS	7.16	4,110	1,970	4,000	1,790	2,153	1,725	1,733	1,680	1,236	1,680	—:1,828 多:1,798	—:1,890 多:1,860	2×2
FW-18K+2218S														
FW-2218+22KS	7.91	4,530		4,420				2,153			2,100			
FW-22K+2218S														
FW-2222+15KS	8.27	3,850		3,740				1,473			1,420			
FW-15K+2222S														
FW-2222+18KS	8.84	4,110	2,390	4,000	2,210	2,153	2,145	1,733	2,100	1,236	1,680	—:1,828 多:1,798	—:1,890 多:1,860	2×2
FW-18K+2222S														
FW-2222+22KS	9.77	4,530		4,420				2,153			2,100			
FW-22K+2222S														
FW-1818+15KH	5.94	3,430		3,320				1,473			1,420			
FW-15K+1818H														
FW-1818+18KH	6.41	3,690	1,970	3,580	1,790	1,733	1,725	1,733	1,680	954	1,680	2,128	2,190	2×2
FW-18K+1818H														
FW-1818+22KH	7.16	4,110		4,000				2,153			2,100			
FW-22K+1818H														
FW-1822+15KH	7.34	3,430		3,320				1,473			1,420			
FW-15K+1822H														
FW-1822+18KH	7.91	3,690	2,390	3,580	2,210	1,733	2,145	1,733	2,100	954	1,680	2,128	2,190	2×2
FW-18K+1822H														
FW-1822+22KH	8.84	4,110		4,000				2,153			2,100			
FW-22K+1822H														
FW-2218+15KH	6.69	3,850		3,740				1,473			1,420			
FW-15K+2218H														
FW-2218+18KH	7.16	4,110	1,970	4,000	1,790	2,153	1,725	1,733	1,680	1,236	1,680	—:2,128 多:2,098	—:2,190 多:2,160	2×2
FW-18K+2218H														
FW-2218+22KH	7.91	4,530		4,420				2,153			2,100			
FW-22K+2218H														
FW-2222+15KH	8.27	3,850		3,740				1,473			1,420			
FW-15K+2222H														
FW-2222+18KH	8.84	4,110	2,390	4,000	2,210	2,153	2,145	1,733	2,100	1,236	1,680	—:2,128 多:2,098	—:2,190 多:2,160	2×2
FW-18K+2222H														
FW-2222+22KH	9.77	4,530		4,420				2,153			2,100			
FW-22K+2222H														

単位:mm

詳細寸法表

FORTA 縦長大型 <FTシリーズ>

詳細寸法表

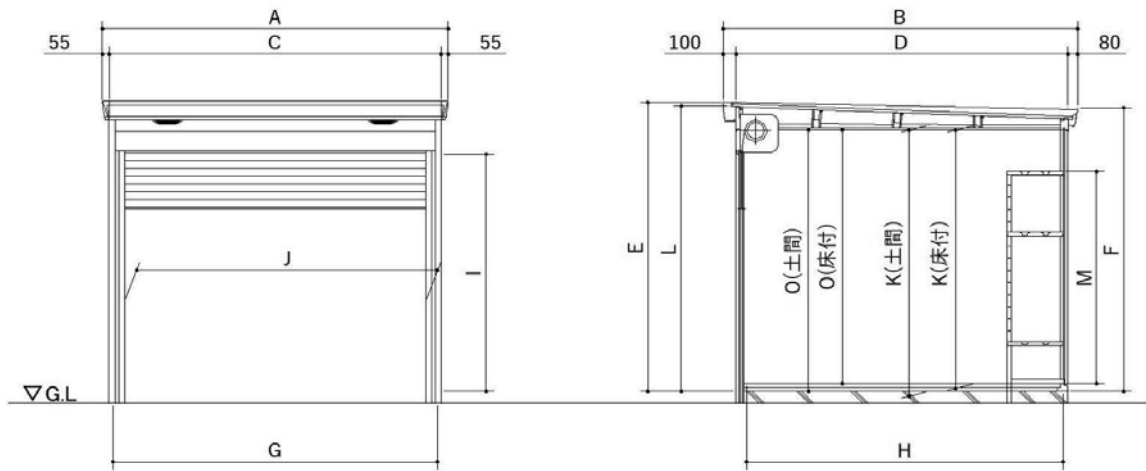


機種	面積 (m ²)	屋根回り寸法		土台回り寸法		高さ寸法		内部寸法			開口部寸法		内高 K	母屋中 の本数
		A	B	C	D	E	F	G	H	N	I	J		
FT-2636H	9.42	2,810	3,690	2,630	3,580	2,385	2,330	3,523	2,557	多: 豪: 2,080 1,641	2,023	954	一多: 豪: 2,119 2,089	3×2
FT-2644H	11.62		4,530		4,420			4,363		1,641			2,089	
FT-2652H	13.83		5,370		5,260			5,203						
FT-3036H	10.92	3,230	3,690	3,050	3,580	2,385	2,330	3,523	2,977	2,061	2,023	954	一多: 豪: 2,119 2,089	3×2
FT-3044H	13.48		4,530		4,420			4,363						
FT-3052H	16.04		5,370		5,260			5,203						
FT-3061H	18.61		6,210		6,100			6,043						

単位:mm

ドマール 〈FFシリーズ〉

詳細寸法表



M: 棚板は346~1746まで15段調節
(100mmピッチ)

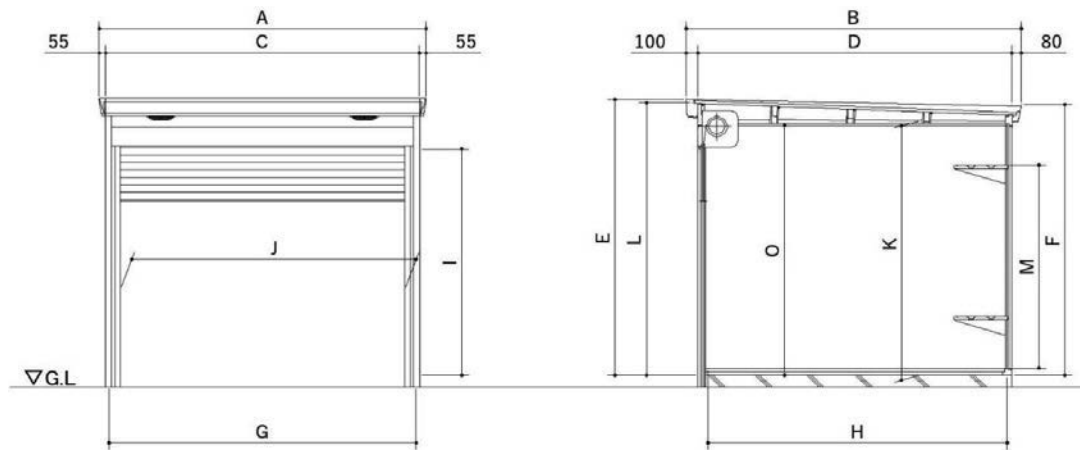
機種	面積 (㎡)	屋根回り寸法		土台回り寸法		高さ寸法		内部寸法		開口部寸法		内高 K	梁中下 O	軒高 L	母屋中 の本数
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J				
FF-2214HD	3.03	2,320	1,550	2,210	1,370	2,385	2,330	2,053	1,206	1,948	1,964	—: 2,206 多: 2,176	2,150	2,345	1
FF-2214HY								2,153	1,248	1,886		—: 2,144 多: 2,114			
FF-2218HD	3.96	1,970	1,790	2,385	2,330	2,385	2,330	2,053	1,626	1,948	1,964	—: 2,190 多: 2,160	2,150	2,345	2
FF-2218HY								2,153	1,668	1,886		—: 2,128 多: 2,098			
FF-2618HD	4.71	2,740	1,970	2,630	1,790	2,385	2,330	2,473	1,626	1,948	2,384	—: 2,190 多: 2,160	2,150	2,345	2
FF-2618HY								2,573	1,668	1,886		—: 2,128 多: 2,098			
FF-2622HD	5.81	2,390	2,210	2,385	2,330	2,385	2,330	2,473	2,046	1,948	2,384	—: 2,190 多: 2,160	2,150	2,345	2
FF-2622HY								2,573	2,088	1,886		—: 2,128 多: 2,098			
FF-2626HD	6.92	2,740	2,810	2,630	2,385	2,330	2,330	2,473	2,466	1,948	2,384	—: 2,181 多: 2,151	2,150	2,345	3
FF-2626HY								2,573	2,508	1,886		—: 2,119 多: 2,089			
FF-2630HD	8.02	3,230	3,050	2,385	2,330	2,385	2,330	2,473	2,886	1,948	2,384	—: 2,181 多: 2,151	2,150	2,345	3
FF-2630HY								2,573	2,928	1,886		—: 2,119 多: 2,089			
FF-3026HD	8.02	3,160	2,810	3,050	2,630	2,385	2,330	2,893	2,466	1,948	2,804	2,151	2,150	2,345	3
FF-3026HY								2,993	2,508	1,886		2,089			
FF-3030HD	9.30	3,230	3,050	3,050	2,385	2,330	2,330	2,893	2,886	1,948	2,804	2,151	2,150	2,345	3
FF-3030HY								2,993	2,928	1,886		2,089			
FF-3035HD	10.58	3,650	3,470	2,385	2,330	2,385	2,330	2,893	3,306	1,948	2,804	2,146	2,150	2,345	4
FF-3035HY								2,993	3,348	1,886		2,084			

単位: mm

詳細寸法表

バイク保管庫 <FMシリーズ1>

詳細寸法表(土間)



M: 棚板はS:346~1446まで12段調節
H:346~1746まで15段調節
(100mmピッチ)

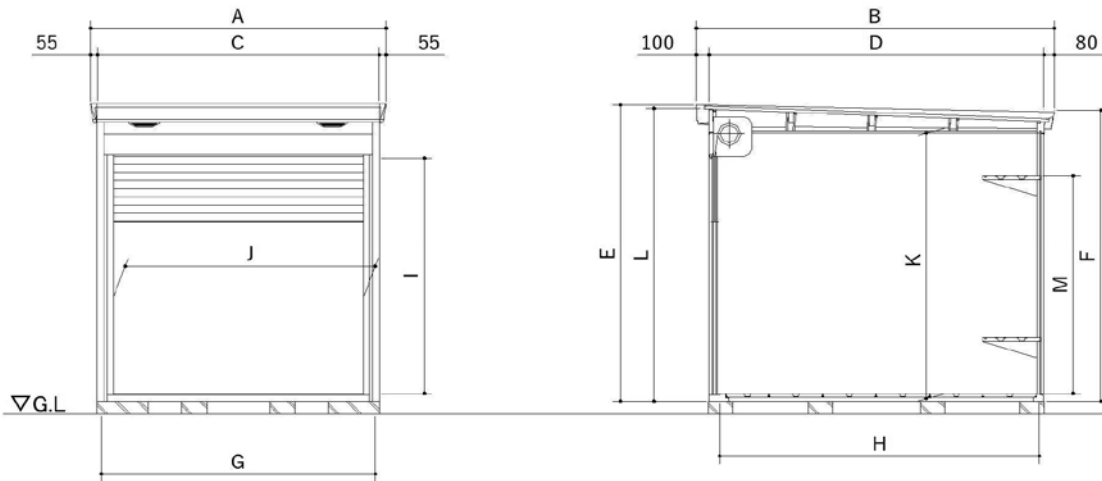
機種	面積 (㎡)	屋根回り寸法		土台回り寸法		高さ寸法		内部寸法		開口部寸法		内高 K	梁中下 O	軒高 L	母屋中 の本数
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J				
FM-1422SD	3.03	1,480	2,390	1,370	2,210	2,085	2,030	1,213	2,046	1,648	1,124	1,890	1,850	2,045	2
FM-1422HD						2,385	2,330			1,948		2,190	2,150	2,345	
FM-1426SD	3.60		2,810		2,630	2,085	2,030		2,466	1,648		1,881	1,850	2,045	3
FM-1426HD						2,385	2,330			1,948		2,181	2,150	2,345	
FM-1526SD	4.02	1,640	2,810	1,530	2,630	2,085	2,030	1,373	2,466	1,648	1,284	1,881	1,850	2,045	3
FM-1526HD						2,385	2,330			1,948		2,181	2,150	2,345	
FM-1530SD	4.67		3,230		3,050	2,085	2,030		2,886	1,648		1,881	1,850	2,045	3
FM-1530HD						2,385	2,330			1,948		2,181	2,150	2,345	
FM-1826SD	4.71	1,900	2,810	1,790	2,630	2,085	2,030	1,633	2,466	1,648	1,544	1,881	1,850	2,045	3
FM-1826HD						2,385	2,330			1,948		2,181	2,150	2,345	
FM-1830SD	5.46		3,230		3,050	2,085	2,030		2,886	1,648		1,881	1,850	2,045	3
FM-1830HD						2,385	2,330			1,948		2,181	2,150	2,345	
FM-2226SD	5.81		2,810	2,210	2,630	2,085	2,030	2,053	2,466	1,648		一: 1,881 多: 1,851	1,850	2,045	3
FM-2226HD						2,385	2,330			1,948		一: 2,181 多: 2,151	2,150	2,345	
FM-2230SD	6.74	2,320	3,230	2,210	3,050	2,085	2,030	2,053	2,886	1,648	1,964	一: 1,881 多: 1,851	1,850	2,045	3
FM-2230HD						2,385	2,330			1,948		一: 2,181 多: 2,151	2,150	2,345	
FM-2235SD	7.67		3,650	2,210	3,470	2,085	2,030	2,053	3,306	1,648		一: 1,876 多: 1,846	1,850	2,045	4
FM-2235HD						2,385	2,330			1,948		一: 2,176 多: 2,146	2,150	2,345	
FM-2626SD	6.92		2,810	2,630	2,630	2,085	2,030	2,473	2,466	1,648		一: 1,881 多: 1,851	1,850	2,045	3
FM-2626HD						2,385	2,330			1,948		一: 2,181 多: 2,151	2,150	2,345	
FM-2630SD	8.02	2,740	3,230	2,630	3,050	2,085	2,030	2,473	2,886	1,648	2,384	一: 1,881 多: 1,851	1,850	2,045	3
FM-2630HD						2,385	2,330			1,948		一: 2,181 多: 2,151	2,150	2,345	
FM-2635SD	9.13		3,650	2,630	3,470	2,085	2,030	2,473	3,306	1,648		一: 1,876 多: 1,846	1,850	2,045	4
FM-2635HD						2,385	2,330			1,948		一: 2,176 多: 2,146	2,150	2,345	

単位:mm

詳細寸法表

バイク保管庫 <FMシリーズ2>

詳細寸法表(バイク床付)



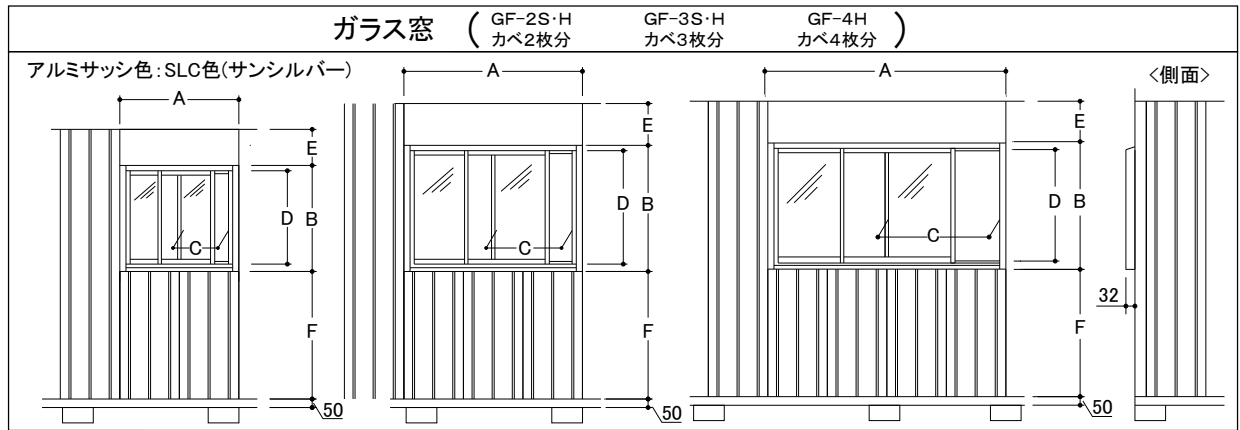
L: 軒高2345
M: 棚板は346~1746まで15段調節
(100mmピッチ)

機種	面積 (㎡)	屋根回り寸法		土台回り寸法		高さ寸法		内部寸法		開口部寸法		内高 K	母屋中 の本数
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J		
FM-1422HY	3.03	1,480	2,390	1,370	2,210	2,385	2,330	1,313	2,088	1,886	1,124	2,128	2
FM-1426HY	3.60		2,810		2,630				2,508				
FM-1826HY	4.71	1,900	2,810	1,790	2,630	2,385	2,330	1,733	2,508	1,886	1,544	2,119	3
FM-1830HY	5.46		3,230		3,050				2,928				
FM-2226HY	5.81	2,320	2,810	2,210	2,630	2,385	2,330	2,153	2,508	1,886	1,964	一: 2,119 多: 2,089	3
FM-2230HY	6.74		3,230		3,050		2,330		2,928			一: 2,119 多: 2,089	
FM-2235HY	7.67		3,650		3,470		2,330		3,348			一: 2,114 多: 2,084	

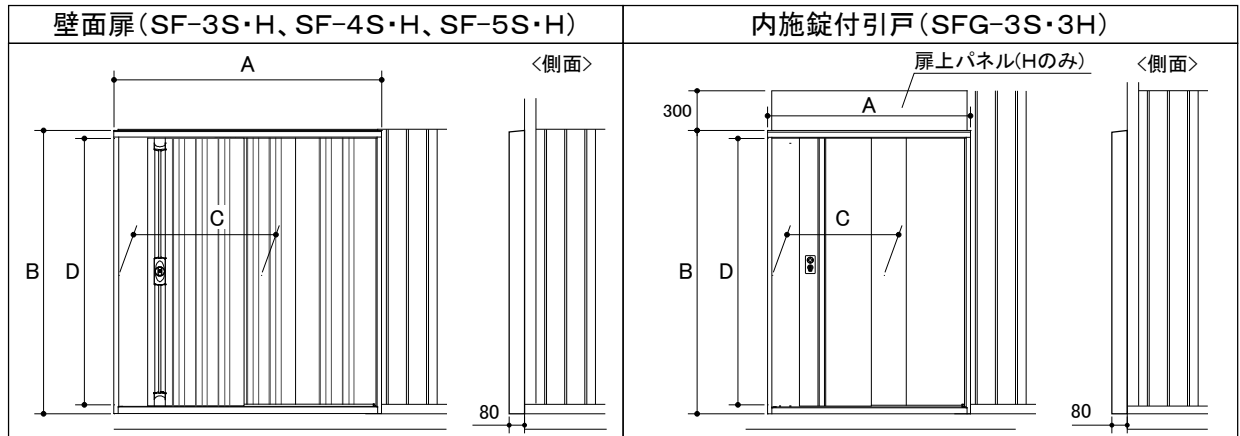
単位: mm

〈FORTAオプション1〉

詳細寸法表

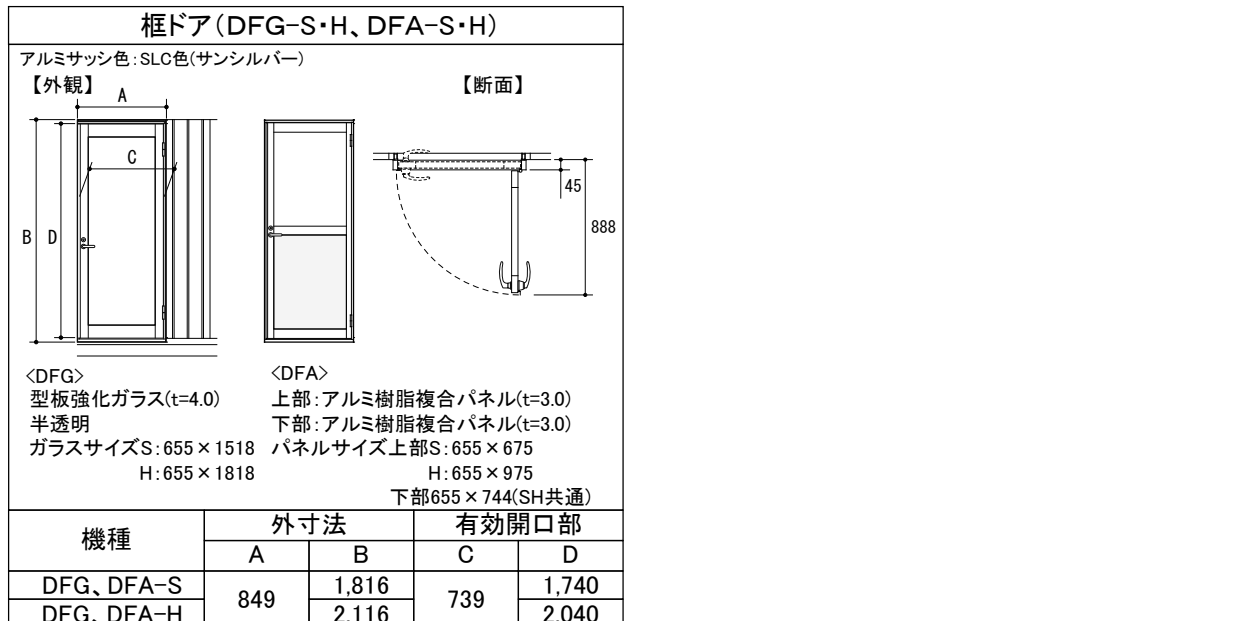


種類	外寸法		有効開口部		窓上	壁	ガラスの寸法	枚数	アミ戸外寸法
	A	B	C	D	E	F	型板ガラス 厚さ4mm		
GF-2S	840	640	341 ^{逆側 294}	550	250	900	345×496	2	387×580
GF-2H						1,200			
GF-3S	1,260	890	551 ^{逆側 507}	800	—	900	555×746	2	597×830
GF-3H					300				
GF-4H	1,680		761 ^{逆側 717}		300		765×746	2	807×830



機種	外寸法		有効開口部		機種	外寸法		有効開口部	
	A	B	C	D		A	B	C	D
SF-3S	1,314	1,840	671	1,723	SFG-3S	1,314	1,840	685	1,723
SF-3H		2,140		2,023					
SF-4S	1,734	1,840	954	1,723	SFG-3H	1,314	1,840	685	1,723
SF-4H		2,140		2,023					
SF-5S	2,154	1,840	1,236	1,723					
SF-5H		2,140		2,023					

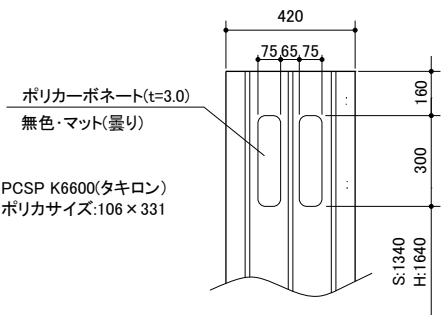
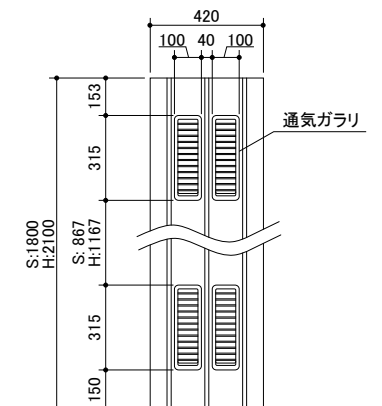
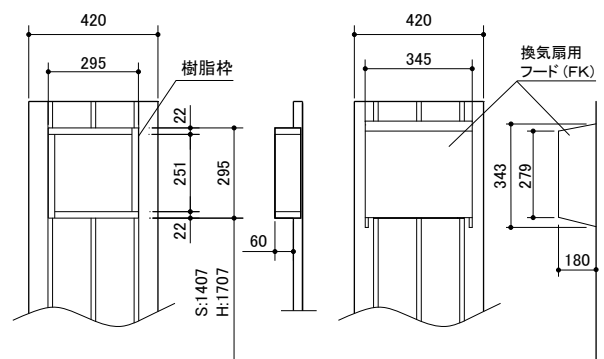
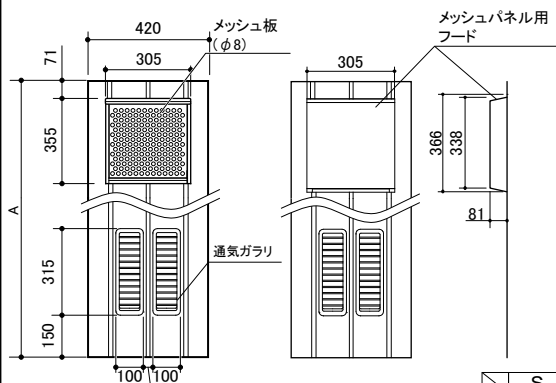
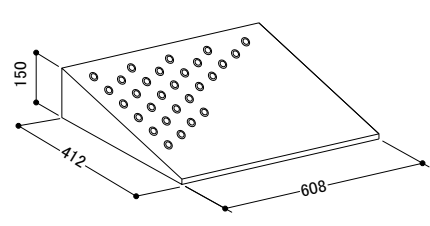
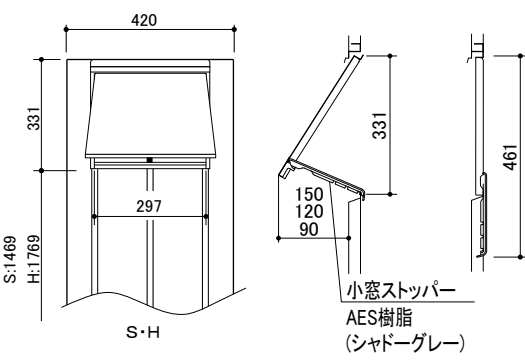
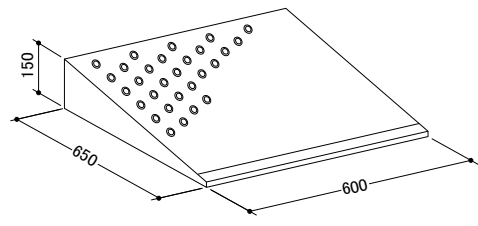
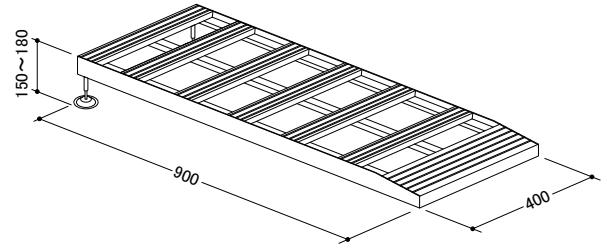
(単位:mm)



詳細寸法表

〈FORTAオプション2〉

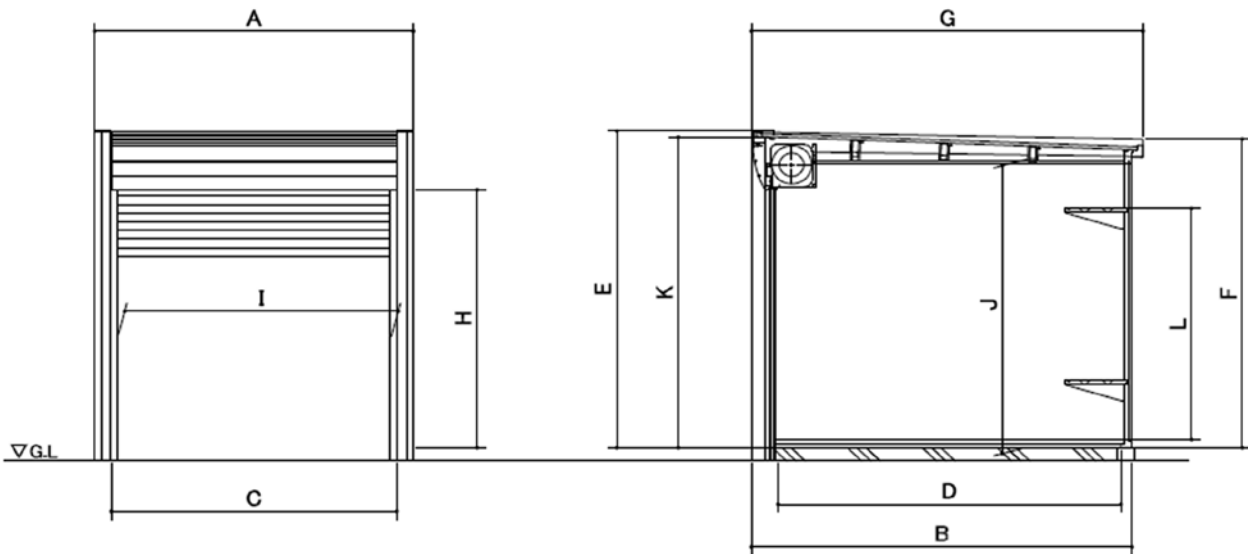
詳細寸法表

採光壁(KSF-S・H)	通気パネル(KTF-S・H)						
 <p>ポリカーボネート(t=3.0) 無色・マット(曇り)</p> <p>PCSP K6600(タキロン) ポリカサイズ:106×331</p>	 <p>通気ガラリ</p>						
フード付20cm換気扇用穴あきパネル(KXF-FS・FH)	メッシュ付壁パネル(KMF-S・H)						
 <p>樹脂枠</p> <p>換気扇用フード(FK)</p>	 <p>メッシュ板(φ8)</p> <p>メッシュパネル用フード</p> <p>通気ガラリ</p> <table border="1" data-bbox="1276 1120 1420 1176"> <tr> <td></td> <td>S</td> <td>H</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>1,800</td> <td>2,100</td> </tr> </table>		S	H	A	1,800	2,100
	S	H					
A	1,800	2,100					
段差スロープ	小窓パネル(KKF-S・H)						
<p>アンチスリップ鋼板 板厚2.3mm</p> 	 <p>小窓ストッパー AES樹脂 (シャドーグレー)</p>						
バイク用スロープ	アルミスロープ						
<p>アンチスリップ鋼板 板厚2.3mm 連結可能 バイク重量400kgまで</p> 	<p>バイク重量300kgまで</p> 						

(単位:mm)

アルシアフィット <DMシリーズ>

詳細寸法表

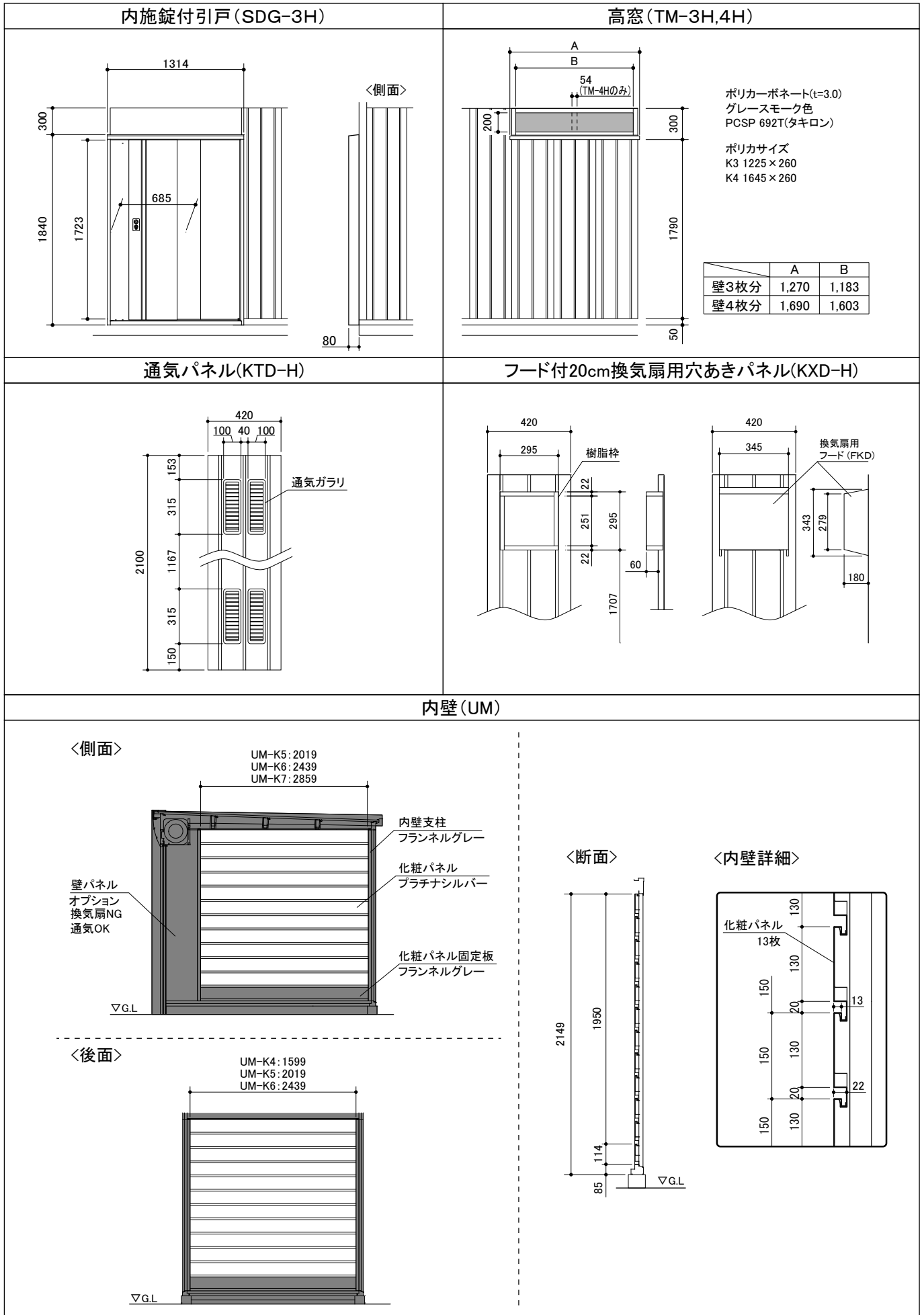


L: 棚板は346~1746まで15段調節
(100mmピッチ)

機種	面積 (m ²)	外寸法		内寸法		高さ寸法		屋根部寸法	開口部寸法		内高	軒高	母屋中 の本数
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	
DM-1826HD	4.90	1,870	2,735	1,633	2,466	2,391	2,330	2,815	1,948	1,544	2,181	2,345	3
DM-1830HD	5.65		3,155		2,886			3,235					
DM-2226HD	6.04	2,290	2,735	2,053	2,466	2,391	2,330	2,815	1,948	1,964	一: 2,181 多豪: 2,151	2,345	3
DM-2230HD	6.97		3,155		2,886			3,235			一: 2,181 多豪: 2,151		
DM-2235HD	7.90		3,575		3,306			3,655			2,176		
DM-2626HD	7.19		2,735		2,466			2,815			一: 2,181 多豪: 2,151		
DM-2630HD	8.30	2,710	3,155	2,473	2,886	2,391	2,330	3,235	1,948	2,384	一: 2,181 多豪: 2,151	2,345	3
DM-2635HD	9.40		3,575		3,306			3,655			2,176		

単位:mm

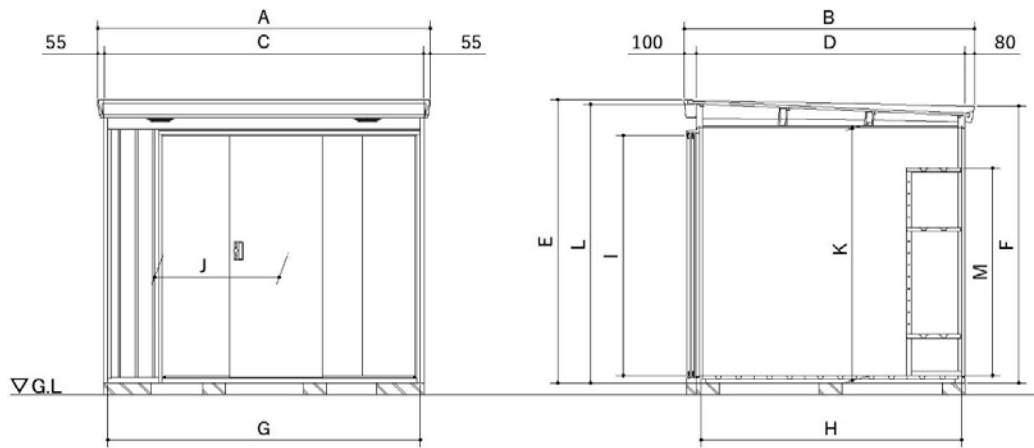
〈DMオプション〉



(単位:mm)

FORTAプラス <FP-T(扉)シリーズ1>

詳細寸法表(間口1790mm~2630mm)



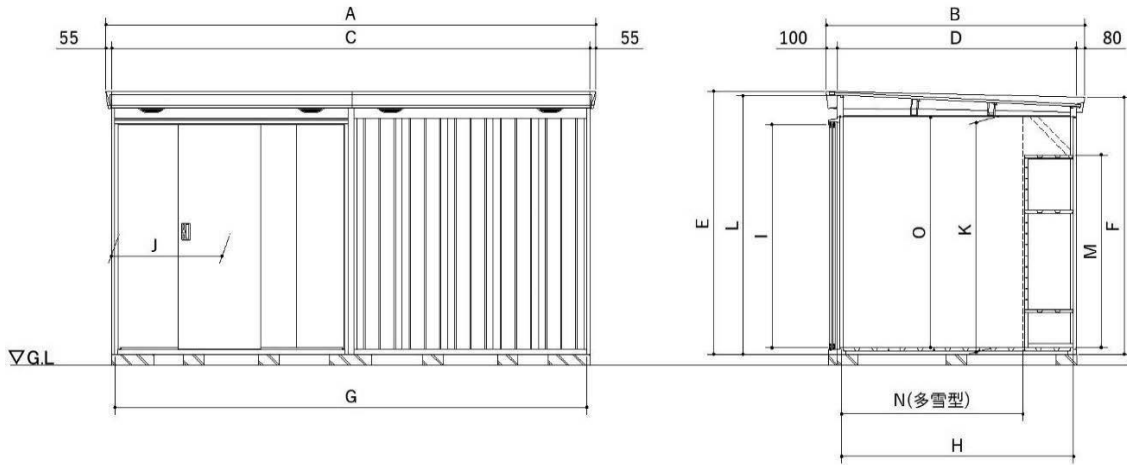
M: 棚板はS:346~1446まで12段調節
H:346~1746まで15段調節
(100mmピッチ)

機種	面積 (㎡)	屋根回り寸法		土台回り寸法		高さ寸法		内部寸法		開口部寸法		内高 K	軒高 L	母屋中 の本数
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J			
FP-1814ST	2.45	1,900	1,550	1,790	1,370	2,085	2,030	1,733	1,313	1,723	964	1,783	2,045	1
FP-1814HT							2,385			2,330				
FP-1818ST	3.20	1,900	1,970	1,790	1,790	2,085	2,030	1,733	1,733	1,723	964	1,783	2,045	2
FP-1818HT										2,385		2,330		
FP-2214ST	3.03	2,320	1,550	2,210	1,370	2,085	2,030	2,153	1,313	1,723	1,246	1,783	2,045	1
FP-2214HT										2,385		2,330		
FP-2218ST	3.96	2,320	1,970	2,210	1,790	2,085	2,030	2,153	1,733	1,723	1,246	1,783	2,045	2
FP-2218HT										2,385		2,330		
FP-2222ST	4.88	2,320	2,390	2,210	2,210	2,085	2,030	2,153	2,153	1,723	1,246	1,783	2,045	2
FP-2222HT										2,385		2,330		
FP-2614ST	3.60	2,740	1,550	2,630	1,370	2,085	2,030	2,573	1,313	1,723	1,246	1,783	2,045	1
FP-2614HT										2,385		2,330		
FP-2618ST	4.71	2,740	1,970	2,630	1,790	2,085	2,030	2,573	1,733	1,723	1,246	1,783	2,045	2
FP-2618HT										2,385		2,330		
FP-2622ST	5.81	2,740	2,390	2,630	2,210	2,085	2,030	2,573	2,153	1,723	1,246	1,783	2,045	2
FP-2622HT										2,385		2,330		

単位:mm

FORTAプラス <FP-T(扉)シリーズ2>

詳細寸法表(間口3580mm~5260mm) 床面積10㎡以下



O: 梁中下内高2051

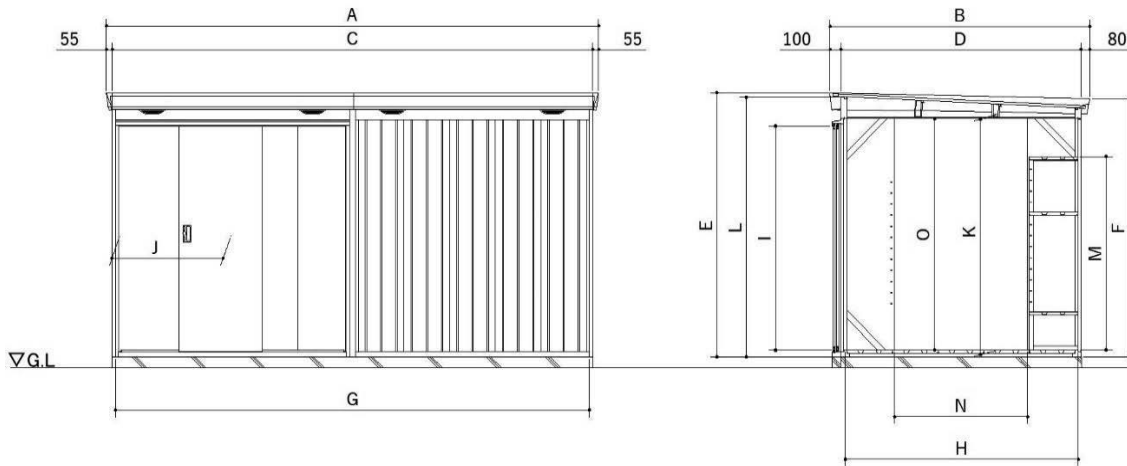
※多雪型は梁中補強パネルが1枚付きます。

M: 棚板は一般型:346~1746まで15段調節 多雪型:346~1646まで14段調節 (100mmピッチ)

機種	面積 (㎡)	屋根回り寸法		土台回り寸法		高さ寸法		内部寸法			開口部寸法		内高	軒高	母屋中の本数
		A	B	C	D	E	F	G	H	N(多雪)	I	J			
FP-3618HT	6.41		1,970		1,790				1,733	1,267					2×2
FP-3622HT	7.91	3,690	2,390	3,580	2,210	2,385	2,330	3,523	2,153	1,687	2,023	964	2,083	2,345	2×2
FP-3626HT	9.42		2,810		2,630				2,573	2,107					3×2
FP-4418HT	7.91	4,530	1,970	4,420	1,790	2,385	2,330	4,363	1,733	1,267	2,023	1,246	2,083	2,345	2×2
FP-4422HT	9.77		2,390		2,210				2,153	1,687					2×2
FP-5218HT	9.42	5,370	1,970	5,260	1,790	2,385	2,330	5,203	1,733	1,267	2,023	1,246	2,083	2,345	2×2

単位:mm

詳細寸法表(間口4420mm~5260mm) 床面積10㎡超



O: 梁中下内高2051

M: 346~1646まで14段調節 (100mmピッチ)

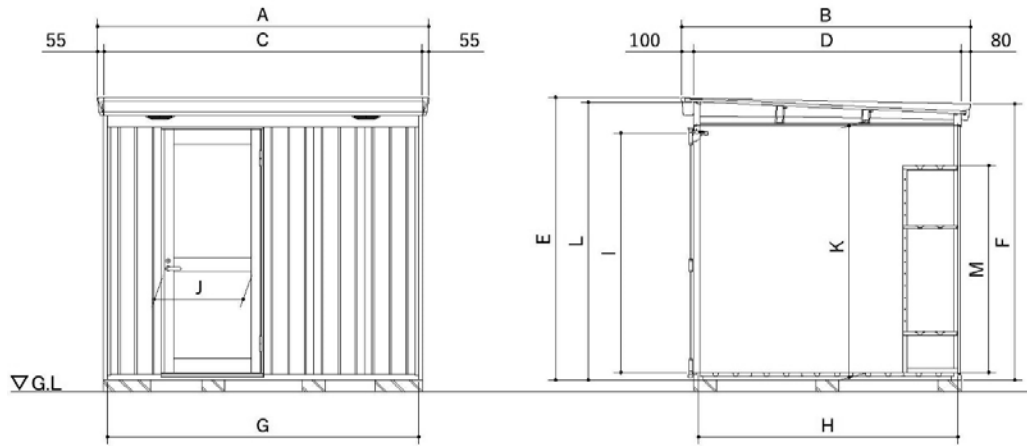
機種	面積 (㎡)	屋根回り寸法		土台回り寸法		高さ寸法		内部寸法			開口部寸法		内高	軒高	母屋中の本数
		A	B	C	D	E	F	G	H	N	I	J			
FP-4426HT	11.62	4,530	2,810	4,420	2,630	2,385	2,330	4,363	2,573	1,641	2,023	964	2,083	2,345	3×2
FP-5222HT	11.62	5,370	2,390	5,260	2,210	2,385	2,330	5,203	2,153	1,221	2,023	1,246	2,083	2,345	2×2
FP-5226HT	13.83		2,810		2,630				2,573	1,641					3×2

単位:mm

詳細寸法表

FORTAプラス <FP-D(ドア)シリーズ1>

詳細寸法表(間口1790mm~2630mm)



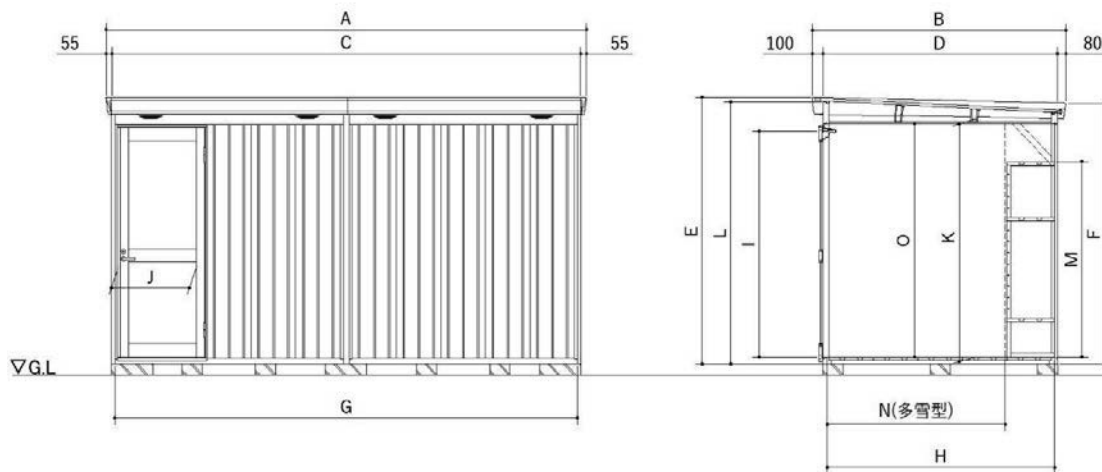
M: 棚板はS:346~1446まで12段調節
H:346~1746まで15段調節
(100mmピッチ)

機種	面積 (㎡)	屋根回り寸法		土台回り寸法		高さ寸法		内部寸法		開口部寸法		内高 K	軒高 L	母屋中 の本数
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J			
FP-1814SD	2.45	1,900	1,550	1,790	1,370	2,085	2,030	1,733	1,313	1,740	739	1,783	2,045	1
FP-1814HD							2,385			2,330		2,040	2,083	
FP-1818SD	3.20	1,970	1,970	1,790	1,790	2,085	2,030	1,733	1,733	1,740	739	1,783	2,045	2
FP-1818HD							2,385			2,330		2,040	2,083	
FP-2214SD	3.03	2,320	1,550	2,210	1,370	2,085	2,030	2,153	1,313	1,740	739	1,783	2,045	1
FP-2214HD							2,385			2,330		2,040	2,083	
FP-2218SD	3.96	2,320	1,970	2,210	1,790	2,085	2,030	2,153	1,733	1,740	739	1,783	2,045	2
FP-2218HD							2,385			2,330		2,040	2,083	
FP-2222SD	4.88	2,390	2,390	2,210	2,210	2,085	2,030	2,153	2,153	1,740	739	1,783	2,045	2
FP-2222HD							2,385			2,330		2,040	2,083	
FP-2614SD	3.60	2,740	1,550	2,630	1,370	2,085	2,030	2,573	1,313	1,740	739	1,783	2,045	1
FP-2614HD							2,385			2,330		2,040	2,083	
FP-2618SD	4.71	2,740	1,970	2,630	1,790	2,085	2,030	2,573	1,733	1,740	739	1,783	2,045	2
FP-2618HD							2,385			2,330		2,040	2,083	
FP-2622SD	5.81	2,390	2,390	2,210	2,210	2,085	2,030	2,153	2,153	1,740	739	1,783	2,045	2
FP-2622HD							2,385			2,330		2,040	2,083	

単位:mm

FORTAプラス <FP-D(ドア)シリーズ2>

詳細寸法表(間口3580mm~5260mm) 床面積10㎡以下



O: 梁中下内高2051

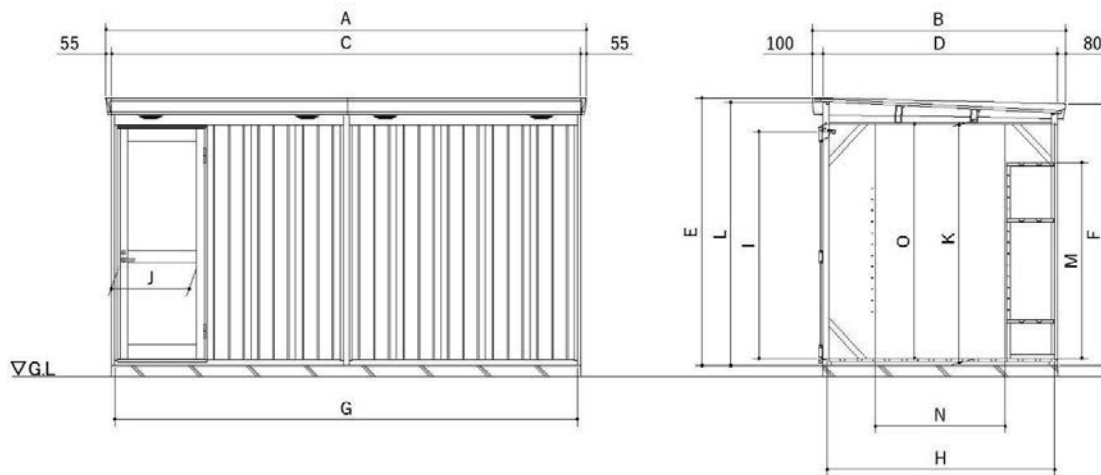
※多雪型は梁中補強パネルが1枚付きます。

M: 棚板は一般型:346~1746まで15段調節 多雪型:346~1646まで14段調節(100mmピッチ)

機種	面積 (㎡)	屋根回り寸法		土台回り寸法		高さ寸法		内部寸法			開口部寸法		内高	軒高	母屋中 の本数	
		A	B	C	D	E	F	G	H	N(多雪)	I	J				K
FP-3618HD	6.41		1,970		1,790				1,733	1,267						2×2
FP-3622HD	7.91	3,690	2,390	3,580	2,210	2,385	2,330	3,523	2,153	1,687	2,040	739	2,083	2,345	2×2	
FP-3626HD	9.42		2,810		2,630				2,573	2,107					3×2	
FP-4418HD	7.91	4,530	1,970	4,420	1,790	2,385	2,330	4,363	1,733	1,267	2,040	739	2,083	2,345	2×2	
FP-4422HD	9.77		2,390		2,210				2,153	1,687					2×2	
FP-5218HD	9.42	5,370	1,970	5,260	1,790	2,385	2,330	5,203	1,733	1,267	2,040	739	2,083	2,345	2×2	

単位:mm

詳細寸法表(間口4420mm~5260mm) 床面積10㎡超



O: 梁中下内高2051

M: 346~1646まで14段調節(100mmピッチ)

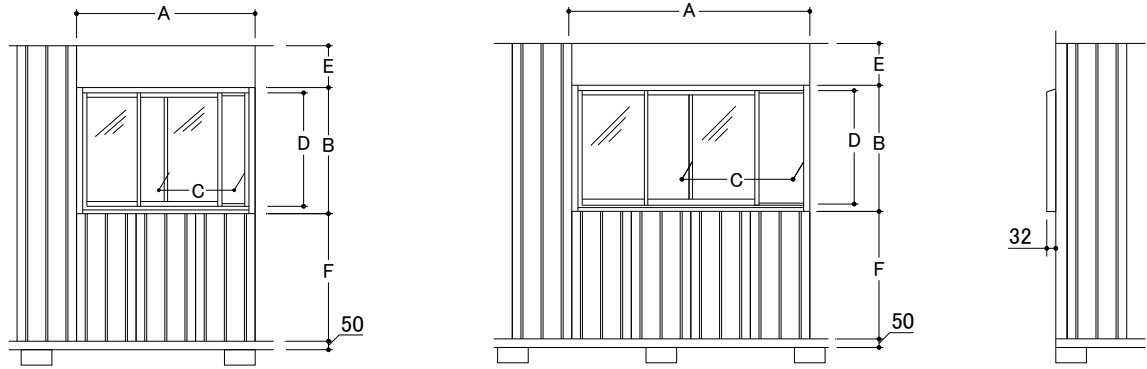
機種	面積 (㎡)	屋根回り寸法		土台回り寸法		高さ寸法		内部寸法			開口部寸法		内高	軒高	母屋中 の本数
		A	B	C	D	E	F	G	H	N	I	J			
FP-4426HD	11.62	4,530	2,810	4,420	2,630	2,385	2,330	4,363	2,573	1,641	2,040	739	2,083	2,345	3×2
FP-5222HD	11.62	5,370	2,390	5,260	2,210	2,385	2,330	5,203	2,153	1,221	2,040	739	2,083	2,345	2×2
FP-5226HD	13.83		2,810		2,630				2,573	1,641					3×2

単位:mm

FORTA プラス <オプション>

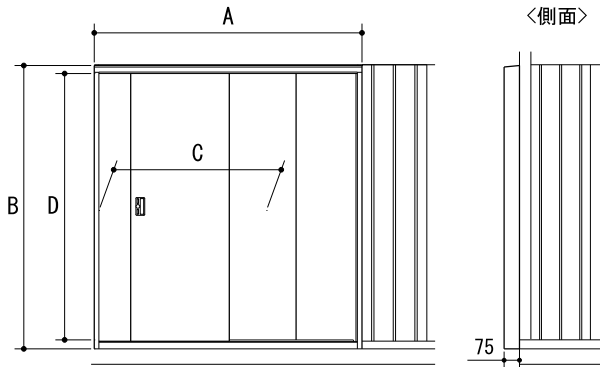
ガラス窓 (GPF-3H カベ3枚分 GPF-4H カベ4枚分)

アルミサッシ色 : SLC 色 (サンシルバー)



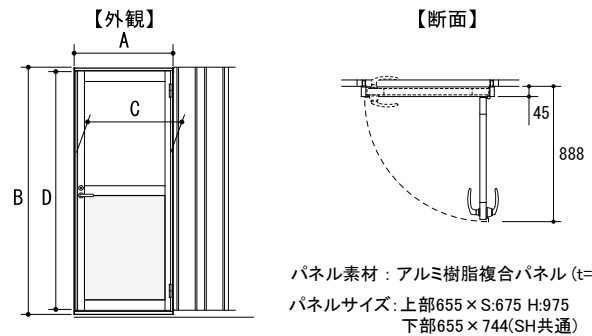
種類	外寸法		有効開口部		窓上	壁	ガラスの寸法	枚数	アミ戸外寸法
	A	B	C	D					
GPF-3H	1,260	890	551 逆側 507	800	300	900	555×746	2	597×830
GPF-4H	1,680		761 逆側 717				765×746		807×830

扉 (SPF-4S・H、SPF-5S・H)



框ドア (DPF-S・H)

アルミサッシ色 : SLC 色 (サンシルバー)

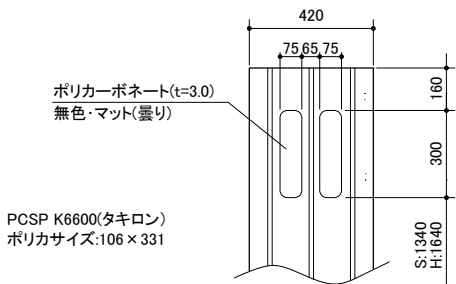


パネル素材 : アルミ樹脂複合パネル (t=3.0)
 パネルサイズ : 上部655×S:675 H:975
 下部655×744(SH共通)

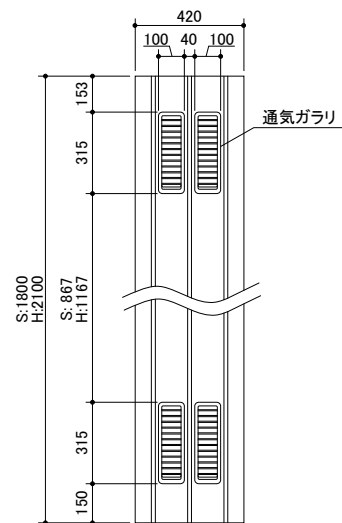
種類	外寸法		有効開口部	
	A	B	C	D
SPF-4S	1,734	1,840	964	1,723
SPF-4H		2,140		2,023
SPF-5S	2,154	1,840	1,246	1,723
SPF-5H		2,140		2,023

種類	外寸法		有効開口部	
	A	B	C	D
DPF-S	849	1,816	739	1,740
DPF-H		2,116		2,040

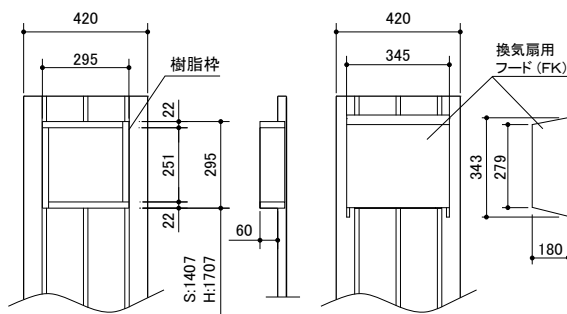
採光壁 (PSF-S・H)



通気パネル (PTF-S・H)



20cm 換気扇用穴あきパネル (PXF-S・H)

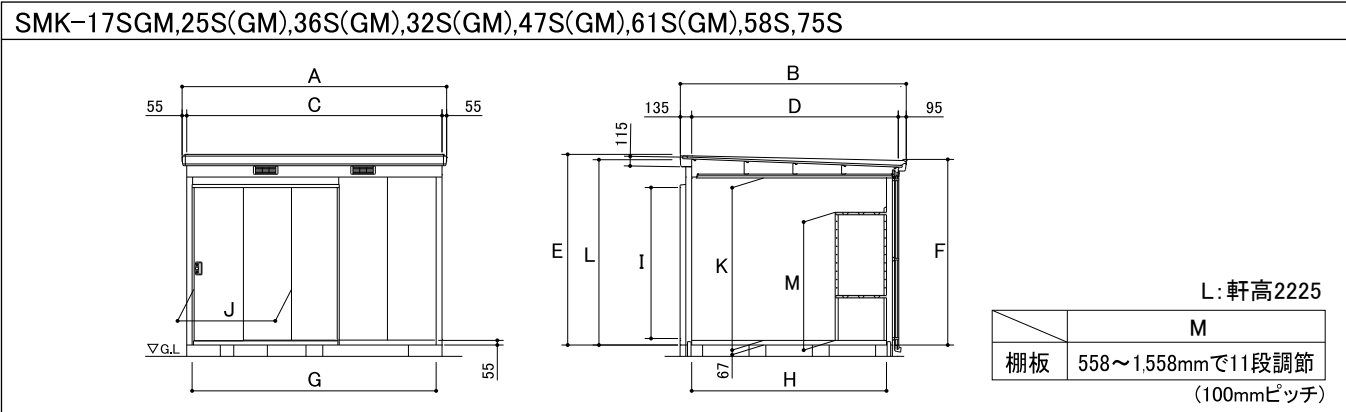


詳細寸法表

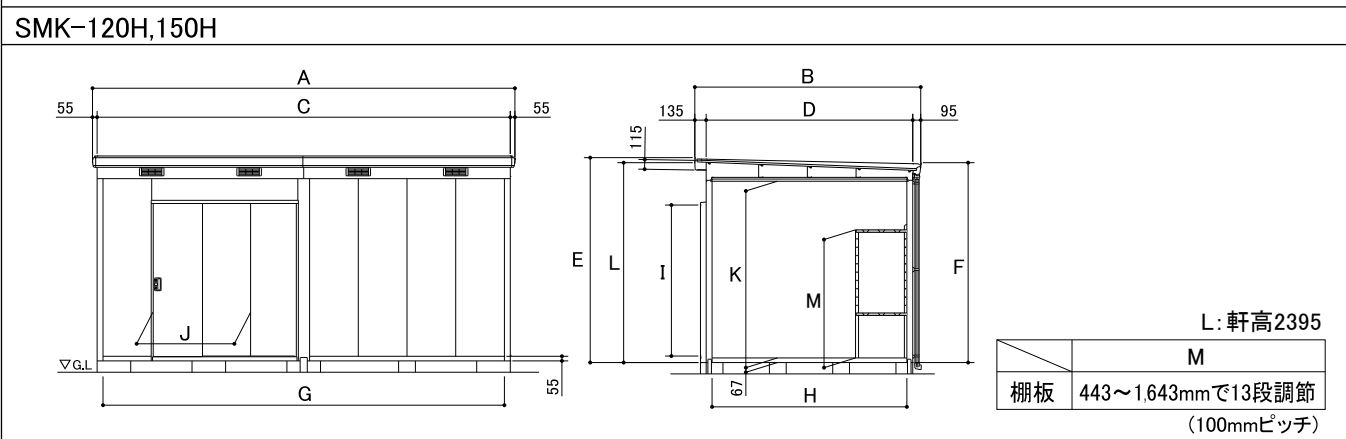
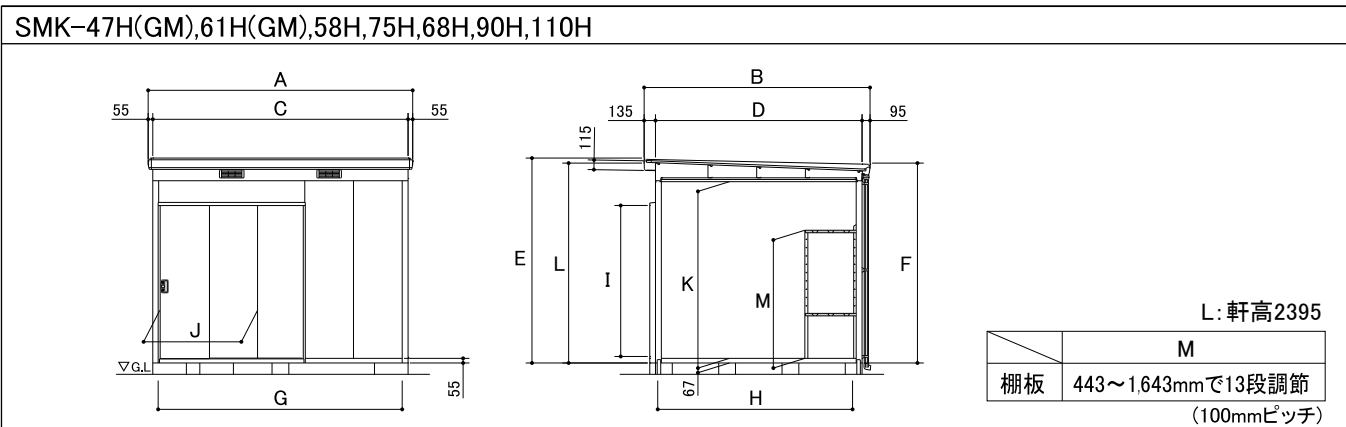
単位:mm

詳細寸法表

<SMKシリーズ>



機種	面積 (m ²)	屋根回り寸法		土台回り寸法		高さ		内部寸法		有効開口寸法		内高 K	母屋中の本数
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J		
SMK-17SGM	1.69	1,410	1,530	1,300	1,300	2,270	2,210	1,200	1,200	1,798 (1760)	1,090 (677)	1,960	1
-25S(GM)	2.44	1,990		1,880				1,780					1
-36S(GM)	3.53		2,110	1,780	2								
-32S(GM)	3.20	2,570	1,530	1,300	1								
-47S(GM)	4.62		2,110	1,880	2								
-61S(GM)	6.05		2,690	2,360	3								
-58S	5.72	3,150	2,110	1,880	2								
-75S	7.48		2,690	2,360	3								

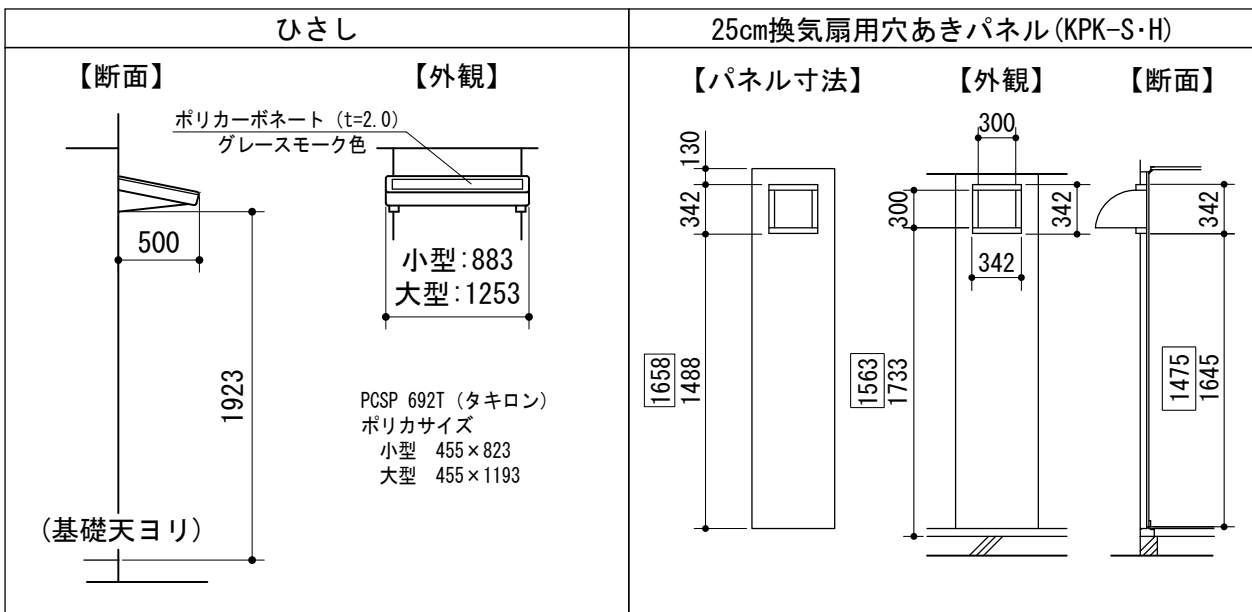
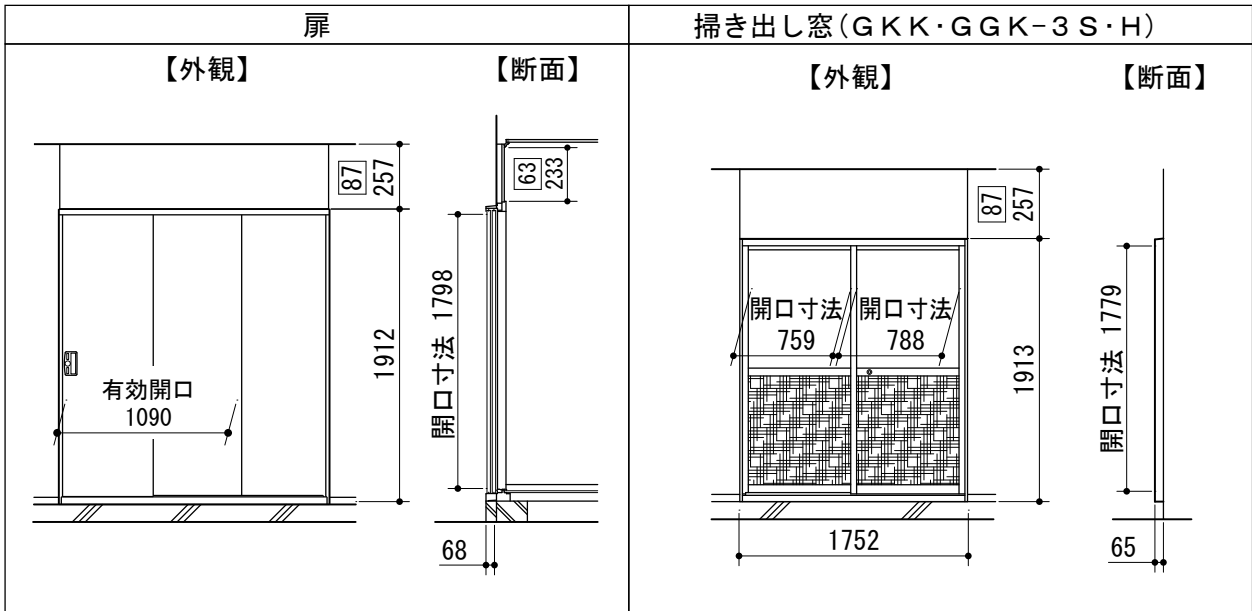
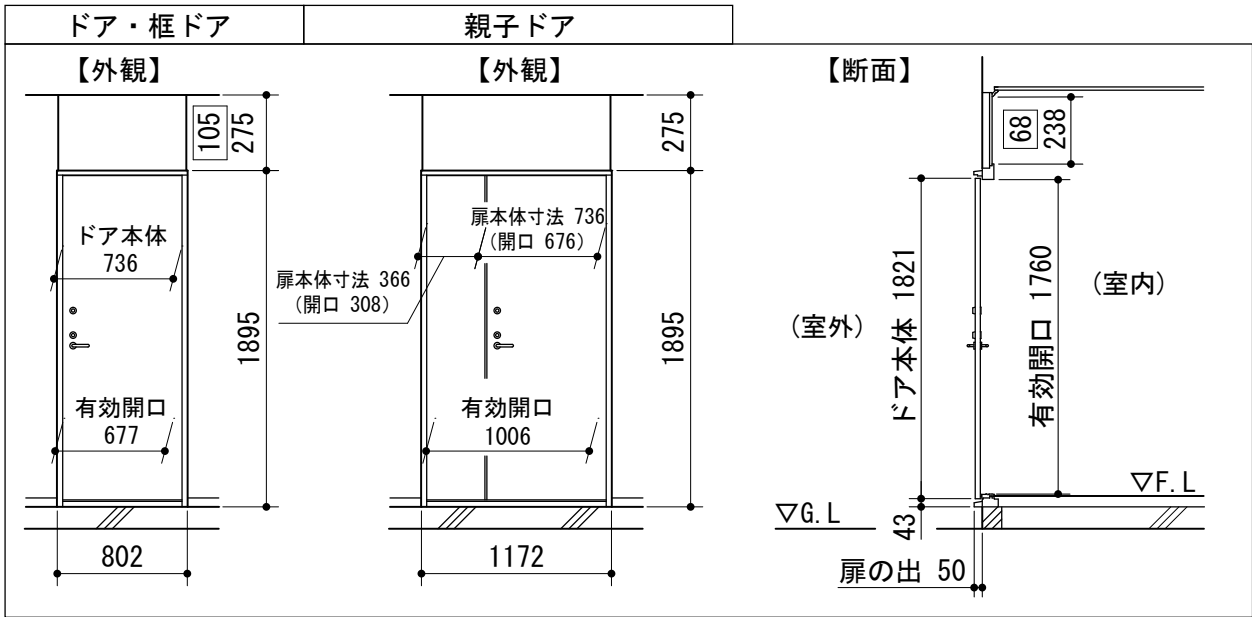


機種	面積 (m ²)	屋根回り寸法		土台回り寸法		高さ		内部寸法		有効開口寸法		内高 K	母屋中の本数
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J		
SMK-47H(GM)	4.62	2,570	2,110	2,460	1,880	2,440	2,380	2,360	1,780	1,798 (1760)	1,090 (677)	2,130	2
-61H(GM)	6.05		2,690										2,460
-58H	5.72	3,150	2,110	3,040	1,880			2,940	1,780				2
-75H	7.48		2,690		2,460					3			
-68H	6.81		3,730		2,110			3,620	1,880	3,520	1,780		1,798
-90H	8.91	2,690		2,460	3								
-110H	11.00	3,270		3,040	4								
-120H	12.10	2,690		2,460	3								
-150H	14.96	5,030	3,270	4,920	3,040	4,820	2,940	4					

詳細寸法表

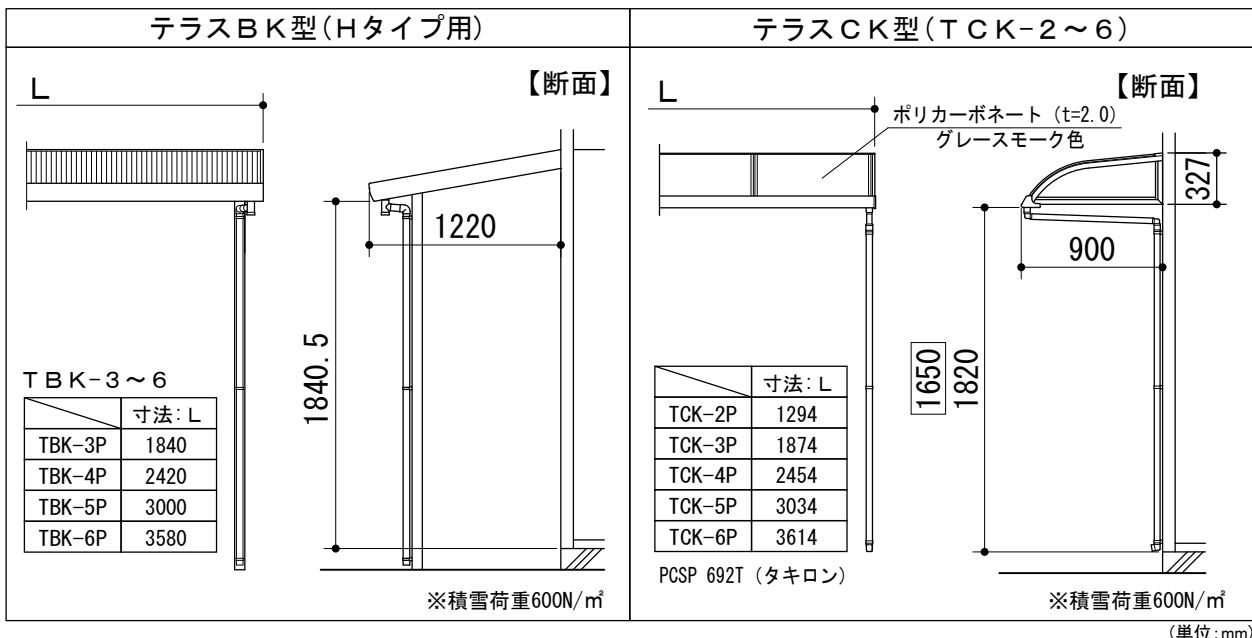
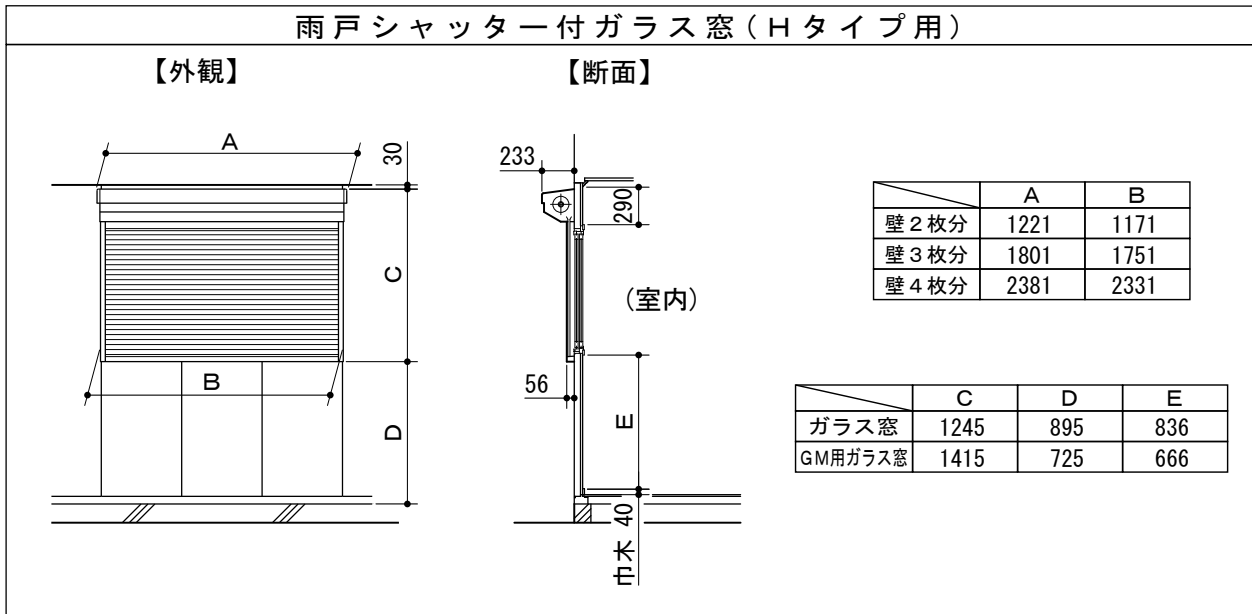
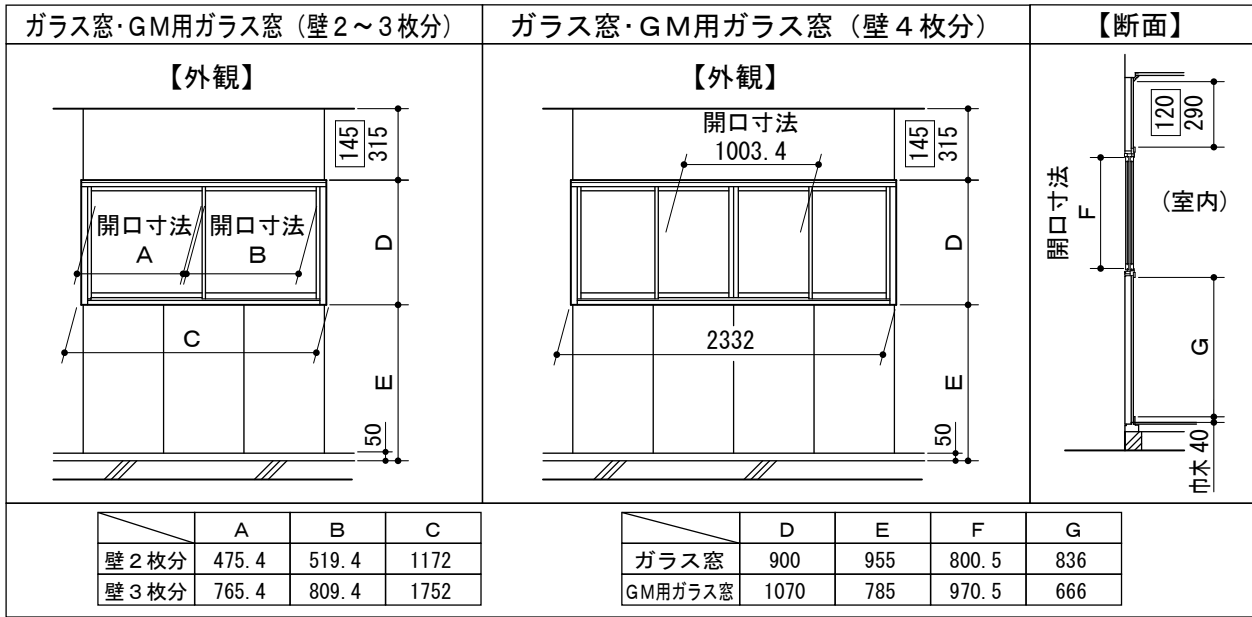
< SMK オプション 1 >

寸法 は本体Sタイプ



(単位: mm)

詳細寸法表

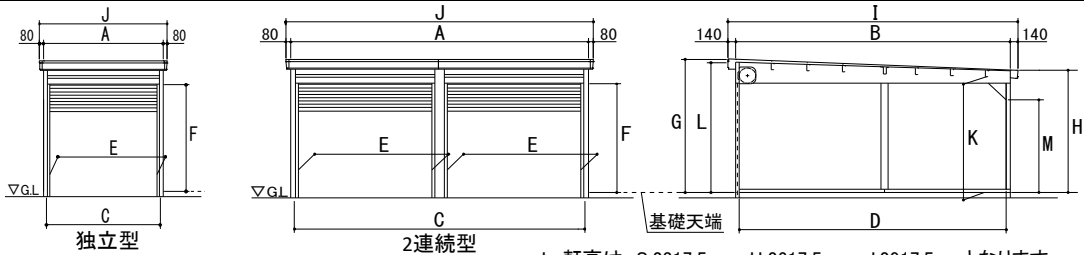


（単位:mm）

詳細寸法表

<GRNシリーズ1>

GRNタイプ 独立型・2連続型



※連続型の梁中下の内高は、S:1792mm、H:2092mm、J:2392mmとなります。 M: コーナー金具までの高さは、S:1490mm、H:1790mm、J:2090mmとなります。

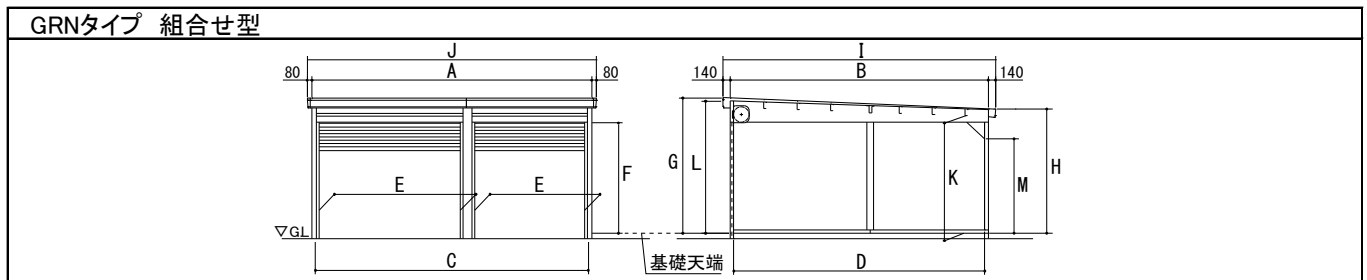
機種	床面積 (㎡)	外寸法		内寸法		有効開口部		高さ		屋根部		内高	母屋中の本数						
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J			K					
GRN- 2142S	9.11	2,130	4,275	1,940	4,070	1,842	1,818	2,360	2,138	4,555	2,290	1,984	4						
2142H							2,118	2,660	2,438										
2642S	11.24	2,630		2,440		2,342	1,818	2,360	2,138		2,790	1,984							
2642H							2,118	2,660	2,438			2,284							
3142S	13.38	3,130		2,940		2,842	1,818	2,360	2,138		3,290	1,984							
3142H							2,118	2,660	2,438			2,284							
3642S	15.52	3,630		3,440		3,342	1,818	2,360	2,138		3,790	1,984							
3642H							2,118	2,660	2,438			2,284							
2147S	10.17	2,130		4,775		1,940	4,570	1,842	1,818		2,360	2,108		5,055	2,290	1,949	5		
2147H									2,118		2,660	2,408							
2647S	12.56	2,630				2,440		2,342	1,818		2,360	2,108			2,790	1,949			
2647H									2,118		2,660	2,408				2,249			
3147S	14.95	3,130	2,940		2,842	1,818		2,360	2,108	3,290	1,949								
3147H						2,118		2,660	2,408		2,249								
3647S	17.33	3,630	3,440		3,342	1,818		2,360	2,108	3,790	1,949								
3647H						2,118		2,660	2,408		2,249								
2652S	13.87	2,630	5,275		2,440	5,070		2,342	1,818	2,360	2,084	5,555	2,790		1,921	6			
2652H									2,118	2,660	2,384								
3152S	16.51	3,130			2,940			2,842	1,818	2,360	2,084		3,290		1,921				
3152H									2,118	2,660	2,384				2,221				
3652S	19.15	3,630		3,440	3,342		1,818	2,360	2,084	3,790	1,921								
3652H							2,118	2,660	2,384		2,221								
2657S	15.19	2,630		5,775	2,440		5,570	2,342	1,818	2,360	2,108		6,055	2,790	1,939		6		
2657H									2,118	2,660	2,408								
2657J					18.08			3,130	2,940	2,842	2,418			2,960	2,708			3,290	2,239
3157S											1,818			2,360	2,108				1,939
3157H					20.96			3,630	3,440	3,342	2,118			2,660	2,408			3,790	2,239
3157J											2,418			2,960	2,708				2,539
3657S			18.08		3,130	2,940		2,842	1,818	2,360	2,108	3,290		1,939					
3657H									2,118	2,660	2,408			2,239					
3657J			20.96		3,630	3,440		3,342	2,418	2,960	2,708	3,790		2,539					
3657S									1,818	2,360	2,108			1,939					
2662S			16.50		2,630	6,275		2,440	6,070	2,342	1,818	2,360		2,084	6,555	2,790		1,921	6
2662H											2,118	2,660		2,384					
2662J	19.64	3,130	2,940	2,842	2,418		2,960	2,684		3,290	2,221								
3162S					1,818		2,360	2,084			1,921								
3162H	22.78	3,630	3,440	3,342	2,118		2,660	2,384		3,790	2,221								
3162J					2,418		2,960	2,684			2,521								
3662S	18.21	4,260	4,070	4,070	1,842		1,818	2,360		2,138	4,420	1,984							
2142HL-2							2,118	2,660		2,438		2,284							
2642SL-2	22.49	5,260	5,070	4,070	2,342		1,818	2,360		2,138	4,555	5,420	1,984	4 × 2					
2642HL-2							2,118	2,660		2,438			2,284						
3142SL-2	26.76	6,260	6,070	4,070	2,842		1,818	2,360		2,138	4,555	6,420	1,984	4 × 2					
3142HL-2							2,118	2,660		2,438			2,284						
3642SL-2	31.04	7,260	7,070	4,070	3,342	1,818	2,360	2,138	4,555	7,420	1,984	4 × 2							
3642HL-2						2,118	2,660	2,438			2,284								
2147SL-2	20.34	4,260	4,070	4,570	1,842	1,818	2,360	2,108	5,055	4,420	1,949	5 × 2							
2147HL-2						2,118	2,660	2,408			2,249								
2647SL-2	25.12	5,260	5,070	4,570	2,342	1,818	2,360	2,108	5,055	5,420	1,949	5 × 2							
2647HL-2						2,118	2,660	2,408			2,249								
3147SL-2	29.89	6,260	6,070	4,570	2,842	1,818	2,360	2,108	5,055	6,420	1,949	5 × 2							
3147HL-2						2,118	2,660	2,408			2,249								
3647SL-2	34.67	7,260	7,070	4,570	3,342	1,818	2,360	2,108	5,055	7,420	1,949	5 × 2							
3647HL-2						2,118	2,660	2,408			2,249								

(単位: mm)

詳細寸法表

詳細寸法表

<GRNシリーズ2>



L: 軒高は、S:2317.5mm、H:2617.5mm、J:2917.5mmとなります。
 ※連続型の梁中下の内高は、S:1792mm、H:2092mm、J:2392mmとなります。 M: コーナー金具までの高さは、S:1490mm、H:1790mm、J:2090mmとなります。

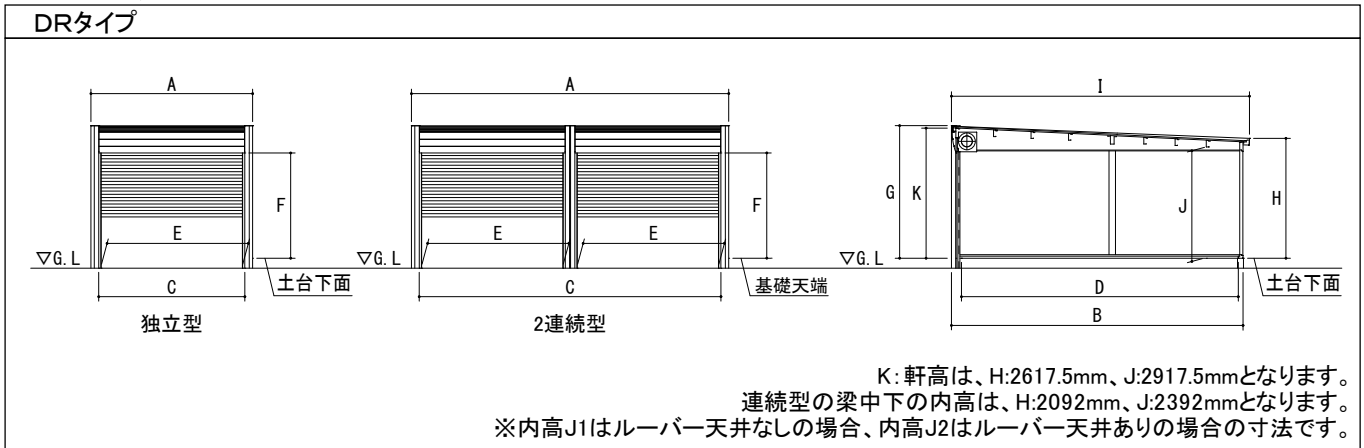
機種	床面積 (㎡)	外寸法		内寸法		有効開口部		高さ		屋根部		内高	母屋中の本数
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J		
GRN- 2652SL-2	27.75	5,260	5,275	5,070	5,070	2,342	1,818	2,360	2,084	5,555	5,420	1,921	6 × 2
2652HL-2													
3152SL-2	33.02	6,260	6,070	6,070	2,842	1,818	2,360	2,084	6,055	6,420	1,921		
3152HL-2												2,118	
3652SL-2	38.30	7,260	7,070	7,070	3,342	1,818	2,360	2,084	6,055	7,420	1,921		
3652HL-2												2,118	
2657SL-2	30.38	5,260	5,775	5,570	2,342	1,818	2,360	2,108	6,055	5,420	1,939		
2657HL-2												2,118	
2657JL-2	36.15	6,260	6,070	6,070	2,842	2,418	2,960	2,708	6,055	6,420	2,239		
3157SL-2												1,818	
3157HL-2	41.93	7,260	7,070	7,070	3,342	2,118	2,660	2,408	6,055	7,420	2,239		
3157JL-2												2,418	
3657SL-2	45.56	7,260	7,070	7,070	3,342	1,818	2,360	2,084	6,055	7,420	1,939		
3657HL-2												2,118	2,660
2662SL-2	33.01	5,260	6,275	6,070	6,070	2,342	1,818	2,360	2,084	6,555	5,420	1,921	
2662HL-2													2,118
2662JL-2	39.28	6,260	6,070	6,070	2,842	2,418	2,960	2,684	6,555	6,420	2,221		
3162SL-2												1,818	2,360
3162HL-2	45.56	7,260	7,070	7,070	3,342	2,118	2,660	2,384	6,555	7,420	1,921		
3162JL-2												2,418	2,960
3662SL-2	25.11	4,760	5,275	5,070	5,070	左2,342	1,818	2,360	2,084	5,555	4,920	1,921	
3662HL-2													右1,842
3662JL-2	27.75	5,260	5,275	5,070	5,070	左2,842	1,818	2,360	2,084	5,555	5,420	1,921	
2621・52S													右1,842
3121・52S	30.38	5,760	5,570	5,570	5,570	左2,842	1,818	2,360	2,084	5,555	5,920	1,921	
3121・52H													右2,342
3126・52S	33.26	5,760	5,775	6,070	5,570	左2,842	1,818	2,360	2,108	6,055	5,920	1,939	
3126・52H													右2,342
3126・52J	36.15	6,260	6,070	6,070	5,570	左3,342	2,418	2,960	2,708	6,055	6,420	2,239	
3126・57S													右2,342
3126・57H	39.04	6,760	6,570	6,570	6,570	左3,342	1,818	2,360	2,108	6,055	6,920	1,939	
3126・57J													右2,842
3626・57S	36.14	5,760	6,275	6,070	6,070	左3,342	2,418	2,960	2,708	6,555	6,420	2,239	
3626・57H													右2,842
3626・57J	39.28	6,260	6,275	6,070	6,070	左3,342	2,118	2,660	2,384	6,555	6,920	1,921	
3626・62S													右2,342
3626・62H	42.42	6,760	6,570	6,570	6,570	左3,342	1,818	2,360	2,084	6,555	6,420	2,221	
3626・62J													右2,342
3631・62S	36.14	5,760	6,275	6,070	6,070	左3,342	2,418	2,960	2,684	6,555	6,920	1,921	
3631・62H													右2,842
3631・62J	42.42	6,760	6,570	6,570	6,570	左3,342	2,118	2,660	2,384	6,555	6,920	2,221	
3631・62S													右2,842

(単位: mm)

詳細寸法表

詳細寸法表

アルシア <DRシリーズ>

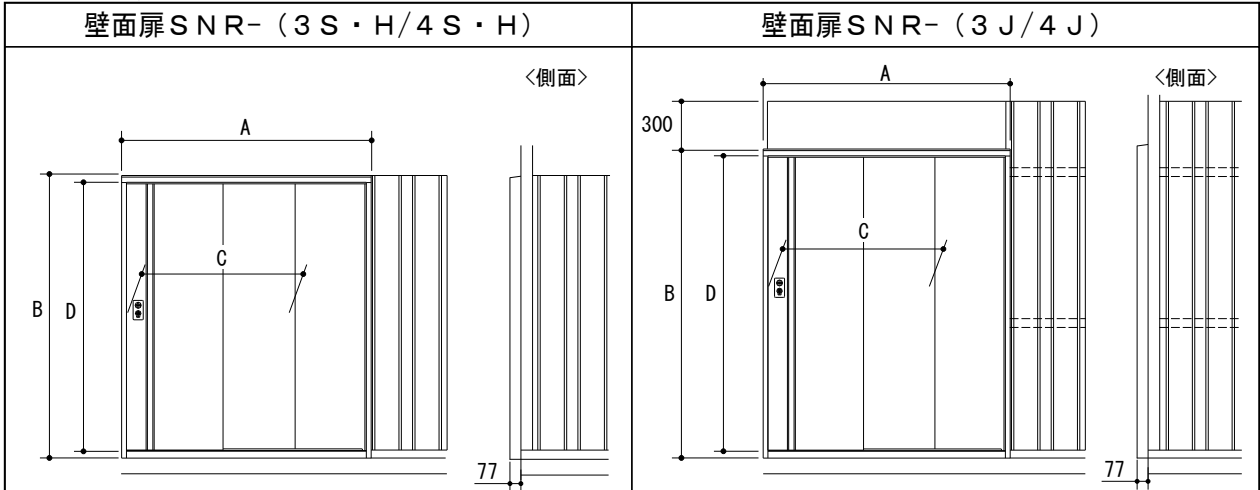


機種	床面積 (m ²)	外寸法		内寸法		有効開口部		高さ		屋根部	内高※		母屋中 の本数	
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J1	J2		
DR-3157HP(HY)	18.36	3,253	5,865	2,940	5,570	2,842	2,118	2,670	2,412	5,996	2,239	2,160	6	
DR-3157JP(JY)							2,418	2,970	2,712		2,539	2,460		
DR-3162HP(HY)	19.92	3,753	6,365	3,440	6,070	3,342	2,118	2,670	2,388	6,496	2,221	2,160		
DR-3162JP(JY)							2,418	2,970	2,688		2,521	2,460		
DR-3657HP(HY)	21.29	6,383	5,865	6,070	5,570	2,842	2,118	2,670	2,412	5,996	2,239	2,160		6×2
DR-3657JP(JY)							2,418	2,970	2,712		2,539	2,460		
DR-3662HP(HY)	23.10	7,383	6,365	7,070	6,070	3,342	2,118	2,670	2,388	6,496	2,221	2,160		
DR-3662JP(JY)							2,418	2,970	2,688		2,521	2,460		
DR-3157HP(HY)-2	36.71	6,383	5,865	6,070	5,570	2,842	2,118	2,670	2,412	5,996	2,239	2,160	6×2	
DR-3157JP(JY)-2							2,418	2,970	2,712		2,539	2,460		
DR-3162HP(HY)-2	39.84	7,383	6,365	7,070	6,070	3,342	2,118	2,670	2,388	6,496	2,221	2,160		
DR-3162JP(JY)-2							2,418	2,970	2,688		2,521	2,460		
DR-3657HP(HY)-2	42.58	6,383	5,865	7,070	5,570	3,342	2,118	2,670	2,412	5,996	2,239	2,160		6×2
DR-3657JP(JY)-2							2,418	2,970	2,712		2,539	2,460		
DR-3662HP(HY)-2	46.21	7,383	6,365	7,070	6,070	3,342	2,118	2,670	2,388	6,496	2,221	2,160		
DR-3662JP(JY)-2							2,418	2,970	2,688		2,521	2,460		

(単位: mm)

〈GRN・BRK・DRオプション1〉

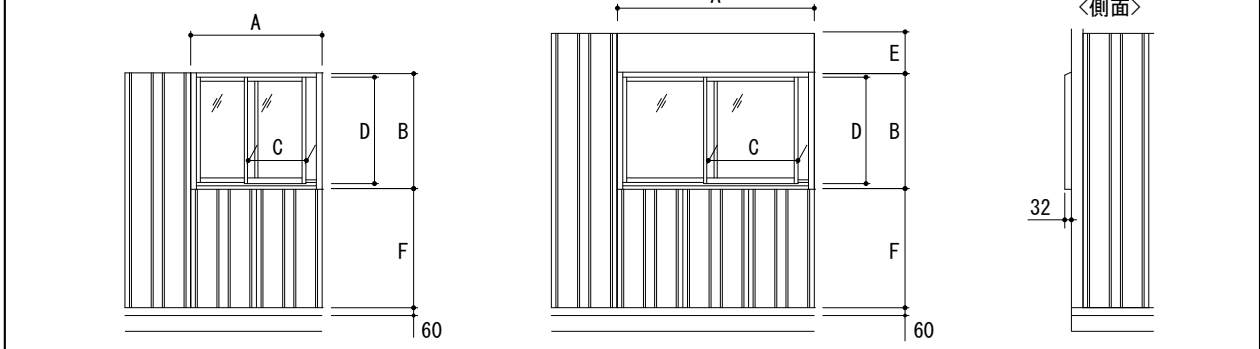
詳細寸法表



種類	外寸法		有効開口部		種類	外寸法		有効開口部	
	A	B	C	D		A	B	C	D
SNR-3S	1,554	1,840	868	1,725	SNR-3J	1,554	2,140	868	2,025
SNR-3H		2,140		2,025					
SNR-4S	2,054	1,840	1,201	1,725					
SNR-4H		2,140		2,025					

ガラス窓GNR, GDR- (2S・H・J/3S・H・J)

アルミサッシ色: SLC色(サンシルバー)



種類	外寸法		有効開口部		窓上	窓下	ガラスの寸法	枚数	アミ戸外寸法
	A	B	C	D	E	F	型板ガラス 厚さ4mm		
GNR-2S	1,000	885	421 ^{逆側} ₃₇₇	795	-	900	425×746	2	467×830
GNR-2H		890		800	295				
GNR-2J		890		800	595				
GNR-3S	1,500	885	671 ^{逆側} ₆₂₇	795	-	900	675×746	2	717×830
GNR-3H		890		800	295				
GNR-3J		890		800	595				

枠ドアDGG, DD, DGA (S・H・J)

枠ドア用ひさしHG, HD (H・J)

〈外観〉 ドア上パネル(Jのみ)
ドア脇パネル(160mm)

アルミサッシ色: SLC色(サンシルバー)

種類	外寸法		有効開口部	
	A	B	C	D
S	849	1,816	739	1,740
H・J		2,116		2,040

〈DGG, DD〉
型板強化ガラス(t=4.0)
半透明
ガラスサイズ
S: 655×1518
H・J: 655×1818

〈DGA〉
アルミ樹脂複合パネル(t=3.0)
パネルサイズ上部…S: 655×675
H・J: 655×975
パネルサイズ下部…S: 655×744
(S・H・J共通)

ポリカーボネート(t=3.0)
グレースモーク色
ポリカサイズ: 397×1021

H: 2154
J: 2204
(基礎天より)

(単位: mm)

詳細寸法表

＜GRN・DRオプション2＞

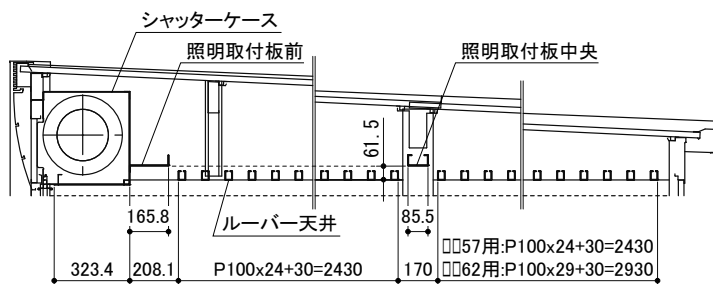
詳細寸法表

小窓パネル KNN-(S・H・J)						フード付メッシュパネル KNF-(S・H・J)																							
<p>小窓ストッパー AES樹脂 (シャドウグレー)</p> <table border="1"> <tr><th>S</th><th>H</th><th>J</th></tr> <tr><td>A</td><td>1,800</td><td>2,100</td><td>2,400</td></tr> <tr><td>B</td><td>86</td><td>386</td><td>686</td></tr> </table>						S	H	J	A	1,800	2,100	2,400	B	86	386	686	<p>メッシュ板 (φ8) メッシュパネル用 フード</p> <table border="1"> <tr><th>S</th><th>H</th><th>J</th></tr> <tr><td>A</td><td>1,800</td><td>2,100</td><td>2,400</td></tr> </table>						S	H	J	A	1,800	2,100	2,400
S	H	J																											
A	1,800	2,100	2,400																										
B	86	386	686																										
S	H	J																											
A	1,800	2,100	2,400																										
大型採光壁 KNO-(S・H・J)						フード付20cm換気扇取付用パネル KNK, KDK-(S・H・J)																							
<p>ポリカーボネート (t=3.0) グレースモーク色 PCSP 692T (タキロン) ポリカサイズ116×635mm</p> <table border="1"> <tr><th>S</th><th>H</th><th>J</th></tr> <tr><td>A</td><td>1,800</td><td>2,100</td><td>2,400</td></tr> <tr><td>B</td><td>296</td><td>596</td><td>896</td></tr> </table>						S	H	J	A	1,800	2,100	2,400	B	296	596	896	<p>換気扇用 フード (FK)</p> <table border="1"> <tr><th>S</th><th>H</th><th>J</th></tr> <tr><td>A</td><td>1,800</td><td>2,100</td><td>2,400</td></tr> </table>						S	H	J	A	1,800	2,100	2,400
S	H	J																											
A	1,800	2,100	2,400																										
B	296	596	896																										
S	H	J																											
A	1,800	2,100	2,400																										
通気パネル KNT, KDT-(S・H・J)						FIX窓 KDF-(H・J)																							
<table border="1"> <tr><th>S</th><th>H</th><th>J</th></tr> <tr><td>A</td><td>1,800</td><td>2,100</td><td>2,400</td></tr> <tr><td>B</td><td>152.7</td><td>152.7</td><td>552.7</td></tr> </table>						S	H	J	A	1,800	2,100	2,400	B	152.7	152.7	552.7	<p>アルミサッシ色:SLC色(サンシルバー)</p> <p>ポリカーボネート(t=3.0) グレースモーク色 PCSP 692T(タキロン) ポリカサイズ :H高さ 234×1722mm :J高さ 234×2022mm</p> <p>Hタイプ Jタイプ</p>												
S	H	J																											
A	1,800	2,100	2,400																										
B	152.7	152.7	552.7																										
シャッターケース (GRN)						棚板																							
						<p>倉庫用ワイド棚板配置</p> <p>棚板・サイド棚板配置</p> <p>S:11段調節 H:14段調節 J:17段調節</p> <p>S:10段調節 H:13段調節 J:16段調節</p> <p>S:1000 H:1300 J:1600</p> <p>S:1418 H:1718 J:2018</p> <p>S:1403 H:1703 J:2003</p>																							
機種	間口	A	B	C	D																								
GRN	2130mm	1987	353.1	247.1	332																								
	2630mm	2487																											
	3130mm	2987																											
	3630mm	3487																											

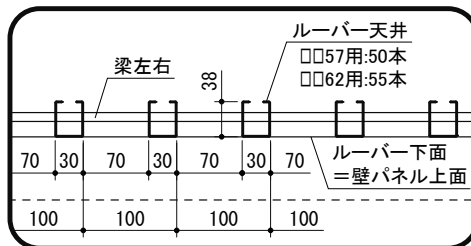
(単位:mm)

詳細寸法表 (DR専用オプション)

ルーバー天井

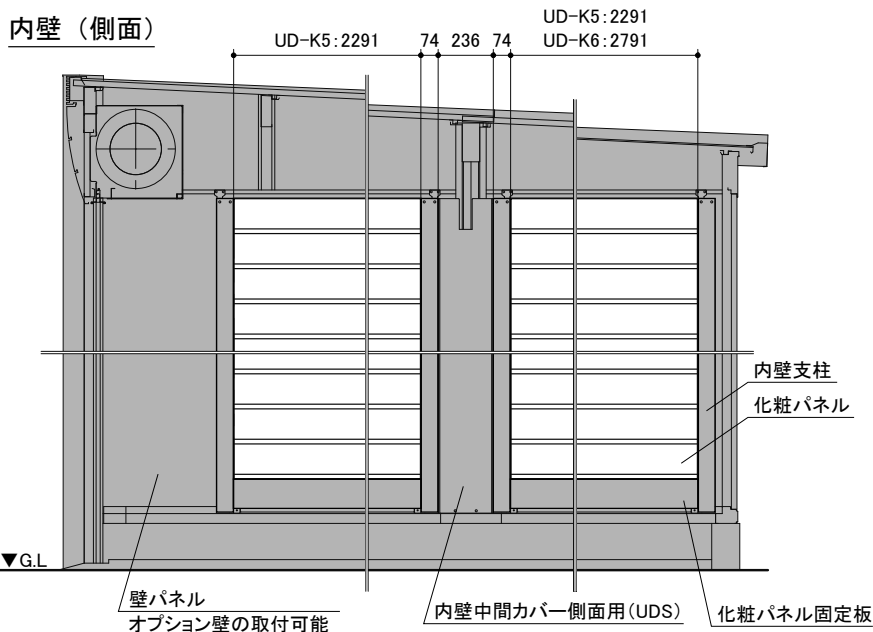


ルーバー天井詳細

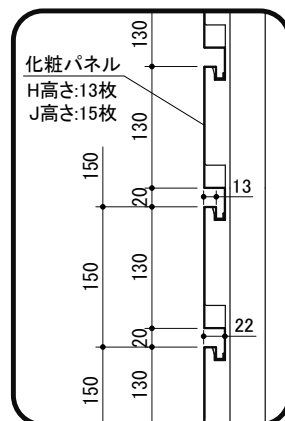


※側面にオプションを取り付ける場合は、ルーバー天井より先に取り付けてください。

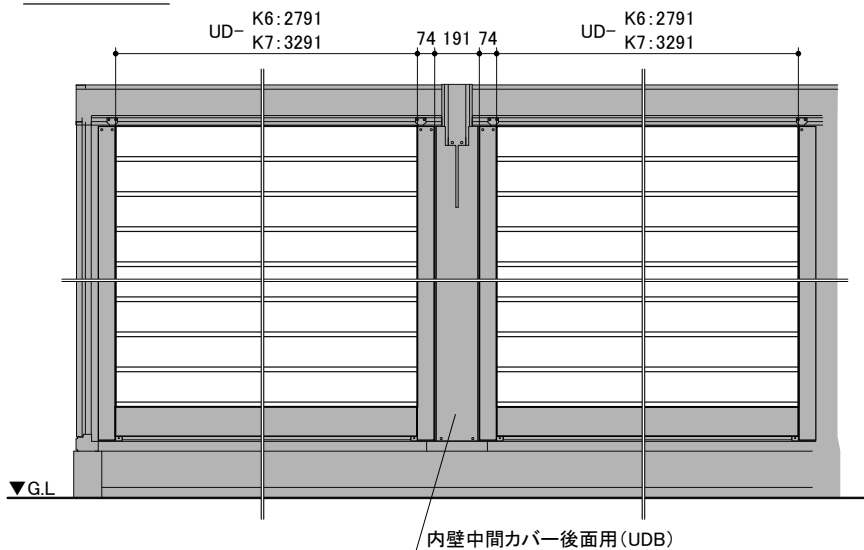
内壁(UD)



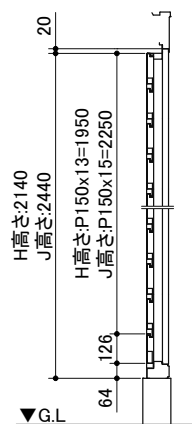
内壁詳細



内壁(後面)



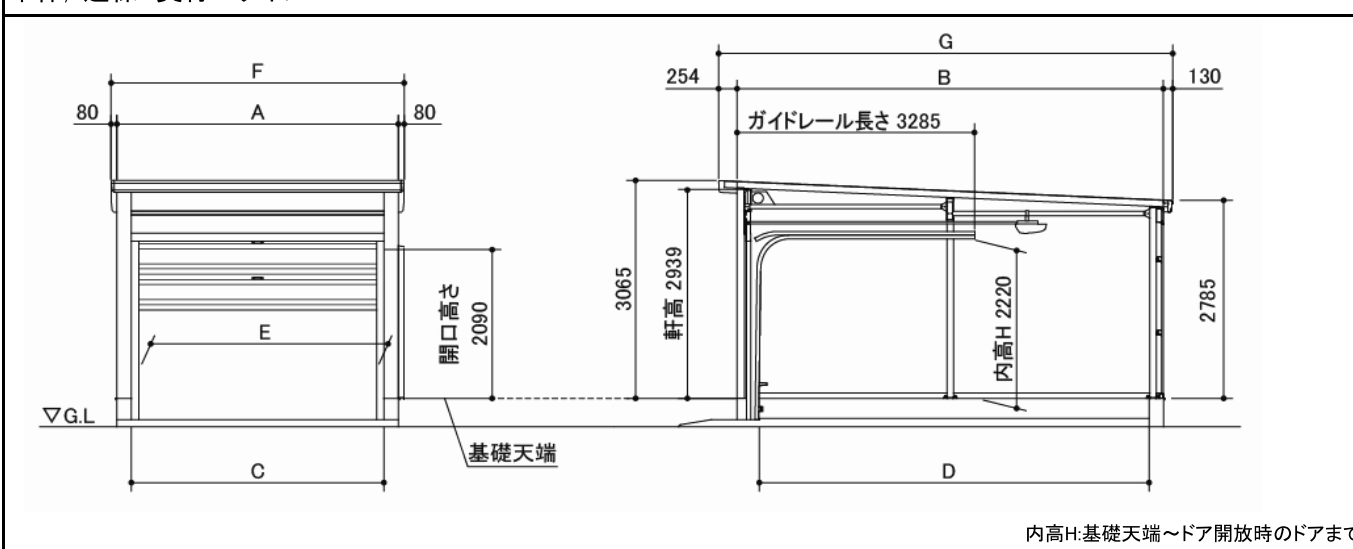
内壁(断面)



(単位:mm)

タフレーション <WG-D(オーバースライドドア)シリーズ1>

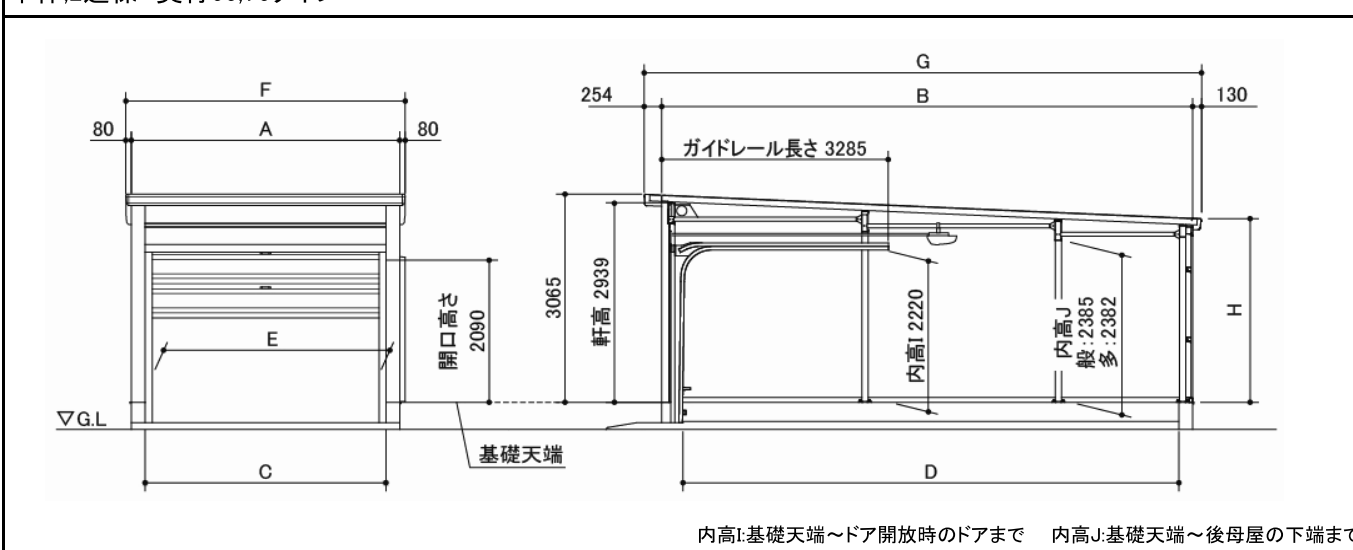
単体,2連棟 奥行58タイプ



内高H:基礎天端～ドア開放時のドアまで

機種	面積 (㎡)	外寸法		内寸法		有効開口部	屋根外寸	
		A	B	C	D	E	F	G
WG-D3658MP/MU	22.06	3,886	5,886	3,490	5,380	3,268	4,046	6,270
WG-D5458MP/MU	32.57	5,686		5,290		5,068	5,846	
WG-D6058MP/MU	36.07	6,286		5,890		5,668	6,446	

単体,2連棟 奥行66,76タイプ



内高I:基礎天端～ドア開放時のドアまで 内高J:基礎天端～後母屋の下端まで

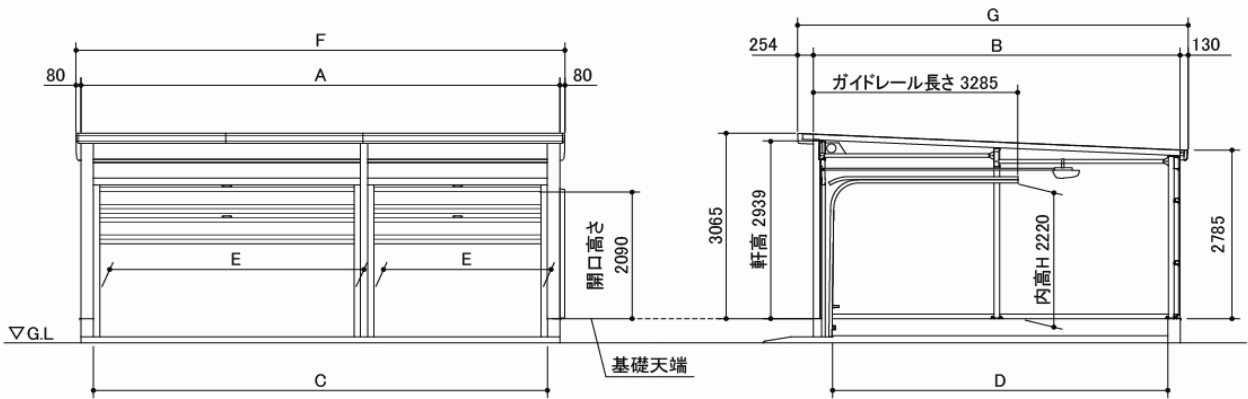
機種	面積 (㎡)	外寸法		内寸法		有効開口部	屋根外寸		高さ
		A	B	C	D	E	F	G	H
WG-D3666MP/MU	25.09	3,886	6,686	3,490	6,180	3,268	4,046	7,070	2,750
WG-D3676MP	28.87		7,686		7,180			8,070	2,705
WG-D5466MP/MU	37.03	5,686	6,686	5,290	6,180	5,068	5,846	7,070	2,750
WG-D5476MP/MU	42.61		7,686		7,180			8,070	2,705
WG-D6066MP/MU	41.01	6,286	6,686	5,890	6,180	5,668	6,446	7,070	2,750
WG-D6076MP/MU	47.19		7,686		7,180			8,070	2,705

(単位:mm)

詳細寸法表

タフレーション <WG-D(オーバースライドドア)シリーズ2>

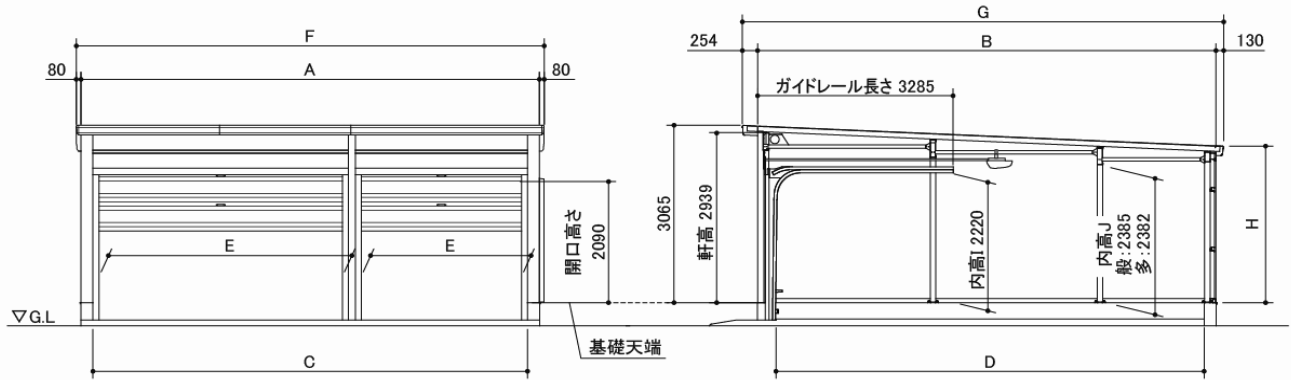
3連棟,4連棟 奥行58タイプ



内高H:基礎天端〜ドア開放時のドアまで

機種	面積 (㎡)	外寸法		内寸法		有効開口部		屋根外寸	
		A	B	C	D	E	F	G	
WG-D5436・58MP/MU	53.57	9,286	5,886	8,890	5,380	左:5068 / 右:3268		9,446	6,270
WG-D3654・58MP/MU						左:3268 / 右:5068			
WG-D6036・58MP/MU	57.07	9,886	5,886	9,490	5,380	左:5668 / 右:3268		10,046	6,270
WG-D3660・58MP/MU						左:3268 / 右:5668			
WG-D5454・58MP/MU	64.07	11,086		10,690		5,068		11,246	
WG-D6060・58MP/MU	71.07	12,286		11,890		5,668		12,446	

3連棟,4連棟 奥行66,76タイプ



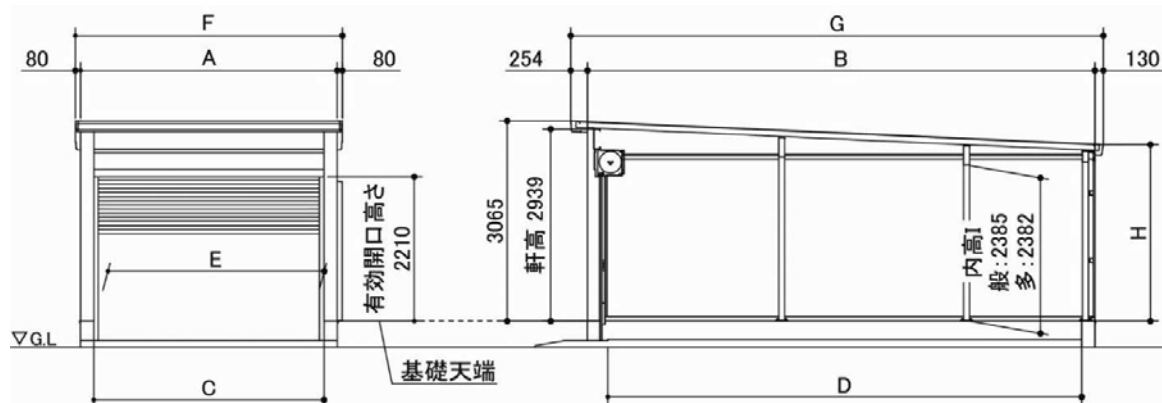
内高I:基礎天端〜ドア開放時のドアまで 内高J:基礎天端〜後母屋の下端まで

機種	面積 (㎡)	外寸法		内寸法		有効開口部		屋根外寸		高さ
		A	B	C	D	E	F	G		
WG-D5436・66MP/MU	60.91	9,286	6,686	8,890	6,180	左:5068 / 右:3268		9,446	7,070	2,750
WG-D3654・66MP/MU						左:3268 / 右:5068				
WG-D5436・76MP/MU	70.1	9,886	7,686	9,490	7,180	左:5068 / 右:3268		10,046	8,070	2,705
WG-D3654・76MP/MU						左:3268 / 右:5068				
WG-D6036・66MP/MU	64.89	9,886	6,686	9,490	6,180	左:5668 / 右:3268		10,046	7,070	2,750
WG-D3660・66MP/MU						左:3268 / 右:5668				
WG-D6036・76MP/MU	74.68	9,886	7,686	9,490	7,180	左:5668 / 右:3268		10,046	8,070	2,705
WG-D3660・76MP/MU						左:3268 / 右:5668				
WG-D5454・66MP/MU	72.85	11,086	6,686	10,690	6,180	5,068		11,246	7,070	2,750
WG-D5454・76MP/MU	83.84		7,686						7,180	
WG-D6060・66MP/MU	80.82	12,286	6,686	11,890	6,180	5,668		12,446	7,070	2,750
WG-D6060・76MP/MU			93						7,686	

(単位:mm)

タフレーション <WG-S(シャッター)シリーズ>

シャッタータイプ 単体,2連棟 奥行66,76タイプ

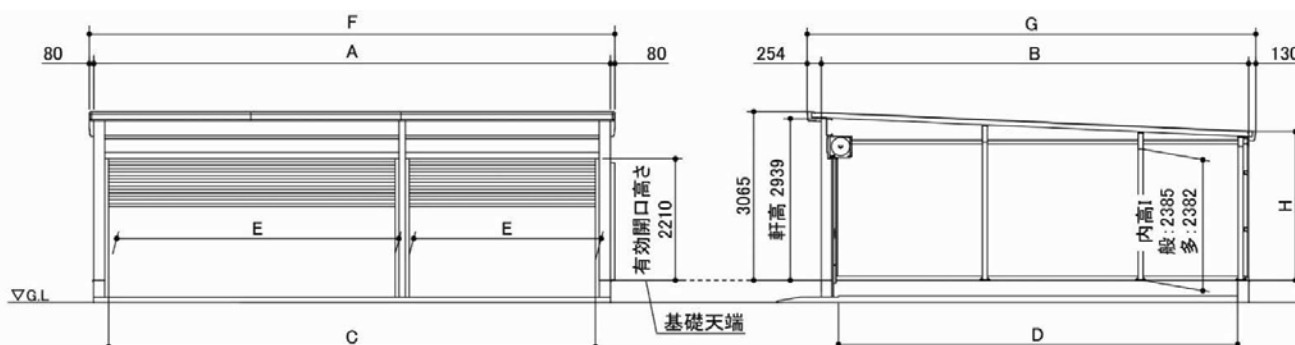


内高I:基礎天端～後母屋の下端まで

機種	面積 (㎡)	外寸法		内寸法		有効開口部 E	屋根外寸		高さ H
		A	B	C	D		F	G	
WG-S3666MP/MU	25.09	3,886	6,686	3,490	6,180	3,350	4,046	7,070	2,750
WG-S3676MP	28.87		7,686		7,180		8,070	2,705	
WG-S5466MP/MU	37.03	5,686	6,686	5,290	6,180	5,150	5,846	7,070	2,750
WG-S5476MP/MU	42.61		7,686		7,180		8,070	2,705	
WG-S6066MP/MU	41.01	6,286	6,686	5,890	6,180	5,750	6,446	7,070	2,750
WG-S6076MP/MU	47.19		7,686		7,180		8,070	2,705	

(単位: mm)

シャッタータイプ 3連棟,4連棟 奥行66,76タイプ



内高I:基礎天端～後母屋の下端まで

機種	面積 (㎡)	外寸法		内寸法		有効開口部 E	屋根外寸		高さ H
		A	B	C	D		F	G	
WG-S5436・66MP/MU	60.91	9,286	6,686	8,890	6,180	左:5150 / 右:3350 左:3350 / 右:5150	9,446	7,070	2,750
WG-S3654・66MP/MU					7,180				
WG-S5436・76MP/MU	70.1	9,886	6,686	9,490	6,180	左:5750 / 右:3350 左:3350 / 右:5750	10,046	7,070	2,750
WG-S3654・76MP/MU					7,180				
WG-S5454・66MP/MU	72.85	11,086	6,686	10,690	6,180	5,150	11,246	7,070	2,750
WG-S5454・76MP/MU	83.84		7,686		7,180			8,070	2,705
WG-S6060・66MP/MU	80.82	12,286	6,686	11,890	6,180	5,750	12,446	7,070	2,750
WG-S6060・76MP/MU	93.00		7,686		7,180			8,070	2,705

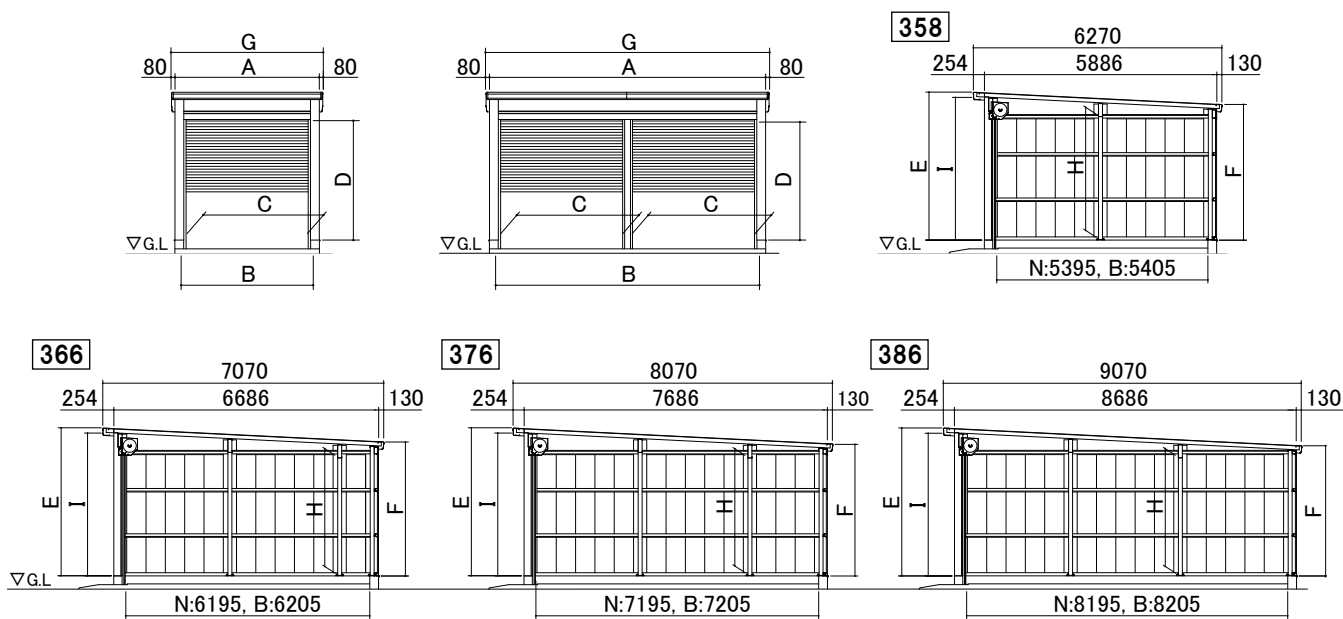
(単位: mm)

詳細寸法表

詳細寸法表

<SGN シリーズ 1>

SGN タイプ 単体型・連棟型



I: 軒高...M 高さ 2939, T 高さ 3239, G 高さ 3539

機種	面積 (m ²)	外寸法		内寸法		有効開口部		高さ		屋根部	内高
		A	B	C	D	E	F	G	H		
SGN-358MP □/MU □/MY □	18.56	3,286	N:2,890 B:2,910	2,780	2,418	3,065	2,785	3,446	2,510		
SGN-358TP □/TU □/TY □					2,718	3,365	3,085			2,810	
SGN-358GP □/GU □/GY □					3,018	3,665	3,385				3,110
SGN-358MP □-2 /MU □-2 /MY □-2	36.07	6,286	N:5,890 B:5,910	2,780	2,418	3,065	2,785	6,446	2,510		
SGN-358TP □-2 /TU □-2 /TY □-2					2,718	3,365	3,085			2,810	
SGN-358GP □-2 /GU □-2 /GY □-2					3,018	3,665	3,385				3,110
SGN-358MP □-3 /MU □-3 /MY □-3	53.57	9,286	N:8,890 B:8,910	2,780	2,418	3,065	2,785	9,446	2,510		
SGN-358TP □-3 /TU □-3 /TY □-3					2,718	3,365	3,085			2,810	
SGN-358GP □-3 /GU □-3 /GY □-3					3,018	3,665	3,385				3,110
SGN-358MP □-4 /MU □-4 /MY □-4	71.07	12,286	N:11,890 B:11,910	2,780	2,418	3,065	2,785	12,446	2,510		
SGN-358TP □-4 /TU □-4 /TY □-4					2,718	3,365	3,085			2,810	
SGN-358GP □-4 /GU □-4 /GY □-4					3,018	3,665	3,385				3,110
SGN-358MP □-5 /MU □-5 /MY □-5	88.57	15,286	N:14,890 B:14,910	2,780	2,418	3,065	2,785	15,446	2,510		
SGN-358TP □-5 /TU □-5 /TY □-5					2,718	3,365	3,085			2,810	
SGN-358GP □-5 /GU □-5 /GY □-5					3,018	3,665	3,385				3,110
SGN-366TP □-2 /TU □-2	41.01	6,286	N:5,890 B:5,910	2,780 (※5,550) ※一般型のみ	2,718	3,365	3,050	6,446	2,685		
SGN-366GP □-2 /GU □-2					3,018	3,665	3,350		2,985		
SGN-366TP □-3 /TU □-3	60.91	9,286	N:8,890 B:8,910	2,780	2,718	3,365	3,050	9,446	2,685		
SGN-366GP □-3 /GU □-3					3,018	3,665	3,350		2,985		
SGN-366TP □-4 /TU □-4	80.82	12,286	N:11,890 B:11,910	2,780	2,718	3,365	3,050	12,446	2,685		
SGN-366GP □-4 /GU □-4					3,018	3,665	3,350		2,985		
SGN-376TP □-2 /TU □-2	47.19	6,286	N:5,890 B:5,910	2,780	2,718	3,365	3,005	6,446	2,685		
SGN-376GP □-2 /GU □-2					3,018	3,665	3,305		2,985		
SGN-376TP □-3 /TU □-3	70.10	9,286	N:8,890 B:8,910	2,780	2,718	3,365	3,005	9,446	2,685		
SGN-376GP □-3 /GU □-3					3,018	3,665	3,305		2,985		
SGN-376TP □-4 /TU □-4	93.00	12,286	N:11,890 B:11,910	2,780	2,718	3,365	3,005	12,446	2,685		
SGN-376GP □-4 /GU □-4					3,018	3,665	3,305		2,985		
SGN-386TP □-2 /TU □-2	53.38	6,286	N:5,890 B:5,910	2,780	2,718	3,365	2,960	6,446	2,685		
SGN-386GP □-2 /GU □-2					3,018	3,665	3,260		2,985		
SGN-386TP □-3 /TU □-3	79.28	9,286	N:8,890 B:8,910	2,780	2,718	3,365	2,960	9,446	2,685		
SGN-386GP □-3 /GU □-3					3,018	3,665	3,260		2,985		

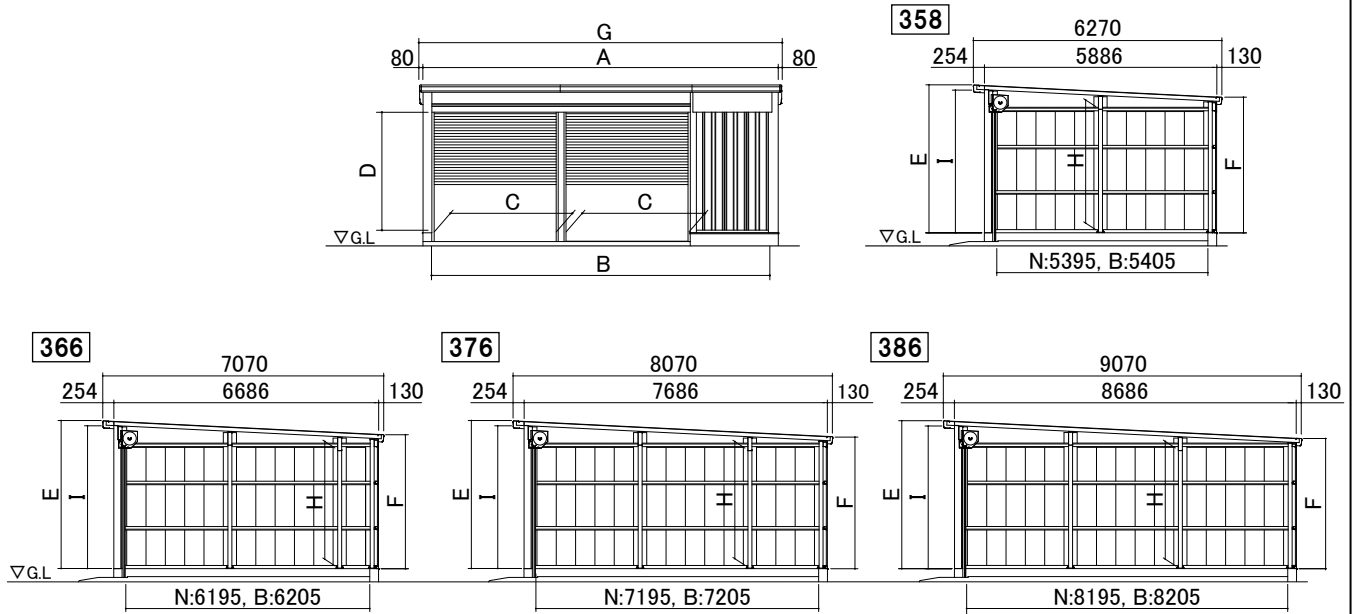
※ P: 一般型, U: 多雪地型, Y: 豪雪地型
 ※ □内には布基礎の場合は N, ベタ基礎の場合は B が入ります。

(単位:mm)

詳細寸法表

<SGN シリーズ 2>

SGN タイプ 連棟型



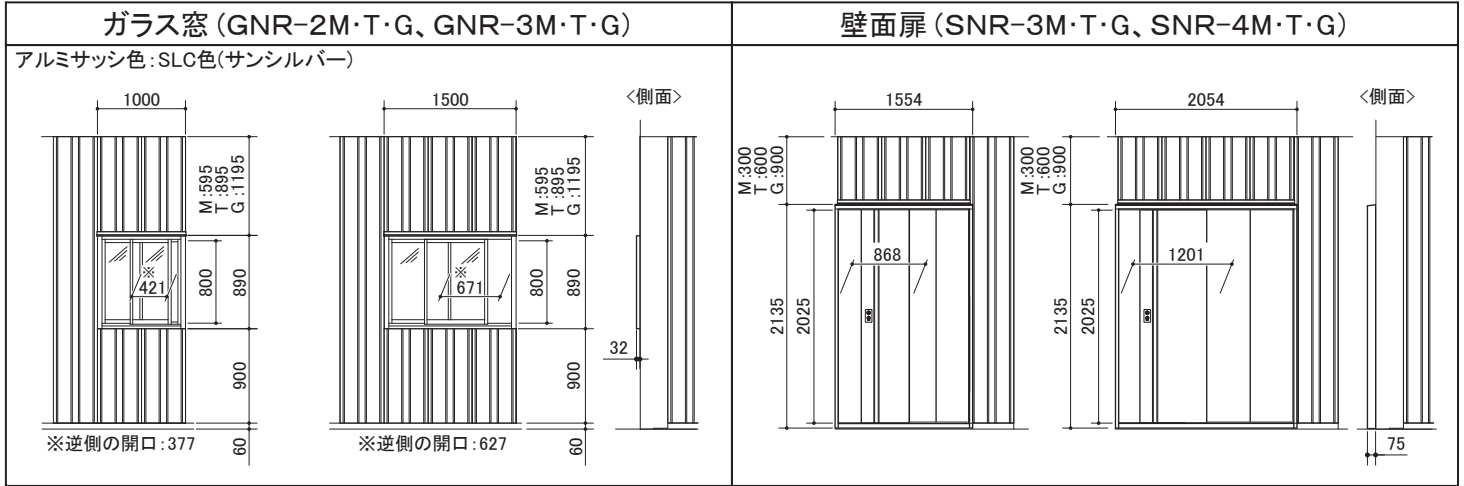
I: 軒高...T 高さ 3239, G 高さ 3539

機種	面積 (m ²)	外寸法	内寸法	有効開口部		高さ		屋根部	内高
		A	B	C	D	E	F	G	H
SGN-358TP□-1.5L(R) / TU□-1.5L(R)	29.06	5,086	N:4,690 B:4,710	2,780	2,718	3,365	3,085	5,246	2,810
SGN-358GP□-1.5L(R) / GU□-1.5L(R)					3,018	3,665	3,385		3,110
SGN-358TP□-2.5L(R) / TU□-2.5L(R) / TY□-2.5L(R)	46.57	8,086	N:7,690 B:7,710	2,780	2,718	3,365	3,085	8,246	2,810
SGN-358GP□-2.5L(R) / GU□-2.5L(R) / GY□-2.5L(R)					3,018	3,665	3,385		3,110
SGN-358TP□-3.5L(R) / TU□-3.5L(R) / TY□-3.5L(R)	64.07	11,086	N:10,690 B:10,710	2,780	2,718	3,365	3,085	11,246	2,810
SGN-358GP□-3.5L(R) / GU□-3.5L(R) / GY□-3.5L(R)					3,018	3,665	3,385		3,110
SGN-358TP□-4.5L(R) / TU□-4.5L(R) / TY□-4.5L(R)	81.57	14,086	N:13,690 B:13,710	2,780	2,718	3,365	3,085	14,246	2,810
SGN-358GP□-4.5L(R) / GU□-4.5L(R) / GY□-4.5L(R)					3,018	3,665	3,385		3,110
SGN-358TP□-5.5L(R) / TU□-5.5L(R)	99.07	17,086	N:16,690 B:16,710	2,780	2,718	3,365	3,085	17,246	2,810
SGN-358GP□-5.5L(R) / GU□-5.5L(R)					3,018	3,665	3,385		3,110
SGN-366TP□-2.5L(R) / TU□-2.5L(R)	52.95	8,086	N:7,690 B:7,710	2,780 (※5,550) ※一般型のみ	2,718	3,365	3,050	8,246	2,685
SGN-366GP□-2.5L(R) / GU□-2.5L(R)					3,018	3,665	3,350		2,985
SGN-366TP□-3.5L(R) / TU□-3.5L(R)	72.85	11,086	N:10,690 B:10,710	2,780	2,718	3,365	3,050	11,246	2,685
SGN-366GP□-3.5L(R) / GU□-3.5L(R)					3,018	3,665	3,350		2,985
SGN-366TP□-4.5L(R) / TU□-4.5L(R)	92.76	14,086	N:13,690 B:13,710	2,780	2,718	3,365	3,050	14,246	2,685
SGN-366GP□-4.5L(R) / GU□-4.5L(R)					3,018	3,665	3,350		2,985
SGN-376TP□-2.5L(R) / TU□-2.5L(R)	60.93	8,086	N:7,690 B:7,710	2,780	2,718	3,365	3,005	8,246	2,685
SGN-376GP□-2.5L(R) / GU□-2.5L(R)					3,018	3,665	3,305		2,985
SGN-376TP□-3.5L(R) / TU□-3.5L(R)	83.84	11,086	N:10,690 B:10,710	2,780	2,718	3,365	3,005	11,246	2,685
SGN-376GP□-3.5L(R) / GU□-3.5L(R)					3,018	3,665	3,305		2,985
SGN-386TP□-2.5L(R) / TU□-2.5L(R)	68.92	8,086	N:7,690 B:7,710	2,780	2,718	3,365	2,960	8,246	2,685
SGN-386GP□-2.5L(R) / GU□-2.5L(R)					3,018	3,665	3,260		2,985
SGN-386TP□-3.5L(R) / TU□-3.5L(R)	94.82	11,086	N:10,690 B:10,710	2,780	2,718	3,365	2,960	11,246	2,685
SGN-386GP□-3.5L(R) / GU□-3.5L(R)					3,018	3,665	3,260		2,985

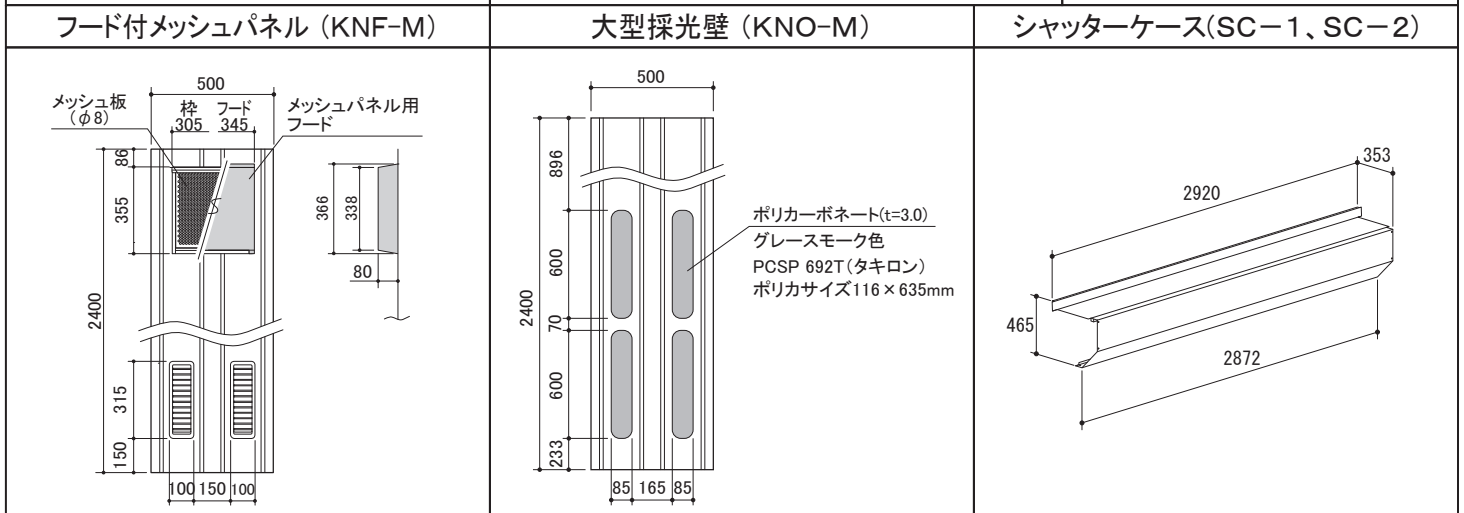
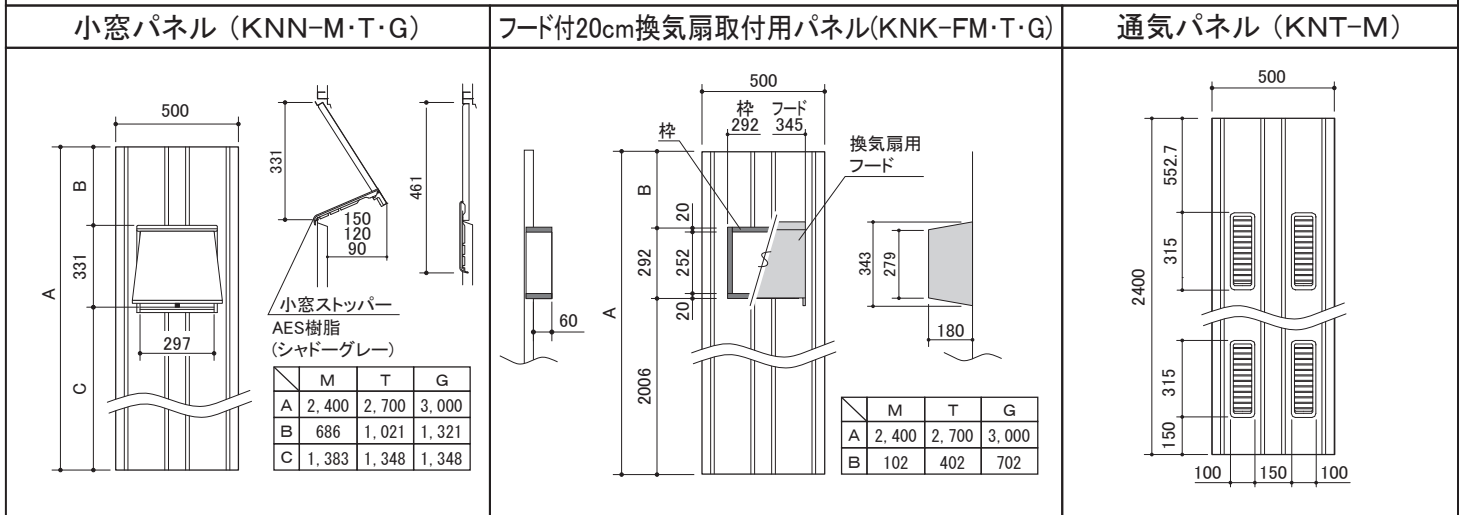
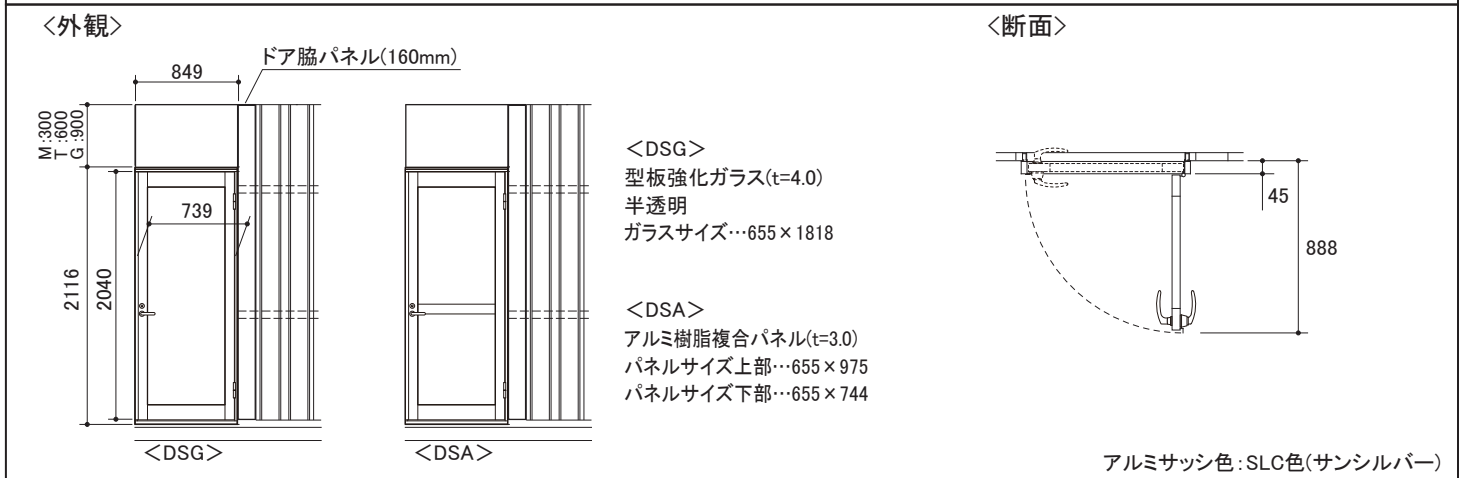
※ P: 一般型, U: 多雪地型, Y: 豪雪地型
 ※ □内には布基礎の場合は N, ベタ基礎の場合は B が入ります。

(単位:mm)

〈WG・SGN オプション〉



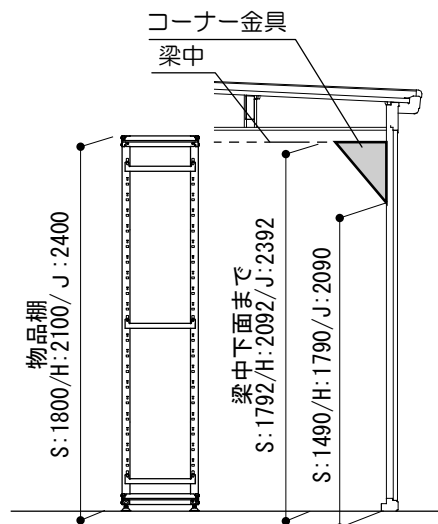
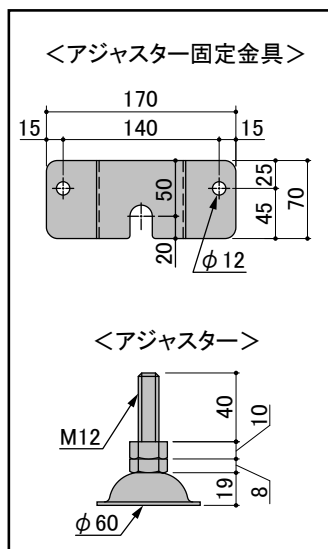
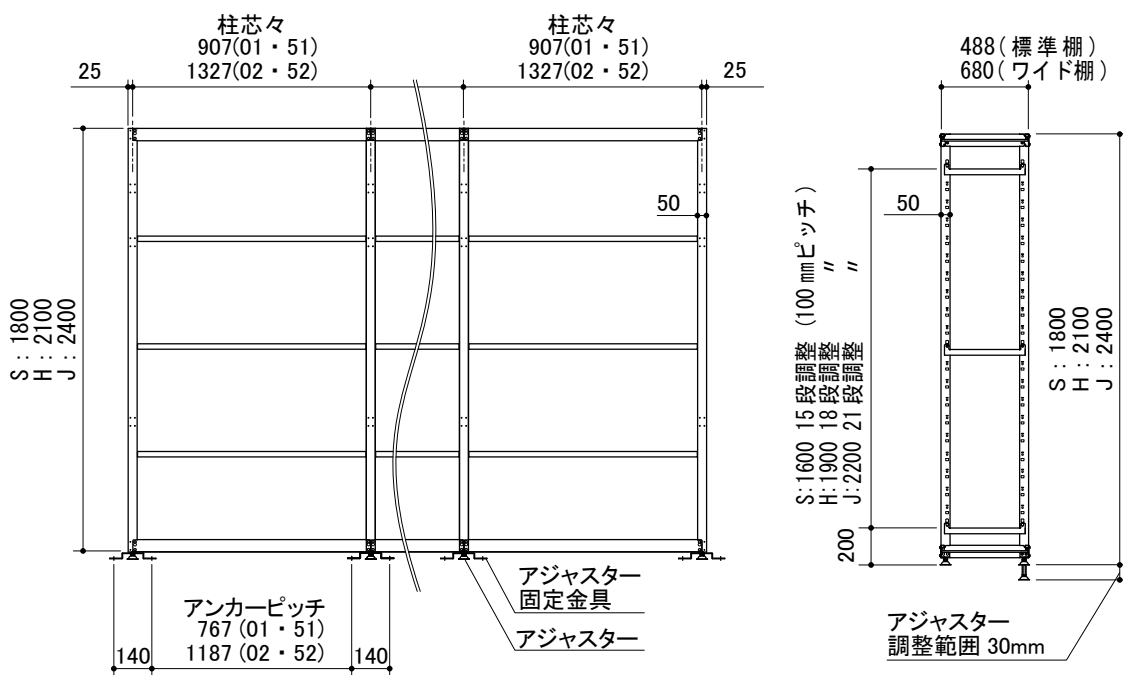
框ドア (DSG,DSA-M・T・G)



〈物品棚〉

詳細寸法表

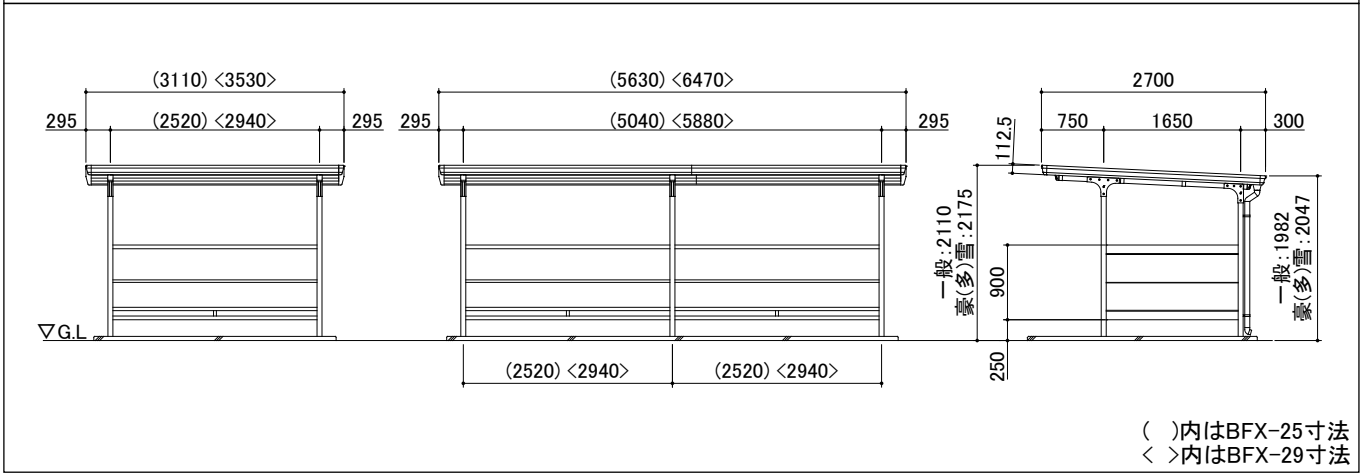
物品棚 (標準棚 : 01・02) (ワイド棚 : 51・52)



例 : GRN に物品棚を配置したとき (ベタ基礎)

自転車置場 <BFXシリーズ>

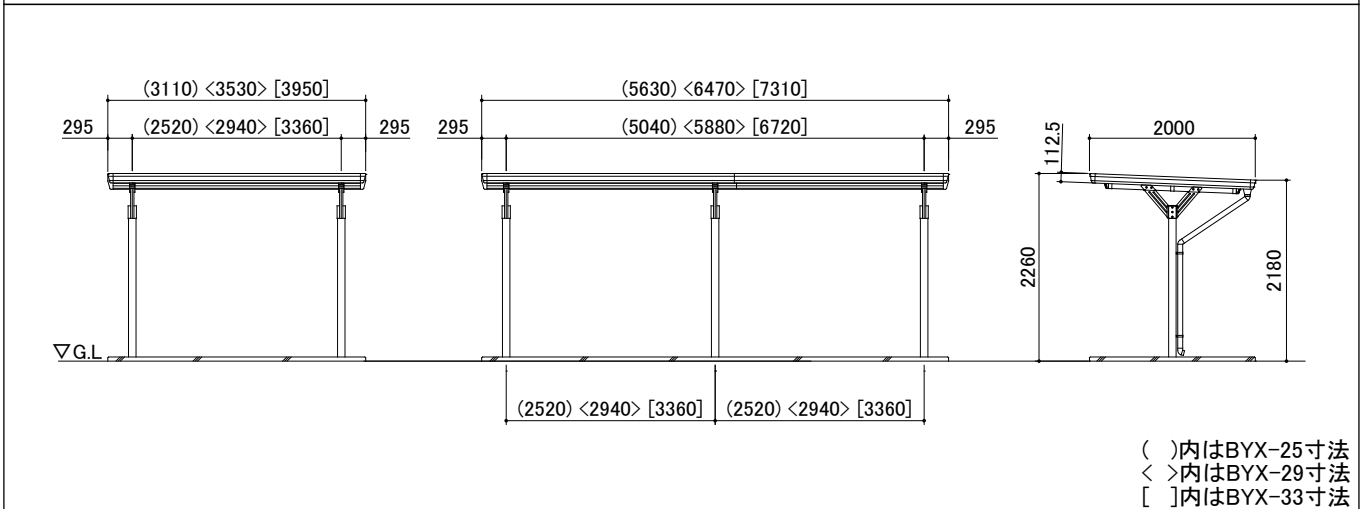
詳細寸法表



単位:mm

自転車置場 <BYXシリーズ>

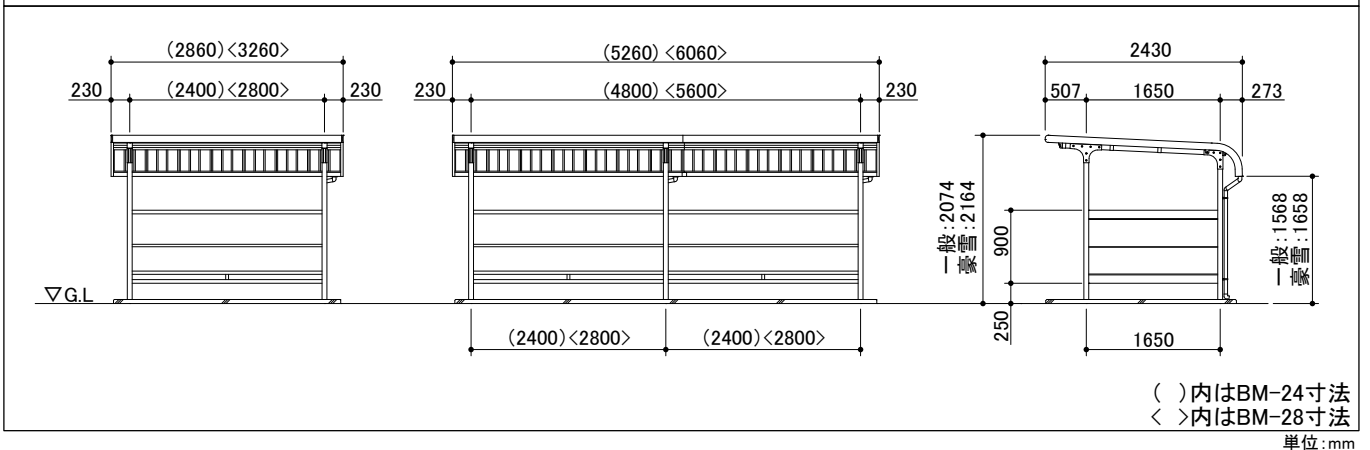
詳細寸法表



単位:mm

自転車置場 <BMシリーズ>

詳細寸法表

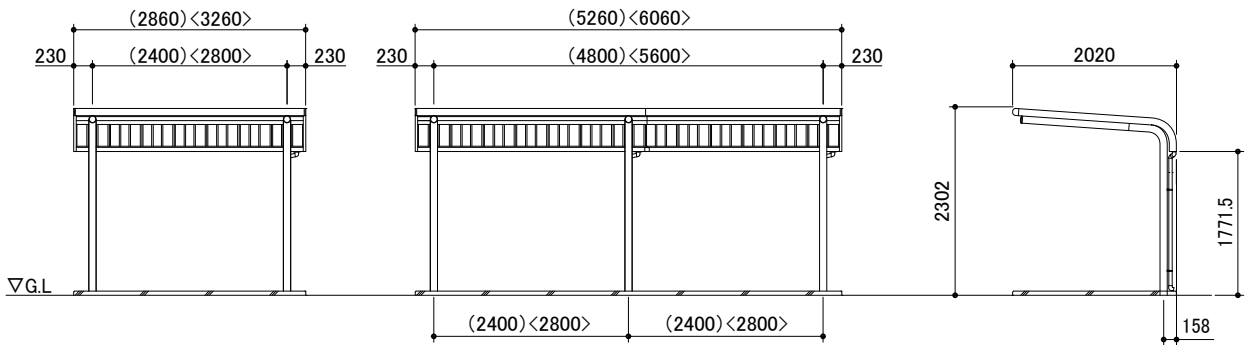


単位:mm

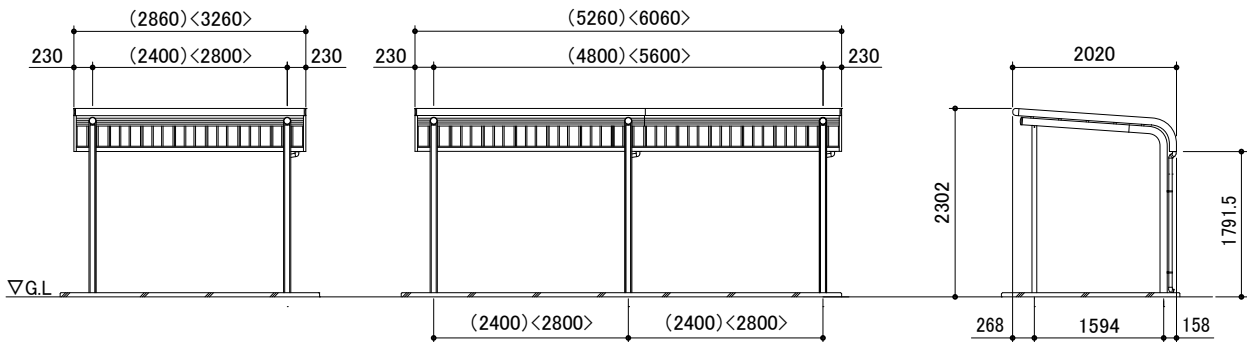
自転車置場 <BPシリーズ>

詳細寸法表

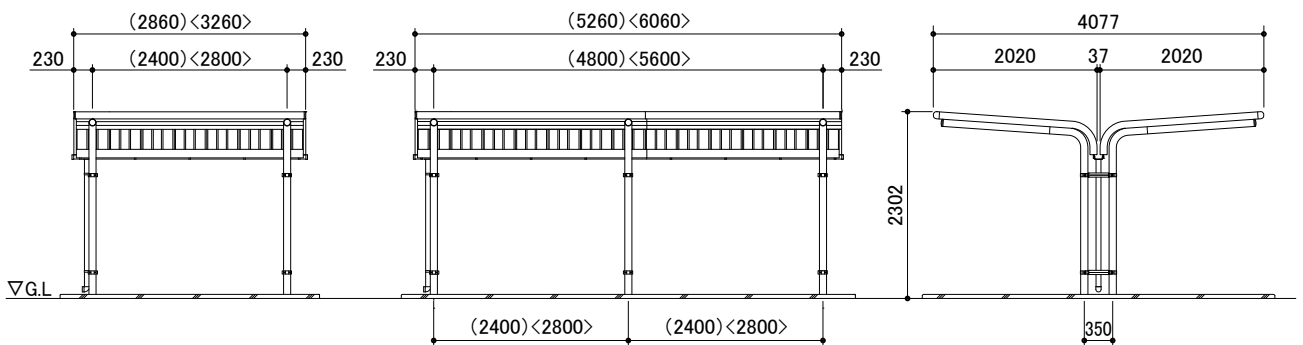
一般型



多雪型



背合わせ

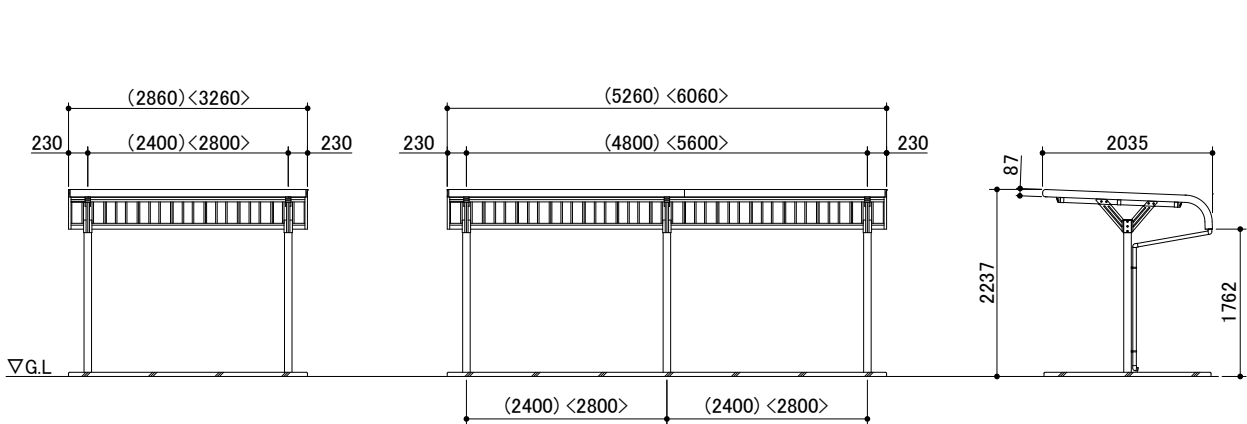


()内はBP-24寸法
< >内はBP-28寸法

単位:mm

自転車置場 <BTシリーズ>

詳細寸法表



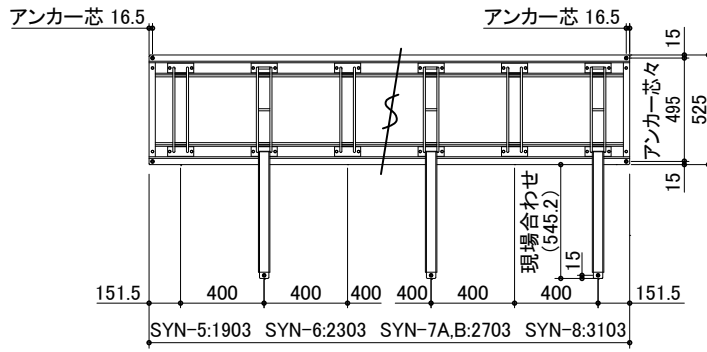
()内はBT-24寸法
< >内はBT-28寸法

単位:mm

詳細寸法表

自転車置場 <オプション1>

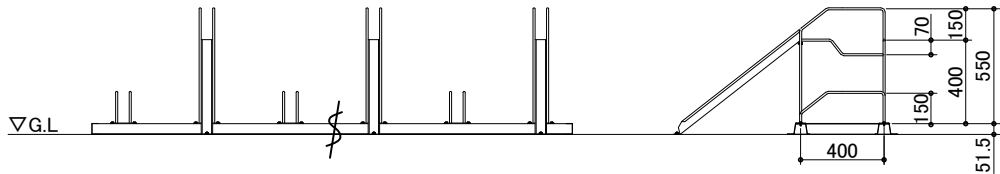
サイクルホルダー (SYN-5, SYN-6, SYN-7A・7B, SYN-8)



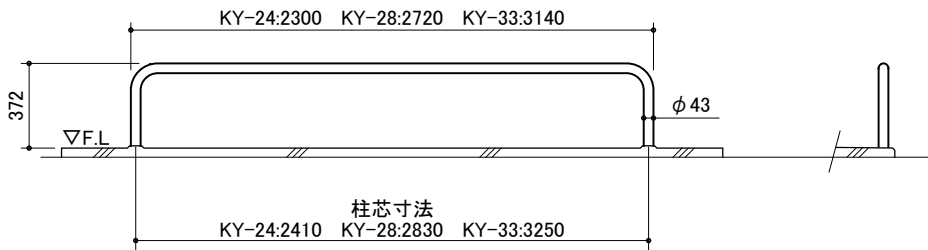
※SYN-7AとSYN-7Bはホルダーの組合せが異なります。

SYN-7A

SYN-7B



BT・BYX 車止め棒 (KY-24, KY-28, KY-33)



単位：mm

自転車置場 〈オプション 2〉

サイクルラック (SL-7, SL-8, SL-9A・9B, SL-10, SL-11A・11B)

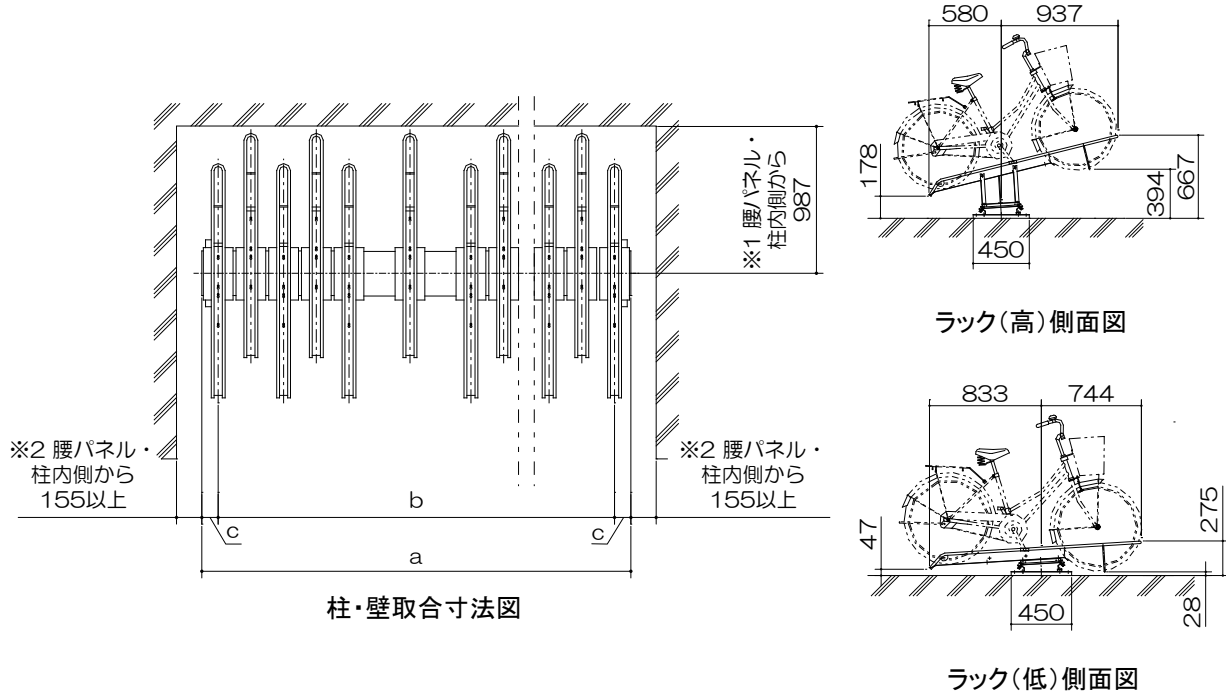
・柱や腰パネル等との関係図

前方または側面に柱や腰パネル等がある場合は、下図の位置に設置してください。

※1 後面腰パネルまたは柱の内側からレールの中心まで987mm以上あけて施工をしてください。

※2 側面腰パネルまたは柱の内側からレールの端までは155mm以上あけて施工をしてください。

※3 特殊な自転車は収納できない場合があります。



[単位 : mm]

名称	対応機種	収納台数 (台)	a	b	c
			レール全長	ラック可動範囲	
SL-7	BFX-25/25S	7	1920	1700	110
	BYX-25				
	BP-24(側面腰パネル付)/24S				
	BM-24/24S				
	BT-24				
SL-8	BFX-29/29S	8	2400	2100	150
	BYX-29				
	BP-28(側面腰パネル付)/28S				
	BM-28/28S				
	BT-28				
SL-9A/9B	BP-24/24V	9	2400	2180	110
SL-9AL/9BL	BP-24L/24VL				
SL-10	BYX-33	10	2800	2500	150
SL-11A/11B	BP-28/28V	11	2800	2580	110
SL-11AL/11BL	BP-28L/28VL				

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing, spanning the width of the page.

互換性編

FS,FB,FK,FLシリーズとNXNシリーズの互換性一覧

	部材名	仕様の違いについて	互換性
土台関係	土台	形状変更	×
	土台中カバー	切り欠き変更、全長・断面形状は変更なし(棚支柱Eの取付は不可)	△
	根太(片開き・両開き)	全長変更	×
	根太(全壁)	変更なし	○
床関係	床パネル(間口K4~6)	床固定フック用穴追加(目隠しキャップが別途必要)	△
	床パネル(間口K7)	2分割→1枚方式、床固定フック用穴追加(目隠しキャップが別途必要)	△
	床パネル(間口K3~3.4)	床の向き変更	×
	床パネル前	寸法変更	
柱関係	柱前・後	形状変更	×
	柱カバー	切り欠き追加	○
小屋組関係	鴨居	形状変更	×
	桁前・後		
	妻板		
	梁中		
母屋中関係	母屋中	形状変更	×
屋根関係	屋根パネル	形状変更	×
壁関係	壁パネル	材質の変更(一般材→400材)	○
扉関係	扉(片開き・両開き)	形状変更	×
	正面パネル(片開き・両開き)		
	鍵穴パッキン		
	戸車		
	スライダー		
	錠前		
	扉パッキン	形状変更	○
	ストッパーゴムB	変更なし	
ストッパーゴムC			
棚関係	棚支柱A	変更なし	○
	棚支柱BN		
	棚支柱C		
	棚板		
その他	N支柱	材質の変更(一般材→400材)	○
	ネジ穴ブッシュ	変更なし	
	アンカープレートRA,RB	形状変更、穴追加(旧名称アンカープレートEA、EB)	×
	アンカープレートVA,VB	形状変更(旧名称アンカープレートHA、HB)	
	屋根パッキン	形状変更	○
	鼻隠し	全長変更	×
	鼻隠し前取付金具	変更なし	○
	ボルトキャップ		
支柱穴ブッシュ			

※互換性はFORTAの部材をNXNに取り付けようとした場合のもので、
 本体色: NXN ミストグレー
 FS ミストグレー

FPとNXPの互換性一覧(プラスシリーズ)

	部材名	仕様の違いについて	互換性
土台関係	土台	形状変更	×
	土台中カバー	切り欠き変更、全長・断面形状は変更なし(棚支柱Eの取付は不可)	△
	根太(全壁)	変更なし	○
床関係	床パネル(間口K4~6)	床固定フック用穴追加(目隠しキャップが別途必要)	△
柱関係	柱前・後・中	形状変更	×
小屋組関係	桁前・後	形状変更	×
	妻板		
	梁中		
母屋中関係	母屋中	形状変更	×
	多雪母屋中(間口K5、6FP専用)	形状変更	×
屋根関係	屋根パネル	全長変更、形状変更	×
壁関係	壁パネル	材質の変更(一般材→400材)	○
扉関係	扉前・中	形状変更(扉、枠セットでの交換なら可)	×
	正面パネル		
	扉枠左右		
	鍵穴パッキン	変更なし	○
	錠裏カバー	変更なし	○
	戸車	形状変更	×
	把手錠	変更なし	○
	スライダ	形状変更	×
	ストッパーゴムB	変更なし	○
	ストッパーゴムC	変更なし	○
	扉ストッパー当板	変更なし	○
	扉中補強カバーN	全長変更	×
	扉上下補強カバー	全長変更	×
	扉パッキン	穴位置変更	×
	ブッシュ	変更なし	○
	正面パネルカバーN	変更なし	○
扉内壁D	変更なし	○	
扉内壁I、J、K、L、M、N	全長変更、全幅変更	×	
ドア関係	ドア本体	形状変更(握り玉仕様の枠ドアと交換する場合は枠セットでの交換なら可)	△
	アルミ枠上	変更なし	○
	アルミ枠下	変更なし	○
	アルミ枠左右(吊元側)	形状変更(握り玉仕様の枠ドアと交換する場合は枠セットでの交換なら可)	△
	アルミ枠左右(戸先側)	形状変更(握り玉仕様の枠ドアと交換する場合は枠セットでの交換なら可)	△
	目板	変更なし	○
	ドア枠固定板上	変更なし	○
	ドア枠固定板左右	変更なし	○
	ドア枠カバー左右	変更なし	○
内装関係	回り縁取付板前後	変更なし	○
	回り縁取付板左右K3	穴ピッチ変更	×
	回り縁取付板左右K4~6	切り欠き追加	○
	回り縁前後	変更なし	○
	回り縁左右K3	穴ピッチ変更	×
	回り縁左右K4~6	変更なし	○
	回り縁中	穴位置変更	×
	多雪回り縁中	穴位置変更、切欠き変更	×
	建築対応回り縁中	新規	×
	野縁	変更なし	○
	天井	変更なし	○
	内壁	変更なし	○
	カバーA	変更なし	○
	カバーB		
カバーC			
カバーT			
棚関係	棚支柱P	変更なし	○
	棚支柱取付金具P	変更なし	○
	棚支柱ENPH	形状変更	×
部品箱	野縁金具A	形状変更	×
	野縁金具B		
	床パッキンテープA~C	変更なし	○
	天井用両面テープ	変更なし	○

※互換性はFPの部材をNXPに取り付けようとした場合のものです。

FWとNXN-Kの互換性一覧(併設タイプ)

	部材名	仕様の違いについて	互換性
土台関係	土台左右(開放側)	形状変更	×
	土台中		
	土台中カバー		
柱関係	柱(開放側)	形状変更	×
	柱端(中)カバー		
小屋組関係	桁前(開放側)	形状変更	×
	桁後(開放側)		
	妻板(開放側)		
その他	腰パネル	変更なし	○
	アンカープレートXA,XB	穴位置変更(旧名称WA,WB)	×

※互換性はFORTA-WITHの部材をNXN-WITHに取り付けようとした場合のものです。
 本体色: NEXTA-with ミストグレー
 FORTA-with ミストグレー

FDとNXDの互換性一覧(ドア連続タイプ)

	部材名	仕様の違いについて	互換性	
土台関係	土台	形状変更	×	
床関係	床パネル【1枚床】(0808,0809)	寸法変更	×	
	床パネル(間口820,950)			
	床パネル前			
柱関係	柱	形状変更	×	
	柱カバー			
小屋組関係	鴨居	形状変更	×	
	桁後			
	妻板			
	鼻隠し			
	梁中			
	梁中央			
母屋中関係	母屋中	形状変更	×	
屋根関係	屋根パネル	形状変更	×	
壁関係	壁(W580,710含む)	材質の変更(一般材→400材)	○	
	脇パネル	形状変更	×	
扉関係	扉S(W710)	ヒンジ取り付け部分の切り欠き寸法等変更	○	
WL用関係	土台関係	中土台前	形状変更	×
		中土台後	変更なし	○
		中幕板左右	変更なし	
		中鴨居	形状変更	×
	扉関係	扉WS(W710)	ヒンジ取り付け部分の切り欠き寸法等変更	○
		ドアチェーン	変更なし	
	その他	チェーン取付板A・B	変更なし	○
		中土台受板		
棚関係	床押え			
	棚板	変更なし	○	
	棚支柱U	変更なし	○	
	棚支柱F	形状変更【※NXD-08WL(2段式)にFD用の棚支柱Fは取付不可】	△	
その他	N支柱	材質の変更(一般材→400材)	○	
	鼻隠し前取付金具	変更なし		
	屋根パッキン	形状変更		
	ヒンジビスガイド	変更なし		
	ヒンジセットA・B			
	ヒンジ止板	形状変更		
	ヒンジホルダー			
	床パネルブッシュ	変更なし		
	ドアクローザー	変更なし		
	外アンカープレートRA,RB	形状変更(旧:アンカープレートE)		
	外アンカープレートVA,VB(中間用)	穴位置変更		×
	内アンカープレートP	形状変更		×

※互換性はFDの部材をNXDに取り付けようとした場合のものです。
 本体色: NXD ミストグレー
 FD ミストグレー

FF,FMシリーズとFXNシリーズの互換性一覧(ドマール、バイク保管庫)

	部材名	仕様の違いについて	互換性	
土台関係	土台水切り板	形状変更	×	
	土台取付板A			
	土台取付板B			
	土台取付板C	新規	-	
	土台カバーC			
	土台左右	形状変更	×	
	土台左右 床付き			
	土台前			
	土台前 バイク床付き			
		土台前取付板	変更なし	○
		L字金具	形状変更	×
床関係	バイク床BM,BL,BD	変更なし	○	
	バイク床BY,BJ,BC	幅変更	×	
柱関係	柱前左右	形状変更	×	
	柱前左右 床付き			
	柱前中			
小屋組関係	桁前	形状変更	×	
	シャッターカバー			
その他	ブラケット補強バー	全長変更	×	
	シャッターレール	形状変更	×	
	レール取付板	GRN共通	×	
	ストッパーゴム	変更なし	○	
	連棟仕切土台中	形状変更	×	
	土台中S			
	土台継板	変更なし	○	
	アンカープレートF			
	目隠しキャップ	MJX,BJX,KMW共通	-	
	シャッター	三和製に変更 間口寸法 -40mm	×	

※互換性はFF/FMの部材をFXNに取り付けようとした場合のものです。

本体色:FXN ミストグレー

FF/FM ミストグレー

オプション互換性一覧(FORTAシリーズとNXNシリーズ)

	部材名	仕様の違い	互換性	
OP関係	壁面扉	形状変更(扉、枠セットでの交換なら可)	△	
	框ドア	新規設定(握り玉仕様の框ドアと交換する場合は枠とセットで交換)		
	ガラス窓	UC(シャンパングレー)→SLC(サンシルバー)に色変更、K-4S廃止		
	網戸	UC(シャンパングレー)→SLC(サンシルバー)に色変更		
	小窓パネル	材質の変更(一般材→400N材)		
	フード付き20cm換気扇取付用パネル	20cm換気扇取付用パネルをフード付きに変更		
	通気パネル		○	
	採光壁	変更なし		
	メッシュ付壁パネル			
	メッシュパネル用フード			
	棚板	棚板09、10は新規設定(NEXTAと互換性なし)		
	棚支柱A		△	
	棚支柱BN	変更なし		
	棚支柱C			
	棚支柱ENS/ENH	形状変更(旧名称ES/EH)、ワイド棚は互換性なし		
	棚支柱FNS/FNH	形状変更(旧名称FS/FH)、ワイド棚は互換性なし		
	棚支柱KHND	形状変更(旧名称KHD)、ワイド棚は互換性なし、本体Sタイプ用は設定なし	△	
	棚支柱U	変更なし		
	雨とい	軒とい	変更なし	○
		たてとい		
		たてとい延長パーツ		
		たてといブラケットWA		
		たてといブラケットWB		
		じょうごB		
		丸角エルボ		
		たてとい取付板中		
	のきとい取付金具左右	形状変更	×	
	たてとい取付板左右	形状変更		
	のきとい押え	形状変更		
	内施錠付引戸	新規設定(扉、枠セットでの交換なら可)	△	
	シャッターOP	シャッターケース	形状変更	×
		シャッター補強金具	形状変更、受け金具追加	○
		防盜バー	バー全長変更	
		ワイヤーロックバー	変更なし、間口1530mm用追加	
	バイク用スロープ			
	アルミスロープ	変更なし	○	
	アンカープレートWC			
	引き込み式2枚戸用	変更なし		
	タイヤラック	引き分け戸用	バー全長変更、タイヤパーフック受板追加	×
		壁面扉用	タイヤパーフック受板が必要	△
	タイヤバー	変更なし	○	
	アンカープレートP	形状変更(旧名称アンカープレートL)	×	
	掛金	掛金	全長変更(新規で取付の場合は○、交換の場合は×)	△
		Uボルト	変更なし	○
		リテーナプレート		○
		当て紙	マーキング位置変更	
	窓下棚		○	
棚下引き出し				
段差スロープ	変更なし			
コンクリート用型枠				
床用マット				
壁補強セット	材質の変更(一般材→400N材)			

※互換性はFORTAシリーズのオプションをNEXTAシリーズに取り付けようとした場合のものです。

NXD-L (WL) シリーズとNXN-DL (WL) シリーズの互換性一覧

	部材名	仕様の違いについて	互換性
土台関係	土台前	形状変更	×
柱関係	柱前		
小屋組関係	鴨居		
扉関係	扉		
	ヒンジ		
WL用部材関係	中土台前		
	中鴨居		
	扉		
	ヒンジ		
その他	上記以外の部材	共通形状	○

※互換性はNXNの部材をNXに取り付けようとした場合のものです。
 本体色：NXN-DL(WL) ミストグレー
 NXD-L(WL) ミストグレー

NXNシリーズとNXシリーズの互換性一覧

	部材名	仕様の違いについて	互換性	
土台関係	土台前	共通形状	○	
	土台後			
	土台左右	20CS,20S用/DLタイプ(K3)		根太の切り欠き追加
		上記以外		共通形状
	土台中	20CS,20S用/DLタイプ(K3)		根太の切り欠き追加
上記以外		共通形状		
扉関係	扉	形状変更※扉セットでの交換は可能(モヘア→パッキン、錠前変更)	△	
その他	S字フック	廃止	—	

※互換性はNXNの部材をNXに取り付けようとした場合のものです。
 本体色：NX ミストグレー
 NXN ミストグレー

FXNシリーズとFXシリーズの互換性一覧 (ドマール、バイク保管庫)

	部材名	仕様の違いについて	互換性	
土台関係	土台前	バイク保管庫(床付単体)	形状変更(L金具仕様)	×
		上記以外	共通形状	○
	土台後	バイク保管庫(床付)※K3以外	NXNと共通形状	×
		上記以外	共通形状	○
	土台左右	バイク保管庫(床付単体)	形状変更(L金具仕様)	×
		上記以外	共通形状	○
柱関係	柱前左右	バイク保管庫(床付単体)	形状変更(柱埋め込みなし、L金具仕様)	×
		上記以外	シャッターカバー取付用穴追加	
小屋組関係	シャッターカバー	バイク保管庫(床付)	補強の形状変更	○
		上記以外	形状変更	×

※互換性はFXNの部材をFXに取り付けようとした場合のものです。
 本体色：FX ミストグレー
 FXN ミストグレー

NXシリーズとMBWシリーズの互換性一覧

	部材名	仕様の違いについて	互換性	
土台関係	土台前	形状変更	×	
	土台後	間口K-5	切り欠き変更	×
		上記以外	MBWと共通形状（色違いのみ）	○
	土台左右	片開き(Cタイプ 奥行K-5)	切り欠き変更	×
		片開き(上記以外)	MBWと共通形状（色違いのみ）	○
		両開き	切り欠き変更	×
	土台中	全壁	MBWと共通形状（色違いのみ）	○
		根太	切り欠き変更	×
	根太	片開き	MBWと共通形状（色違いのみ）※使用本数変更機種あり	○
		両開き	全長変更	×
全壁・Cタイプ		MBWと共通形状（色違いのみ）※使用本数変更機種あり	○	
床関係	床パネル	片開き・全壁	MBWと共通形状	○
		両開き	一部幅変更(420mm幅のみMBWと共通形状、色違いのみ)	△
柱関係	柱前左右	片開き・両開き	切り欠き変更	×
		全壁	MBWと共通形状（色違いのみ）	○
	柱前中	片開き・両開き	切り欠き変更	×
		全壁	MBWと共通形状（色違いのみ）	○
	柱後左右			
	柱後中			
柱カバー				
小屋組関係	鴨居	形状変更	×	
	桁前	換気ガラリ形状変更(取付の互換性あり)	○	
	桁後	MBWと共通形状（色違いのみ）		
	妻板	形状変更	×	
	鼻隠し前後			
	梁中			
母屋中関係	母屋中	MBWと共通形状（色違いのみ）	○	
屋根関係	屋根パネル	屋根補強形状変更・全長変更	×	
壁関係	壁パネル	リブ形状変更・色違い(取付の互換性あり)	○	
扉関係	扉(片開き・両開き・壁面扉)	形状変更	×	
	正面パネル(片開き・両開き・壁面扉)			
	戸車	変更なし	○	
	スライダー			
	鍵穴パッキン			
棚関係	棚板	MBWと共通形状（色違いのみ）	○	
	棚支柱	切り欠き変更・全長変更・色違い(一部支柱は取付の互換性あり)	△	
その他	アンカープレート	MBWと共通形状（色違いのみ）	○	
	ネジ穴ブッシュ			
	ボルトキャップ			
	雨とい	たてとい	形状変更・色違い(取付の互換性あり)	○
		軒とい	MBWと共通形状	
		のきとい押さえ	MBWと共通形状（色違いのみ）	
その他雨とい部品		形状変更	×	
		MBW共通形状	○	

※互換性はNXの部材をMBWに取り付けようとした場合のものです。
 本体色:MBW マイルドアイボリー
 NX ミストグレー

シンプリーの互換性一覧

	部材名	仕様の違いについて	互換性(※1)
MJ→MJN	ベース	アルミレール変更(落とし込み→上げ落とし、UC色→シルバー色)	○
	床パネル	共通形状	
	屋根	アルミレール色変更(UC色→シルバー色)	
	側板	フックバー用穴追加	
	棚支柱	共通形状、棚支柱AとTは色変更(ファインシルバー→ミストグレー)	
	扉	形状変更。セットでの交換は可能(把手、扉カバーのみ交換は不可)	
	ボルトキャップ	NX形状に変更、色変更(ファインシルバー→ミストグレー)	○
MJN→MJX	棚支柱、フックバー、Pフック、床パネル	共通形状	○
	壁(W420)	リブの形状と位置変更	×
	壁(W310)	形状変更	
	その他	形状変更	

※1 互換性は新仕様の部材を旧仕様に取り付けようとした場合のものです。

アイビーストッカーの互換性一覧

	部材名	仕様の違いについて	互換性(※1)
BJ→BJN	ベース	形状変更	×
	床パネル	共通形状	○
	屋根	フック引掛板廃止、エンブレム追加	
	側板	形状変更	×
	棚支柱	棚ピッチ変更(50mm)	
	壁	棚ピッチ変更(50mm) E高さ(側板とのボルト止め位置変更)	
	扉	水抜き穴廃止、色変更、銘板シール廃止	○
	ボルトキャップ	NX形状に変更、色変更(ファインシルバー→ミストグレー)	
	アンカープレート	アジャスタブルアンカー(MJNと共通)に変更	
BJN→BJX	フックバー、Pフック	共通形状	○
	壁(W420)	リブの形状と位置変更	×
	壁(W310)	形状変更	
	その他	形状変更	

※1 互換性は新仕様の部材を旧仕様に取り付けようとした場合のものです。

ダストボックス・ミニの互換性一覧

下表以外の部材は互換性がありません。

	部材名	仕様の違いについて	互換性(※1)
DB→DBN	ガススプリング	変更なし	○
	アジャスター(M10)		
DBN→DCN	下補強	下補強カバー以外は共通部材	△
	前パネル	前パネル下のみ共通部材	△
	ガススプリング	ガススプリングは共通部材。取付金具の形状が異なる。	△
	扉	共通部材	○
	床		
アジャスター(M10)			

※1 互換性は新仕様の部材を旧仕様に取り付けようとした場合のものです。

GRN・BRK・DR・SGNシリーズ シリーズ途中での仕様変更一覧

	部材名	新旧の仕様の違いについて	互換性																	
GRN BRK	屋根パネル前・後 桁前・後 母屋中 母屋中央 (GRN) 母屋中央屋根板 (BRK)	‘19.06～ 屋根パネルをネジ板ボルトから溶接ナット に変更	屋根パネル前・後は互換性あり。 新 屋根パネル+旧 桁・母屋→○ 旧 屋根パネル+新 桁・母屋→×																	
GRN BRK	鼻隠し後	‘19.06～ 積雪による破損を防ぐため、GRN豪雪型・ BRK多雪型の留め数を増やす変更。	互換性あり。 GRN豪雪型・BRK多雪型の場合は、鼻隠し後 固定板を追加で取り付けてください。																	
GRN BRK DR	妻板 梁左右	‘20.06～ 前後の重なり部のコーキング廃止と積雪 による破損を防ぐため変更。	GRN・DR…【旧 妻板左右前+新 梁左右後】 BRK…【旧 妻板左右前+新 梁左右中】 の組合せの場合、妻板にM6タップ加工が必要。 その他の組み合わせは追加加工なく取り付け可。																	
DR	シャッタースラット	‘20.12～ 雨水が溜まりにくい断面形状に変更。	旧スラットの下に新スラットを取り付けできます。 新スラットの下に旧スラットを取り付けできません。 吊元、座板は新旧どちらも取り付けできます。 交換したいスラットから下をすべて交換なら可。 ※スラット同士の隙間が大きくなります。																	
GRN BRK DR SGN	リモコンシャッター	‘21.09～ 開速度変更。 詳細はシャッター変遷表を参照。	GRN・BRK・DRは互換性あり。 SGNはスラットのみ互換性あり。																	
SGN	桁前後・母屋	‘23.06～ 屋根ブレース取付用の穴をブレースに合わせた穴 径にし、部材設定を1種類から2種類に変更。 桁前後・母屋の部材設定 Φ17用(1種類) ↓ Φ13用、Φ17用(2種類)	互換性あり。 (屋根ブレースのボルト径に合わせて手配して ください) <屋根ブレースボルト径> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>P(般)</th> <th>U(多)</th> <th>Y(蒙)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>358</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">Φ13</td> <td>Φ17</td> <td>Φ17</td> </tr> <tr> <td>366</td> <td>Φ13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>376</td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>386</td> <td>Φ17</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		P(般)	U(多)	Y(蒙)	358	Φ13	Φ17	Φ17	366	Φ13		376		-	386	Φ17	
	P(般)	U(多)	Y(蒙)																	
358	Φ13	Φ17	Φ17																	
366		Φ13																		
376			-																	
386		Φ17																		
SGN	梁中	‘23.09～ 仮置用のツメ形状変更(前側のみ)	条件付きで互換性あり。 ・桁前とのセットでの交換 ・仮置用のツメが桁前と干渉するため、ツメを 潰してください。(仮置ができなくなるため、 施工時注意！)																	

GRシリーズ → GRNシリーズ、BRNシリーズ → BRKシリーズ 互換性一覧

下表以外の部材は互換性がありません

	部材名	GR・BRNシリーズとの仕様の違いについて	互換性	
GR部材	土台取付板A・B・C	変更なし	○	
	レール止め板			
	シャッターカバー取付板			
	上枠継ぎ板			
	梁中前・後枠取付金具			
	豪雪柱			
	耐力壁用枠			
	シャッター補強金具W			
	シャッター補強金具取付板W			
	シャッター補強金具受A・B			
	シャッター補強金具取付軸・Eリング			
	シャッター補強延長金具			全長、形状変更
BRN部材	多雪柱	変更なし		
	シャッターレール取付板			
	土台取付板A・B・C	表面処理の変更		
	梁中取付板			
GR・BRN 共通部材	土台カバーA	分割方式に変更		
	土台カバーB・C	変更なし		
	コーナー金具			
	アンカーボルト			
	カンザシB			
	胴縁取付金具B・CN			
	鼻隠し前取付板			
	框ドアS・H(ドア本体、アルミ枠)			'21.10～握り玉仕様からレバーハンドル仕様に変更 ドア本体+アルミ枠のセット交換なら可
	窓枠補強下金具	変更なし		○
	換気扇取付枠			
	通気ガラリ(本体・カバー・当板)			
	○棚支持金具F			
	○棚板押え板			
	○棚支柱EC			
○棚支柱Sベース	名称変更。棚支柱R→GAS、GAH 高さ設定の変更	△		
○棚支柱R				
○棚支柱W			名称変更。棚支柱W→GAJ 高さ設定変更	
○棚支柱S	名称変更。棚支柱S→GB 高さ設定変更	○		
M6・M8ボルト、ネジ板	表面処理の変更			
枠取付軸・スナップピン				

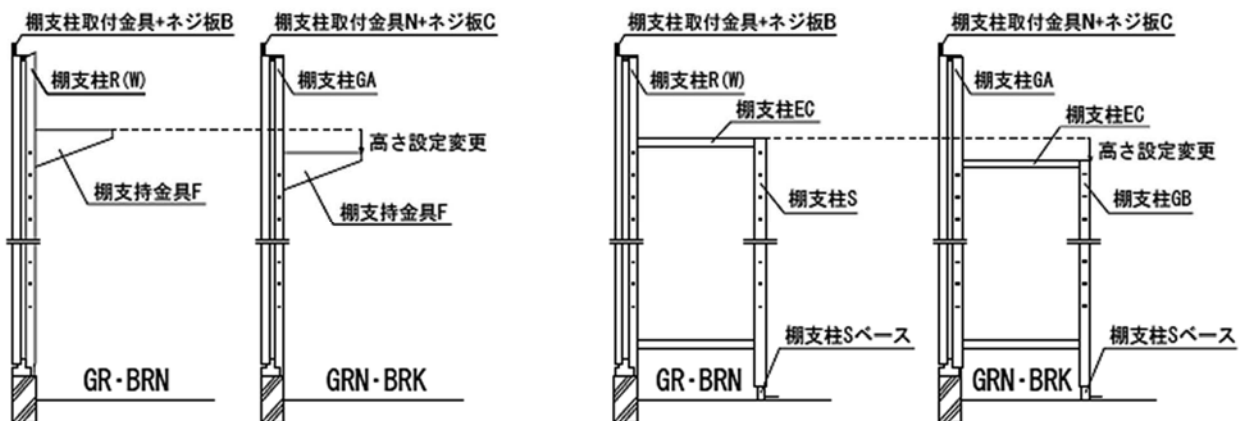
※互換性はGRN・BRKの部材をGR・BRNに取り付けようとした場合のものです。

○棚関係の注意

棚支柱取付金具と棚支柱取付金具Nは互換性なし。

標準棚の場合…棚支柱単品は互換性あり。(高さ設定変更)

ワイド棚の場合…棚支柱GA・GBのセット交換なら可。(高さ設定変更)



互換性編

SGNシリーズ('17.10~)とSGシリーズ 互換性一覧

下表以外の部材は互換性がありません

	部材名	SGシリーズとの仕様の違いについて	互換性	
小屋組関係	桁前単体・二連	変更なし	○	
	シャッターカバー単体・二連			
	母屋単体・二連			
	後母屋単体・二連			
	小梁前			
	小梁受A・B・C			
	シャッター受A・B			
	妻内当板			
	桁前補強			
	コーナー金具前・後			
	ブレースB・BU	名称変更 ブレースB(屋根)・BU(屋根)→ブレースB(屋根)/K5・BU(屋根)/K5		
	小梁後・小梁後B	名称変更 小梁後(K6)・小梁後B(K6)→小梁後/K5・小梁W/K5		
	タイトフレーム、単独タイトフレーム、妻タイトフレーム、ルーフバンド、面戸1個口、面戸2個口	※豪雪地型用を使用		
シャッター関係	ケース補強	変更なし	○	
	外まぐさ			
	内まぐさ	全長変更		
	手動シャッターブラケット	ステンレスの当板追加 内まぐさとセット交換なら互換性あり	△	
	手動シャッター本体	変更なし	○	
	シャッタースラット			
	ハンガーレール			
	移動柱	全長変更(ナット板Bが別途必要)	△	
		ナット板A	変更なし	○
		中柱取付金具		
	耐風ロック			
	トップラッチ吊り金具			
	受け皿			
	シャッターストッパーゴム			
その他	豪雪柱	変更なし	○	
	豪雪柱取付板			
	豪雪柱用ベースプレート			
	スポンジテープ			
	ベースプレート			
	ボルト・ナット・ワッシャー	表面処理の変更		
オプション関係	シャッターケースカバー	変更なし	○	
	シャッターケースA・B・C			
	物品棚一式	胴縁固定金具は全長変更		
	シャッター補強金具	'19.07~シャッター補強金具SBの変更 一面用は互換性あり 移動柱脇二面用は一式交換なら互換性あり	△	

※互換性はSGNの部材をSGに取り付けようとした場合のものです。

リモコンシャッターブラケット、リモコンシャッター本体、連装用部品は互換性がありません。
リモコンシャッターを交換する場合は一式+内まぐさを交換してください。

※屋根は、互換性がありません。

機種	積雪強度	屋根種類
SG	一般型・多雪地型・豪雪地型	折板屋根(Hルーフ)
SGN	一般型・多雪地型	折板屋根(イナバ製)
	豪雪地型	折板屋根(Hルーフ) SG→SGNで全長変更

SSMシリーズとSMKシリーズの互換性一覧

	部材名	仕様の違いについて	互換性(※1)
本体	土台	変更なし	○
	根太	形状変更	○
	床板	かみ合わせ形状が異なるため、1枚での交換は不可。 床板全取り換えなら交換可能。	△
	柱	形状変更	×
	桁前		
	桁後		
	妻板		
	梁中		
	母屋中		
	屋根	変更なし	○
	鼻隠し	形状変更	×
	壁パネル	変更なし	○
	標準壁内壁		
	パネル押え		
	ジョイントカバー	形状変更	○
	断熱材(床、壁)	変更なし	○
	野縁	形状変更	×
	天井		
	回り縁		
巾木	変更なし	○	
雨とい関係	軒とい前期(発売～1998年9月)	単品での交換は不可。 軒とい+じょうご+軒とい取付板+軒といふたのセットで交換なら可能。	△
	軒とい後期(1998年10月～販売終了)	変更なし	○
	軒とい押え	形状変更	×
	たてとい	変更なし	○
扉関係	扉前	板厚t0.6→t0.8に変更。錠前変更。	○
	扉中	板厚t0.6→t0.8に変更。	○
	正面パネル	変更なし	○
	扉上パネル		
	扉入口枠(上下左右)		
	引き戸枠(アルミ枠)	上枠のみなど、単品での交換は不可。 引き戸枠丸ごとならSMK用で対応可能。	△
扉上内壁	W寸法は同じ。H寸法が3mm違う(SMKが短い)。	○	
ドア関係	ドア本体	錠の数が異なる(SMK:外錠2個・内錠2個/SSM:外錠1個・内錠2個)。	○
	ドア脇パネル	仕様変更。 単品での交換は不可。 ドア脇+ドア上+ドア枠+ドア入口枠+内壁のセットで交換なら可能。	△
	ドア上パネル		
	ドア枠(アルミ)		
	ドア入口枠		
	ドア上内壁		
ドア脇内壁			
親子ドア関係	ドア本体(親)	錠の数が異なる(SMK:外錠2個・内錠2個/SSM:外錠1個・内錠2個)。	○
	ドア本体(子)	仕様変更。 単品での交換は不可。 ドア本体(子)+ドア上+ドア枠+ドア入口枠+内壁のセットで交換なら可能。	△
	親子ドア上パネル		
	親子ドア枠(アルミ)		
	親子ドア入口枠		
ドア上内壁			
棚関係	棚支柱A	形状変更	×
	棚支柱B、C、D	変更なし	○
	ジョイント支柱	名称変更(LLS→LS、TLS→TS、LSH→L21、TSH→T21)。	○
	棚板	名称変更(SA→KA、SB→KB、SC→KC、SD→KD、SJ→KJ、SH→KH)。	○
掃き出し窓(※2)	掃き出し窓枠(アルミ)	単品での交換は不可。	△
	ガラス扉	サッシ枠+ガラス扉のセットで交換なら可能。	
	掃き出し入口枠(上下左右)	変更なし	○
	掃き出し上パネル	W寸法は同じ。H寸法が3mm違う(SMKが短い)。	○
ガラス窓(※2)	サッシ枠(アルミ)	単品での交換は不可。	△
	ガラス扉	サッシ枠+ガラス扉のセットで交換なら可能。	
	窓際壁パネル	変更なし	○
	窓上パネル		
	窓下壁パネル		
	窓上内壁	W寸法は同じ。H寸法が3mm違う(SMKが短い)。	○
窓下内壁	変更なし	○	

本体色 SMK:メローグレー SSM:サルクホホワイト

※1 互換性はSMKの部材をSSMに取り付けようとした場合のものです。

※2 掃き出し窓、ガラス窓についてはSSM内で新旧(1999年頃切替)があります。
上表での掃き出し窓、ガラス窓はSSM旧とSMKの互換性を記載しています。
SSM新とSMKは共通仕様のため互換性があります。

SMKシリーズとSMK-Nシリーズの互換性一覧

壁パネル、扉の塗装色変更
(SMK:エンボス塗装メローグレー → SMK-N:ソリッド塗装メローグレー)

SSIシリーズとSMKシリーズの互換性一覧

下表以外の部材は互換性がありません。

	部材名	仕様の違いについて	互換性(※1)
本体	標準壁内壁	変更なし ※3	△
	パネル押え		
	ジョイントカバー	形状変更 ※3	△
雨とい関係	たてとい	変更なし ※3	△
ドア関係	ドア本体	錠の数が異なる(SMK:外錠2個・内錠2個/SSM:外錠1個・内錠2個)	○
	ドア脇パネル	仕様変更。 単品での交換は不可。 ドア脇+ドア上+ドア枠+ドア入口枠+内壁のセットで 交換なら可能 ※3	△
	ドア上パネル		
	ドア枠(アルミ)		
	ドア入口枠		
	ドア上内壁		
ドア脇内壁			
掃き出し窓(※2)	掃き出し窓枠(アルミ)	単品での交換は不可。	△
	ガラス扉	サッシ枠+ガラス扉のセットで交換なら可能。	
	掃き出し入口枠(上下左右)	変更なし	○
	掃き出し上パネル	変更なし ※3	△
	掃き出し窓上内壁	W寸法は同じ。H寸法が3mm違う(SMKが短い) ※3	△
ガラス窓(※2)	サッシ枠(アルミ)	単品での交換は不可。	△
	ガラス扉	サッシ枠+ガラス扉のセットで交換なら可能。	
	窓際壁パネル	変更なし	○
	窓上パネル	変更なし ※3	△
	窓下壁パネル	変更なし	○
	窓上内壁	W寸法は同じ。H寸法が3mm違う(SMKが短い) ※3	△
	窓下内壁	変更なし	○

本体色 SMK:メローグレー SSI:サルクホホワイト

※1 互換性はSMKの部材をSSIに取り付けようとした場合のものです。

※2 掃き出し窓、ガラス窓についてはSSI内で新旧(1999年頃切替)があります。

上表での掃き出し窓、ガラス窓はSSI旧とSMKの互換性を記載しています。

SSI新とSMKは共通仕様のため同サイズの場合、互換性があります。

※3 SMKのH高さ、SSIのSH高さが同サイズになります。

SSIIシリーズとSMKシリーズの互換性一覧

壁パネルの厚さが異なるため(SSII:厚さ45mm、SMK:35mm)互換性はありません。

BAXとBAWの互換性

色替え(BAX:ペールグレージュ→BAW:マイルドアイボリー)のみ、部材の互換性あり。

BAWとBFの互換性一覧

以外の部材は色替え(BAW:マイルドアイボリー→BF:ミストグレー)のみ、部材の互換性あり。

	部材名	仕様の違いについて	互換性
Vタイプ 雨とい関係	軒とい	形状変更。互換性なし。 軒とい受金具とセットで交換なら可能。	△
	軒とい止り		
	軒といジョイント		
	軒とい受金具A	形状変更。互換性あり。	○
	軒とい受金具B		

互換性はBFの部材をBAWに取り付けようとした場合のもので。

BFXタイプとBFタイプの互換性一覧

	部材名	仕様の違いについて	互換性	
本体	柱(埋め込み方式)	変更なし	○	
	プレートA・B	変更なし	○	
	梁	一般型	変更なし	○
		多雪・豪雪	変更なし	○
	梁キャップA・B	変更なし	○	
	母屋取付板A・B	変更なし	○	
	腰パネル	側面用	変更なし	○
		後面用	間口変更、車止め棒の固定方法変更	×
	腰パネル受板	変更なし	○	
	母屋	一般型	形状変更(BYX用と共通)	×
		多雪・豪雪	形状変更	×
	妻板固定金具左右	新規設定	×	
	妻板	形状変更(BYX用と形状共通)	×	
	屋根パネル	全長変更	×	
	鼻隠し前・後	形状変更(BYX用と共通)	×	
	車止め金具A	変更なし	○	
	車止め取付金具	車止め棒の固定方法変更	×	
	車止め棒	間口変更、板厚変更(t1.2→t1.6)	×	
	OP	丸軒とい	変更なし	○
		丸樋継手	変更なし	○
たてとい		変更なし	○	
軒とい受金具		形状変更	×	
丸樋止まり		変更なし	○	
ラッパ		変更なし	○	
エルボ		変更なし	○	
たてとい取付金具A・B		変更なし	○	

互換性はBFXの部材をBFに取り付けようとした場合のもので。

BMとBF/BPの互換性一覧

	部材名	仕様の違いについて	互換性
BM・BF 共通部材	柱	BF用柱(埋め込み方式)と共通部材	○
	プレートA,B	共通部材	○
	梁	形状は共通。全長、穴位置が異なる。	×
	梁キャップA,B	共通部材	○
	側面用腰パネル		
	後面用腰パネル	間口2400用は互換性なし。間口2800用のみ互換性あり。	△
	腰パネル受板	共通部材	○
	母屋取付板A,B		
	母屋取付板後		
	母屋	新規部材	×
	車止め棒	間口2400用は互換性なし。間口2800用のみ互換性あり。	△
	車止め金具	共通部材	○
	BM・BP 共通部材	屋根パネル	形状は共通。全長が異なる。
軒といネジ板		共通部材	○
軒とい連結金具			
軒とい用スロープ			
妻板		形状は共通。全長が異なる。	×
妻板固定金具		新規部材	×
鼻隠し前		共通部材	○
軒とい			
たてとい			

互換性はBMの部材をBF/BPに取り付けようとした場合のもので。

BCX, BCW, BYの互換性一覧

色替え(BCX:ペールグレージュ → BCW:マイルドアイボリー → BY:ミストグレー)のみ、部材の互換性あり。

BY, BYNの互換性一覧

部材名	仕様の違いについて		互換性
	仕様	互換性	
本体	プレート固定用ボルト	サイズ変更 (BY: M8 × 100 → BYN: M8 × 110)	×
	母屋取付板A	F12 → Y10に材質変更 (形状変更なし)	○
	梁キャップA	変更なし	○
	プレートA, B	形状変更	×
	柱 (プレート式・埋め込み式)	形状変更 (□80 (t3.2) → □90 (t2.3))	×
	柱キャップP	形状変更	×
	鼻隠し前	φ8穴を削除	○
	鼻隠し後		
	梁		
	梁キャップA, B		
	母屋	変更なし	○
	妻板		
	屋根パネル		
	梁中屋根板		
雨とい	丸軒とい		
	たてとい	変更なし	○
	集水器		
	たてとい取付金具A		
	たてとい取付金具B	F12 → Y10に材質変更 (形状変更なし)	○
車止め	車止め	変更なし	○

互換性はBYNの部材をBYに取り付けようとした場合のもので。

BYXタイプとBYNタイプの互換性一覧

部材名	仕様の違い	互換性	
本体	柱 (埋め込み方式)	変更なし	○
	プレート左右	変更なし	○
	梁	変更なし	○
	梁キャップA	変更なし	○
	母屋取付板A	変更なし	○
	母屋	形状変更 (BFX用と共通)	×
	妻板	形状変更 (BFX用と形状共通)	×
	屋根パネル	全長変更	×
	鼻隠し前・後	形状変更 (BFX用と共通)	×
OP	丸軒とい	変更なし	○
	丸樋継手	変更なし	○
	たてとい	変更なし	○
	軒とい受金具	形状変更	×
	丸樋止まり	変更なし	○
	ラッパ	形状変更 (BFX用と共通)	×
	エルボ	変更なし	○
	たてとい取付金具A・B	変更なし	○
	車止め	変更なし	○

互換性はBYXの部材をBYNに取り付けようとした場合のもので。

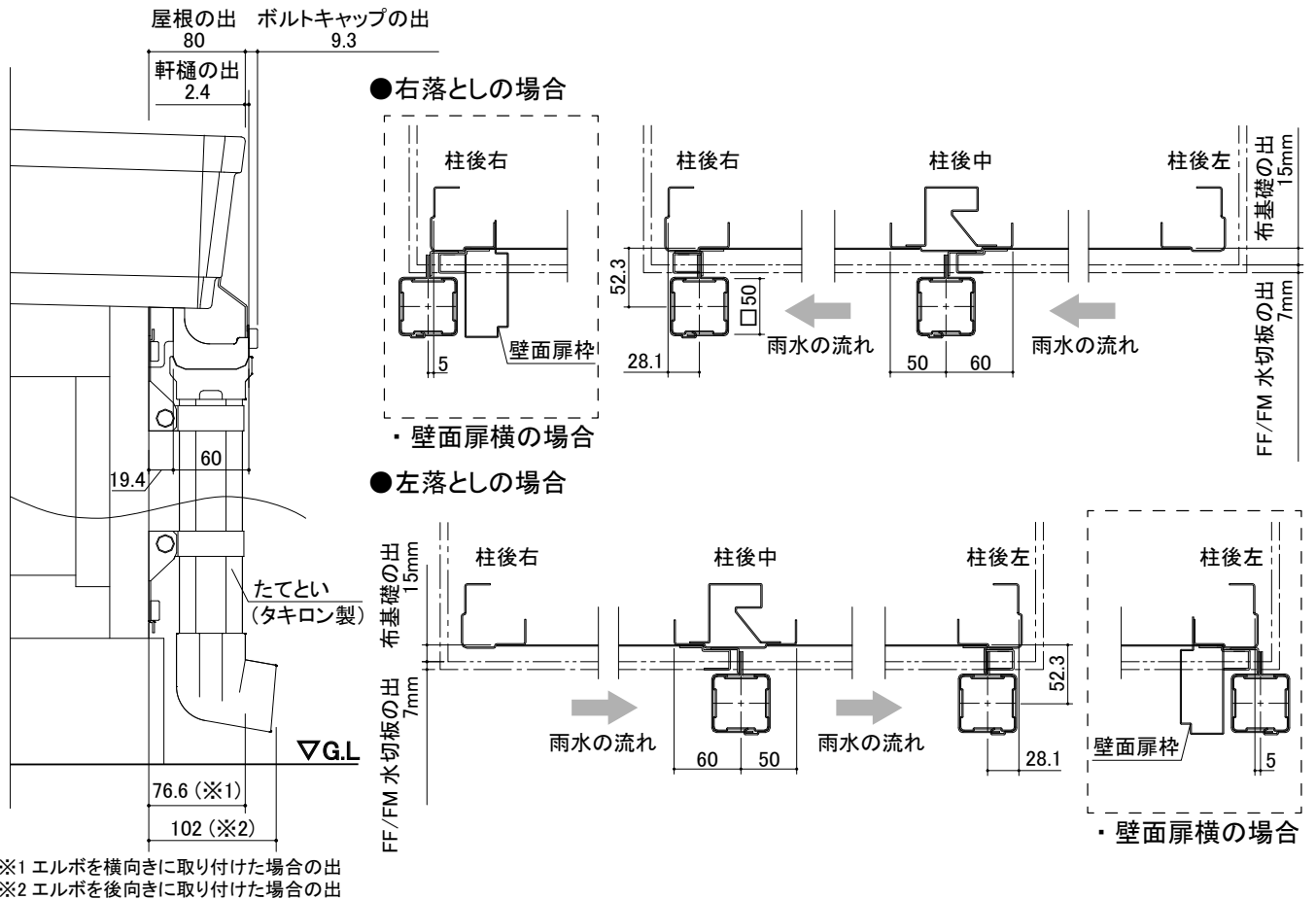
BTタイプと、BYNタイプ及びBPタイプの互換性一覧

部材名	仕様の違い	互換性	
		BYN	BP/BM
本体	柱 (埋め込み方式)	BYN/BYX用と共通	○ -
	プレート左右	BYN/BYX用と共通	○ -
	梁	BYN/BYX用と形状共通 (全長変更)	×
	梁キャップA	BYN/BYX用と共通	○ -
	母屋取付板A	BYN/BYX用と共通	○ -
	母屋	BM用と共通	- ○
	屋根パネル	BP用と共通	- ○
	軒とい	BP/BM用と共通	- ○
	軒といネジ板	BP/BM用と共通	- ○
	妻板	BP用と共通	- ○
	鼻隠し前	BP/BM用と共通	- ○
	たてとい	BP/BM用と形状共通 (全長変更)	- ×
	丸エルボ80°	BP/BM用と共通	- ○
	アタッチメント	BP/BM用と共通	- ○
	パッキン (2mm)	BP/BM用と共通	- ○
	サドルアダプター	BP/BM用と共通	- ○
	丸サドル	BP/BM用と共通	- ○
	サドル受	BP/BM用と共通	- ○

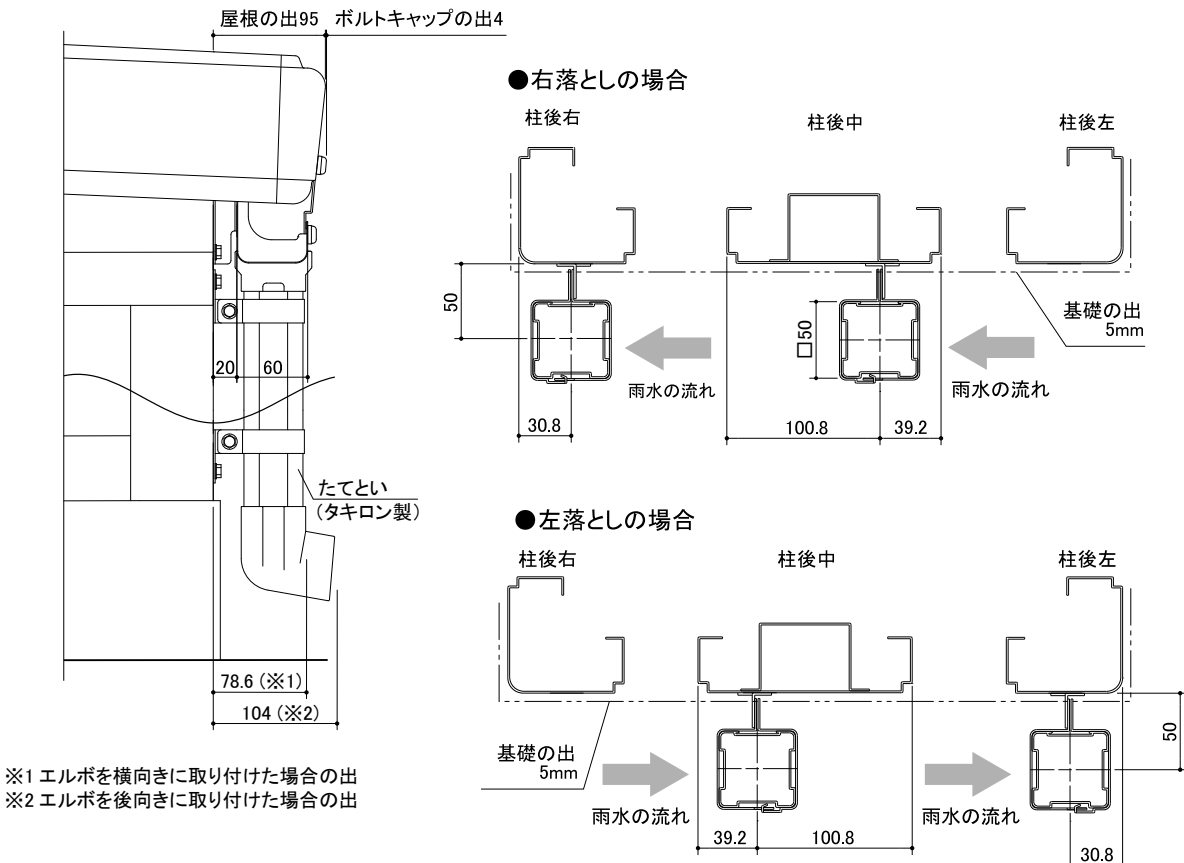
互換性はBTの部材をBYN及びBPに取り付けようとした場合のもので。

雨とい編

●雨とい落とし位置 (FORTAシリーズ)



●雨とい落とし位置 (SMK)



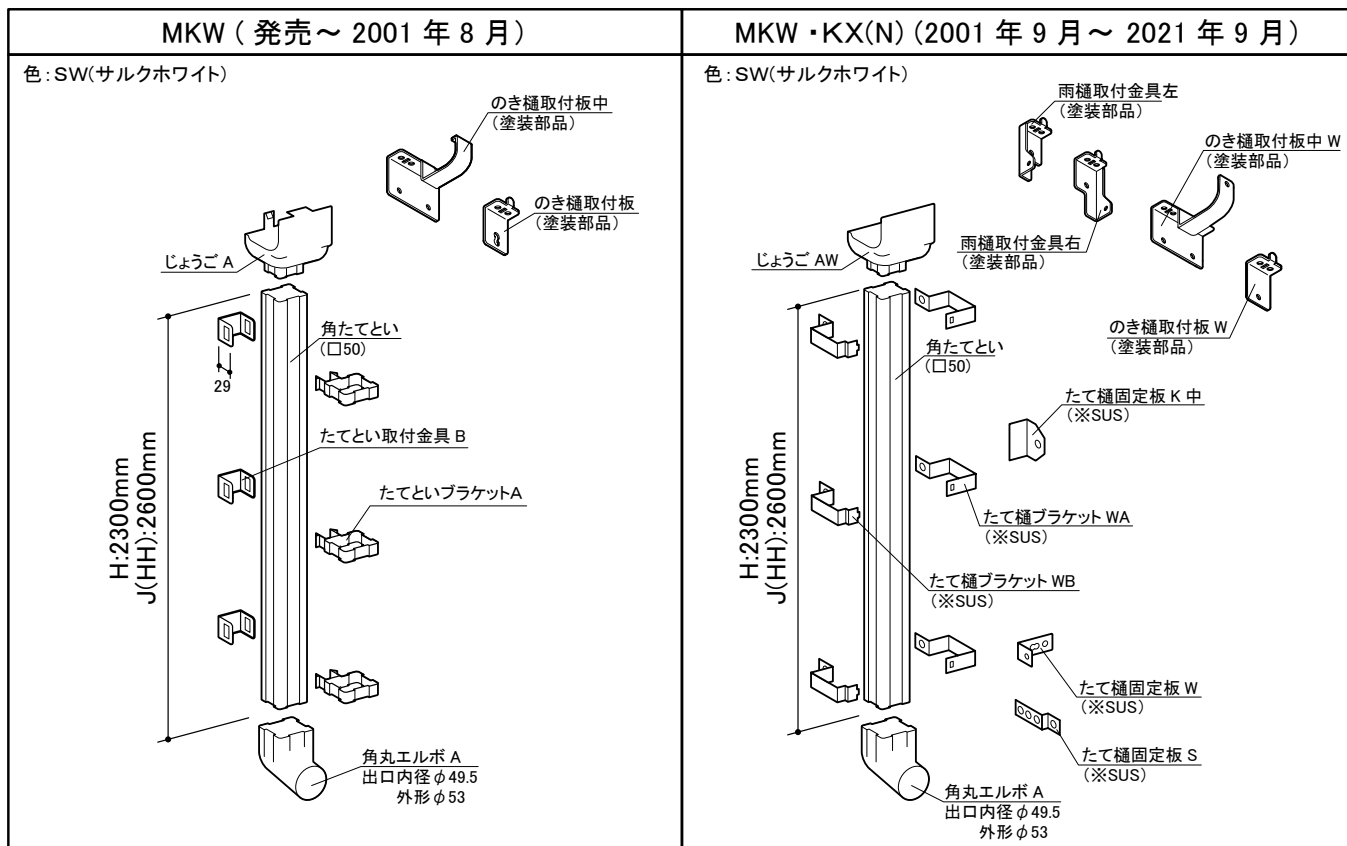
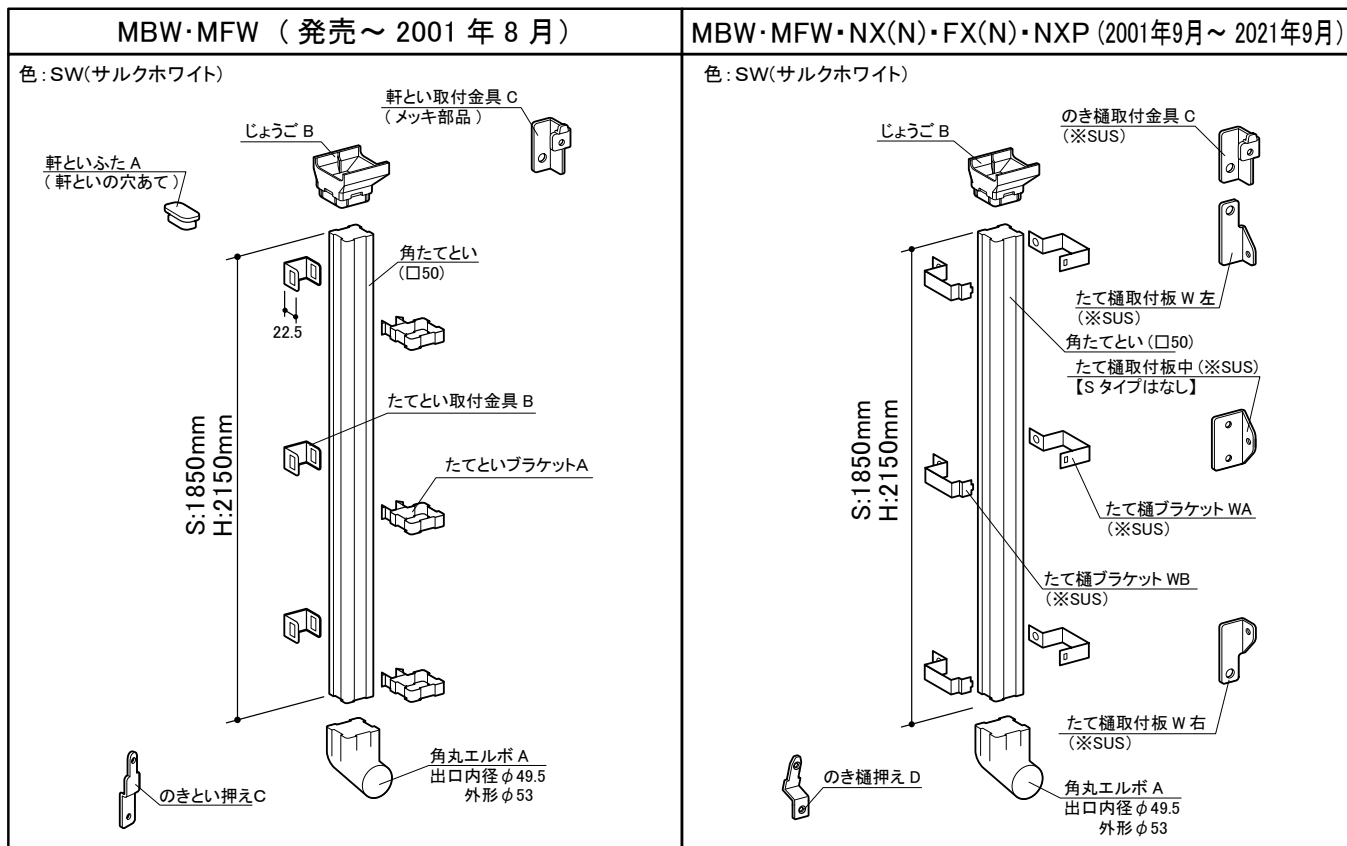
●エルボ先への取り付け方法

エルボ先への取り付け等を行う場合は内径φ53を超える丸といをご用意ください。

●現行雨といの種類

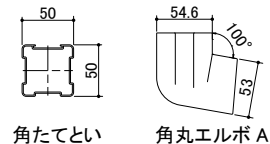
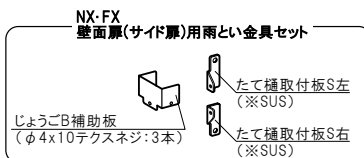
<p style="text-align: center;">FORTAシリーズ (2021年5月～)</p>	<p style="text-align: center;">SMK (2002年6月～)</p>
<p>色: SW(サルクホホワイト)</p> <p>S: 1850mm H: 2150mm</p>	<p>色: SW(サルクホホワイト)</p> <p>S: 2130mm H: 2300mm</p>
<p>備考</p> <p style="text-align: center;">角たてとい</p>	<p style="text-align: center;">角丸エルボ A</p>

●旧雨といの種類①



備考

※たて樋ブラケットAは製作不可のため、たて樋ブラケットWA・WBを使用して下さい。



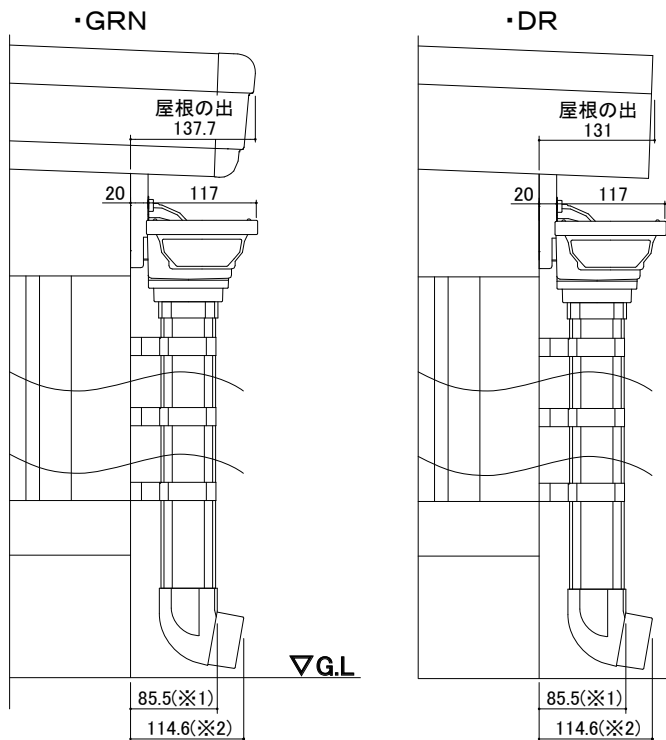
雨とい

●旧雨といの種類②

MEB (発売～販売終了)	SSM 初期 (発売～1998年9月)
<p>色 : ページュ</p> <p>※丸たてといは製作不可</p>	<p>色 : SW (サルクホホワイト)</p>
SSM 中期 (1998年10月～2001年8月)	SSM 後期 (2001年9月～2002年5月)
<p>色 : SW (サルクホホワイト)</p>	<p>色 : SW (サルクホホワイト)</p>
<p>備考</p> <p>※たて樋ブラケットAは製作不可のため、たて樋ブラケットWA・WBを使用して下さい。</p>	<p>角たてとい</p> <p>角丸エルボ A</p>

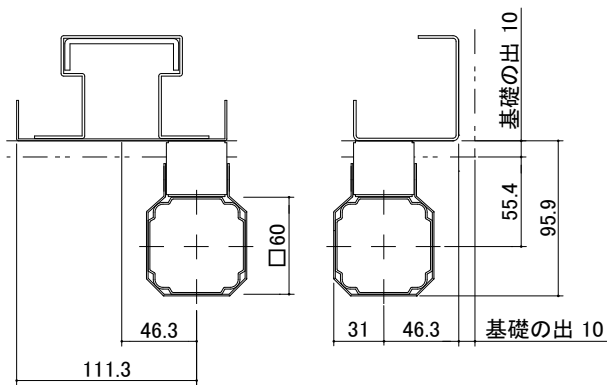
雨
い
編

●雨とい落とし位置 (GRN、DR)



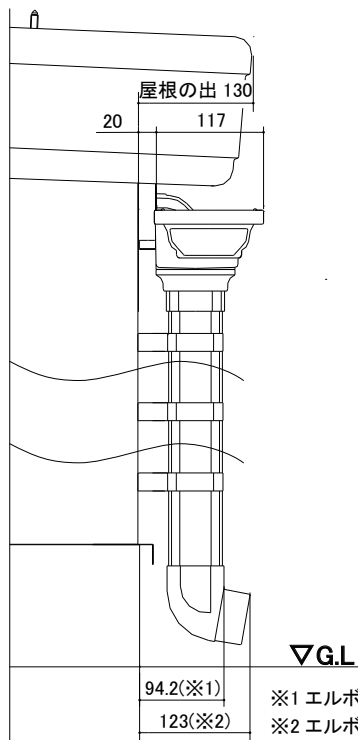
●柱後中落とし位置

●柱後左右落とし位置



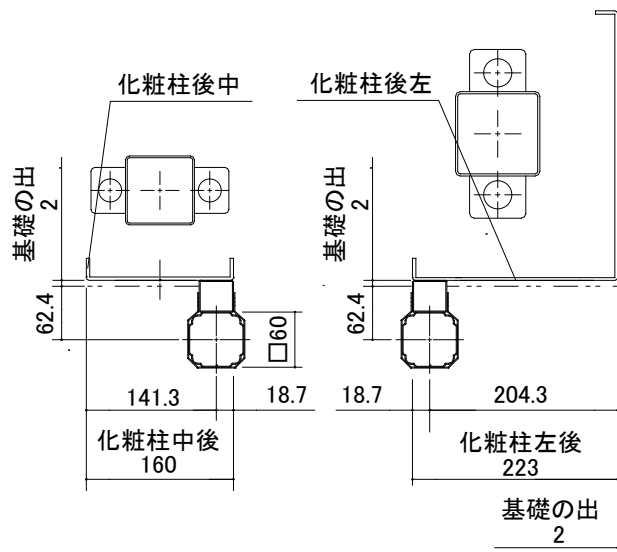
※1 エルボを横向きに取り付けた場合の出
 ※2 エルボを後向きに取り付けた場合の出

●雨とい落とし位置 (SGN、WG)



●柱後中落とし位置

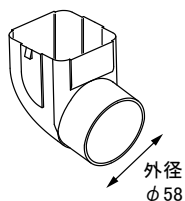
●柱後左右落とし位置



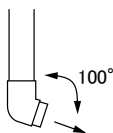
※1 エルボを横向きに取り付けた場合の出
 ※2 エルボを後向きに取り付けた場合の出

●エルボ先への取り付け方法

GRN・BRK・DR・SGNで使用している雨といはデンカ製です。エルボ先への取り付け等を行う場合はデンカ製品をご用意頂くか、下記要領にて各メーカー品へ接続してください。



100° 角丸エルボ(付属品)



各社丸といへ接続

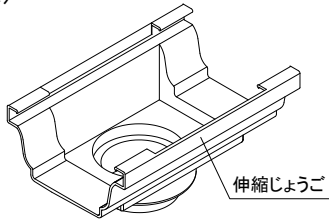
参考: 各社丸とい寸法と相性

メーカー・商品名	内径	デンカ製との相性
タキロン・丸たてどい	約φ58.6	取り付け可だが緩い
三菱樹脂・丸エース60	約φ58.0	取り付け可
パナソニック・たてどい60	約φ58.2	取り付け可
セキスイ・丸トップUT60	約φ57.5	取り付け可だがきつい

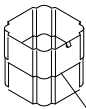
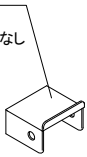
● 現行雨といの種類

GRN・DR・SGN・WG

色: シャイニンググレー (GRN・SGN・WG)
 クロ (DR)



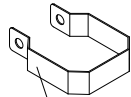
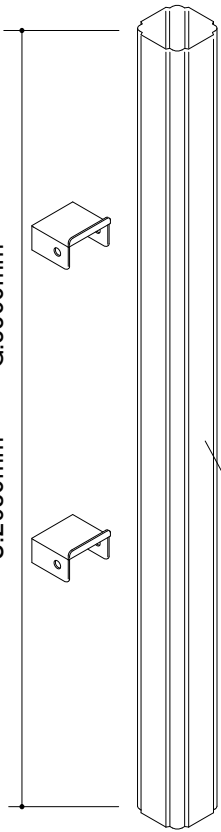
たてといベース
 (※SUS)
 GR・BRN用と互換性なし



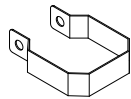
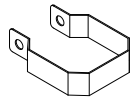
角継手

S: 1980mm
 H: 2280mm
 J: 2580mm

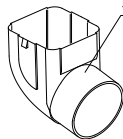
M・T: 3000mm
 G: 3300mm



たてといブラケット
 (※SUS)
 (GR・BRN用と互換性なし)



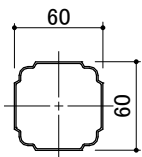
たてとい
 (□60)



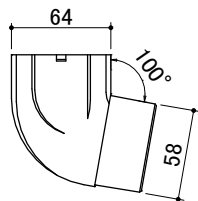
角丸エルボ

すべてのBRK用と共通

備考



角たて樋 (□60)



角丸エルボ

●旧雨といの種類

<p>GCW・GHW (発売～2001年9月)</p>	<p>GCW・GHW (2001年9月～2005年9月)</p>	<p>BR(N)・GR・GCW・GHW・SG (2005年10月～販売終了)</p>
<p>色: SW(サルクホホワイト)</p> <p>のき樋取付金具G (メッキ部品) じょうごB 軒といふたA (軒といの穴あて) 角たて樋 (口50) たてといブラケットA たてとい取付金具B 角丸エルボA 出口内径φ49.5 外形φ53 のきとい押さえG</p> <p>S:1900mm H:2200mm H:2350mm HH:2650mm</p>	<p>色: SW(サルクホホワイト)</p> <p>のき樋取付金具G (メッキ部品) じょうごB 軒といふたA (軒といの穴あて) 角たて樋 (口50) たて樋取付板中 (※SUS) 【Sタイプはなし】 たて樋ブラケットWA (※SUS) たて樋ブラケットWB (※SUS) たて樋取付板G左 (※SUS) たて樋取付板G右 (※SUS) 角丸エルボA 出口内径φ49.5 外形φ53 のきとい押さえN</p> <p>S:2000mm H:2300mm HH:2600mm</p>	<p>色: SW(サルクホホワイト)</p> <p>角集水器 たて樋ベース (※SUS) たて樋ブラケット (※SUS) 角たて樋 (口60) 角丸エルボ 出口内径φ55 外形φ58</p> <p>S:2000mm H:2300mm J(HH):2600mm</p>
<p>※たて樋ブラケットAは製作不可のため、たて樋ブラケットWA・WBを使用して下さい。</p> <p>角たてとい 角丸エルボ A</p>	<p>角たてとい 角丸エルボ A</p>	<p>角たてとい (口60) 角丸エルボ</p>

<p>GKW (発売～2001年9月)</p>	<p>KR・GKW (2001年9月～販売終了)</p>	<p>BRK (販売～販売終了)</p>
<p>色: SW(サルクホホワイト)</p> <p>のき樋取付板中 (塗装部品) のき樋取付板 (塗装部品) じょうごA 角たて樋 (口50) たてといブラケットA たてとい取付金具A 角丸エルボA 出口内径φ49.5 外形φ53</p> <p>H:2300mm HH:2600mm</p>	<p>色: SW(サルクホホワイト)</p> <p>雨樋取付金具左 (塗装部品) 雨樋取付金具右 (塗装部品) のき樋取付板W (塗装部品) のき樋取付板中W (塗装部品) じょうごAW 角たて樋 (口50) たて樋固定板K中 (※SUS) たて樋ブラケットWA (※SUS) たて樋ブラケットWB (※SUS) たて樋固定板W (※SUS) たて樋固定板S (※SUS) 角丸エルボA 出口内径φ49.5 外形φ53</p> <p>H:2300mm J(HH):2600mm</p>	<p>色: シャイニンググレー</p> <p>伸縮じょうご たてといベース (※SUS) 角継手 たてといブラケット (※SUS) (GRN用と互換性あり) たてとい (口60) 角丸エルボ</p> <p>H:2280mm J:2580mm</p>
<p>※たて樋ブラケットAは製作不可のため、たて樋ブラケットWA・WBを使用して下さい。</p> <p>角たてとい 角丸エルボ A</p>	<p>角たてとい 角丸エルボ A</p>	<p>角たて樋 (口60) 角丸エルボ</p>

雨とい

部品一覽編

部品一覧表 [戸車①]

	部品形状	部品名	適合機種	備考
		部品型番		
①		INB 戸車001	KA,MCN,MA,MAN MB,MDN,MBN (MBT,MAK,MC,MD)	手配不可 取付ビス：1個 ※代替品：INB-TG002
		INB-TG001		
②		INB 戸車002	MG,KMA,MGX,MDX MBX,KMB,MKX,MCA KAN サイド扉(SX)	手配不可 取付ビス：1個
		INB-TG002		
③		INB 戸車003	MBW,MGW,MCB MJ,MJN,NX,NXN MKW,KX,KXN,NXP サイド扉(SW,SWN) 壁面扉(SN,SR,SRN,SNR)	取付ビス：1個
		INB-TG003		
④		INB 戸車004	MJX,KMW	取付ビス：1個
		INB-TG004		
⑤		INB 戸車005	KMX	取付ビス：1個
		INB-TG005		
⑥		INB 戸車006	ME,MEB,SSM,SMK	取付ビス：2個
		INB-TG006		
⑦		INB D扉専用扉吊金具	D扉 (折戸) 専用 (MAN,MAK) (MG,MGX,MGW)	手配不可 取付ビス：2個
		INB-TG007		
⑧		INB D扉専用扉ローラー	D扉 (折戸) 専用 (MAN,MAK) (MG,MGX,MGW)	手配不可 取付ビス：2個
		INB-TG008		

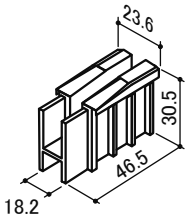
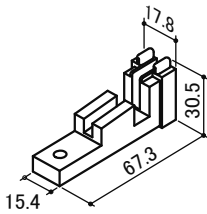
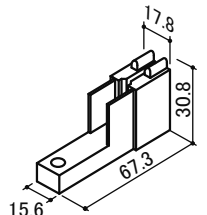
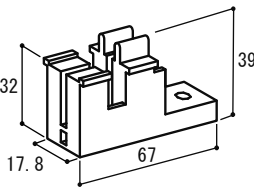
部品一覧表 [戸車②]

	部品形状	部品名	適合機種	備考
		部品型番		
⑨		INB 戸車009	FORTA,FP 壁面扉 (SF) 内施錠付引戸 (SFG)	取付ビス : 1個
		INB-TG009		

部品一覧表 [スライダー(上部ガイド)①]

	部品形状	部品名	適合機種	備考
		部品型番		
①		INB スライダー001	MC,MCN,MD,MDN MA,MAK,MAN MB,MBT,MBN	手配不可 取付ビス：1個
		INB-SL001		
②		INB スライダー002	KA	手配不可 取付ビス：1個
		INB-SL002		
③		INB スライダー003	KMA,KAN,KMB	手配不可 取付ビス：1個
		INB-SL003		
④		INB スライダー004	MG,MGX,MCA	手配不可 取付ビス：1個
		INB-SL004		
⑤		INB スライダー005	MBX,MDX,MKX	手配不可 取付ビス：1個
		INB-SL005		
⑥		INB スライダー006	MBW,MCB,MGW MJ,MJN,NX,NXN MKX,MKW,KX,KXN サイド扉(SX,SW,SWN) 壁面扉(SR,SRN,SNR)	取付ビス：1個
		INB-SL006		
⑦		INB スライダー007	ME,MEB	手配不可 取付ビス：2個
		INB-SL007		
⑧		INB スライダー008	SSM,SMK	取付ビス：2個 INB-SL007への互換性ナシ
		INB-SL008		

部品一覧表 [スライダー(上部ガイド)②]

	部品形状	部品名	適合機種	備考
		部品型番		
⑨		INB スライダー-009	KMJX	取付ビス：1個
		INB-SL009		
⑩		INB スライダー-010	MJX	取付ビス：1個
		INB-SL010		
⑪		INB スライダー-011	KMW	取付ビス：1個
		INB-SL011		
⑫		INB スライダー-012	FORTE,FP 壁面扉 (SF) 内施錠付引戸 (SFG)	取付ビス：1個
		INB-SL012		

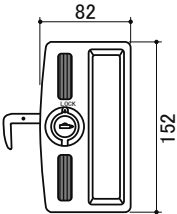
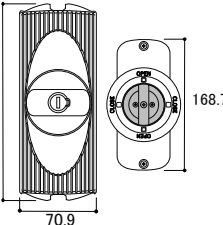
部品一覧表 [錠前①]

	部品形状	部品名	適合機種	備考
		部品型番		
①		INB 錠前001	MC,MCN,MAN KMA,KA,KAN,MG	手配不可 取付ビス：1個
		INB-JM001		
②		INB 錠前002	KMA,MGX,MGW KMB,MCA,MCB	手配不可 取付ビス：1個
		INB-JM002		
③		INB 錠前003	D扉（折戸）専用 (MAN,MAK) (MG,MGX,MGW)	錠前のみ手配可 ロックスプリングは 手配不可
		INB-JM003		
④		INB 錠前004	MAK,MC	手配不可 取付ビス：2個
		INB-JM004		
⑤		INB 錠前005	KMX	キー：2本付 取付ビス：1個
		INB-JM005		
⑥		INB 錠前006	MJ,MJN	キー：2本付
		INB-JM006		
⑦		INB 錠前007	BS,BSX,BJ,BJN DL(MBW,NX,NXN)	キー：2本付 取付ビス：2個
		INB-JM007		
⑧		INB 錠前008	BJX,NXD,FD	キー：2本付 取付ビス：2個
		INB-JM008		

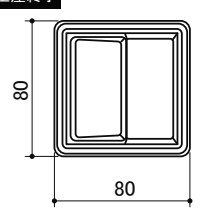
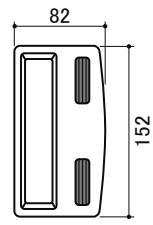
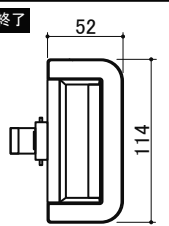
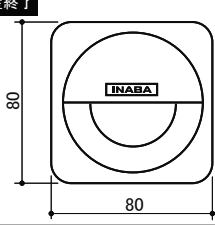
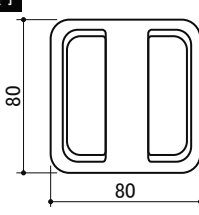
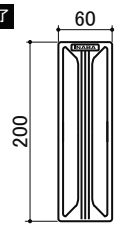
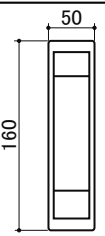
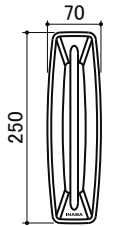
部品一覧表 [錠前②]

	部品形状	部品名	適合機種	備考
		部品型番		
⑨		INB 錠前009	NX,壁面扉 (SN)	手配不可 取付ビス：4個 ※代替品：INB-JM011
		INB-JM009		
⑩		INB 錠前010	NX,壁面扉 (SN)	手配不可 取付ビス：4個 ※代替品：INB-JM011
		INB-JM010		
⑪		INB 錠前011	NXN サイド扉 (SR) 壁面扉 (SRN,SNR,) 内施錠付引戸 (SFG)	キー：2本付 裏カバー付 取付ビス：4個
		INB-JM011		
⑫		INB 錠前012	MJX	シルバー色 キー：2本付
		INB-JM012		
⑬		INB 錠前013	KMW	ステンカラー色 キー：2本付
		INB-JM013		
⑭		INB 錠前014	MB,MDN,MDX,MKX MBT,MBN,MBX サイド扉 (SX-4,SX-5) ME,MEB (内開錠ナシ)	キー：2本付 取付ビス：2個
		INB-JM014		
⑮		INB 錠前015	MEB (内開錠タイプ) サイド扉 (SX-3,SW-3) SSM	キー：2本付 取付ビス：2個
		INB-JM015		
⑯		INB 錠前016	MBW サイド扉 (SW-4,SW-5) SWN-3	キー：2本付 取付ビス：2個
		INB-JM016		

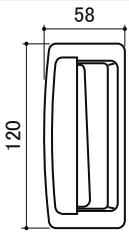
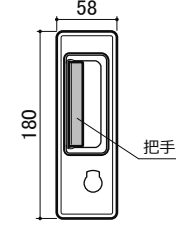
部品一覧表 [錠前③]

	部品形状	部品名	適合機種	備考
		部品型番		
⑰		INB 錠前017	SMK,NXP,FP	メタル色 キー：2本付 取付ビス：2個
		INB-JM017		
⑱		INB 錠前018	FORTA 壁面扉 (SF)	キー：2本付 裏カバー付 取付ビス：2個
		INB-JM018		

部品一覧表 [把手①]

	部品形状	部品名	適合機種	備考
		部品型番		
①		INB 把手001	MB,MDN,MBT MBN,MBX	手配不可
		INB-HN001		
②		INB 把手002	MBW	取付ビス：2個
		INB-HN002		
③		INB 把手003	KA,KAN	手配不可
		INB-HN003		
④		INB 把手004	D扉（折戸）専用 (MAN,MAK) (MG,MGX,MGW)	手配不可
		INB-HN004		
⑤		INB 把手005	MA,MC,MAK,MCN MAN,MG,MGX	手配不可
		INB-HN005		
⑥		INB 把手006	MCA,MCB,MGW	手配不可
		INB-HN006		
⑦		INB 把手007	KMA,KMB	手配不可
		INB-HN007		
⑧		INB 把手008	KMX	取付ビス：2個
		INB-HN008		

部品一覧表 [把手②]

	部品形状	部品名	適合機種	備考
		部品型番		
⑨		INB 把手009	BS,BSX,BJ,BJN DL (MBW,NX,NXN)	取付ビス：2個
		INB-HN009		
⑩		INB 把手010	BJX,NXD,FD	取付ビス：2個 ※グレーの部分の部品です
		INB-HN010		

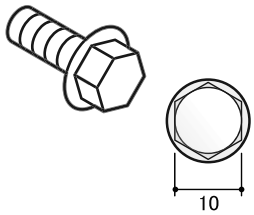
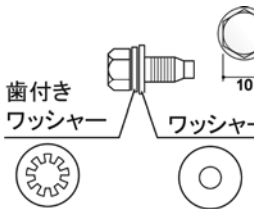
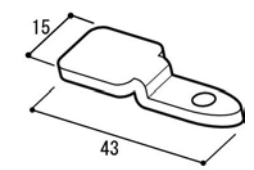
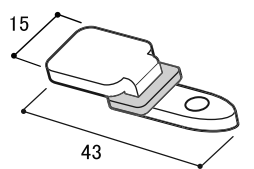
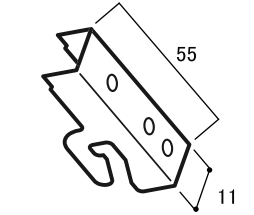
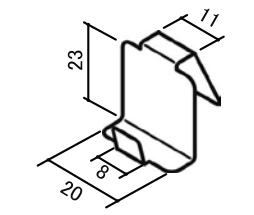

部品一覧表 [錠前裏カバー]

	部品形状	部品名	適合機種	備考
		部品型番		
①		INB 錠前裏カバー001	MB,MDN,MDX,MKX MBT,MBN,MBX サイド扉 (SX-4,SX-5)	手配不可
		INB-JUC001		
②		INB 錠前裏カバー002	ME,MEB (内開錠ナシ)	手配不可
		INB-JUC002		
③		INB 錠前裏カバー003	前期MEB (内開錠タイプ)	手配不可 ※代替品 : INB-JUC004
		INB-JUC003		
④		INB 錠前裏カバー004	後期MEB (内開錠タイプ) SSM	手配不可
		INB-JUC004		
⑤		INB 錠前裏カバー005	SX-3,SW-3	手配不可
		INB-JUC005		
⑥		INB 錠前裏カバー006	MBW,SMK (※) サイド扉 (SW-4,SW-5,SWN-3)	※SMKの場合、INB-JUC007 も併用します。
		INB-JUC006		
⑦		INB 錠前裏カバー007	SMK	扉把手裏押え板
		INB-JUC007		
⑧		INB 錠前裏カバー008	NXP,FP	色 : エコベージュ
		INB-JUC008		

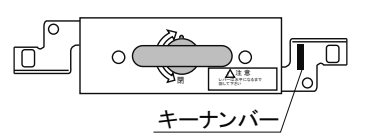
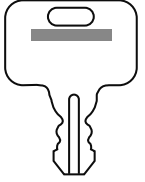
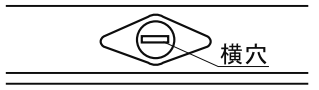
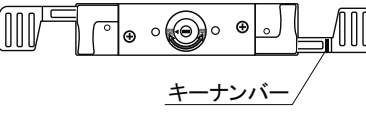
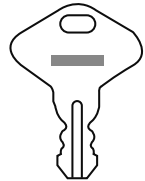
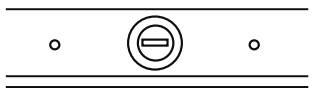
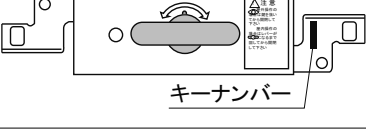
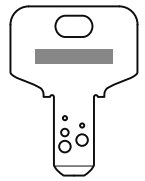
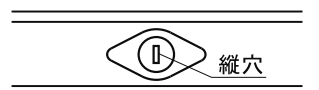
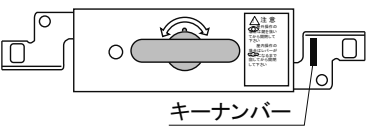
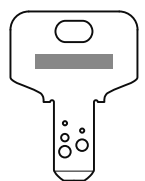
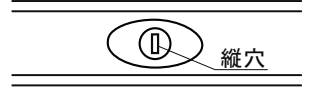
部品一覧表 [把手裏カバー]

	部品形状	部品名	適合機種	備考
		部品型番		
①		INB 把手裏カバー-001	KA,KAN	手配不可
		INB-HUC001		
②		INB 把手裏カバー-002	MB,MDN,MBT MBN,MBX	手配不可
		INB-HUC002		
③		INB 把手裏カバー-003	MBW	
		INB-HUC003		

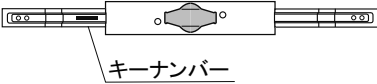
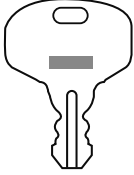
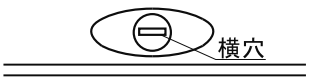
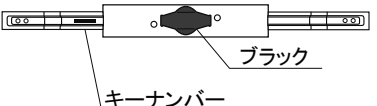
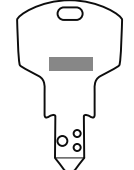
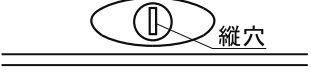
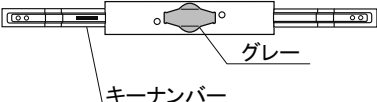
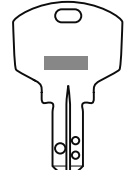
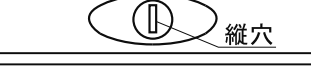
部品一覧表

	部品形状	部品名	適合機種	備考
		部品型番		
①		INB M6ボルト	イナバ製品全般	M6 × 14
②		INB M6歯付きボルト	FORTA,FP	
③		INB ネジ板	イナバ製品全般	
④		INB パッキン付ネジ板	イナバ製品全般	
⑤		INB 止め金具	イナバ製品全般 ※二重構造製品 ※一部、旧ガレージ	
⑥		INB 棚フック	イナバ製品全般	
⑦		INB ボルトキャップ	イナバ製品全般	色をご指定ください
⑧				

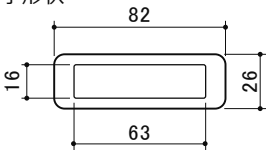
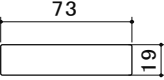

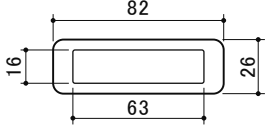
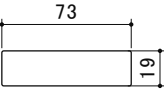
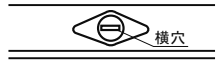
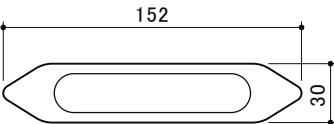
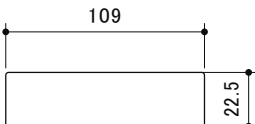
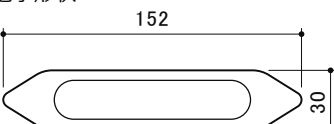
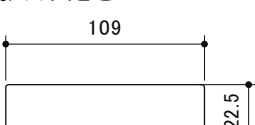
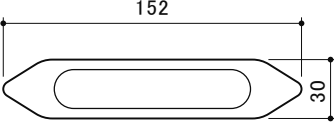
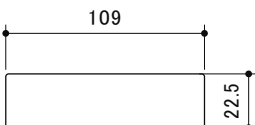
部品一覧表 [シャッター錠前(文化シャッター)]

	部品形状	キー形状	部品名	備考
			部品型番	
①	<p>生産終了</p>  <p>キーナンバー</p>		文化シャッター錠前Aタイプ	手配不可 文化シャッター製 ※代替品：INB-BKJ003
	 <p>横穴</p>		INB-BKJ001	
②	 <p>キーナンバー</p>		文化シャッター錠前Bタイプ	文化シャッター製 キー：2本付
			INB-BKJ002	
③	 <p>キーナンバー</p>	 <p>(デンプルキー)</p>	文化シャッター錠前Dタイプ	文化シャッター製 キー：2本付 デンプルキー
	 <p>縦穴</p>		INB-BKJ003	
④	 <p>キーナンバー</p>	 <p>(デンプルキー)</p>	文化シャッター錠前Gタイプ	文化シャッター製 キー：2本付 デンプルキー
	 <p>縦穴</p>		INB-BKJ004	

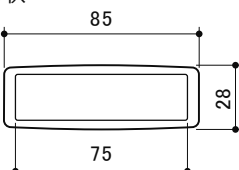
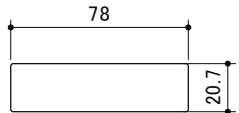
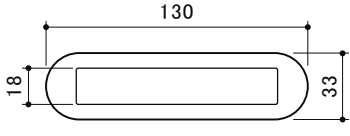
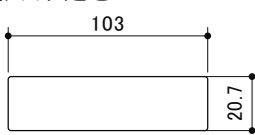
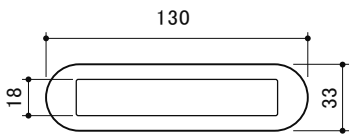
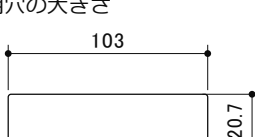
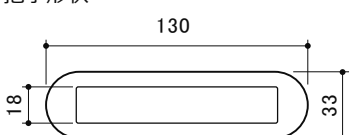
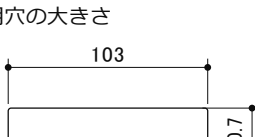
部品一覧表 [シャッター錠前(三和シャッター)]

	部品形状	キー形状	部品名	備考
			部品型番	
①	 <p>キーナンバー</p>		三和シャッター錠前Cタイプ	三和シャッター製 キー：2本付
	 <p>横穴</p>		INB-SWJ001	
②	<p>生産終了</p>  <p>ブラック キーナンバー</p>	 <p>(デンプルキー)</p>	三和シャッター錠前Eタイプ	手配不可 三和シャッター製 キー：2本付 ※代替品:INB-SWJ003
	 <p>縦穴</p>		INB-SWJ002	
③	 <p>グレー キーナンバー</p>	 <p>(デンプルキー)</p>	三和シャッター錠前Fタイプ	三和シャッター製 キー：2本付
	 <p>縦穴</p>		INB-SWJ003	


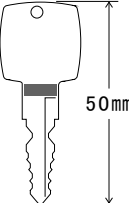
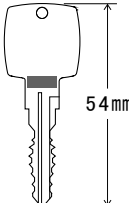
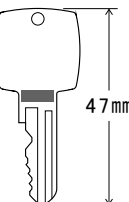
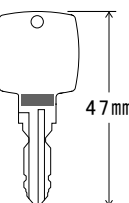

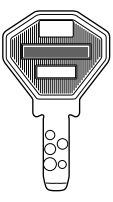
部品一覧表 [シャッター把手 | 文化シャッター]

	部品形状	部品名	適合機種	備考
		部品型番		
①	<p>生産終了</p> <p>把手形状</p>  <p>把手用穴の大きさ</p> 	文化シャッター把手001	MF,MFX GC,GCN,GCX GA,GAN GD,GDX,GEX	<ul style="list-style-type: none"> ・手配不可 ・文化シャッター製 ・色：ホワイト ・～1997年10月 ・INB-BKH002 の取付不可 →ハメ込み部の形状が異なります
	INB-BKH001	<p>鍵差込口外観</p> 		
②	<p>把手形状</p>  <p>把手用穴の大きさ</p> 	文化シャッター把手002	GCX,GCW, GAX,GKX,GKW, GDX,GEX,GEN, MFX,MFW	<ul style="list-style-type: none"> ・文化シャッター製 ・色：ホワイト ・1997年11月～
	INB-BKH002	<p>鍵差込口外観</p> 		
③	<p>把手形状</p>  <p>把手用穴の大きさ</p> 	文化シャッター把手003	FX,FXN,KR,GR,GRN ▶アーバンGM FXN,GRN ▶スノーグレー	<ul style="list-style-type: none"> ・文化シャッター製 ・色：ミストグレー ・2006年6月～
	INB-BKH003			
④	<p>把手形状</p>  <p>把手用穴の大きさ</p> 	文化シャッター把手004	MFW,GCW,GKW GR,GRN ▶シルキーホワイト	<ul style="list-style-type: none"> ・文化シャッター製 ・色：ホワイト ・2006年6月～
	INB-BKH004			
⑤	<p>把手形状</p>  <p>把手用穴の大きさ</p> 	文化シャッター把手005	SG,SGN	<ul style="list-style-type: none"> ・文化シャッター製 ・色：ミストシルバー ・2006年6月～
	INB-BKH005			

部品一覧表 [シャッター把手 | 三和シャッター]

	部品形状	部品名	適合機種	備考
		部品型番		
①	把手形状 	三和シャッター把手001	GHX,GHN,GHW	・三和シャッター製 ・色：サンド ・～2005年4月
	把手用穴の大きさ 	INB-SWH001		
②	把手形状 	三和シャッター把手002	GHW	・三和シャッター製 ・色：サンド ・2005年5月～
	把手用穴の大きさ 	INB-SWH002		
③	把手形状 	三和シャッター把手003	GR,GRN,FF,FM,DM ▶クールシルバー FF,FM ▶ガンメタリック	・三和シャッター製 ・色：ライトグレー ・2009年10月～
	把手用穴の大きさ 	INB-SWH003		
④	把手形状 	三和シャッター把手004	GR ▶ハニーゴールド GRN ▶ステンメタリック	・三和シャッター製 ・色：ゴールドブラウン ・2009年10月～
	把手用穴の大きさ 	INB-SWH004		

部品一覧表 [物置スペアキー]

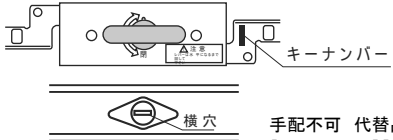
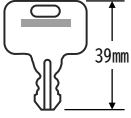
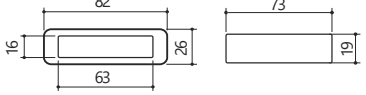
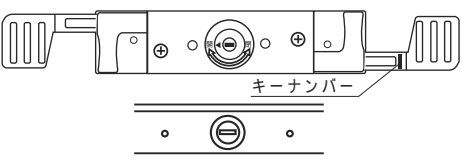
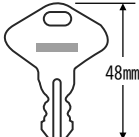
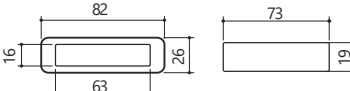
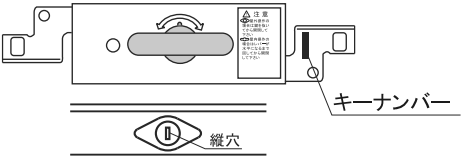
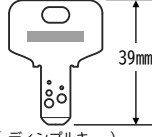
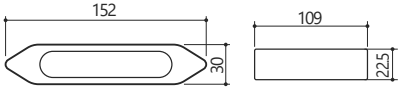
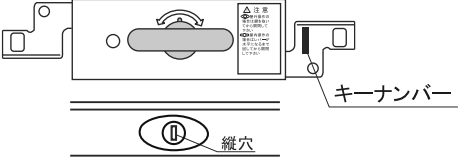
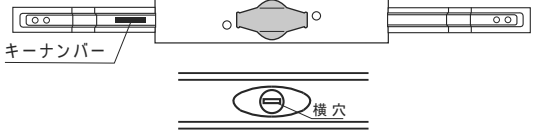
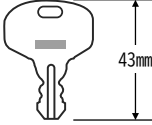
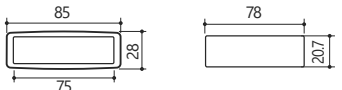
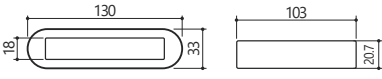
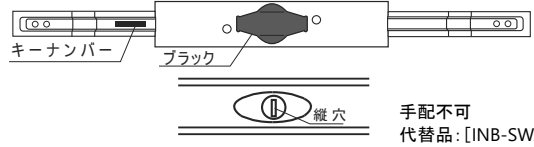
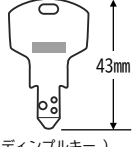
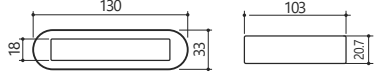
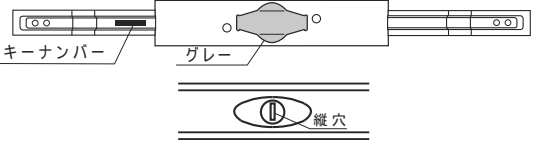
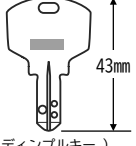
	部品形状	部品名	適合機種	備考
		部品型番		
①	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 8px; margin-right: 5px;">生産終了</div>  </div>	INB 物置スペアーKY001	NX	手配不可 INB-JM011 の 錠前交換にて対応
		INB-KY001		
②		INB 物置スペアーKY002	MJ,MJN,MJX KMX,BJX,NXN,FORTA サイド扉,壁面扉 (SR,SRN,SNR,SF,SFG)	
		INB-KY002		
③		INB 物置スペアーKY003	BSX,BJ,BJN MBW,SMK,NXP扉 サイド扉 (SW-4,SW-5) FP扉 (SPF)	
		INB-KY003		
④		INB 物置スペアーKY004	KAN,KMB,MCB,MGW サイド扉 (SX),MEB SSM,MBX,MBN 旧機種	
		INB-KY004		
⑤	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 8px; margin-right: 5px;">生産終了</div>  </div>	INB 物置スペアーKY005	宅配BOX (KAN)	手配不可
		INB-KY005		
⑥		INB 物置スペアーKY006	掃き出し窓 (SMK)	
		INB-KY006		
⑦		INB 物置スペアーKY007	防盜バー	
		INB-KY007		

部品一覧表 [シャッタースペアキー]

	部品形状	部品名	鍵差込口形状	備考
		部品型番		
①	<p>生産終了</p>	INB 文化シャッタースペアキー BKKY01		手配不可 文化シャッター製 INB-BKJ003 もしくは INB-BKJ004 の 錠前交換にて対応
		INB-BKKY01		
②		INB 文化シャッタースペアキー BKKY02		文化シャッター製
		INB-BKKY02		
③		INB 文化シャッタースペアキー BKKY03		文化シャッター製 ディンプルキー
		INB-BKKY03		
④		INB 三和シャッタースペアキー SWKY01		三和シャッター製
		INB-SWKY01		
⑤		INB 三和シャッタースペアキー SWKY02		三和シャッター製 ディンプルキー
		INB-SWKY02		
⑥		INB 三和シャッタースペアキー SWKY03		三和シャッター製 ディンプルキー
		INB-SWKY03		

イナバガレージ シャッター部品 [錠前/スペアキー/把手] 一覧

[] 内は、部品の型番を記載しています

	シャッター錠前	スペアキー	把手 [左側：把手形状 右側：把手用の穴の大きさ]
文化 シャ ッター	A [INB-BKJ001] <small>生産終了</small>  キーナンバー 横穴 手配不可 代替品 [INB-BKJ003][INB-BKJ004]	<small>生産終了</small> [INB-BKKY01]  39mm 手配不可のため、錠前の交換になります [INB-BKJ003][INB-BKJ004]	ホワイト [INB-BKH002] 
	B [INB-BKJ002]  キーナンバー 縦穴	[INB-BKKY02]  48mm	<small>生産終了</small> ホワイト [INB-BKH001]  INB-BKH002 の取付不可 → 把手裏側のハマ込み部の形状が異なります 手配不可のため、Dの把手付スロットの交換になります
	D [INB-BKJ003]  キーナンバー 縦穴	[INB-BKKY03]  39mm (デンプルキー)	ミストグレー [INB-BKH003] ホワイト [INB-BKH004] ミストシルバー [INB-BKH005] 
	G [INB-BKJ004]  キーナンバー 縦穴	(デンプルキー) 39mm	
三 和 シャ ッター	C [INB-SWJ001]  キーナンバー 横穴	[INB-SWKY01]  43mm	※1 サンド [INB-SWH001]  サンド [INB-SWH002] 
	E [INB-SWJ002] <small>生産終了</small>  キーナンバー ブラック 縦穴 手配不可 代替品: [INB-SWJ003]	[INB-SWKY02]  43mm (デンプルキー)	サンド [INB-SWH002] ライトグレー [INB-SWH003] ゴールドブラウン [INB-SWH004] 
	F [INB-SWJ003]  キーナンバー グレー 縦穴	[INB-SWKY03]  43mm (デンプルキー)	

※1 Cタイプの把手は、年代によって形状が異なります。

[イナバ製品] 機種特定チェックシート

下記の情報をご提供いただくと、特定がスムーズになります。

この用紙と、写真をご提出ください。(別紙の[撮影のポイント]をよく読んで撮影してください)

お問い合わせの前に

イナバのマーク・ロゴはありますか？

正面向かって右上のマーク・ロゴをご確認下さい



※ マーク・ロゴが見当たらない場合は、他社の商品の可能性が考えられます。

※ 古い機種の場合、マーク・ロゴが無いものもあります。

お問い合わせに必要な情報

商品寸法 (間口・奥行・高さ)

① 側面の壁パネルの枚数は？

() 枚

② 後面の壁パネルの枚数は？

() 枚

③ 本体の間口寸法は？

※ 柱の外側 ~ 柱の外側の寸法

() mm

④ 本体の奥行寸法は？

※ 柱の外側 ~ 柱の外側の寸法

() mm

⑤ 本体の高さ寸法は？

※ 土台の下面 ~ 屋根の一番高いところの寸法

※ ブロックの高さは含めない

() mm

⑥ 壁パネルの高さは？

1800mm 2100mm 2400mm 2700mm 3000mm

⑦ 壁パネルの幅は？

420mm 500mm 580mm

⑧ 基礎の高さは？(シャッター系の商品のみ)

※ 土台の下面 ~ 地面までの寸法

() mm

⑨ シャッターメーカーは？(シャッター系の商品のみ)

※ シャッター最下段のシール、キー、リモコン送信機等をご確認下さい

文化シャッター 三和シャッター

⑩ 製造年月日は？

※ 庫内の壁、屋根等の印を確認して下さい

製番 ()

(' . .)



機種別 撮影のポイント [収納庫・物置]

下記の情報をご提供いただくと、特定がスムーズになります。

[撮影のポイント] をよく読んで撮影してください。

下記のポイントを押さえて撮影した画像を送っていただくと、特定がスムーズになります。

- ① 全体の画像
- ② お問い合わせの部品の画像
- ③ 鍵・把手の箇所の画像
- ④ 屋根廻りの画像（鼻隠し付近・型番シール付近）
各々をご提供下さい。
※部品のみ画像では、品番、シリーズの特定が困難です。
※部品交換をご希望の場合でも、上記の画像をご提供下さい。

① 収納庫・物置（全体写真）



② 収納庫・物置（お問い合わせ部品画像）



③ 収納庫・物置（鍵・把手等の画像）



④ 収納庫・物置（屋根廻りの画像、型番シール等）



機種別 撮影のポイント [シャッター系]

下記の情報をご提供いただくと、特定がスムーズになります。

[撮影のポイント] をよく読んで撮影してください。

下記のポイントを押さえて撮影した画像を送っていただくと、特定がスムーズになります。

- ① 全体の画像
- ② お問い合わせの部品の画像
- ③ 鍵・把手の箇所の画像
- ④ 屋根廻りの画像（鼻隠し付近・型番シール付近）

各々をご提供下さい。

※部品のみ画像では、品番、シリーズの特定が困難です。

※部品交換をご希望の場合でも、上記の画像をご提供下さい。

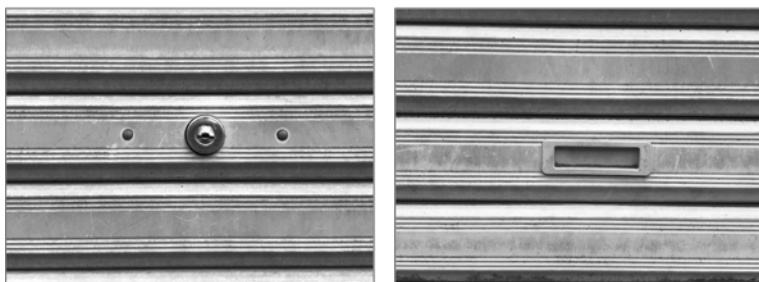
① シャッター系 [ガレージ・ドマール・倉庫] (全体写真)



② シャッター系 [ガレージ・ドマール・倉庫] (お問い合わせ部品画像)



③ シャッター系 [ガレージ・ドマール・倉庫] (鍵・把手等の画像)



④ シャッター系 [ガレージ・ドマール・倉庫] (屋根廻りの画像、型番シール等)



MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing, spanning the width of the page.

 **株式会社 稲葉製作所**

- | | | | |
|--------|--------------|---------|--------------|
| ・札幌営業所 | 011-799-1780 | ・静岡営業所 | 054-620-7811 |
| ・仙台営業所 | 022-287-1000 | ・名古屋営業所 | 0568-67-3771 |
| ・東京営業所 | 03-3759-5111 | ・大阪営業所 | 0798-43-1311 |
| ・千葉営業所 | 04-7192-0625 | ・広島営業所 | 082-849-6688 |
| | | ・福岡営業所 | 092-663-2270 |